

青森県埋蔵文化財調査報告書 第230集

# 三内丸山遺跡Ⅷ

(第1分冊)

平成8年度

青森県教育委員会

青森県埋蔵文化財調査報告書 第230集

# 三内丸山遺跡Ⅷ

—第6 鉄塔地区発掘調査報告書1—  
(第1分冊)

平成8年度

青森県教育委員会

正誤表

三内丸山遺跡Ⅷ (第1分冊)

頁	行数・項目	誤	正
口絵 3	上写真	Vb層	第Vb層
〃	下写真	Vb層	第Vb層
例言	最終行	(文章記入もれ)	11 石器の石質鑑定は調査員山口義伸氏によるものである。
〃	15行目	土色帳	土色帖
8	14行目	L.B	L.B.
11	4行目	下層 d1 式	下層 d <sub>1</sub> 式
〃	10~11行目	円筒形 b、式	円筒下層 b 式
15	左段下から4行目	凹	凹痕
23	7 図中住居跡内柱穴	(番号記載なし)	北から時計回りにP <sub>1</sub> ,P <sub>2</sub> ,P <sub>3</sub>
28	11図中キャプション	1 掘	1 堀
43	15行目文頭	は	185は
94	表中133の石質	珪頁	〃
〃	表中134の石質	〃	珪頁
123	表中307の分類	I a	〃
153	下から 3 行目	5 単軸絡条体 1 類が施されるもの	5 羽状縄文の施されるもの
〃	下から 2 行目	6 羽状縄文の施されるもの	6 単軸絡条体 1 類が施されるもの
154	15行目	R R R 縄文	R R L 縄文
〃	下から 6 行目	40は R R が	40は R R L が
155	下から 2 行目	第Ⅲ群	第Ⅲ群 6 類
198	162図中キャプション	196	196a
〃	表中	(196aの記載なし)	196a VII G-75 〃 〃 LR 〃 〃
199	163図中キャプション	196	196b
〃	表中番号	196	196b
205	表中 3 の石質	〃	玉
222	183図中キャプション	118-	118
238	18行目	13cmの小形の	13cmの小型の
239	5 行目	上面が円形から刺定	上面が円形から刺突
256	表中114の外面文様	(爪形刺突)	(円形刺突)
〃	表中115の外面文様	R L R → 単絡 5	R L R, 単絡 5
280	表中104	黒	〃
298	253図中キャプション	<u>239</u>	239
〃	表中239・241の石質	珪頁	安



東壁土層断面



東壁土層断面拡大（第Ⅲ層）



西壁土層断面



完掘状況 (北西から)



土器出土状況 (VII G-76 Vb層)



土器出土状況 (VII H-75 Vb層)



鹿角出土状況 (VII G-75 第VIa層)



骨刀出土状況 (VII H-74 第VIa層)



木製品出土状況 (VII F-74 第VIa層)



木製品出土状況 (VII G-74 第VIa層)



魚骨出土状況 (VII F-74 第VIa層)



獣骨出土状況 (VII F-75 第VIa層)

# 序

青森県には数多くの縄文時代の遺跡があり、三内丸山遺跡も古くから知られているものの一つです。

本書は、県営総合運動公園拡張事業に伴い、その予定地内にある鉄塔移設事業に先立つ発掘調査の成果をまとめたものです。

調査の結果、縄文時代前・中期の大規模な棄て場が発見され、土器・石器などの多量の遺物が出土しました。なかでも、泥炭層から様々な有機質遺物が出土し、当時の生活・環境を具体的に知ることのできる貴重な発見がありました。

本書は、その成果の一部をまとめたものですが、今後の埋蔵文化財の保護と研究にいささかなりとも役立てれば幸いです。

最後に、調査および本書作成に尽力いただいた関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

平成9年3月

青森県教育委員会

教育長 松 森 永 祐

# 例 言

- 1 本報告書は、平成4・5年度に実施した県営総合運動公園拡張事業に伴う、東北電力高圧電線の鉄塔移設に係る三内丸山遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本遺跡の遺跡番号は01021番である。
- 3 報告書の執筆者名は、依頼原稿については文頭に、その他は文末に付した。
- 4 本遺跡の遺構番号は、種類ごとに付しているが、旧野球場建設予定地、3ヵ所の鉄塔移設部分の通し番号であるため、連続した番号とはなっていない。
- 5 挿図の縮尺は、各図ごとに示している。
- 6 記載に当たっては、土器-P-1、P-2、石器-S-1、S-2、土製品、石製品-C-1、C-2、柱穴P<sub>1</sub>、P<sub>2</sub>、炭化物-C1、C2の略号を用いた。
- 7 本書に掲載した地形図（遺跡の位置）は、建設省国土地理院発行の2万5千分の1の地形図を複写したものである。
- 8 遺構・遺物の文・図中での表現は、原則として次の様式・基準に従った。
  - 遺構番号は、一部を除いて発掘調査時のものをを用いている。
  - 遺構内外の堆積土の注記は、「新版標準土色帳」を用いた。
  - 原則として、遺物には各ページごとに観察表・計測表を付し、出土地点、法量、その他諸特徴などを一覧できるようにした。
  - 石質の略称は以下とする。
    - 玉-玉髓、頁-頁岩、玉珪-玉髓質珪質頁岩、珪頁-珪質頁岩、黒-黒曜石、鉄-鉄石英、凝-凝灰岩、砂-砂岩、安-安山岩、流-流紋岩、輝-輝緑岩、花-花崗岩、花閃-花崗閃緑岩、閃-閃緑岩、緑細-緑色細粒凝灰岩、細凝-細粒凝灰岩、溶凝-溶結凝灰岩、チャーチャート
- 9 発掘調査における出土遺物・実測図・写真等は、現在青森県教育庁文化課三内丸山遺跡対策室で保管している。
- 10 本報告書は、これ以前の第6鉄塔地区に関するすべての資料、報文などに優先するものである。

# 総目次

## 〈第1分冊〉

口 絵

序

例 言

総目次

第1分冊目次

第I章 調査に至る経過と調査要項

第II章 調査の方法と調査の経過

第III章 遺跡の概要

第IV章 遺跡の環境

第V章 中・近世の検出遺構

第VI章 縄文時代の検出遺構と遺物

## 〈第2分冊〉

第2分冊目次

第VI章 縄文時代の検出遺構と遺物

## 〈第3分冊〉

第VI章 縄文時代の検出遺構と遺物

第VII章 遺構外出土遺物

第VIII章 自然科学的分析

第IX章 考察

# 第1分冊目次

口 絵	
序	
例 言	
目 次	
第I章 調査に至る経過と調査要項	1
第1節 調査に至る経過	1
第2節 調査要項	2
第II章 調査の方法と調査の経過	5
第1節 調査方法	5
第2節 調査の経過	6
第3節 整理の方法	8
第III章 遺跡の概要	10
第1節 基本層序と検出遺構・出土遺物	10
第2節 縄文時代の出土遺物	13
第IV章 遺跡の環境	16
第1節 遺跡周辺の地形及び地質について	16
第V章 中・近世の検出遺構	21
第1節 堀跡	21
第2節 溝跡	22
第VI章 縄文時代の検出遺構と遺物	23
第1節 竪穴住居跡	23
第2節 土坑	32
第3節 埋設土器	36
第4節 柱穴跡	39
第5節 遺物廃棄ブロック	41
1 縄文時代中期	41
(1) 第III層の調査	41
1) 概要	41
2) 土器	41
3) 石器	74
4) 土・石製品	149
ミニチュア土器	149
土偶	150
その他の土・石製品	152
2 縄文時代前期	153

(1) 第Ⅳ層の調査	153
1) 概要	153
2) 土器	153
3) 石器	202
4) 土・石製品	235
ミニチュア土器	235
土偶	236
その他の土・石製品	237
(2) 第Ⅴa層の調査	238
1) 概要	238
2) 土器	238
3) 石器	263
4) 土・石製品	310
ミニチュア土器	310
土偶	311
その他の土・石製品	312

# 第 I 章 調査に至る経過と調査要項

## 第 1 節 調査に至る経過

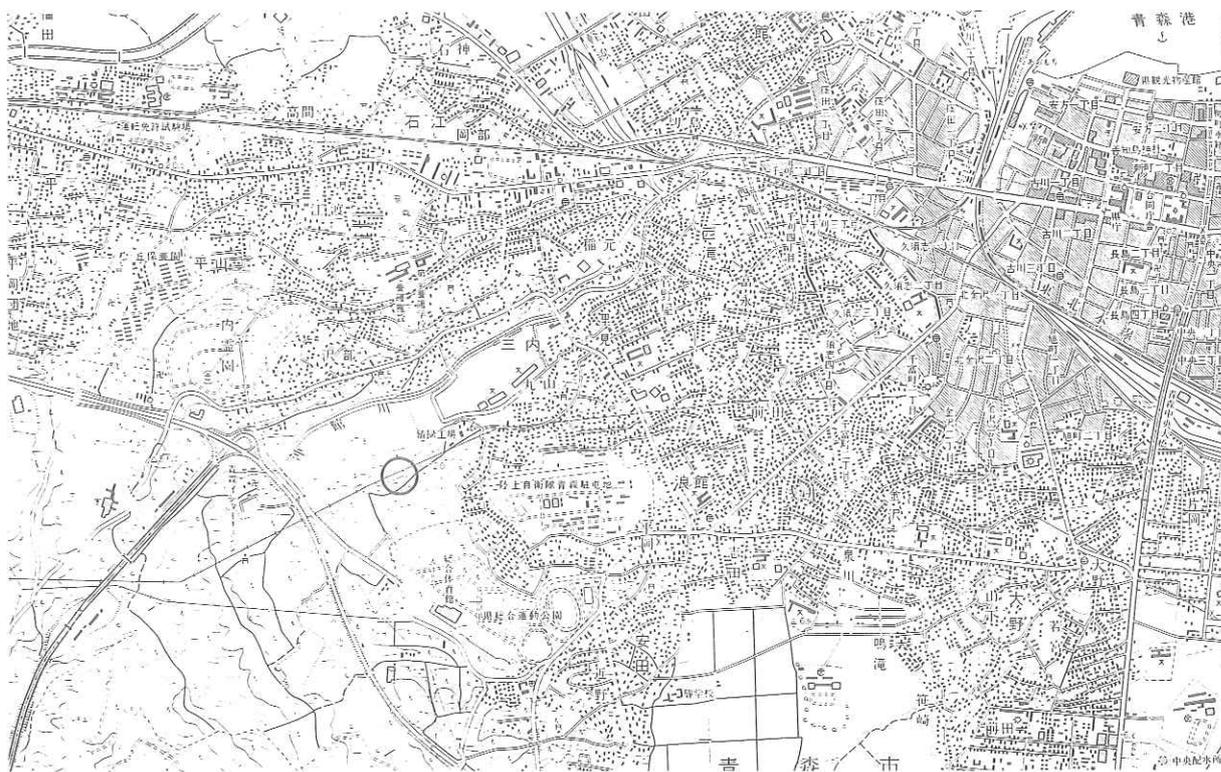
昭和52年に開催された「あすなる国体」の主会場として拡張整備された県総合運動公園も主要施設の老朽化が目立つようになり、さらに新しいスポーツ・レクリエーション需要に対応する施設整備の必要性も高まったことから、青森県は平成3年8月に県総合運動公園の拡張整備を決定した。

しかし、この予定地には三内丸山遺跡が所在するため、県土木部都市計画課と教育庁文化課は数度に渡って協議を行った。協議の結果、当初の計画通りに事業を進め、遺跡については発掘調査を行い、記録保存することになった。

発掘調査は野球場建設予定地と球技場建設予定地の2地点から開始することとし、当面用地買収、設計が進行していた野球場建設予定地を先行して着手した。合わせて、野球場建設に伴って予定地内の東北電力の高圧線鉄塔の移設が必要となり、その移設先3地点（それぞれ第6鉄塔地区、第7鉄塔地区、第8鉄塔地区と呼称）の調査を行うこととした。

第6鉄塔地区は沖館川に面した台地の北端の平坦部に位置する。発掘調査は平成4年8月上旬から開始した。調査開始直後、中世末から近世初頭と見られる堀跡が検出され、さらに先行トレンチを入れたところ、縄文時代中期の大量の土砂と遺物の廃棄、その下位から前期の泥炭層が検出された。泥炭層中には大量の遺物が廃棄されており、さらに動物遺体、植物遺体の微細遺物、骨角器、木製品等も出土し、調査は慎重を要した。そこで、調査期間を延長して対応することとし、最終的には平成5年7月下旬に、精査をようやく終了した。

(岡田 康博)



1 図 遺跡位置図

## 第2節 調査要項

### 1 調査目的

県営総合運動公園拡張事業に先立ち、当該地区に所在する三内丸山（2）遺跡の発掘調査を行い、その記録保存を図り、地域社会の文化財の活用に資する。

### 2 調査期間

平成4年8月1日から同年11月30日まで

平成5年4月20日から同年7月22日まで

### 3 遺跡名及び所在地

三内丸山（2）遺跡 第6鉄塔地区

青森市大字三内字丸山

### 4 調査面積

169平方メートル

### 5 調査委託者

青森県土木部

### 6 調査受託者

青森県教育委員会

### 7 調査担当機関

青森県埋蔵文化財調査センター

### 8 調査協力機関

青森市教育委員会、青東教育事務所

### 9 調査体制

平成4年度

調査指導員	村越 潔	弘前大学教授（考古学）
調査協力員	花田 陽悟	青森市教育委員会教育長
調査員	小山 陽造	八戸工業高等専門学校教授（分析化学）
	高島 成侑	八戸工業大学教授（建築史）
	赤沼 英男	岩手県立博物館専門学芸員（保存科学）
	市川 金丸	青森県立郷土館学芸課長補佐（考古学）

山口 義伸 青森県立板柳高等学校教諭 (地質学)  
高橋 潤 青森山田高等学校教諭 (考古学)  
奈良 昌毅 青森県立青森北高等学校教諭 (考古学)

調査担当者 青森県埋蔵文化財調査センター

主 査 岡田 康博  
主 事 三浦 孝仁、阿部 美杉、小笠原 雅行  
調査補助員 相馬 和徳、斎藤 慶吾、稲見 庸子、神 美雪、葛西真里子、  
穂元利美子、佐々木日登美、内田 祐子、北林 美香

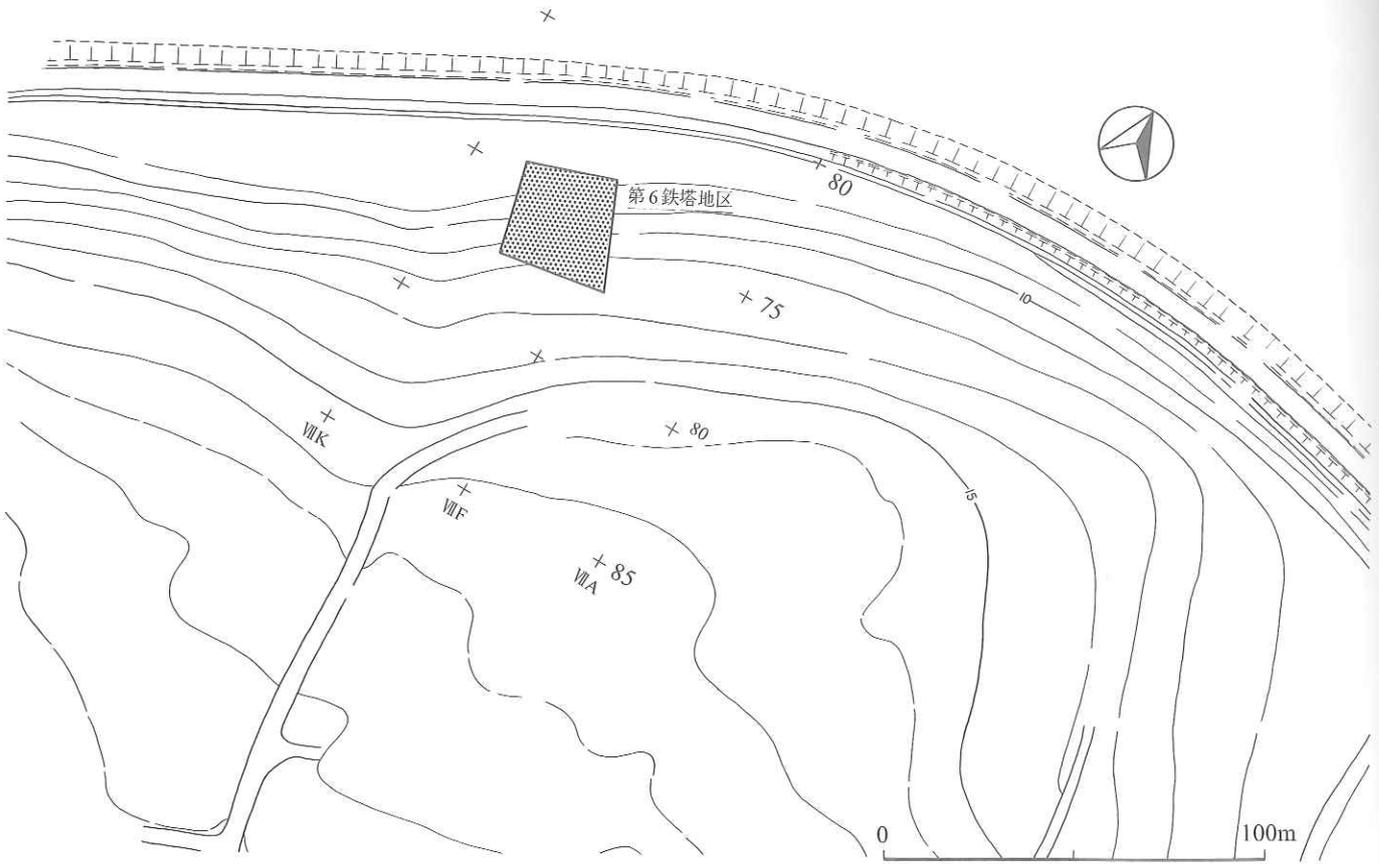
平成5年度

調査指導員 村越 潔 弘前大学教授 (考古学)  
調査協力員 花田 陽悟 青森市教育委員会教育長  
調 査 員 渡辺 誠 名古屋大学教授 (考古学)  
小山 陽造 八戸工業高等専門学校教授 (分析科学)  
高島 成侑 八戸工業大学教授 (建築史)  
西本 豊弘 国立歴史民俗博物館助教授 (動物考古学)  
辻 誠一郎 大阪市立大学助教授 (植物学)  
南木 睦彦 流通科学大学助教授 (植物遺体)  
清水 芳裕 京都大学助手 (考古学)  
赤沼 英男 岩手県立博物館専門学芸員 (保存科学)  
市川 金丸 青森県立郷土館学芸課長補佐 (考古学)  
山口 義伸 青森県立板柳高等学校教諭 (地質学)  
天間 勝也 平内町立茂浦小学校教頭 (考古学)  
葛西 励 青森山田高等学校主事教諭 (考古学)  
奈良 昌毅 青森県立青森北高等学校教諭 (考古学)

調査担当者 青森県埋蔵文化財調査センター

主 査 岡田 康博  
主 事 木村 真明、成田 悟、阿部 美杉、長瀬 昇、工藤 直樹、  
中村 哲也、小笠原 雅行  
調査補助員 相馬 和徳、小山 浩平、小野 彰仁、鈴木 義智、熊谷 雅順、  
三上 直人、秦 光次郎、長内 孝幸、近藤 輝美、神 美雪、  
葛西真里子、穂元利美子、内田 祐子、鹿内ふさ子、戸川 雅子、  
斎藤 昭子、中村 照子、佐藤 敬子、田沢由加里、森内 純子、  
成田由美子、大引 徳恵、館山 純子、堀内 珠枝、伊藤 菊乃、  
斎藤 光子

(岡田 康博)



2 図 第6鉄塔地区位置図

## 第Ⅱ章 調査の方法と経過

### 第1節 調査の方法

調査区は、旧野球場建設予定地に設定したものに準拠し、20m×20mの大グリッドに基づく4m×4mの小グリッドを設定した。

小グリッドは東から西へA、B、C…とアルファベット順に、北から南へ1、2、3…と算用数字を付し、北東隅の交点で呼称した。東西方向のアルファベットの使用は繰り返しとなるため、その前にローマ数字を付してある。なお、南北線は磁北を示している。ベンチマークは既設の工事用測量杭から引用し、必要に応じて原点移動を行った。

調査は、まずグリッドごと、層ごとに掘り進め、遺構の確認を行った。遺構の精査は、原則として二分法、四分法を採ることにしたが、堅穴住居跡は炉や床面の検出で確認できたり、土坑は柱穴の可能性もあるため、柱痕跡確認のため平面で全体的に掘り下げているものもあり、必ずしも統一されていない。遺構の平面図の作成は1/20を基本とし、状況に応じて1/10、1/40、その他とした。遺構番号は種類ごとに、旧野球場建設予定地内調査からの通し番号を付すこととした。

土層の名称は、標準土層については、表土から下位にローマ数字を、遺構内堆積土については上位から下位に算用数字を付すこととした。旧野球場建設予定地の基本層序と本調査区の層序では若干異なっており、基本層序との関係については、第三章第1節で述べる。

遺構外出土遺物の取上げは、グリッド単位・層単位で行い、必要に応じて平面図作成、レベルの記録を取った。

写真撮影は適宜行うこととし、カラーリバーサルとモノクロームの2種類のフィルムを使用することとした。

(小笠原 雅行)

## 第2節 調査の経過

平成4年8月初旬、雑草・雑木の刈り払いなどの環境整備や、調査区へのグリッド・ベンチマークの設定を行い、調査を開始した。

8月中旬には、第Ⅰ・Ⅱ層を除去した段階で堀跡、溝跡が確認され、直ちに精査に着手した。また、第Ⅲ層上面では、縄文時代中期後半の竪穴住居跡が検出された。これらの遺構精査は、9月中旬には終了した。この時期までは、ローム面が二次的な堆積によるものであることに気づかず、調査の終了が目前かと思われた。しかし、溝状に確認された黒色土の落ち込みが二次堆積ロームの下に落ち込む土層であることが判明し、トレンチで厚さを確認することとした。その結果、二次堆積ロームは縄文時代中期の遺物包含層であることが確認され、そのもっとも厚い部分では2.3mに達した。中には多量の遺物が包含されるとともに、炭化物、砂、焼土などが層を成して、斜面の傾斜に沿って堆積していた。この第Ⅲ層精査途中に、排土処理のためベルトコンベアを導入し、作業の省力化を図った。また、作業員を増員し、作業の迅速化を目指した。

10月中旬には中期の包含層の調査を終え、さらに下層へとトレンチを入れた。第Ⅲ層と第Ⅳ層の間には、酸化鉄の厚い層が形成されていた。前期の包含層は、円筒下層a式までの包含層が確認され、特に円筒下層b式期の第Ⅴb層では、厚さ10cm以上に及ぶ土器の堆積が確認され、調査が難航することが予想された。さらに、その下の第Ⅵ層からは樹皮、骨角器（骨製針）が出土し、泥炭層の存在が明かとなった。

11月上旬までには第Ⅳ層、第Ⅴa層の調査を終え、円筒下層b式土器が多量に出土する第Ⅴb層へと進んだ。調査区全面が土器で覆われた状況を示し、次々と出土する土器に、足の踏み場もないほどであった。調査は難航を極め、なかなか進まない状態であった。

調査期間は、本来は11月13日までの予定であったが、関係各機関と協議し、11月30日まで調査期間を延長することとした。しかしそれでも、予想以上の出土遺物量のため、調査を終了することが困難となり、また、泥炭層の存在から、木製品や動植物遺体などの有機質遺物の出土が考えられ、慎重な調査が求められた。そのため、再度、関係各機関と協議し、調査は次年度へと繰り越されることになった。

初年度の調査終了時には、調査区全面をシートで覆い、土嚢で固定し越冬することとした。この時点までの出土遺物の総量は、段ボール箱で1,000箱を越えた。

11月下旬、調査器材・出土遺物を搬出し、平成4年度の調査を終了した。

平成5年度は、旧野球場建設予定地は4月12日から調査を開始し、第6鉄塔地区は、4月20日に着手した。前年から引き続き、第Ⅴb層の調査から再開した。5月中旬には第Ⅴc層へと掘り進み、6月上旬には第Ⅵ層へと進んだ。この段階で湧水が激しくなり、トレンチ調査では有機質遺物が出土し始めた。そのため、種子・魚骨などの微細遺物に対応するため、土壌を全量回収し、水洗選別することにした。1辺4mのグリッドを4分割し、2m×2mを1単位として土壌及び遺物を層ごとに取り上げることにした。獣骨・魚骨、木製品などの出土も増加し、取上げに細心の注意を要するものもあった。特に編み物製品はウレタン等で固定して取り上げた。

7月上旬には、漆塗り皿型木製品も出土し、注目された。中旬には編み物製品を残し、すべての遺

物の取り上げを終了した。

7月22日、すべての作業を終了した。

最終的な出土遺物の量は段ボール箱で約2,000箱と、169㎡の小面積の割には膨大な出土量となった。

(小笠原 雅行)

### 第3節 整理の方法

室内整理は平成7年8月から同9年3月までの期間に青森県教育庁文化課三内丸山遺跡対策室松原分室で行った。以下、遺構と遺物について整理作業の手順を記載する。

#### 遺構

調査現場で記録した図面（原図）のグリッド・セクションポイント等の確認、標高の割り出しを行った。平面図・断面図を鉛筆トレースし、2次原図を作成した。断面図は、掲載上平面図の下側・右側に載せることとしたため、必要に応じて裏トレースしたものもある。土層注記は注記表に簡潔化した。

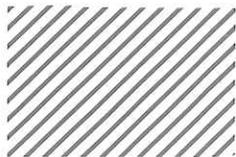
遺構の掲載に当たっては、北がページ上方になることを原則としている。本報告書の遺構のスケールは1/50を基本としている。ただし、場合によっては縮尺を変えているものもあるため、それぞれの図ごとにはスケールを付した。

遺構配置図は原図をもとに作成した。

なお、図中に使用したアルファベットは次のものを示す。

P……土器、 S……石器、 L、 B……ロームブロック

また、図中に使用したスクリーントーンは以下のものを表す。



地山



焼土

凡例1

#### 遺物

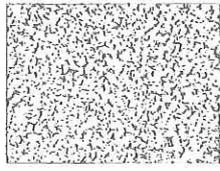
今回の調査で出土した遺物は、段ボール箱で約2,000箱分である。水洗い・注記・復元作業を行い選別後、実測または採拓を行った。

土器は径の1/3以上を復元し得たものについては、できるだけ実測図の作成を行った。実測図の作成しえた土器は619個体分である。また径の不明な破片は、遺物の時期の明確なものを中心に採拓を行った。

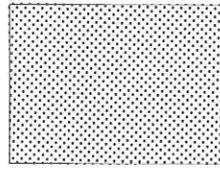
石器の実測図に使用したスクリーントーンについては、凡例2を参照されたい。

またこれらの遺物については掲載ページ下側に遺物観察表・計測表を付した。遺物のスケールは、土器は実測図が1/3、拓本が1/2.5、礫石器は1/3、磨製石斧・剥片石器は2/3、軽石・軽石製品は1/2である。

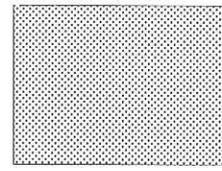
遺物写真撮影は、専門家に委託した。掲載時のスケールは約1/2、その他である。



磨 痕



敲打痕



光 沢

凡例 2

今回報告分の遺構原図および遺物は、県教育庁文化課三内丸山遺跡対策室松原分室で保管している。

(小笠原 雅行)

# 第Ⅲ章 遺跡の概要

## 第1節 基本層序と検出遺構・出土遺物

本調査区は、地形的には沖館川に面した台地斜面部に位置する。標高は、約12~14mである。旧地形は斜面から平坦面へと移行する部分である。

縄文時代中期の遺物包含層が非常に厚く、別地点であることから旧野球場建設予定地とは別な層序番号を付した。しかし三内丸山遺跡全体で見た場合、混乱を来すため、ここではそれぞれの層序の、旧野球場建設予定地との関係とその形成時期を示しておきたい(凡例3)。なお、旧野球場建設予定地の基本層序は、耕作土および中世までの堆積層である第Ⅰ層(第Ⅰa層から第Ⅰc層まで分層した)、縄文時代中期末葉(大木10式併行期)から平安時代ぐらいまでの第Ⅱ層(大木10式併行期の遺物包含層やT o - a、B - T mが含まれる)、縄文時代前期中葉(円筒下層b式)から中期後葉(最花式)にかけての第Ⅲ層、それ以前の第Ⅳ層に分層している。

本調査区では、第Ⅲ層以下は先行トレンチにより層序を確認しながら調査を行った。基本層序は、第Ⅰ層から第Ⅵ層まで分層し、部分によってはさらに細分し、小文字のアルファベットを付して呼称している層もある。以下、基本層序について述べる。

第Ⅰ層…表土層。黒色土を主体とする。旧野球場建設予定地の第Ⅰ層に相当する。

検出遺構は、本層除去後、堀跡・溝跡が確認される。また、出土遺物は縄文時代の遺物が若干出土した。

第Ⅱ層…色調、土質の縮まりの違いから第Ⅱa層と第Ⅱb層に細分した。両者を併せて記述する。第Ⅱa層は黒色土を主体とし、縮まりが非常に弱い。第Ⅱb層は暗褐色土を主体とし、縮まりが強い。両層とも旧野球場建設予定地の第Ⅱ層に相当し、年代的には縄文時代中期末葉(大木10式併行期)から平安時代ぐらいまでのものである。

この層での検出遺構はない。出土遺物は縄文時代の遺物、特に大木10式併行期の土器が量的に多く出土する。

第Ⅲ層…色調の違いにより、第Ⅲa層から第Ⅲd層まで細分した。さらに間層が入り、これを25層に細分した。しかし、調査段階の遺物の取上げは、土器の一括出土が見られた間層24を除き、第Ⅲ層一括で行い、調査後の土層断面観察によって分層したため、各層の形成時期は明確にはできない。以下、各層についてまとめて記述する。

第Ⅲa層から第Ⅲd層は炭化物をわずかに含むが、褐色ロームを主体とした非常に縮まりの強い土質である。一見するとローム層そのものに見える。間層は黒色土、炭化物、焼土、砂が入り交じった層も見られ、明瞭に細分できる。年代的には縄文時代前期終末(円筒下層d<sub>2</sub>式)から中期後葉(最花式)にかけてのもので、旧野球場建設予定地の第Ⅲ層に相当する。また、そこで検出された盛土遺構と土層断面を見ると類似する。しかし、遺構の立地が旧野球場では平坦面、本調査区では斜面と異なることから、「遺物包含層」と呼称する。検出遺構は、遺物包含層上面で検出した堅穴住居跡、土坑、埋設土器、ピットなどがある。また、縄文時代前期・中期の遺物が出土した。

第Ⅳ層…第Ⅲ層と本層の間には酸化鉄層が形成されている。本層は黒褐色土を主体とし、炭化物が層全体に2%程度混入する。斜面の傾斜に沿って堆積するが、斜面部から平坦面への屈曲部で土層の堆積が途切れる。旧野球場建設予定地の第Ⅲ層に相当する。

検出遺構はないが、縄文時代前期の遺物包含層となっており、円筒下層d1式から円筒下層b式の土器が出土しており、時期的には縄文時代前期中葉から末葉にかけてのものである。

第Ⅴ層…第Ⅴ層は第Ⅴa層から第Ⅴc層までの3層に分層した。以下、それぞれ記述する。

第Ⅴa層…黒褐色土を主体とし、粘性の強い土質である。炭化物が第Ⅳ層と同程度混入する。色調は第Ⅳ層よりやや明るく見える。層厚は20~40cmほどで、斜面部上部ほど厚く堆積し、平坦部への屈曲部で途切れる。旧野球場建設予定地の第Ⅲ層に相当する。

検出遺構は無く、縄文時代前期の遺物包含層となっている。時期的には円筒下層a式から円筒形b、式の土器が出土しており、縄文時代前期中葉のものである。

第Ⅴb層…黒褐色土を主体とし、炭化物が多量に、ロームブロックが少量混入する。色調はⅤa層よりやや暗い。30~40cmぐらいの厚さで調査区全体に堆積する。旧野球場建設予定地の第Ⅲ層に相当する。

大規模な遺物包含層となっており、層下部には厚さ約10cmにわたり土器の層が形成されている。出土遺物の時期は円筒下層b式のもので、層の形成時期も縄文時代前期中葉である。

第Ⅴc層…黒色土を主体とし、炭化物が多量に混入する。層厚は10~30cmで、平坦面に堆積する。湧水が増加する。旧野球場建設予定地の第Ⅲ層に相当する。

遺構は検出されないが、遺物包含層が形成されており、土器、石器、土・石製品のほかに骨角器も出土する。出土遺物の時期は円筒下層b式のものであり、層の形成時期も縄文時代前期中葉である。

第Ⅵ層…黒色土を主体とした層である。湧水は一層激しくなり、有機質遺物の出土も増加する。土色から第Ⅵa層・第Ⅵb層に分層した。以下、それぞれについて記述する。なお、この第Ⅵa・Ⅵb層とも土壌の全量回収を行い、微細な遺物の検出を目的とし、水洗選別を行った。

第Ⅵa層…黒褐色土を主体とした層で、第Ⅵb層とともに泥炭層が形成されている。炭化物、ローム粒が多量に混入する。層厚は10~25cmで、斜面部から平坦面にかけて堆積する。層上面にはニワトコの種子密集層、黄褐色粘土層が堆積する。土色、土質などから、旧野球場の第Ⅳ層に相当する。

遺構は検出されないが、遺物包含層が形成されている。出土遺物は土器、石器、土・石製品のほかに良好な状態で残存していた骨角器、少量の木製品、種実類などがある。

第Ⅵb層…黒色土を主体とした層で、ローム粒が少量、炭化物が多量に混入する。また、ロームブロック、青灰色粘土がブロック状に混入する。層厚は30~40cmで、平坦面にほぼ均一に堆積する。第Ⅵa層と同様、旧野球場建設予定地の第Ⅳ層に相当する。

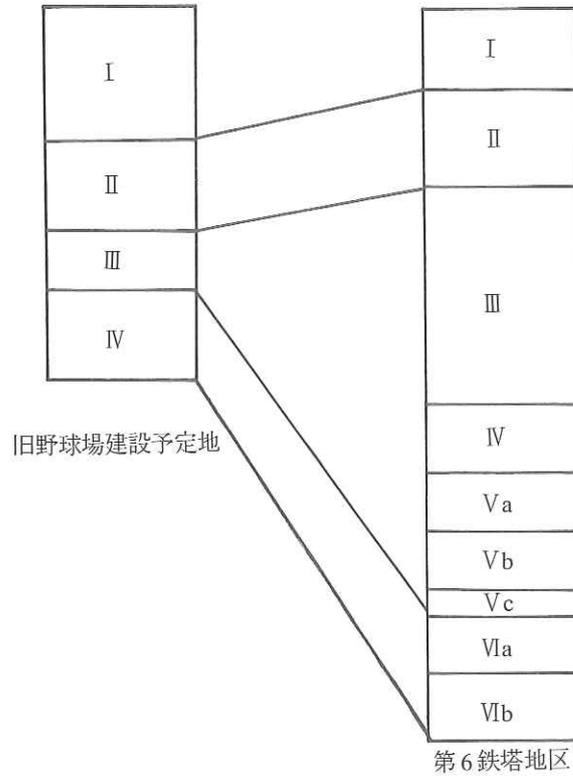
遺構は検出されないが、遺物包含層が形成されている。出土遺物は第Ⅵa層と同様である。

なお、第Ⅵb層以下の地山と判断した土層は、斜面部（崖部）は岡町層に相当する（第Ⅳ章参照）中粒砂質層である。しかし、平坦面は青灰色砂層で岡町層の上層に堆積する。この層の形成時期は確認できなかった。

本調査区で検出した遺構は、中・近世の堀跡1条、溝跡1条、縄文時代中期の竪穴住居跡4棟、土

坑7基、埋設土器2基、ピット26基、縄文時代前・中期の遺物包含層である。

(小笠原 雅行)



凡例3 層序対比概念図

## 第2節 縄文時代の出土遺物

### 1 土器について

土器はこれまでの編年・分類を参考として次のように分類した。ただし、今回の調査で多量に出土した円筒下層 a・b 式と円筒上層 a 式は、文様などからさらに細分類した。その分類基準についてはそれぞれの層の記載の中で述べる。

#### 第Ⅰ群 縄文時代草創期～早期

#### 第Ⅱ群 縄文時代前期

- 1 類 前期初頭に位置づけられる土器群
- 2 類 円筒下層 a 式に位置づけられるもの
- 3 類 円筒下層 b 式に位置づけられるもの
- 4 類 円筒下層 c 式に位置づけられるもの
- 5 類 円筒下層 d 式に位置づけられるもの  
さらに2つに細分する 1 d<sub>1</sub> 式、2 d<sub>2</sub> 式
- 6 類 1 から5 類で、時期の特定できないもの

#### 第Ⅲ群 縄文時代中期

- 1 類 円筒上層 a 式期に位置づけられるもの
- 2 類 円筒上層 b 式期に位置づけられるもの
- 3 類 円筒上層 c 式期に位置づけられるもの
- 4 類 円筒上層 d 式期に位置づけられるもの
- 5 類 円筒上層 e 式期に位置づけられるもの
- 6 類 1 から5 類で、時期を特定し得ないもの
- 7 類 榎林式以前に位置づけられる大木式土器系のもの
- 8 類 榎林式期に位置づけられるもの
- 9 類 最花・中ノ平Ⅲ式期に位置づけられるもの
- 10 類 大木10式併行期に位置づけられるもの
- 11 類 8 から10 類で、時期の特定できないもの

#### 第Ⅳ群 縄文時代後期

#### 第Ⅴ群 縄文時代晩期

#### 第Ⅵ群 弥生時代

#### 第Ⅶ群 古墳時代

#### 第Ⅷ群 古代

(小笠原 雅行)

### 2 石器について

第6 鉄塔地区からはダンボール箱で約65箱出土している。本地区は、2ヶ年にわたって報告書を刊行するが、各層ごとの石器の器種別の点数等については、平成9年度刊行予定の報告書で記述することとし、本報告書においては組成については記述していない。器種分類基準についても同様である。

なお、報告にあたっては下記のように行った。

(1) 石器の図示基準

定形石器については、破片資料を除き、概ね図示している。不定形石器及び礫石器についても主要なものは図示した。

(2) 記述順序と使用痕の表示

石器の分類・スクリーントーンの表示は三内丸山遺跡Ⅲ（青森県教委、1994）における分類・表示を基本にし、必要に応じて分類項目を付け加え、一部改変した。

記述及び図版組みは概ね石器の分類基準のアルファベットの順序にそっておこなったが、その順序に従っていない部分もある。

スクリーントーンは、敲磨器類は基本的に機能面のみ使用し、研磨加工、敲打による整形には使用しなかった。また、スクリーントーンで図示するのが適当でない判断される線状の傷を伴う敲打痕などの使用痕についてはスクリーントーンを用いていない。

軽石製品については、面取りされた部分を実線で示した。

(3) 光沢

光沢を持つ石器が多く、特定の器種及び部位に集中しているため、観察結果に基づき光沢認定を行い、スクリーントーンにより表示した。

ただし、光沢が石質によるものである可能性や、土中に埋まっている間に表面に生じた経年変化による可能性もある。そのため、光沢の石器部位における不均衡、再加工とみなされる剥離面の新旧部分に生じる不均衡に着目して認定した。

一様に光沢のみられる石器や弱い光沢に関しては表示しなかったものもある。光沢は相対的なものとして、石器の個体差を反映した形での認定を行った。

(4) 石器の接合

層を越える石器の接合については、最も下層の遺物が使用時に近接するものとみなし、その層のなかで取り扱った。石皿などにおける確実な同一個体も同様である。

なお、石核、剥片などの接合については、第Vc層に1個体図示したが一部の資料を限定的に試みて得られたものである。

(5) 分類

石器は次のように分類した

A類 石鏃

- a 有茎T基のもの
- b 有茎Y基 //
- c 尖基 //
- d 平基 //
- e 円基 //
- f 凹基 //

B類 石槍

- a 無茎のもの

b 有茎 //

C類 石匙

- a 縦型のもの（以下のd～eに該当するものを除く）
- b 横型のもの（ // ）
- c 斜型のもの（ // ）
- d 両面加工で石槍状の先端をもつもの
- e // 石錐状の //
- f 四角形の短辺部分に抉りをもち、長

- 辺部分を刃部とするもの
- g 細部加工がほとんど加えられないもの
- D類 石錐
- a 棒状のもの
- b つまみがあるもの（以下のcに該当するものを除く）
- c 先端のみつくりだしたもの
- d 石鏟を転用したもの
- E類 石篋
- a 短冊型のもの
- b 撥型 //
- F類 ピエス・エスキーユ
- G類 不定形石器
- a いわゆるスクレイパー類
- b // R. フレイク
- c // U. フレイク
- H類 石斧
- a 磨製石斧
- b 打製石斧
- I類 敲磨器類
- a 主に凹のあるもの
- b // 敲打痕 //
- c // 磨痕 //
- J類 半円状扁平打製石器
- K類 挟入扁平磨製石器
- L類 石皿・台石類
- M類 石棒
- N類 石錘
- O類 石冠
- P類 石核類
- a 石核
- b 原石
- c 剥片・碎片
- Q類 その他
- R類 異形石器
- S類 砥石
- a 楕円礫を素材とし、顕著な擦痕を持つもの
- b 扁平あるいは板状の礫を素材とするもの
- T類 軽石・軽石製品
- a 使用痕・加工痕の認められないもの
- b 使用痕・加工痕の認められるもの
- U類 角柱状の礫・礫石器
- a 使用痕・加工痕の認められないもの
- b 使用痕・加工痕の認められるもの
- V類 擦切具

(斎藤 岳)

## 第Ⅳ章 遺跡の環境

### 第1節 調査区域の地形及び地質について

青森県立板柳高等学校教諭 山口 義 伸

青森平野西方には火砕流堆積物からなる丘陵地が展開し、丘陵地北縁部を流れる沖館川流域には小規模ながら低位段丘の分布が認められる。三内丸山遺跡は青森市街地より約3 km南西方の沖館川南岸に分布し低位段丘に立地している。標高12~18 mであって、沖館川の河川敷とは比高約5~8 mの急な段丘崖で接している。本遺跡の南側には東流する小谷「南の谷」があつて、谷に向かう緩やかな傾斜面が認めれる。また、調査区域中央部には北端の段丘崖を侵食して北流する小谷「北の谷」があつて、谷頭付近に馬蹄状の侵食地形が発達している。なお、調査区域西側には標高25~30 mの中位段丘があつて、北西—南東方向の長楕円形を呈する小丘をなしている。下位の低位段丘とは比高10 m弱の急傾斜な段丘崖でもって接している(3図)。

第6鉄塔地区は沖館川に流れる「北の谷」の西方約100 mの段丘崖上にあつて、標高8~13 mの急傾斜面である。この地区付近での段丘面は標高15~18 mの平野部に向かう緩傾斜面であつて沖館川に約8 mの急崖で臨んでいる。「北の谷」以西における段丘崖は沖館川に向かってやや張り出すような形をなし等高線の間隔が多少粗い。特に、第6次試掘調査区域付近では急崖で沖館川に臨んでいるが、段丘面より一段低い西方への舌状の張り出しが認められる。なお、「北の谷」以東では段丘面の縁がやや湾曲し等高線の間隔も狭くより急峻である。一方、北岸は沖館川に向かう緩傾斜面となっていることから判断すると、沖館川の流路は本遺跡の立地する南岸寄りに中心があつて攻撃斜面としての要素をもち、「北の谷」以東はより大きく侵食されていたものと思われる。

第6鉄塔地区からは縄文時代前期~中期の遺物が多量に出土し、遺物廃棄ブロックとして検出された。このような遺物廃棄ブロックは「北の谷」の谷底から検出された縄文時代前期の遺物廃棄ブロックや馬蹄状の侵食地形の西半部における縄文時代中期の盛り土遺構及び「南の谷」の北側斜面の一部に見られる縄文時代中期の盛り土遺構など、段丘面に谷頭をもつ「北の谷」及び「南の谷」周辺でのみ検出されていた。「北の谷」東縁の段丘崖に位置する第7鉄塔地区では遺物廃棄ブロックが検出されなかったが段丘面の縁から縄文時代中期のフラスコ状土坑が検出されている。段丘崖から検出された遺物廃棄ブロックは「北の谷」以西では第6鉄塔地区を含め第6次試掘調査区でも確認されている。地形的にみて、第6次試掘調査区も「北の谷」同様に沖館川に注ぐ小谷の傾斜面と考えられることから、その小谷から「北の谷」以西の段丘崖沿いにかけては上述の遺物廃棄ブロックが検出される可能性がある。

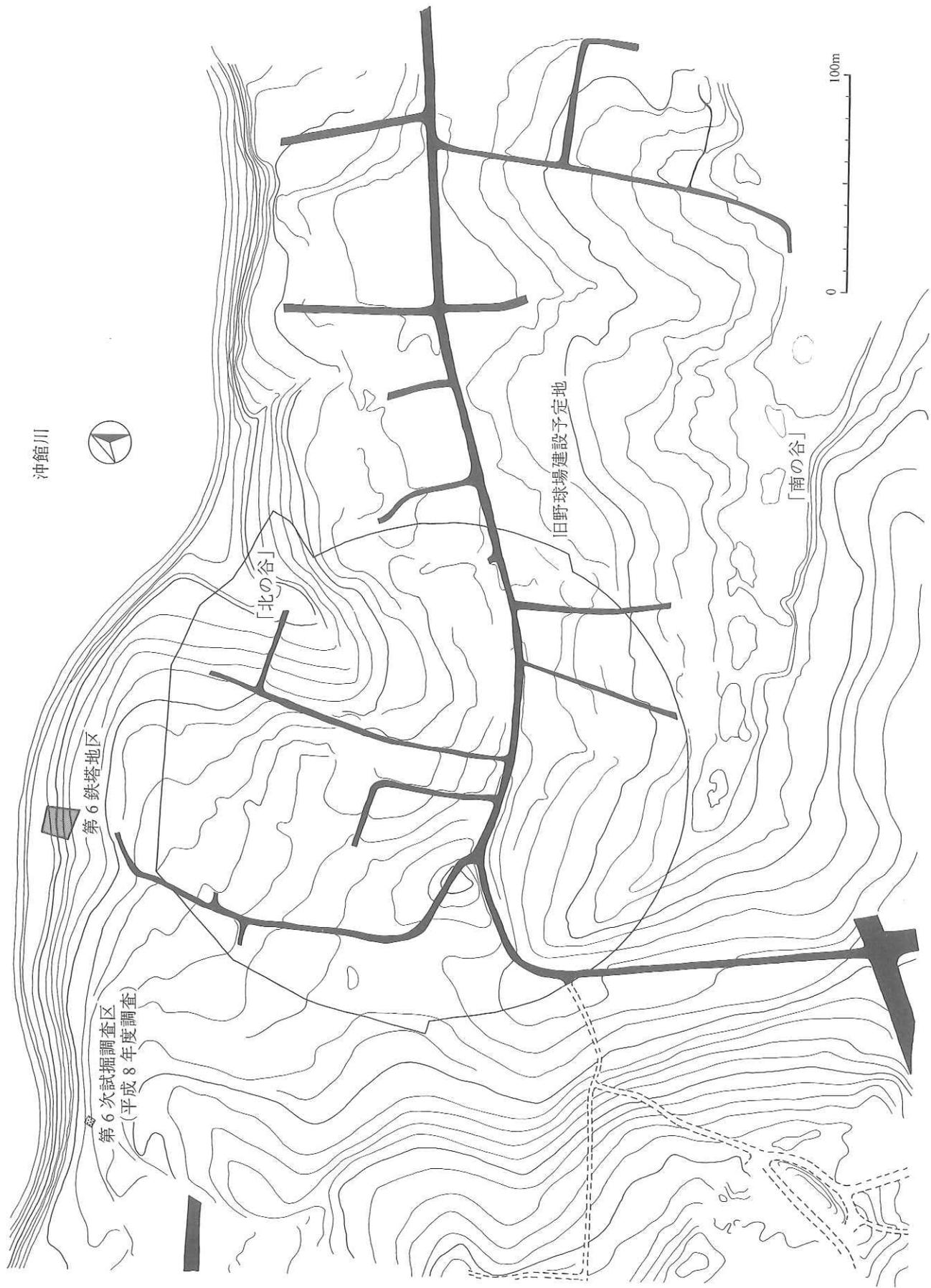
ところで、第6鉄塔地区での遺物廃棄ブロックを構成する土層の堆積状況をみると、段丘崖に露出する低位段丘構成層である岡町層を覆うように沖館川に大きく傾斜して堆積している(4図)。この堆積土はほぼ中位にみられる褐鉄鉞層で2分される。褐鉄鉞層は斜面上部では欠落するが層相から境界部を追跡することができ、土層断面図から判断して第Ⅳ層を斜面側から断面中央部にかけて大きく

侵食し波打ちながら沖館川に緩傾斜している。第Ⅳ層の侵食面が自然の崩落か人為的な削平によるかは不明であるが、この層を境にして出土遺物に時期差が認められる。下部は黒色～黒褐色を呈する泥炭質な堆積物（第Ⅳ層～第Ⅵ層）で、中部（第Ⅵ層上部）には黄白色粘土が薄く層状に堆積している。全体的にみて沖館川側ではほぼ水平に堆積するが、傾斜面では暗褐色～黒褐色土であって沖館川側に大きく傾斜している。軽石粒・粘土粒及び炭化物の混入量が多く斜面側で顕著である。第Ⅵ層上部にニワトコ種子の密集層が確認されるなど縄文時代前期の遺物が層状に密集し、遺物廃棄ブロックとして検出された。なお、泥炭層下位には青灰色中～粗粒砂層が堆積し遺物は認められなかった。一方、上部は軽石粒・ロームブロック・炭化物・焼土粒などを含む暗褐色土層（第Ⅲ層）で全体的にはあまり粘土化していない。主に縄文時代中期の遺物が密集することから、第Ⅲ層は、廃棄行為が沖館川に向かって繰り返されたために段丘崖を前進させるように形成された人為的な盛り土と思われる。特に、土層断面図の沖館川側には厚さ1 mにも及ぶ間層が縞模様をなして堆積し、全体的に20～30°と大きく傾斜している。

なお、低位段丘を構成する岡町層は遺物を包含する堆積土とは相違して、黄灰色～黄褐色の成層した中粒砂層で薄層状の砂礫層が挿入されている。

#### 引用・参考文献

三内丸山（2）遺跡Ⅱ 1994 青森県教育委員会 県埋文報第157集

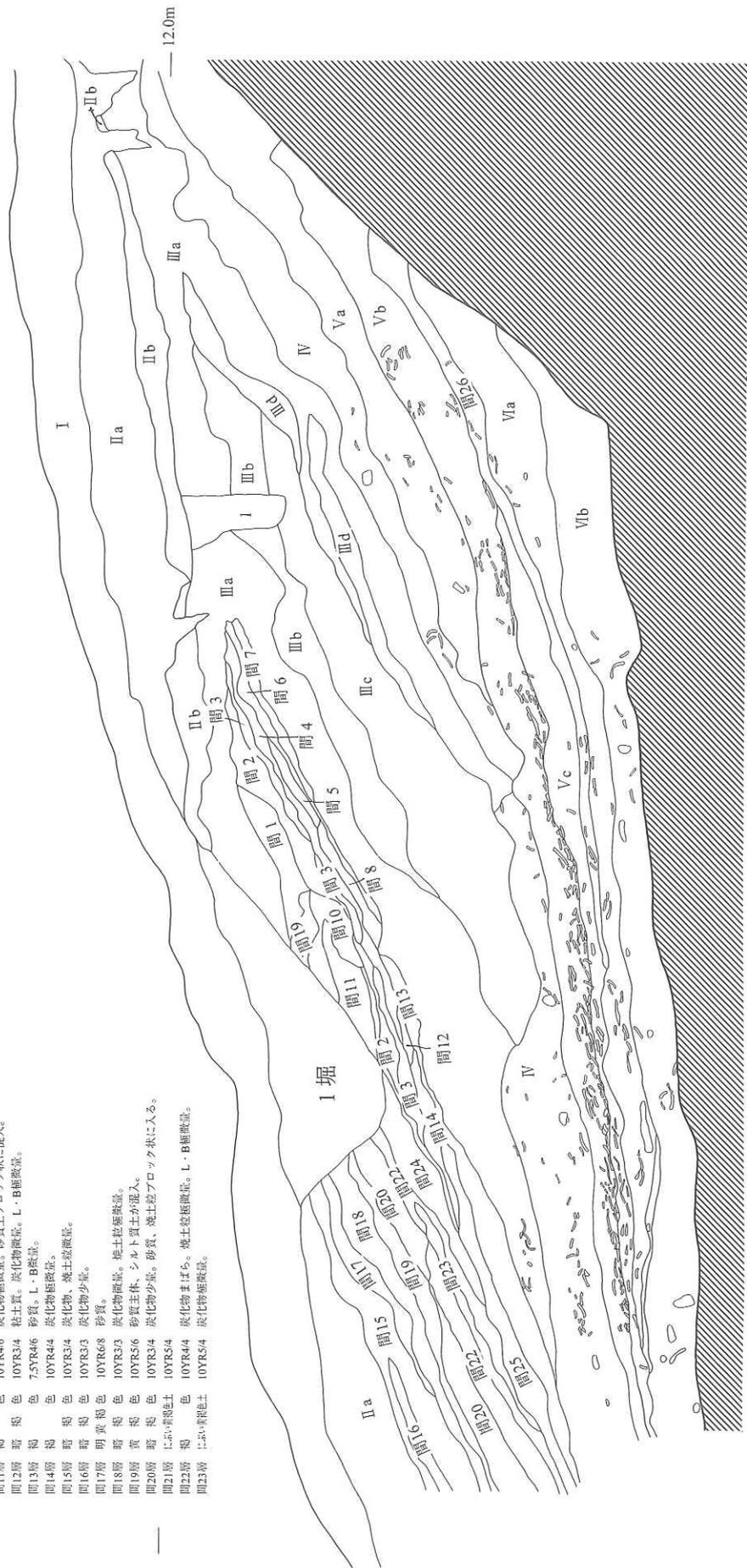


3 図 遺跡北地区地形図

土層注記

- 第1層 褐色 10YR2/1 L・B、腐敗量。
- 第2層 褐色 10YR2/2 L・B、少量、炭化物極微量。
- 第3層 暗褐色 10YR3/4 L・B、炭化物極微量。
- 第4層 暗褐色 10YR3/3 炭化物少量。
- 第5層 暗褐色 10YR3/4 L・B、炭化物極微量。
- 第6層 暗褐色 10YR3/3 炭化物極微量。
- 第7層 暗褐色 10YR3/4 L・B、炭化物極微量。
- 第8層 暗褐色 10YR3/3 炭化物、焼土粒極微量。
- 第9層 暗褐色 10YR3/4 L・B、炭化物極微量。
- 第10層 暗褐色 10YR3/3 炭化物、焼土粒、L・B、白色粘土塊極微量。
- 第11層 暗褐色 10YR3/4 炭化物極微量、砂質土ブロック状に混入。
- 第12層 暗褐色 10YR3/4 粘土質、炭化物極微量、L・B極微量。
- 第13層 暗褐色 7.5YR4/6 砂質、L・B極微量。
- 第14層 暗褐色 10YR4/4 炭化物、焼土粒極微量。
- 第15層 暗褐色 10YR3/3 炭化物、焼土粒極微量。
- 第16層 暗褐色 10YR3/3 炭化物極微量。
- 第17層 暗褐色 10YR3/3 炭化物極微量、焼土粒極微量。
- 第18層 暗褐色 10YR3/3 炭化物極微量、焼土粒極微量。
- 第19層 暗褐色 10YR3/3 炭化物極微量、焼土粒極微量。
- 第20層 暗褐色 10YR3/4 砂質、焼土粒ブロック状に入る。
- 第21層 暗褐色 10YR3/4 炭化物少量、砂質、焼土粒ブロック状に入る。
- 第22層 暗褐色 10YR4/4 炭化物まばら、焼土粒極微量、L・B極微量。
- 第23層 暗褐色 10YR5/4 炭化物極微量。

- 第24層 暗褐色 10YR4/6 炭化物極微量。
- 第25層 暗褐色 10YR4/3 炭化物極微量。
- 第26層 暗褐色 10YR2/3 炭化物極微量。
- 第27層 暗褐色 10YR2/2 炭化物極微量、IV層よりも色調が明るい。
- 第28層 暗褐色 10YR2/1 炭化物多量、L・B、極量。
- 第29層 暗褐色 10YR4/2 ニフトコ種子主体、上部に黄白色粘土、炭化物極微量混入。
- 第30層 暗褐色 10YR2/2 L・B、少量、炭化物極微量。
- 第31層 暗褐色 10YR2/1 L・B、少量、VIa層に比べ色調が暗く、炭化物の混入割合がやや多い。



4 図 第6鉄塔地区基本層序



5 図 第 6 鉄塔地区遺構配置図

# 第V章 中・近世の検出遺構と遺物

## 第1節 堀 跡

### 第1号堀跡(第5～6図)

〔位置と確認〕 VII F-74～VII G-77に位置する。第II層上面で溝状に黒色土の落ちみ込を確認した。

〔重複〕 第42号竪穴住居跡、第142号土坑、第167号土坑、第257号土坑と重複し、いずれの遺構よりも新しい。

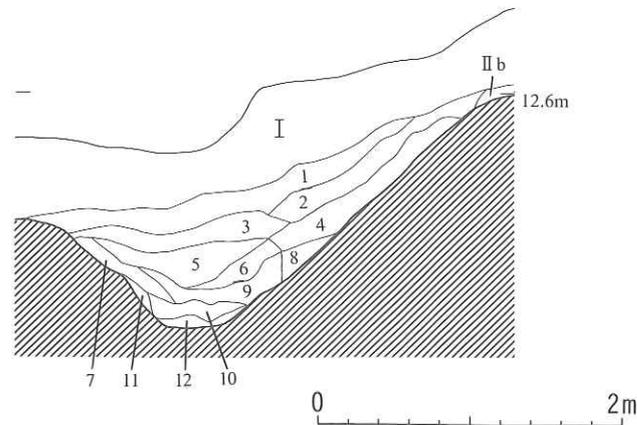
〔平面形・規模〕 調査区東壁から、南壁へ向かって緩やかな「く」の字状に屈曲しながら延びる。規模は上幅で1 m63cm～2 m52cm、下幅で47cm～1 m05cmである。深さは85cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに外傾しながら直線的に立ち上がる。底面は平坦で、東側へ向かって低く傾斜する。

〔堆積土〕 黒褐色、茶褐色土を主体とし、ロームが部分的に多量に混入する。

〔出土遺物〕 時期を決定できる出土状況を示す遺物の出土はない。

(小笠原 雅行)



第I層		
第II層		
第1層	10YR3/2	黒褐色土
第2層	10YR3/3	暗褐色土
第3層	10YR4/3	にぶい黄褐色土 炭化物粒極微量混入。
第4層	10YR4/4	褐色土 L・Bブロック状に含む。
第5層	10YR3/2	黒褐色土 L・B微量。
第6層	10YR3/3	暗褐色土 L・B極微量。
第7層	10YR2/2	黒褐色土
第8層	10YR4/6	褐色土 ローム主体。
第9層	10YR3/3	暗褐色土
第10層	10YR4/6	褐色土 ローム主体。
第11層	10YR3/2	黒褐色土 炭化物粒極微量混入。
第12層	10YR3/3	暗褐色土 L・B微量。

6図 第1号堀跡セクション

## 第2節 溝 跡

### 第29号溝跡(5図)

[位置と確認] VIIH-75~76に位置する。第Ⅲ層上面で確認した。

[重複] 第42号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 南北に延びる。上幅約70cm前後、下幅30cm前後である。深さは約20cm前後である。

[堆積土] 黒色土を主体とし、自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

(小笠原 雅行)

# 第Ⅵ章 縄文時代の検出遺構と遺物

## 第1節 竪穴住居跡

### 第40号竪穴住居跡（7図）

〔位置と確認〕 VII F-75~76に位置し、遺物包含層である第Ⅲ層上面を精査中、石囲炉の検出によって確認した。

〔重複〕 第41号竪穴住居跡と重複し、本住居跡が新しい。

〔平面形・規模〕 楕円形を呈すると思われる。推定規模は長軸2 m40cm、短軸は2 mである。

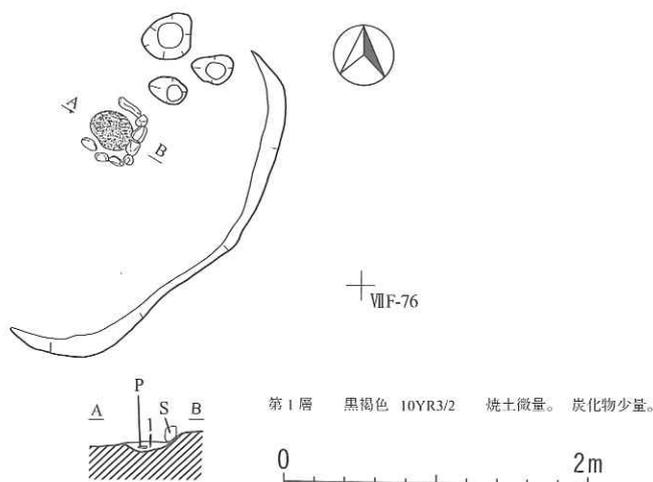
〔壁・床面〕 壁・床とも、東側を一部確認したのみである。壁は外傾しながら緩やかに立ち上がる。壁高は残存部では約3 cmである。床は堅緻である。

〔柱穴〕 住居内からは、ピットが3個検出された。ピットの深さはP<sub>1</sub>…13cm、P<sub>2</sub>…25cm、P<sub>3</sub>…11 cmである。

〔炉〕 床面のほぼ中央に石囲炉が検出された。「コ」の字状に残存しており、内部は焼土、炭化物がわずかに混入する。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 最花式期の第41号竪穴住居跡より新しい。



7図 第40号竪穴住居跡

#### 第41号竪穴住居跡（8図～10図）

〔位置と確認〕 VII F-75～76に位置し、遺物包含層である第Ⅲ層上面を精査中に確認した。

〔重複〕 第1号堀跡・第40号竪穴住居跡と重複し、本住居跡がもっとも古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不明であるが、楕円形を呈すると考えられる。推定規模は長軸2 m80cm、短軸は2 m50cmである。

〔壁・床面〕 壁は東～南側で確認した。壁高は約10cm程度である。床面はほぼ平坦で、最も新しい段階の炉の周囲には貼床が施される。

〔壁溝〕 南東側に長さ約1 m、幅15cm、深さ12cmの壁溝を確認した。

〔柱穴〕 炉A、Bを確認した段階で、住居南寄りから3個、炉の付近から2個、ピットを確認した。それぞれの深さは、P<sub>1</sub>…22cm、P<sub>2</sub>…47cm、P<sub>3</sub>…5 cm、P<sub>4</sub>…51cm、P<sub>5</sub>…35cmである。また炉A、B完掘後、薄く貼床を剥がした段階で、さらにピットを4個確認した。それぞれの深さは、P<sub>6</sub>…10cm、P<sub>7</sub>…48cm、P<sub>8</sub>…45cm、P<sub>9</sub>…43cmである。いずれの炉に伴うかは確認できなかった。

〔炉〕 住居跡のほぼ中央から土器埋設炉が1基（炉A）、その南側から土器片敷炉が1基（炉B）、土器片敷炉の下から地床炉（炉C）土器、埋設炉の北側から地床炉（炉D）、炉Aと炉Cの間から地床炉（炉E）の計5基が検出された。炉内の堆積土には、いずれも焼土、炭化物が多量に含まれる。これらの重複関係は、炉Aが他の周囲の炉に貼床を施して作られ、最も新しい段階のものと判断される。

また、埋設された土器の周囲には白色粘土が貼られている。この貼床を剥ぐと、炉Bが確認され、さらにその下から炉Cが確認された。炉Dは、土器埋設炉の北側の貼床を除去した後に確認した。炉C掘り方完掘後確認した炉Eと合わせて、少なくとも4段階、あるいは5段階の造り替えが想定される。なお、地床炉C、Eには掘り方が確認された。

〔出土遺物〕 炉から埋設土器が、土器敷炉、床面、堆積土から第Ⅲ群9類土器が出土した。

〔時期〕 出土遺物から、最花式期と考えられる。

#### 第42号竪穴住居跡（11図）

〔位置と確認〕 VII H-75～76に位置する。第29号溝跡精査中に石囲炉と、床面を確認した。

〔重複〕 第1号堀跡・第29号溝跡と重複し、本住居跡が最も古い。

〔平面形・規模〕 東側は堀跡、西側は自然の崩落によって残存しないため、平面形は不明であるが、円形ないしは楕円形を呈するものと考えられる。規模は残存部が径4 m50cmほどである。

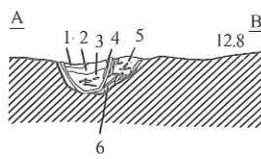
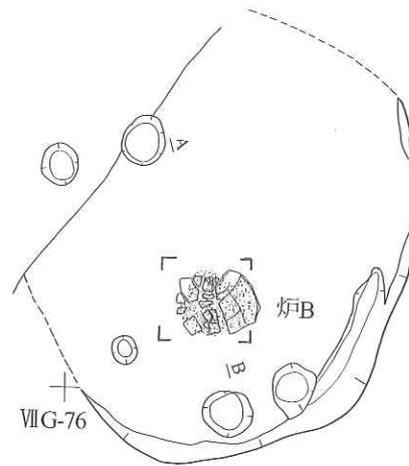
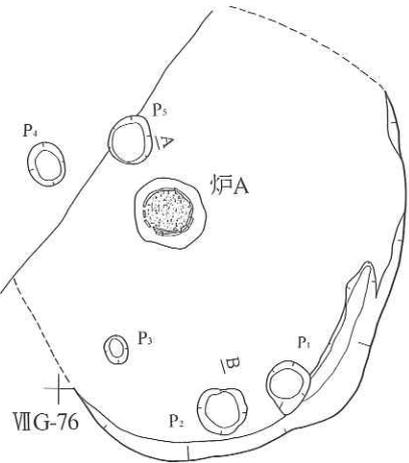
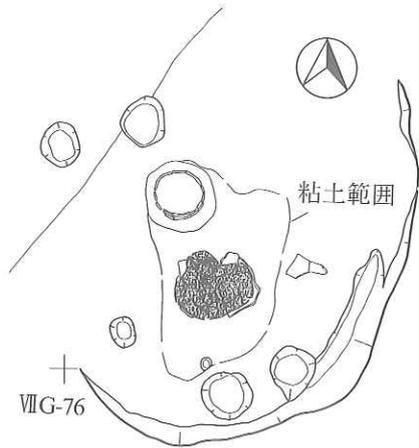
〔壁・床面〕 壁は残存していない。床は貼床が施され、堅緻である。

〔壁溝〕 北東側に幅約20cm、深さ15cmほどの壁溝を確認した。また、南側にも壁溝と見られる溝を確認した。

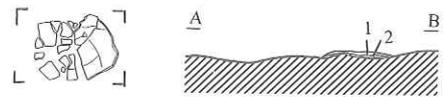
〔柱穴〕 ピットは6個検出した。それぞれの深さは、P<sub>1</sub>…49cm、P<sub>2</sub>…48cm、P<sub>3</sub>…44cm、P<sub>4</sub>…21cm、P<sub>5</sub>…10cm、P<sub>6</sub>…49cmである。

〔炉〕 床面はほぼ中央から石囲炉を検出した。溝により壊された部分を除いて、「コ」の字状に石が配列される。炉内には焼土が堆積している。

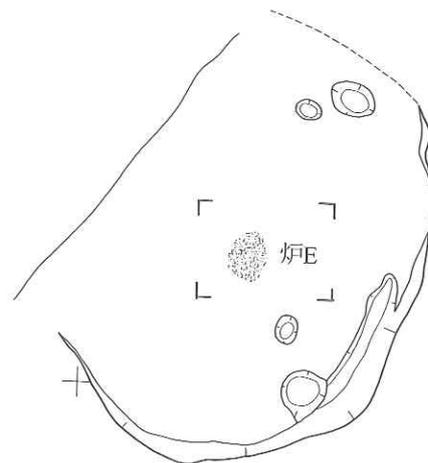
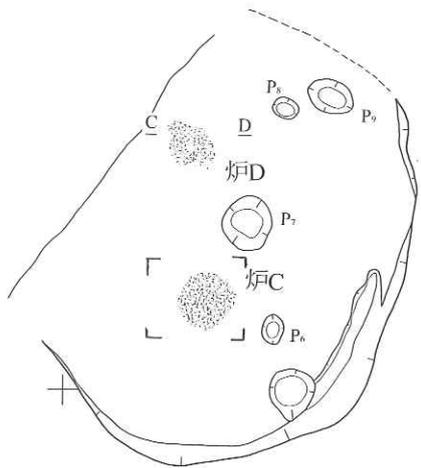
〔その他の施設〕 本住居跡に伴うものか不明な点もあるが、住居北側から径75×64cm、深さ90cmの



**炉A**  
 第1層 黒褐色土 10YR3/2  
 第2層 赤褐色土 5YR4/8 焼土。しまり強く硬い。  
 第3層 黄褐色土 10YR5/6  
 第4層 黒褐色土 10YR2/3 攪乱土層。  
 第5層 赤褐色土 10YR4/8  
 第6層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物微量。



**炉B**  
 第1層 褐色土 10YR4/6 焼土(5YR5/8)塊が上部に混入。  
 第2層 暗褐色土 10YR3/3



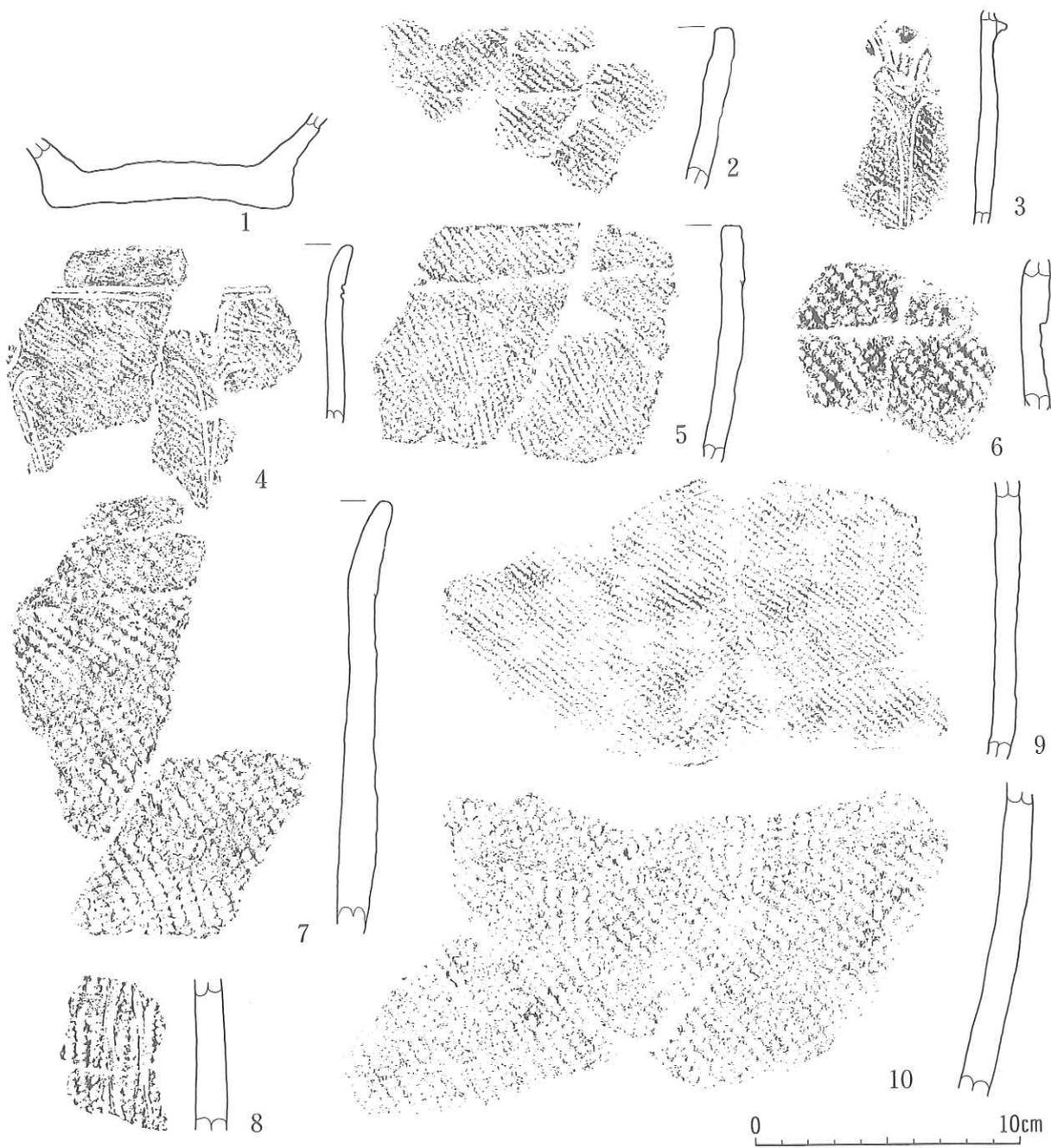
**炉D**  
 第1層 赤褐色土 5YR4/6 焼土層。炭化物が少量。

炉C 掘方

炉E 掘方

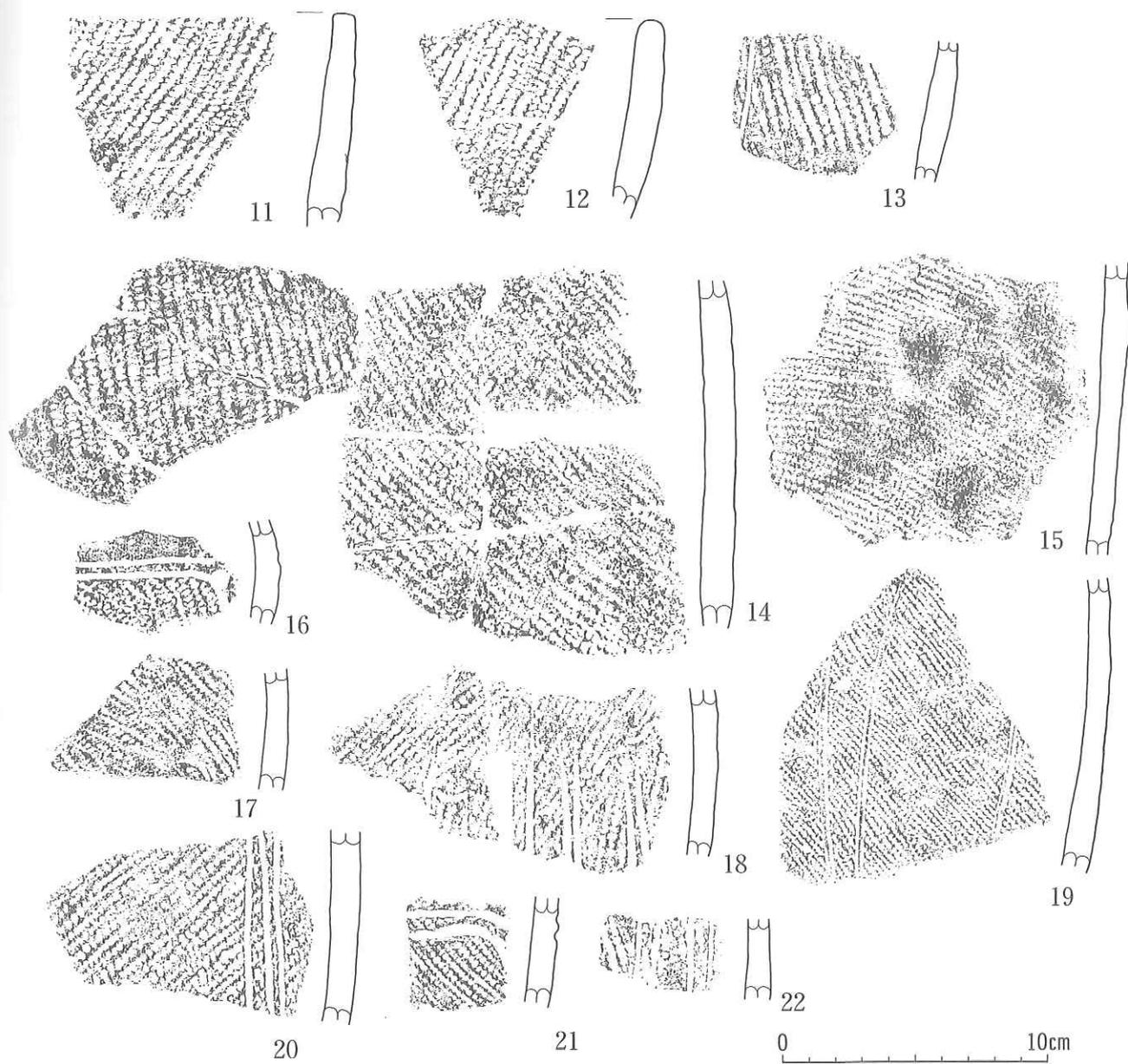
0 2m

8 図 第41号竪穴住居跡



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
1	41住炉A	埋設炉			RL			Ⅲ-11	
2	〃	堆積土	折返口縁 RL			ミガキ		Ⅲ-11	
3	〃	〃	ボタン状貼付 沈線	RL 沈線		〃		Ⅲ-9	
4	41住炉B	土器敷炉	無文 沈線	RL 沈線				〃	
5	〃	〃	折返口縁 RL			ミガキ		Ⅲ-11	
6	〃	〃	〃			〃		〃	
7	〃	〃	〃					〃	
8	〃	〃		RL 沈線		ミガキ		Ⅲ-9	
9	〃	〃			RL	〃		Ⅲ-11	
10	〃	〃			〃	〃		〃	

9 図 第41号竪穴住居跡出土遺物 (1)



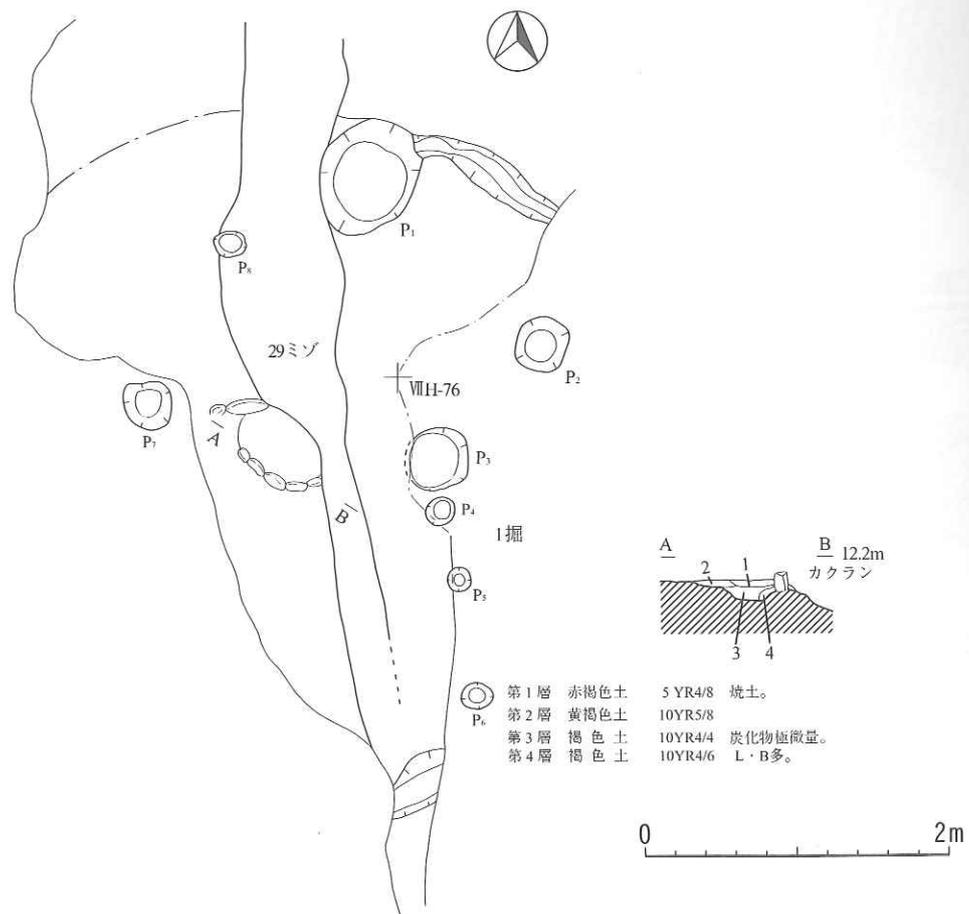
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
11	41住	床面	折返口縁 RL			ミガキ		Ⅲ-11	P-1
12	〃	〃	〃 LR			〃		〃	P-1
13	〃	〃		RL 沈線		〃		〃	P-7
14	〃	〃			RL	?			P-2
15	〃	P <sub>1</sub> 堆積土			〃	ミガキ		〃	
16	〃	床直	無文、沈線、刺突	RL 沈線		〃		Ⅲ-9	P-6
17	〃	〃			RL	〃		Ⅲ-11	P-3
18	〃	堆積上		LR 沈線		〃		Ⅲ-9	
19	〃	〃		RL 沈線		〃		〃	
20	〃	〃		LR 〃		〃		〃	
21	〃	〃		RL 〃		?		〃	
22	〃	〃		〃 〃		〃		〃	

10図 第41号竪穴住居跡出土遺物(2)

ピットが検出された。

[出土遺物] 出土しなかった。

[時期] 炉の形態と確認状況から、縄文時代中期後葉以降の所産と考えられる。



11図 第42号竖穴住居跡

#### 第43号竪穴住居跡 (12図)

[位置と確認] VII F-76に位置する。第Ⅲ層の包含層精査中に床面の一部を確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] ともに不明である。

[壁・床面] 壁は確認できなかった。床は貼床部分のみ確認した。床面は堅緻である。

[柱穴] 貼床内とその付近からピットを2個検出した。深さはP<sub>1</sub>…14cm、P<sub>2</sub>…35cmである。

[炉] 確認できなかった。

[出土遺物] 床面から第Ⅲ群3類土器が出土した。

[時期] 床面出土遺物から、円筒上層c式期と考えられる。

#### 第73号竪穴住居跡 (13図)

[位置と確認] VII H-76に位置する。第Ⅲ層の包含層精査中に床面の一部を確認した。掘り方を持つ炉と周辺に柱穴状のピットを確認したことから、竪穴住居跡と判断した。

[平面形・規模] ともに不明である。

[壁・床面] ともに確認できなかった。

[柱穴] 炉の付近から3個のピットを確認した。深さはP<sub>1</sub>…34cm、P<sub>2</sub>…30cm、P<sub>3</sub>…36cmである。

[炉] 32×30cmの焼土の広がりをもつ地床炉を確認した。平面形が焼土範囲とほぼ同規模で、深さ6cmの掘り込みを確認した。

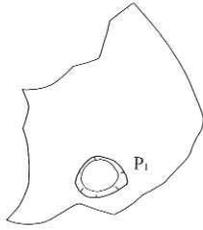
[出土遺物] 出土しなかった。

[時期] 確認状況から、縄文時代中期と考えられる。

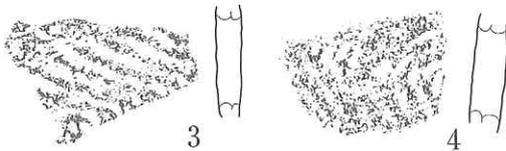
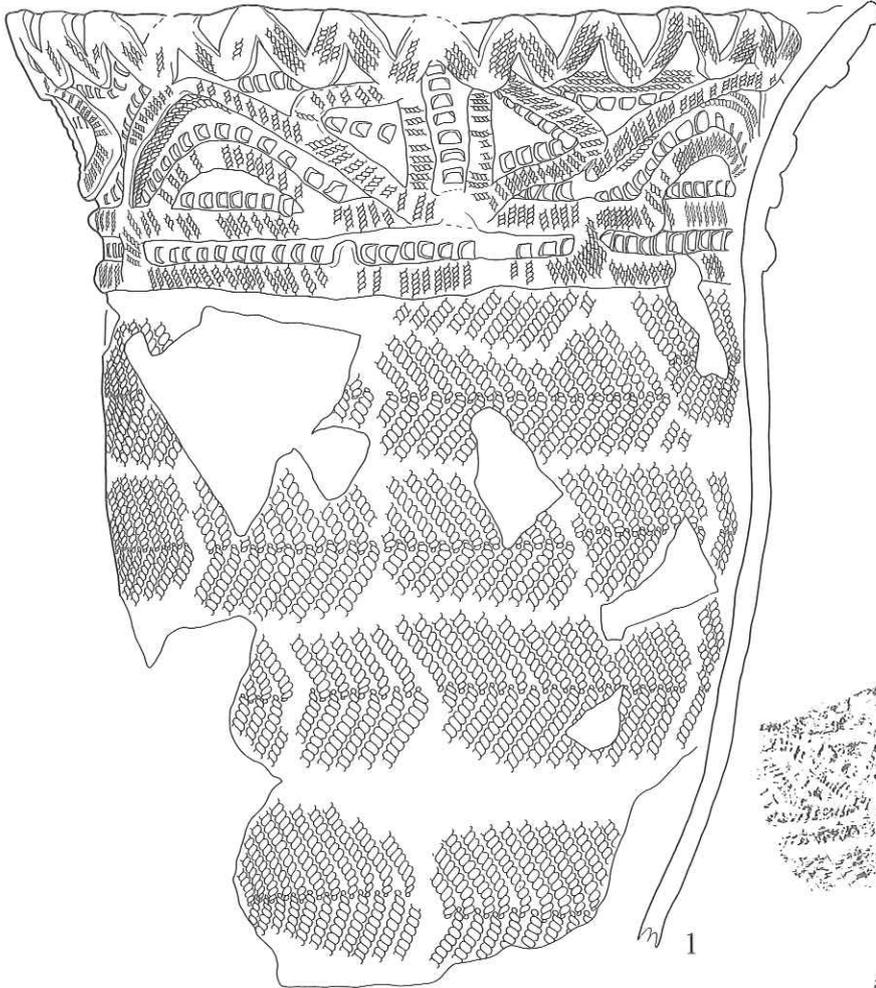
(小笠原 雅行)

ⅦG-76

ⅦF-76



0 2m



0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	43住	床面	貼付、L押圧、刺突	結束第一種		ミガキ		Ⅱ-3	
2	〃	〃	〃 〃 〃	〃		〃		Ⅱ-6	
3	〃	〃	〃 〃 〃	〃		〃		〃	
4	〃	〃	〃 〃 〃	〃		〃		〃	

12図 第43号竪穴住居跡



13図 第73号竪穴住居跡

## 第2節 土 坑

### 第141号土坑 (14図)

[位置と確認] VII G-76に位置する。包含層精査中に確認した。

[重複] 第142号土坑と重複し、新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 不整円形を呈する。規模は74×63cm、深さ63cmである。

[壁・底面] 壁は外傾しながら立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

[堆積土] 柱痕跡を確認するため平面的に下げたため、セクションは取っていない。堆積状況は自然堆積とも人為堆積とも判断できない。

[出土遺物] 出土しなかった。

[時期] 包含層中で確認しており、縄文時代中期と考えられる。

### 第142号土坑 (14図)

[位置と確認] VII G-76に位置する。包含層精査中に確認した。

[重複] 第1号堀跡・第141号土坑と重複し、前者より古く、後者との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 楕円形を呈する。規模は50cm×34cm、深さ57cmである。

[壁・底面] 壁は外傾しながら立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

[堆積土] 柱痕跡を確認するため平面的に下げたため、セクションは取っていない。堆積状況は自然堆積とも人為堆積とも判断できない。

[出土遺物] 出土しなかった。

[時期] 包含層中で確認しており、縄文時代中期と考えられる。

### 第163号土坑 (14図)

[位置と確認] VII F-76に位置する。包含層精査中に確認した。

[重複] 第164号土坑と重複し、本土坑が古い。

[平面形・規模] 不整楕円形を呈する。規模は1 m23cm×1 m06cm、深さ57cmである。

[壁・底面] 壁は東側では外傾しながら立ち上がり、西側では袋状となる。底面にはやや凹凸が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。全体的に炭化物、ロームブロックが混入する。

[出土遺物] 堆積土中から縄文土器片が出土した。

[時期] 包含層中で確認しており、縄文時代中期と考えられる。

### 第164号土坑 (14図)

[位置と確認] VII F-76に位置する。包含層精査中に確認した。

[重複] 第163号土坑と重複し、本土坑が新しい。

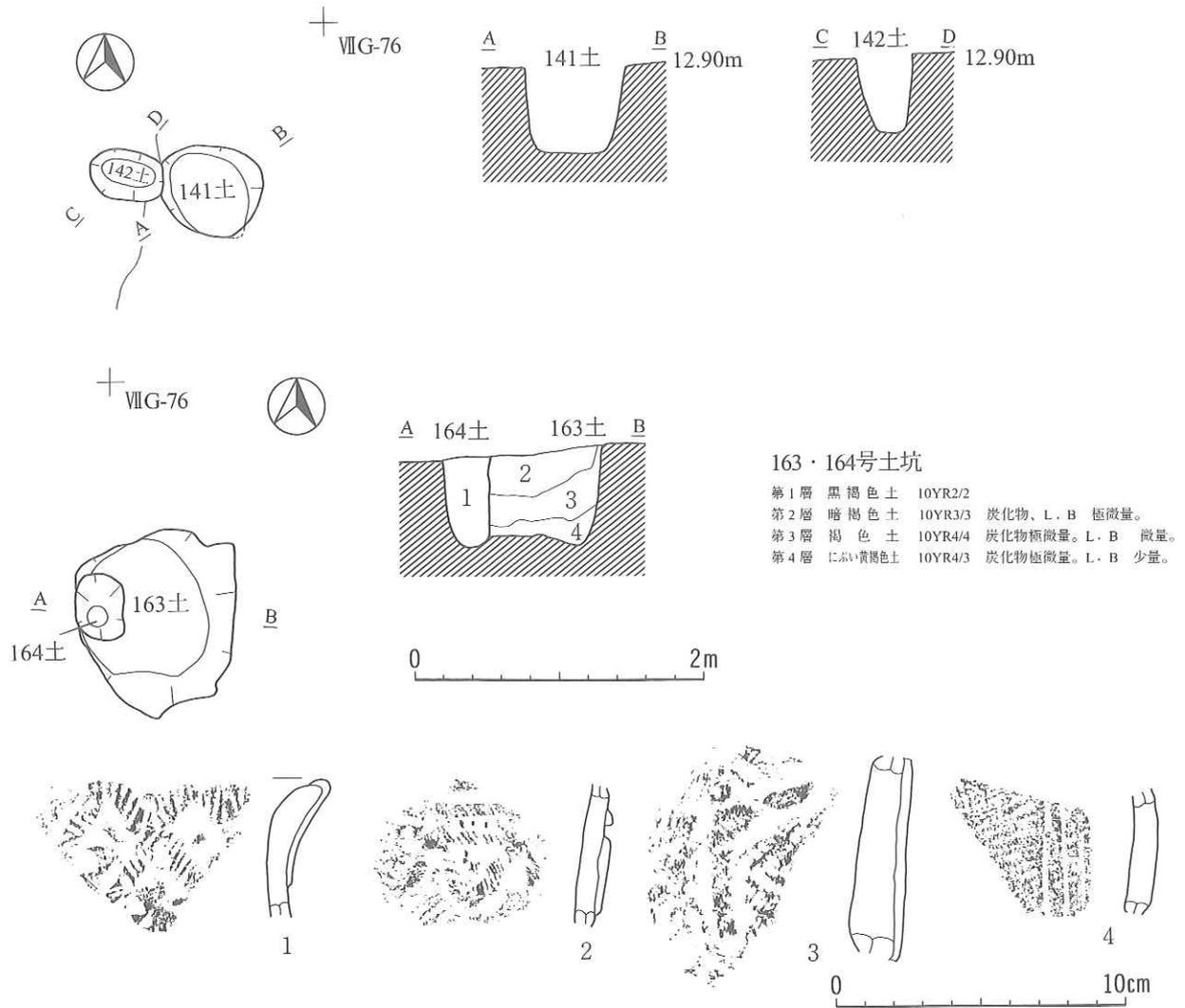
[平面形・規模] 不整楕円形を呈する。規模は50cm×32cm、深さ60cmである。

[壁・底面] 壁は直線的に立ち上がる。底面は中央が窪む。

[堆積土] 分層できない。黒褐色土を主体とする。堆積状況は自然堆積とも人為堆積とも判断できない。

[出土遺物] 出土しなかった。

[時期] 第163号土坑よりも新しく、確認面が包含層中であるため、縄文時代中期と考えられる。



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
1	163上	堆積土	貼付、L押圧、刺突			ミガキ		Ⅲ-3	
2	〃	〃	〃 〃 〃	縄文		〃		〃	
3	〃	〃		結束第一種、貼付		〃		Ⅲ-4	
4	〃	〃		LR、沈線		〃		Ⅲ-9	

14図 第141・142・163・164号土坑

#### 第167号土坑 (15図)

[位置と確認] VII G-76に位置する。包含層精査中に確認した。

[重複] 第1号堀跡と重複し、本土坑が古い。

[平面形・規模] 西側を第1号堀跡により大きく切られている。不整楕円形を呈する。規模は55cm×34cm、深さ52cmである。

[壁・底面] 壁は外傾しながら立ち上がる。底面は平坦である。

[堆積土] 柱痕跡を確認するため平面的に下げたため、セクションは取っていない。堆積状況は自然堆積とも人為堆積とも判断できない。

[出土遺物] 堆積土中から縄文土器片が出土した。

[時期] 確認状況から、縄文時代中期と考えられる。

#### 第257号土坑 (15図)

[位置と確認] VII G-75に位置する。包含層精査中に確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 楕円形を呈する。規模は95cm×80cm、深さ32cmである。

[壁・底面] 壁は外傾しながら立ち上がる。底面は平坦であるが、北側に44cm×35cm、深さ11cmの楕円形の落ち込みがある。

[堆積土] 柱痕跡を確認するため平面的に下げたため、セクションは取っていない。堆積状況は自然堆積とも人為堆積とも判断できない。

[出土遺物] 出土しなかった。

[時期] 確認状況から、縄文時代中期と考えられる。

#### 第278号土坑 (15図)

[位置と確認] VII G-76に位置する。包含層精査中に確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 円形を呈する。規模は65cm×56cm、深さ38cmである。

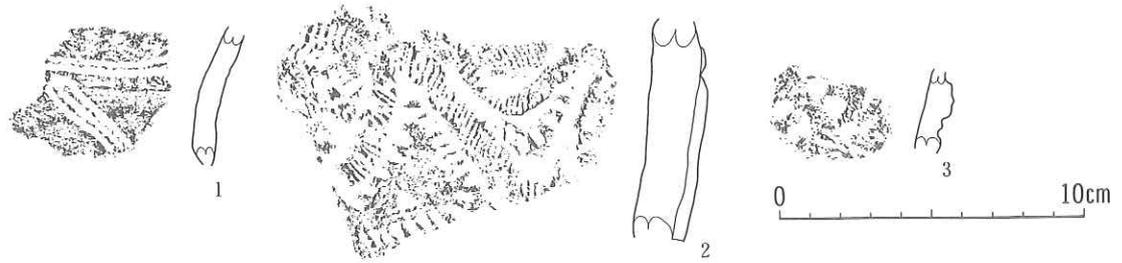
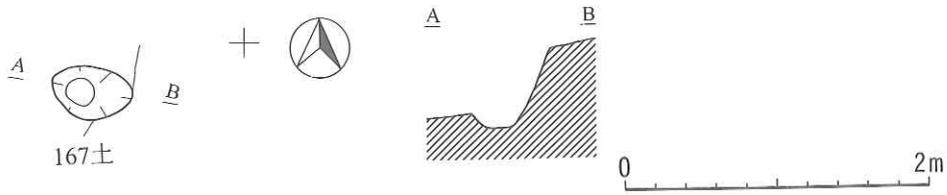
[壁・底面] 壁は外傾しながら立ち上がる。底面は平坦である。

[堆積土] 柱痕跡を確認するため平面的に下げたため、セクションは取っていない。堆積状況は自然堆積とも人為堆積とも判断できない。

[出土遺物] 出土しなかった。

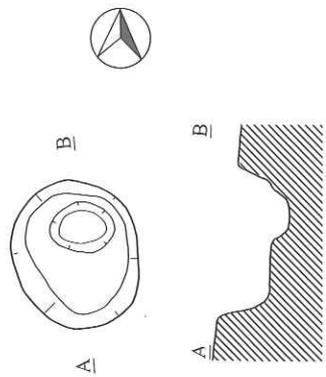
[時期] 確認状況から、縄文時代中期と考えられる。

(小笠原 雅行)

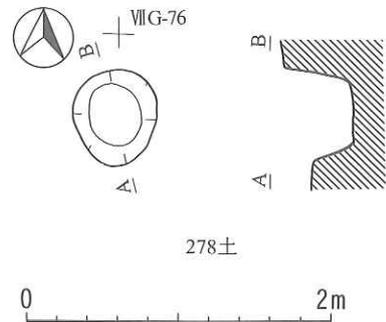


番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	167土	堆積上	L、R押圧					Ⅲ-1	
2	〃	〃	貼付、L押圧、刺突			ミガキ		Ⅲ-3	
3	〃	〃	刺突			ナデ		〃	

ⅦH-75



257土



278土

15図 第167号・第257号・第278号土坑

### 第3節 埋設土器(16図)

#### 第61号埋設土器(16図)

[位置と確認] VII F-77に位置する。包含層精査中に土器の上面を確認した。

[重複] なし。

[土器埋設方法] 正立状態で埋められる。上半部、底部を欠く。

[掘り方平面形・規模] 掘り方は明確に確認できなかった。

[堆積土] 土器内堆積土には焼土粒、炭化物が微量に混入する。

[出土遺物] なし。

[時期] 円筒上層式期である。

#### 第287号埋設土器(16・17図)

[位置と確認] VII G-76に位置する。包含層精査中に土器の上面を確認した。

[重複] なし。

[土器埋設方法] 正立状態で埋められる。上半部を欠く。

[掘り方平面形・規模] 掘り方は円形を呈し、土器よりやや大きめに掘られる。

[堆積土] 確認面上面、土器内堆積土上部には多量の焼土が、また、堆積土中には炭化物が微量に混入する。

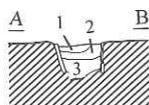
[出土遺物] 自然礫が2点出土した。

[時期] 円筒上層式期である。

ここでは埋設土器として2点とも扱ったが、堆積土中に焼土、炭化物が混入することから、竪穴住居跡の炉や、または屋外炉の可能性が高いと思われる。

(小笠原 雅行)

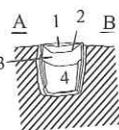
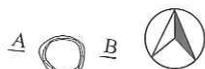
VI G-74



61埋設土器

第61号埋設土器

- 第1層 褐色土 10YR4/4 焼土粒極微量。炭化物微量。
- 第2層 暗褐色土 10YR3/3 焼土粒極微量。炭化物少量。
- 第3層 褐色土 10YR4/6 L・B、少量。炭化物微量。



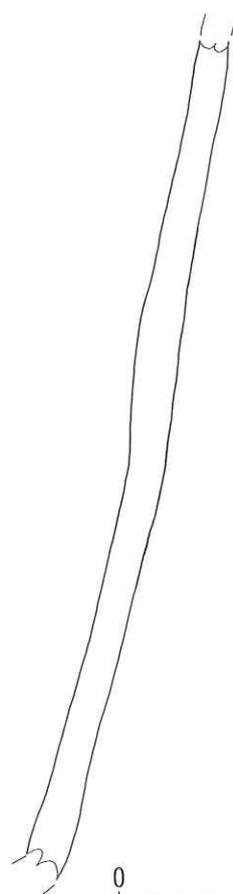
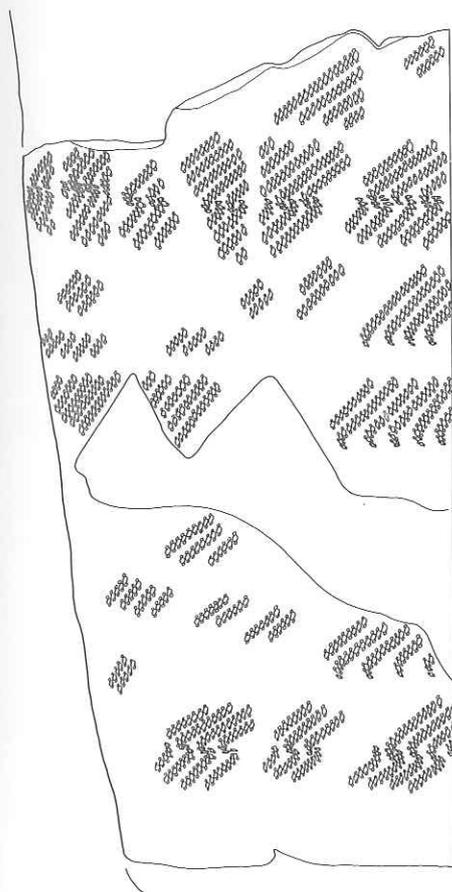
VI G-77

VI G-77

0 2m

第287号埋設土器

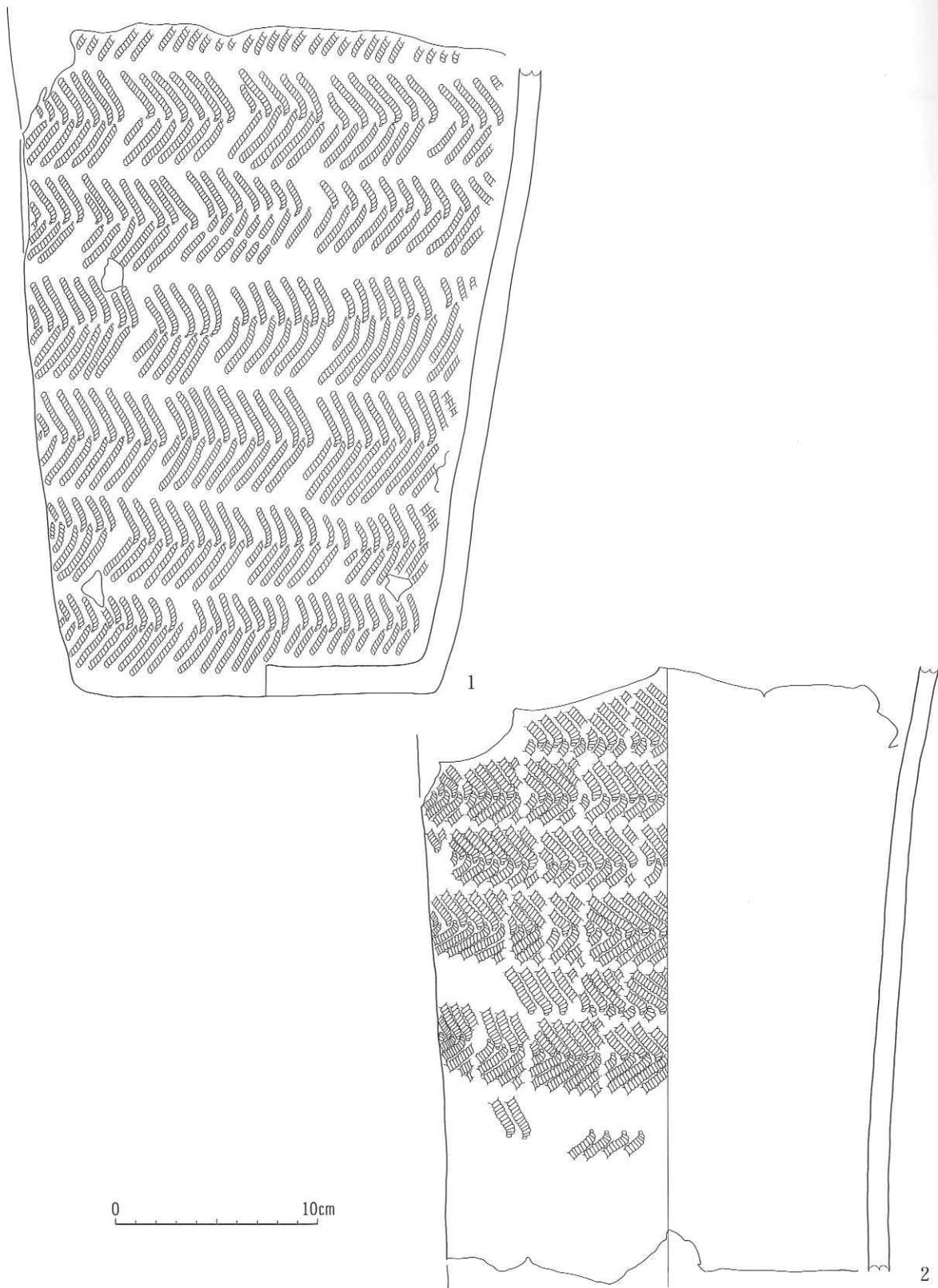
- 第1層 赤褐色土 5 YR4/8 焼土。
- 第2層 褐色土 10YR4/6 炭化物微量。
- 第3層 にがい黄褐色土 10YR4/3
- 第4層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物微量。
- 第5層 暗赤褐色土 10YR3/6 焼土。
- 第6層 暗褐色土 10YR3/3



0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
1	61埋			結束第一種(L.RL・L.RL)				Ⅲ-6	

16図 第61号・287号埋設土器



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
1	287埋			結束第一種(LR、RI.)			Ⅲ-6		
2	〃			〃			〃		

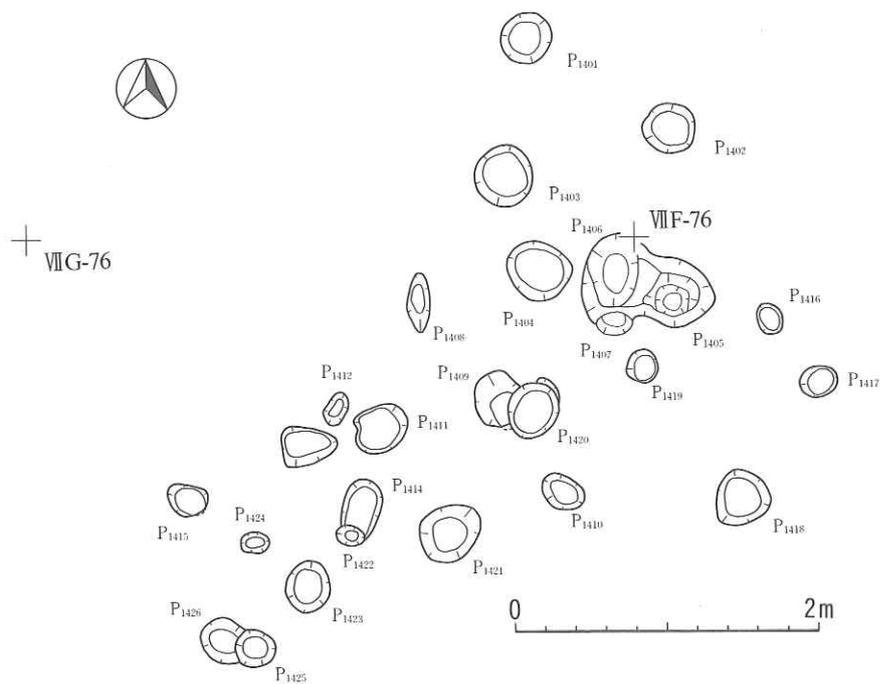
17図 第287号埋設土器

## 第4節 柱 穴 跡 (18図)

ⅦF-75~76に付近にかけて、柱穴群を確認した。これらの性格は明らかではないが、竪穴住居跡の柱穴も含まれる可能性もある。個々の計測値は、観察表を参照されたい。

ピットの掘り方は、平面形は円形ないしは不整形円形、規模は、上端で19cm~40cm前後、深さ14~51cmである。柱痕跡は、いずれも確認されなかった。遺物は出土していない。時期は、包含層精査中に確認しているため、縄文時代中期のものと考えられる。

(小笠原 雅行)



18図 柱穴跡

図番号	ピット 番号	位置	平面形	計 測 値			柱痕	出土遺物	時期	備考
				上端径	下端径	深さ				
18図	1401	VII F—75	円	36×34	22×21	15	無	無		
〃 図	1402	VII E—75	〃	37×34	25×22	53	〃	〃		
〃 図	1403	VII F—75	〃	42×38	31×28	15	〃	〃		
〃 図	1404	VII F—76	〃	45×39	32×27	41	〃	〃		
〃 図	1405	VII E—76	〃	(42×44) (30×28)	24×20 14×10	20	〃	〃		
〃 図	1406	VII F—76	〃	(60×48)	50×34 38×16	17	〃	〃		
〃 図	1407	〃	〃	24×16	16×10	12	〃	〃		
〃 図	1408	〃	楕円	40×16	20×10	26	〃	〃		
〃 図	1409	〃	不整円	(38×34)	22×20	48	〃	〃		
〃 図	1410	〃	円	31×17	20×14	32	〃	〃		
〃 図	1411	〃	不整円	38×32	28×26	35	〃	〃		
〃 図	1412	〃	楕円	22×14	14×8	14	〃	〃		
〃 図	1413	〃	不整円	40×26	30×14	16	〃	〃		
〃 図	1414	〃	楕円	14×22	36×18	45	〃	〃		
〃 図	1415	〃	円	28×22	24×16	27	〃	〃		
〃 図	1416	VII E—76	〃	22×17	16×11	22	〃	〃		
〃 図	1417	〃	〃	26×20	17×16	14	〃	〃		
〃 図	1418	〃	〃	39×35	26×25	23	〃	〃		
〃 図	1419	〃	〃	23×21	17×14	26	〃	〃		
〃 図	1420	VII F—76	〃	39×32	28×24	41	〃	〃		
〃 図	1421	〃	〃	44×36	23×22	32	〃	〃		
〃 図	1422	〃	楕円	20×13	10×7	24	〃	〃		
〃 図	1423	〃	円	35×29	22×18	18	〃	〃		
〃 図	1424	〃	楕円	20×9	12×8	10	〃	〃		
〃 図	1425	〃	円	28×24	17×14	31	〃	〃		
〃 図	1426	〃	〃	33×29	18×17	20	〃	〃		

## 第5節 遺物廃棄ブロック

### 1 縄文時代中期

#### (1) 第Ⅲ層の調査

##### 1) 調査の概要

第Ⅲ層は、縄文時代中期を主体とする遺物包含層である。人為的な土砂の廃棄によって最厚部で約2.3mもの厚さになっている。出土遺物は縄文土器、石器のほかに、土偶、ミニチュア土器、土・石製品などがある。

包含層は非常に大規模なものであり、土層も大きく4層に分けられる。堆積土は主に二次堆積のロームで、全体的に褐色を呈し、締まりが非常に強い。この土砂の供給元は明らかではないが、大規模な土砂の移動が認められる。そのほかに、砂、炭、焼土などの層の堆積もあり、長期間に渡る廃棄の継続が確認された。しかし、調査期間の都合上、調査範囲が狭いため遺物の取上げに当たっては、基本層序に基づいて取り上げたものもあるが、多くはほぼ第Ⅲ層一括の状態である。そのため、細分した層序の時期的な把握はできない。

遺物包含層の形成時期であるが、出土土器では円筒下層a式から最花式まで出土する。しかし、前期の土器の出土量は僅少である。第Ⅳ層からは円筒下層d<sub>1</sub>式が出土しており、第Ⅲ層から出土するそれ以前の土器は混入によるものと考えられる。よって第Ⅲ層遺物包含層は前期最終末の円筒下層d<sub>2</sub>式を含み中期後葉までに形成されたものと考えられる。型式別の出土量で見ると、円筒上層a式が圧倒的に多く、次いで円筒上層b式、c式となる。円筒上層d・e式は極端に少なく、榎林式はほとんど無い状態で、最花式では出土量が若干増える。時期がとらえられる層としては、間層24層から円筒上層a式がまとまって出土しており、少なくともその面までは該期のものであり、土層断面から判断すると、前期終末から初頭期が土砂の廃棄の最も活発な時期と言える。

遺物の出土状況は、堆積土中に混入した状態で、複数の土器の一括廃棄のような状態ではない。ほとんどの土器は破片で出土し、復元の可能な土器は出土量から見ると少ない。以下、出土遺物について見ていく。

##### 2) 土器

縄文時代前期 (19・20図、28～30図)

第Ⅲ層からは前期の土器も出土した。出土量が少量であるため、細分は行わず、口縁部文様を中心に一括して記述する。

1は口縁部に結節回転文、胴部に撚戻し縄文の施されたものである。2は口縁部に単軸絡条体6A類、胴部に単軸絡条体1類、口唇部と口縁部と胴部の境に原体の押圧が施されたものである。3～5は全面に縄文の施されたものである。3は輪積み痕(?)が残る。4・5は外面の磨耗が激しい。6・7、27～49は口縁部に原体の押圧が施されたものである。胴部は単軸絡条体1類が多いが、羽状縄文(27・33・36・42・43)、撚戻し縄文(34・37)、多軸絡条体(49)などもある。50～52は口縁部に結束第一種が施文される。50は施文後、文様帯区画の原体押圧がある。53は縦位に2条の貼付けがある。54・55は胴部片である。56は台部で単軸絡条帯1A類が施される。

縄文時代中期 (21~27図、31~47図)

分類は第三章で述べた基準による。ただし、出土量の多い円筒上層 a 式については、施文文様から分類を行った。

第Ⅲ群 1 類・円筒上層 a 式に含まれるもの (主として貼付隆帯により、文様帯を 4 単位に区画し、原体の押圧によって文様を構成するもの)

a 波頂部の左右いずれかの一方から、「く」の字状の貼付隆帯をもつもの (8・57~64)。

波頂部からの縦位の貼付隆帯と組み合わされるもの (58) や、斜位に「6」字状となるもの (63) もある。原体の押圧は、横位、縦位、鋸歯状などがある。波頂部の形状は三角形状である。

b 波頂部から 1 条の縦位貼付隆帯により文様帯を 4 単位に区画するもの (65~76)。

文様構成は、原体押圧による縦位、横位の組合せとなるもの (66~69、73~75)、さらに鋸歯状が組み合わされるもの (65、70、72、76) もある。波頂部は二又状を呈する。

c 波頂部から 2 条の縦位貼付隆帯で文様帯を 4 単位に区画するもの (9・77~91)。

これには、波頂部から縦位に垂下するもの (77・80・85~91)、波頂部脇から「V」字状に下部で連結するもの (78・81)、「X」字状のもの (82~84) がある。波頂部は二又状のもの、台形状のもの、三角形状のものなどがある。口縁部文様は、原体の押圧により横位区画した間に縦位、鋸歯状、渦巻状などに押圧される。

d 縦位の 2 条の貼付隆帯が、文様帯の上部または下部で連結し、「Y」字状または「アック」状を呈するもの (10・92~107)。

波頂部は「M」状となるもの (98・99・103・105)、半弧状となるもの (92・93・96・101・104・107) がある。98はアック状の貼付隆帯の両側に、波状の隆帯が貼り付けられる。文様構成は、3と同様である。

e 1 条ないし 2 条の縦位の波状隆帯により、文様帯を 4 単位に区画するもの (11・108~113)。

波頂部は三角形状となるもの、二又状となるものがある。文様構成は、縦位と横位の原体による押圧の組合せである。113は「8」字状の貼付であるが、ここに含めた。文様は短刻線の連続によって文様を描出している。

f 波頂部から 1 ないし 2 条の貼付隆帯で文様帯を区画するが、波頂部付近あるいは口唇部に沿って波状隆帯をめぐらすもの (114~127)。

縦位の区画隆帯は、橋状突手となるもの (114~117)、より装飾的となるもの (120・121) がある。横位波状隆帯は 114~116は波頂部のみ、その他は全周すると思われる。また、横位の原体押圧を挟んで上下 2 段に分かれるもの (126・127) もある。原体押圧による文様構成は、横位押圧のみのも、鋸歯状のもの、それが組み合わされるものがある。

g 波頂部から垂下する 2 条の貼付隆帯と、それを連結する鋸歯状の貼付隆帯をもつもの (128~130)。

波頂部にはリング状の貼付、三角形状となるものなどがある。文様帯には横位、鋸歯状の原体押圧が施される。

h 縦位貼付隆帯で文様帯を区画するとともに、斜位に貼付隆帯をもつもの (131~148)。

波頂部は二又状に分かれるものが多く、半弧状のものもある。文様帯を 4 区画する縦位貼付隆帯

は、a～gと同様である。文様帯には縦位・横位・鋸歯状・渦巻状の原体押圧が施される。

i 文様帯を4区画する貼付隆帯は不明であるが、同類に含まれるもの(149～159)。

口縁部文様帯を太い隆帯により区画するもので、文様帯には鋸歯状・横位の原体押圧が施される。152は斜縄文が施される。153はボタン状貼付の上面に原体の押圧がされるものである。

第Ⅲ群2類・円筒上層b式に含まれ、原体による馬蹄形押圧を施すもの(160～165)。

1類の口縁部区画で見た2～4、8と同様の区画帯を有する。文様は横位の原体押圧と馬蹄形押圧により構成される。

第Ⅲ群3類・円筒上層c式に含まれ、円形・爪形刺突が施されるもの(166～173)。

口縁部文様帯の貼付は縦位4単位の区画のみではなく、口縁部全体に渡るものも見られ、より装飾的になる。

第Ⅲ群4類・円筒上層d式に含まれ、口縁部まで地文が施され、細い貼付隆帯により文様を構成するもの(174～184)。

貼付は、菱形状・リング状などの構成がある。

第Ⅲ群5類・円筒上層e式に含まれ、沈線により文様を構成するもの(185～187)。

は凹状の押圧をもつ縦位の貼付隆帯と沈線の組合せの土器である。186～187は口唇部外面に1条の横位の貼付と縦位の貼付を付すものである。

第Ⅲ群6類・円筒上層系の土器で、型式の不明なもの(188)。

188は、結束第一種が施された鉢形の土器である。

第Ⅲ群8類・榎林式に含まれるもの(189・190)。

189は2条の横位沈線を施文後、それに接するように弧状の沈線が施されたものである。190は橋状突手がつく土器である。

第Ⅲ群9類・最花式に含まれるもの(191～198)。

191～192は口唇部に無文帯があり、沈線以下に縄文が施されるものである。191・192・194は、1・2条単位の逆U字状の沈線文様が施される。193・195は円形の刺突が組み合わされる。また、193・195・196は渦巻状・円形の沈線が組み合う。

異系統の土器、

200～208は、異系統の土器である。

## 底部 (209~211)

ここでは、底部になんらかの文様・圧痕のある土器を掲げた。209は胴部最下部に施された条痕が底部にも施されたものである。210~211は、スタレ状圧痕のある土器の底部である。

## 間層24出土土器について

間層24は、旧地形から約5mほど沖館川側にせり出した部分(第1号堀跡によって切られているが堆積状況から、間層11も同一層と考えられる)に堆積する。土層の特徴は、褐色を主体とし非常にしまりが強く、炭化物がごく微量に混入する。層厚は、厚いところで約20cmほどである。1)で述べたとおり、中期の包含層は調査期間の関係上、遺物の取り上げは層一括で行った。しかし、本層は土層の確認が比較的容易で、しかも、24図~27図に示したとおりの円筒上層a式が出土している。

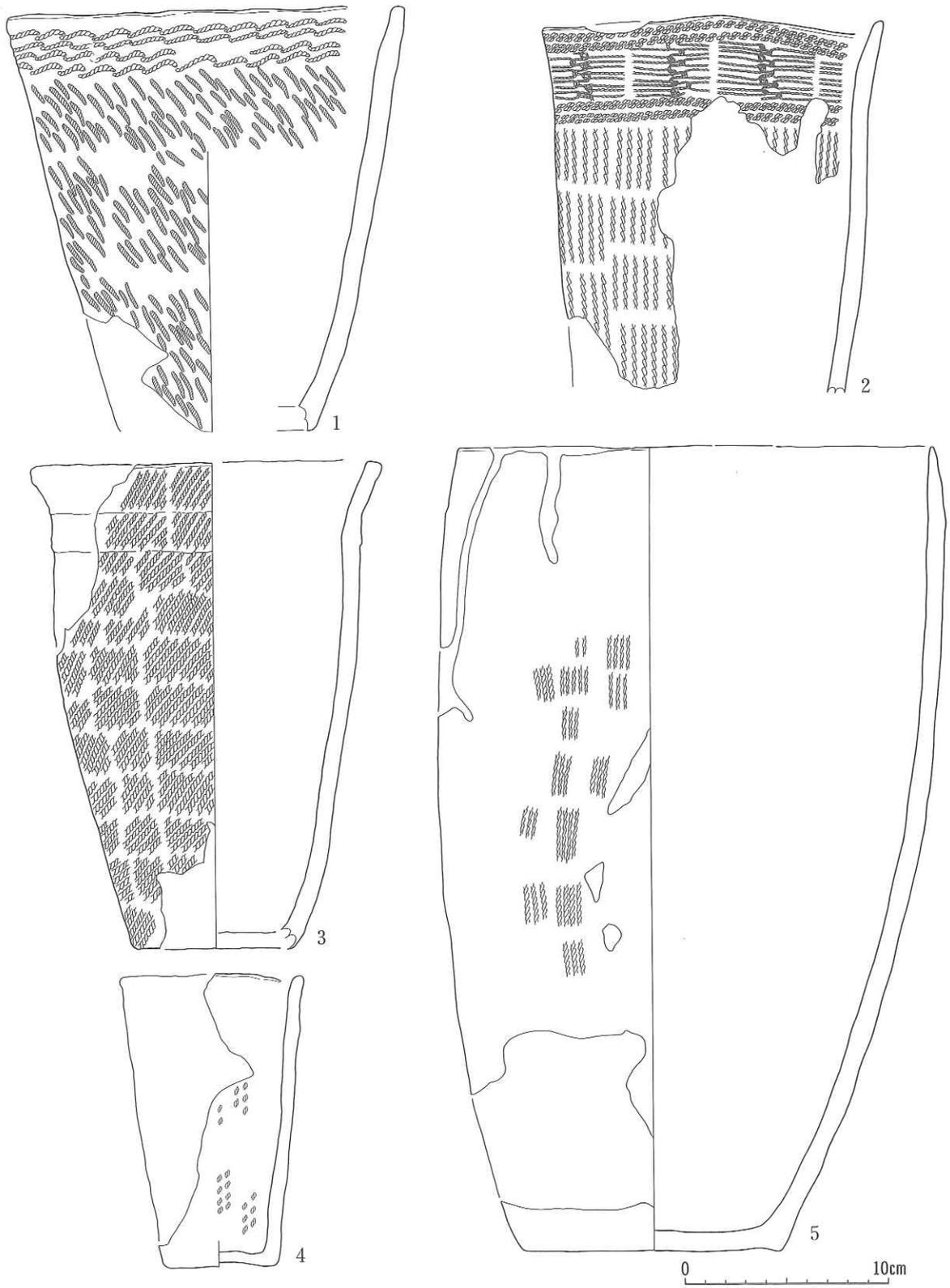
これまで中期円筒上層式土器群は、数多くの先学により論じられてきた。その内容は、今のところほぼ一致を見ているが、それは型式学的な検討からであったり、層位的な出土であっても資料が未発表であったり、同伴関係が不明確であった。その点で、間層24の出土土器は、円筒上層a式のまとまった一括資料として考えることができ、変遷過程の一つの段階のものとしてとらえることができる。復元・図化し得た7個体の土器について若干の検討を行いたい。

先に円筒上層a式を、口縁部の貼付隆帯から分類を行った。これまで、該期の土器群の細分は押圧文様の特徴で行われてきた。貼付隆帯での分類を行ったのは、中期段階では貼付隆帯が大きな特徴となっていることから、その大きな流れの中で位置づける必要があると考えたためである。しかし、ここでそれを行うことによって、円筒上層a式の細分の一つの大きな要素である押圧による文様構成が見えにくくなっているのも事実である。その点についても触れながら、その諸特徴を挙げる。

先の分類で見ると、口縁部の貼付隆帯b~dが見られる。その他の属性では、口唇部は4波状口縁で、頂部が二又状に分かれるもの、厚みを増しながら王冠状に頂部裏面が凹むものがある。口唇部から胴部との境の横位隆帯の間には、鋸歯状・横位が組み合わされた原体押圧による文様構成となる。文様構成のわかる5個体のうち、鋸歯状押圧が1段のもの(20)もあるが、間に横位押圧を挟み、2段の構成を取るものが3個体ある。残りの1個体は結束第一種羽状縄文が施される。胴部との境の横位隆帯が一巡するものが多いが、波頂部脇から「く」の字に延びる貼付隆帯により連結はしないが、横位隆帯を意識したようなもの(22)、横位隆帯下にさらに波状隆帯・カギ状の隆帯が組合せとなるもの(21)も見られる。胴部縄文は結束第一種が多く(4個体)、斜縄文、結束第二種もある。

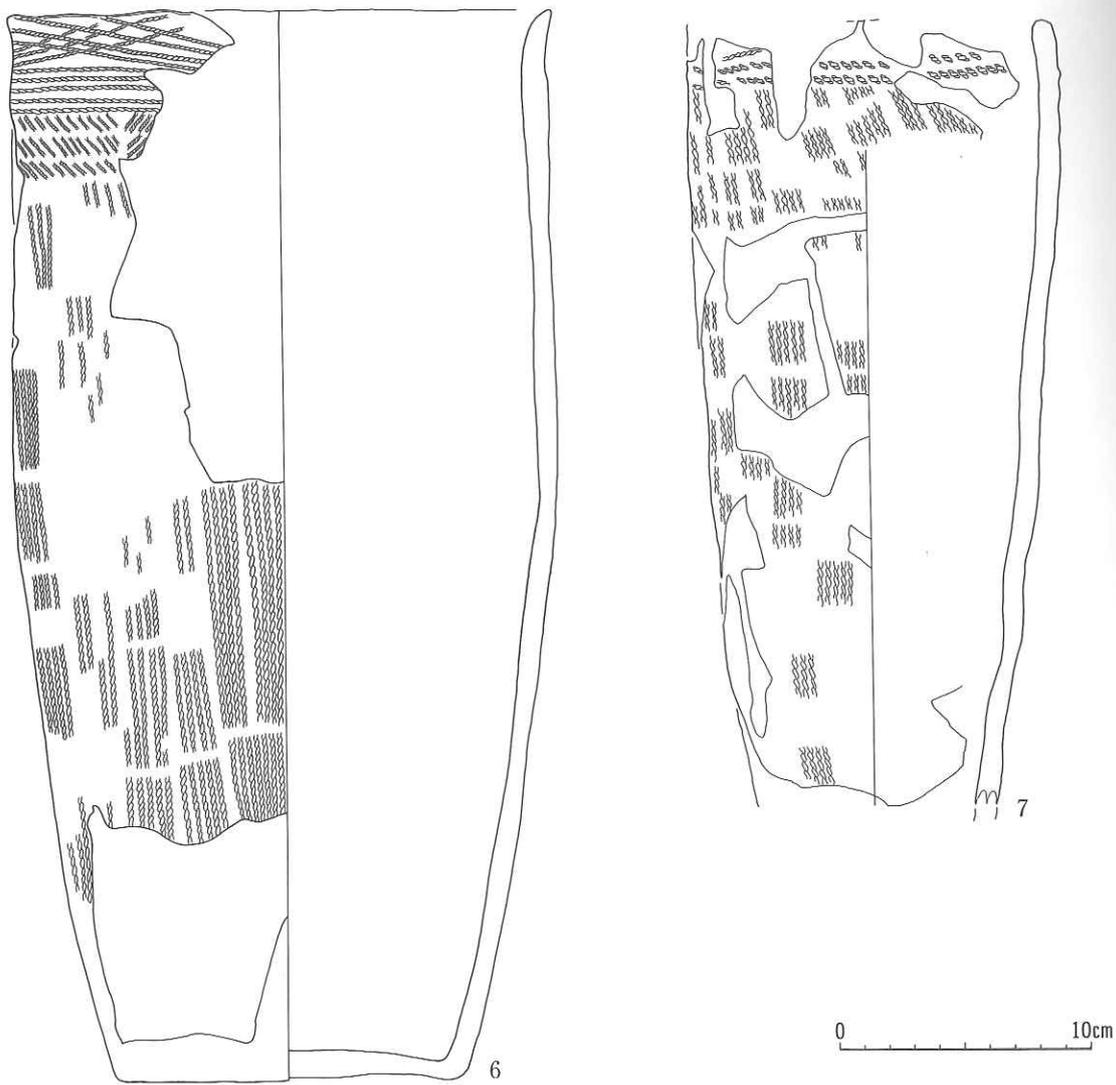
おおまかな特徴は以上のとおりであるが、従来の土器型式では原体の鋸歯状押圧から、円筒上層a<sub>2</sub>式に分類されるものである。貼付隆帯は縦位に1条や2条、またそれが中央部で接するようなx字状がある。先の分類のe~hのような縦位隆帯に、さらに隆帯が組み合わされるものはない。e~hも円筒上層a式に分類されるものであり、それ以後の型式で顕著となる装飾的な貼付隆帯への過渡期としてとらえることができるかもしれない。

(小笠原 雅行)



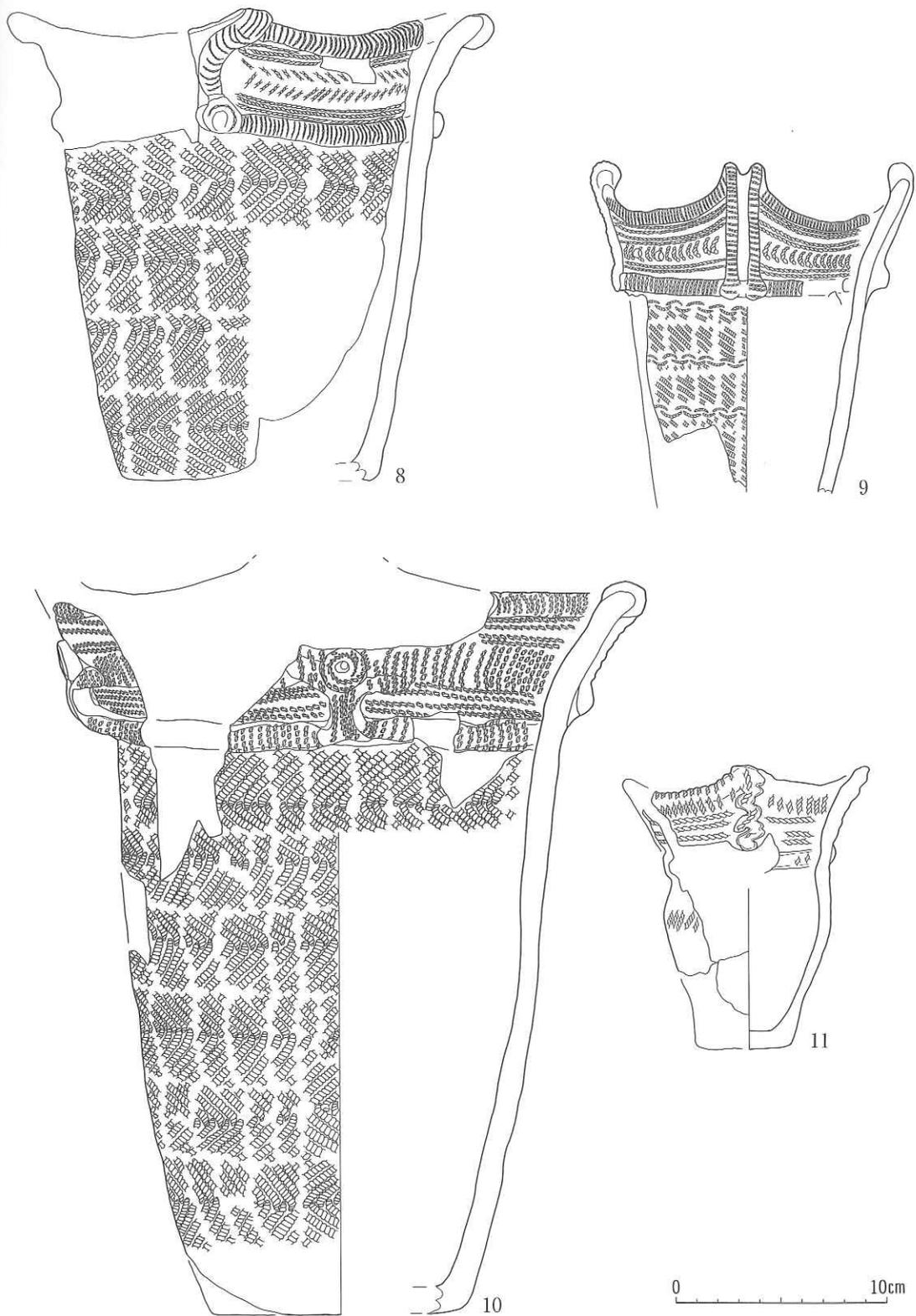
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	VIIH-76	Ⅲ	R結節回転	RRL			Ⅱ-2		
2	VIIH-75	〃	R単絡6A、RLR	R単絡1		ミガキ	Ⅱ-3		
3	VII G-74	〃	LR	LR	LR	〃	Ⅱ-7	輪積痕?	
4	VII F-76	〃		RLR	RLR	不明	Ⅱ-3		
5	VII F-74	〃		L単絡1		〃	Ⅱ-5-1	摩耗激しい	

19図 第三層 出土土器(1)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
6	VII G-74	Ⅲ下	R押	結束第一種(LR, RL)、 L単絡1	L単絡1	ミガキ	素文	Ⅱ-5-1	
7	VII F-76	〃	LR押	R単絡1		〃		〃	

20図 第三層 出土土器(2)



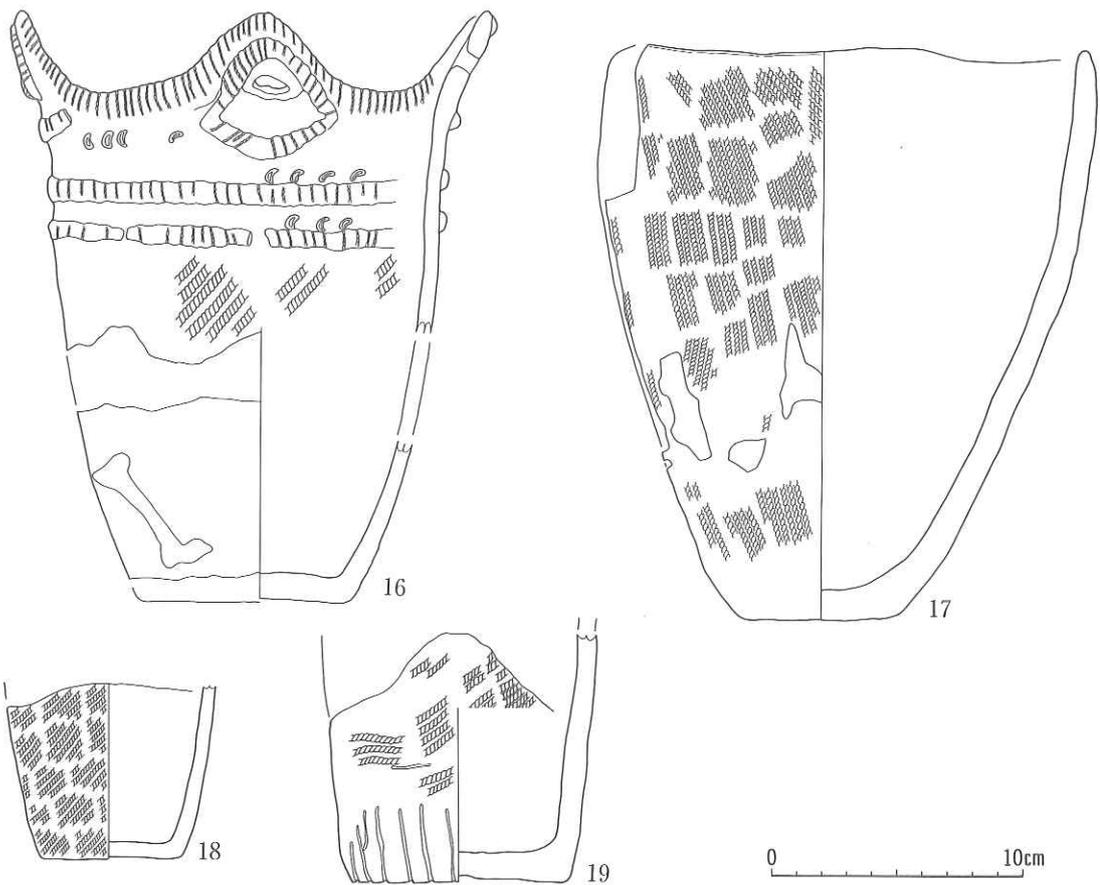
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
8	VIIH-75	III a	貼付(R押)、L・R押圧	結束第一種(LR、RL)		ミガキ		III-1-a	
9	VII F-75	III	〃 (L押)、L押	結束第二種(RI、RI)		不明		III-1-c	
10	VIIH-75	〃	〃 (LR押)、LR押	結束第一種(LR、RL)		ミガキ		III-1-d	
11	〃	〃	〃 (L押)、L押	LR		ミガキ		III-1-e	

21図 第三層 出土土器(3)



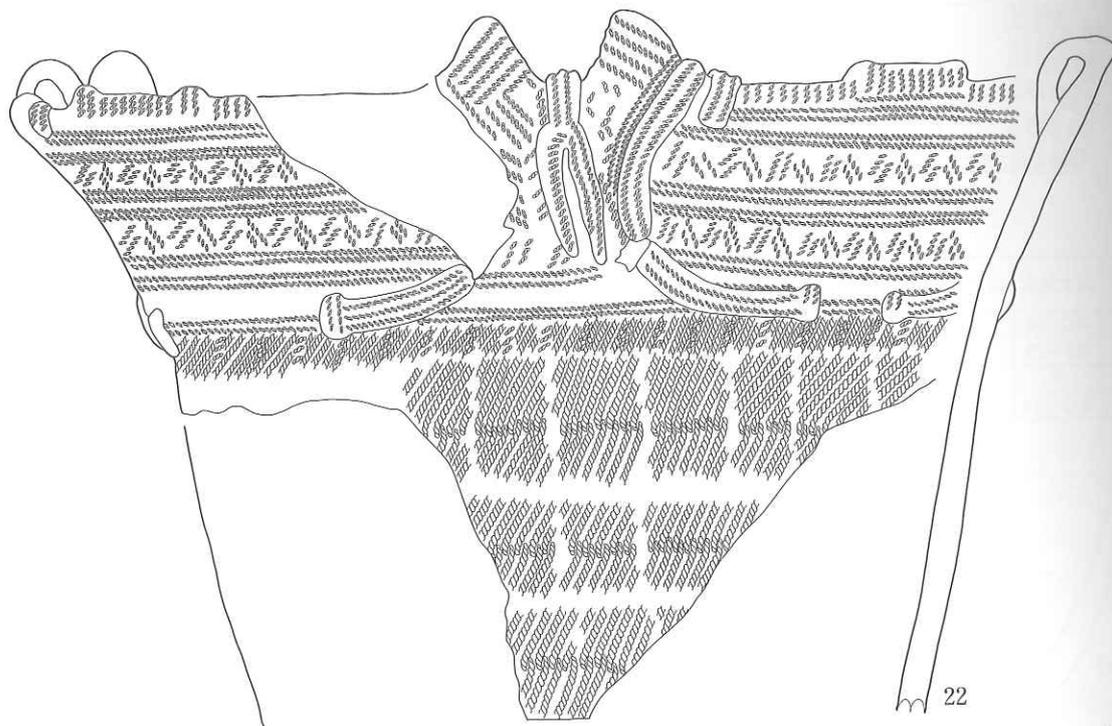
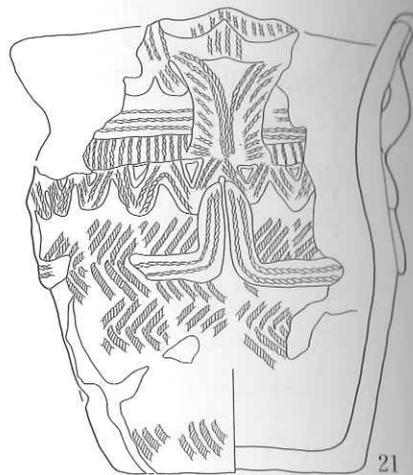
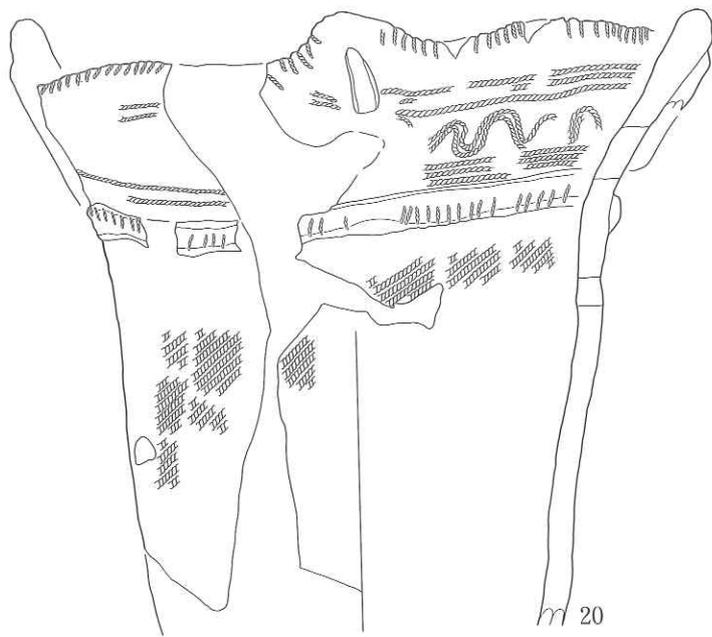
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胸 部 上 半	胸 部 下 半				
12	VIIH-75	III	貼付(LR)、LR押	結束第二種(LR、RL)、貼付(LR押)		ミガキ		III-1-a	
13	VII G-75	〃			結束第二種(LR、RL)	ミガキ	素文	III-6	
14	VIIH-75	〃			〃	ミガキ	〃	〃	
15	VIIH-75	〃			〃	ミガキ	〃	〃	

22図 第三層 出土土器(4)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
16	VII G-76	Ⅲ	貼付(R押)、竹管状刺突	LR		不明	素文	Ⅲ-3	
17	VII F-75	◇				◇		Ⅲ-11	
18	◇	◇			LR	ミガキ	素文	Ⅱ?	
19	VII G-75	◇			LR、縦位沈線	ミガキ	素文、ミガキ	Ⅱ?	

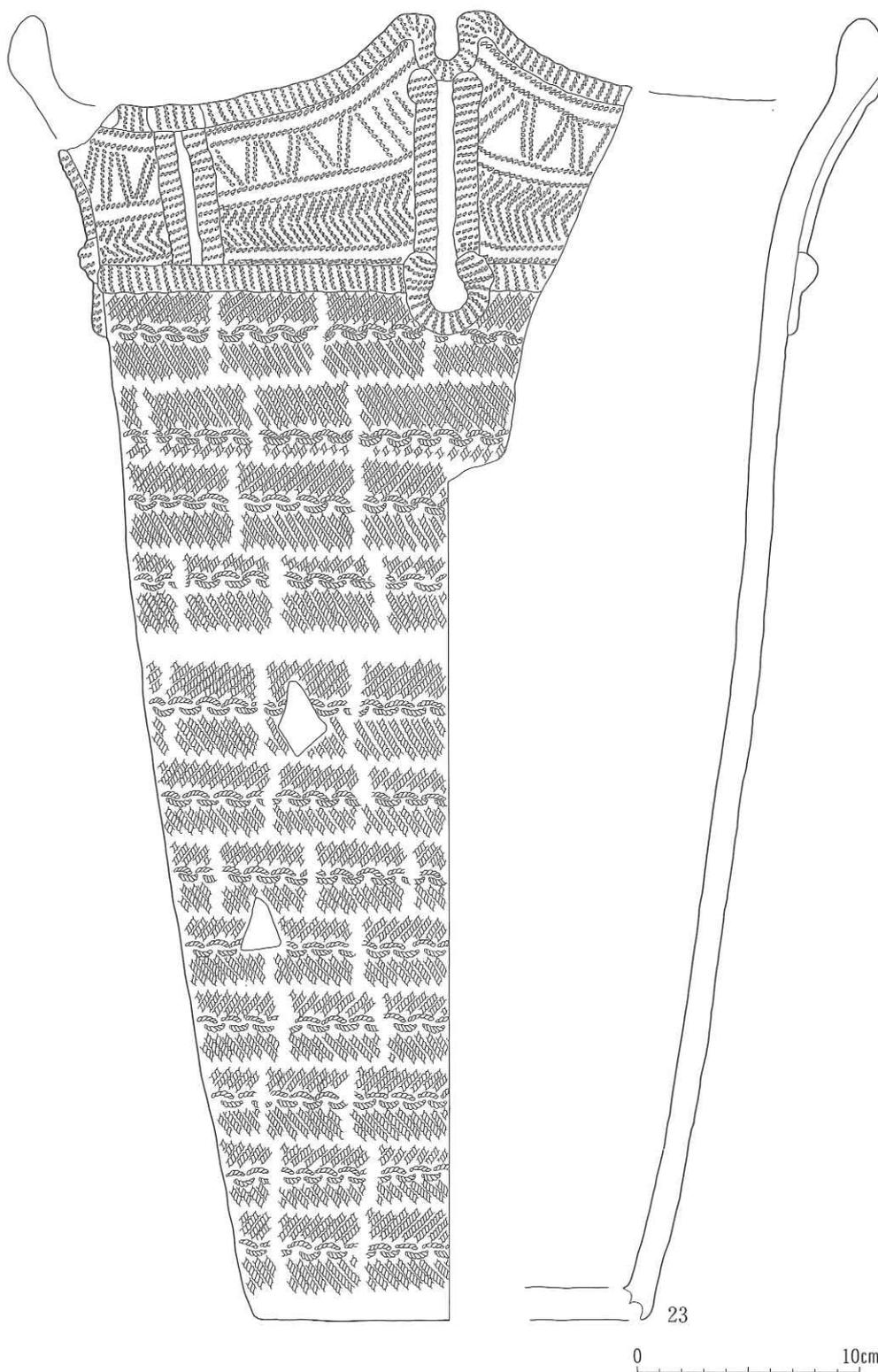
23図 第Ⅲ層 出土土器(5)



0 10cm

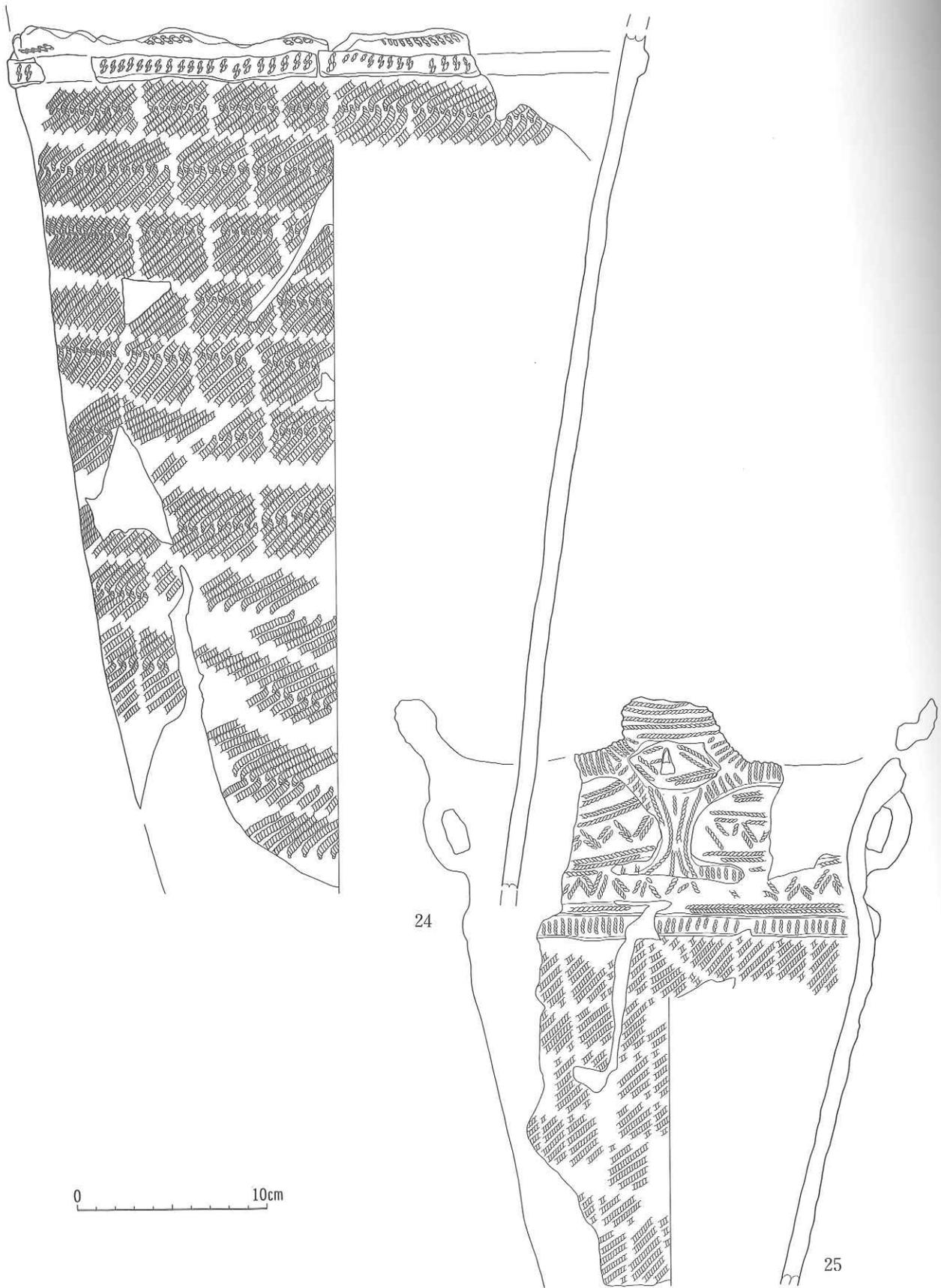
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胸部上半	胸部下半				
20	VII F-74	間層24	貼付(R押)、R押	LR		ミガキ		Ⅲ-1-b	
21	VII F-74	〃	〃(L押)、L押	貼付(L押)、結束第一種		〃		Ⅲ-1-d	
22	VII H-75	〃	〃(LR押)、LR押	結束第一種(LR、LR)				Ⅲ-1-c	

24図 第三層 出土土器(6) 間層24



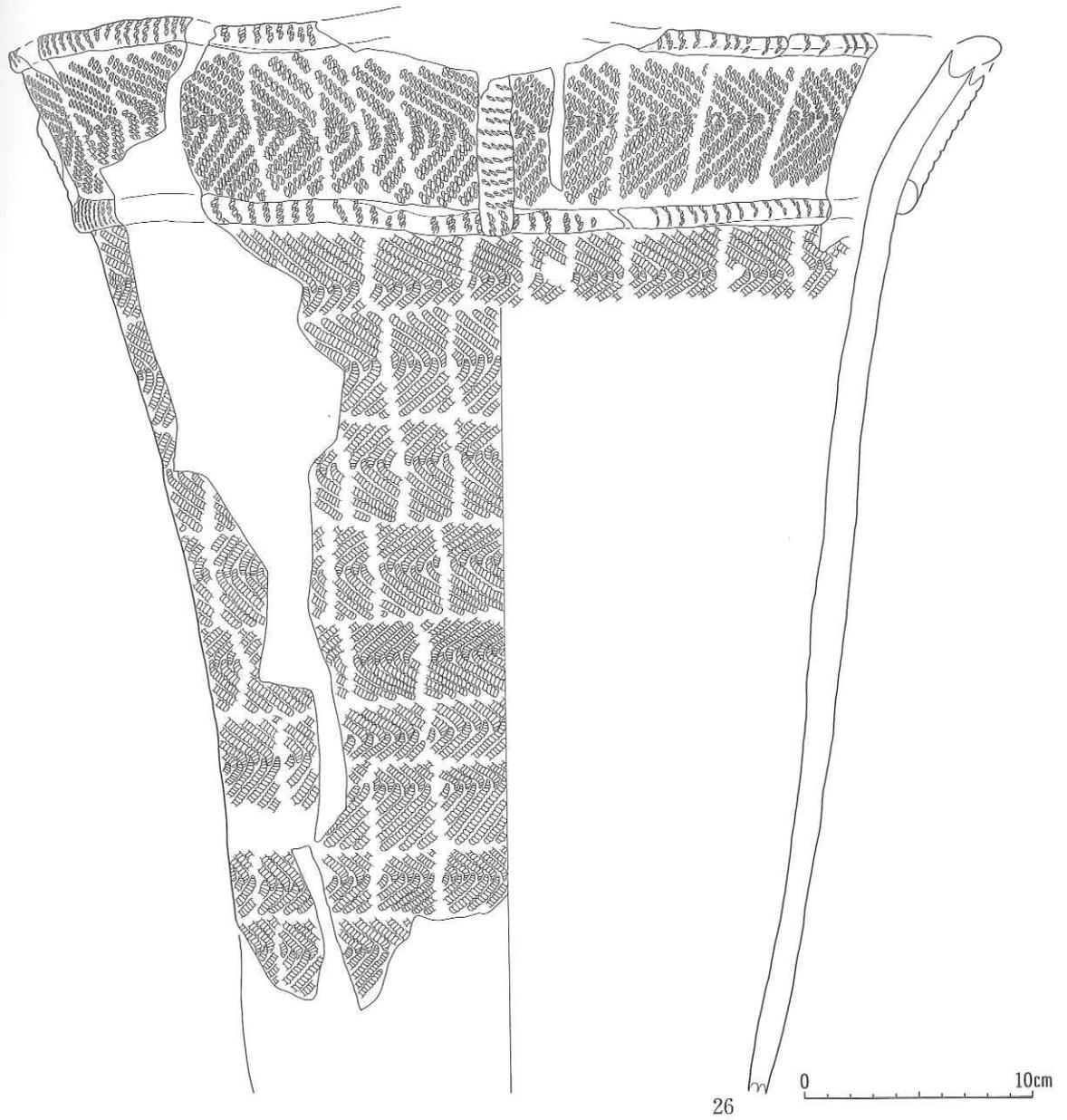
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
23	MF-74	問層24	貼付(RL押)、RL押	結束第二種		ミガキ		Ⅲ-1-c	

25図 第三層 出土土器(7) 問層24



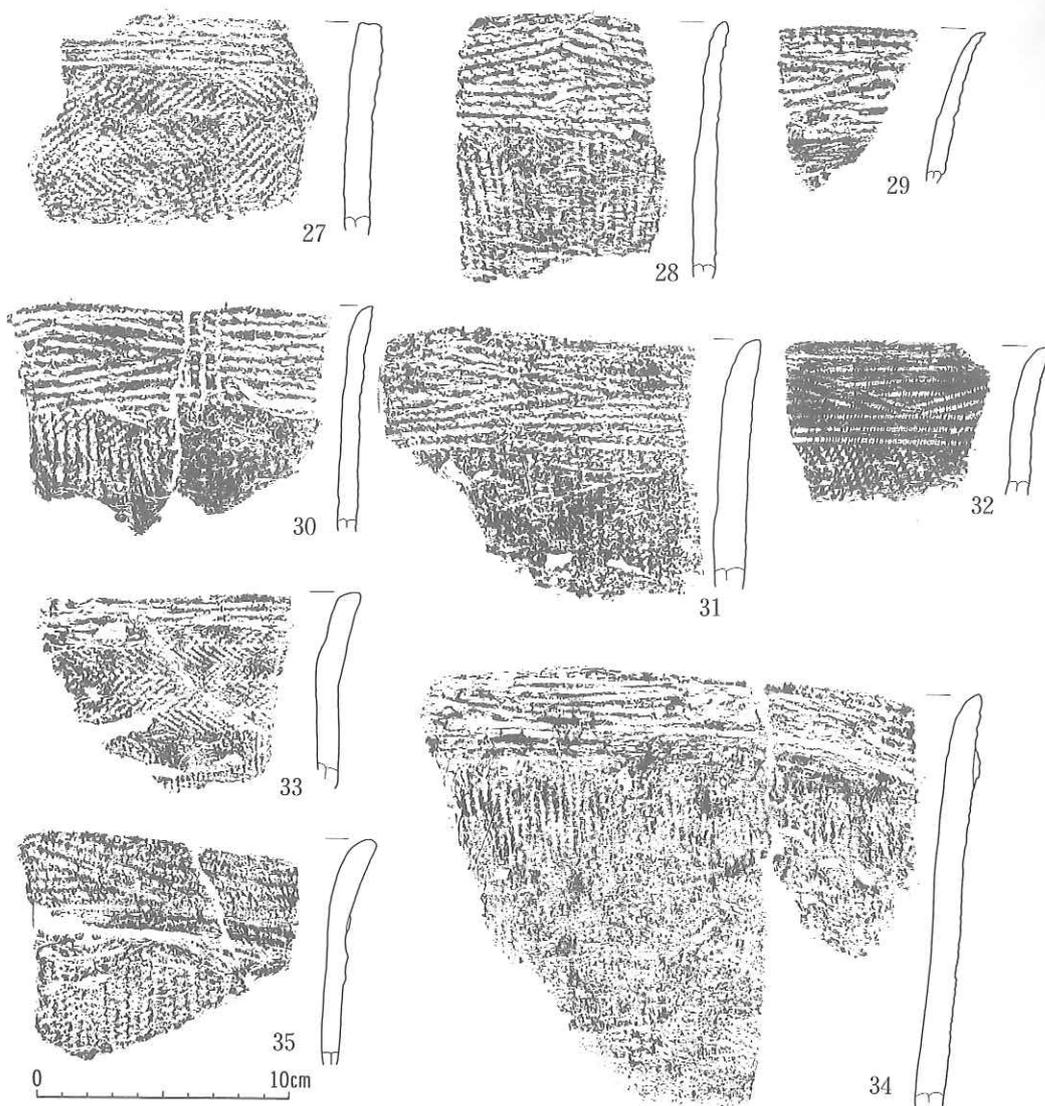
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
24	VII G-74	間層24	貼付(L・R押)、LR	結束第一種(LR、LR)	結束第二種(LR、RI)	ミガキ		III-1	
25	VII F-74	〃	L・R押、貼付(L・R押)	LR	LR	〃		III-1-d	

26図 第三層 出土土器(8) 間層24



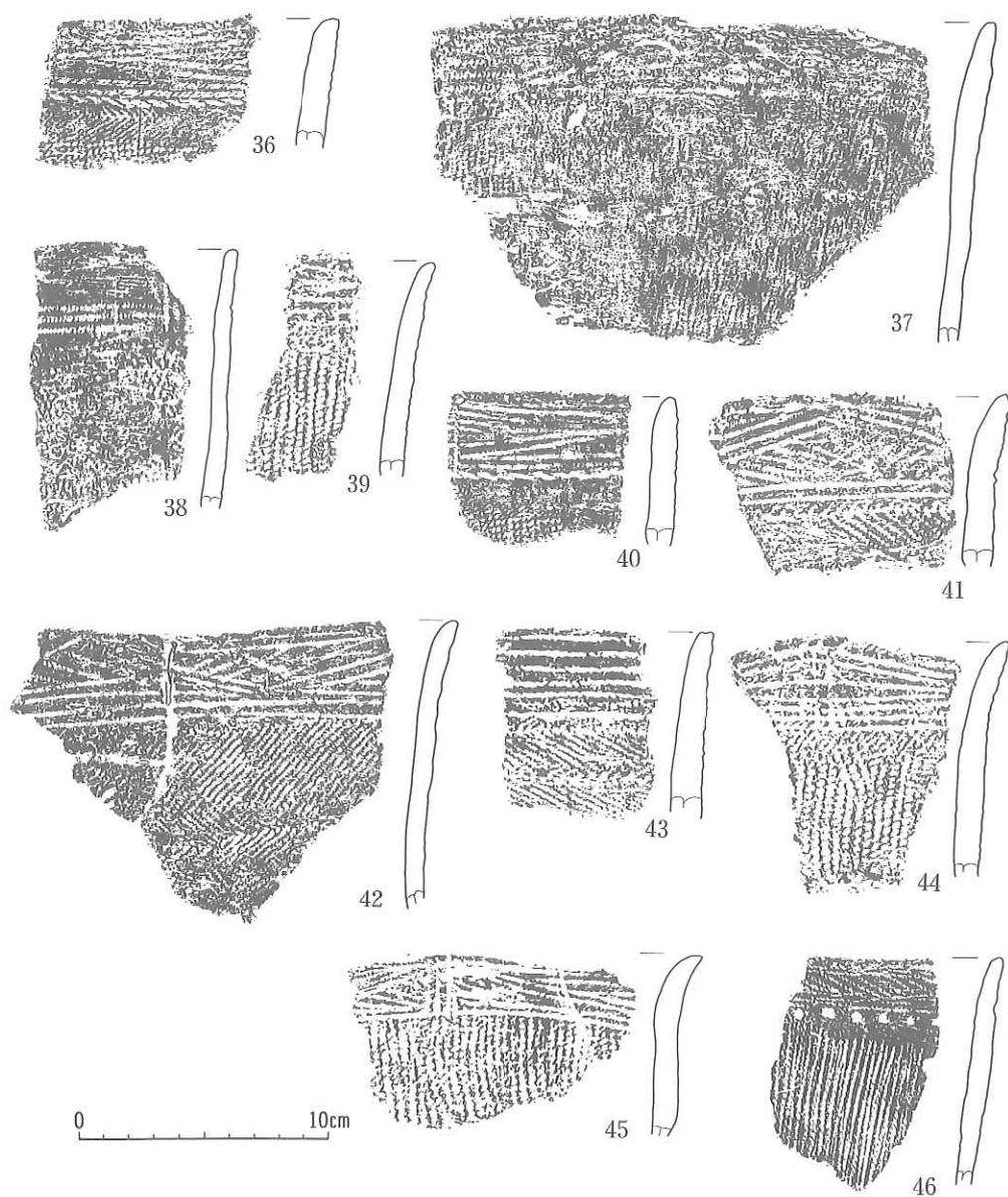
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
26	MIG-74	間層24	結束第一種(LRL、RLR)貼付(LR押)	結束第一種(LR、RL)		ミガキ		Ⅲ-1-b	

27図 第三層 出土土器(9) 間層24



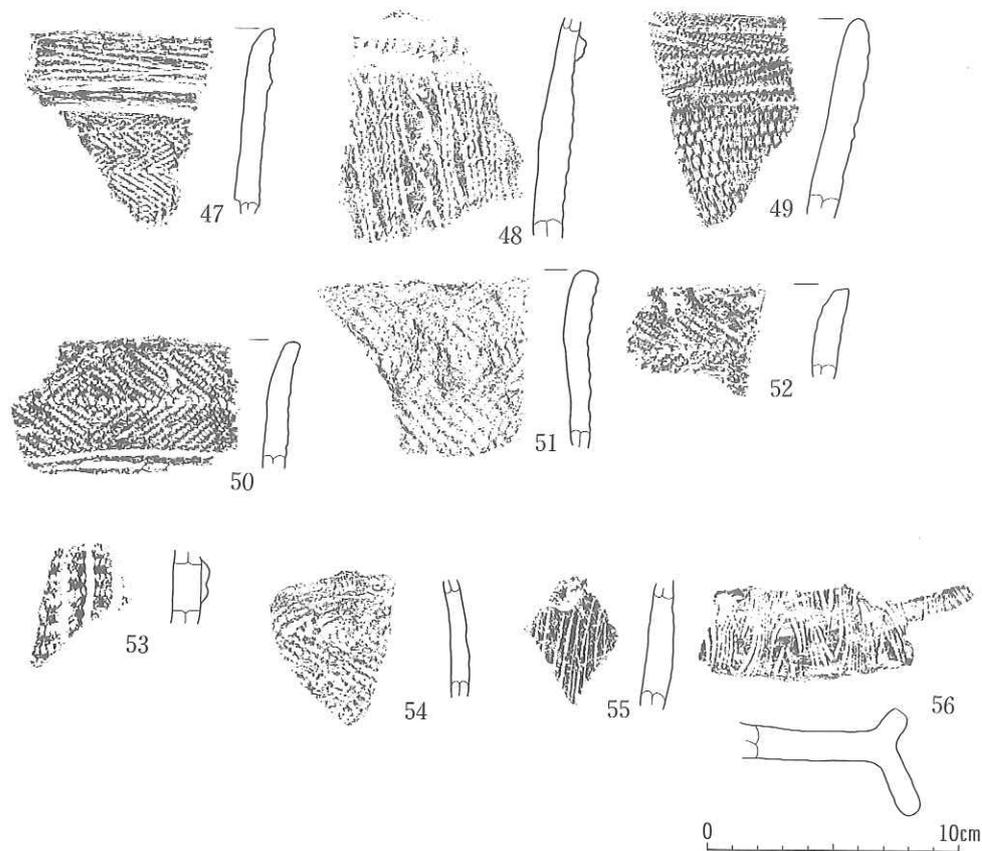
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
27	VI G-74	Ⅲ最下	L・R押	結束第一種(LR、RL)		ミガキ		Ⅲ-5-1	
28	VI G-75	Ⅲ下	LR押	LR単絡1		〃			繊維多量
29	VI G-74	Ⅲ下	〃						〃
30	〃	Ⅲ下	〃	LR単絡1		ミガキ			〃
31	〃	Ⅲ下	L押	L(?)単絡1		〃			〃
32	〃	Ⅲ下	RL単絡1押	RL		〃			〃
33	〃	Ⅲ	単絡1押	結束第一種・単絡1		〃			〃
34	VI G-76	Ⅲa	LR単絡1	LR単絡1		〃			〃
35	VI G-74	Ⅲ下	単絡1押、低降帯	L単絡1		〃			〃

28図 第三層 出土土器 (10) 第二群土器



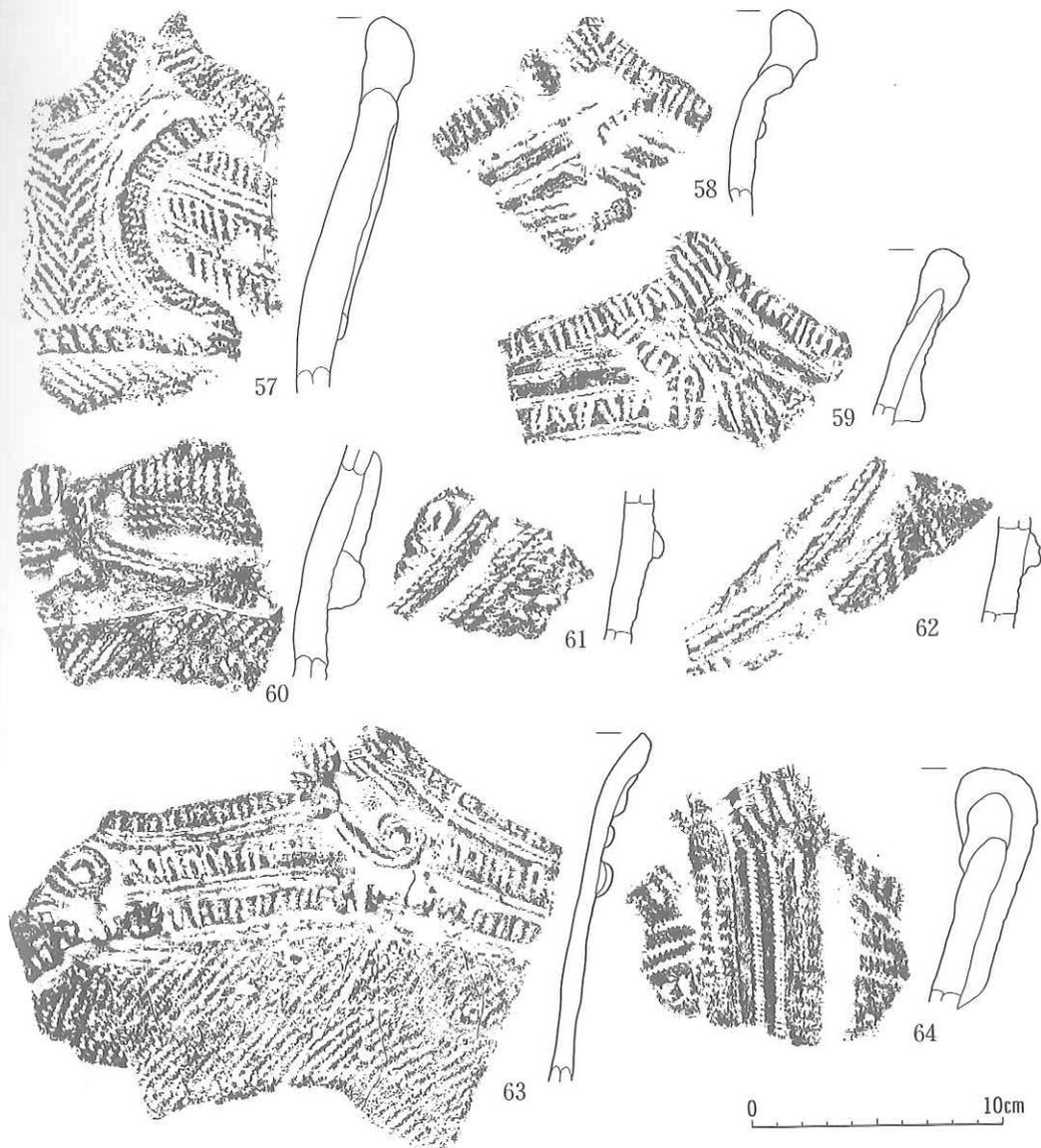
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
36	VIG-74	Ⅲ下	R押	結束第一種(LR, RL), R単絡1		ミガキ		Ⅱ-5-1	
37	VIG-75	〃	LR単絡1押	RRL		不明		〃	
38	VIG-74	〃	〃	不明		ミガキ		〃	
39	〃	〃	LR押	LR単絡1		〃		〃	
40	〃	〃	R押	L単絡1		〃		〃	
41	VIG-74	〃	RL単絡1押	結束第一種		〃		〃	
42	VIG-75	〃	LR単絡1押	LR		〃		〃	
43	〃	Ⅲ	L押	単絡1		〃		口縁部若干肥厚	
44	VIG-74	Ⅲ下	LR押	LR単絡1		〃		〃	
45	〃	Ⅲ	R単絡1	LR単絡1		〃		〃	
46	〃	Ⅲ下	L押、凹形刺突	R単絡1		〃		〃	

29図 第三層 出土土器 (11) 第Ⅱ群土器



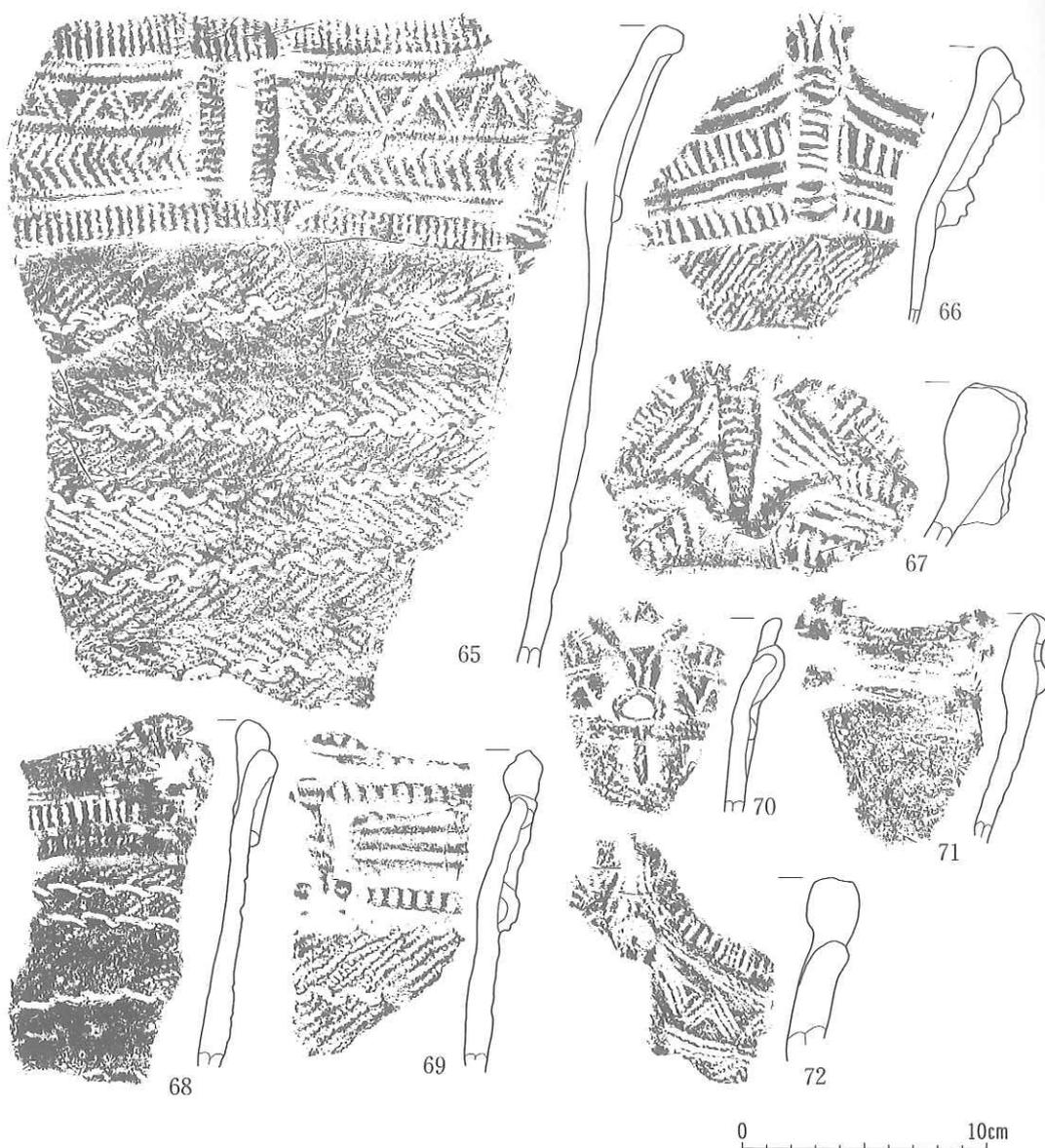
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
47	VII G-74	Ⅲ下部	R単絡1押、低隆帯	結束第一種(LR、RL)		ミガキ		Ⅱ-5-1	
48	VII G-74	Ⅲa	低隆帯、刺突	L単絡1、結節部回転		〃		〃	
49	VII G-75	Ⅲ	単絡1押	多軸絡		ナデ		〃	
50	VII H-75	Ⅲ下	結束第一種、R押			ミガキ		〃	
51	VII G-74	Ⅲa	〃			〃		Ⅱ-1?	
52	VII H-76	Ⅲ下	〃			〃		Ⅱ-1	
53	VII G-75	Ⅲ	縦位貼付、R単絡1押			〃		Ⅱ-2	
54	VII G-74	Ⅲa			結束第一種(LR、RL)	〃		Ⅱ	
55	VII G-75	Ⅲ		条痕		〃		Ⅱ?	
56	VII G-75	Ⅲ			L単絡1A	〃	素文	〃	台部

30図 第三層 出土土器 (12) 第Ⅱ群土器



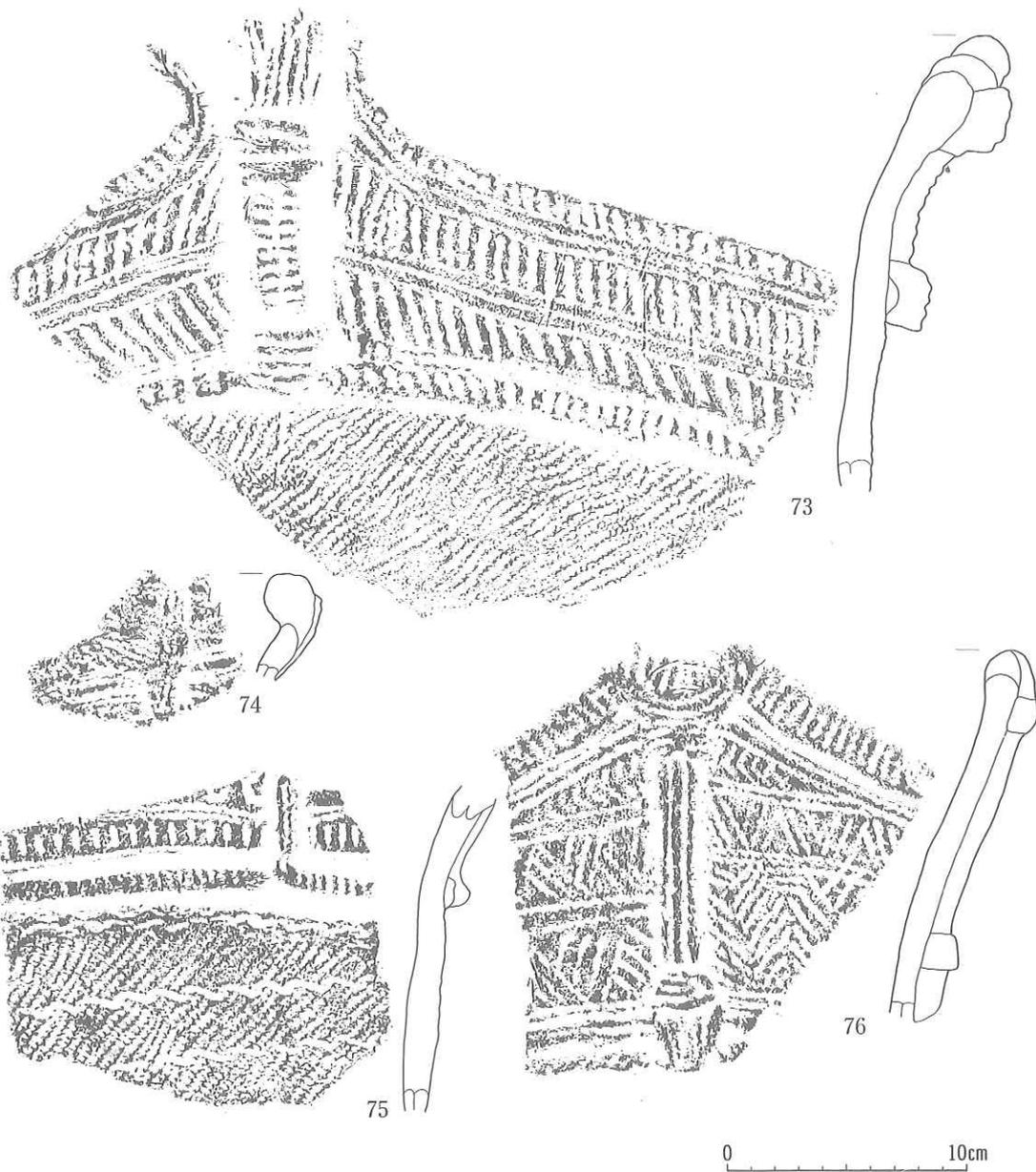
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
57	ⅢH-75	Ⅲ	くの字状貼付、L・R押圧	結束第一種			Ⅲ-1-a	細砂粒混入	
58	〃	〃	〃 LR押圧			ミガキ	〃	貼付一部剥落	
59	ⅢF-74	〃	〃			〃	〃		
60	〃	Ⅲa	〃 LR押圧	結束第一種(LR, RL)		〃	〃		
61	ⅢG-74	間24	斜位貼付	〃		〃	〃		
62	〃	〃	〃			〃	〃	61と同一個体	
63	ⅢG-75	Ⅲ	縦位貼付 RL押圧	結束第一種(LR, LR)		〃	〃		
64	〃	〃	〃			〃	〃		

31図 第Ⅲ層 出土土器(13) Ⅲ群1類 a



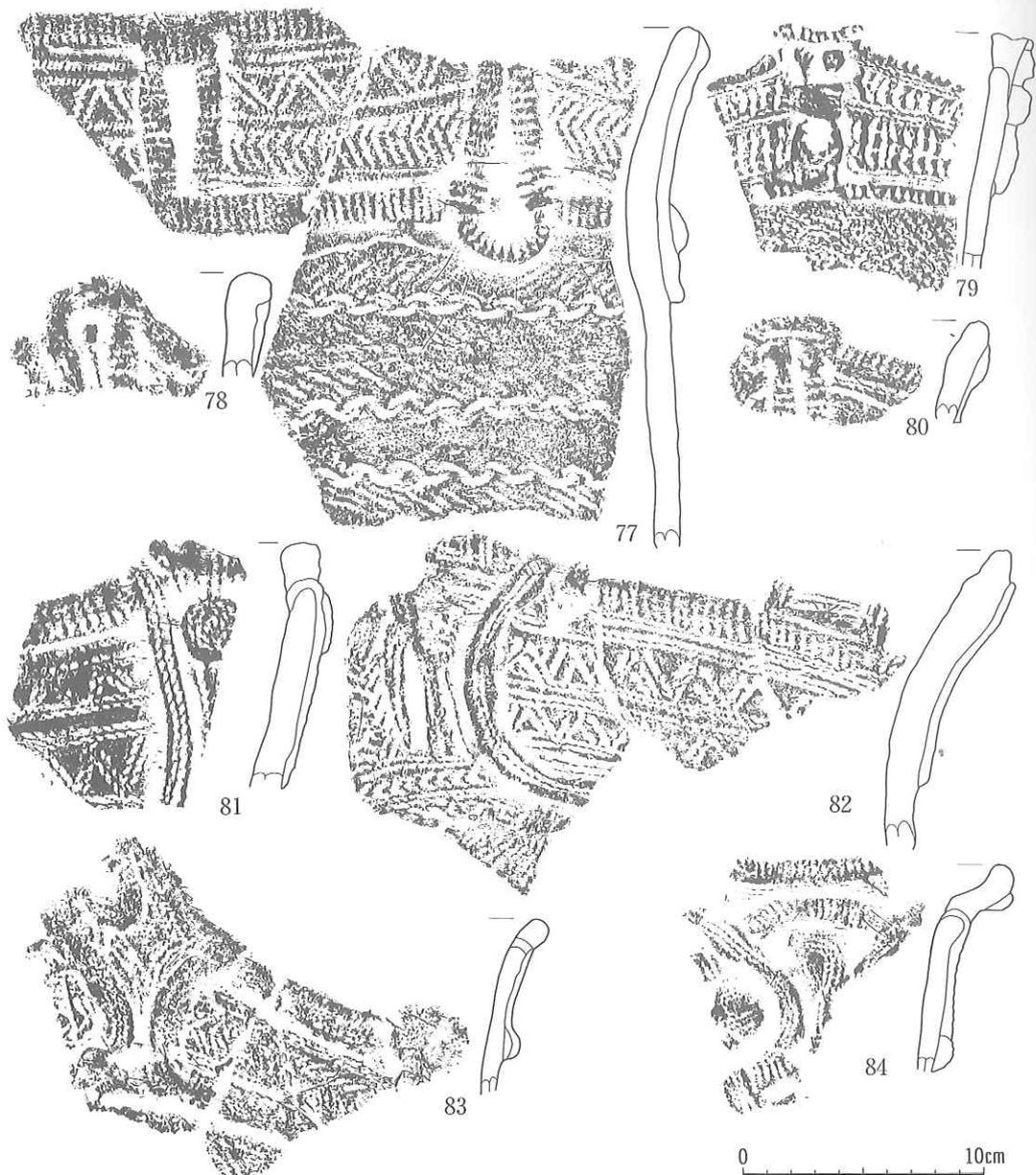
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
65	VI F-74	III a	縦・横貼付、RL押圧 (横、鋸歯)	結束第二種(LR、RL)		ミガキ		III-1-b	
66	VI F-75	III	〃 LR押圧(横、縦)	結束第一種(LR、RL)		〃		〃	
67	〃	III トレ	縦貼付、L押圧(縦、斜)					〃	縦貼付途中で剥落
68	VI G-74	III 下	縦・横貼付、L押圧 (縦、横)	LR、R結節回転		ミガキ		〃	
69	VI H-75	III	〃 RL押圧(縦・横)	結束第二種(LR、RL)				〃	
70	VI G-75	〃	縦・横、輪状貼付、L押圧	RL		ミガキ		〃	
71	VI F-74	間24	縦位貼付、R押圧	RL				〃	摩耗
72	VI G-74	III a	LR押圧(横、鋸歯 状、渦巻状)			ミガキ		〃	

32図 第三層 出土土器(14) III群1類b



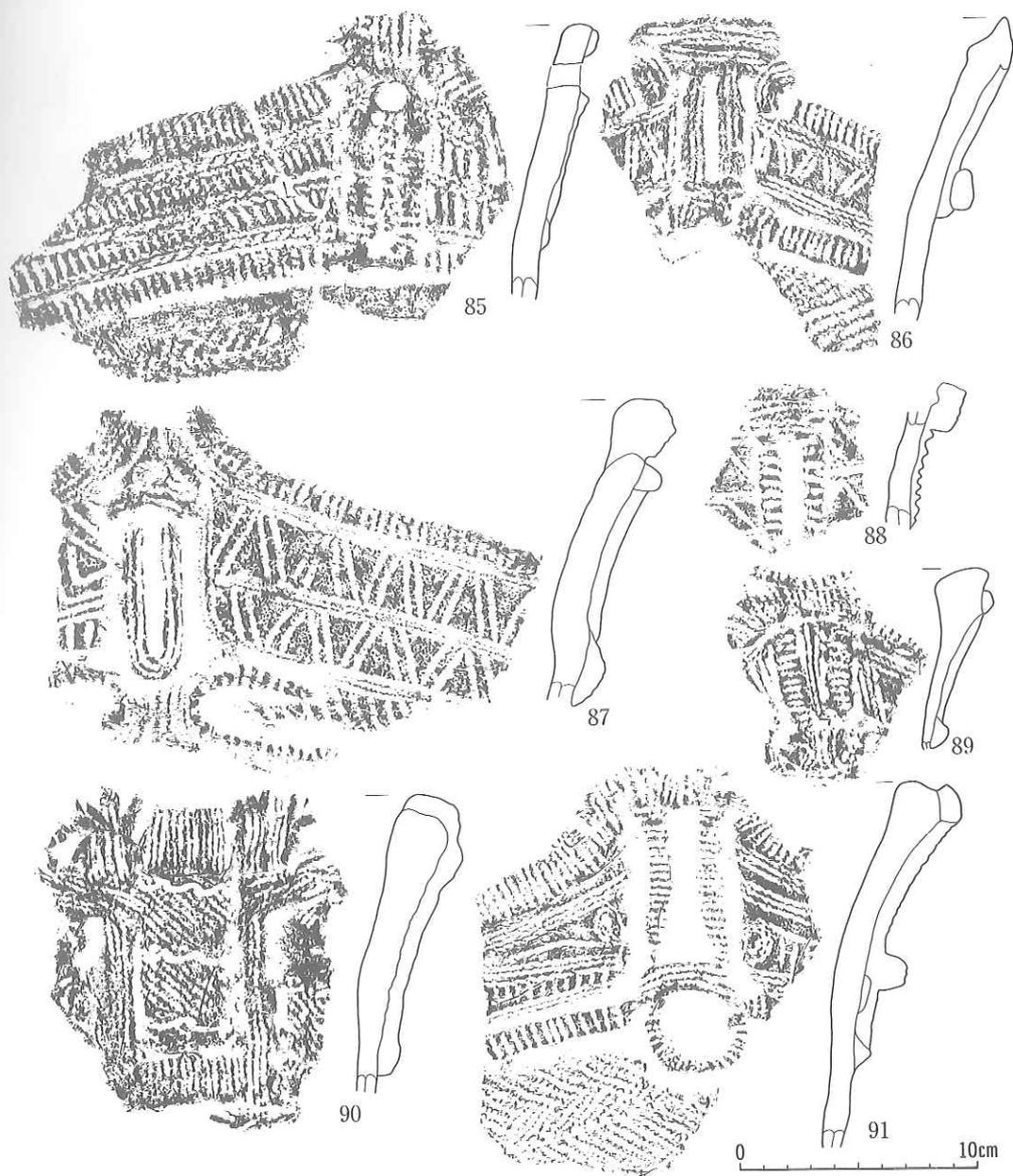
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
73	MIG-74	Ⅲ下	縦位貼付、LR押圧	LR(O段多条)		ミガキ	Ⅲ-1-b		
74	〃	Ⅲa	〃 〃				〃		
75	MIG-75	〃	〃 〃	LR、R結節回転			〃	砂粒混入	
76	VIF-75	Ⅲ	縦位貼付、LR押圧 (横位、露面状)			ナデ	〃		

33図 第三層 出土土器 (15) Ⅲ群1類b



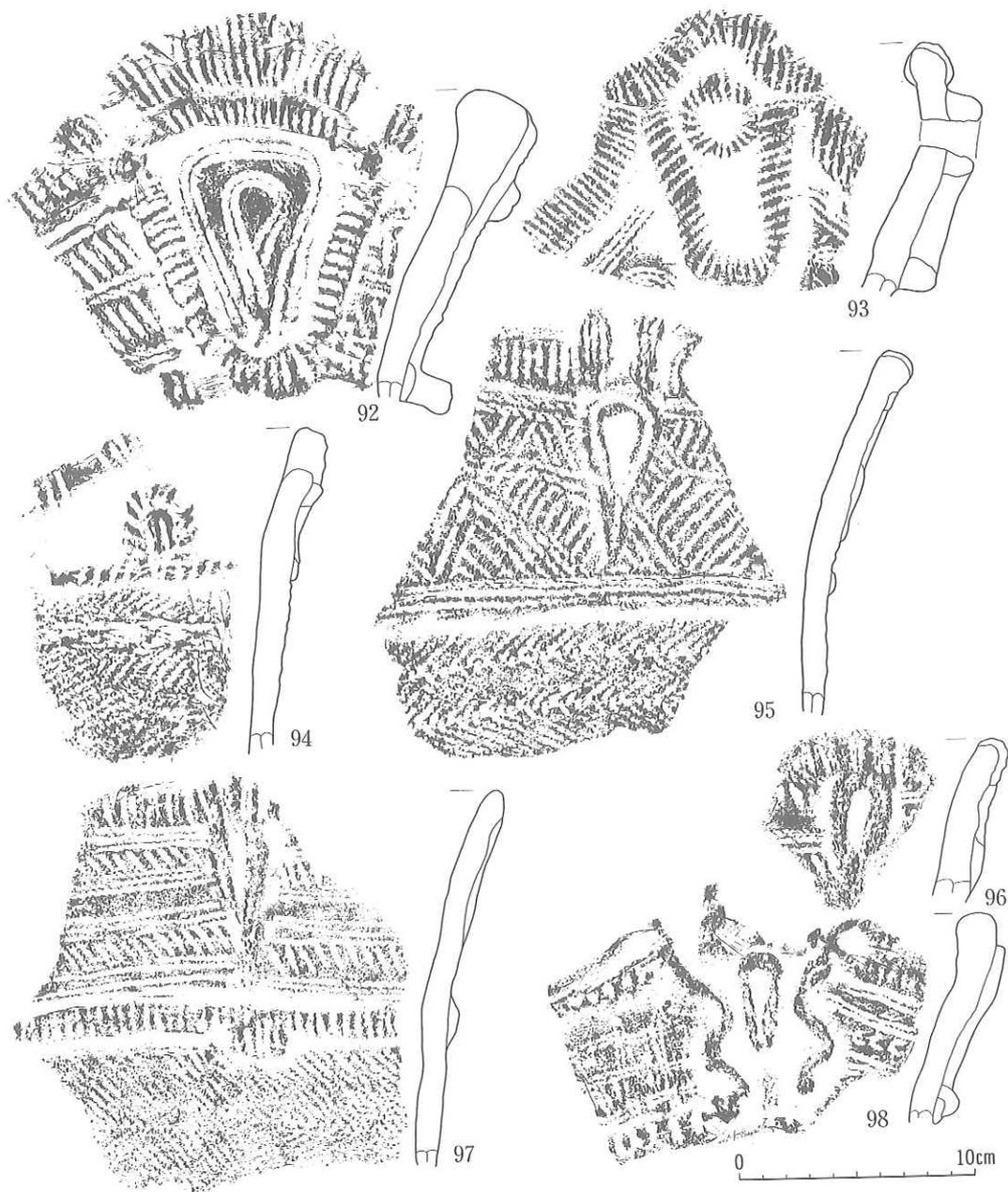
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
77	VIF-74	間24	縦・横貼付、LR押圧(横、鋸歯)	結束第二種(LR、RL)			Ⅲ-1-c	細砂粒混入	
78	VIG-74	Ⅲa	縦貼付				〃	細砂粒混入、摩耗激しい	
79	〃	Ⅲ	縦・横貼付、LR押圧	結束第一種(LR、RL)			〃	縦位貼付上部に凹形貼付	
80	〃	間24	縦貼付、LR押圧			ミガキ	〃		
81	VIC-75	Ⅲ	V字状、ホタン状貼付、LR押圧			〃	〃		
82	VIIH-75	Ⅲ	縦、U字状貼付、LR押圧(横、鋸歯)			〃	〃		
83	VIF-75	Ⅲa	ㄠ状貼付、R押圧				〃	砂粒混入、摩耗激しい	
84	VIG-74	〃	〃 L押圧			ミガキ	〃		

34図 第三層 出土土器(16) Ⅲ群1類c



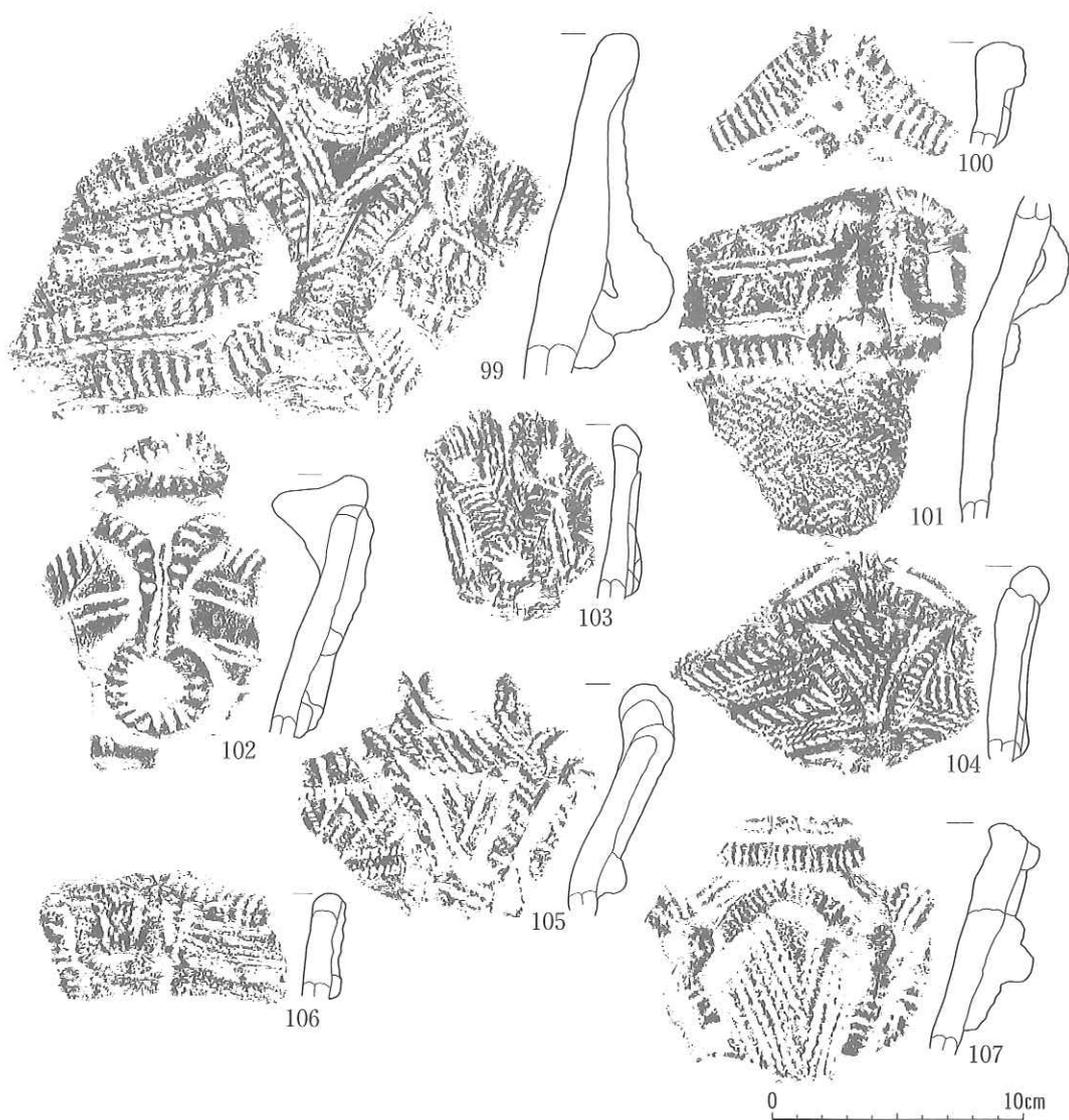
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
85	VIF-75	Ⅲ a	縦位・横位貼付・LR押圧(縦・横)	結束第一種(LR、RL)		ミガキ	Ⅲ-1-c	貫通孔	
86	VIF-74	間24	〃 LR押圧(横・鋸歯)	LR?		ナデ	〃		
87	VIG-75	Ⅲ	〃 LR押圧(斜・鋸歯)			ミガキ	〃		
88	VIG-74	Ⅲ a	〃 RL押圧(横・鋸歯)			〃	〃		
89	VIF-74	〃	〃 〃 ( 〃 )			〃	〃		
90	〃	〃	RL、L結節回転・貼付			〃	〃		
91	VIG-74	〃	縦・横輪状貼付・LR押圧(横・渦巻)	結束第一種(LR、RL)		〃	〃		

35図 第三層 出土土器 (17) Ⅲ群1類c



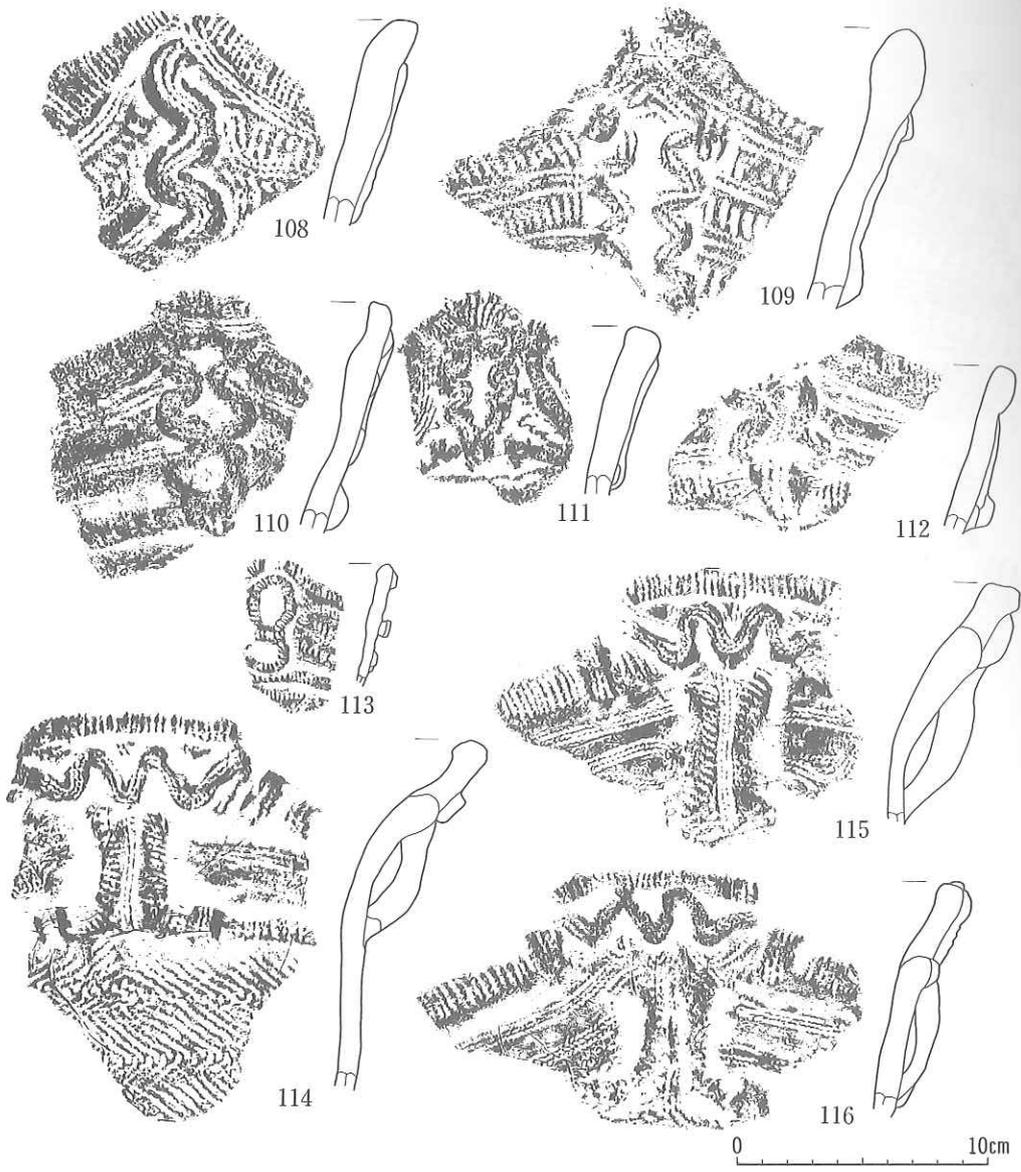
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
92	VI G-74	III a	貼付、LR押圧			ミガキ	III-1-d		
93	VI G-75	III	貼付、LR、RL押圧			〃	〃	貫通孔	
94	VI G-74	III a	〃 LR押圧				〃	砂粒混入	
95	VII F-76	III	〃 LR押圧	結束第一種(LR、RL)			〃		
96	VI G-74	間24	〃 〃	〃			〃		
97	VI G-75	III	〃 〃			ミガキ	〃		
98	VII H-75	〃	貼付(楕円、波状、横位)、LR押圧				〃		

36図 第三層 出土土器 (18) III群1類d



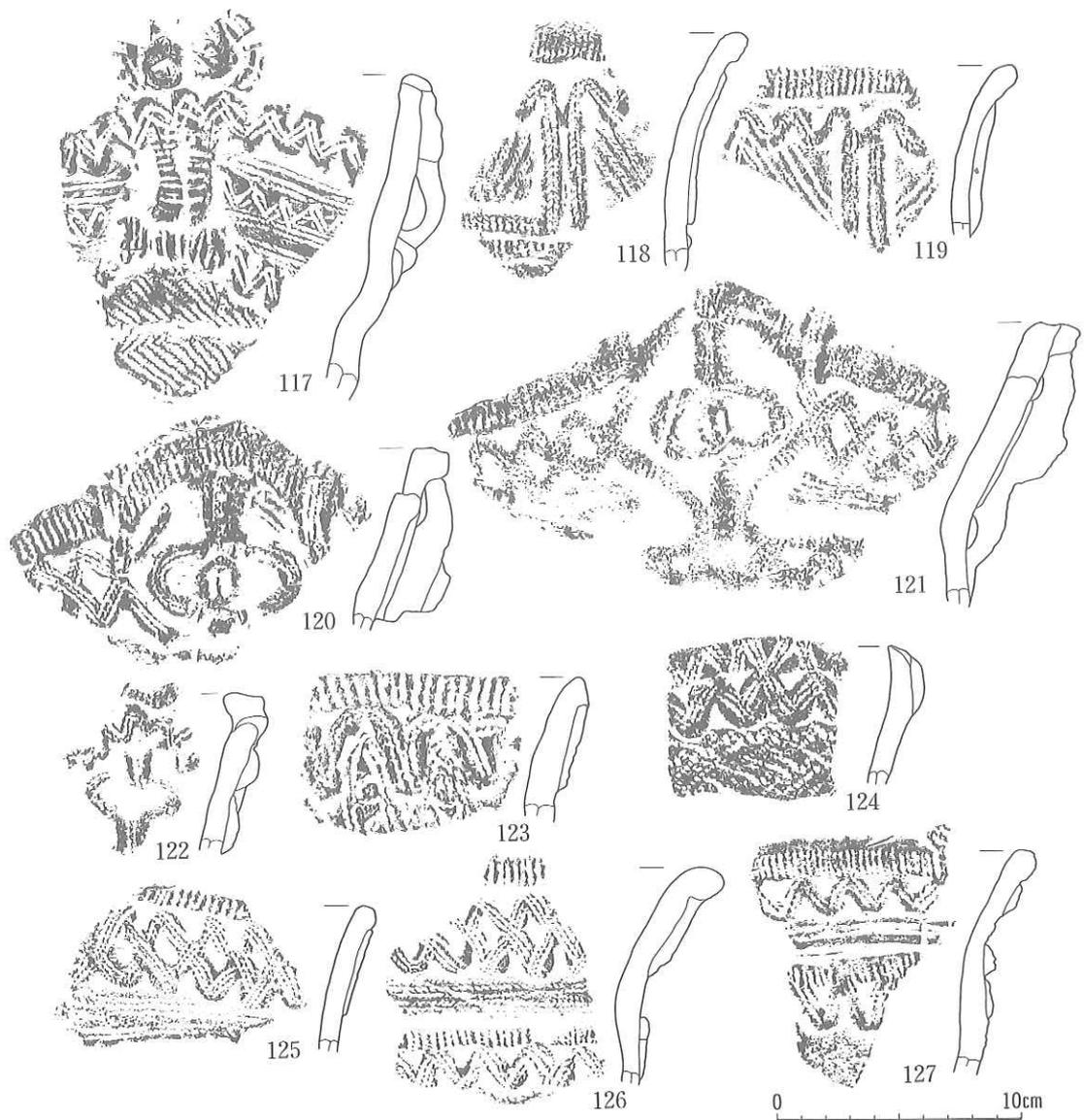
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
99	VIF-74	Ⅲa	橋状突起、LR押圧 (横、縦)					Ⅲ-1-d	細砂粒混入
100	VIG-74	〃	貼付、L押圧(横、渦巻)			ミガキ		〃	
101	〃	〃	橋状突起、LR押圧 (横、鋸歯)	結束第一種		〃		〃	
102	VIF-74	〃	Y状、リング状貼付、LR押圧			〃		〃	
103	〃	〃	〃 L押圧			〃		〃	
104	VIIH-74	Ⅲ下	貼付、R押圧			〃		〃	
105	VIG-75	Ⅲ	貼付、LR、RL押圧			〃		〃	
106	VIG-74	Ⅲa	〃 L押圧			〃		〃	
107	〃	〃	〃 L・R押圧			〃		〃	

37図 第三層 出土土器(19) Ⅲ群1類d



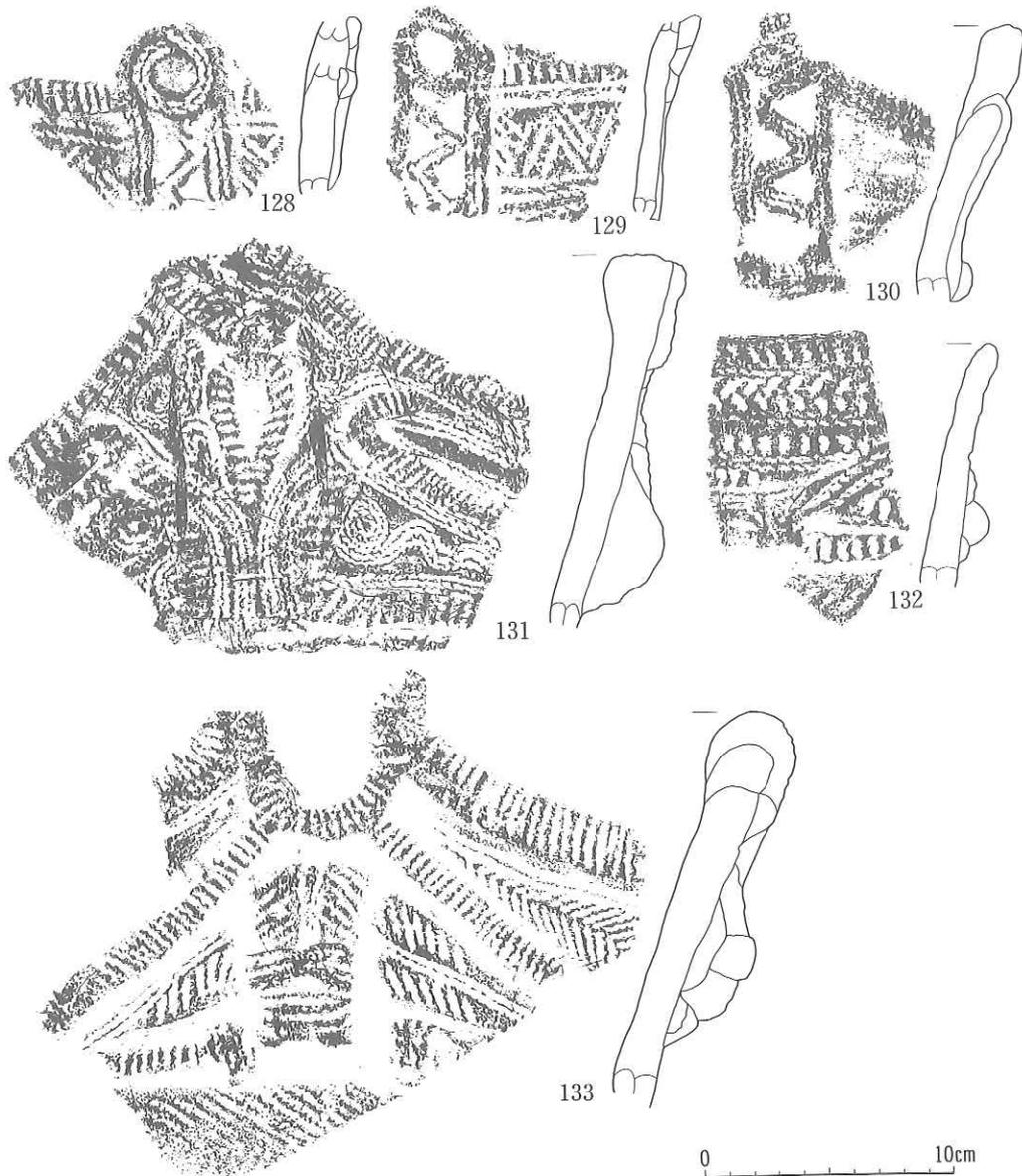
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
108	VIF-74	III a	波状貼付、LR押圧(縦・横)			ナデ		III-1-e	
109	VIG-75	III	〃 〃			ミガキ		〃	貼付上端部に、短い貼付
110	VIF-74	III a	〃 LR押圧(横)			〃		〃	
111	〃	〃	〃 LR押圧(斜)			ナデ		〃	
112	VIG-74	III 下	〃 LR押圧(横)			ミガキ		〃	
113	〃	問24	8字状貼付、短刻線					〃	
114	VIG-74	III a	波状、橋状貼付、LR押圧	結束第一種(RL、RL)		ミガキ		III-1-f	115と同一個体
115	〃	III	〃 〃			〃		〃	
116	VIG-75	III	〃 LR押圧			〃		〃	波状貼付上に原体押圧痕

38図 第三層 出土土器 (20) III群1類 e f



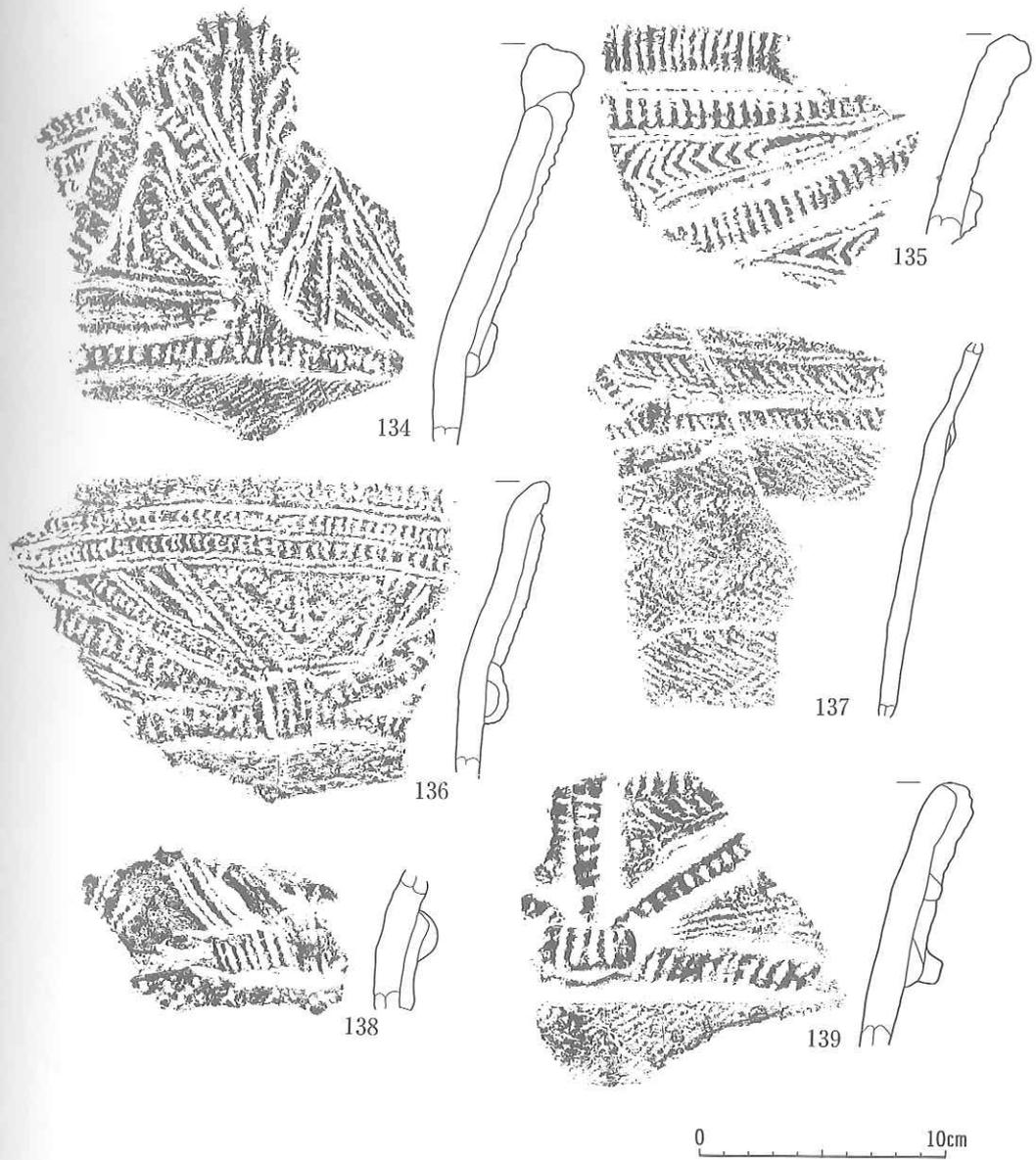
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
117	MH-75	Ⅲ	波状、橋状貼付、LR押圧(横、縦面)	結束第一種(LR、RL)		ミガキ	Ⅲ-1-f		
118	MIG-74	Ⅲ下	波状、縦・横貼付、R押圧			〃	〃	119と同一個体	
119	MF-74	Ⅲ	〃			〃	〃		
120	MIG-74	Ⅲa	波状、橋状貼付、L・R押圧			〃	〃	121と同一個体	
121	〃	Ⅲ	〃	〃		〃	〃		
122	MIG-75	〃	貼付、L押圧			〃	〃		
123	MIG-74	Ⅲ下	波状貼付、LR、RL押圧			〃	〃		
124	MF-74	Ⅲa	〃	結束第一種(LR、RL)		〃	〃		
125	MIG-74	〃	波状貼付、横位貼付 Fにも波状貼付			〃	〃		
126	〃	間24	〃	〃		〃	〃		
127	〃		〃	原体押圧	LR(結束第一種?)	〃	〃		

39図 第三層 出土土器 (21) Ⅲ群1類 f



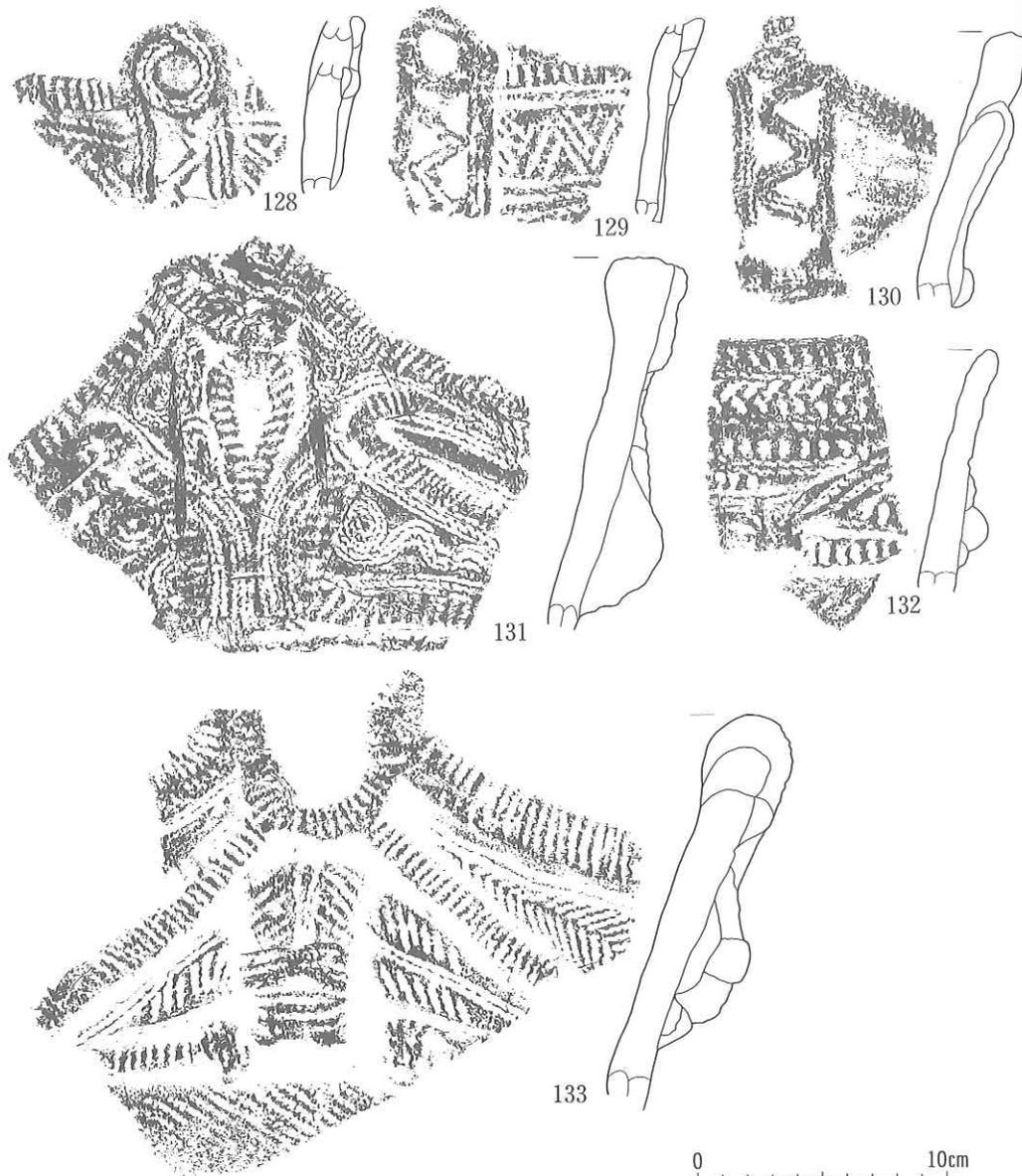
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
128	ⅥE-75	Ⅲ	リング状、縦・縄 齒状貼付、LR押圧			ミガキ		Ⅲ-1-g	
129	ⅥG-75	〃	〃					〃	細砂粒混入
130	ⅥG-75	〃	〃					〃	
131	ⅥF-74	Ⅲa	貼付、LR押圧 (横・渦巻状)					〃	
132	ⅥG-74	Ⅲ下	貼付、LR押圧(縦・横)					〃	
133	ⅥG-75	Ⅲ	貼付、LR押圧(斜・縦位)			ミガキ		〃	

40図 第三層 出土土器(22) Ⅲ群1類g h



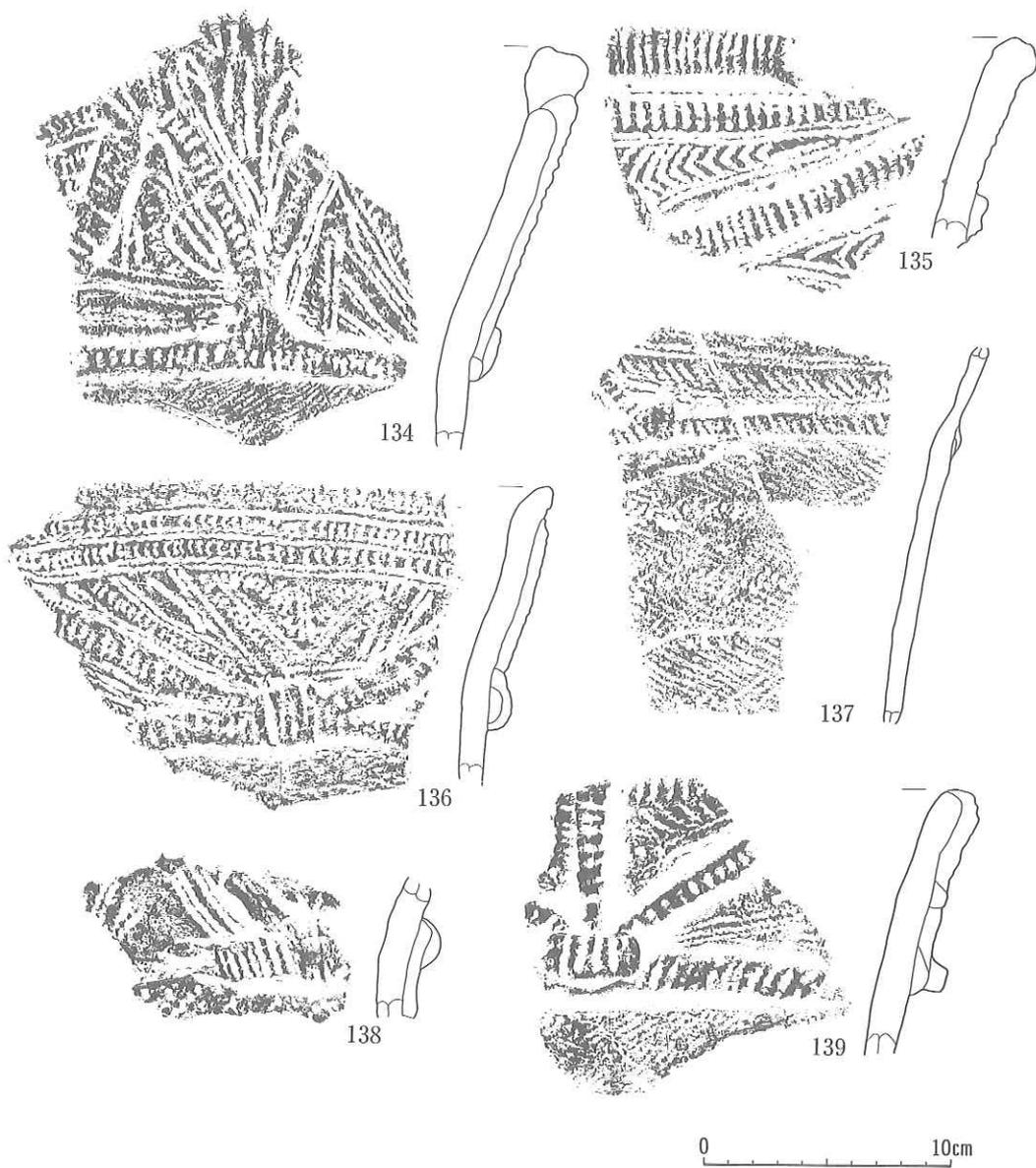
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
134	VII G-75	III a	貼付、爪形刺突、RL押圧	LR		ミガキ	III-1-h		
135	VII H-75	III	〃 LR押圧			〃	〃		
136	VII G-75	III a	〃 〃 爪形刺突				〃		
137	VII H-74	III 下	貼付、RL押圧	結束第一種(LR、RL)		ミガキ	〃		
138	VII G-74	間24	〃 〃			〃	〃		
139	VII F-75	III a	〃 LR押圧	LR			〃		

41図 第三層 出土土器 (23) III群 1類 h



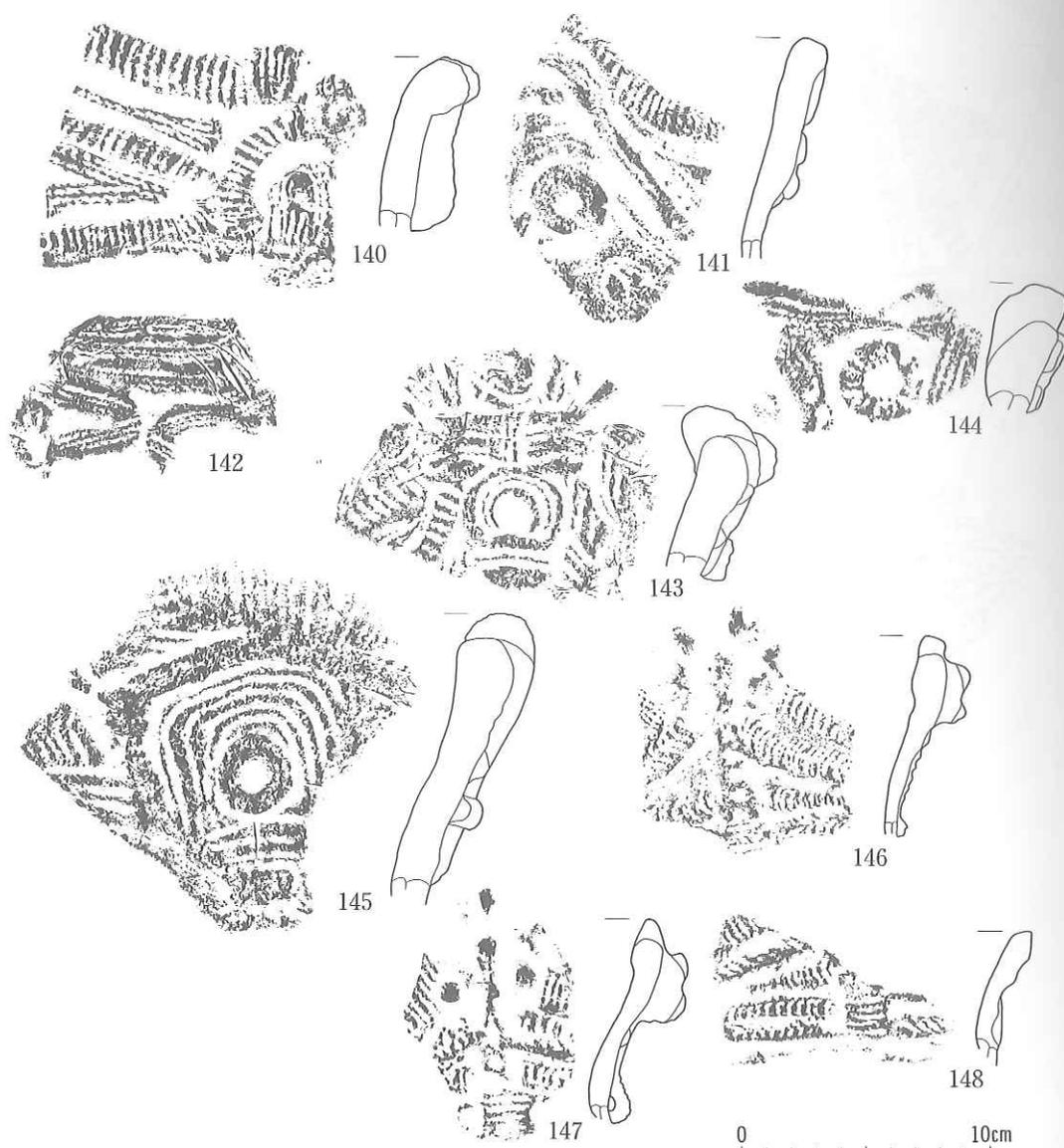
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
128	VII E-75	Ⅲ	リング状、縦・横 歯状貼付、LR押圧			ミガキ	Ⅲ-1-g		
129	VII G-75	〃	〃 〃				〃		
130	VII G-75	〃	〃 〃				〃	細砂粒混入	
131	VII F-74	Ⅲ a	貼付、LR押圧 (縦・渦巻状)				Ⅲ-1-h		
132	VII G-74	Ⅲ 下	貼付、LR押圧(縦・横)				〃		
133	VII G-75	Ⅲ	貼付、LR押圧(斜・縦位)			ミガキ	〃		

40図 第三層 出土土器 (22) Ⅲ群 1類 g h



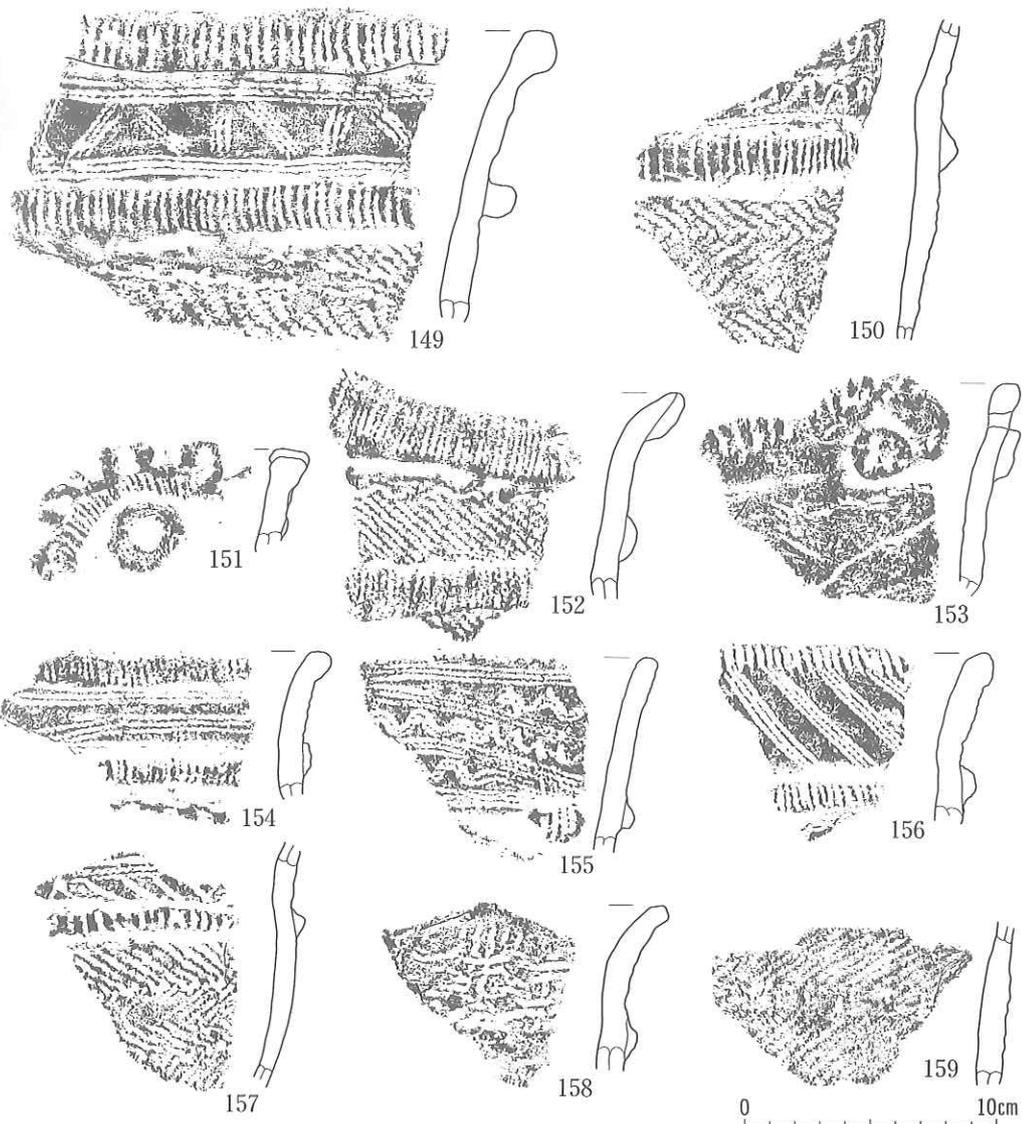
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
134	ⅡG-75	Ⅲa	貼付、爪形刺突、RL押圧	LR		ミガキ	Ⅲ-1-h		
135	ⅡH-75	Ⅲ	〃 LR押圧			〃	〃		
136	ⅡG-75	Ⅲa	〃 〃 爪形刺突				〃		
137	ⅡH-74	Ⅲ下	貼付、RL押圧	結束第一種(LR、RL)		ミガキ	〃		
138	ⅡG-74	間24	〃 〃			〃	〃		
139	ⅡF-75	Ⅲa	〃 LR押圧	LR			〃		

41図 第Ⅲ層 出土土器(23) Ⅲ群1類h



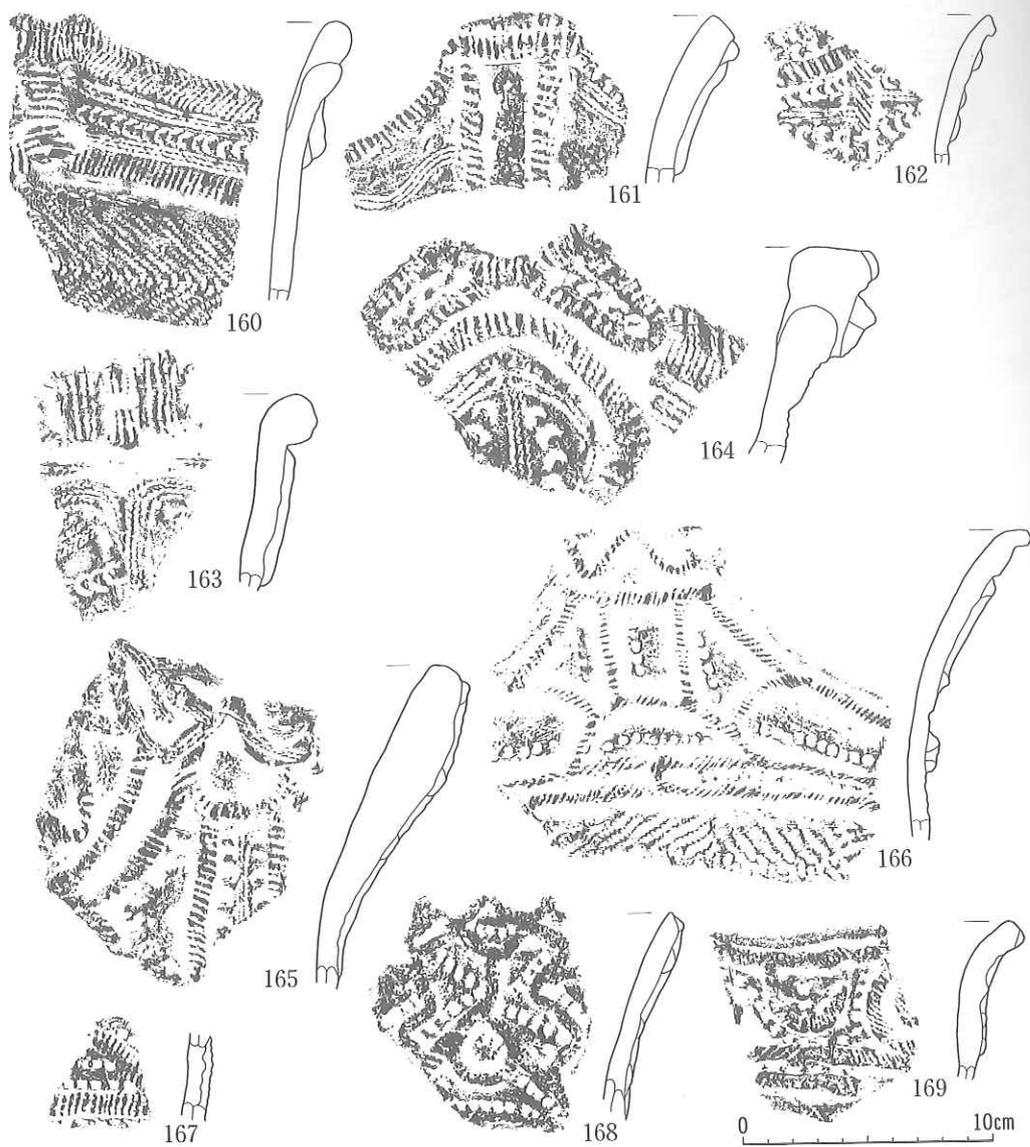
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
140	WIG-75	Ⅲa	貼付、LR押圧			ミガキ		Ⅲ-1-h	
141	WIG-74	〃	〃 リンク状貼付、 L・R押圧			〃		〃	
142	〃	Ⅲ下	〃 L押圧					〃	
143	WIG-75	Ⅲ	〃 LR押圧			〃		〃	
144	WIG-74	Ⅲa	〃 L・R押圧					〃	
145	WIG-75	Ⅲ	〃 LR押圧			ミガキ		〃	
146	WIG-74	Ⅲa	〃 〃			〃		〃	円形貼付 147と同一個体
147	〃	〃	〃 〃			〃		〃	
148	〃	〃	〃 〃			〃		〃	147と同一個体?

42図 第Ⅲ層 出土土器 (24) Ⅲ群1類h



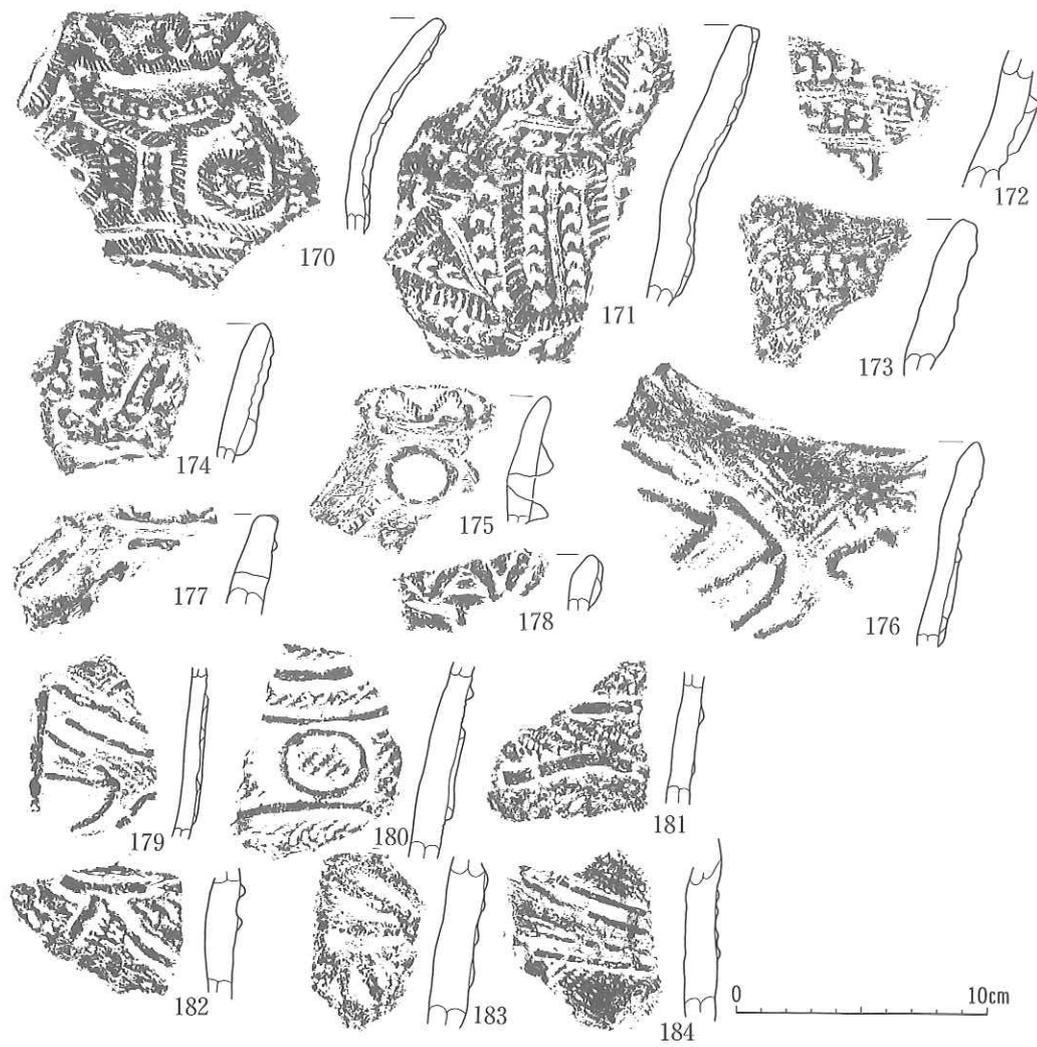
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
149	MIG-74	問24	貼付、L押圧(横、鋸歯状)	RL? R結節回転		ミガキ		Ⅲ-1-i	
150	〃	Ⅲa	〃	結束第一種(LR、RL)		〃			
151	〃	問24	貼付(リング状)、R押圧			〃			
152	ⅡF-74	Ⅲa	貼付、RL、結節回転			〃			
153	MIG-74	Ⅲ	ボタン状貼付、LR押圧	無文?		〃			貫通孔
154	〃	Ⅲa	貼付、L押圧			〃			
155	ⅡH-75	Ⅲ	〃			〃			
156	MIG-74	Ⅲ	貼付、L押圧			〃			
157	MIG-74	問24	RL押圧、貼付	結束第一種(LR、RL)		〃			
158	ⅡF-76	Ⅲ	L押圧、結節回転?			〃			
159	MIG-74	Ⅲa		LR、R押圧		〃			

43図 第Ⅲ層 出土土器 (25) Ⅲ群 1類 i



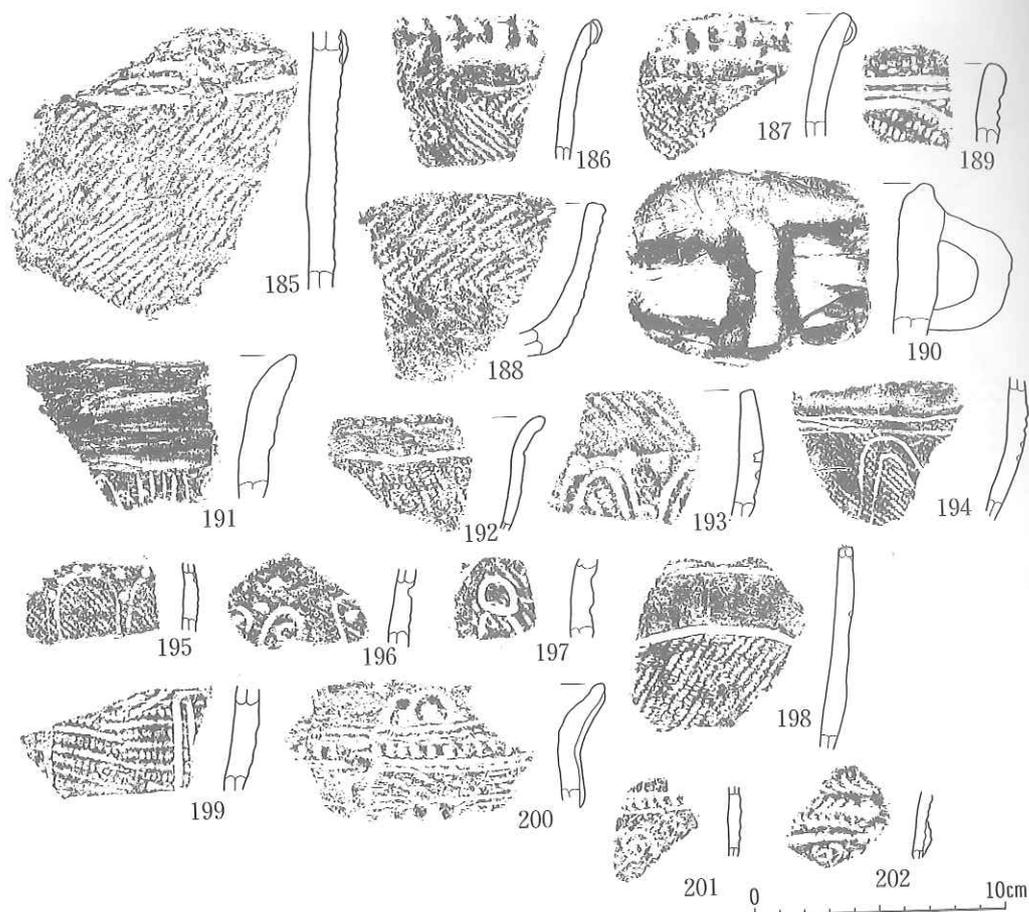
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
160	VII G-74	III	縦位貼付、L押圧 (横・馬蹄形)	結束第一種(LR、RL)		ミガキ	III-2		
161	VII G-77	III	貼付(縦・横)L・R押圧			〃	〃		
162	VII F-75	III	〃(縦・斜)L押圧			〃	〃		
163	VII G-74	III a	〃 R押圧			〃	〃		
164	VII G-75	III	〃 LR押圧			〃	〃		
165	VII F-76	III a	〃 L・R押圧			〃	〃		
166	VII G-75	III	〃 (R押)、刺突	結束第一種		〃	III-3		
167	VII G-74	〃	〃 (R押)、〃			〃	〃		
168	VII F-76	〃	〃 角型刺突			〃	〃		
169	〃	〃	〃 (L押)、〃			ミガキ	〃		

44図 第三層 出土土器 (26) III群 2、3類



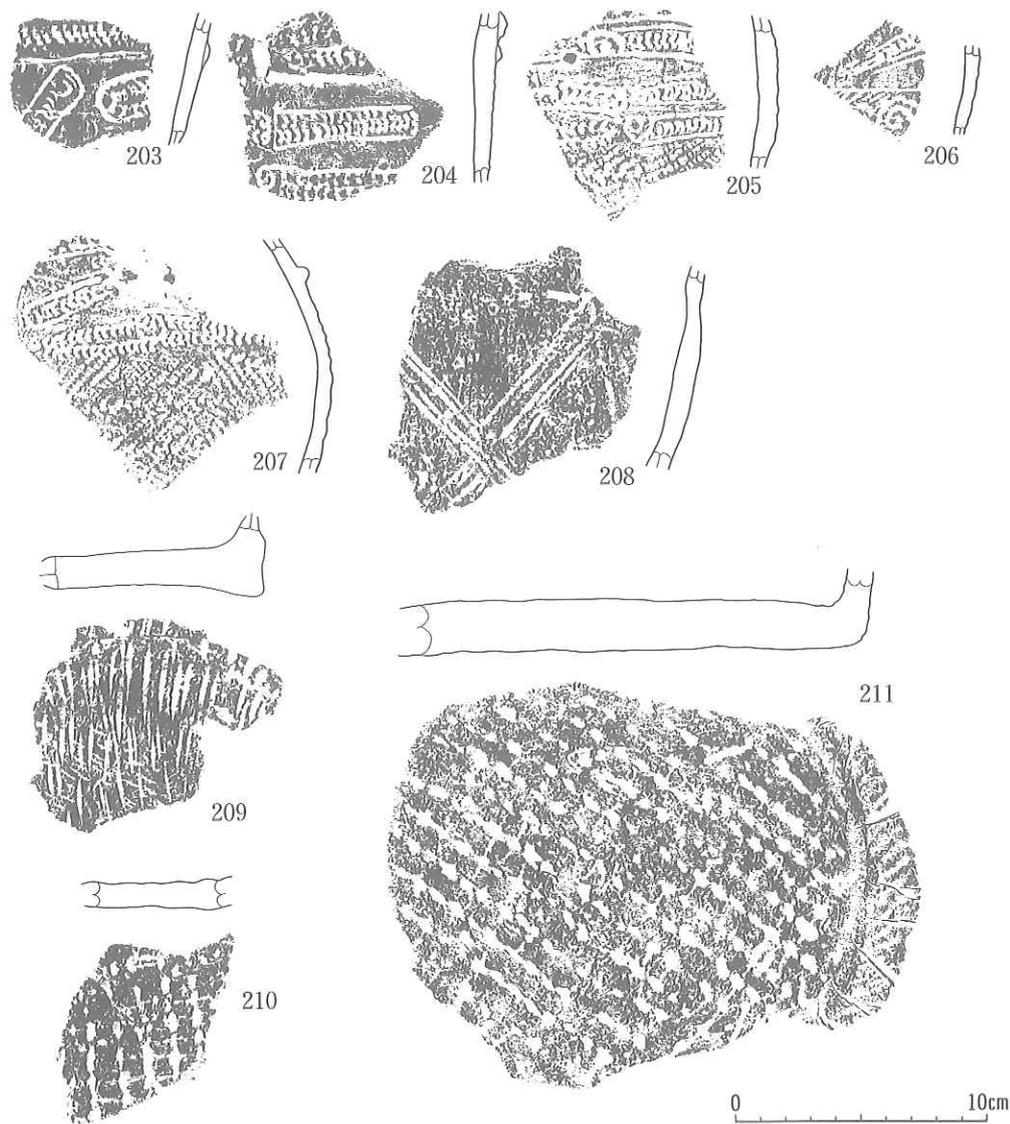
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
170	VIF-75	Ⅲ	貼付(L押)、刺突	RL?		ミガキ	Ⅲ-3		
171	VIF-76	Ⅲトレ	〃 〃 馬蹄形刺突			〃	〃		
172	VIF-75	Ⅲ	〃 〃 〃				〃	細砂粒混入	
173	VI E-76	Ⅲ	角形刺突			ミガキ	〃	〃	
174	VIG-77	Ⅲ	貼付、楕円型貫通なし			ナデ	Ⅲ-4		
175	VIG-74	Ⅲ	〃 (刻み)、リング状貼付			ミガキ	〃	貫通孔	
176	VIG-75	Ⅲ	結束第一種(LR、RL)、貼付			ナデ	〃	〃	
177	VIF-74	Ⅲa	貼付			〃	〃	〃	
178	VIG-75	Ⅲ		結束第一種(LR、RL)、貼付		〃	〃	〃	
179	〃	〃		〃 〃		ミガキ	〃	〃	
180	VI E-76	〃		結束第一種(LR、RL)、貼付		〃	〃	〃	
181	VIG-74	〃		貼付、RL		ナデ	〃	〃	
182	〃	〃		結束第一種(LR、RL)、貼付			〃	〃	
183	VIG-77	〃		貼付			〃	〃	
184	VIG-75	〃		結束第一種(LR、RL)、貼付		ミガキ	〃	〃	

45図 第三層 出土土器 (27) Ⅲ群 3、4類



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
185	VII E-76	III		貼付(縦位)、沈線	LR	ナデ	III-5		
186	VII F-76	〃	口唇部貼付(横、縦)	RL		ミガキ	〃	187と同一個体	
187	VII F-75	〃	〃	〃		〃	〃		
188	VII F-74	III a	結束第一種(LR、RL)			ナデ	III-6	浅鉢形	
189	VII F-76	III	RL、沈線				III-8		
190	VII G-75	III	橋状突手				〃		
191	VII G-75	〃	無文帯、横位沈線	R単絡I		ミガキ	III-9		
192	VII G-74	〃	〃 RL				〃		
193	VII F-75	〃	〃 〃、沈線			ミガキ	〃		
194	VII E-76	〃	RL、円形刺突、沈線			〃	〃		
195	VII E-75	〃	円形刺突、沈線			〃	〃		
196	VII G-75	〃	RL、沈線				〃		
197	VII F-75	〃		磨消縄文、LR		ミガキ	〃		
198	VII G-74	〃		LR、沈線		〃	III-11		
199	〃	〃	沈線、貼付				〃		
200	〃	III a	短刻線による渦巻状構成			ミガキ	〃		
201	〃	〃	貼付、LR押圧	短刻線による渦巻状構成		〃	〃		
202	〃	〃					〃		

46図 第三層 出土土器 (28) 第三群 5・6・7・8・9・11類



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
203	ⅦF-74	Ⅲa	貼付 R押圧	沈線		〃			
204	〃	〃	〃 〃	沈線、半截竹管状の刺突		〃			
205	ⅦG-74	〃		〃 〃	LR	〃			
206	〃	〃		〃 〃		〃			
207	〃	〃		〃 〃	結束第一種(LR, LR)	〃			
208	ⅦF-74	〃		縄文?沈線による N字状構成		〃			
209	ⅦH-76	〃					擦痕	Ⅲ-6	
210	ⅦH-75	〃					スグレ状圧痕	〃	
211	ⅦG-75	〃					〃	〃	

47図 第Ⅲ層 出土土器 (29) その他の土器

### 3) 石器

第Ⅲ層からは石鏃、石槍、石匙、石錐、石篋、ピエス・エスキーユ、不定形石器、異形石器、石核類、磨製石斧、半円状扁平打製石器、抉入扁平磨製石器、擦切具、軽石・軽石製品、敲磨器類、砥石、石皿・台石類、石棒、角柱状の礫・礫石器、石冠などが出土している。

定形石器では一括出土した石槍に比べ、石鏃は出土点数が少ない。また石匙が多く、石錐は少ない。礫石器では、他の層では出土していない石冠の出土が特筆される。

剥片石器の石材は、ほとんどが珪質頁岩である。他には玉髓質珪質頁岩、玉髓、黒曜石、鉄石英などが使用されている。

礫石器は、石材と対応関係の強い器種とゆるやかな器種がある。磨製石斧の石材は緑色細粒凝灰岩が、半円状扁平打製石器や抉入扁平磨製石器、擦切具は節理により板状に割れやすい安山岩が、角柱状の礫・礫石器では流紋岩が選択されている。一方、敲磨器類では安山岩、凝灰岩、溶結凝灰岩、砂岩、流紋岩、頁岩など多様な石材が、砥石は、頁岩、砂岩、細粒凝灰岩が使用されている。

#### A類 石鏃 (1~9)

有茎のものと無茎のものが出土している。無茎のものは、小型が多い。5は黒曜石製の無茎石鏃で、基部の抉りが深い。

#### B類 石槍 (10~41)

12は欠損品で、細身であり石槍とした。

13は黒曜石製の小型の石槍で、厚さと重量があるため石鏃としなかった。

14~41の28点は、VII G-77からの一括出土である。出土状況は狭い範囲からまとまって出土したものである。なお、24はその前日に出土したものであるが、平面的・レベル的に他の石槍と近接した位置関係にあったと判断され、さらに同一個体の石槍が存在することから一括出土のなかに含めた。石材はいずれも珪質頁岩であり、大きさは6.5cm前後のものと5cm前後のものが多い。個別別資料に分類すると15個体に分類できる。16~19、20~23は4点が、14~15、24~25、26~27、28~29、30~31、32~33、34~35は2点で同一個体をなす。36~41は単独個体である。なお、二次加工がほぼ全面に及ぶために接合するものはない。

個別別資料で見ると石槍は2点で一組となるものが多く、いずれも2点のうち1点は他の1点に比べてやや大きい。16~19の個体は4点からなるが、17と19は他の2点に比べ小さい。

ただし、20~23の個体については21が小型であるが、23は20・22と類似した大きさである。

色調は16~19は黒色で光沢があり、20~23は青みのある灰色、14~15は黒と山吹色、32~33は縞模様のある灰色、37は赤紫色であり灰~黒を基調としたなかにもバラエティーがある。

なお、36は幅広で先端角も大きく、不定形石器とすることも可能であるが、一括資料の石槍のなかでとらえた。

### C類 石匙 (42~164)

縦型の石匙が主体を占め、横型、斜型も出土している。大きさは5~8 cm程度のものが多い。片面加工が多いが、62のように両面加工もある。

縦長剥片を素材とするものも多く、つまみは通常打点側に設けられるが、反対側に設定されるものもある。また、つまみ部分の挟りの間隔は幅15mmを超えるものもあるが、幅7mm~12mm程度となるものも多く、石器の大きさとつまみの大きさは弱い相関がある。また、欠損品も多い。

石匙は光沢が顕著に認められるものも多く、イネ科の植物を切ったときにできる使用痕(青森県教育委員会 1995 「熊ヶ平遺跡」)に類似する。光沢は裏面側の一方の刃部に特に強く、薄れながら反対側の刃部まで達しているものが多い。また、光沢が両側縁から入るものや、裏面のほぼ全面に強い光沢を持つものもある。光沢は正面側の中央付近にも多く認められるが、刃部の作り直しにより、側縁付近の光沢部分が失われた可能性がある。一方、石匙によっては刃部付近に光沢を持つものも存在し、刃部の再加工や使用の状況と関係するものと判断される。光沢は幅の狭い大~中型の石匙に特に顕著に認められる。

43~46は先端が尖る。43は先端が少し摩耗している。46は黒曜石製であり、その形態から石槍として分類することも可能である。

47以降は概ね大きさの順に図示した。80は右側縁に突起を持つ。130~132は黒曜石製であるが、いずれも長さが4 cmに満たない。133も小型であり、他の石匙と用途が異なる可能性がある。142、145~146は細部加工がつまみ部付近にわずかに認められ、素材剥片の形状がほぼそのまま残る。150~164は横型、斜型の石匙であるが、小型のものが多い。

### D類 石錐 (165~174)

つまみを持つものが多い。167は両端が尖り、171は尖端の摩耗が著しい。他に165・168、172、173、174に摩耗が認められる。

### E類 石篋 (175~184)

短冊形の石篋が多いが178のように撥形のものも出土している。

### F類 ピエス・エスキーユ (194)

194は上下が激しくつぶれている。石材は珪質頁岩であり、石材と大きさから両極石核とせずピエス・エスキーユとした。

### G類 不定形石器 (185~193、195~259)

定形石器の欠損品と考えられるものも本類に含めた。185、187、205は石槍あるいは石篋の欠損品の可能性があるが、器種の特定ができない。186は加工が粗く、肉厚であり、断面がレンズ状にならないため、本類とした。両端の縁辺が摩耗している。188は下半部を欠失するが幅広で、石篋の欠損品の可能性がある。

また、229~230、232~233などは石匙の欠損品の可能性がある。

完形のものとは4 cmから7 cm程度の長さのことが多い。素材剥片の側縁に細部加工を行い、片面加工したことが多い。全体的に厚みがなく刃先角の小さいものが多いが、256のように肉厚で刃先角の大きなものもある。

231は、尖端が摩耗しており石錐ととらえることも可能であるが、器体が長く、細部加工の行われた側縁から下辺にかけては刃部とみなしうるので本類に含めた。機能が複合した石器である可能性もある。241、242は先端が尖るが、側縁を刃部とみた方が妥当である。243～247は小型の利器である。

246は剥片の両端を切断加工した可能性がある。

#### R類 異形石器 (260～261)

260はつまみを有するが、二対の突起をもち、左右対称であるので本類に含めた。261は黒曜石製である。小型で2つの突起を持つ。

#### P類 石核類 (262～269)

石核を8点図示した。262～266のように作業面の周縁から求心的に剥離を行うものが多い。264、269は比較的薄く、不定形石器の素材となる可能性がある。267は求心的に剥離を行ったあとで90度打面を転位し、それまでの作業面から剥離を行っている。268には敲打痕が確認できる。敲打痕は他の石核にはみられず、剥片剥離のための角度のとれない部分にもみられるので、剥片剥離に伴うものではなく敲石として転用した可能性が高い。

#### H類 石斧 (270～280)

磨製石斧のみ出土した。

270は片刃の磨製石斧であり、他は両刃である。276は整形時の痕跡が器体に残っている。280は閃緑岩を素材としており、大まかな剥離の後、敲打による整形を行った痕跡を大きく残している。

#### J類 半円状扁平打製石器 (281～287)

安山岩の扁平な礫を素材として、一側縁が直線状、反対側縁が弧状になるように整形されている。直線状の側縁にはざらざらした磨痕が認められるものが多く、弧状の部分には敲打痕がみられることもある。287は弧状の部分に敲打痕が認められるが、直線的な側縁に施される剥離加工は部分的なものである。

#### K類 抉入扁平磨製石器 (288～291)

288のように完形品も出土しているが、欠損品がほとんどである。器体の大部分に研磨加工が行われ、形状は三角形で、短辺部分に抉りが設けられる。289と290は抉り付近に敲打痕が認められ、289、291は側縁に磨痕が認められる。また、288、289は節理面を残している。

#### V類 擦切具 (293～294)

293は正面右側と裏面に研磨加工が行われ、直線的な機能部分を作っている。294は打製石斧の形状

に類似するが、下辺に研磨を行い機能部分を直線的に作る。

### I類 敲磨器類 (295～360)

凹痕を持つもの、敲打痕を持つもの、磨痕を持つもののほか、使用痕の複合するものなど各種出土しており、敲石、磨石、凹石として区分せず、敲磨器類として一括して記述する。敲打痕を持つものが最も多く、円礫及び楕円礫を素材としたものが多い。

敲打痕は円礫ではその中央部分や側面に、楕円礫では端部や側面及び表裏面の中央から上より（下より）の位置に形成されることが多い。凹痕は円礫では平坦部分の中央付近に、楕円礫では中央部分から上下によった位置に複数形成されることが多い。また、中央部を中心に表面の滑らかな磨痕が形成されるものもある。

295～301、303、308は凹痕を主体としたものである。295には溝状のくぼまりが、298には線状の使用痕が認められる。302は敲打痕を主体とし、凹痕もみられるものである。正面及び裏面に認められる敲打痕は、激しい敲打により浅くくぼんだものである。

304以降346までは主に、敲打痕を中心としたものを図示した。313は溝状のくぼまりがあり、317の裏面中央部には2箇所「すれ」が認められる。

343は重量が1,000 gを超える大型のものであるが、上下端と側縁に敲打痕が認められる。

345～349、351～360は表面がなめらかな磨痕を持ち、一部は敲打痕や凹痕と複合している。350は明確な敲打痕は認められないが、側縁に剥離痕があり、正面左端からの衝撃で表面に大きな剥離痕が残っている。敲石として分類できるが、正面右上の縁辺部に研磨痕が認められ、半円状扁平打製石器などの素材である可能性もある。

### S類 砥石 (361～366)

361は頁岩製であり多数の擦痕が残る。下端部が特に擦り減り、面取りされたような状態になっている。362～366は板状の素材を砥石としたもので、362、364には溝状の窪みをもつ。

### T類 軽石・軽石製品 (367～373)

軽石は明確な加工のみられないものが多い。370～373は面取りされた部分があり、372には擦痕が認められる。

### L類 石皿・台石類 (374～382)

欠損品が多い。376は左側面にも磨痕が認められるが、3,000 gを超える重量を持つことから固定して使用した可能性が高く、本類に含めた。377は中央に自然のくぼまりがあり、その部分のみ磨痕は不明確である。中央のくぼみは、すり潰したものを集める部分として利用された可能性がある。裏面の敲打痕は器体の固定に伴って形成された可能性がある。

### O類 石冠 (383～385)

北海道式石冠が3点出土している。いずれも敲打により整形し、中央を溝状に窪ませている。383

には部分的に面的な研磨痕が認められる。384は中央のくぼみ部の一部に研磨がほどこされるが、加工の範囲は不明確である。石冠はいずれも底面を磨面として使用しており、383は通常水平となる溝状の窪みが斜行しており、片減りする形で著しく減耗している。

#### U類 角柱状の礫・礫石器 (386~391)

角柱状の礫が出土しており、いずれも欠損品である。搬入された礫と考えられ、一部を図示した。387~391のように敲打痕や磨痕が認められるものもある。

#### M類 石棒 (393)

凝灰岩製の石棒が1点出土している。敲打により整形し、研磨加工を施したものであるが、その研磨を切って敲打痕が認められる。

#### Q類 その他 (292、392)

292は欠損のある礫石器であり、明確な器種分類ができない。縁辺に細長い磨痕が認められ、研磨加工が機能部分を中心に行われている点から、擦切具の可能性はある。

392は安山岩製の磨製石器破片に磨痕と敲打痕が認められるものである。素材となった磨製石器は石刀の可能性があり、破片を敲磨器類として再利用した可能性がある。

#### 接合資料 (394ほか)

同一の石皿から剥離した剥片が15点出土しており、A、B、Cの3つの接合個体が得られ、接合しない同一個体の剥片 (394) とともに図示した。

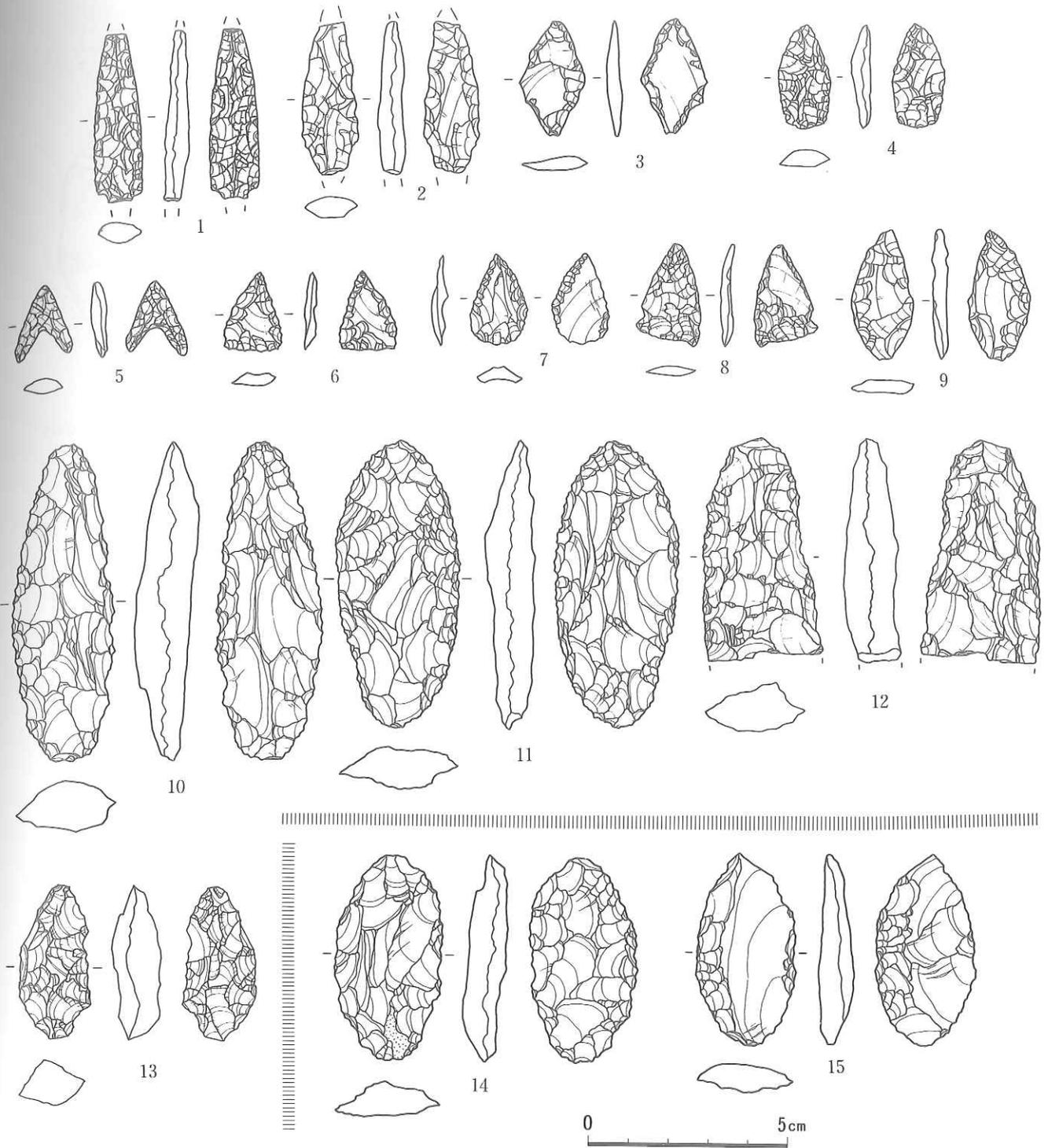
これらの剥片はいずれも同一グリッドから同一月日に取り上げられており、まとまりを持って出土したものと考えられる。剥片は、いずれも無打面で、細部加工は認められない。石材は凝灰岩である。

接合資料Aは4点の剥片からなり、背面側に石皿の磨面と礫面を持つ。

接合資料Cは8点の剥片からなり、背面側に石皿の磨面と礫面を持つ。接合資料A、Cとも色調や肌合いが近接しているが接合しない。一方、接合資料Bは2点の剥片からなり、石皿の側面部分に相当する。接合資料BとCは色調や肌合いが近接しているが接合しない。394は接合資料Aと色調や肌合いが比較的近接しているが接合しない。

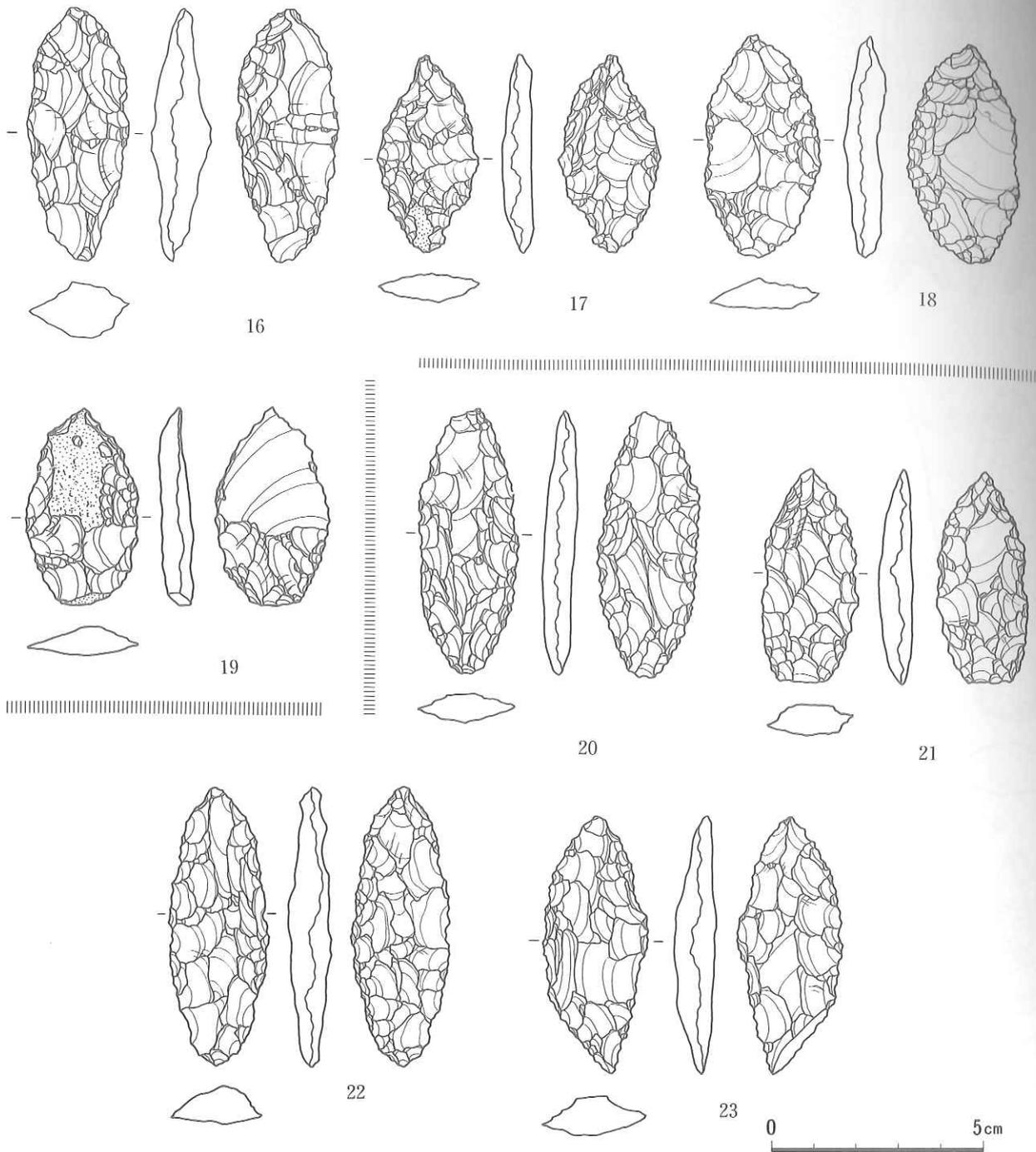
第112図はそれらの位置関係を踏まえて図示したものである。石皿としての状態からの剥離の順序は、最初に正面右下隅から側面の礫面を剥がすように左方向と上方に向けて剥離が行われており、接合資料Bはその時に剥離されたものである。その後、上方右側から394→接合資料A→接合資料Cと剥離が進んでいる。

剥片剥離の目的については、残された剥片に細部加工が認められず、使用された痕跡が明確でないため不明である。また、石皿個体の1/4~1/5程度で15枚の剥片が生産されたことから、少なくとも数十枚の剥片が生産されたと考えられる。



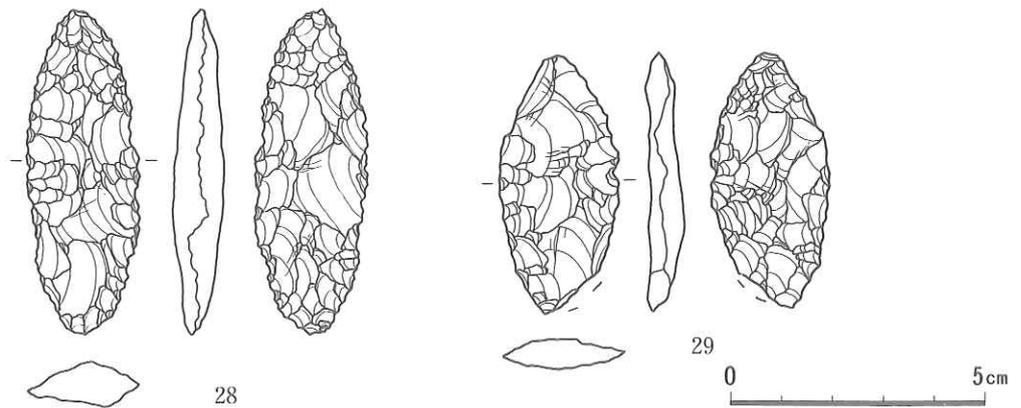
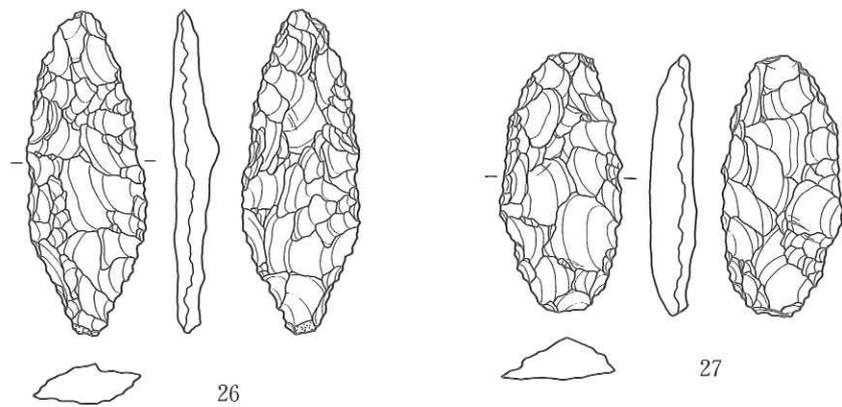
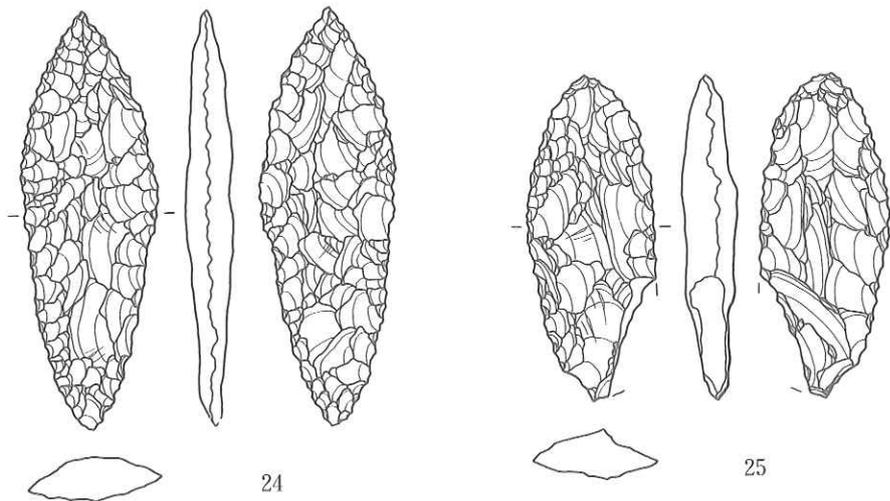
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
1	VII G-74	Ⅲ	(44)	13	(7)	(3.0)	珪頁	Aa		70071
2	VII G-75	〃	(38)	14	(6)	(3.6)	〃	Ab		75403
3	VII F-75	〃	29	16	4	1.8	〃	〃		72986
4	VII G-75	〃	26	13	5	1.5	〃	Ae		75406
5	VII F-76	〃	19	15	5	0.6	黒	Af		2574
6	VII F-75	Ⅲトレ	20	19	4	0.8	玉	Ad		72984
7	VII G-76	Ⅲ	23	15	4	0.9	珪頁	Ae		72896
8	VII G-75	〃	26	16	3	1.1	〃	Ad		66938
9	VII F-75	〃	33	15	4	2.1	〃	Ac		75411
10	VII G-74	〃	80	27	16	27.9	〃	Ba		2853
11	VII H-76	〃	73	32	13	25.1	〃	〃		2878
12	〃	〃	(51)	(30)	(15)	(21.1)	〃	B		2879
13	VII G-74	〃	39	8	12	8.1	黒	Ba	焼け	72601
14	VII G-77	〃	52	28	11	12.6	珪頁	〃	一括出土。14~15同一個体	2837
15	〃	〃	47	23	8	6.6	〃	〃	〃	2835

48図 第三層 出土石器 (1)



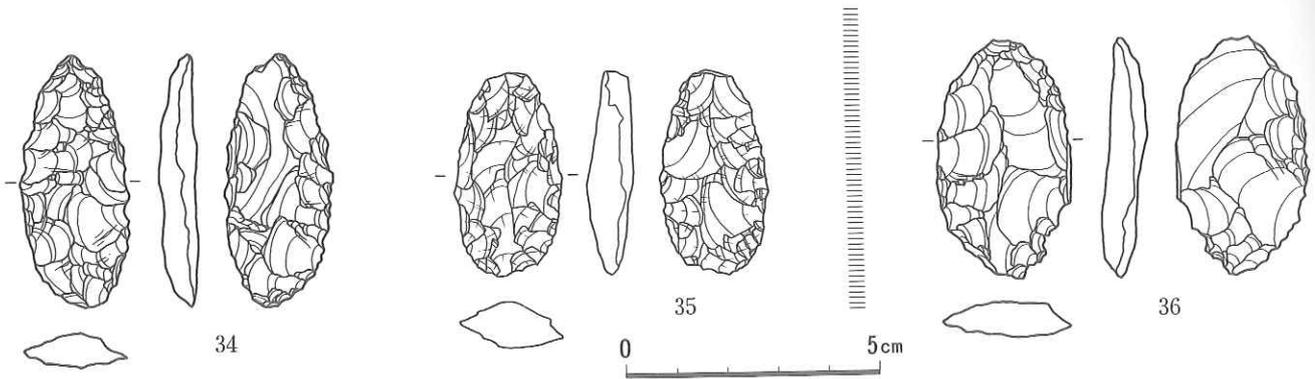
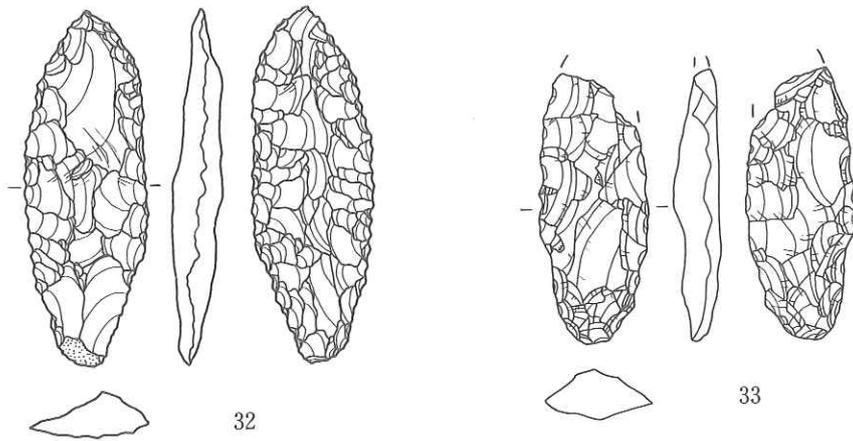
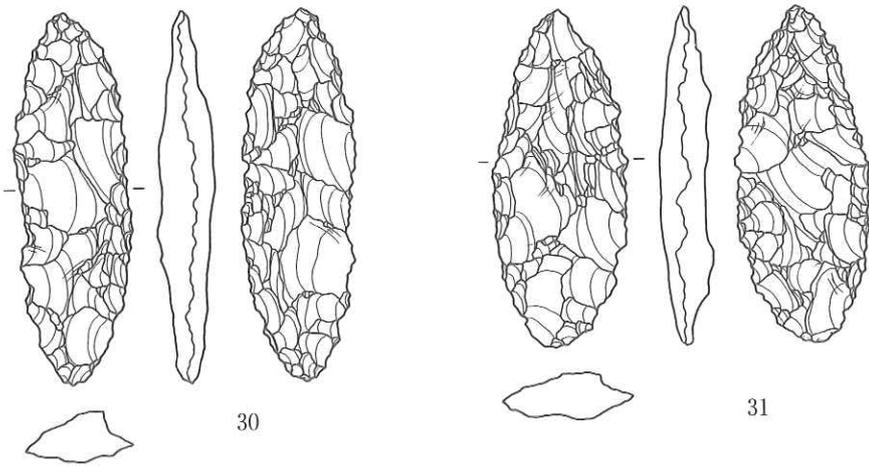
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
16	VII G-77	III	60	24	14	14.2	珪頁	Ba	一括出土。16-19同一個体	2874
17	〃	〃	48	24	8	6.6	〃	〃	〃	2873
18	〃	〃	53	28	10	12.5	〃	〃	〃	2870
19	〃	〃	47	27	9	9.9	〃	〃	〃	2845
20	〃	〃	63	25	8	11.5	〃	〃	〃 20-23同一個体	2865
21	〃	〃	51	24	9	9.9	〃	〃	〃	2843
22	〃	〃	66	24	11	13.6	〃	〃	〃	2875
23	〃	〃	62	25	10	13.0	〃	〃	〃	2863

49図 第三層 出土石器 (2)



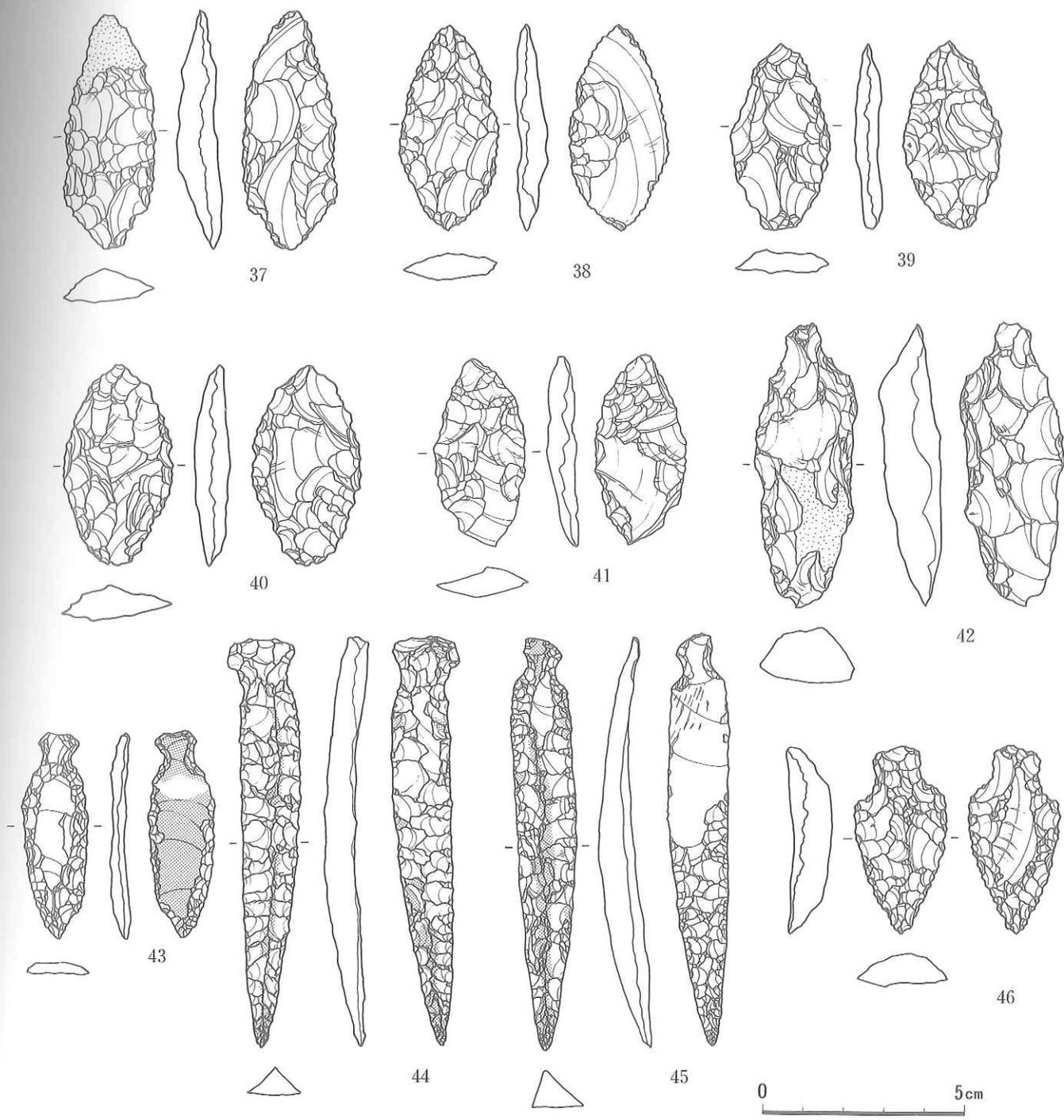
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
24	WIG-77	Ⅲ	83	28	10	19.4	珪頁	Ba	一括出土。24~25同一個体	2859
25	〃	〃	65	23	11	(14.9)	〃	〃	〃	2864
26	〃	〃	65	24	10	11.0	〃	〃	〃 26~27同一個体	2871
27	〃	〃	52	25	10	11.4	〃	〃	〃	2862
28	〃	〃	65	23	11	13.7	〃	〃	〃 28~29同一個体	2860
29	〃	〃	51	24	7	(8.1)	〃	〃	〃	2838

50図 第三層 出土石器 (3)



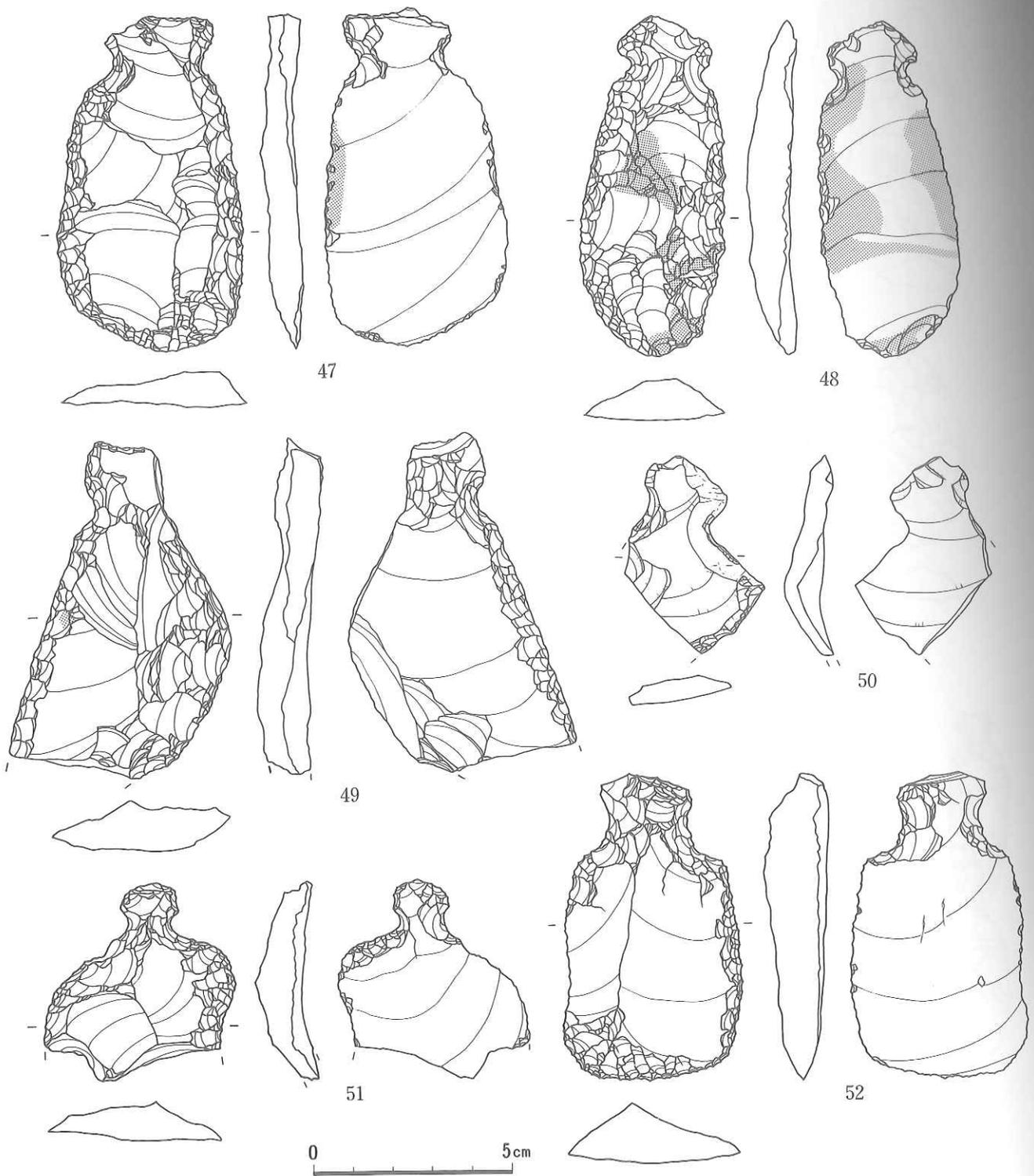
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
30	ⅧG-77	Ⅲ	74	23	12	16.1	珪質	Ba	一括出土。30~31同一個体	2869
31	〃	〃	67	27	11	16.5	〃	〃	〃	2868
32	〃	〃	71	25	11	13.6	〃	Bb	〃 32~33同一個体	2861
33	〃	〃	(54)	22	(9)	(10.0)	〃	Ba	〃	3449
34	〃	〃	50	22	9	7.7	〃	〃	〃 34~35同一個体	2841
35	〃	〃	41	21	10	7.1	〃	〃	〃	3446
36	〃	〃	48	23	9	10.4	〃	〃	〃	2839

51図 第三層 出土石器 (4)



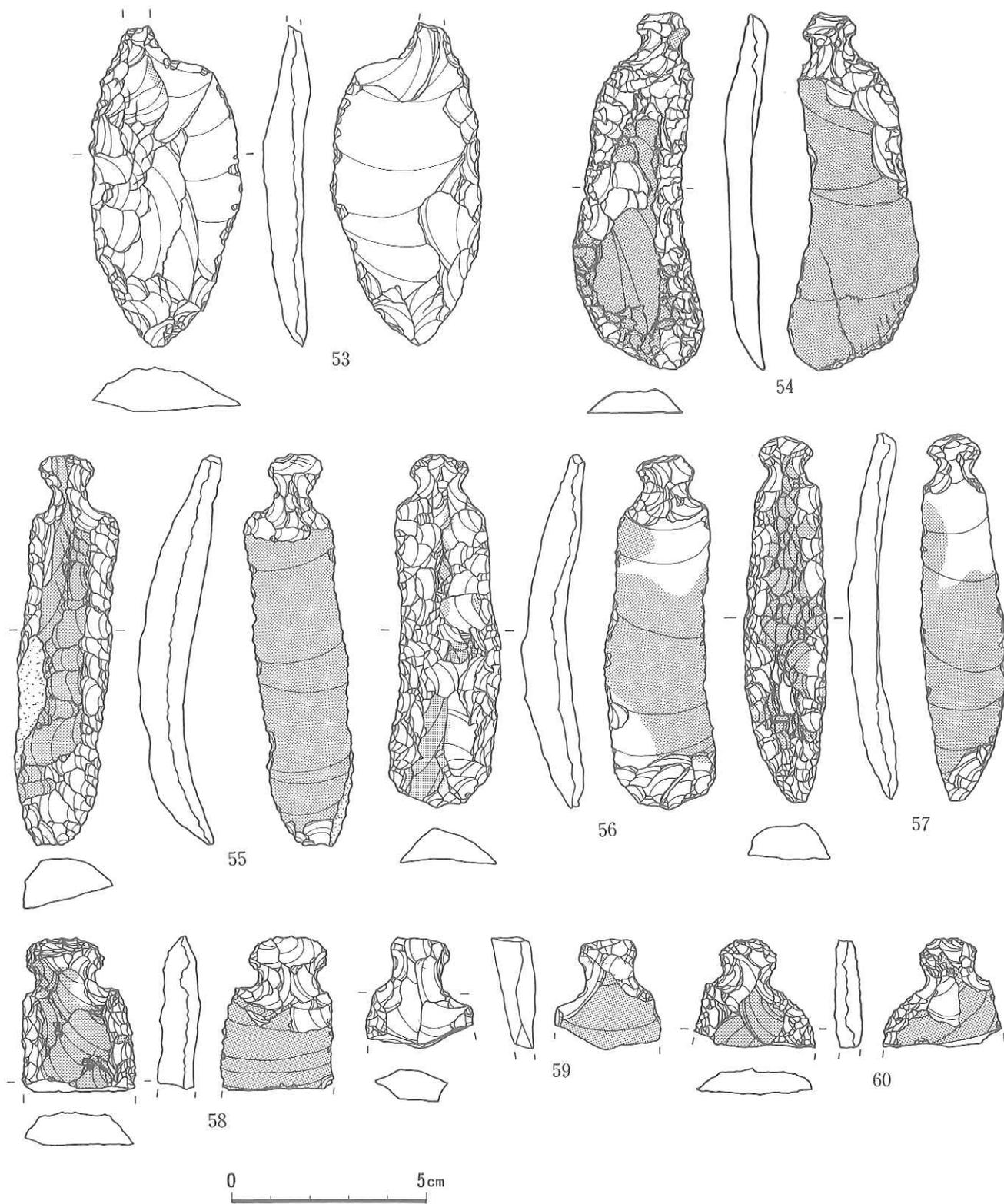
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
37	VII G-77	III	60	24	12	12.7	珧頁	Ba	一括出土	2872
38	〃	〃	51	25	9	8.1	〃	〃	〃	2866
39	〃	〃	47	25	7	7.3	〃	〃	〃	2836
40	〃	〃	50	28	10	10.9	〃	〃	〃	2840
41	〃	〃	47	23	8	6.6	〃	〃	〃	2844
42	VII G-75	〃	71	26	16	22.9	〃	Ca		3078
43	VII F-74	〃	52	17	6	3.7	〃	Cd	先端摩耗	2904
44	VII G-76	〃	103	18	13	12.5	〃	Ce		3099
45	VII G-77	〃	〃	16	〃	12.2	〃	〃		3161
46	VII G-75	〃	47	23	12	9.3	黒	Cd	石槍?	2857

52図 第三層 出土石器 (5)



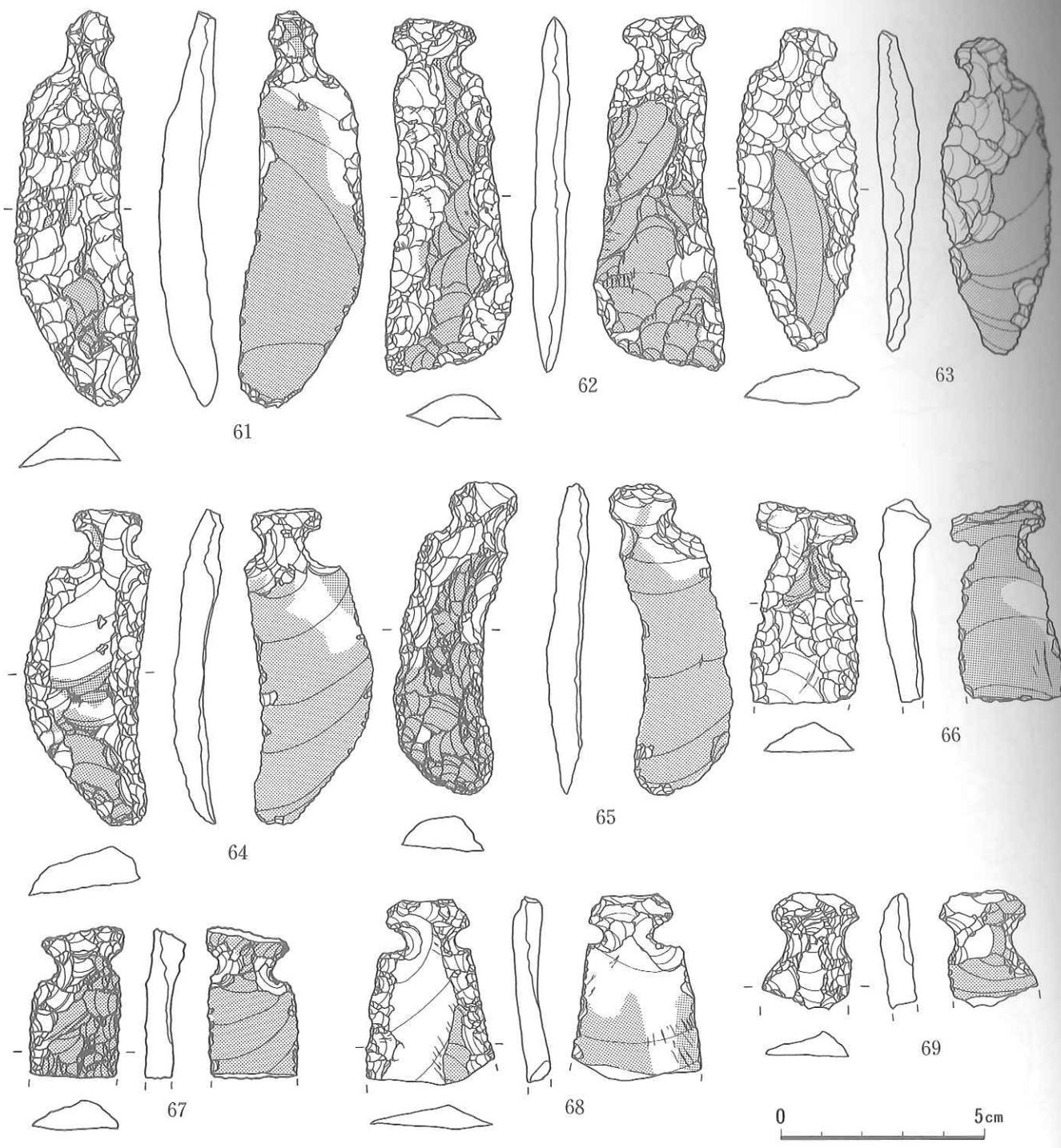
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
47	VIE-76	III	85	48	12	35.7	珉頁	Ca		2899
48	VIF-75	〃	87	38	14	34.4	〃	〃		2916
49	VIF-76	〃	(86)	(58)	(18)	(55.1)	〃	Ce		2948
50	VIF-75	〃	(51)	(36)	(13)	(9.3)	〃	〃		72667
51	〃	〃	(51)	(49)	(16)	(18.9)	〃	Ca		2928
52	〃	〃	78	46	17	46.1	〃	〃		2935

53図 第三層 出土石器 (6)



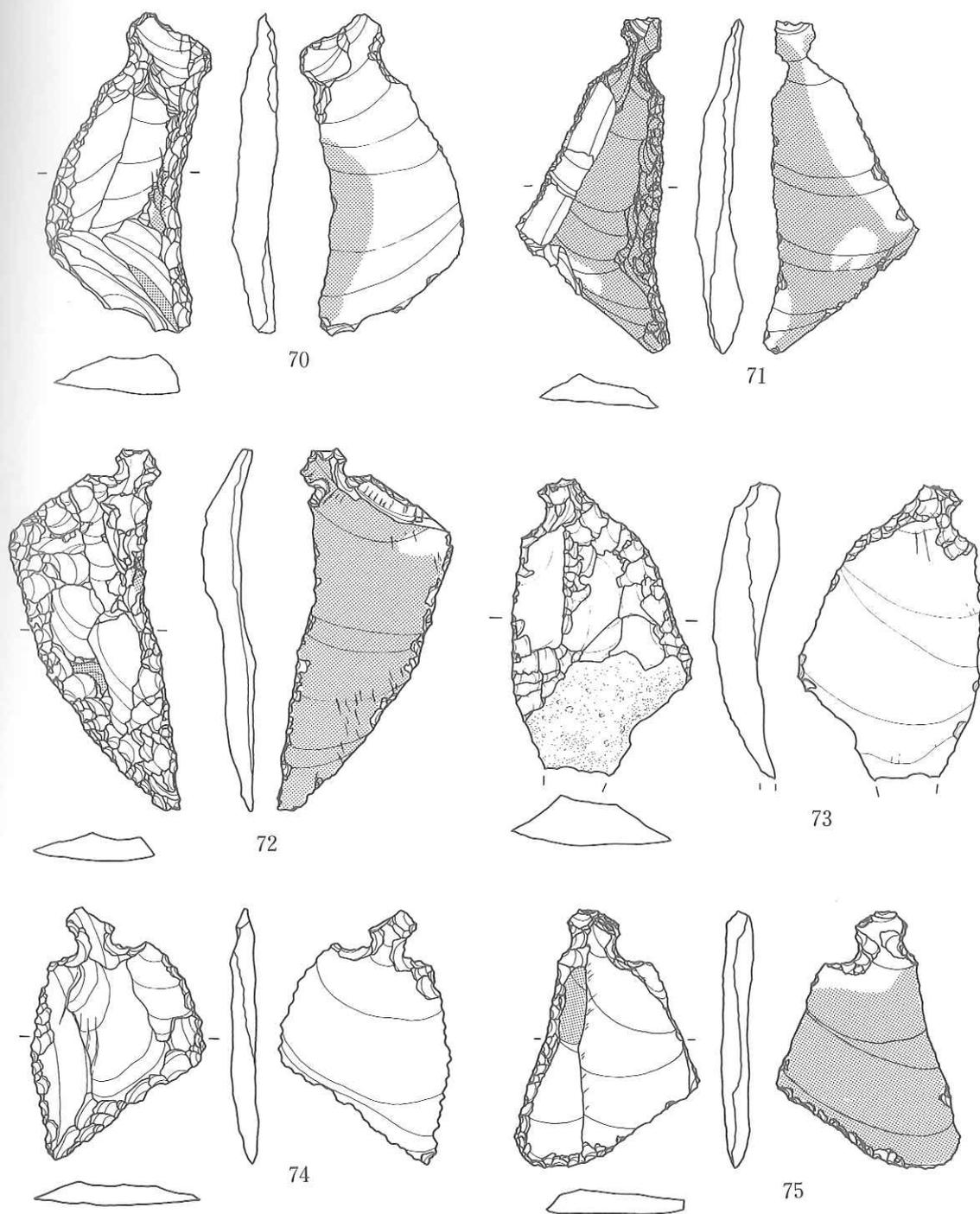
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
53	VII F-76	III	(83)	39	(18)	(34.7)	挂頁	Ca		2951
54	VII G-76	〃	92	34	11	25.8	〃	〃		3106
55	VII H-74	〃	101	28	22	34.8	〃	〃		3221
56	VII F-76	〃	92	30	16	30.6	〃	〃		2949
57	〃	〃	95	20	13	18.4	〃	〃		2947
58	VII F-75	〃	(40)	(29)	(11)	(14.1)	〃	〃		2917
59	VII G-75	〃	(30)	(29)	(10)	(6.5)	〃	〃		72672
60	VII F-75	〃	(28)	(31)	(7)	(5.8)	〃	〃		2931

54図 第三層 出土石器 (7)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
61	VII G-74	Ⅲ	98	31	15	28.2	珪頁	Ca		3071
62	VII G-77	〃	88	32	10	24.3	〃	〃		3159
63	VII H-76	〃	80	30	11	22.9	〃	〃		3272
64	VII E-76	〃	79	32	13	19.7	〃	〃		2901
65	VII F-75	〃	77	26	11	19.4	〃	〃		2913
66	VII H-74	〃	(50)	28	(13)	(10.8)	〃	〃		3222
67	VII F-75	〃	(38)	24	(10)	(7.4)	〃	〃		2929
68	VII G-77	〃	(46)	(32)	(9)	(10.1)	〃	〃		3154
69	VII F-75	〃	(29)	(25)	(9)	(5.2)	〃	〃		2934

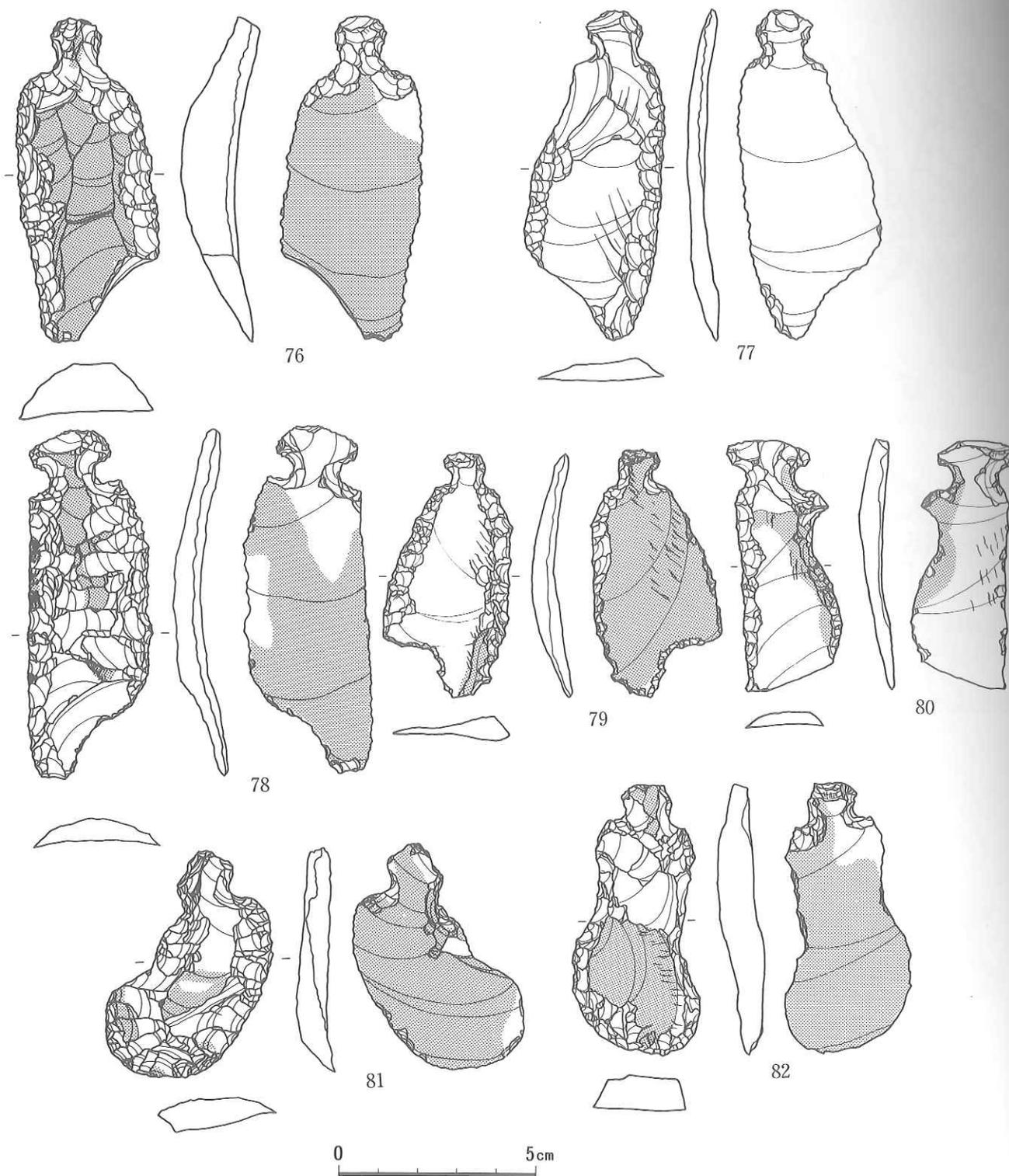
55図 第三層 出土石器 (8)



0 5cm

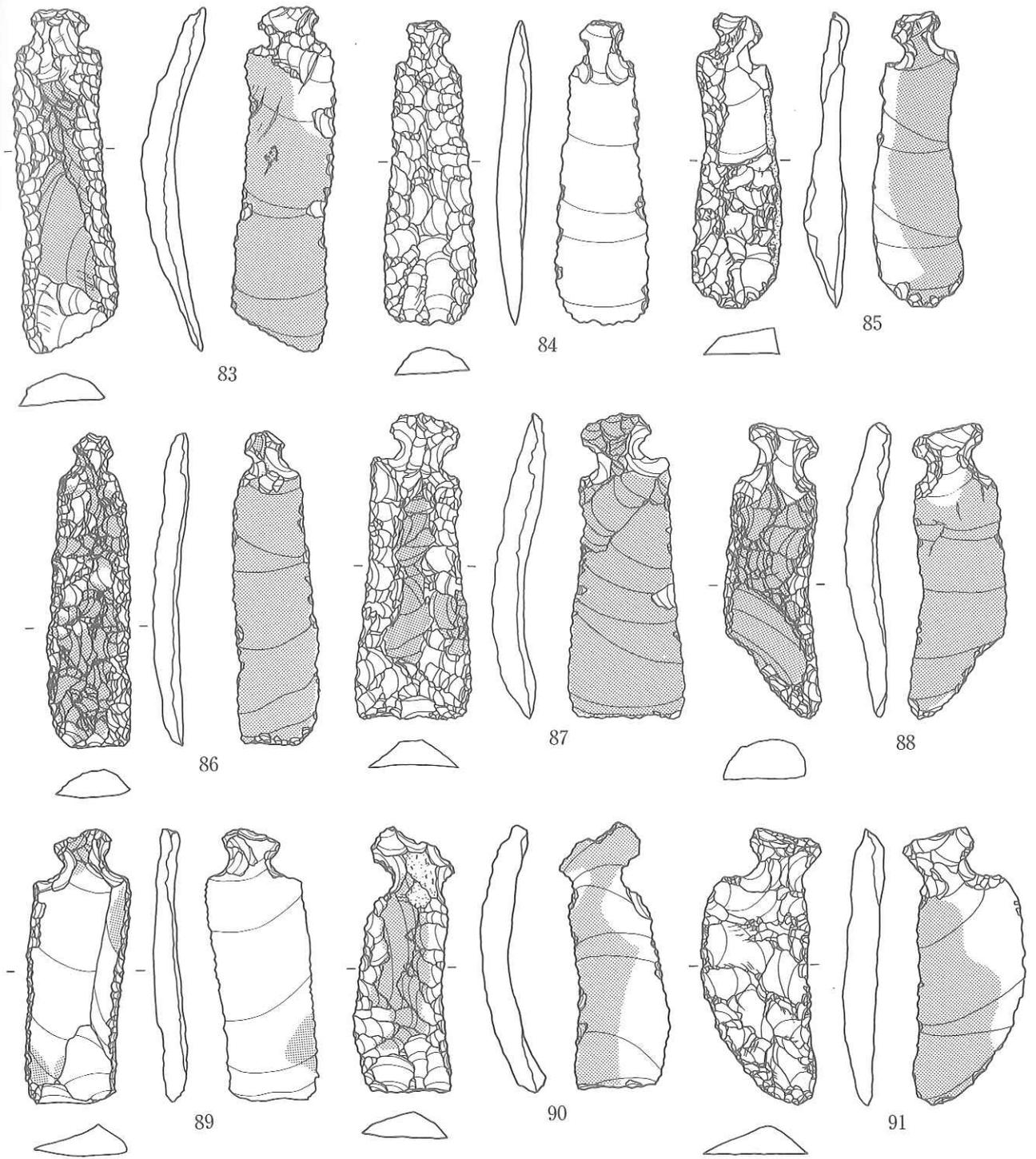
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
70	VII F-75	III	73	38	11	19.2	珪質	Ca		2924
71	〃	〃	77	36	12	16.7	〃	〃		2922
72	VII G-75	〃	83	39	12	20.7	〃	Ce		3083
73	VII G-74	〃	(68)	42	(15)	(27.9)	〃	Ca		72616
74	VII H-75	〃	59	40	7	9.5	〃	〃		3238
75	VII G-76	〃	59	43	8	13.4	〃	〃		3104

56図 第三層 出土石器 (9)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
76	VIIH-75	Ⅲ	83	37	21	39.8	珧頁	Ca		3245
77	VIIH-74	〃	85	37	9	14.1	〃	〃		3220
78	VII E-76	〃	89	33	14	22.3	〃	〃		2896
79	VII G-75	〃	63	33	11	10.6	〃	〃		3082
80	VII G-74	〃	64	29	9	9.5	〃	〃		3076
81	VII F-75	〃	58	43	10	16.2	〃	Cc		2915
82	VII G-75	〃	69	33	12	25.1	〃	Ca		3087

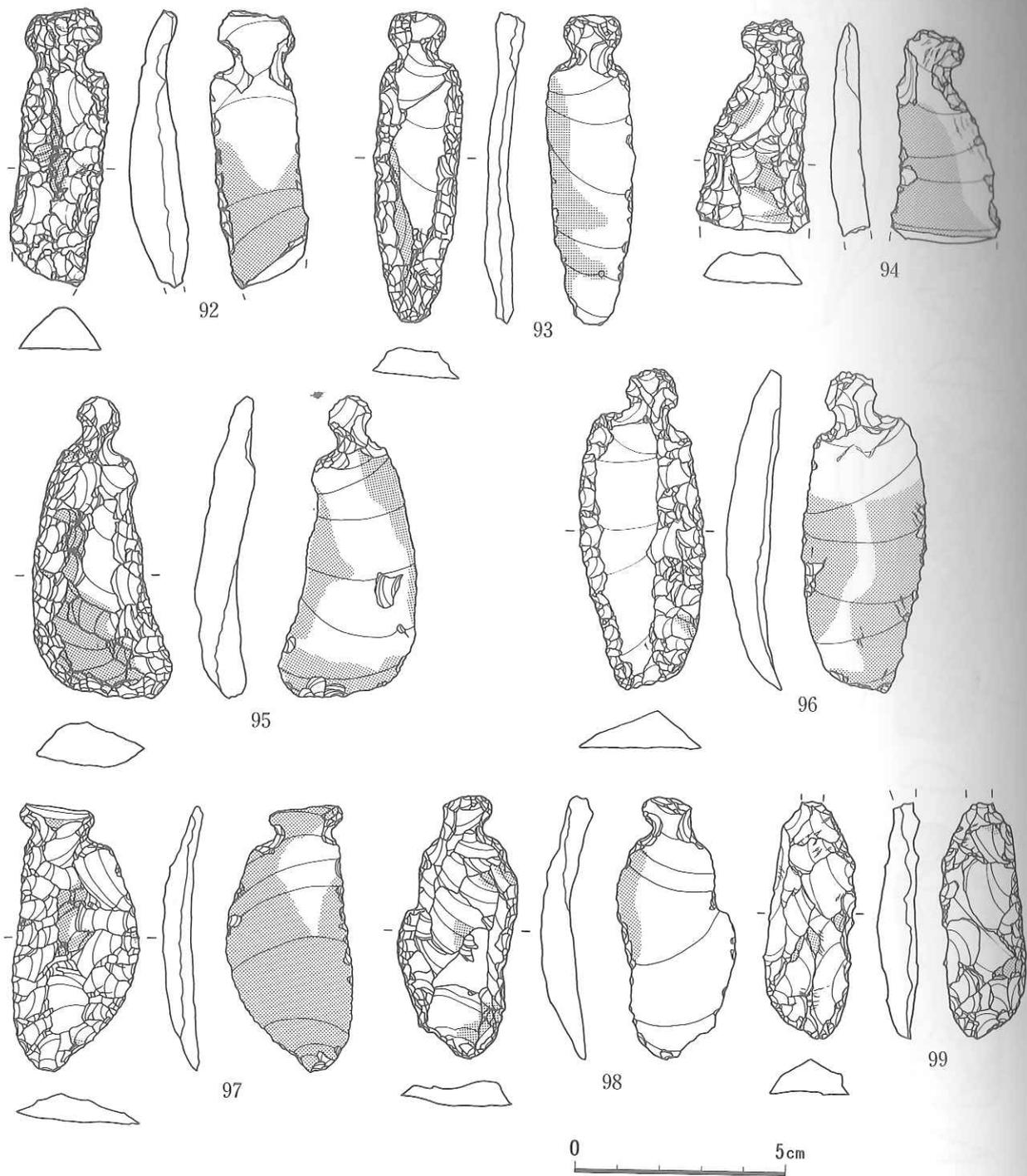
57図 第三層 出土石器 (10)



0 5cm

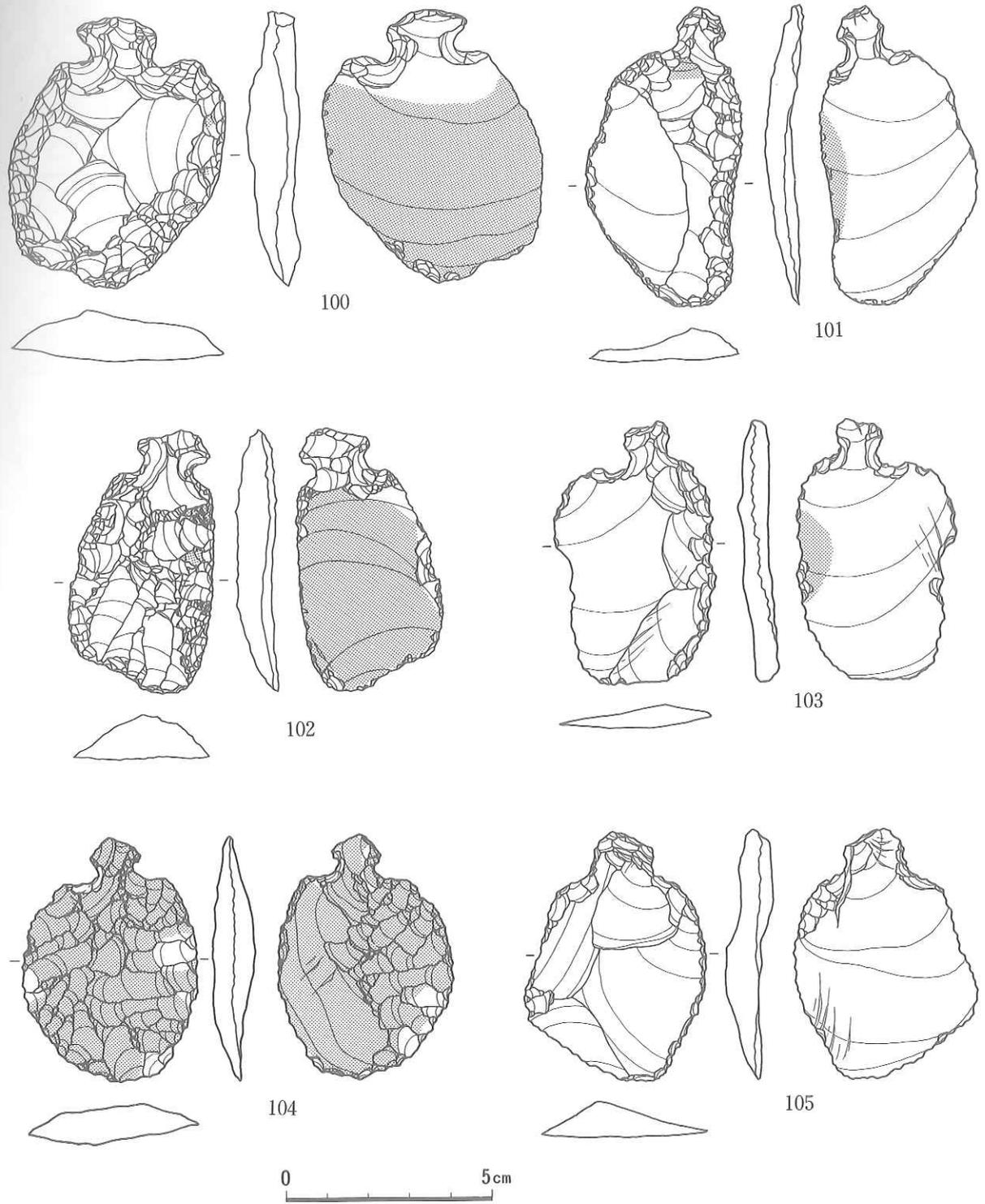
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
83	VIIH-75	III	86	26	16	16.3	珪頁	Ca		3237
84	〃	〃	76	23	9	13.3	〃	〃		3236
85	VII G-77	〃	73	23	12	14.5	〃	〃		3160
86	VII F-74	〃	73	21	10	12.2	〃	〃		2905
87	VII F-77	〃	76	29	14	20.5	〃	〃		3009
88	VII F-75	〃	74	25	12	14.2	〃	〃		2925
89	VII F-76	〃	68	27	13	11.0	〃	〃		2950
90	VII H-75	〃	66	26	16	12.9	〃	〃		3240
91	VII G-77	〃	69	30	11	13.5	〃	〃		3157

58図 第三層 出土石器 (11)



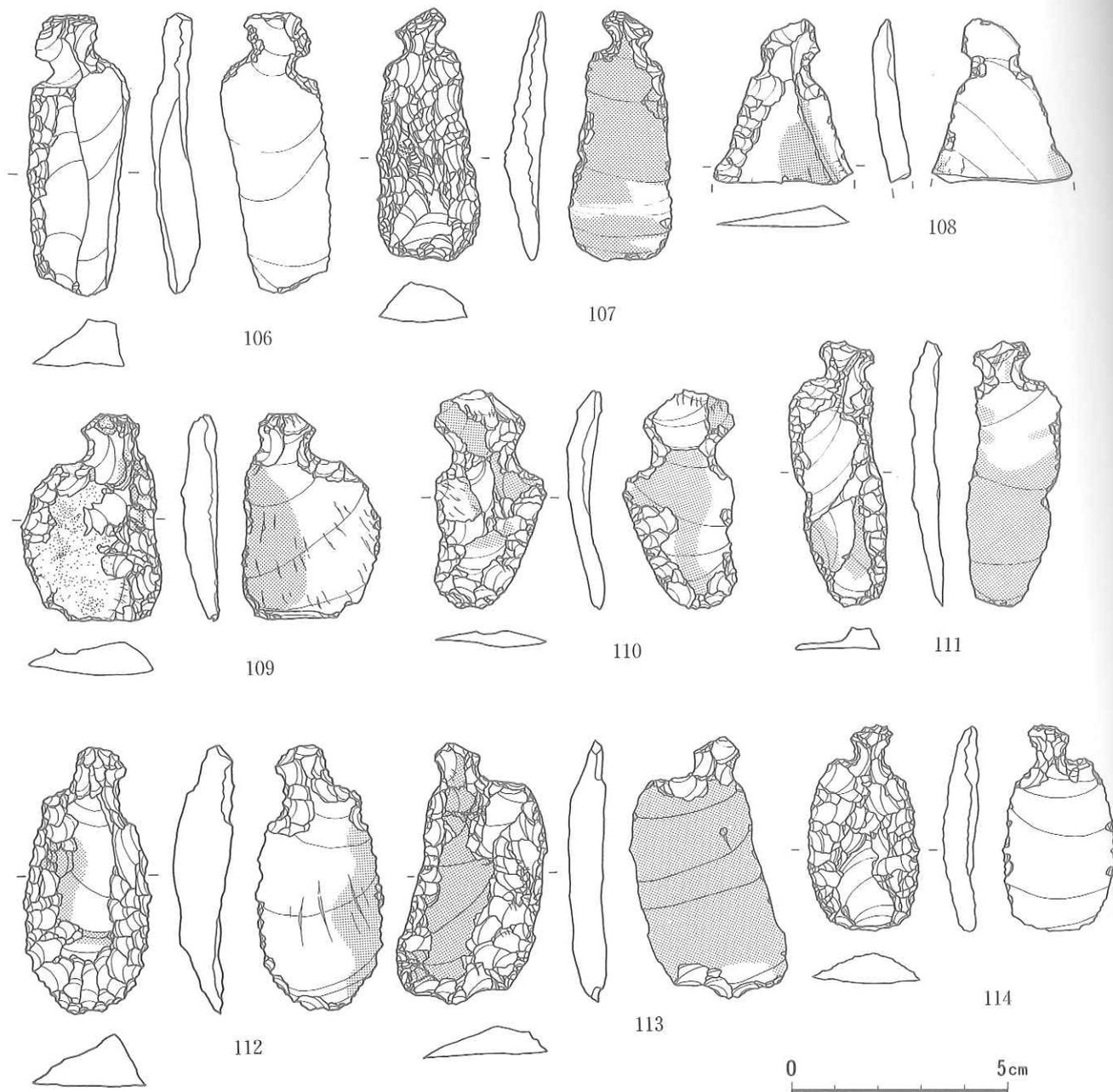
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
92	VII F-75	Ⅲ	(72)	33	15	(19.3)	珧頁	Ca		2921
93	VII G-77	〃	77	31	14	20.6	〃	〃		3155
94	VII E-76	〃	(75)	(22)	(10)	(9.6)	〃	〃		2898
95	VII G-75	〃	67	23	15	16.1	〃	〃		3085
96	VII G-74	〃	52	27	10	11.8	〃	〃		3077
97	VII F-76	〃	64	31	11	12.3	〃	〃		2953
98	〃	〃	64	29	13	12.0	〃	〃		2952
99	VII G-77	〃	(58)	23	10	(11.2)	〃	〃		3158

59図 第三層 出土石器 (12)



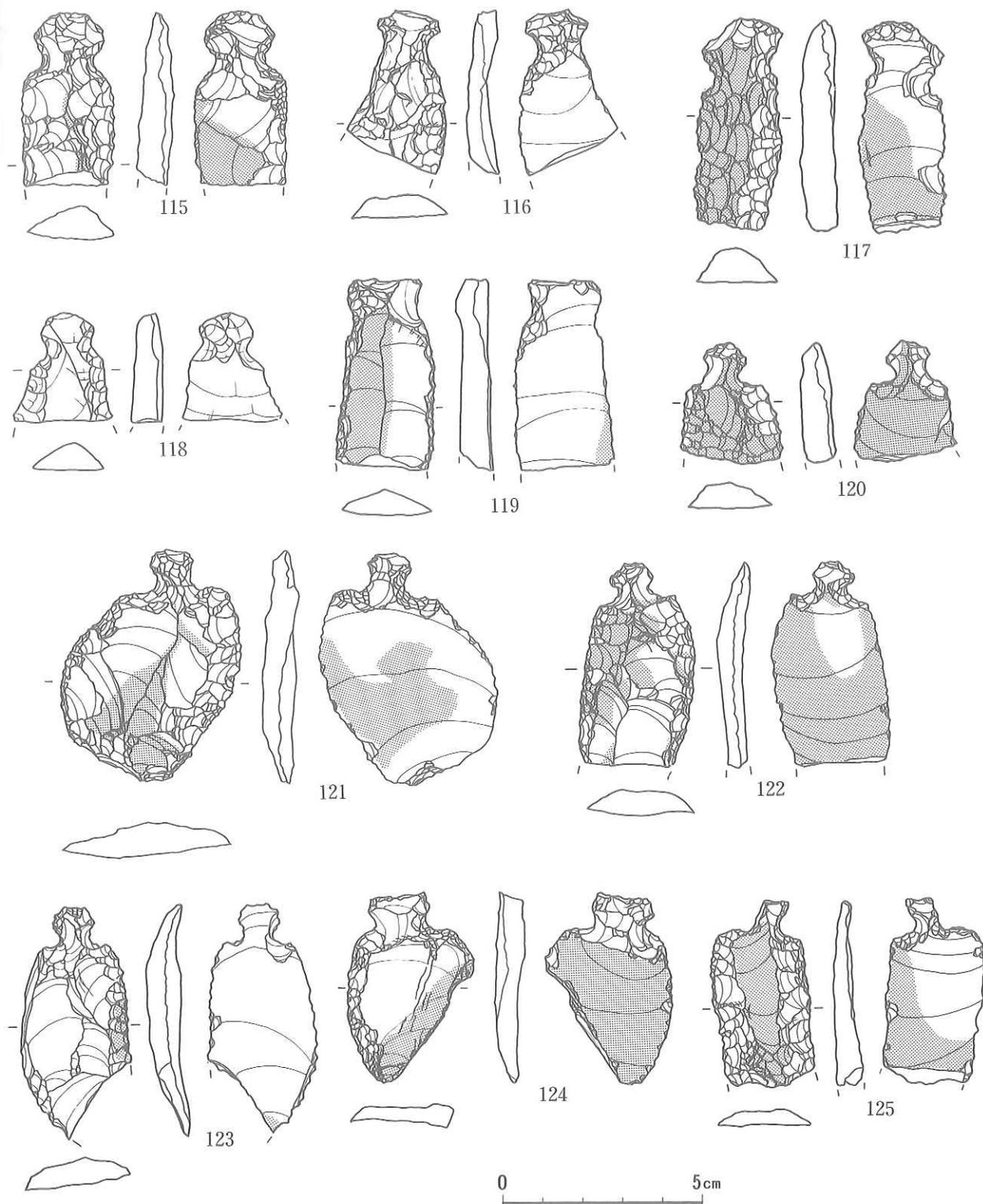
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備	考	整理番号
100	VII F-76	III	67	54	13	39.5	珪質	Cc			2955
101	VII E-75	〃	73	39	10	15.7	〃	Ca			2892
102	VII E-76	〃	64	36	10	20.8	〃	〃			2900
103	VII H-75	〃	64	40	10	14.6	〃	〃			3243
104	VII H-76	〃	60	43	11	21.0	〃	〃			3274
105	VII H-75	〃	62	45	13	17.3	〃	〃			3235

60図 第三層 出土石器 (13)



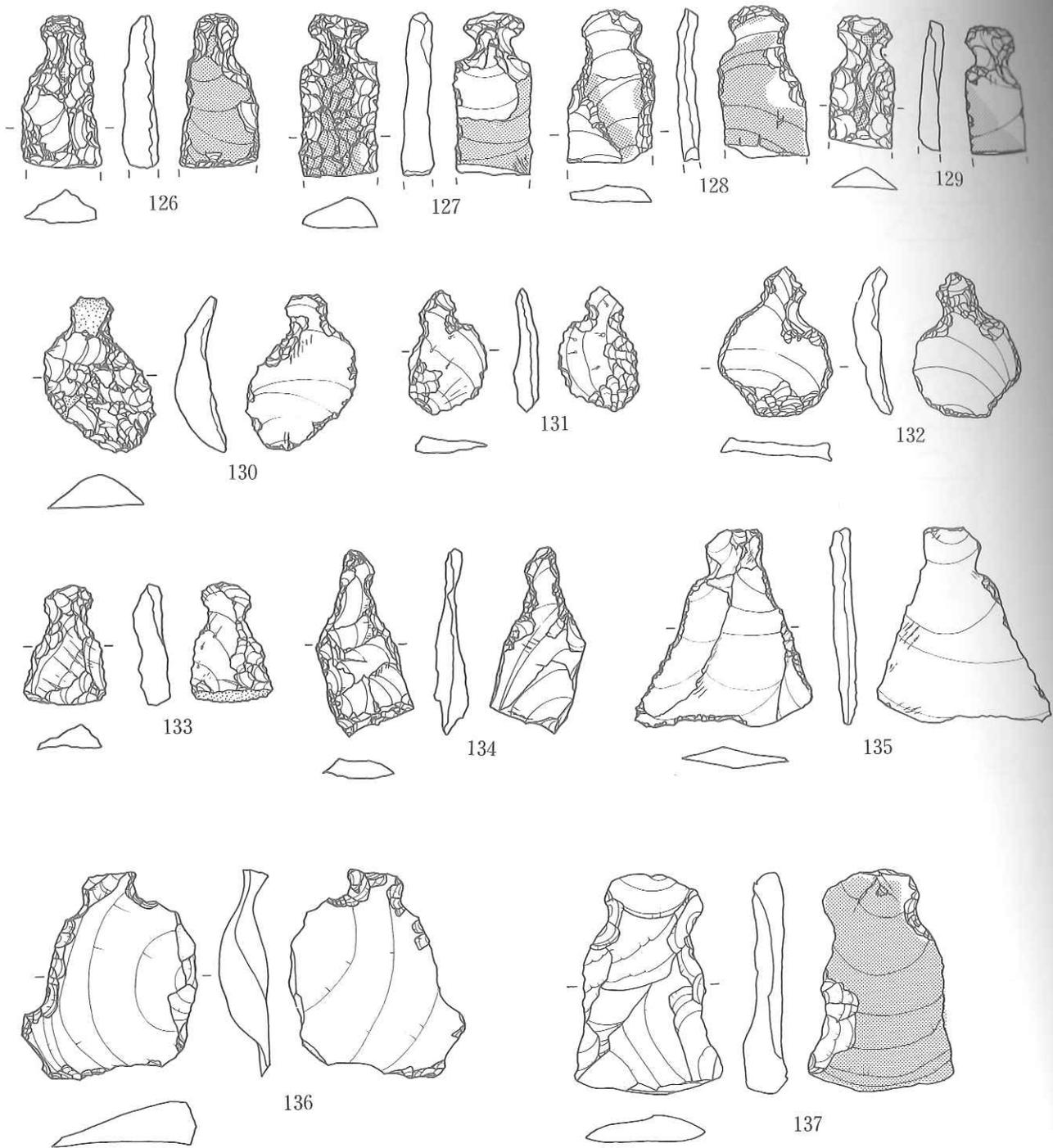
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
106	VI E-76	III	66	24	11	13.2	珪頁	Ca		2897
107	VI F-75	〃	59	24	11	10.3	〃	〃		2918
108	VI G-74	〃	(38)	(33)	(9)	(5.4)	〃	〃		3074
109	〃	〃	48	32	9	11.5	〃	〃		3072
110	VI G-75	〃	51	26	9	6.4	〃	〃		3079
111	VI G-76	〃	62	23	9	7.7	〃	〃		3097
112	VI H-74	〃	62	30	15	19.8	〃	〃		3224
113	VI G-77	〃	61	31	9	15.6	〃	〃		3156
114	VI F-75	〃	48	21	9	9.3	〃	〃		2923

61図 第三層 出土石器 (14)



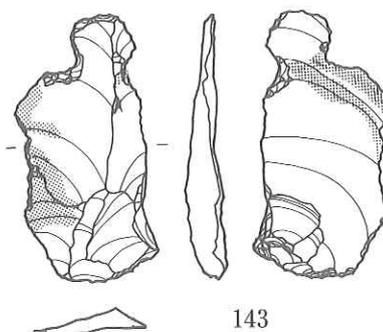
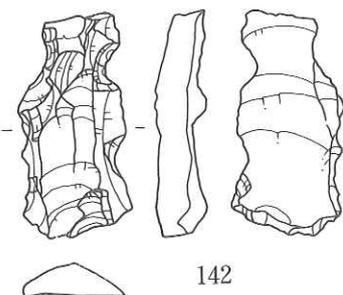
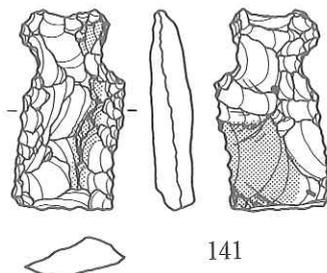
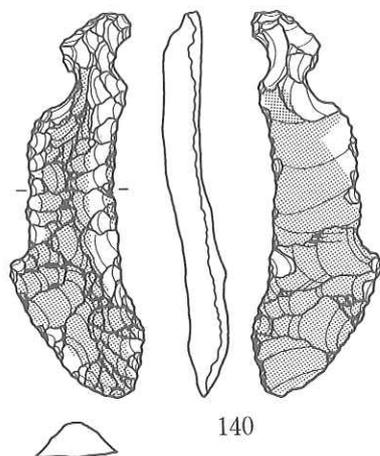
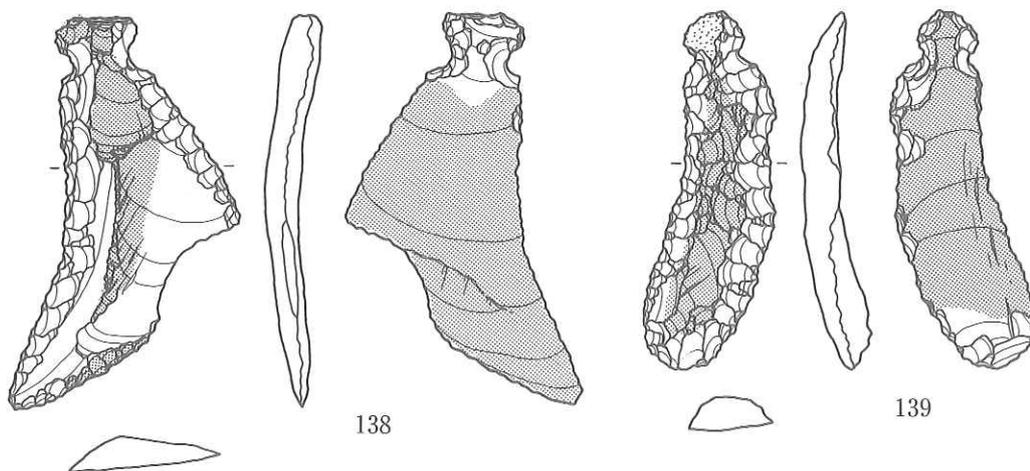
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
115	VIF-75	Ⅲ	(44)	23	(10)	(9.6)	珪質	Ca		2912
116	VIG-75	〃	(41)	(25)	(9)	(6.1)	〃	〃		3081
117	VIIH-76	〃	54	22	10	12.5	〃	〃		3273
118	VIF-75	〃	(28)	(25)	(8)	(4.1)	〃	〃		72895
119	VIG-76	〃	(48)	(25)	(10)	(10.3)	〃	〃		3105
120	VIIH-76	〃	(30)	(26)	(9)	(6.3)	〃	〃		3275
121	VIF-74	〃	59	46	9	19.3	〃	〃		2903
122	VIF-76	〃	(52)	30	(9)	(10.7)	〃	〃		2946
123	VIIH-74	〃	(58)	28	(11)	(11.3)	〃	〃		3225
124	VIG-74	〃	49	32	8	10.0	〃	〃		3070
125	VIG-77	〃	(47)	(26)	(7)	(7.8)	〃	〃		3162

62図 第三層 出土石器 (15)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備	考	整理番号
126	VIF-75	Ⅲ	(37)	(19)	(9)	(6.7)	珧頁	Ca			2933
127	VIG-75	〃	(40)	(20)	(8)	(7.1)	〃	〃			3084
128	VIF-75	〃	(37)	(22)	(6)	(4.0)	〃	〃			2920
129	VIG-76	〃	(32)	(17)	(7)	(3.6)	〃	〃			3103
130	〃	〃	38	27	12	7.4	黒	Cc			3100
131	VIIH-75	〃	30	20	7	2.4	〃	Ca			3241
132	VIF-75	〃	36	28	10	4.8	〃	〃			2919
133	VIIH-75	〃	29	21	9	3.4	珧頁	〃			3244
134	VIG-76	〃	45	24	8	5.8	〃	Cc			3102
135	〃	〃	48	44	6	12.5	〃	Ca			3098
136	VIG-74	Ⅲ下	50	43	12	15.5	〃	〃			3411
137	VIIH-76	Ⅲ	54	36	10	15.3	〃	〃			71968

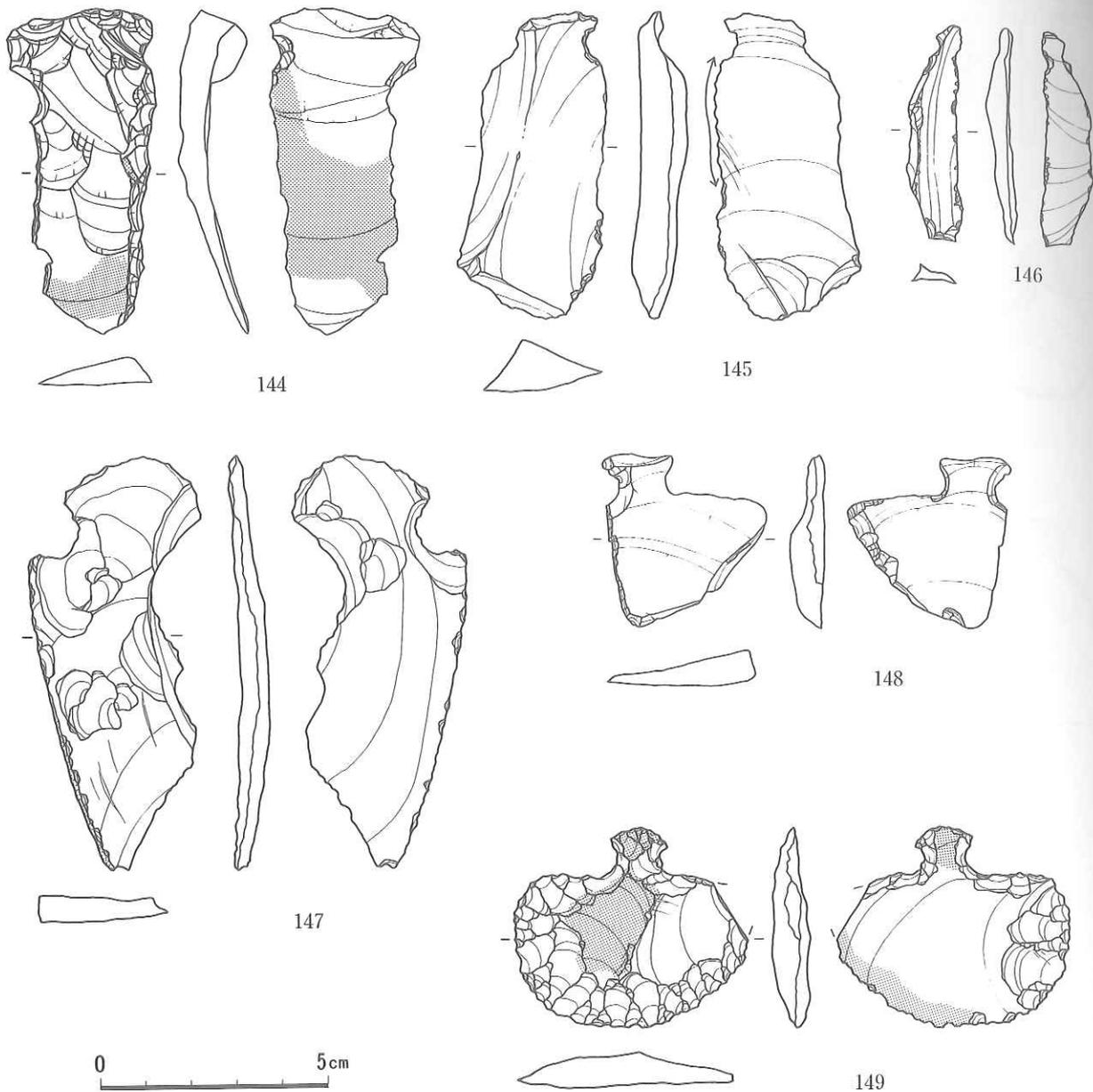
63図 第三層 出土石器 (16)



0 5cm

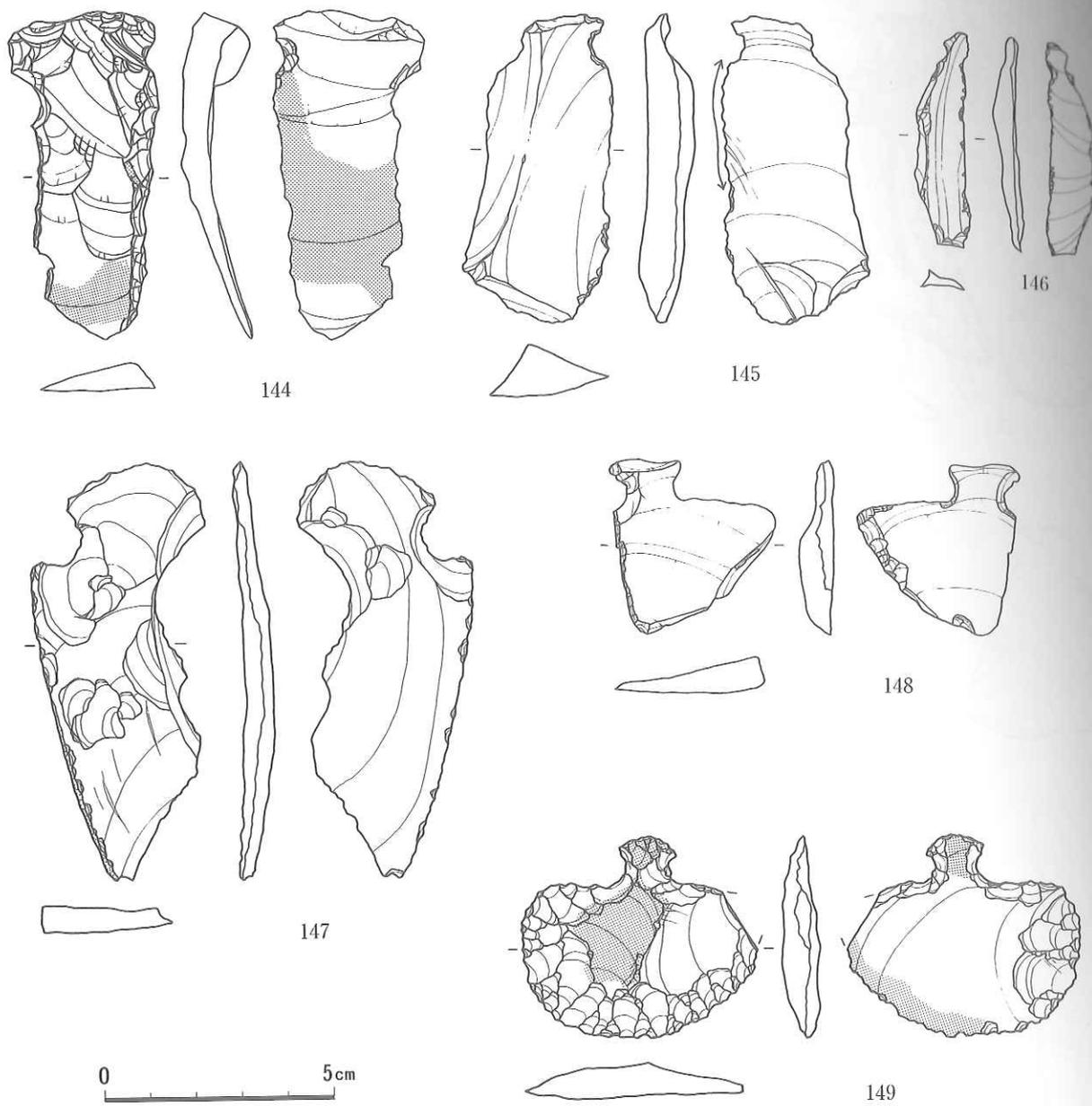
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
138	VIIH-77	III	73	47	13	15.3	珪頁	Cc		3310
139	〃	〃	71	27	14	13.0	〃	Ca		3312
140	〃	〃	72	26	13	12.1	〃	〃		3309
141	〃	〃	40	23	9	7.1	〃	〃		3311
142	VIIG-74	〃	45	22	10	10.5	鉄	〃		72908
143	VIIF-75	〃	54	29	9	6.7	珪頁	〃		2914

64図 第三層 出土石器 (17)



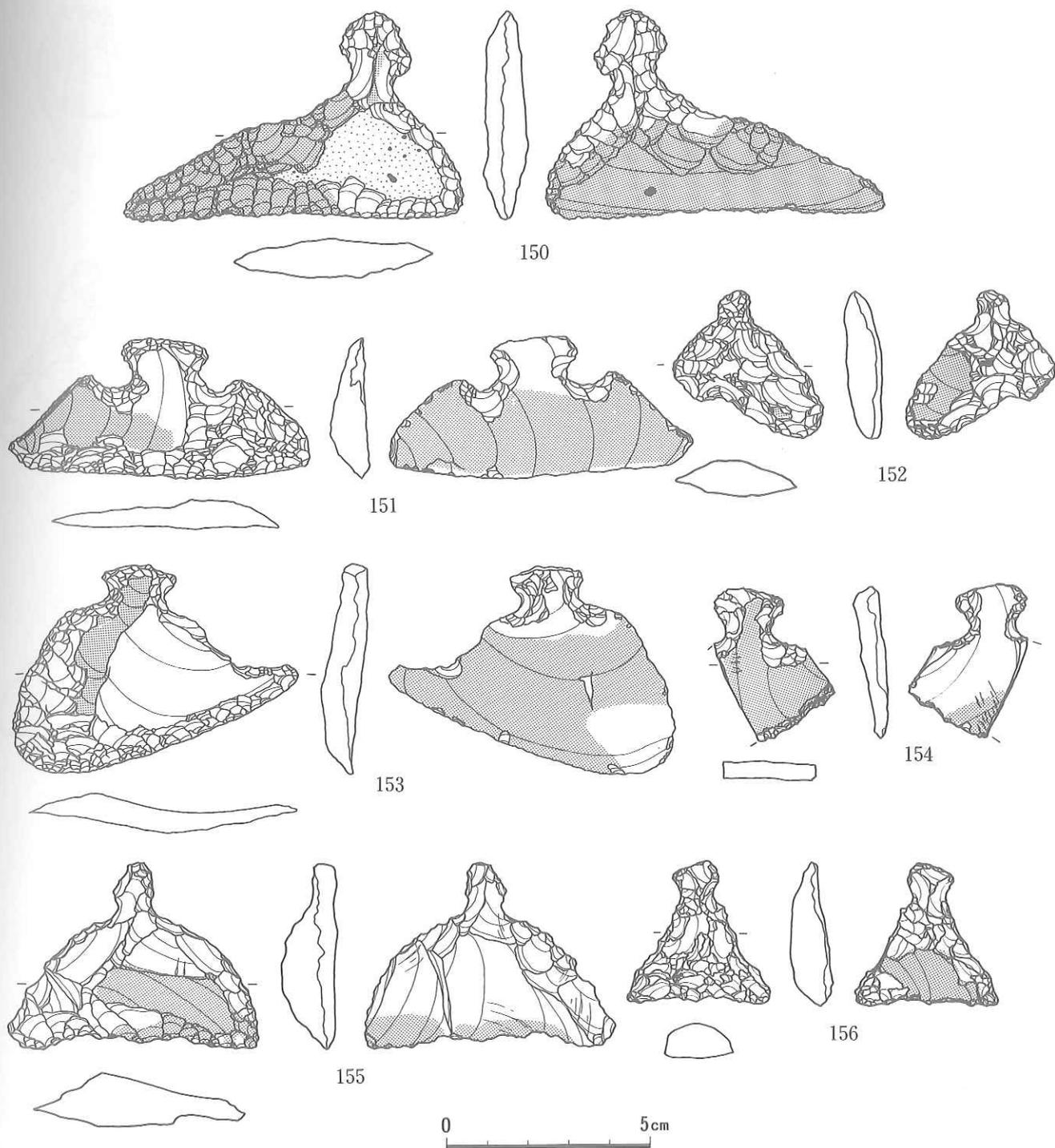
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
144	VIF-75	Ⅲ	74	35	15	19.9	珧頁	Ca		72910
145	VIIH-75	〃	69	34	13	21.1	〃	Cg		3239
146	VIF-76	〃	49	13	7	2.0	〃	〃		2954
147	VIIH-75	〃	93	39	8	15.5	〃	〃		3246
148	VII G-76	〃	39	36	8	6.8	〃	Cb		68769
149	VIIH-77	〃	44	(52)	9	(16.1)	〃	〃		3313

65図 第三層 出土石器 (18)



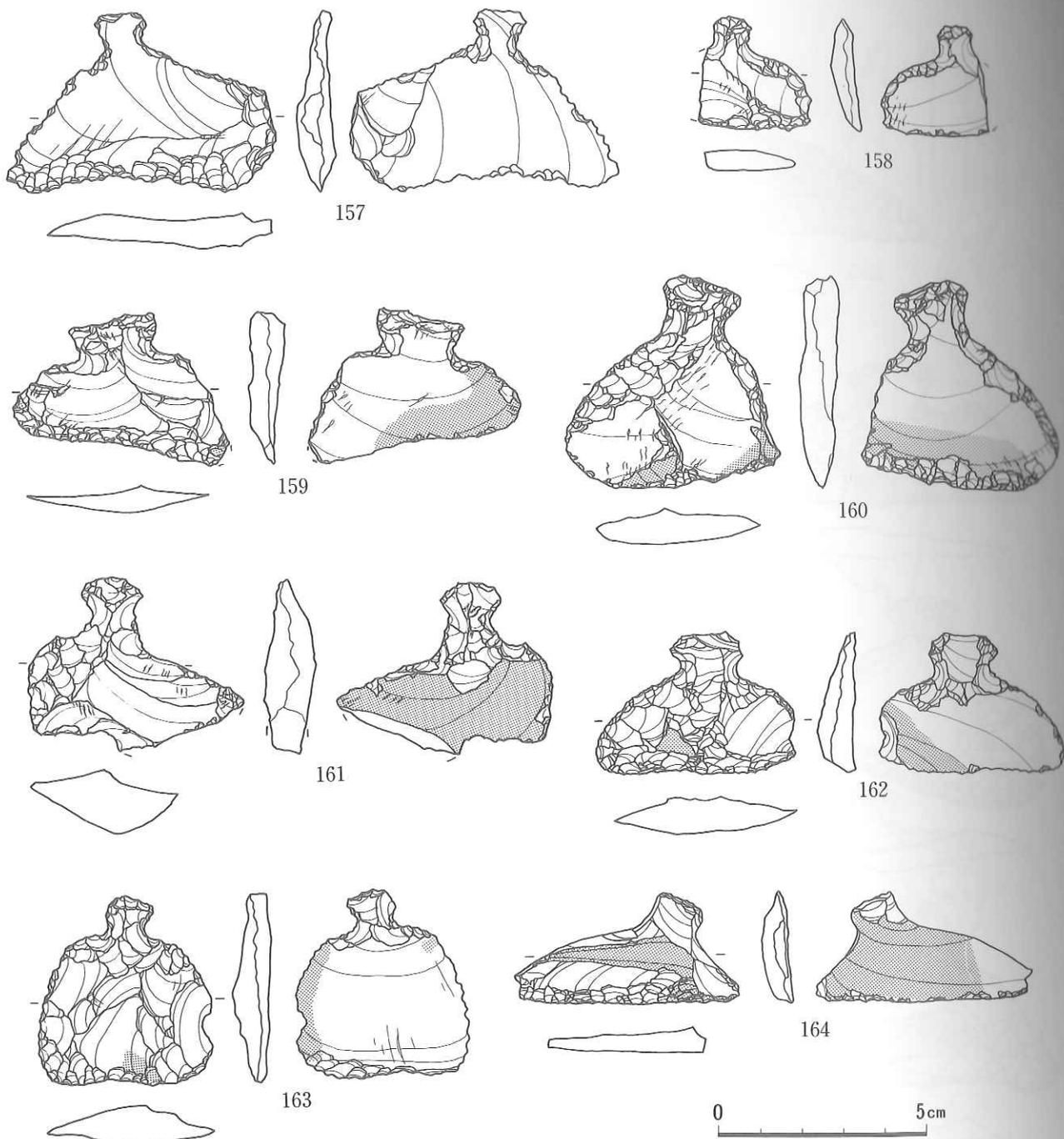
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
144	VIF-75	Ⅲ	74	35	15	19.9	珪頁	Ca		72910
145	VIH-75	〃	69	34	13	21.1	〃	Cg		3239
146	VIF-76	〃	49	13	7	2.0	〃	〃		2954
147	VIH-75	〃	93	39	8	15.5	〃	〃		3246
148	VIG-76	〃	39	36	8	6.8	〃	Cb		68769
149	VIH-77	〃	44	(52)	9	(16.1)	〃	〃		3313

65図 第三層 出土石器 (18)



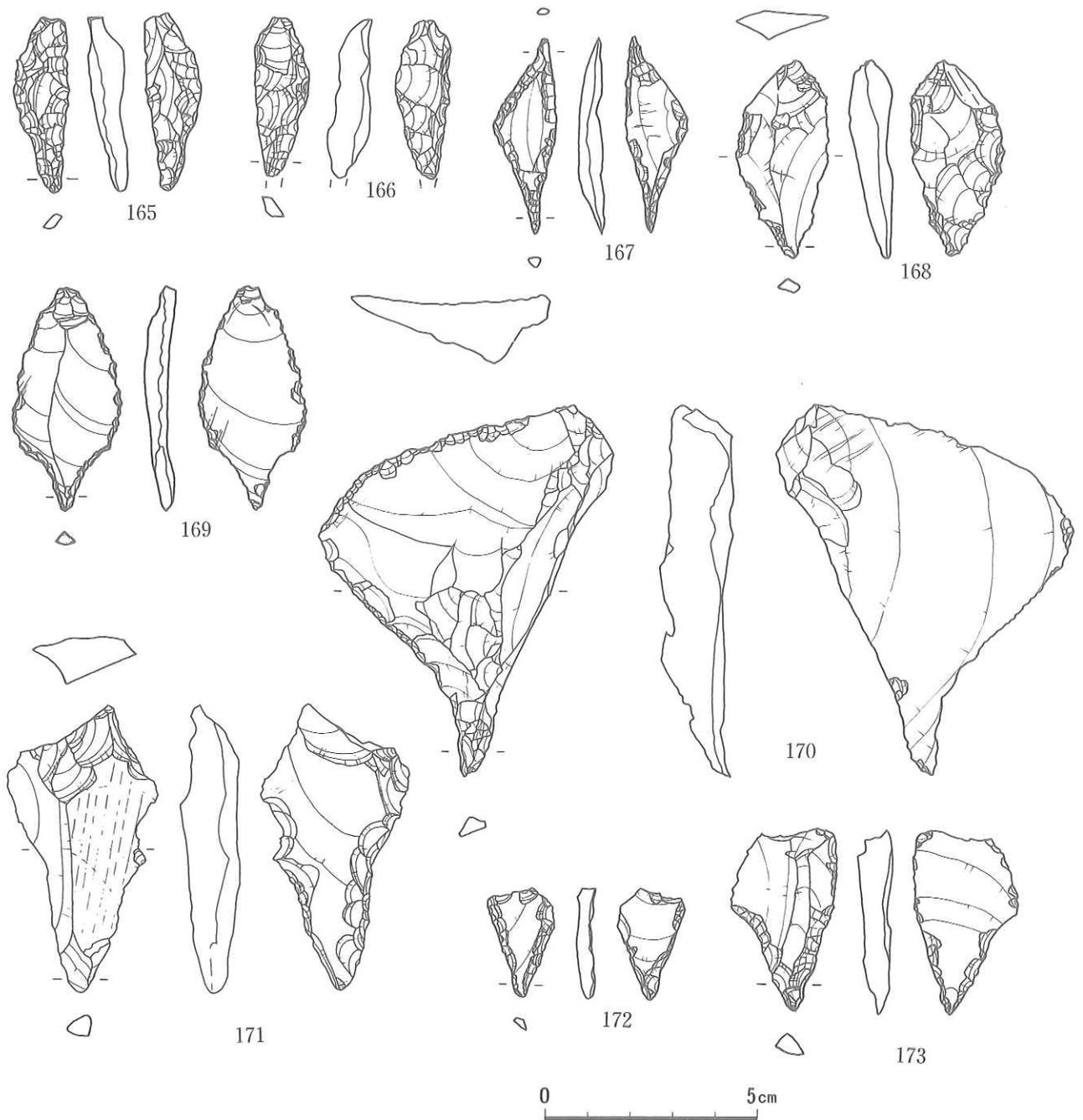
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
150	VIH-74	III	51	84	12	23.5	珪頁	Cb	黒色付着物?	3219
151	VI F-75	〃	35	75	10	16.4	〃	〃		2927
152	VI E-75	〃	39	29	9	8.9	〃	Cc		2893
153	VI F-75	〃	52	71	12	22.7	〃	〃		2930
154	VI G-74	〃	(38)	(30)	(8)	(5.1)	〃	〃		3069
155	VI H-75	〃	46	63	14	22.2	〃	Cb		3242
156	VI G-75	〃	35	35	11	9.5	〃	〃		3086

66図 第三層 出土石器 (19)



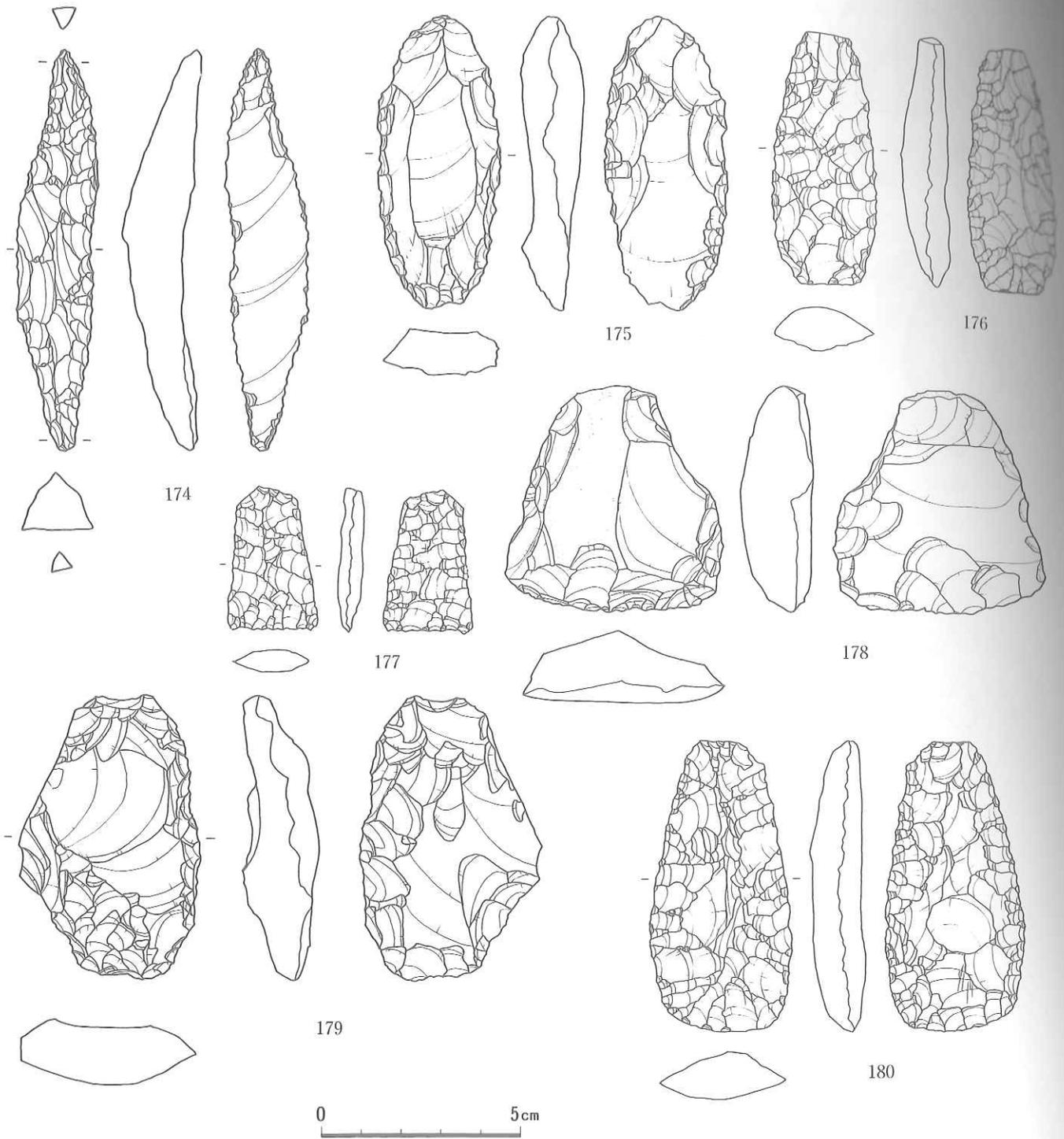
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
157	VIIH-75	III	43	64	10	13.8	珧頁	Cb		3234
158	VII G-74	〃	27	(27)	7	(4.0)	〃	〃		3075
159	VII G-75	〃	36	51	9	9.3	〃	〃		3080
160	VII G-74	〃	51	52	10	19.9	〃	〃		3073
161	VII G-76	〃	(41)	51	12	(15.5)	〃	Cc		3096
162	VII F-75	〃	34	48	10	11.8	〃	Cb		2926
163	VII H-75	〃	45	42	10	10.6	〃	〃		3247
164	VII F-75	〃	27	54	8	6.9	〃	Cc		2932

67図 第三層 出土石器 (20)



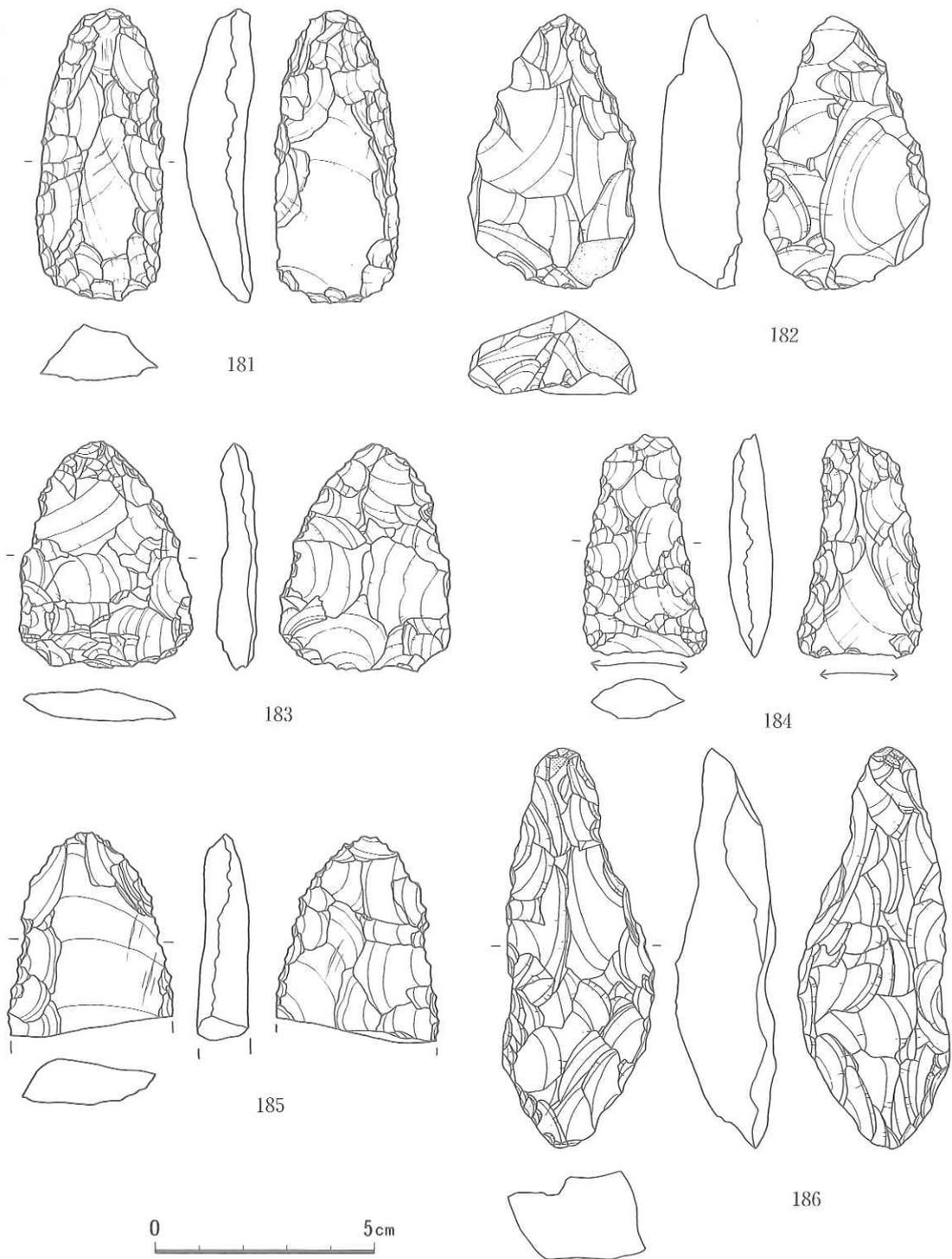
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
165	ⅦF-76	Ⅲ	42	14	9	3.6	珪頁	Da	尖端摩耗	72972
166	ⅦF-75	〃	(38)	13	10	(4.3)	〃	〃		72966
167	ⅦG-76	〃	47	15	6	2.6	〃	Db		73384
168	ⅦF-75	〃	47	22	10	7.4	〃	〃	尖端摩耗	72971
169	ⅦG-77	〃	53	26	8	5.9	〃	〃		2842
170	ⅦG-74	〃	88	70	18	55.6	〃	〃		72892
171	ⅦG-77	〃	68	36	14	20.2	〃	〃	尖端摩耗顯著	72817
172	ⅦG-75	〃	26	16	5	1.5	〃	〃	尖端摩耗	66988
173	ⅦG-77	〃	43	25	18	6.7	〃	〃	〃	69586

68図 第三層 出土石器 (21)



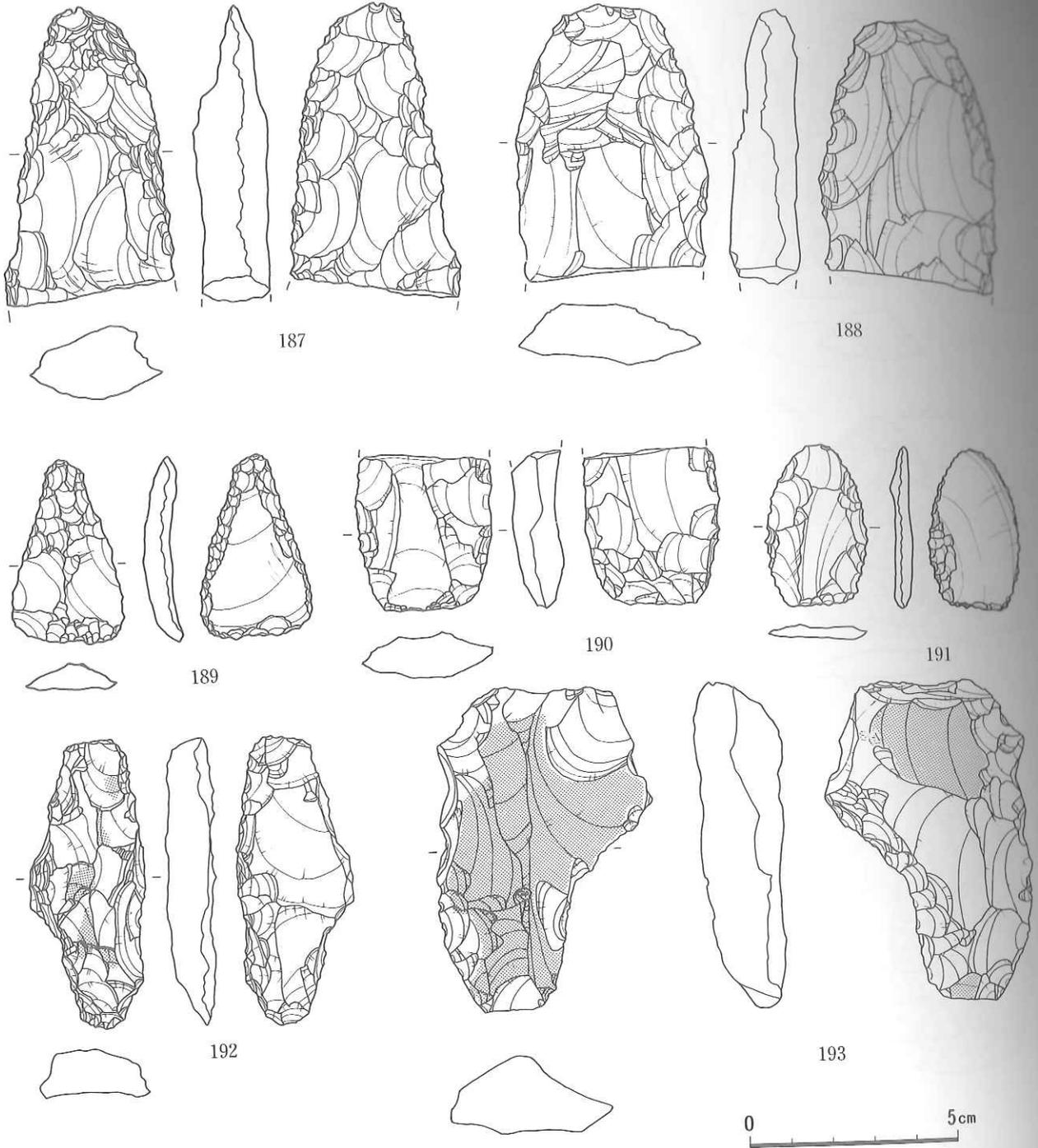
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
174	ⅦG-77	Ⅲ	101	21	20	22.0	珪頁	Da	両端摩耗	2867
175	ⅦF-74	〃	74	31	16	35.2	〃	Ea		3320
176	ⅦE-76	〃	64	26	13	22.4	〃	〃		3319
177	ⅦG-76	〃	36	22	7	4.2	〃	〃		3330
178	ⅦG-77	〃	52	56	13	56.8	〃	Eb		72988
179	ⅦG-74	〃	73	46	20	57.0	〃	Ea		3410
180	ⅦF-75	〃	73	32	14	39.8	〃	〃		3323

69図 第三層 出土石器 (22)



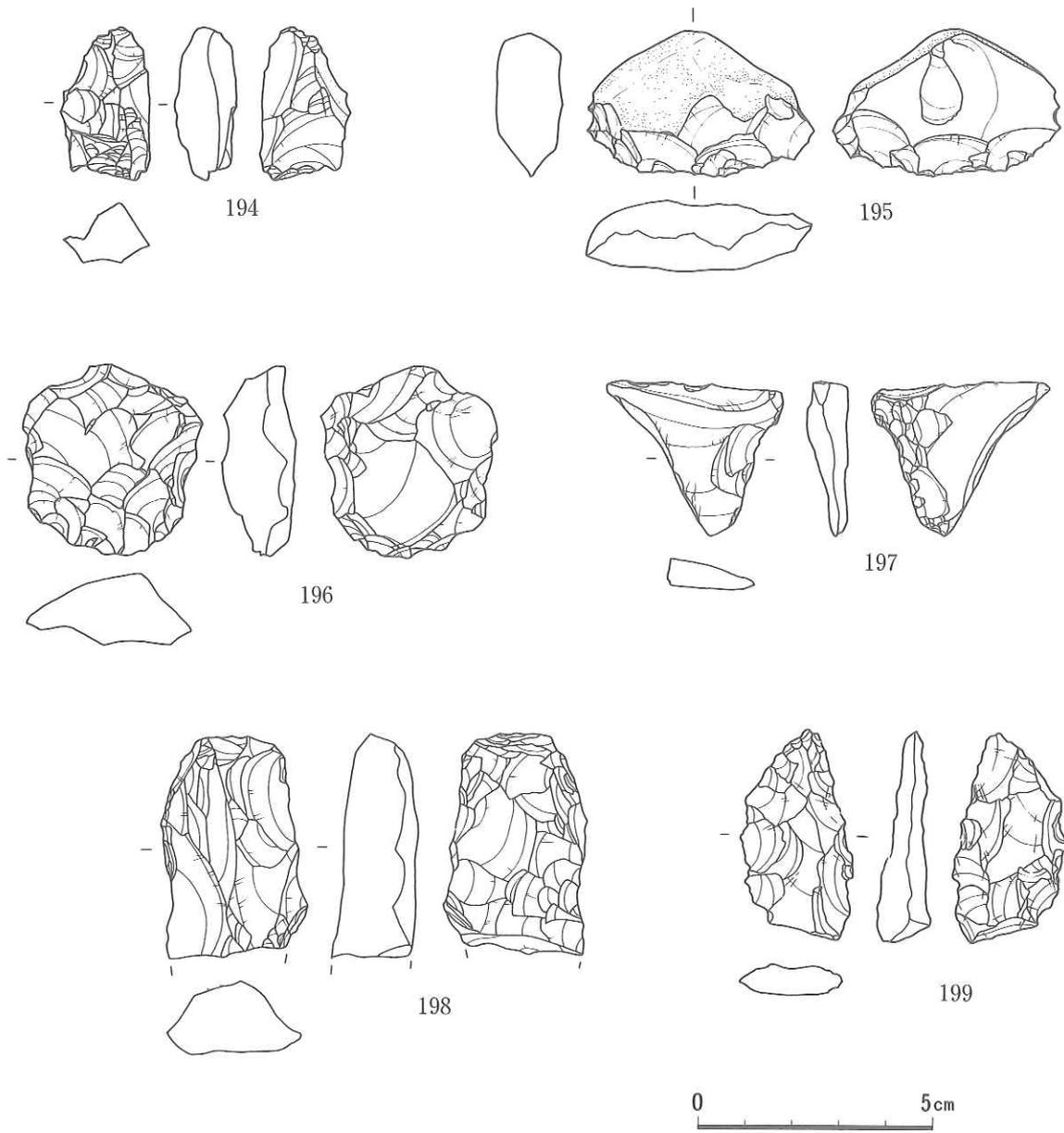
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
181	ⅥG-75	Ⅲ	67	29	16	26.5	珪頁	Ea		3328
182	〃	〃	63	38	19	38.4	〃	Eb		75711
183	ⅦF-75	〃	52	39	9	16.4	〃	〃		73038
184	〃	〃	58	21	10	13.6	〃	〃		3322
185	ⅥG-74	〃	(48)	(38)	(12)	(20.6)	〃	Ga		2854
186	ⅦF-76	Ⅲトレ	92	34	23	68.2	〃	〃	両端縁辺摩耗	72801

70図 第三層 出土石器 (23)



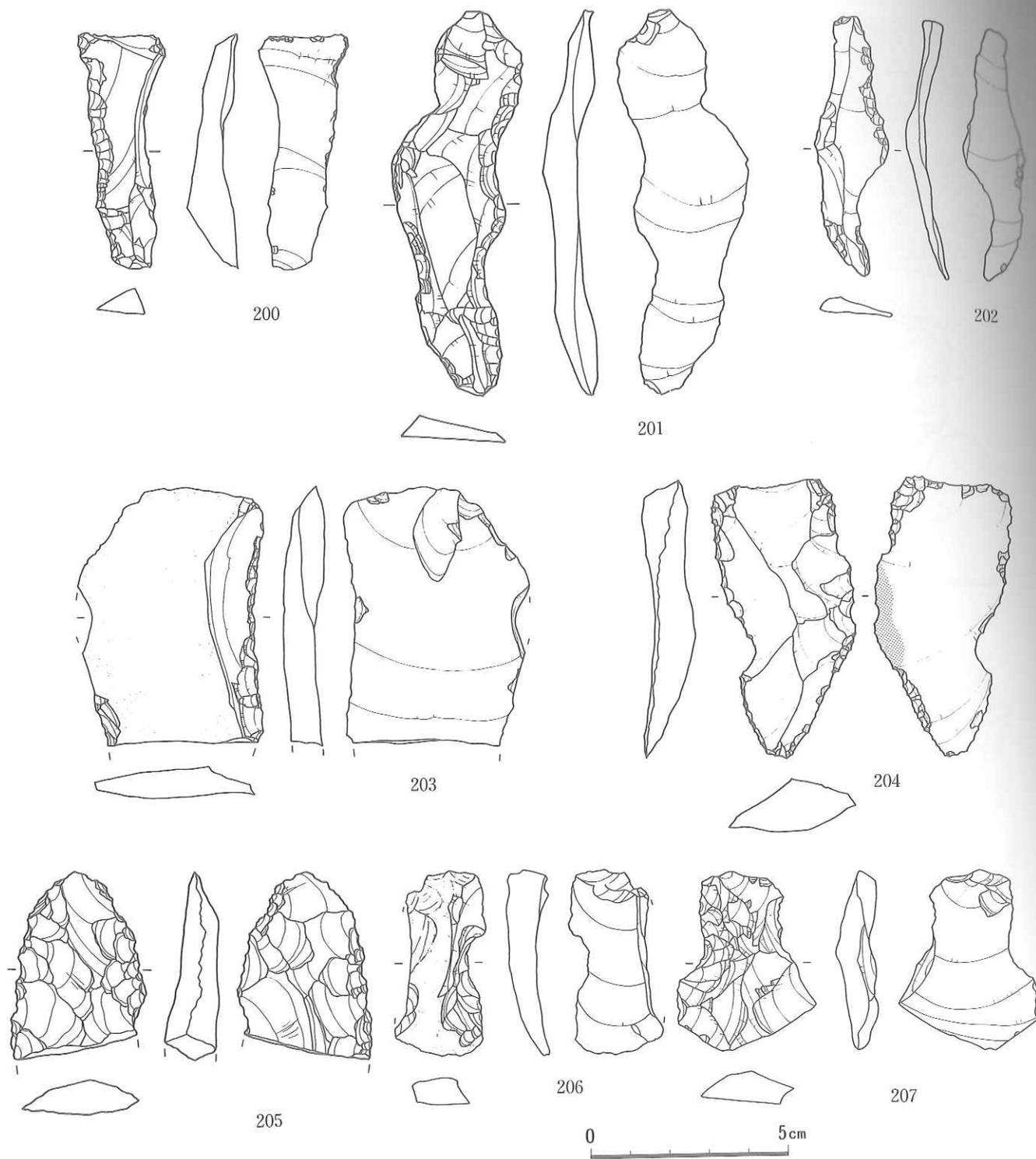
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
187	VII F-74	III	(73)	(41)	(18)	(45.5)	珪頁	Ga		2847
188	VII G-74	〃	(68)	46	(17)	(51.8)	〃	〃		72907
189	〃	〃	45	27	10	7.2	〃	〃		2852
190	VII F-74	〃	(38)	(34)	(12)	(18.4)	〃	〃		73383
191	VII G-74	〃	39	25	6	4.1	〃	〃		2855
192	〃	〃	70	28	12	22.9	〃	〃		3348
193	VII F-76	IIIトレ	78	52	21	72.0	〃	〃		72803

71図 第三層 出土石器 (24)



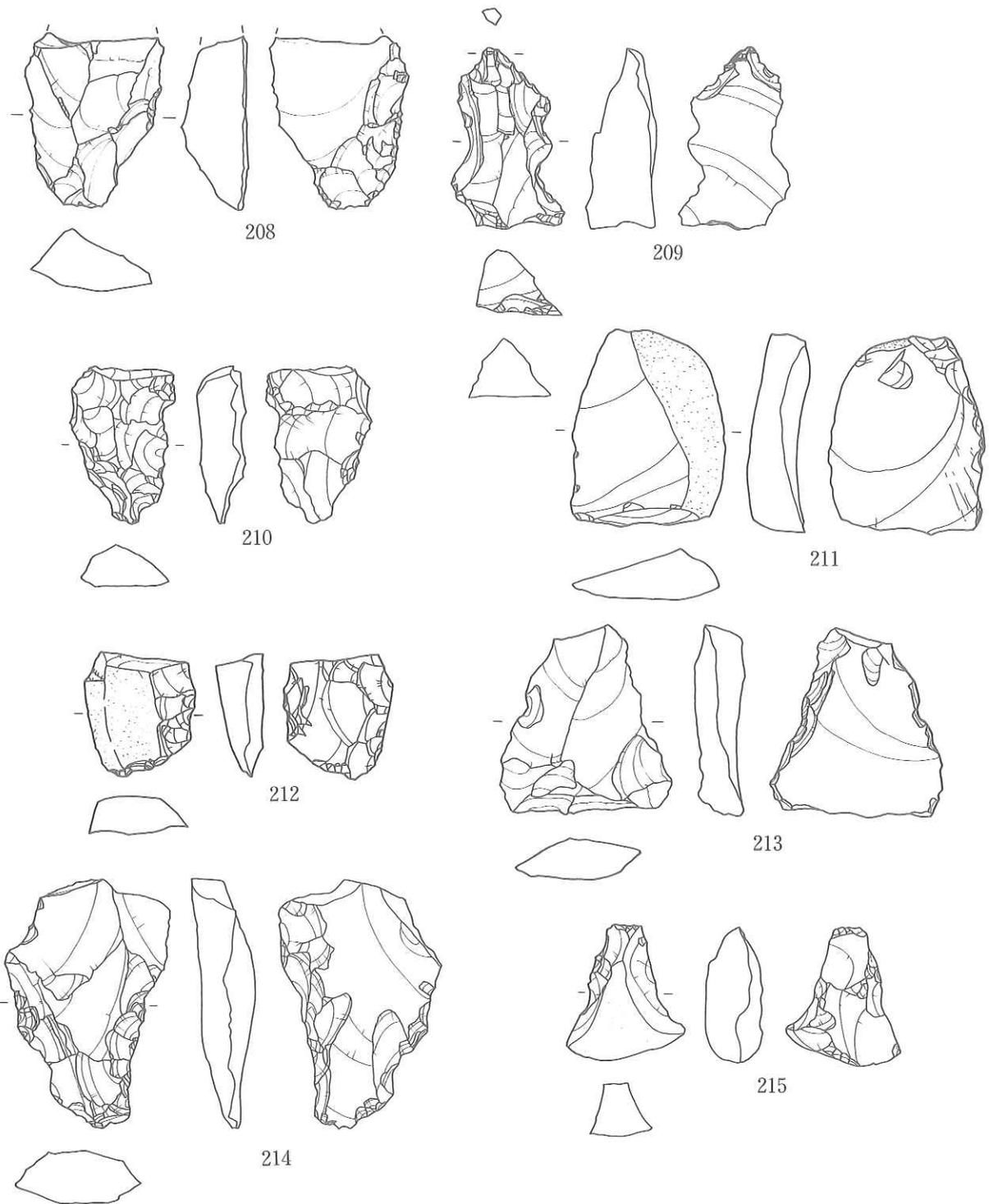
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
194	ⅧF-74	Ⅲ	32	19	13	6.3	珪頁	F		60163
195	ⅧG-75	〃	31	48	15	25.6	〃	Ga		72609
196	ⅧF-75	〃	42	38	16	24.9	〃	〃		72977
197	ⅧF-74	〃	34	38	10	8.1	〃	〃		60158
198	ⅧG-75	〃	(48)	(31)	(19)	(29.3)	〃	〃		73057
199	ⅧG-74	〃	45	24	11	8.6	〃	〃		75410

72図 第三層 出土石器 (25)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
200	VIF-75	III	60	23	13	10.2	珪質	Ga		72974
201	VIG-74	〃	98	33	14	20.8	〃	〃		72909
202	VIG-75	〃	72	19	10	3.4	〃	〃		73392
203	VIG-74	〃	(66)	(47)	(11)	(34.6)	〃	〃		73047
204	VIG-75	〃	72	35	13	19.9	〃	〃		72608
205	VIF-76	〃	(48)	(35)	(14)	(17.5)	〃	〃		2848
206	VIG-75	〃	49	(23)	11	(9.1)	〃	〃		72813
207	VIF-77	〃	46	35	10	11.8	〃	〃		63710

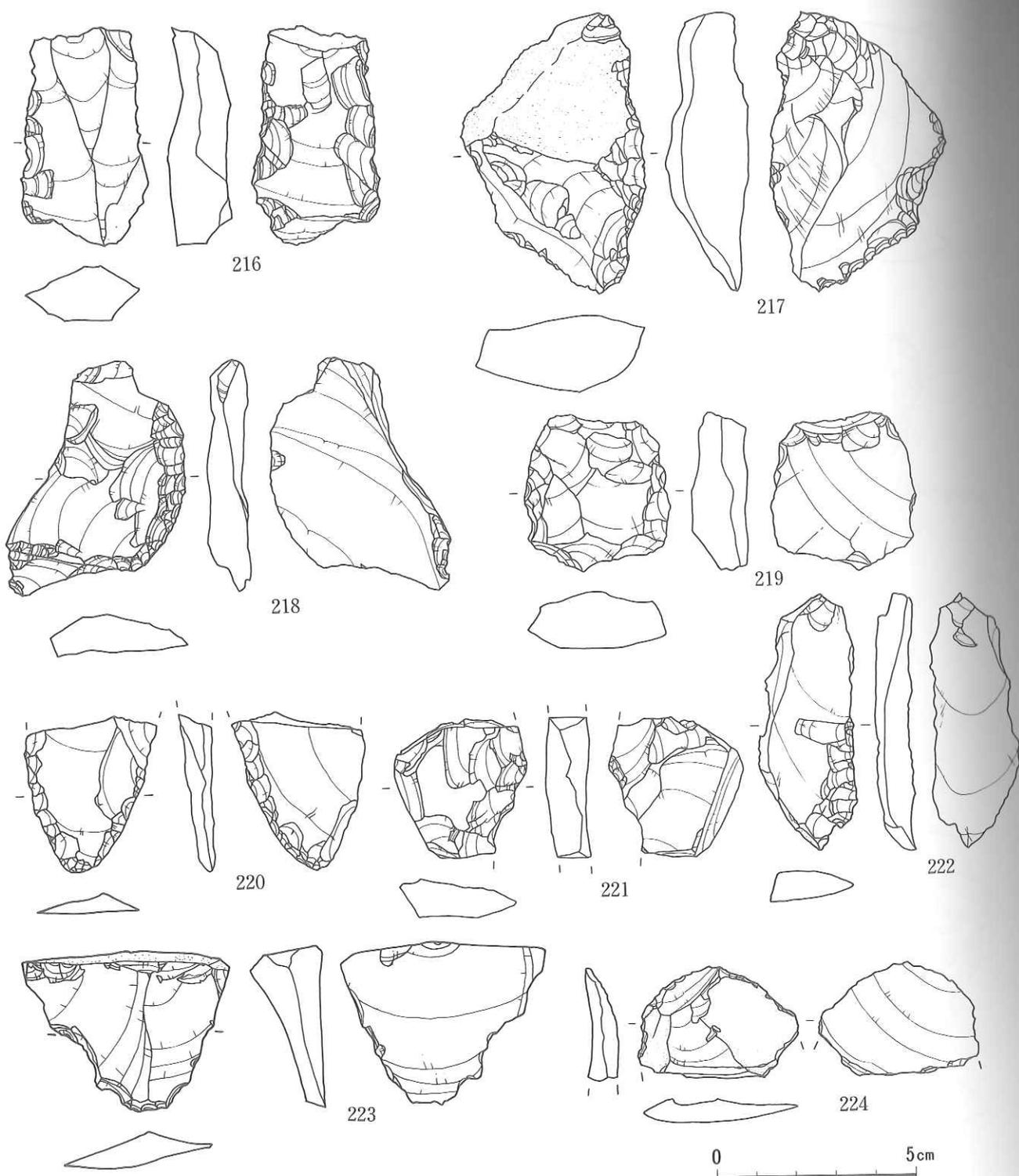
73図 第三層 出土石器 (26)



0 5cm

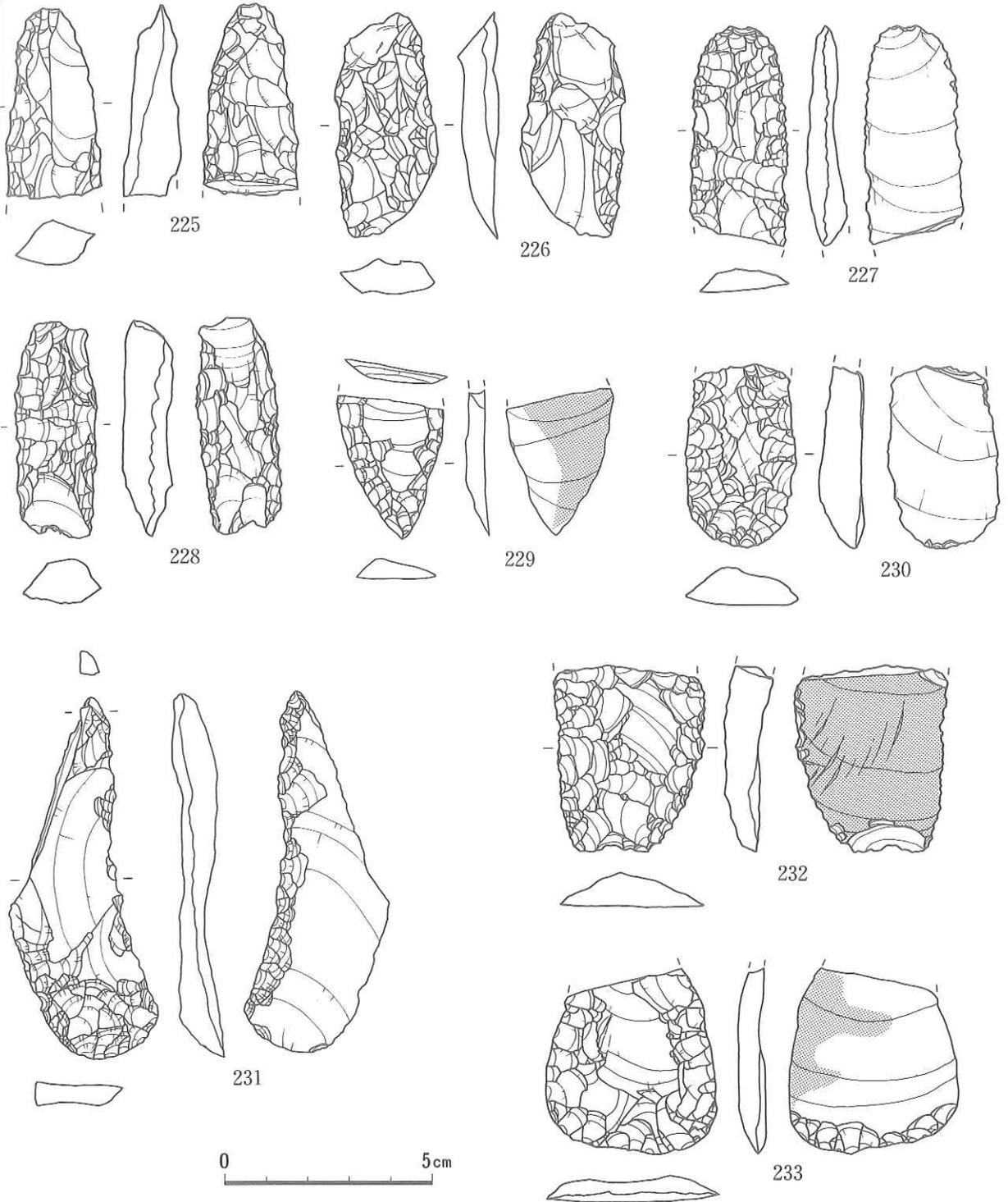
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
208	VI G-75	III	(42)	36	16	(15.3)	珪頁	Ga		72601
209	VI G-74	〃	44	27	17	14.7	〃	〃	石錐?	73048
210	VIF-74	〃	39	25	12	10.6	〃	〃		72985
211	〃	〃	48	37	15	25.2	〃	〃		72967
212	VI G-77	〃	30	26	12	9.6	〃	〃		72969
213	VII H-75	〃	46	42	13	19.7	玉珪	〃		71751
214	VIF-75	〃	61	40	15	28.8	珪頁	〃		73389
215	VI G-76	〃	33	28	14	10.3	〃	〃		72901

74図 第三層 出土石器 (27)



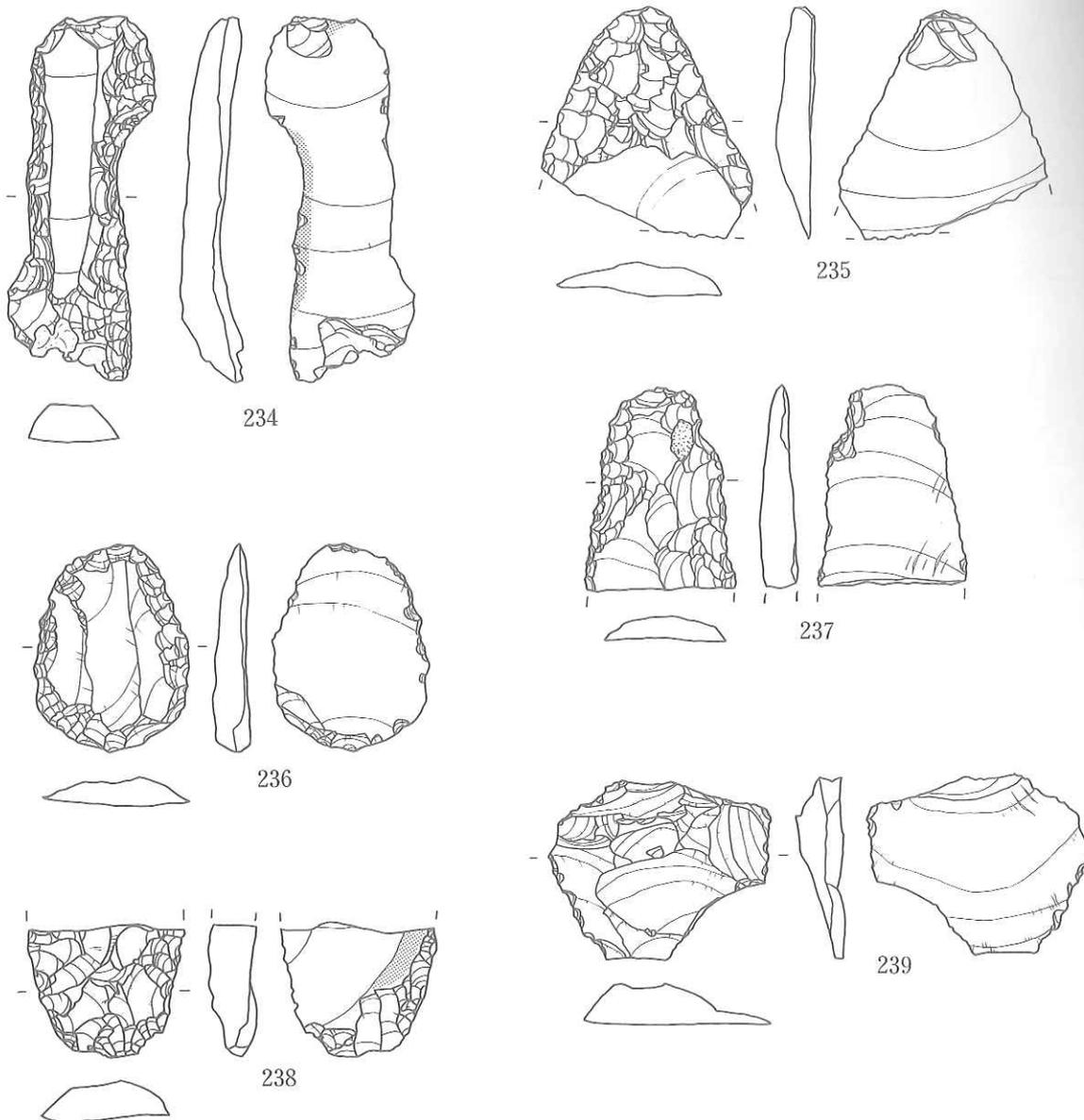
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
216	VIF-74	Ⅲ	56	32	16	27.8	珪頁	Ga		60213
217	VIG-74	〃	70	47	21	51.5	〃	〃		60221
218	VIG-75	〃	59	46	11	20.5	玉	〃		3422
219	VIG-75	〃	39	29	11	15.0	珪頁	〃		72897
220	VIG-74	〃	(41)	(34)	(9)	(8.1)	〃	〃		72902
221	VIG-77	〃	(35)	(34)	(11)	(14.3)	〃	〃		73049
222	VIG-74	〃	66	25	10	13.2	〃	〃		72903
223	VIF-74	〃	41	51	18	20.7	〃	〃		60215
224	VIF-77	〃	(28)	(40)	(7)	(7.7)	〃	〃		63706

75図 第三層 出土石器 (28)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
225	VII G-74	III	(46)	(23)	(14)	(12.8)	珪頁	Ga	石槍破片?	73059
226	VII F-75	〃	55	25	10	12.6	〃	〃	〃	72970
227	VII G-76	〃	(53)	24	(10)	(10.3)	〃	〃	石匙破片?	3331
228	VII F-76	〃	52	20	13	13.8	〃	〃	石匙?	3326
229	VII G-74	III下	(35)	(26)	(5)	(3.9)	〃	〃	〃	75379
230	VII F-75	III	(45)	(27)	(11)	(14.0)	〃	〃	〃	72893
231	VII G-75	〃	88	35	11	18.2	〃	〃	石錐? 尖端摩耗	3423
232	VII H-74	〃	(45)	(37)	(12)	(16.5)	〃	〃	〃	3223
233	VII G-75	〃	(45)	42	(7)	(14.3)	〃	〃	石匙破片?	73056

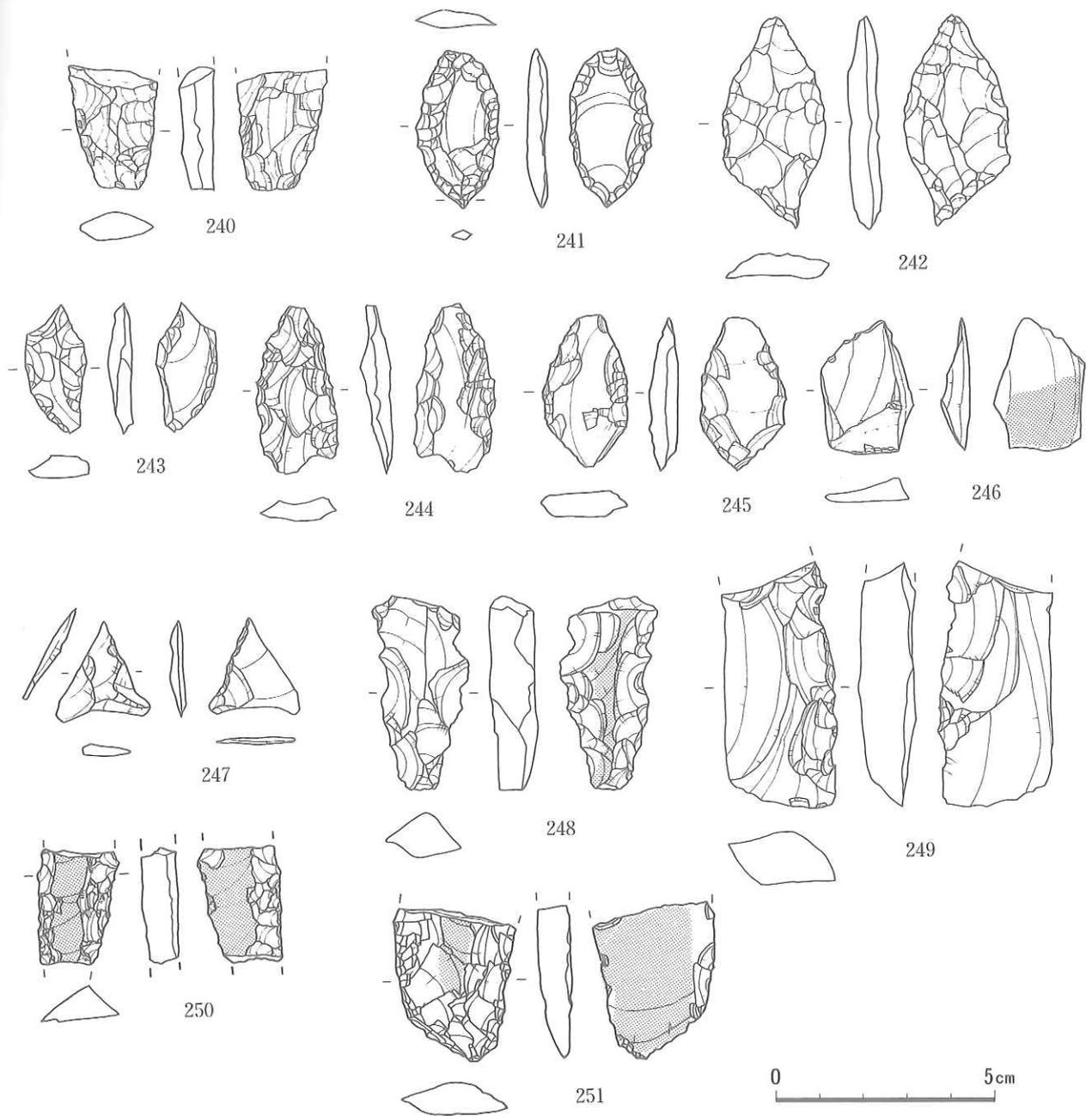
76図 第三層 出土石器 (29)



0 5cm

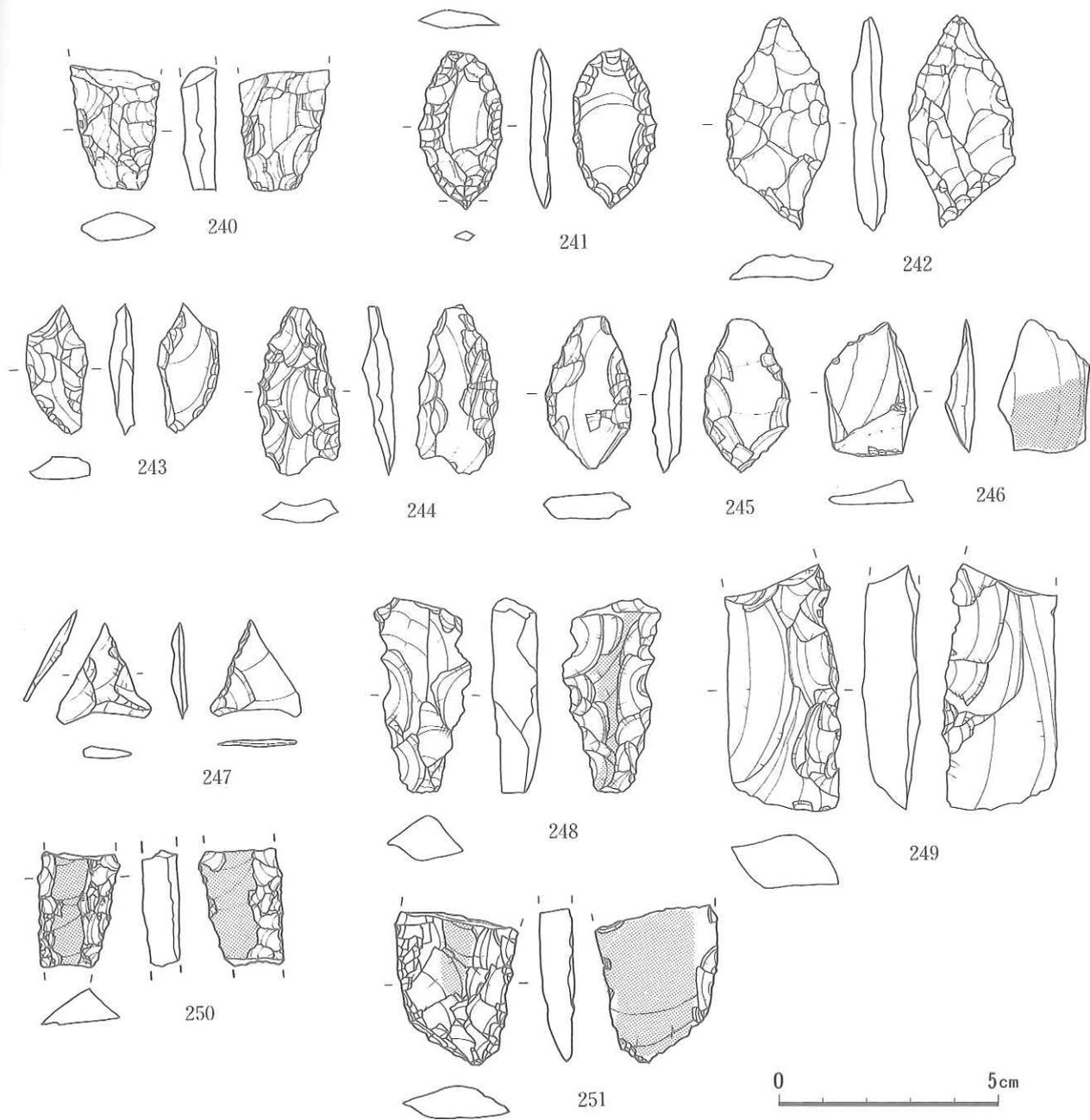
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
234	VIF-74	Ⅲ下	78	30	13	22.9	珉頁	Ga	石匙?	60246
235	VIE-76	Ⅲ	(49)	(44)	(8)	(12.6)	〃	〃		3341
236	VIF-77	〃	44	33	8	10.9	〃	〃		63708
237	VIG-75	〃	(43)	(32)	(8)	(11.2)	〃	〃		2856
238	〃	〃	(24)	(32)	(10)	(10.0)	〃	〃		72900
239	VIG-77	〃	39	46	15	12.7	〃	〃		72982

77図 第三層 出土石器 (30)



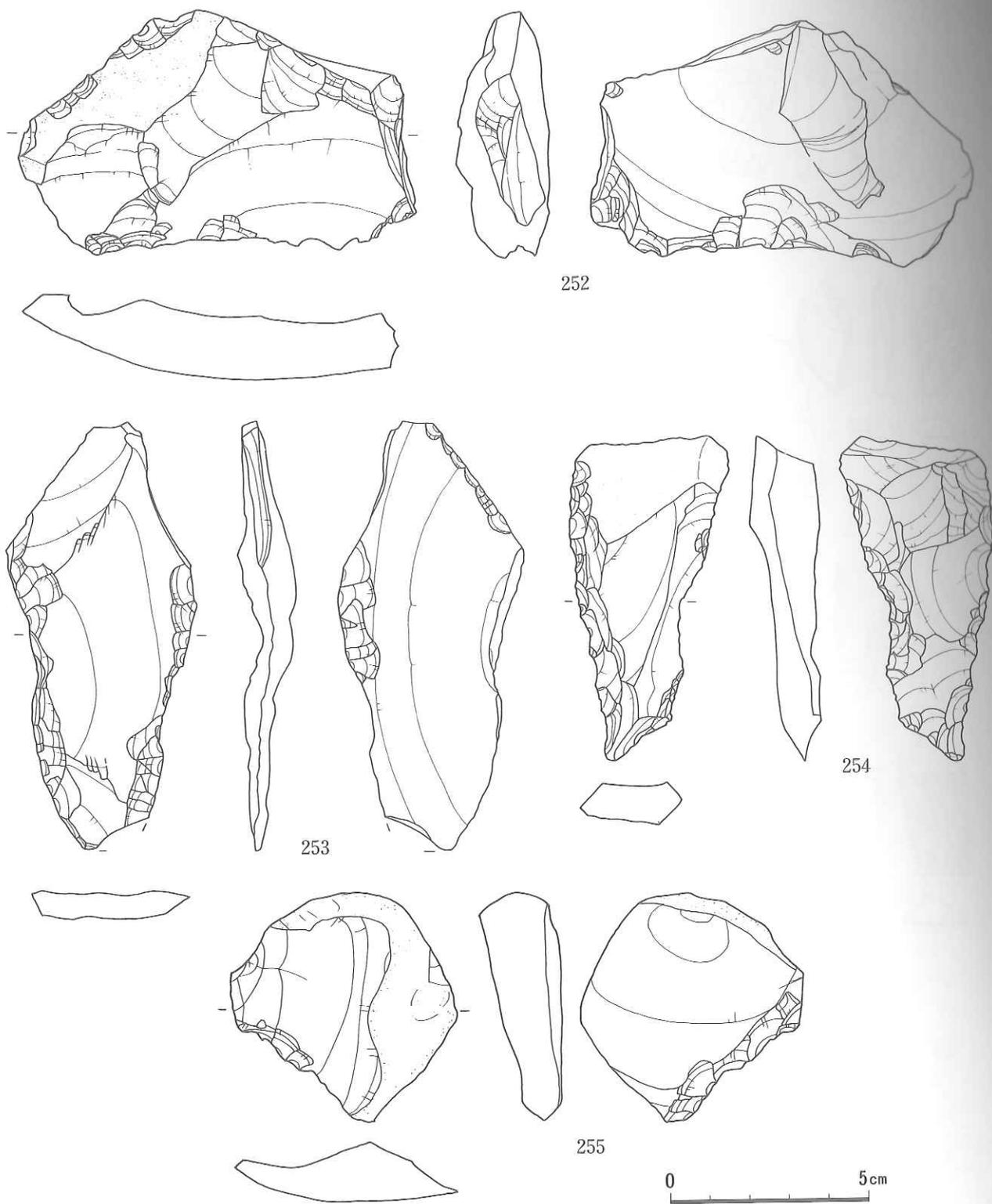
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
240	VI F-76	III	(29)	(21)	(9)	(4.5)	珪頁	Ca		3365
241	VI F-75	〃	37	19	5	3.7	〃	〃	石錐?	72981
242	VIG-74	〃	50	24	7	7.8	〃	〃		3409
243	VII -74	〃	30	14	6	2.1	〃	〃		60204
244	VII H-76	〃	39	19	7	3.8	〃	〃		71951
245	VIII-74	〃	36	20	7	4.1	〃	〃		71204
246	VI F-74	III下	30	21	7	3.9	〃	Gc		60231
247	VIG-77	III	23	21	4	0.4	〃	Ca		72904
248	VII H-74	〃	45	23	11	9.2	〃	〃		3469
249	VIG-74	〃	(57)	(26)	(13)	(21.1)	〃	〃		73046
250	VIG-76	〃	(27)	(19)	(8)	(5.2)	〃	〃		3101
251	VIG-75	〃	(36)	(28)	(8)	(7.6)	〃	〃	石匙破片?	72899

78図 第三層 出土石器 (31)



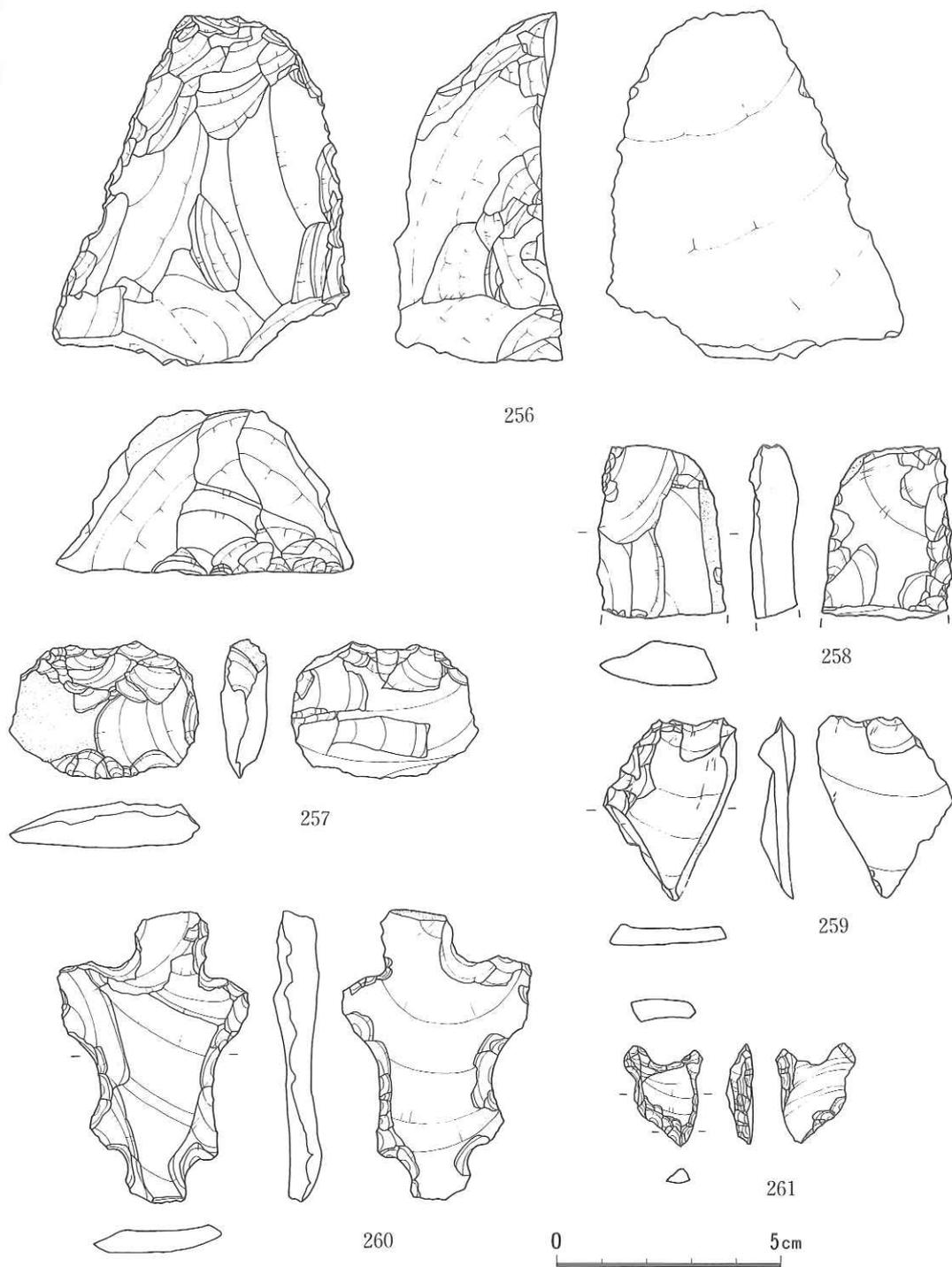
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
240	VII F-76	Ⅲ	(29)	(21)	(9)	(4.5)	珧頁	Ca		3365
241	VII F-75	〃	37	19	5	3.7	〃	〃	石錐?	72981
242	VII G-74	〃	50	24	7	7.8	〃	〃		3409
243	VII -74	〃	30	14	6	2.1	〃	〃		60204
244	VII H-76	〃	39	19	7	3.8	〃	〃		71951
245	VII H-74	〃	36	20	7	4.1	〃	〃		71204
246	VII F-74	Ⅲ下	30	21	7	3.9	〃	Ge		60231
247	VII G-77	Ⅲ	23	21	4	0.4	〃	Ga		72904
248	VII H-74	〃	45	23	11	9.2	〃	〃		3469
249	VII G-74	〃	(57)	(26)	(13)	(21.1)	〃	〃		73046
250	VII G-76	〃	(27)	(19)	(8)	(5.2)	〃	〃		3101
251	VII C-75	〃	(36)	(28)	(8)	(7.6)	〃	〃	石匙破片?	72899

78図 第三層 出土石器 (31)



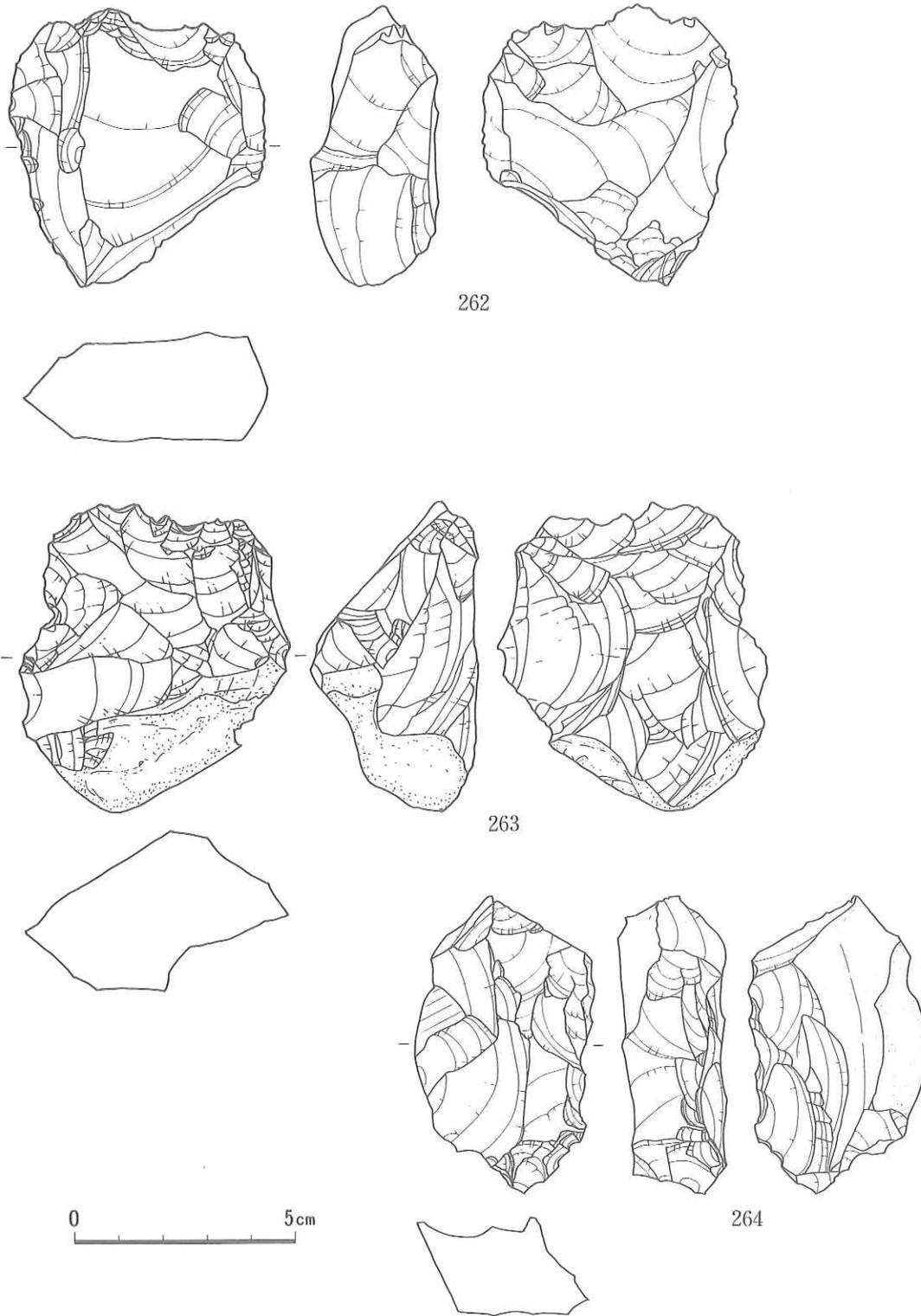
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
252	VII G-74	Ⅲ	63	101	24	110.6	珪頁	Ga		72980
253	VII G-76	〃	(109)	48	15	(46.0)	〃	〃		68750
254	VII G-74	〃	83	41	18	49.0	〃	〃		72894
255	VII F-75	〃	58	58	21	49.2	〃	〃		73385

79図 第三層 出土石器 (32)



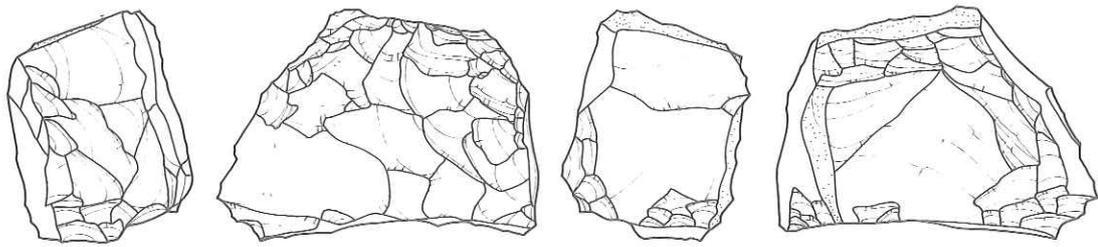
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
256	VIIH-75	III	78	66	37	151.4	珩頁	Ga		75405
257	〃	〃	31	42	10	14.6	〃	〃		75818
258	VIIG-75	〃	(39)	(29)	(11)	(15.0)	〃	〃		72897
259	VIIF-75	IIIトレ	41	30	8	5.9	〃	〃		64322
260	VIIG-76	III	65	42	10	19.3	〃	R		68757
261	VIIG-75	〃	22	18	6	1.7	黒	〃		67193

80図 第三層 出土石器 (33)

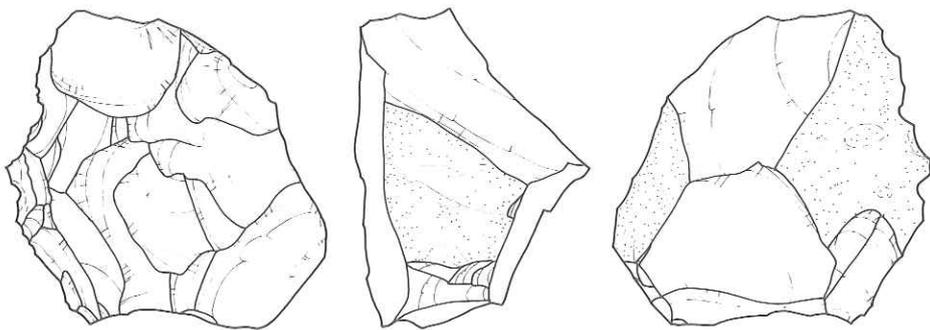


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
262	VII F-74	III トレ	64	58	29	107.5	珪頁	Pa		60257
263	VII F-75	III	70	61	38	134.8	〃	〃		73054
264	VII G-74	〃	68	41	25	63.7	〃	〃		73052

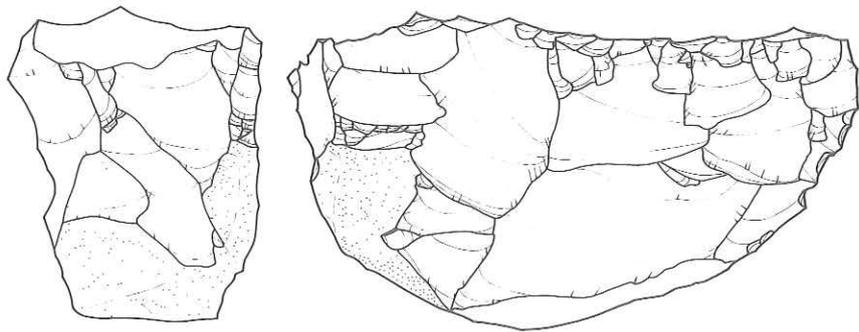
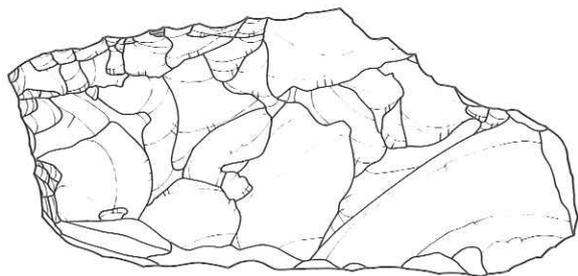
81図 第三層 出土石器 (34)



265



266

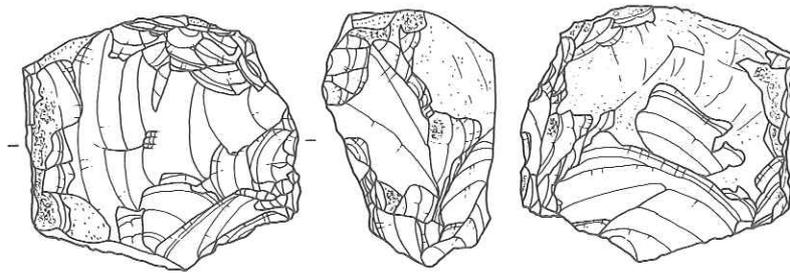


267

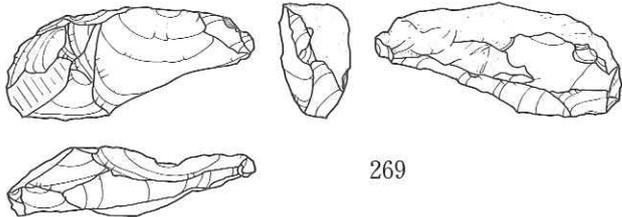
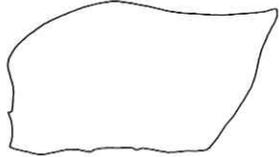


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
265	VI G-74	III	46	63	37	117.9	珪頁	Pa		72631
266	VII F-75	〃	63	63	46	131.3	〃	〃		72628
267	VII F-76	〃	101	63	50	387.0	〃	〃		72626

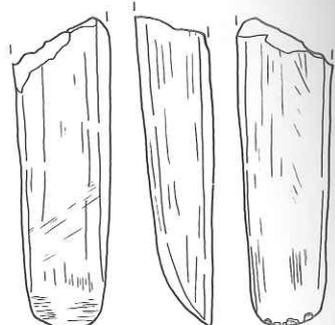
82図 第三層 出土石器 (35)



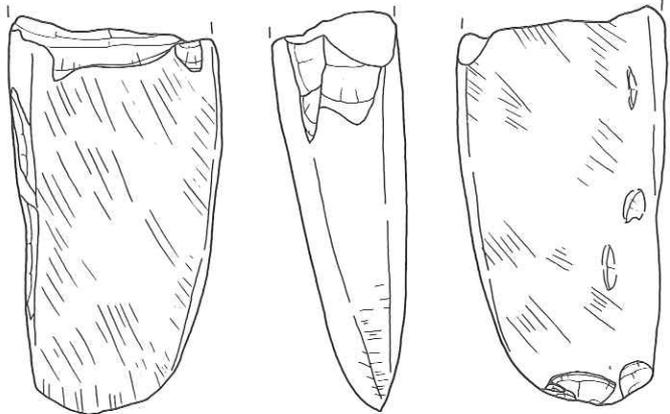
268



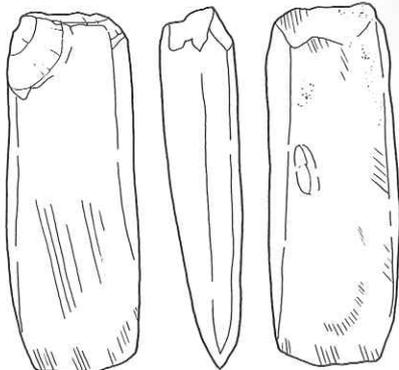
269



270



271

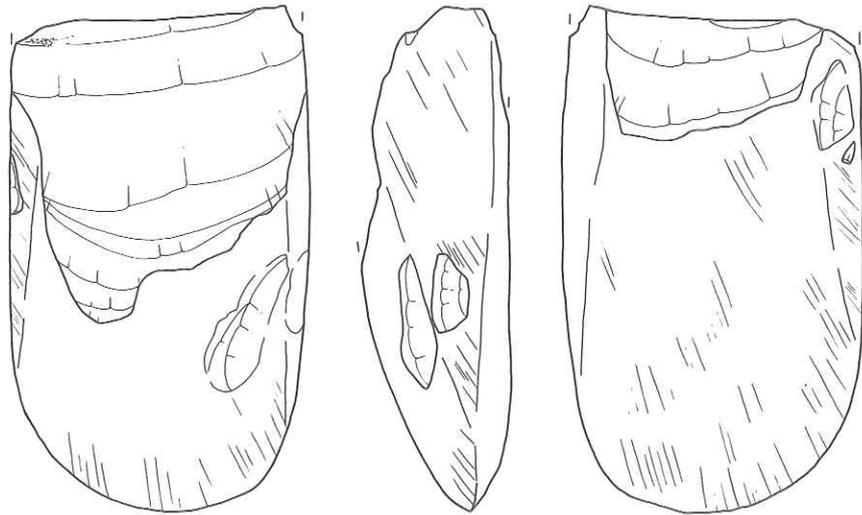


272

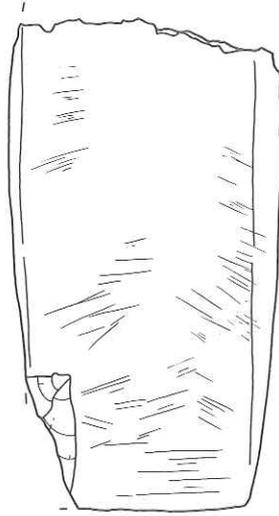
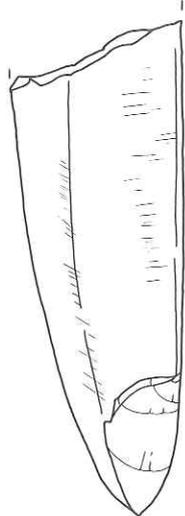
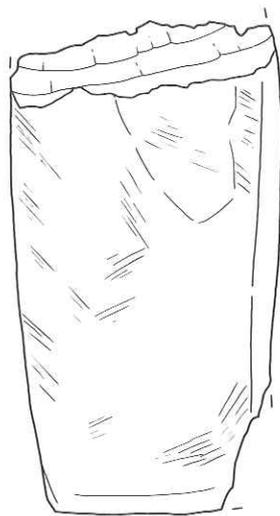
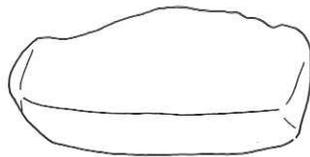


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
268	VIF-74	III	50	55	34	103.1	珪頁	Pa	敲打痕あり	60228
269	VIF-74	〃	23	49	14	13.3	〃	〃		60147
270	VIIH-75	IIIトレ	(61)	(19)	(15)	(27.1)	緑細	Ha		72979
271	VIF-77	III	(79)	(42)	(26)	(126.2)	〃	〃		72975
272	VIF-75	〃	72	26	15	50.3	〃	〃		73045

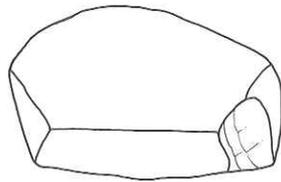
83図 第三層 出土石器 (36)



273



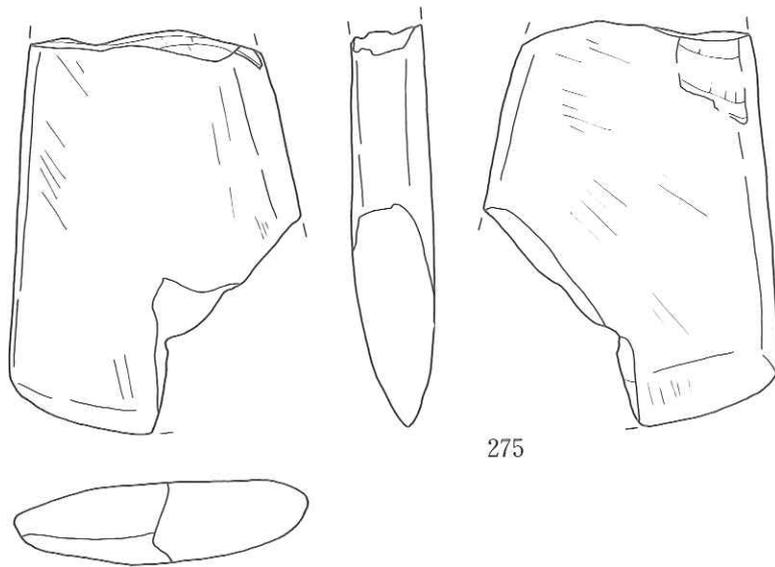
274



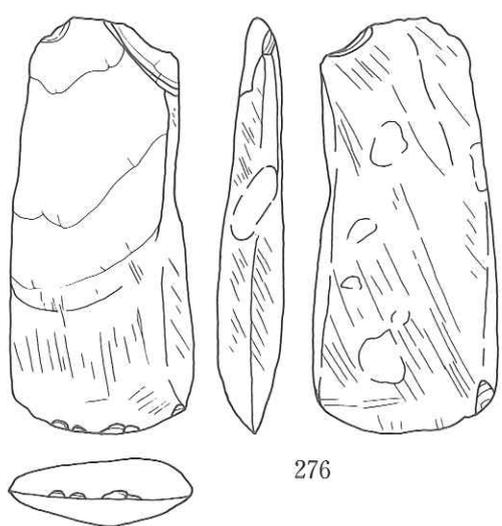
0 5cm

番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
273	ⅦG-75	Ⅲ	(100)	(59)	(29)	(283.4)	緑細	Ha		75407
274	ⅦF-75	〃	(97)	(53)	(34)	(283.4)	〃	〃		72835

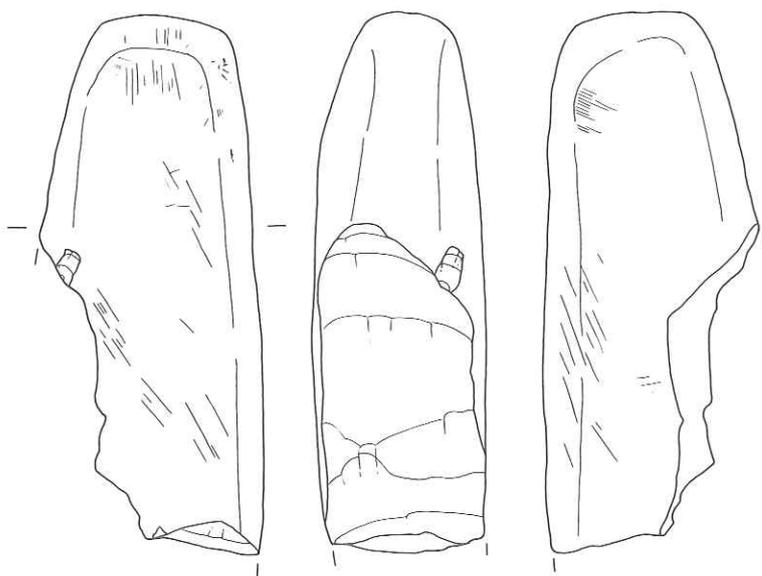
84図 第三層 出土石器 (37)



275

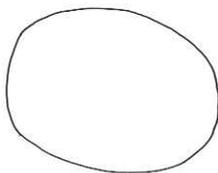


276



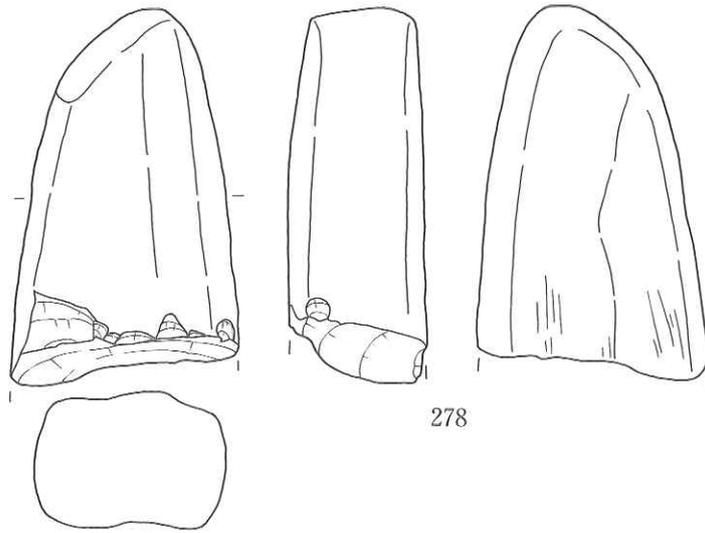
277

0 5cm

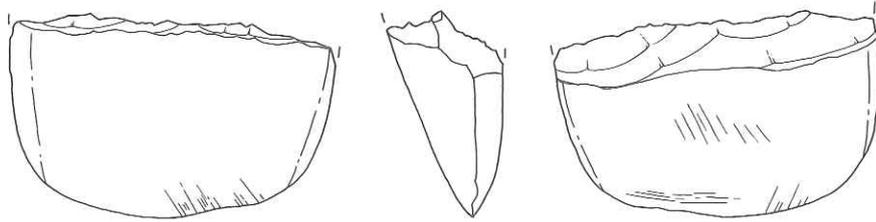


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
275	ⅥF-75	Ⅲ	(80)	(58)	(16)	(109.1)	緑細	Ha		72829
276	ⅥG-74	Ⅲ下	82	36	13	49.8	〃	〃		70120
277	ⅦF-75	Ⅲ	(106)	(43)	(34)	(241.9)	〃	〃		72837

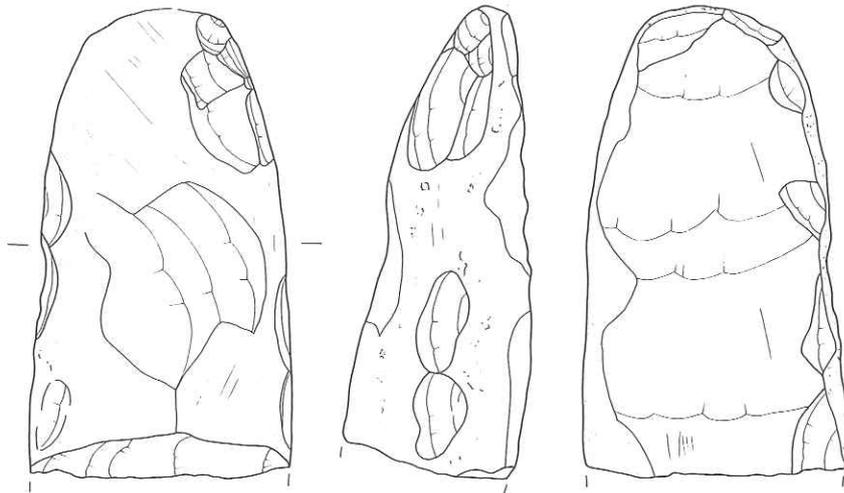
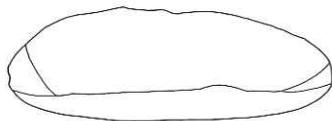
85図 第三層 出土石器 (38)



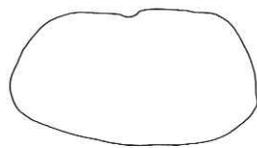
278



279



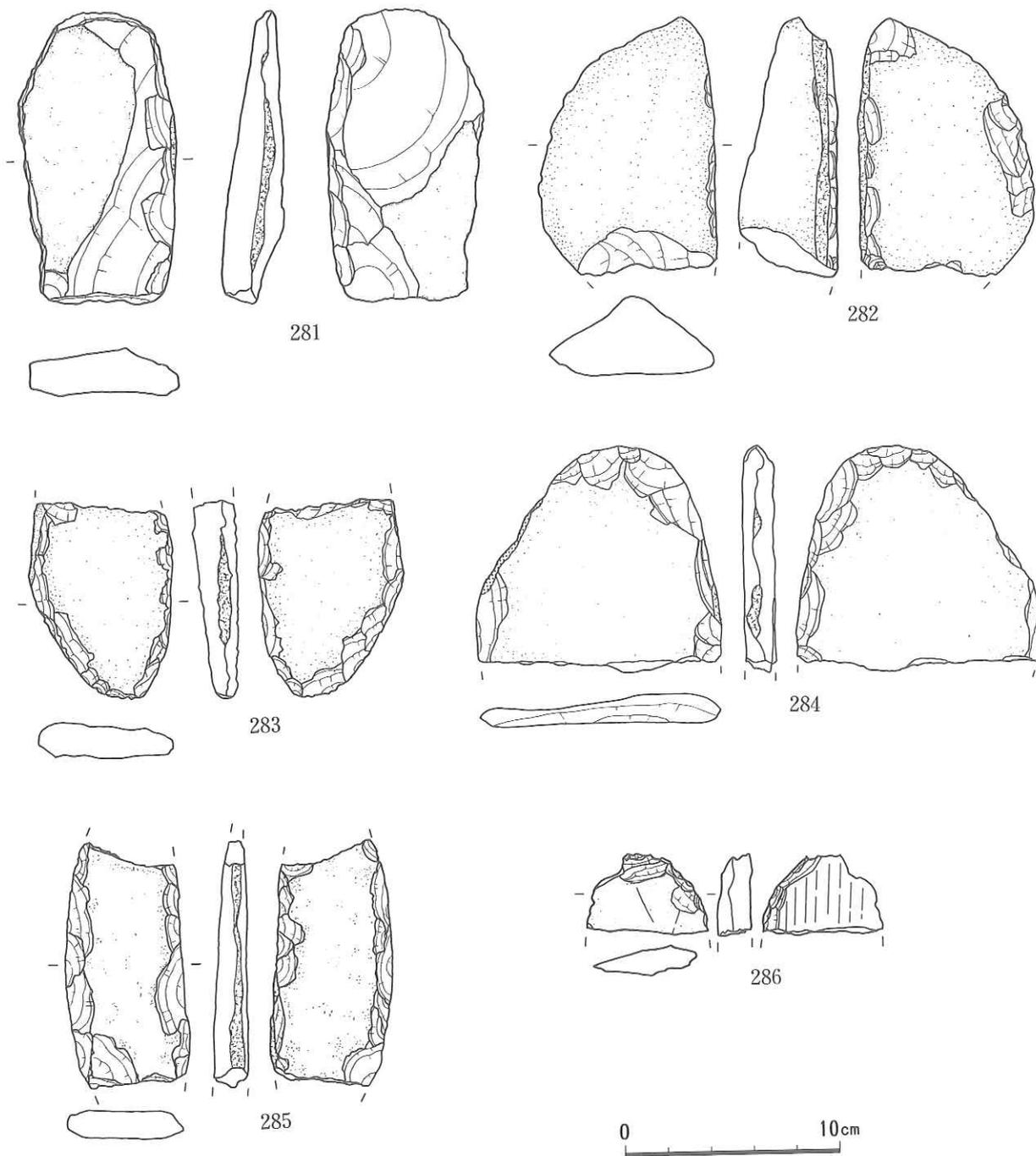
280



0 5cm

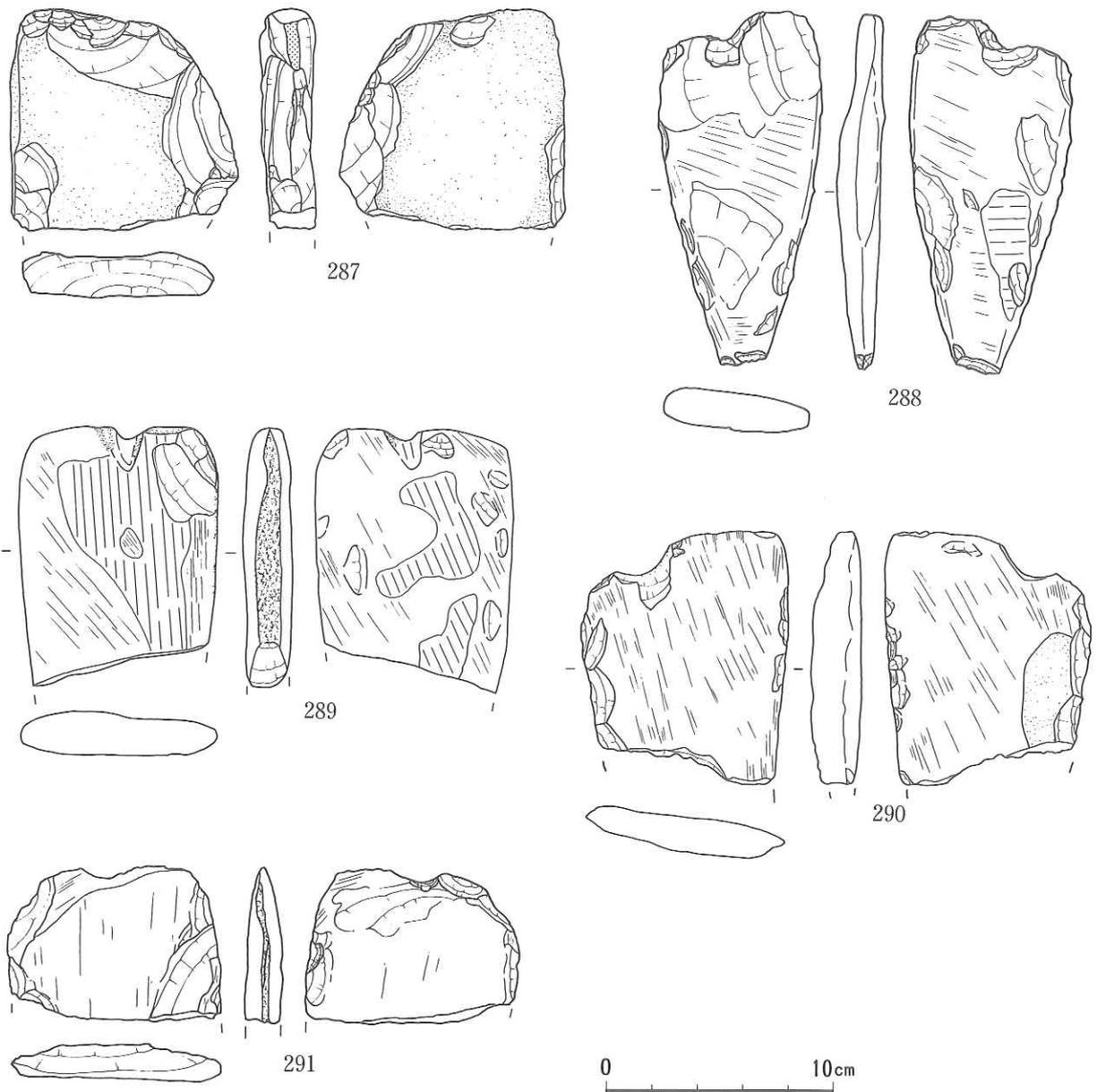
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
278	VII F-75	Ⅲトレ	(74)	(45)	(27)	(128.2)	緑細	Ha		72998
279	VII F-76	Ⅲ	(40)	(64)	(23)	(70.4)	〃	〃		74878
280	VII G-76	〃	(94)	(52)	(37)	(241.0)	閃	〃		74401

86図 第三層 出土石器 (39)



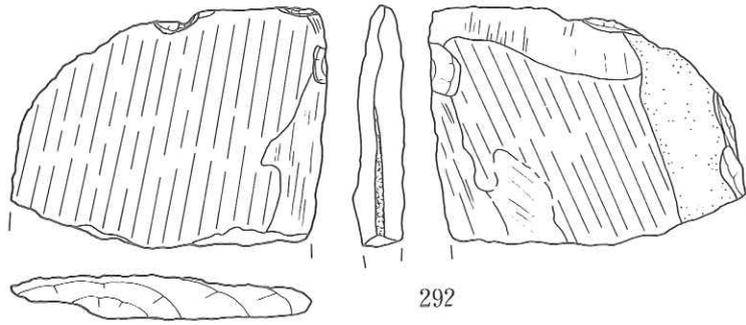
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
281	VIIH-74	III下	137	73	29	278.5	安	J		75161
282	VII G-74	III	(121)	82	(46)	(471.4)	〃	〃		73055
283	VII G-75	〃	(92)	68	(20)	(164.2)	〃	〃		72968
284	VII H-77	〃	(106)	(114)	(15)	(232.8)	〃	〃		75118
285	VII F-74	〃	(115)	57	(16)	(150.6)	〃	〃		75166
286	VII G-75	〃	(38)	(56)	(16)	(33.3)	〃	〃		72816

87図 第三層 出土石器 (40)

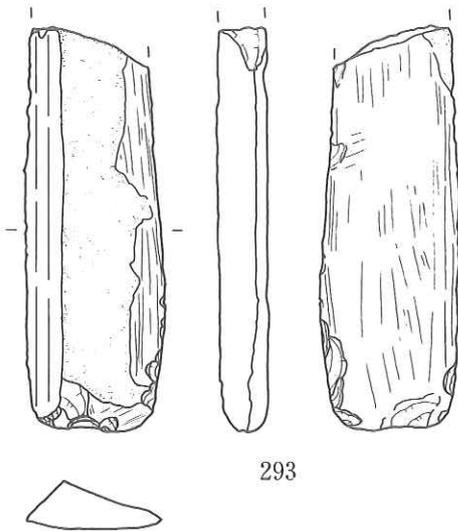


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
287	VII G-76	Ⅲ	(97)	100	24	(378.6)	安	J		75390
288	VII G-74	Ⅲ下	157	73	18	265.9	凝	K		70172
289	VII G-74	〃	(115)	87	22	(346.8)	安	〃		75392
290	VII H-76	Ⅲ	(122)	92	22	(238.0)	〃	〃		75119
291	VII G-75	〃	(69)	(94)	(17)	(155.6)	凝	〃		75116

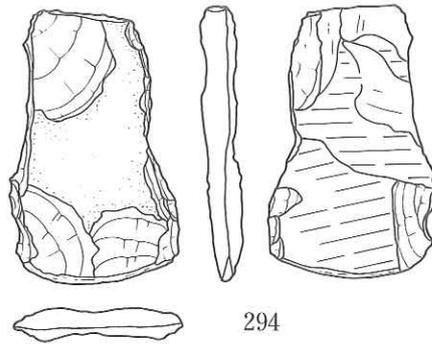
88図 第三層 出土石器 (41)



292



293

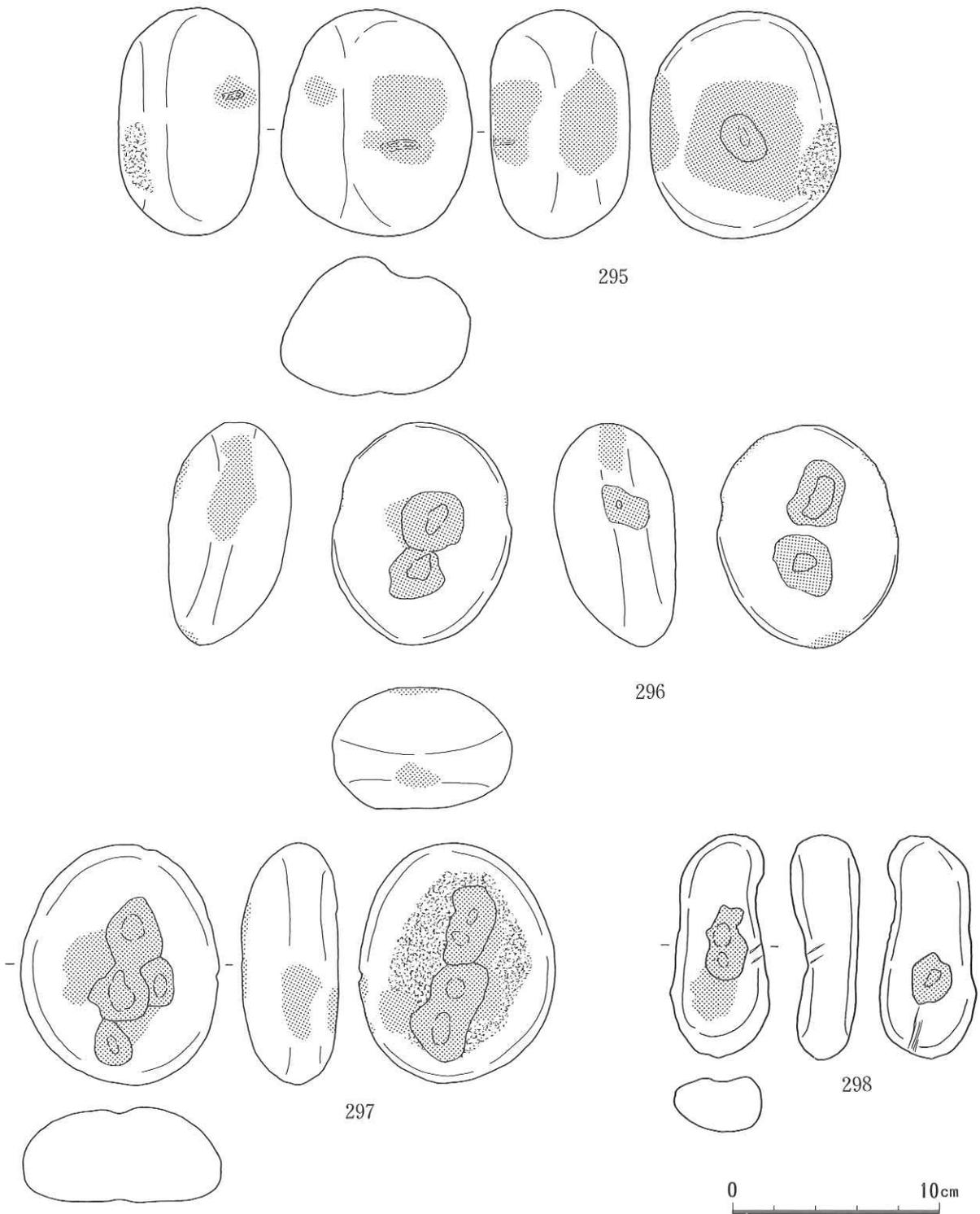


294

0 10cm

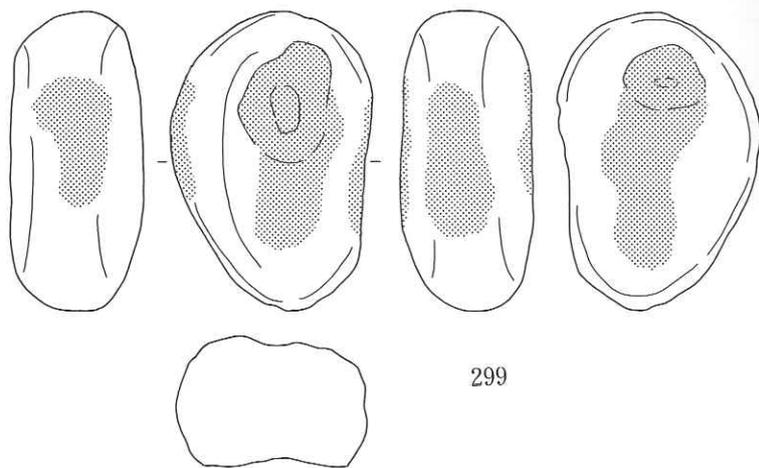
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
292	VII G-76	III	(95)	(126)	20	(262.7)	安	Q		75391
293	VII F-76	〃	(160)	55	(20)	(214.5)	〃	V		75167
294	VII G-75	〃	108	67	15	115.9	〃	〃		75117

89図 第三層 出土石器 (42)

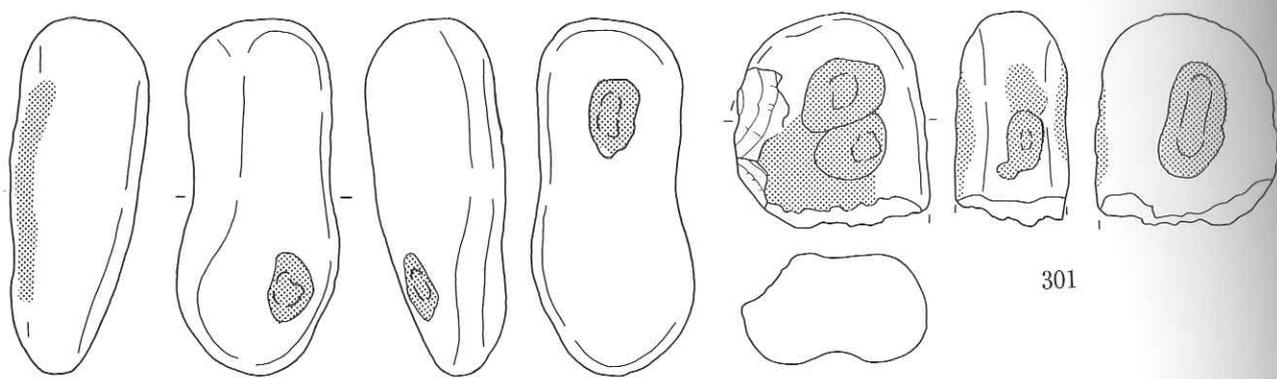


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
295	ⅦG-76	Ⅲ	110	91	66	830.9	安	Ia		74399
296	ⅦF-74	〃	108	87	59	575.0	凝	〃		74375
297	ⅦG-75	〃	117	95	47	566.8	安	〃		74385
298	ⅦH-75	〃	108	47	33	171.9	砂	〃		74389

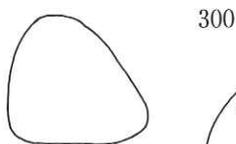
90図 第三層 出土石器 (43)



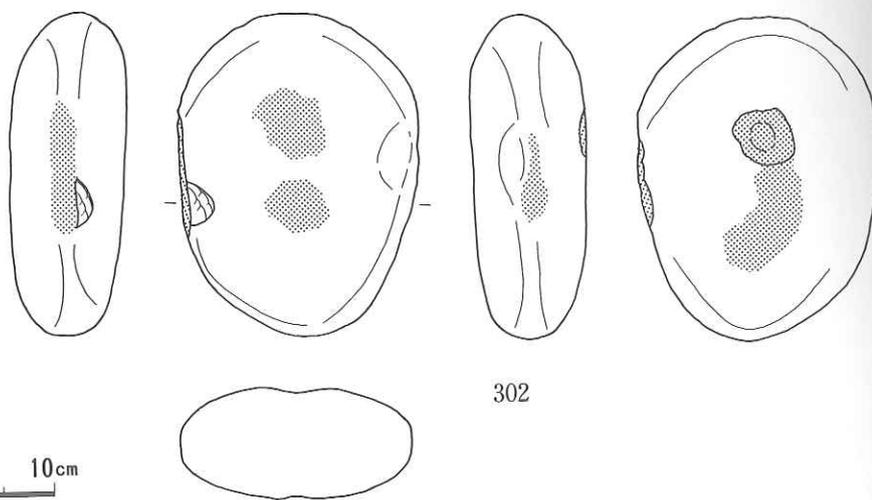
299



301



300



302



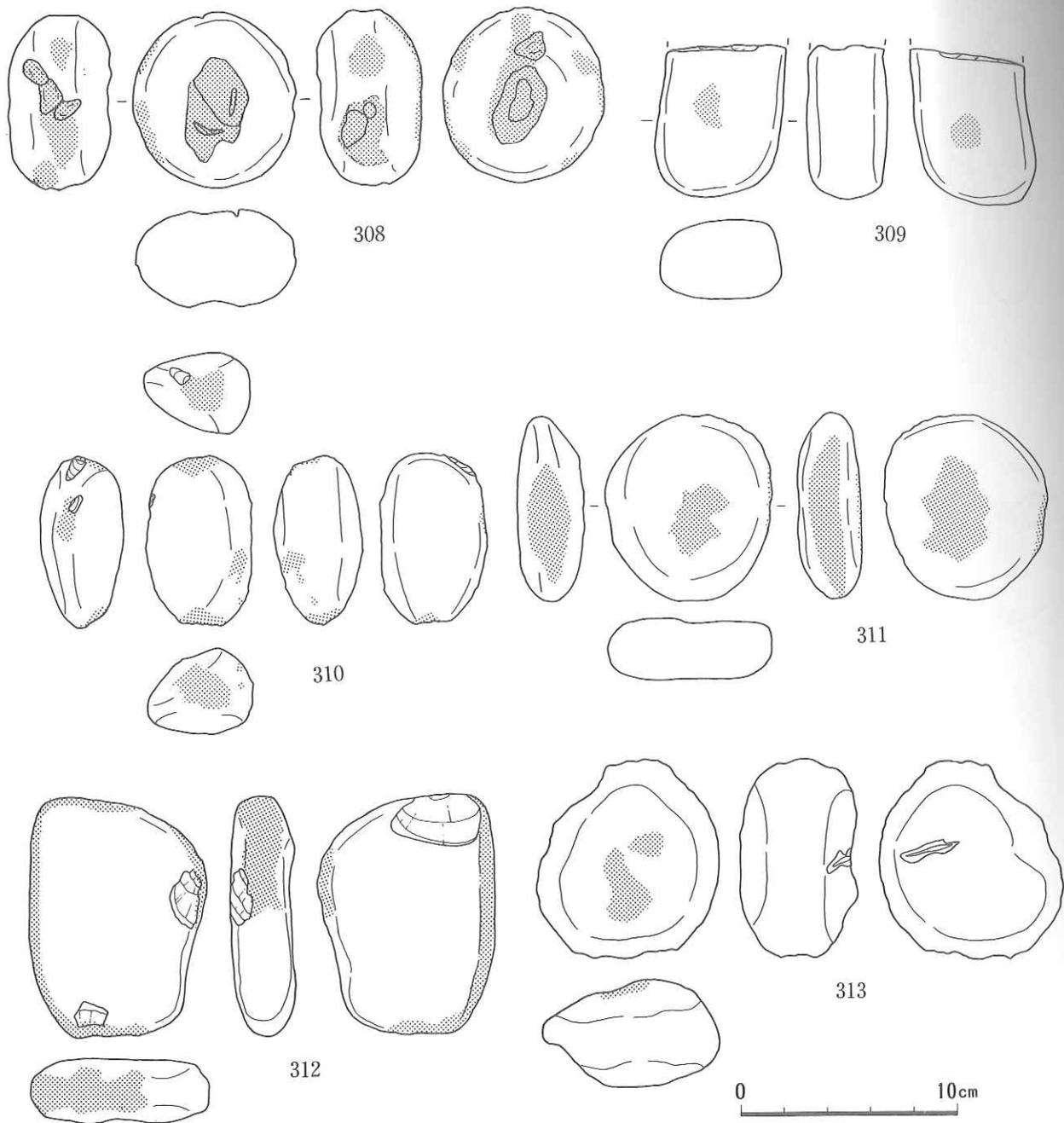
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
299	VIF-76	Ⅲ	118	80	52	568.9	安	Ia		74394
300	〃	Ⅲトレ	141	64	55	495.7	〃	〃		74430
301	VIF-74	Ⅲ下	(84)	(72)	(45)	(316.8)	凝	〃		73051
302	VIG-74	〃	127	94	45	671.2	安	Ib		74421

91図 第三層 出土石器 (44)



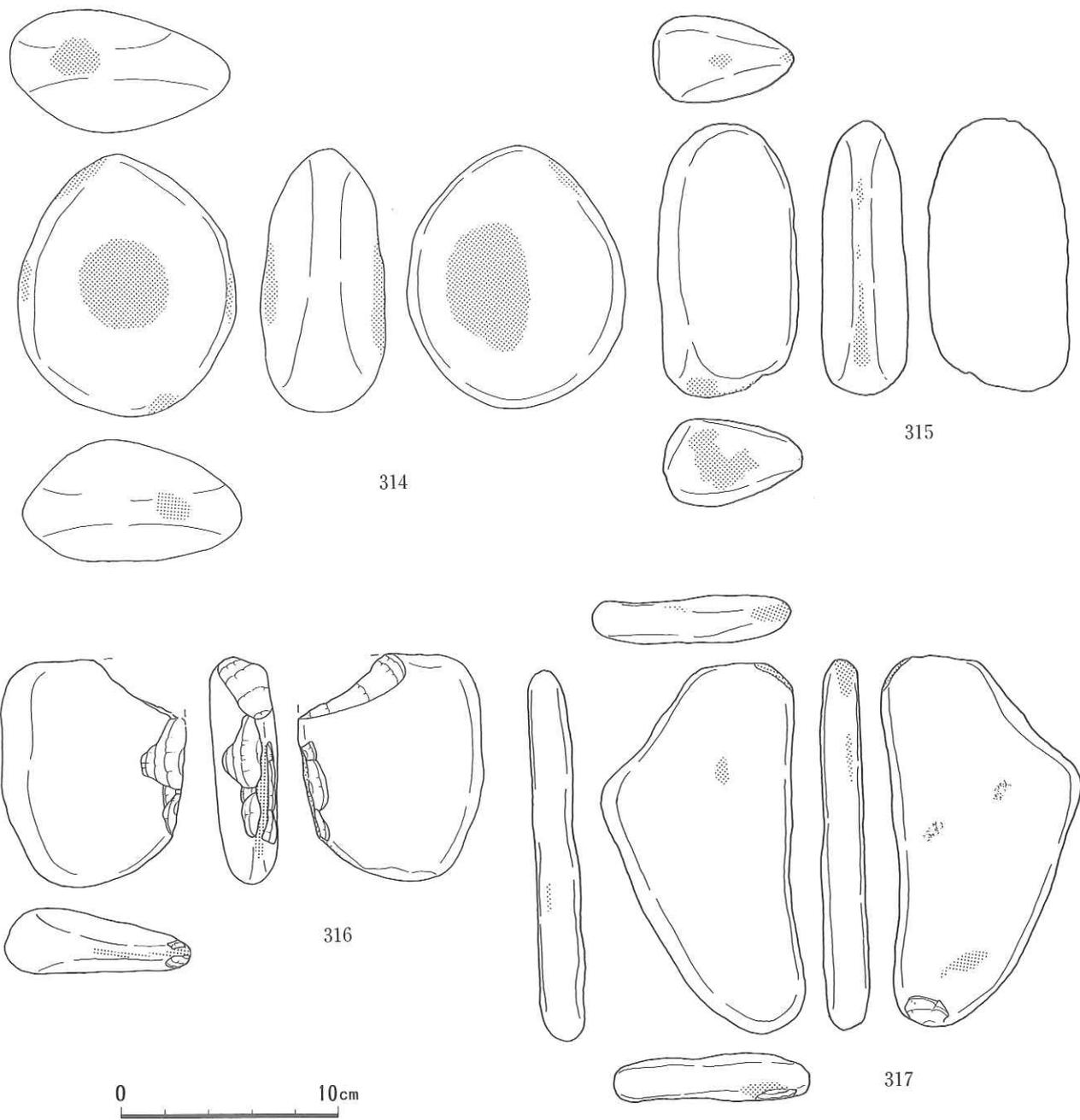
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
303	VIF-74	Ⅲトレ	136	86	36	462.5	凝	Ia		74426
304	〃	Ⅲ下	112	73	63	863.2	安	Ib	焼け。黒色変化	74866
305	VIG-74	Ⅲ	(152)	58	35	(372.6)	〃	〃		74414
306	VIF-77	〃	168	63	58	886.4	〃	〃		74410
307	VIF-74	〃	75	745	61	439.4	〃	Ia		74407

92図 第三層 出土石器 (45)



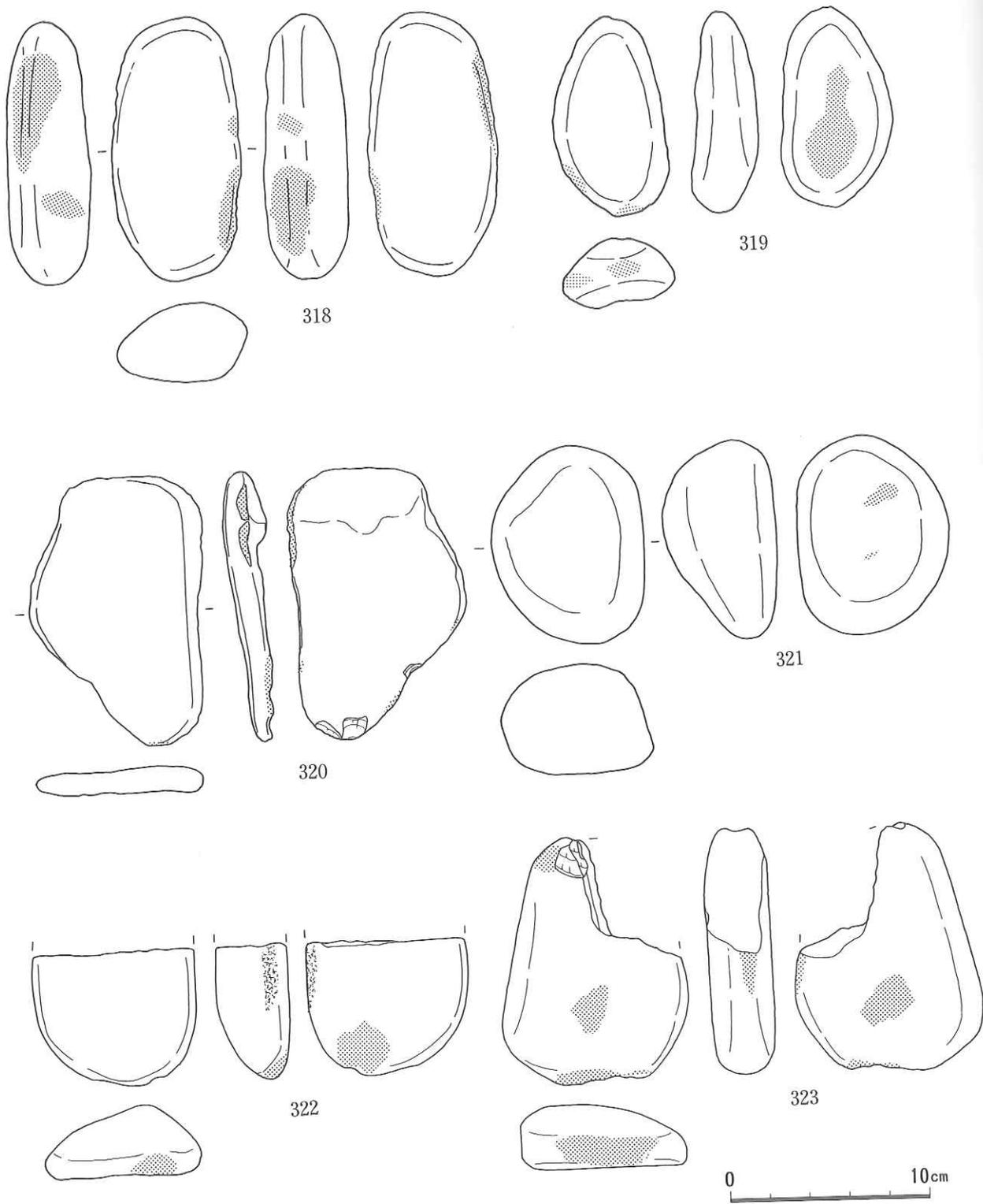
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
308	VIIH-76	Ⅲ	81	73	47	300.2	凝	Ia		74404
309	VIIH-75	〃	(70)	(60)	(37)	(252.3)	流	Ib		74387
310	VIIG-77	〃	79	48	38	183.9	〃	〃		74405
311	VIIF-74	〃	86	76	30	259.2	安	〃		74408
312	VIIF-76	Ⅲトレ	111	81	30	479.6	〃	〃		74428
313	VIIG-74	Ⅲ下	92	83	53	456.0	〃	〃		74423

93図 第三層 出土石器 (46)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備	考	整理番号
314	VII G-76	Ⅲ	121	99	56	939.1	安	Ib			74397
315	VII F-75	〃	129	64	40	476.1	〃	〃			74380
316	VII G-74	Ⅲ下	105	(84)	30	(371.1)	〃	〃			74424
317	VII G-75	Ⅲ	170	90	21	412.4	凝	〃			74386

94図 第三層 出土石器 (47)



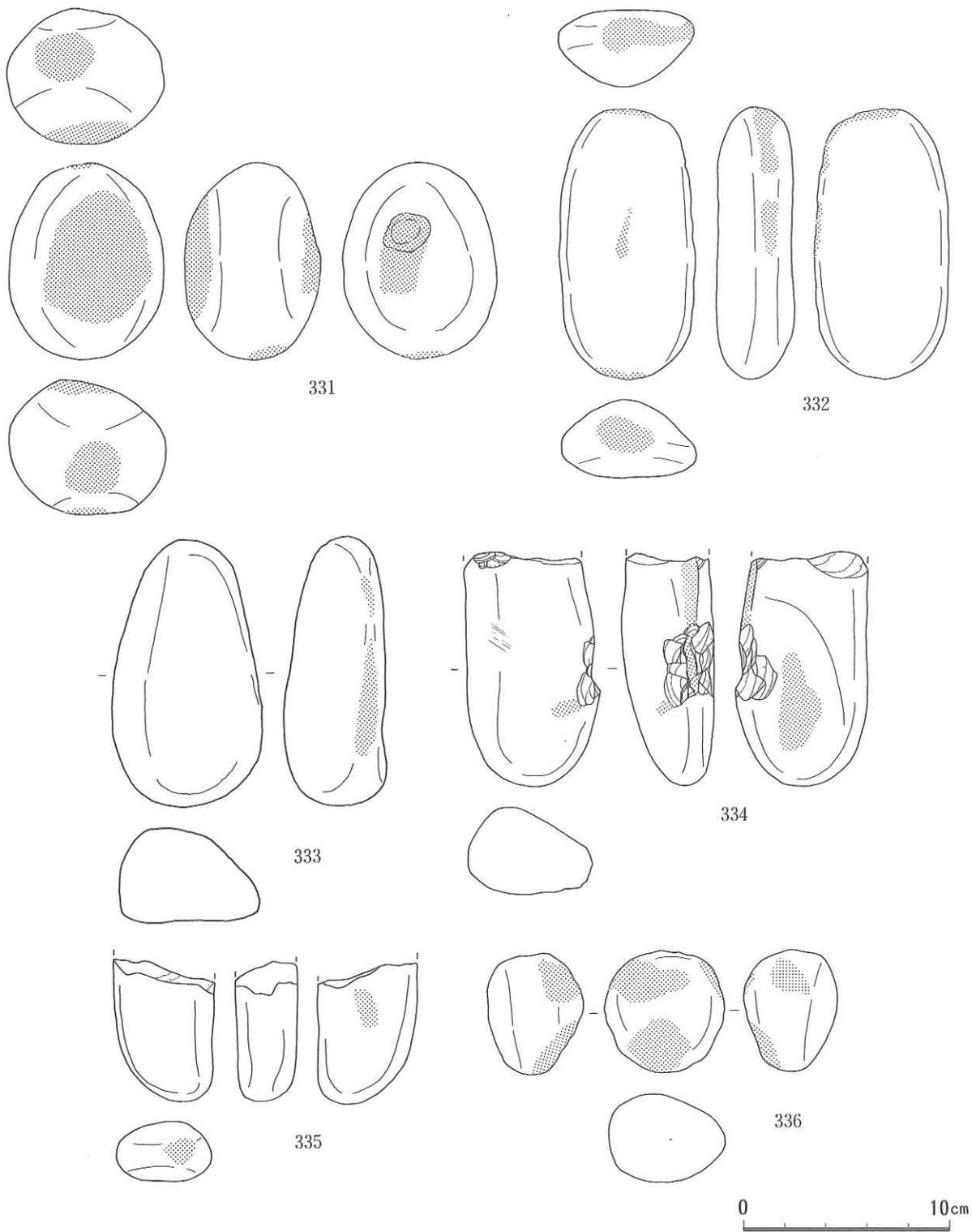
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
318	ⅦF-76	Ⅲトレ	133	65	42	425.5	凝	lb		74431
319	ⅦF-77	Ⅲ	100	56	35	187.8	流	〃		74864
320	ⅦH-77	〃	135	87	22	274.4	安	〃		74420
321	ⅦG-74	〃	99	75	56	620.7	〃	〃		72906
322	ⅦF-74	〃	(67)	(81)	(36)	(230.5)	〃	〃		74876
323	ⅦF-77	〃	125	93	32	(446.3)	砂	〃		74865

95図 第三層 出土石器 (48)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
324	VII G-76	Ⅲ	130	54	39	406.0	安	1b		74400
325	VII G-74	Ⅲ下	108	86	54	677.3	〃	〃		74422
326	VII H-74	Ⅲ	104	67	36	340.8	凝	〃		74379
327	VII G-74	Ⅲ下	163	45	48	501.2	安	〃		74425
328	VII G-74	Ⅲ	108	78	26	237.6	〃	〃		74416
329	VII G-76	〃	99	74	23	262.4	〃	〃		74419
330	VII G-74	〃	(85)	39	30	(138.6)	流	〃	節理面で欠損	73053

96図 第三層 出土石器 (49)



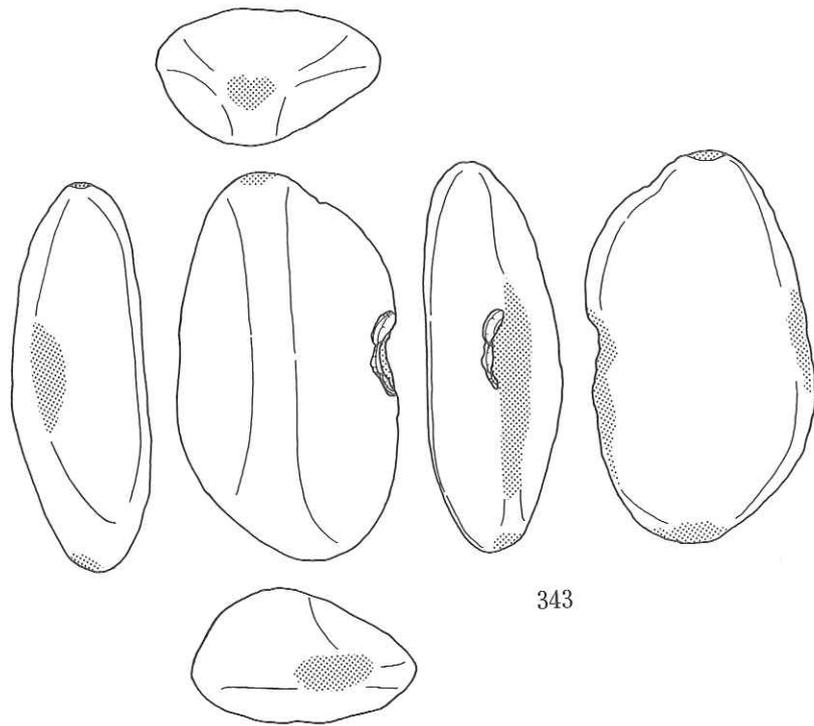
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
331	VIIH-75	III	95	75	65	627.1	安	lb		74391
332	VII F-76	〃	132	65	37	452.3	〃	〃		74393
333	VII F-75	〃	130	71	50	578.8	〃	〃		74381
334	VIIH-74	〃	(114)	65	44	(405.3)	凝	〃		74376
335	VII F-76	〃	(68)	(48)	(30)	(136.4)	安	〃		74395
336	VII G-77	〃	59	58	46	159.5	流	〃		74406

97図 第三層 出土石器 (50)

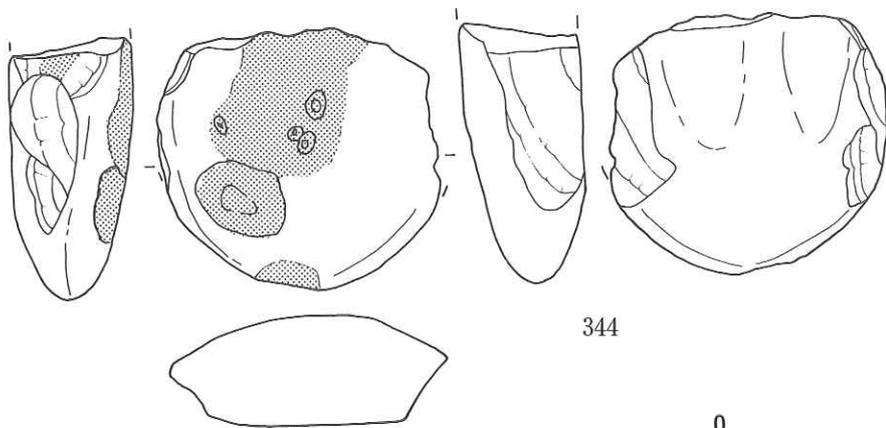


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
337	VIF-74	Ⅲ	105	88	51	489.4	安	lb		74411
338	VIF-76	Ⅲトレ	124	30	31	384.1	〃	〃		74432
339	VIG-74	Ⅲ	95	77	30	324.5	〃	〃		74415
340	〃	〃	98	70	44	388.5	〃	〃		74417
341	〃	〃	93	83	48	395.5	〃	〃		74413
342	VII-77	〃	102	59	52	461.2	〃	〃		74879

98図 第三層 出土石器 (51)



343

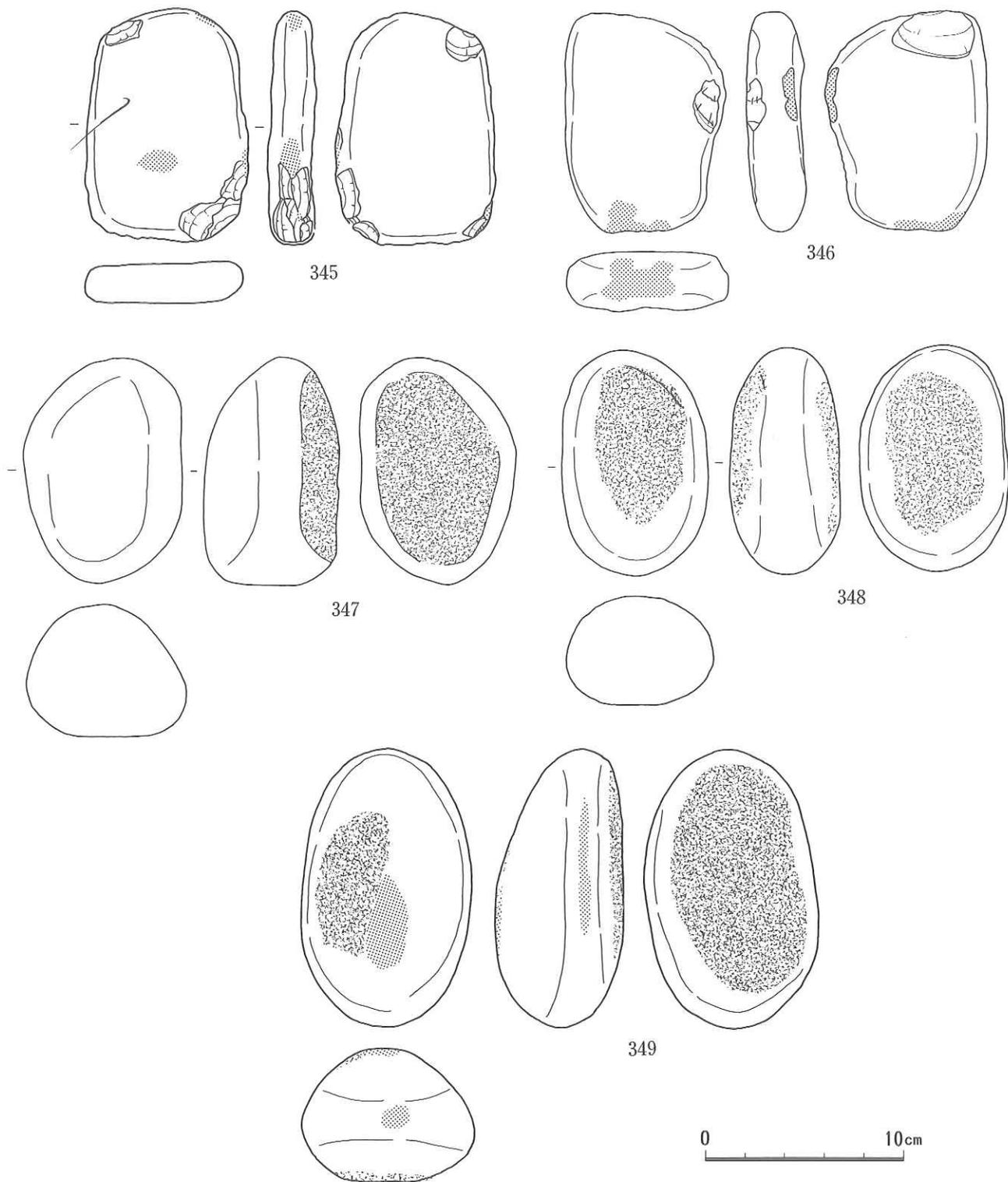


344



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
343	VII G-74	Ⅲ	154	88	54	1004.1	安	lb		74418
344	VII H-74	〃	(103)	(109)	(47)	(502.5)	〃	〃		74377

99図 第三層 出土石器 (52)



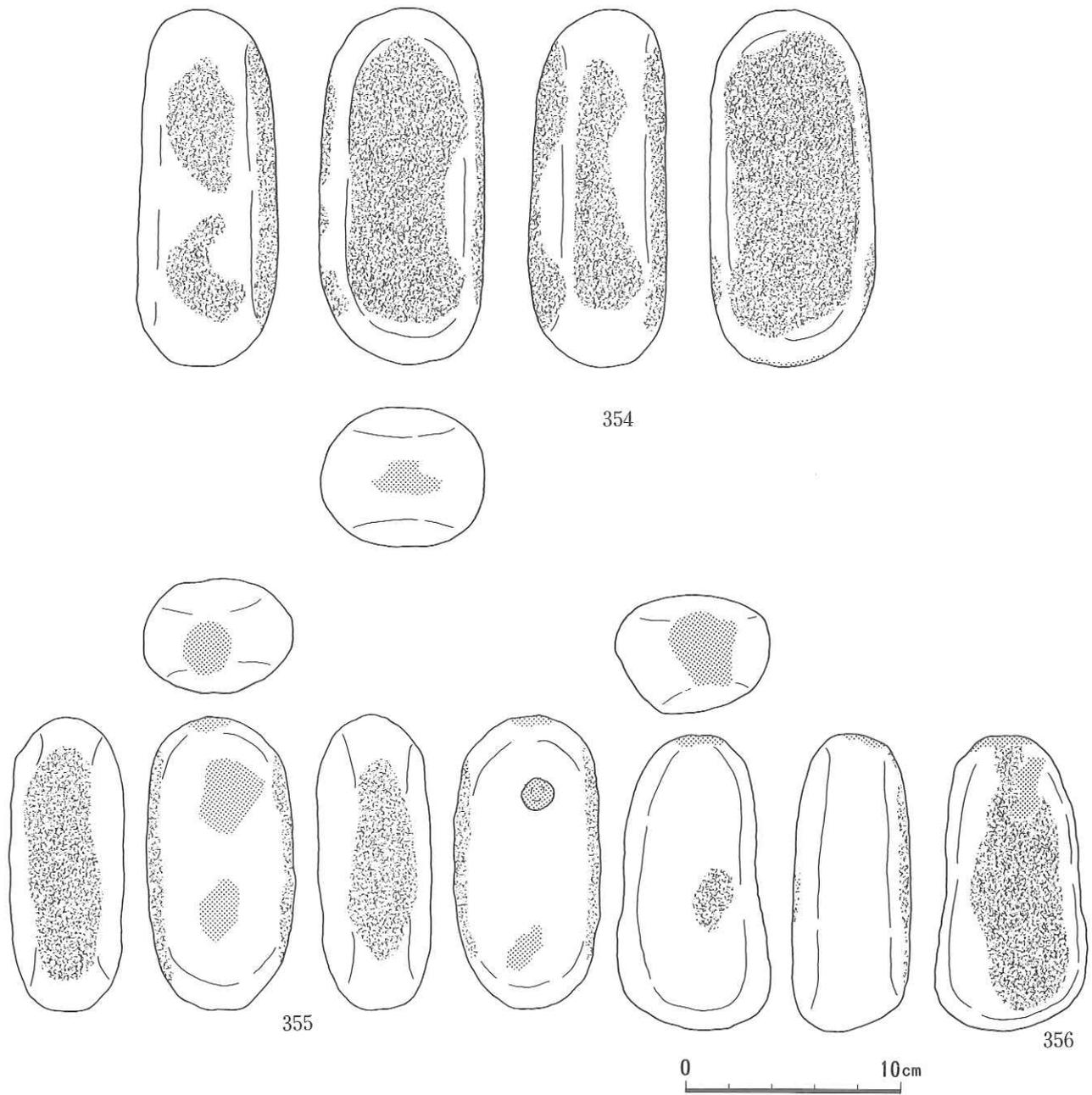
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
345	VIH-77	Ⅲ	117	80	24	368.4	安	Ib		72905
346	VI F-76	Ⅲトレ	111	81	30	479.6	〃	〃		74428
347	VI F-75	Ⅲ	116	80	69	928.4	〃	Ic		74939
348	VI F-74	〃	115	74	55	638.6	〃	〃		74409
349	〃	〃	145	88	67	1082.4	〃	〃		74934

100図 第三層 出土石器 (53)



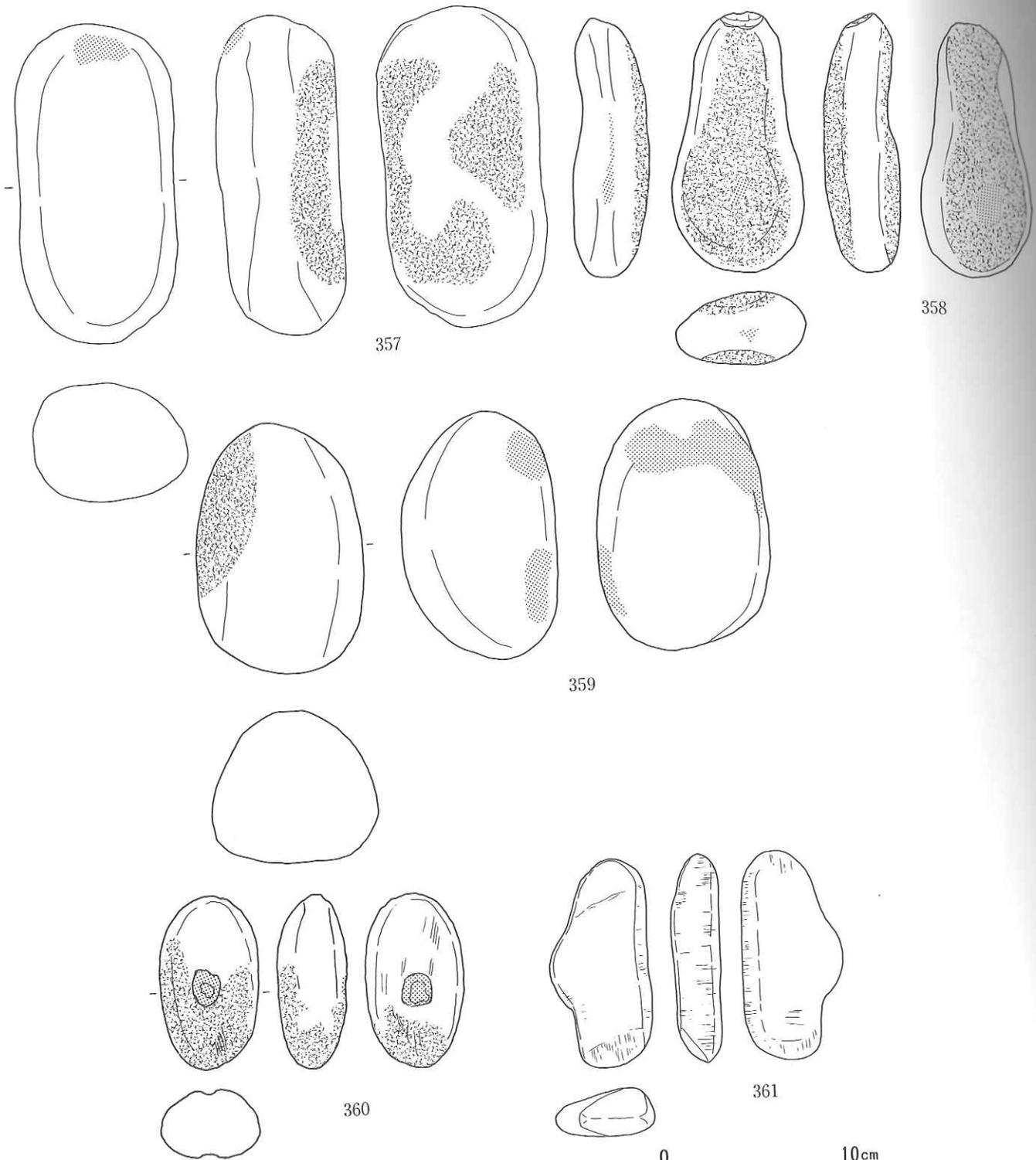
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
350	VII F-76	III トレ	167	95	25	461.5	安	lb		75168
351	VII H-75	III	124	73	54	683.7	流	lc		74390
352	VII H-76	〃	126	58	50	436.6	安	〃		74403
353	VII G-76	〃	128	83	58	788.0	〃	〃		74402

101図 第三層 出土石器 (54)



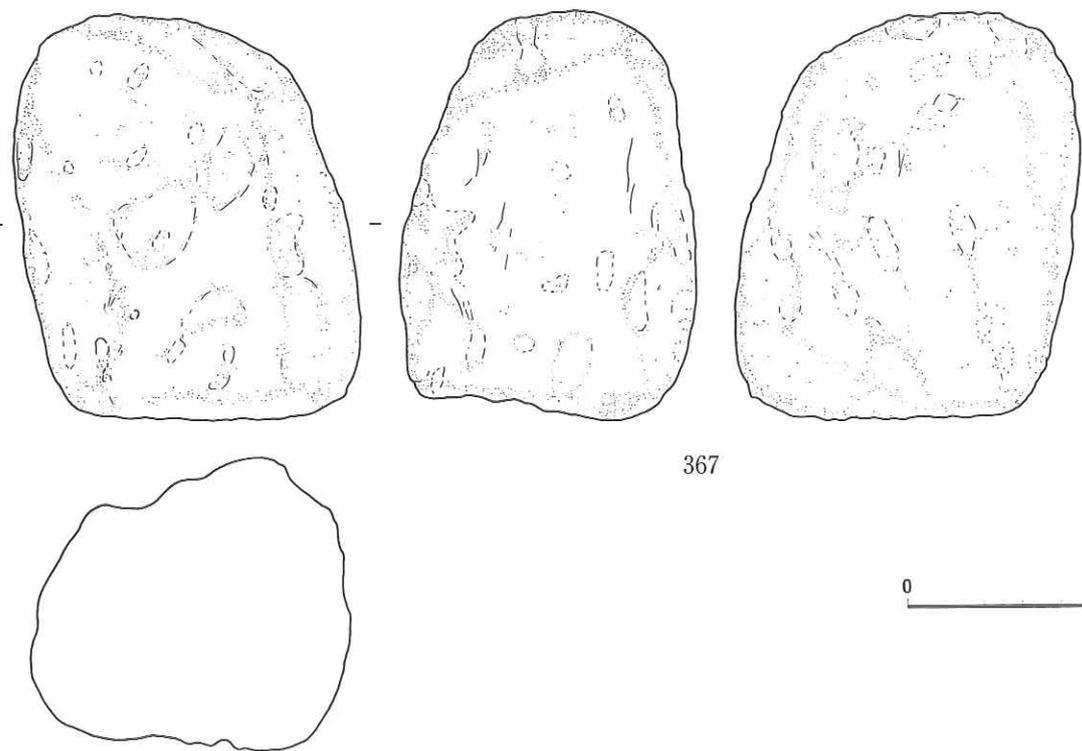
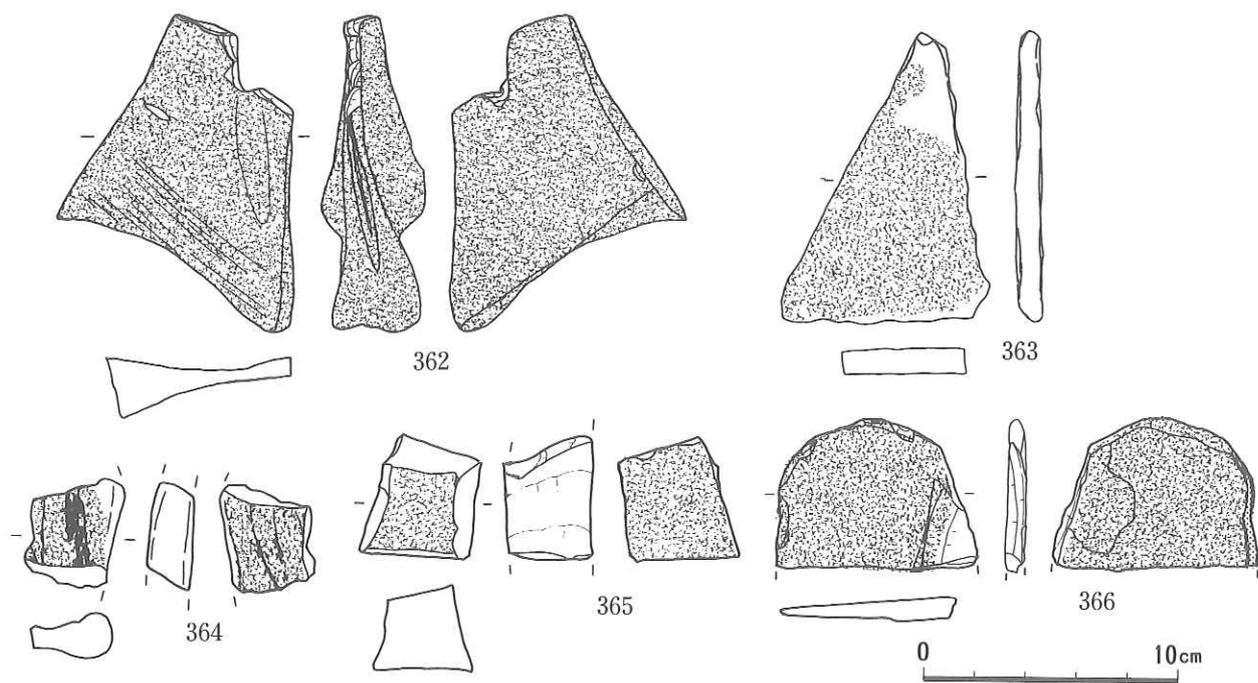
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備	考	整理番号
354	ⅦF-74	Ⅲ	166	77	64	1240.3	安	lc			74877
355	ⅦF-76	Ⅲトレ	137	69	53	668.9	凝	ク			74429
356	ⅦF-75	ク	138	71	55	777.3	流	ク			74412

102図 第三層 出土石器 (55)



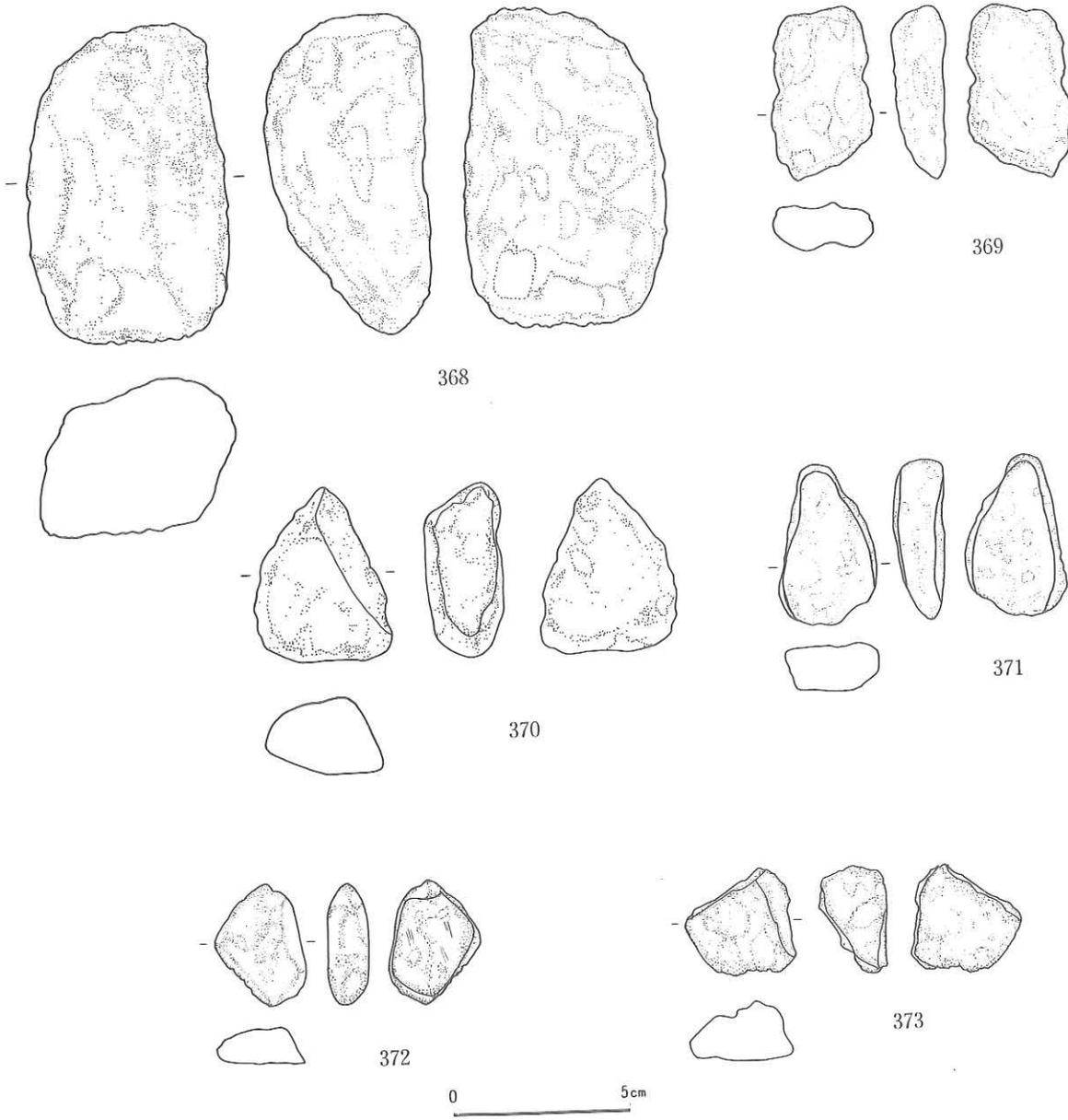
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
357	VII G-75	III	163	80	61	1242.5	安	Ic		74383
358	VII F-76	III トレ	143	62	37	312.8	〃	Ib		75001
359	VII H-75	III	127	84	77	1091.6	凝	Ic		74388
360	VII H-74	〃	89	50	35	180.1	頁	Sa		74378
361	VII F-75	〃	107	51	25	171.0	頁			75370

103図 第三層 出土石器 (56)



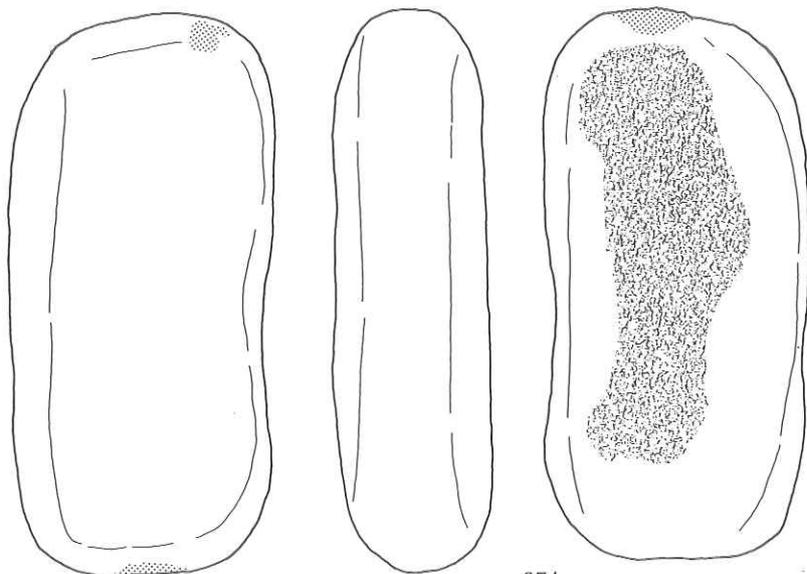
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
362	VI G-76	Ⅲ	124	93	41	199.0	砂	Sb		75346
363	VI F-75	〃	115	83	10	84.2	頁	〃		75386
364	VI G-74	Ⅲ下	(42)	(38)	(18)	(28.7)	細凝	〃		75360
365	〃	〃	(49)	(48)	(34)	(73.0)	〃	〃	小破片	70185
366	VI G-75	Ⅲ	(61)	(80)	(9)	(49.1)	〃	〃		75387
367	VI F-74	〃	107	90	78	161.2	軽	Ta		74583

104図 第三層 出土石器 (57)

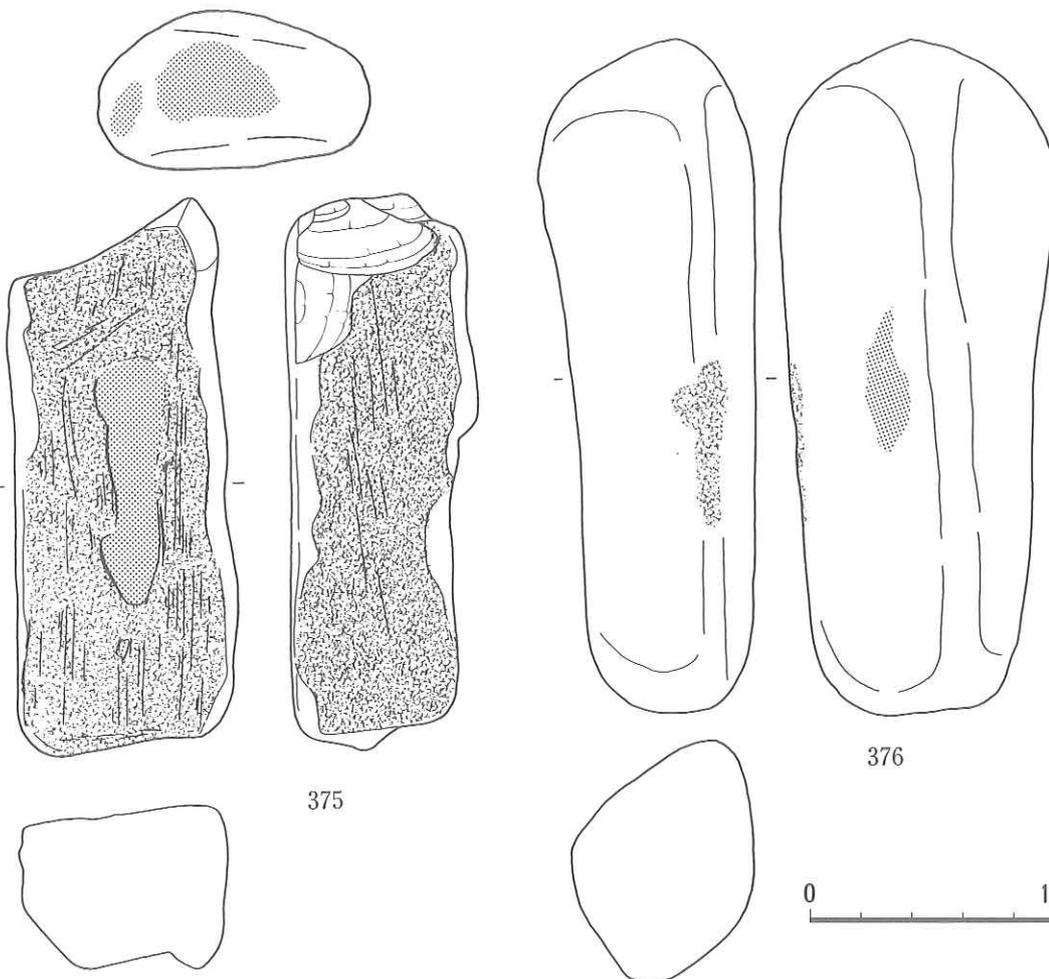


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
368	VII G-76	III	91	57	46	59.7	軽	Ta		74702
369	VII H-75	〃	505	29	16	6.5	〃	〃		74596
370	〃	〃	50	39	22	10.3	〃	Tb		74607
371	VII G-75	〃	515	29	15	4.4	〃	〃		74609
372	VII H-75	〃	35	25	12	2.4	〃	〃		74610
373	VII G-75	〃	31	31	20	5.3	〃	〃		74590

105図 第三層 出土石器 (58)



374



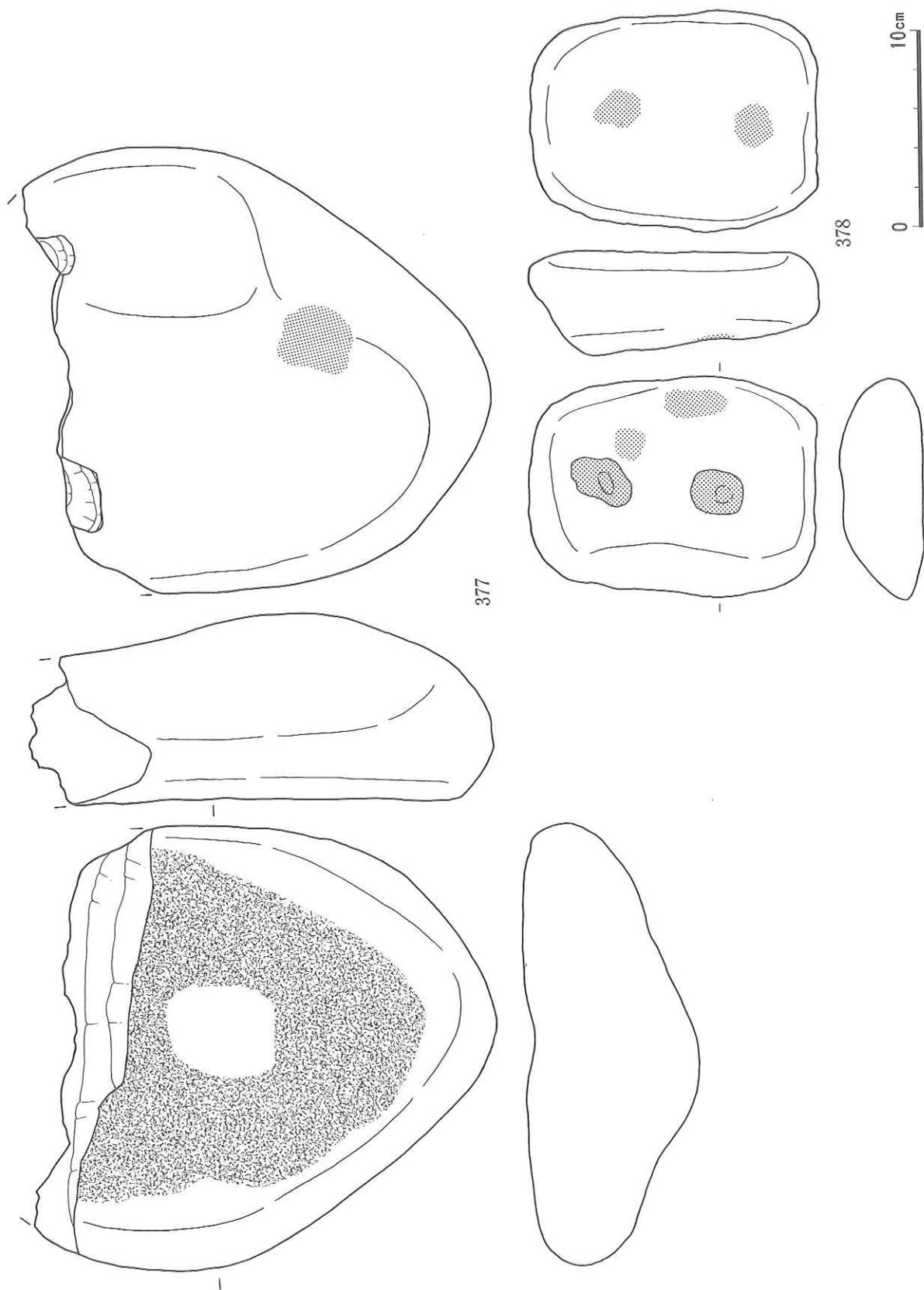
375

376

0 10cm

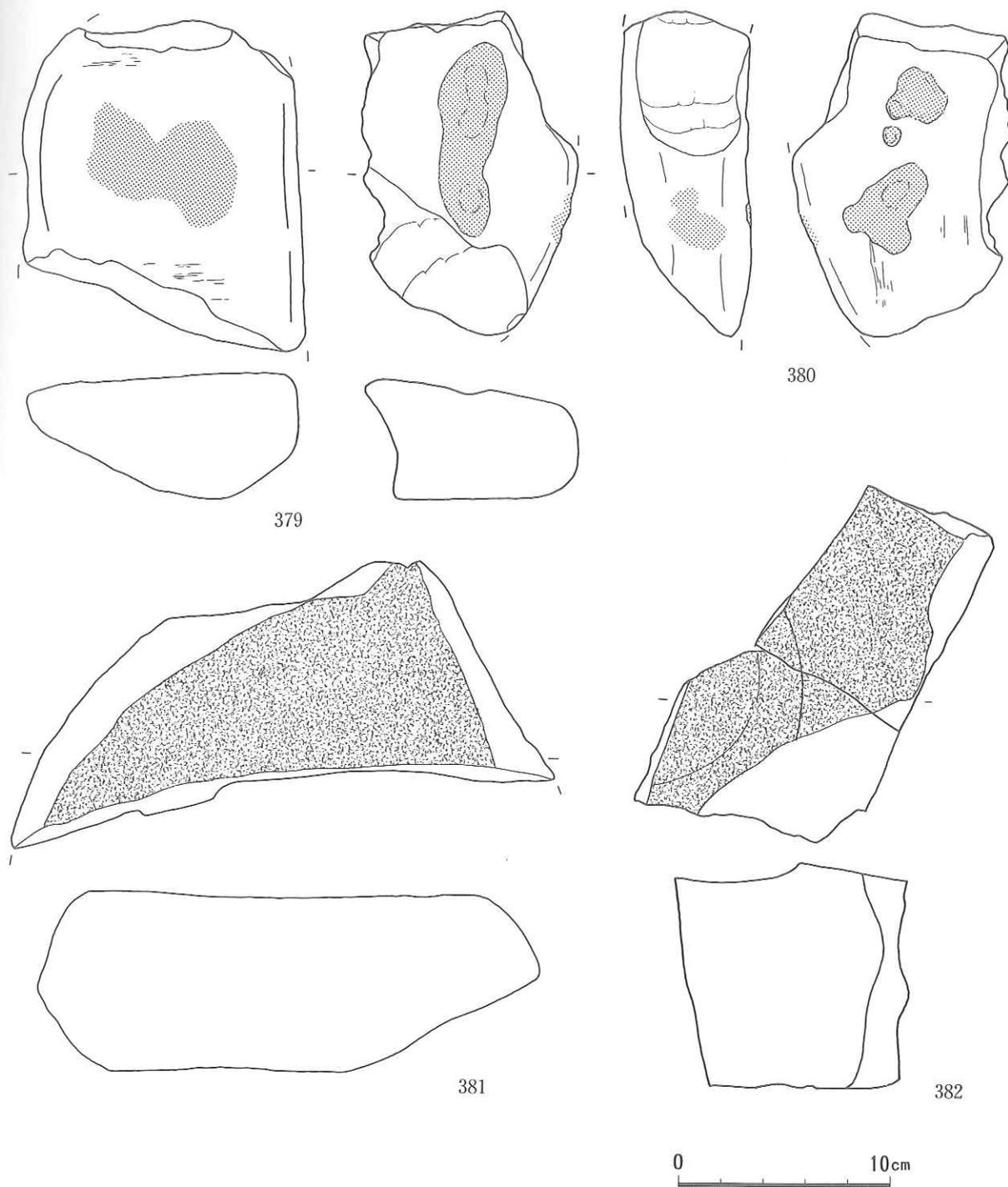
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
374	VI G-75	III	218	106	62	2155.7	溶凝	L		74384
375	VI G-76	〃	220	89	76	1743.7	凝	〃		75364
376	VII H-76	〃	263	90	92	3083.2	安	〃		70184

106図 第三層 出土石器 (59)



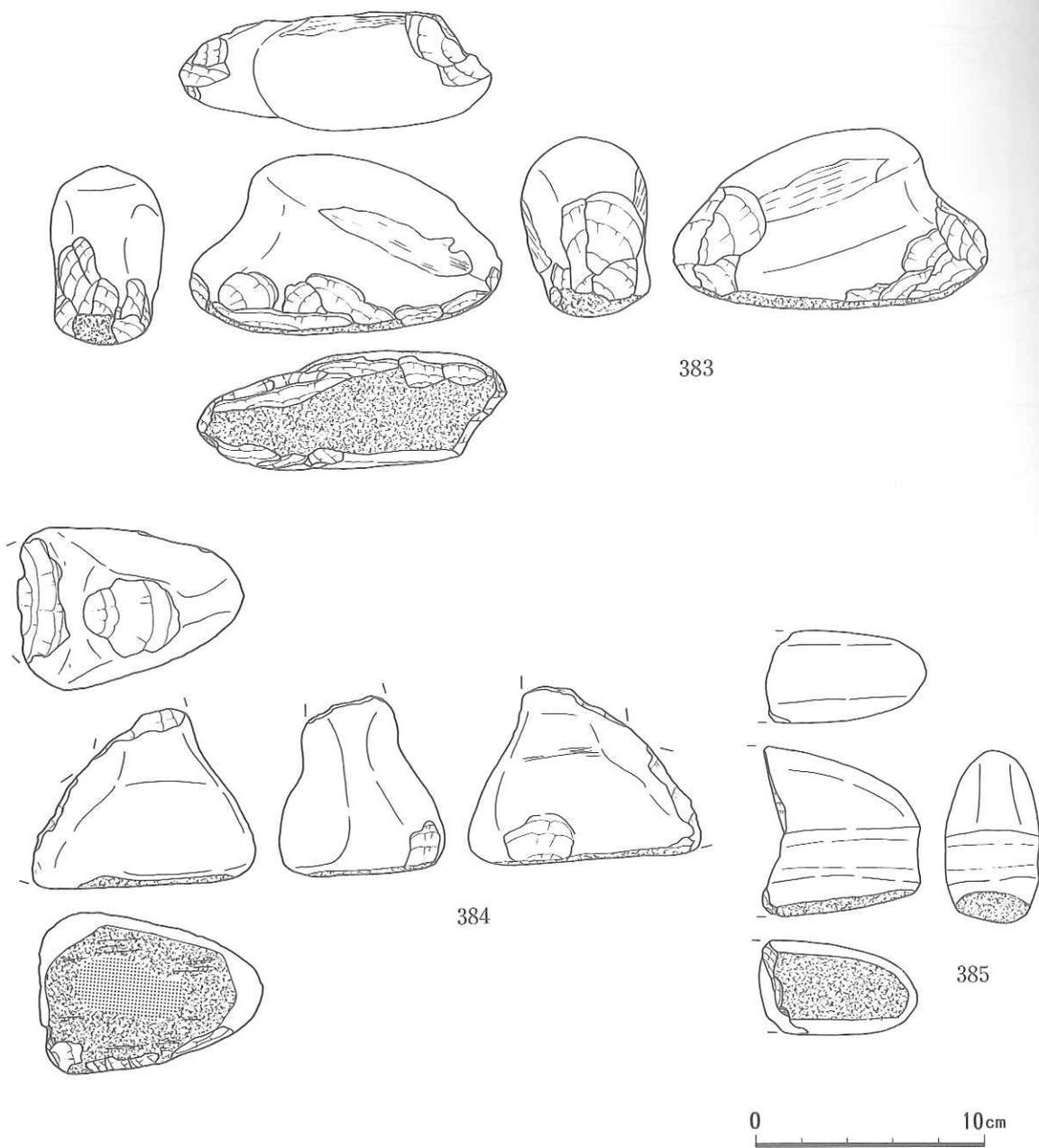
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
377	ⅧF-75	Ⅲ	(233)	227	98	(5687.2)	安	L		70186
378	々	Ⅲトレ	147	112	53	1011.1	々	々		74427

107図 第三層 出土石器 (60)



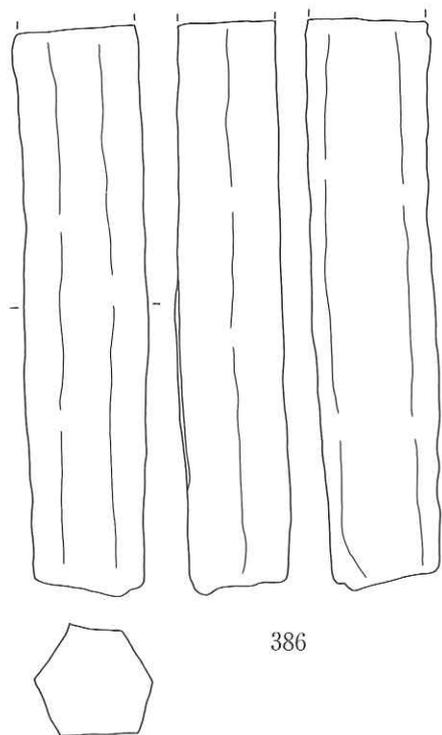
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
379	VIF-76	Ⅲ	(155)	(133)	(60)	(1561.5)	安	L		75363
380	VIF-75	〃	(153)	(101)	(61)	(611.4)	細凝	〃		74382
381	VIG-77	〃	(138)	(255)	(85)	(2553.5)	凝	〃		70187
382	VIG-75	〃	(169)	(167)	(11)	(1379.0)	安	〃	破片	70188

108図 第三層 出土石器 (61)

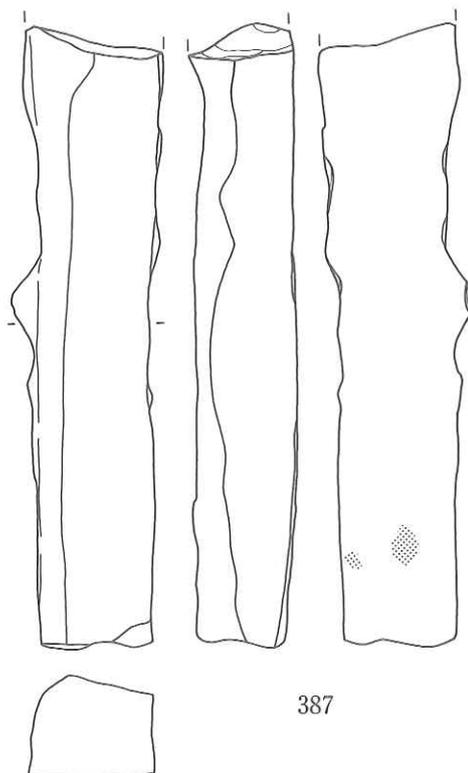


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
383	VII F-75	Ⅲ	78	135	50	699.7	閃	〇		75162
384	VII H-75	〃	(77)	(97)	71	(576.3)	〃	〃		75165
385	〃	〃	(76)	(70)	41	(298.2)	凝	〃		75164

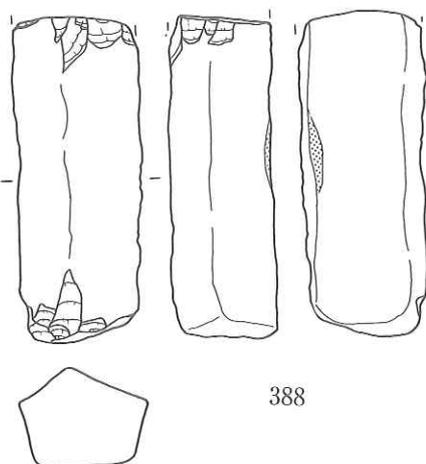
109図 第三層 出土石器 (62)



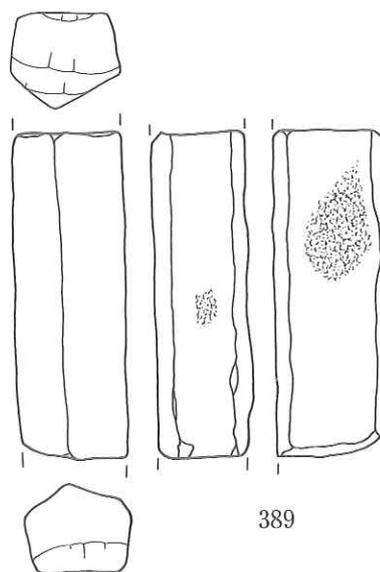
386



387



388

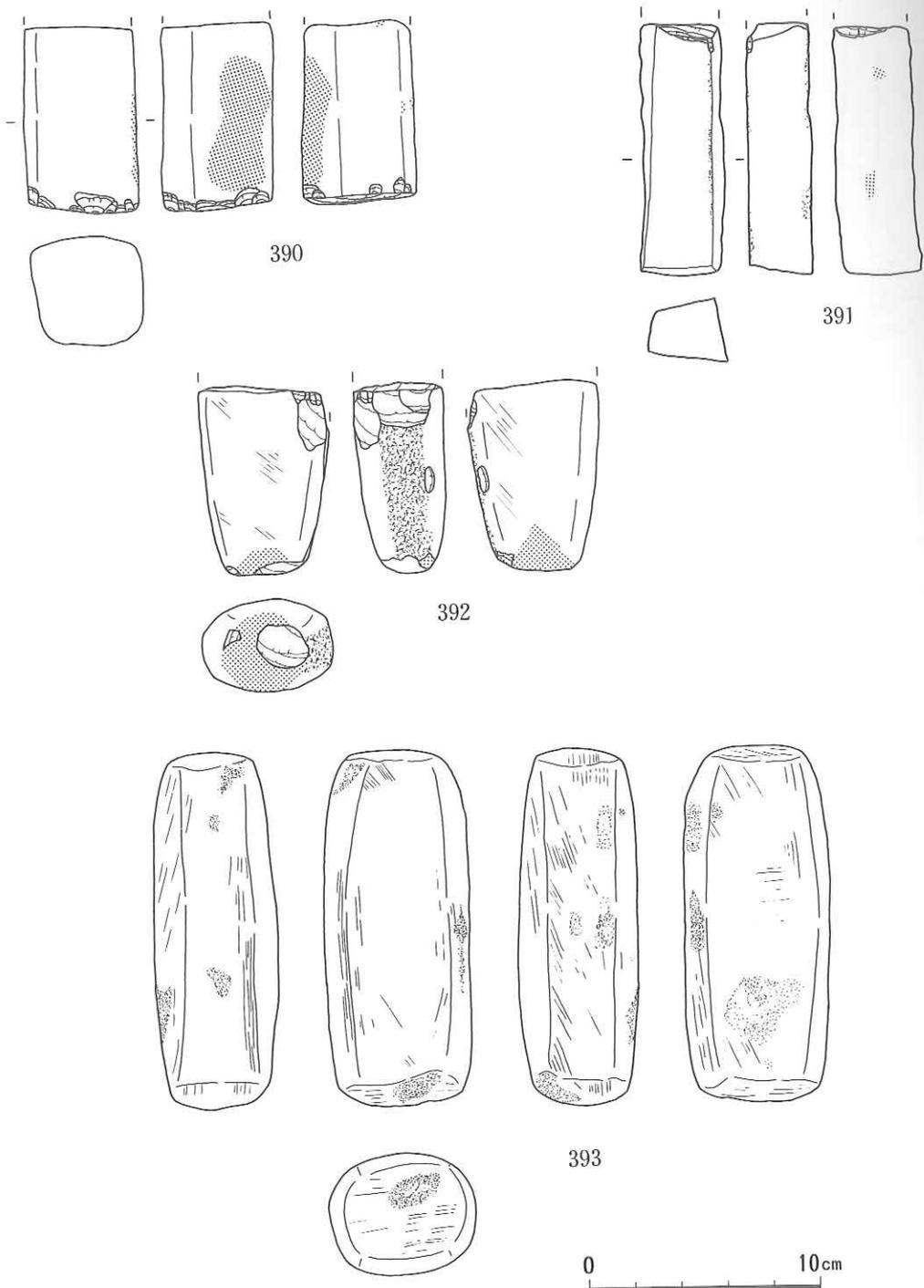


389



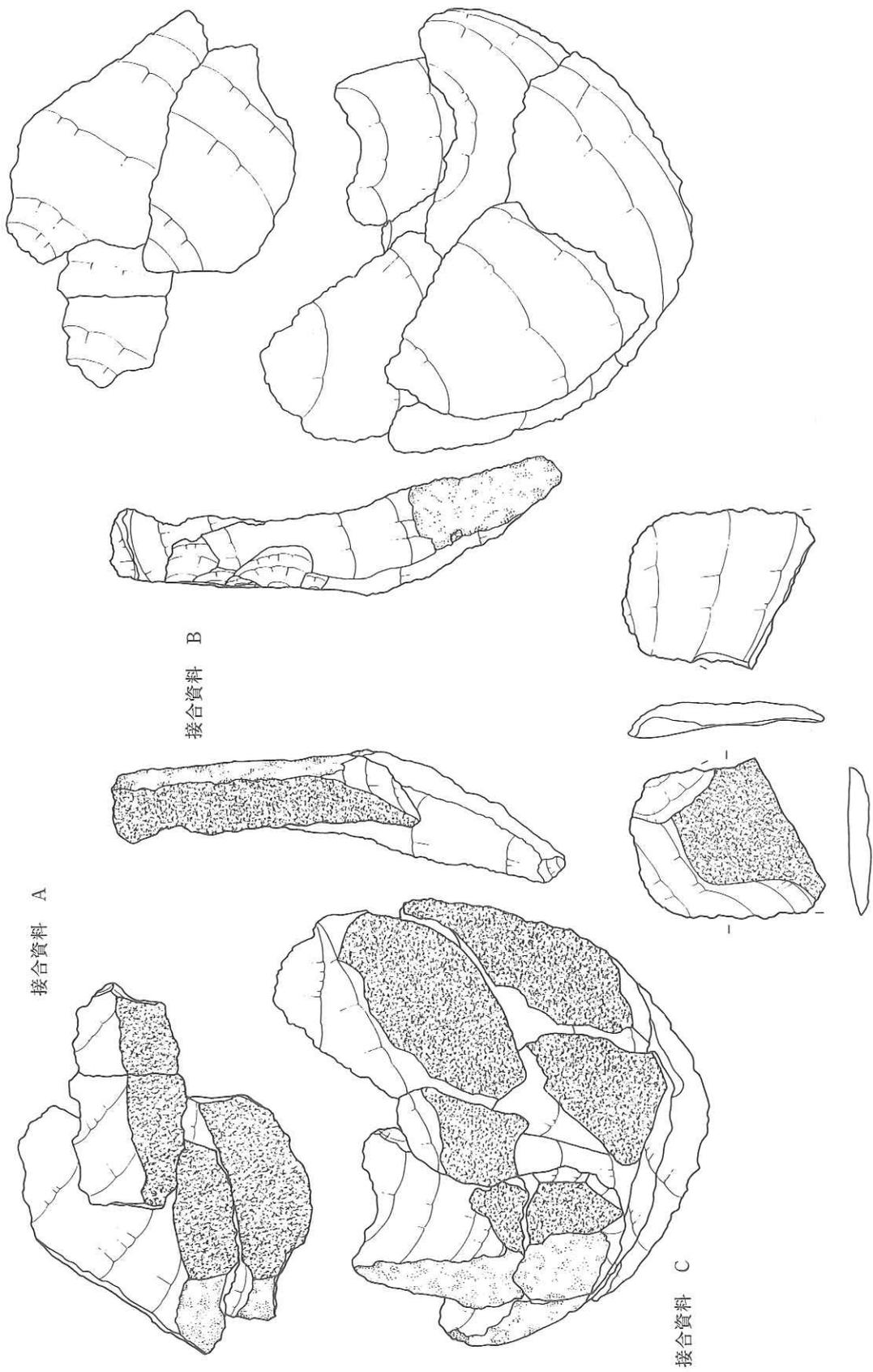
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
386	VI G-75	III	(225)	(50)	(44)	(732.3)	流	Ua		74517
387	VII H-75	〃	(240)	(60)	(42)	(781.3)	〃	Ub		74526
388	VI G-77	〃	(129)	(50)	(42)	(385.0)	〃	〃		74524
389	VI G-75	〃	(128)	(44)	(39)	(331.4)	〃	〃		74533

110図 第三層 出土石器 (63)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
390	VIIH-76	Ⅲ	(81)	(50)	(49)	(316.0)	流	Ub		72534
391	VII G-75	〃	(109)	(37)	(28)	(165.5)	〃	〃		74532
392	VII G-76	〃	(825)	(565)	(40)	(279.8)	安	Q	石刀片?再利用	74396
393	VII F-75	〃	154	645	525	866.1	凝	M		75163

111図 第三層 出土石器 (64)



接合資料 A

接合資料 B

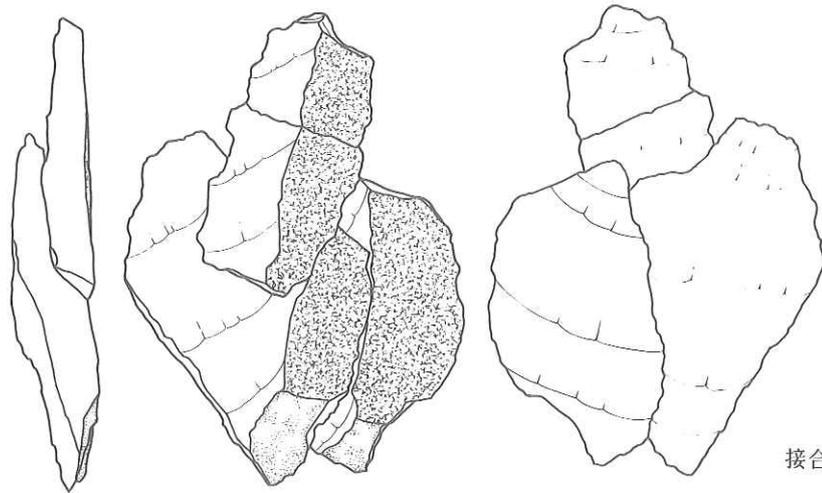
接合資料 C

0 10cm

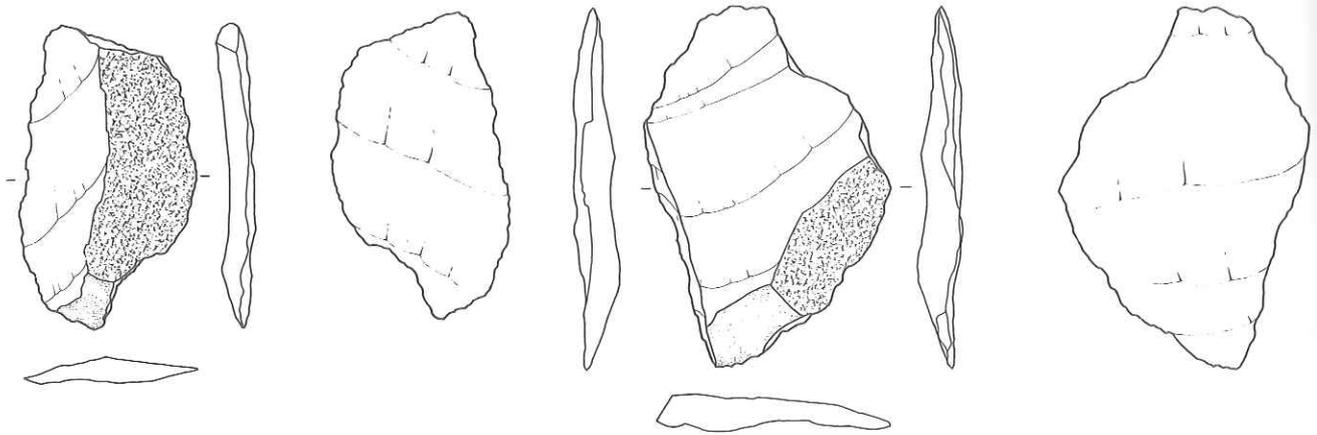
394

番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備	考	整理番号
接合資料A	WIF-75	Ⅲ	187	135	34	316.4	凝				
接合資料B	〃	〃	218	71	94	559.2	〃				
接合資料C	〃	〃	215	209	53	1353.4	〃				
394	〃	〃	95	79	17	101.9	〃	Pc	接合資料A、B、C.上同一個体		75427

112図 第三層 出土石器 (65)

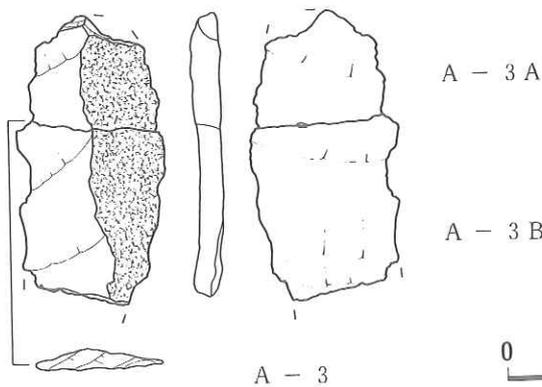


接合資料 A



A-1

A-2



A-3A

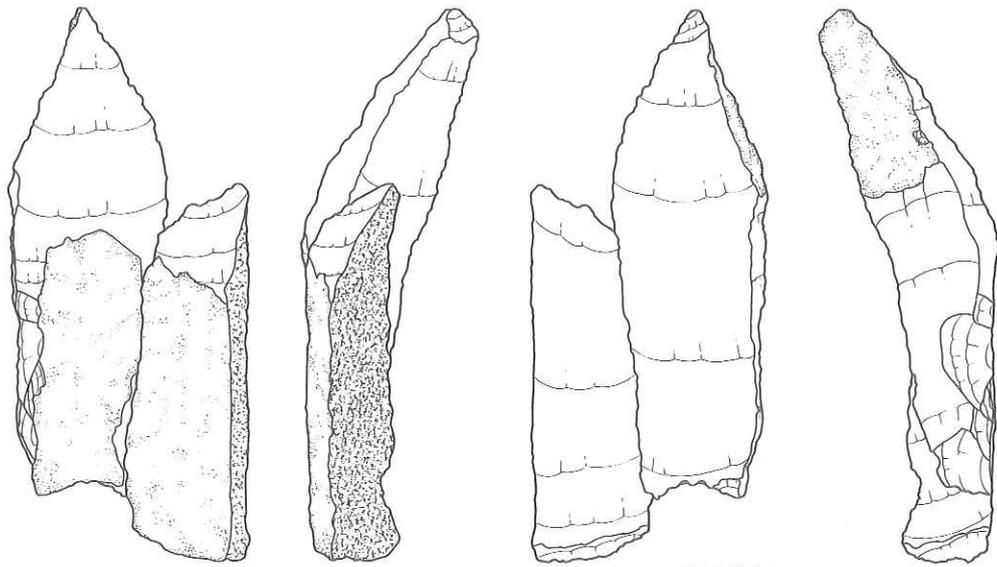
A-3B

A-3

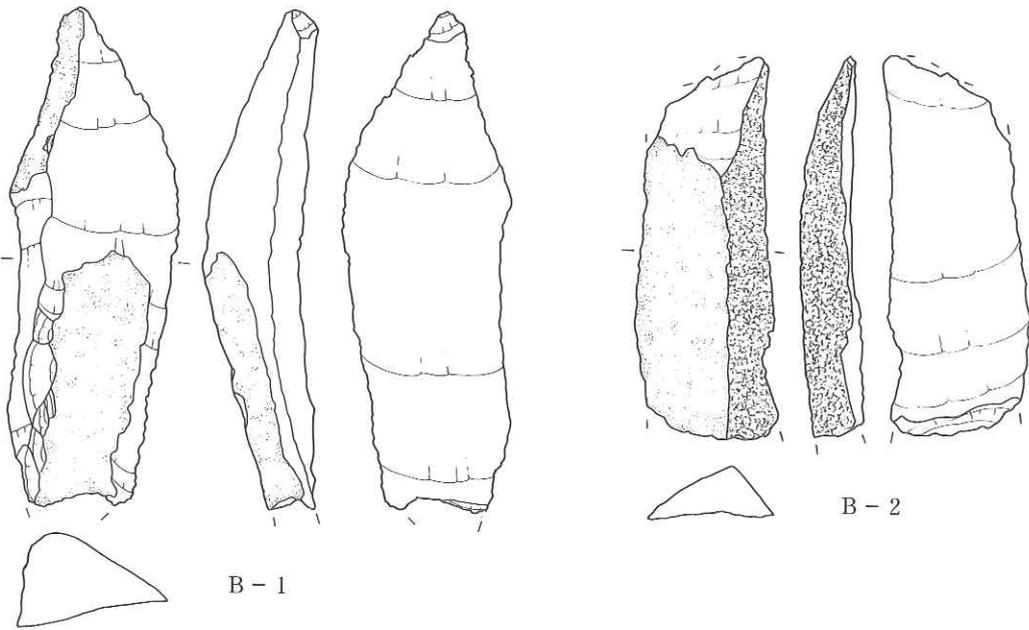


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
A-1	MF-75	Ⅲ	120	70	14	89.4	凝	Pc		75424
A-2	〃	〃	143	97	18	163.3	〃	〃		75429
A-3A	〃	〃	115	58	14	63.7	〃	〃		75419
A-3B	〃	〃								75430

113図 第三層 出土石器 (66)



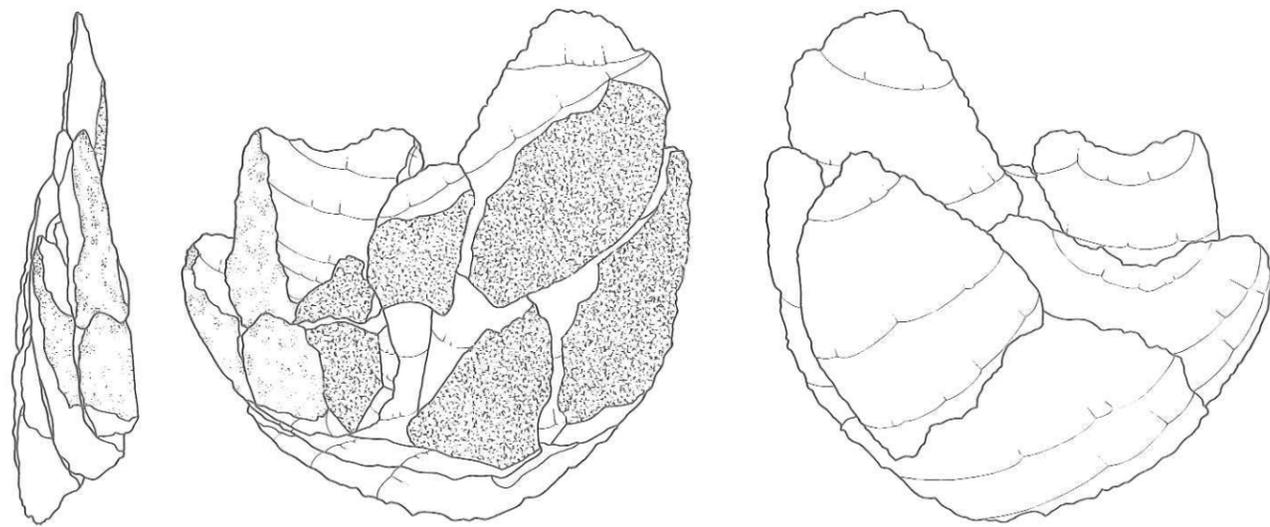
接合資料 B



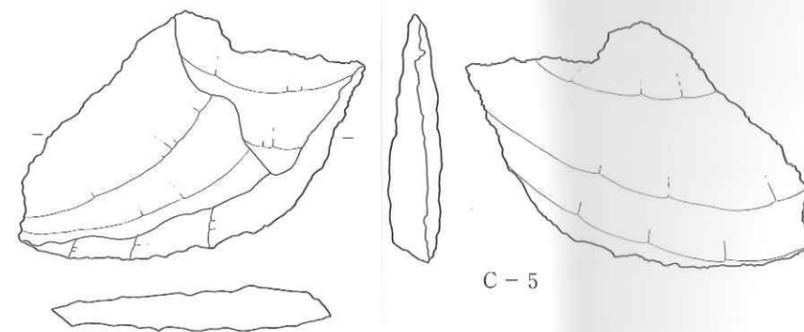
0 10cm

番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
B-1	VIF-75	Ⅲ	(197)	67	44	(394.5)	凝	Pe		75421
B-2	〃	〃	(151)	(57)	(24)	(164.7)	〃	〃		75417

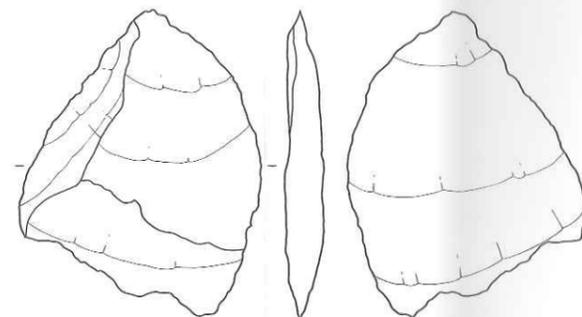
114図 第三層 出土石器 (67)



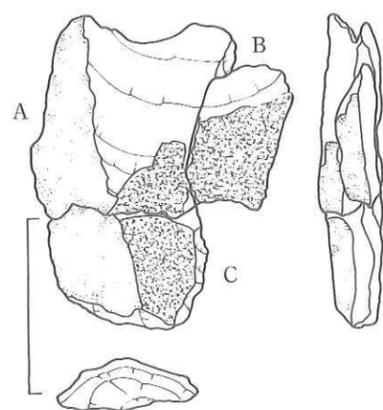
接合資料 C



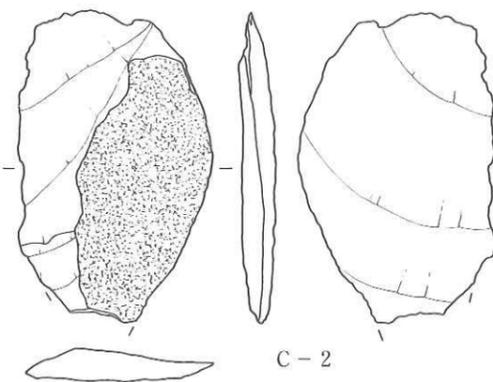
C-5



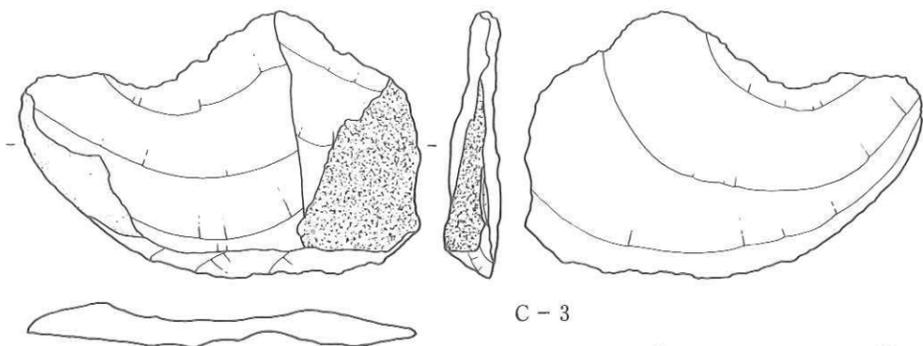
C-6



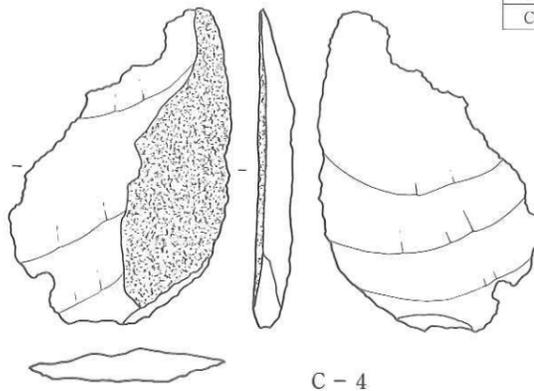
C-1



C-2



C-3



C-4

0 10cm

番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
C-1 A	VII F-75	III	131	111	27	155.6	凝	Pc		75431
〃 B						37.3	〃	〃		75428
〃 C						97.3	〃	〃		75426
C-2	〃	〃	131	83	16	144.9	〃	〃		75420
C-3	〃	〃	112	168	24	325.5	〃	〃		75423
C-4	〃	〃	134	94	16	164.8	〃	〃		75425
C-5	〃	〃	105	147	22	261.8	〃	〃		75422
C-6	〃	〃	129	102	17	166.2	〃	〃		75418

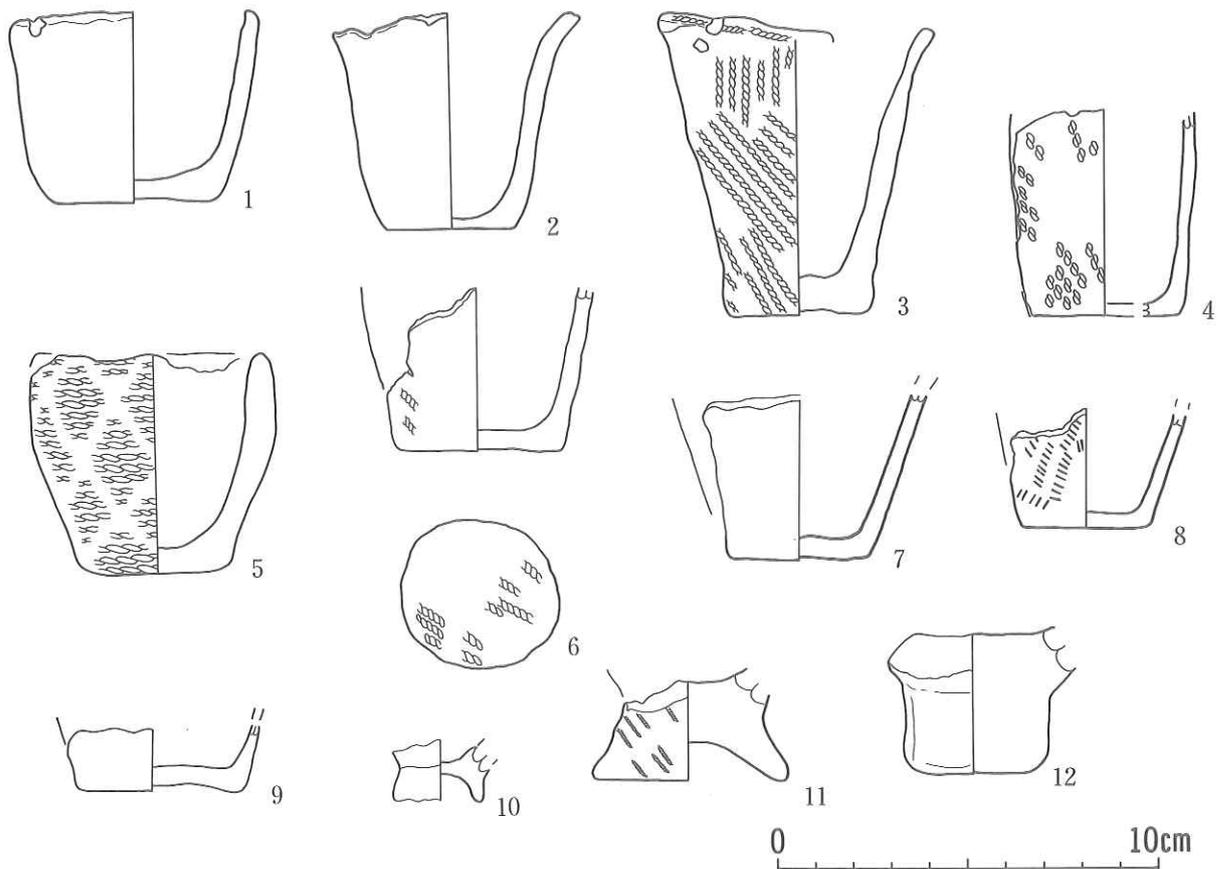
115図 第三層 出土石器 (68)

#### 4) 土・石製品

##### ミニチュア土器 (116図)

1～5は深鉢形である。1・2は無文、3はR単軸絡条体1類、4はRL縄文、5は原体の斜位回転によるLR縄文である。施文は底部まで及ぶ。6～8は胴下半部片であるが、深鉢形と思われる。6はRL縄文、7は無文、8は短刻状の連続刺突が施される。9は無文で、皿状の器形と思われる。10・11は台付鉢の台部である。10は無文、11は縄文が施される。12はミニチュア土器であるか不明な点もあるが、台部あるいは取っ手状のものである。いずれの器形も使用痕、二次的な被熱痕はない。

(小笠原 雅行)



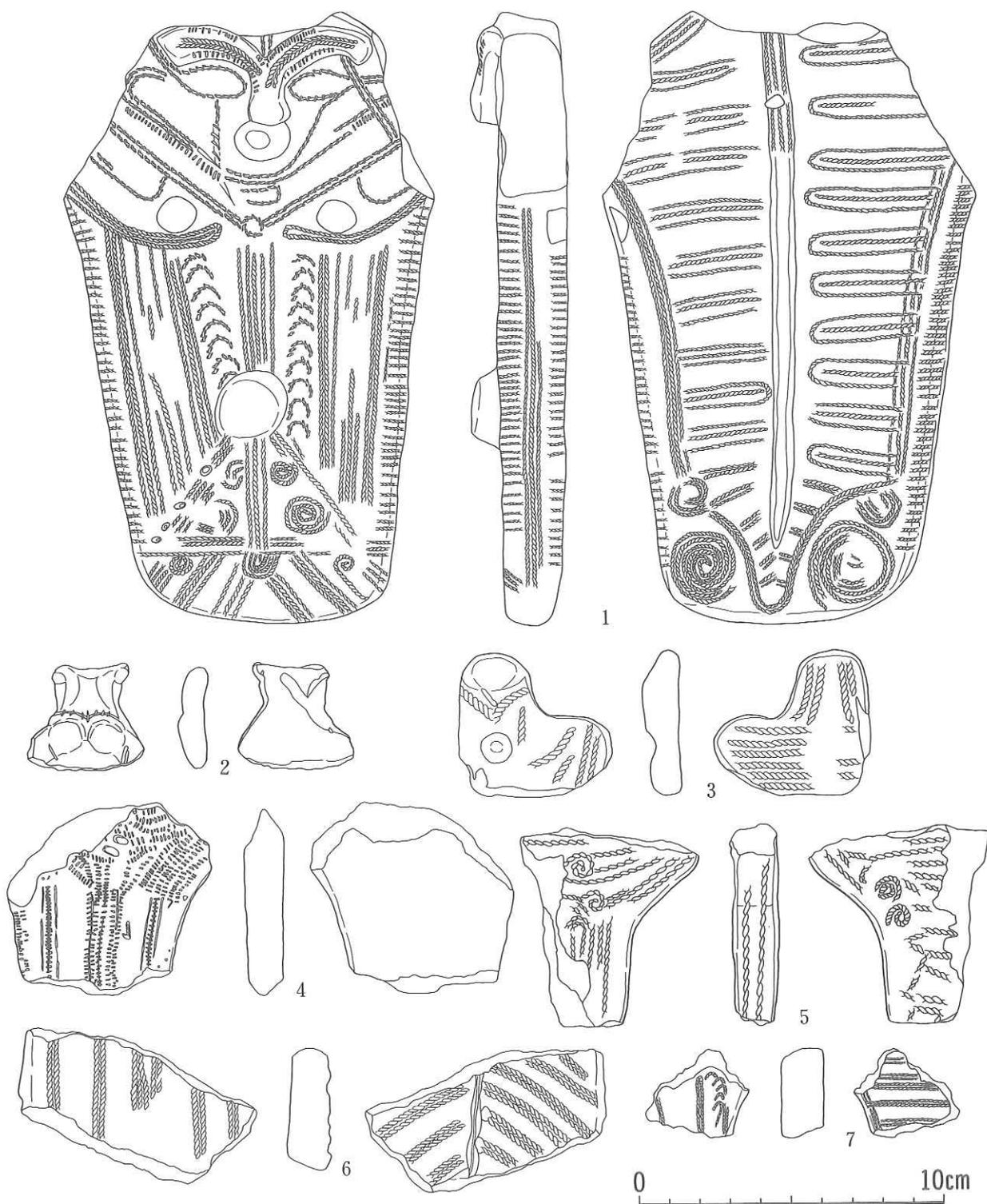
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
1	ⅥF-75	Ⅲ	無文	無文		ナデ	素文		深鉢形
2	ⅥF-76	〃	〃	〃		〃	〃		〃
3	〃	〃	R押	R単絡1		〃	〃		〃
4	〃	〃		RLR		不明	〃		〃
5	ⅥF-75	Ⅲb	LR	LR		ナデ?	LR		〃
6	ⅥF-77	Ⅲ		LR			〃		〃
7	ⅥG-75	Ⅲa			無文	ナデ	素文		〃
8	〃	Ⅲ			短刻線状刺突	〃	〃		〃
9	ⅥG-74	〃			無文	〃	〃		皿形
10	〃	〃			〃	不明			台部
11	ⅥG-75	〃			RL	〃			〃
12	ⅥF-75	Ⅲa			無文				台部又は取手

116図 第三層出土 ミニチュア土器

### 土偶 (117・118図)

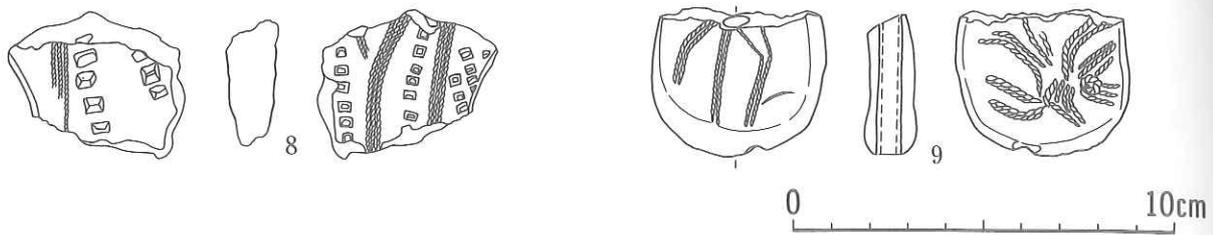
第三層からは土偶が9点出土した。伴出した土器は不明であるが、いずれも円筒上層式土器に伴うものと考えられる。1は、頭頂部と両腕部が欠損している。表面は、眉・鼻は隆帯で表現され、上面には原体の押圧が加えられる。眼部は原体の押圧で表現され、口部はわずかに窪む。乳房部は剥落している。臍部は径2cm、高さ1cmほどの貼り付けで表現される。体部は直線状、渦巻状、馬蹄形状の原体の押圧が施される。臍部より下は、「ハ」の字の文様構成が主体である。裏面は、体部中央に縦位に浅い凹線が、縁に沿って3条の原体押圧が、また、その間には横位に「U」字状の原体押圧が施される。2は頭部片である。頭頂部は逆台形状に突出し、中央部が浅く窪む。肩部は貼付で表現され、上部には刻みが施される。眼部、口部は平坦面、窪んだ面取りをすることによって表される。裏面は全面剥落する。3は頭部と左腕部である。頭頂部は王冠状に作出され、中央が若干窪む。眼部および顔の輪郭(?)は原体の押圧で意識される。口部は窪む。左腕部には原体の押圧が施される。裏面は縦位、横位の原体の押圧が見られる。4は、左胸部から体部上半の破片である。乳房の表現はなく、短刻線、沈線の組合せによる文様構成である。裏面は無文である。5は左腕部から体部左上半の破片である。表裏とも原体の縦位、横位、渦巻状の押圧が施される。6は胴部片である。表面は縦位の、裏面は中央の沈線を挟んだ逆V字状の原体押圧が施される。7は胴部の小片である。表面は縦位、馬蹄形状の原体押圧、裏面は横位の原体押圧が施される。8も胴部の小片であるが、表裏面とも原体押圧、角形刺突で文様が施されるが、刺突を施す原体は表裏異なっている。9は文様から腕部片とも思われたが、貫通孔があるため胴下半部とした。表裏とも文様は原体の押圧による。

(小笠原 雅行)



番号	出土地点	層位	計 測 値 (cm)			文 様		種 類	備 考
			長さ	幅	厚さ	表 面	裏 面		
1	VIF-75	Ⅲ	(20.1)	(12.2)	3.1	原体押圧、刻み	凹線、原体押圧	土偶	
2	VIC-75	〃	(3.6)	(4.8)	(0.8)	刻み	無文	〃	裏面剥落
3	〃	〃	(4.6)	(5.0)	(1.2)	原体押圧	原体押圧	〃	
4	〃	〃	(6.4)	(6.7)	(1.3)	細沈線、刻み	無文	〃	
5	VIF-75	〃	(6.6)	(5.8)	(1.5)	原体押圧	原体押圧	〃	
6	VIF-74	〃	(5.1)	(7.7)	(1.3)	〃	〃	〃	
7	VIF-75	〃	(2.8)	(3.3)	(1.3)	〃	〃	〃	

117図 第三層出土 土偶 (1)



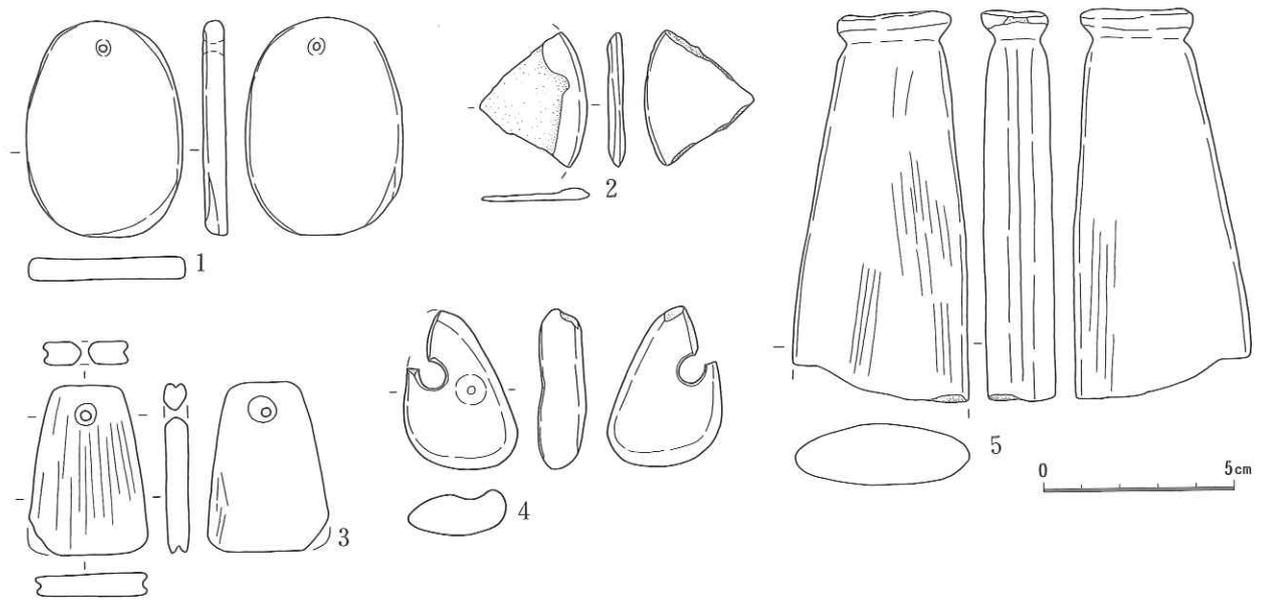
番号	出土地点	層位	計測値(cm)			文様		種類	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
8	VII F-76	III	(3.9)	(4.8)	(1.3)	原体押圧、刺突	原体押圧、刺突	土偶	
9	VII G-75	〃	(4.0)	(4.5)	(1.3)	〃	〃	〃	貫通孔

118図 第三層出土 土偶(2)

その他の土・石製品 (119図)

石製品が5点出土した。1, 3, 4は垂飾である。3の側面には溝が刻まれている。2は薄い円盤状の石製品の破片と考えられる。5は用途不明である。

(阿部 美杉)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考	整理番号
1	VII H-75	III	57	41	6	24	砂岩	垂飾	2553
2	VII F-74	III	(36)	(29)	4	4	細凝		2955
3	VII H-75	III	45	(32)	6	12	砂	垂飾	2571
4	VII F-75	III a	(42)	31	13	9	貝	垂飾	2967
5	VII F-74	III a	(104)	(47)	18	110	安		2958

119図 第三層出土 石製品

## 2 縄文時代前期

### (2) 第Ⅳ層の調査

#### 1) 第Ⅳ層の概要

第Ⅳ層は黒褐色土を主体とし、炭化物が全体に混入する。斜面部上面からその下の平坦面に堆積し、平面では、ⅦF-74～ⅦH-76にかけて分布する。上層の第Ⅲ層との間には、酸化鉄層が形成されている。この酸化鉄層を掘り下げると若干の湧水が見られた。層厚は20～40cmで、地形の傾斜に沿って北側へ行くほど厚くなる。

土層の形成時期は、出土土器から円筒下層d<sub>1</sub>式～円筒下層b式にかけてのものである。型式単位での分層はできなかった。円筒下層c式土器は量的に少なく、円筒下層b・d式の出土量が多い。遺物の出土状況は、層中に混在した状態である。多くは破片で出土し、調査段階で復元可能と認識できる出土状況を示すものは無かった。そのため、復元し得た土器は比較的少ない。

出土遺物は土器、石器、土・石製品などである。

#### 2) 土器 (120～164図)

第Ⅳ層からは段ボール箱で280箱分の土器が出土した。そのうち、ある程度復元し得たものは124個体分である。型式で見ると、円筒下層a式から円筒下層d<sub>1</sub>式までである。円筒下層a式はごく少量の出土にとどまっており、主体を占めるのは円筒下層b式である。

出土土器が複数型式にまたがるため、型式学的に土器を分類する。ただし、円筒下層a・b式は一括して細分類で表す(細分類で該当する土器がない場合、その項目は省略する)。

分類基準は以下のとおりである。

#### 円筒下層a・b式の分類

第Ⅱ章で述べたとおり、縄文時代前期の土器は第Ⅱ群とした。円筒下層式土器群の中で、円筒下層c・d式は数量的に比較的少なく、また先学諸氏の型式認定もほぼ一致しているため、従来の分類に従う。ここでは特に出土量の多い円筒下層a・b式を細分する。本来的には、第Ⅴb層以下が円筒下層a・b式の層序であるが、前期に属する第Ⅳ層からの出土も少なくない。そのため、ここで細分基準を示す。細分に当たっては、口縁部文様が各属性の中でもっとも特徴的であり、かつ型式把握しやすいものと考え、以下のとおり行う。

以下分類基準を示す。

- 1 口縁部文様帯が無く、全面に縄文を施すもの。
- 2 口縁部文様帯に縄文が施されるもの。
- 3 原体の押圧が施されるもの。
- 4 結節回転文が施されるもの
- 5 単軸絡条体1類が施されるもの。
- 6 羽状縄文の施されるもの
- 7 単軸絡条体1A類が施されるもの。

- 8 単軸絡条体 2 類が施されるもの。
- 9 単軸絡条体 3 類が施されるもの。
- 10 単軸絡条体 4 類が施されるもの。
- 11 単軸絡条体 5 類が施されるもの。
- 12 単軸絡条体 6 類が施されるもの。
- 13 単軸絡条体 6 A 類が施されるもの。
- 14 多軸絡条体が施されるもの。
- 15 刺突が施されるもの。
- 16 無文
- 17 その他

第Ⅱ群 2・3 類・円筒下層 a・b 式に含まれるもの。

- 1 口縁部文様帯がなく、全面に縄文を施すもの (1・126)

全面に R L R が施される。

- 2 口縁部文様帯に縄文が施されるもの (5~10・12)

5・9 は R L R 縄文が、6・10 は R 単軸絡条体 1 類が、7・8 は R R R 縄文が施される。口縁部と胴部の境には、5・6 は L R 押圧、7~10 は低隆帯を有する。7・8 は上下に原体押圧される。胴部は 5・6・9・10 単軸絡条体回転、7・8 は燃戻しである。

- 3 原体の押圧が施されるもの (2~4)

横位に 2・3 は 2 条、4 は 3 条の原体押圧が施される。胴部はいずれも R L R 縄文である。

- 4 結節回転文が施されるもの (11・125・127~130)

11 は全面に R L R を施文後、R 結節回転文が施される。127~130 は口縁部と胴部の境に太い隆帯を有する。上面は 127 は凹線、128~130 は円形刺定が施される。129 は胴部の絡条体回転が口縁部まで及ぶ。

- 5 口縁部に結束第一種羽状縄文が施されるもの (14)

14 は口縁部と胴部の境に隆帯がある。上端には原体の押圧が巡る。胴部はいずれも単軸絡条体 1 類の縦位回転である。

- 6 単軸絡条体 1 類が施されるもの (13、15~52、131~141、143・158)

実測図で見ると 15~35 は縦位の原体押圧が施されないもの、36~52 は施されるものである。前者は頸部に低隆帯をもつものが多く、後者は少ない。低隆帯の上下に原体の押圧が施されるものと、低隆帯が貼り付けられないまでも 2 条の原体押圧による膨隆があるものは、文様带上端にも同様の原体押圧が施されるものが多いようである。口縁部文様帯の幅は 5~7 cm 程度であるが、18 は 10 cm と広い。胴部文様は縦走する単軸絡条体 1 類が多く、2 段燃り原体が圧倒的である。18・40 は R R が施される。50 は R による木目状燃糸文が施される。

- 8 単軸絡条体 2 類が施されるもの (53・54)

53 は単軸絡条体 2 類を施文した後、原体の押圧が巡る。頸部には低隆帯風の膨隆があり、上端には原体押圧が巡る。54 は文様帯に単軸絡条体 2 類のみ施される。胴部は双方とも単軸絡条体 1 類の縦位回転である。

9 単軸絡条体 3 類が施されるもの (142)

Lにより単軸絡条体 3 類が施される。

11 単軸絡条体 5 類が施されるもの (55~69・71、144~148、150・151)

いずれも 4 単位の弱い波状口縁である。原体の巻の順序は左巻き右巻き半々ぐらいの割合である。文様体を区画する 4 単位の縦位原体押圧をもつものはない。低隆帯、低隆帯状の膨隆、文様带上端の原体押圧は 6 類と同様である。胴部は単軸絡条体の縦位回転である。

12 単軸絡条体 6 類が施されるもの (61、70~78、149・152~154)

網目状の幅が広いものと、やや密になったものがある。後者には縦位の 4 区画の原体押圧が見られる。胴部にはいずれも単軸絡条体 1 類が施される。

13 単軸絡条体 6 A 類が施されるもの (79~94、155~157)

いずれも口縁部文様帯下には原体の押圧が 2 条巡り、その間が低隆帯状に膨隆するものと、しないものがある。胴部は単軸絡条体 1 類の縦位回転が施される。

14 単軸絡条体が施されるもの (159)

L単軸絡条体が横位に施される。胴部は R L R である。

17 その他 (95~114)

95は口縁部文様帯の原体が磨耗により不明な土器である。口縁部文様帯の上下端には横位原体押圧が観察される。96~114は胴部下半から底部にかけてのみ復元し得た土器である。いずれも単軸絡条体 1 類の縦位回転が施される。97は胴部上半と下半が異なる原体が用いられた土器である。

第 II 群 4 類・円筒下層 c 式に含まれるもの (161~166)

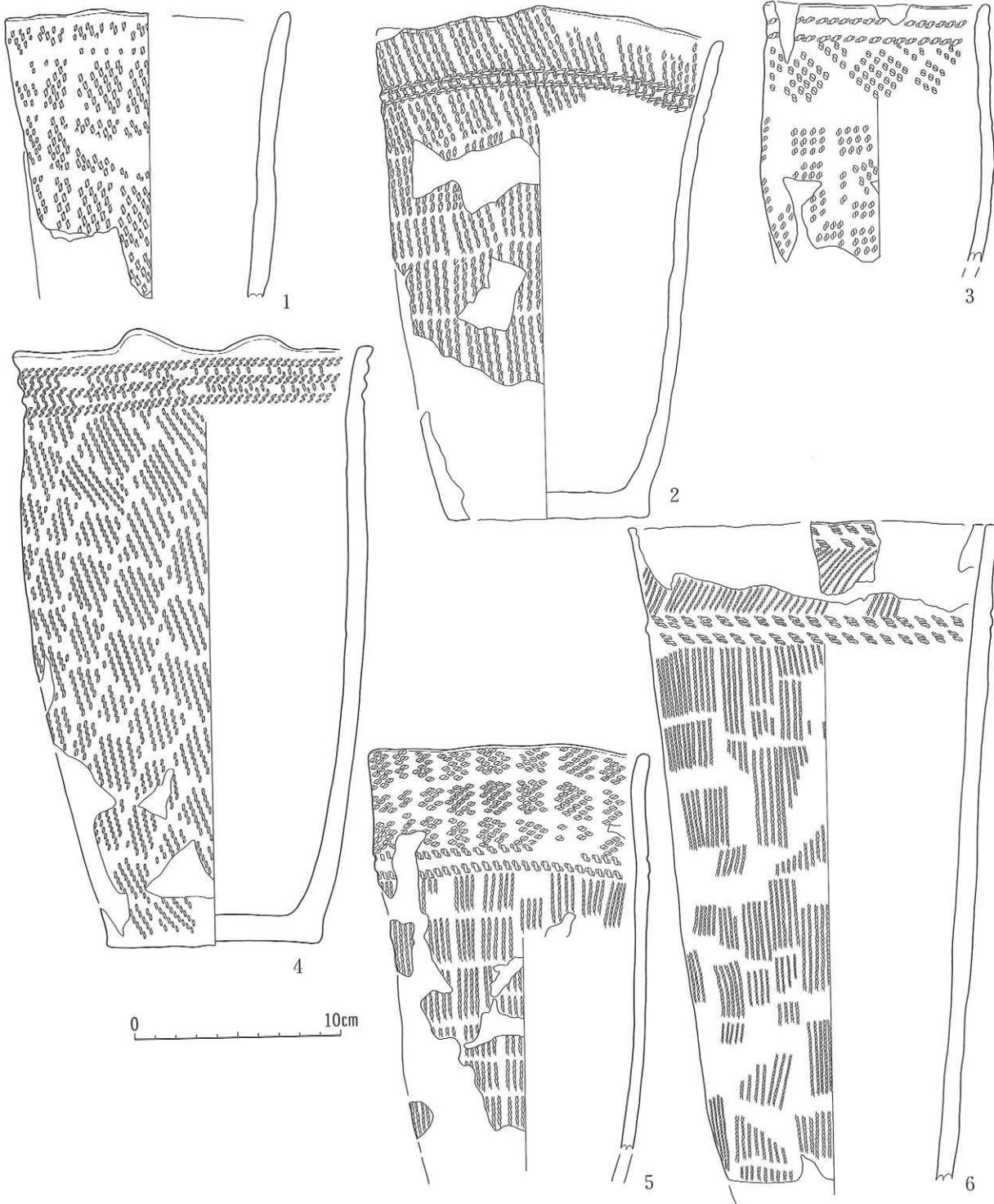
161~166は口縁部文様帯が比較的幅の広い (4~7 cm) 土器である。菱形状ないし三角状、横位、縦位の原体の押圧の組合せにより文様が構成される。胴部文様は反撚、複節縄文、単軸絡条体 1 類がある。

第 II 群 5 類 - 1・円筒下層 d<sub>1</sub>式に含まれるもの (115~124、167~203)

口縁部に菱形状や三角状あるいは横位に原体が押圧される土器である。115は口縁部文様帯と胴部の境に低い隆帯がある。胴部文様は115・118・123・167・168・170・171・175・178が胴上部に結束第一種、胴下半部に縄文または単軸絡条体が施される。117は胴部文様は単軸絡条体 1 A 類である。116・120~122、167~173は口縁部に原体の横位押圧があるものである。押圧は無文面上にされるものと、結束第一種施文後原体が押圧される。124・203は胴上半部まで結束第一種が施され、以下は単軸絡条体 1 類である。199~202は、口縁部の結束第一種の上面に横位の原体押圧が組み合わされる。

第 III 群・その他 (204~223)

(小笠原 雅行)



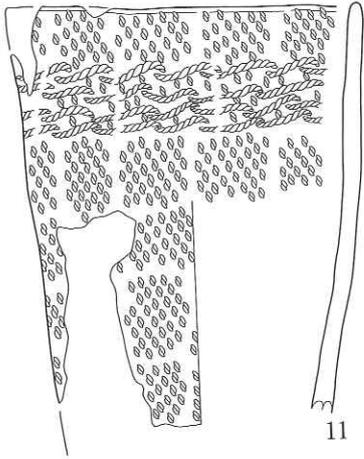
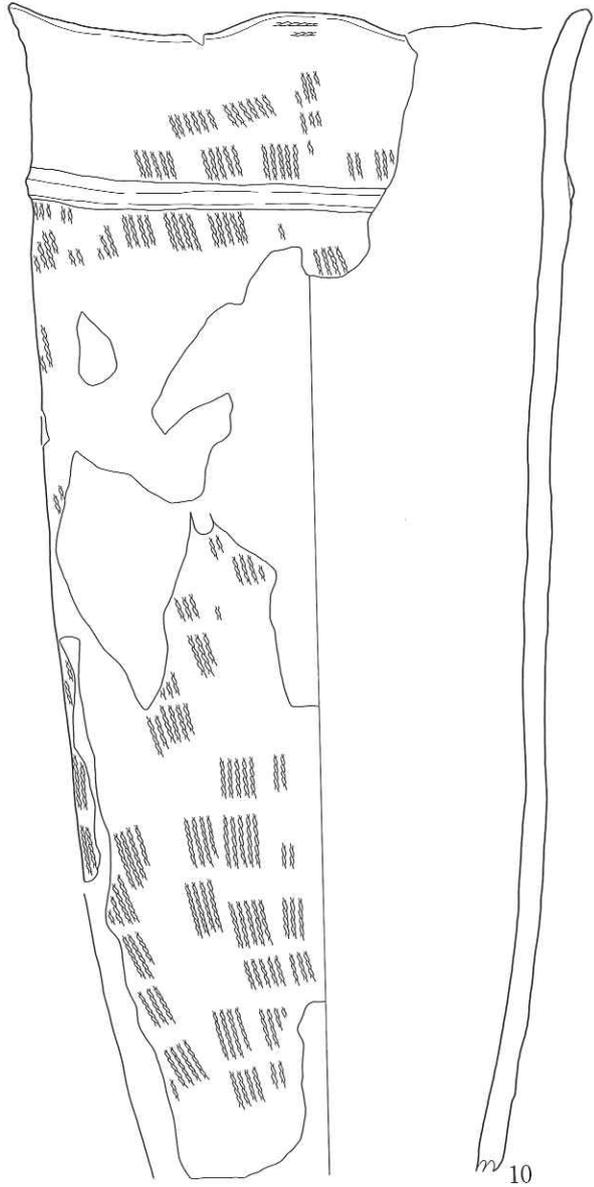
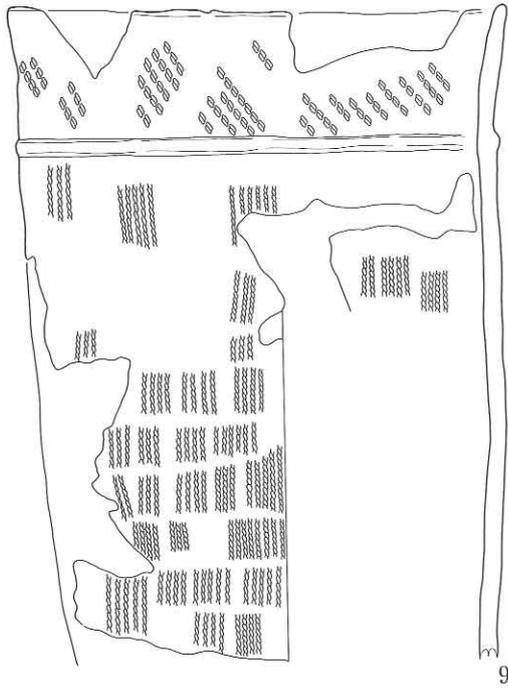
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
1	VIG-76	IV	RLR	RLR			II-2-3-1		
2	VIIH-75	〃	LR単絡1、RL押	LR単絡1		ミガキ	II-2-3-3		
3	VIG-76	〃	〃 LR押	〃			〃		
4	VIF-75	〃	RLR、RLR押	RLR		ミガキ	〃		
5	〃	〃	RLR? LR押	R単絡1		〃	II-2-3-2		
6	VIF-74	〃	R単絡1、LRL押	〃		〃	〃		

120図 第IV層 出土土器 (1)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
7	VIIH-74	IV	RRL、LR押	RRL	RRL	ミガキ		II-2・3-2	
8	VII F-74	〃	RRL、LR押	低隆帯、LR押、RRL		〃		〃	

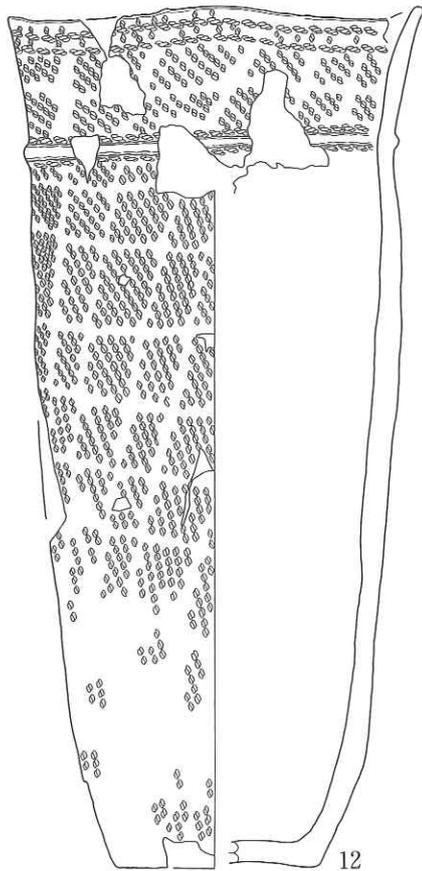
121図 第IV層 出土土器(2)



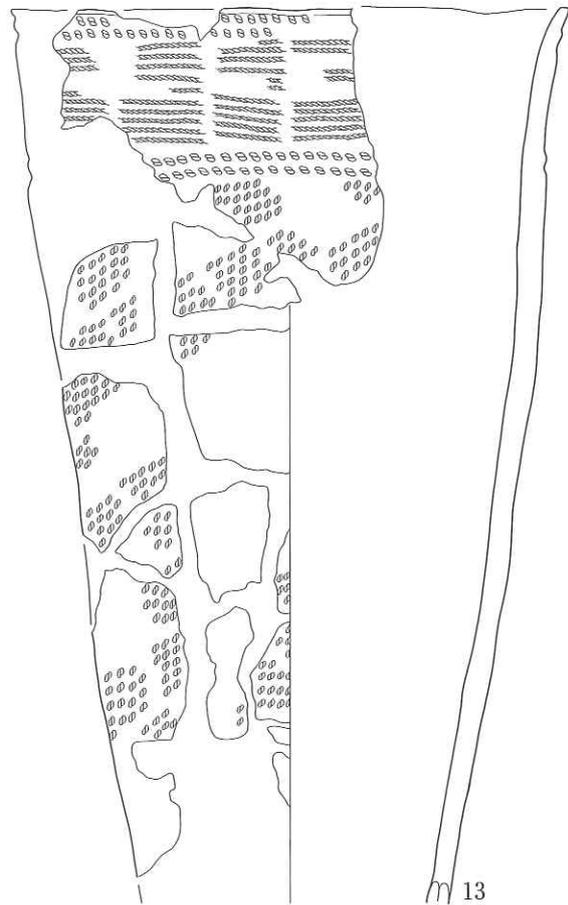
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
9	VIF-75	IV	RLR	低隆帯、R単絡1		ミガキ		II-2-3-2	
10	VIIH-74	IV下	R単絡1、R押	R単絡1	〃	〃		〃	全体的に摩滅、剝落激しい。
11	VIF-75	IV	RLR、R結節回転	RLR				II-2-3-4	

122図 第IV層 出土土器(3)



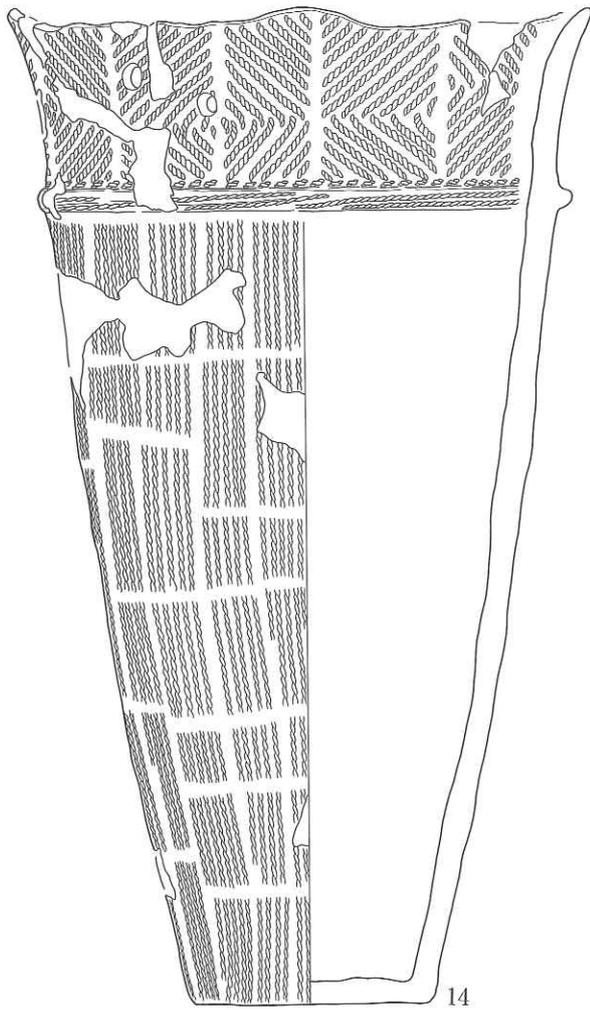
12



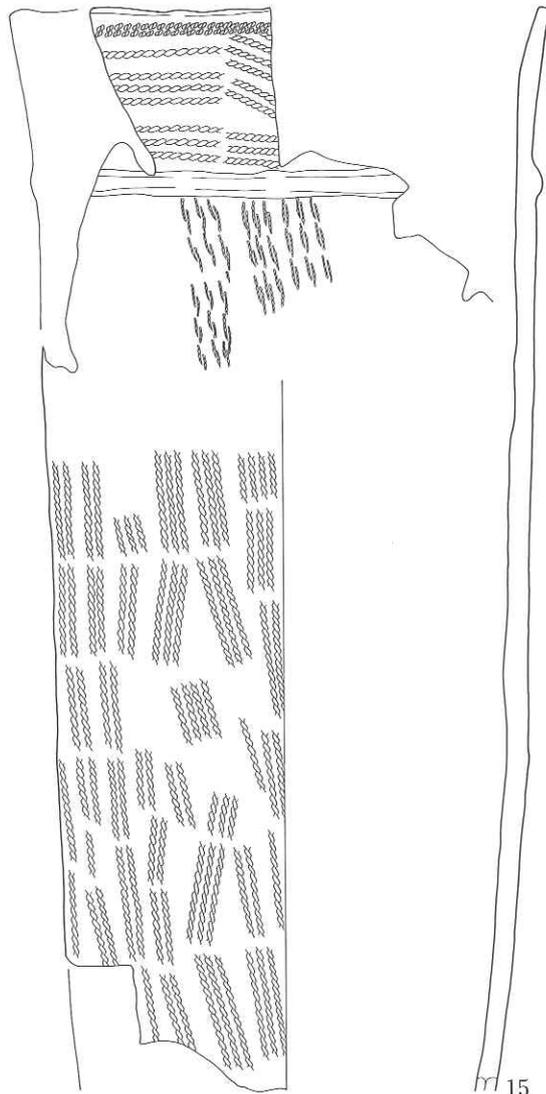
13

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
12	VIF-75	IV	RLR、LR押	低隆帯、LR押、RLR		ミガキ		II-2・3-3	
13	〃	〃	L単絡1、LR押	RLR		〃		II-2・3-6	

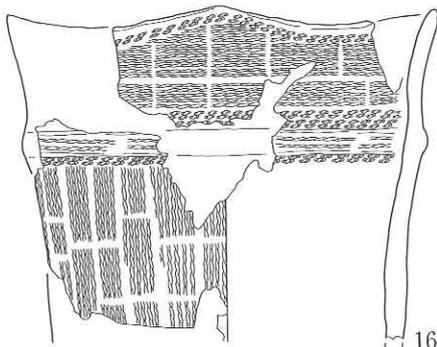
123図 第IV層 出土土器(4)



14



15

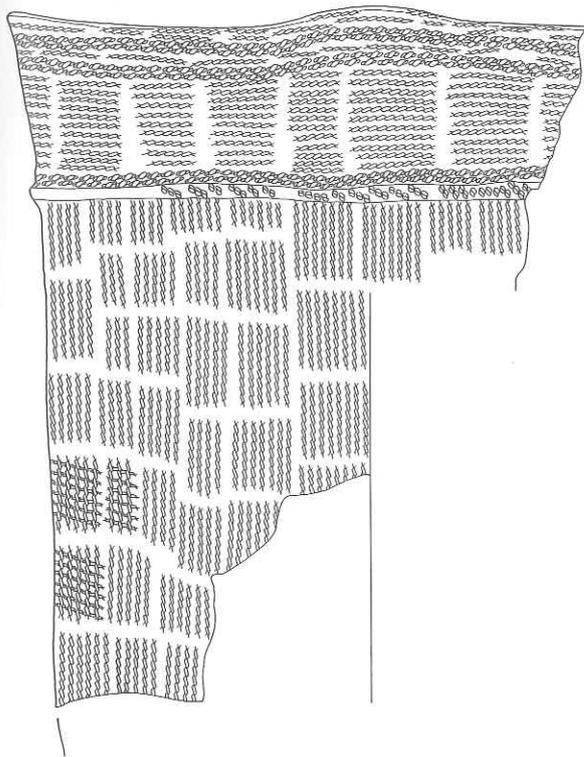


16

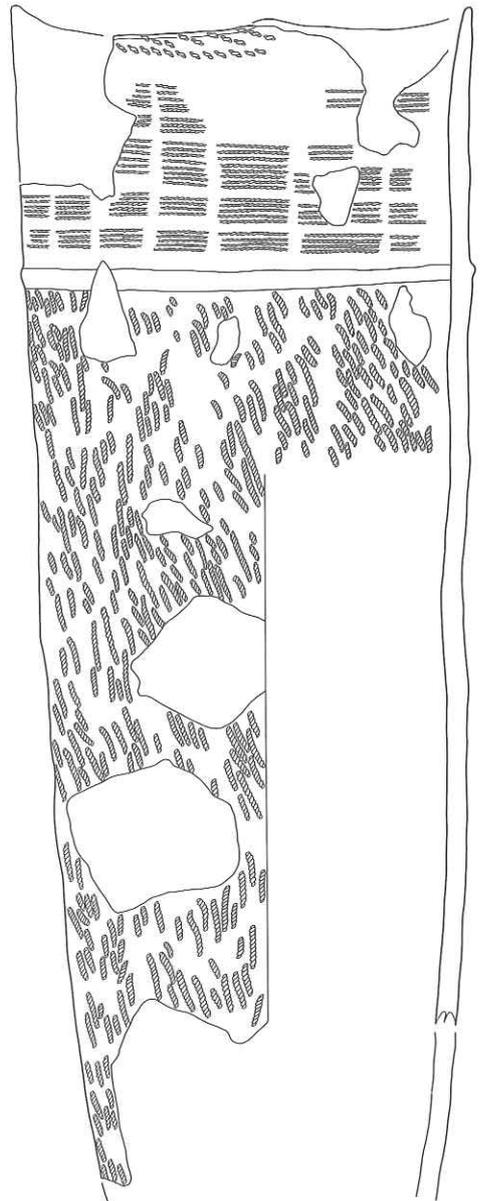
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
14	VIIH-76	IV	結束第一種(LR、RL)	隆帯(RL押)、R単絡1	R単絡1	ミガキ		II-2・3-5	
15	VIIH-75	〃	R単絡1、RLR押	隆帯、R単絡1		〃		II-2・3-6	
16	〃	〃	R単絡1、RLR押	低隆帯(RLR押、R単絡1)		〃		〃	

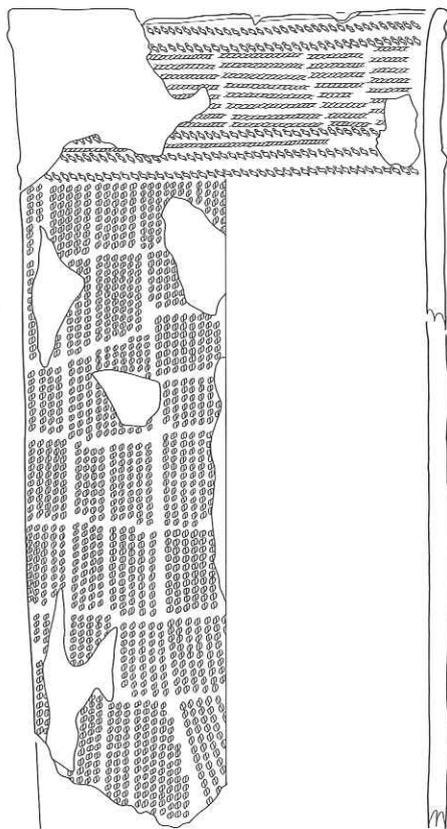
124図 第IV層 出土土器(5)



17



18

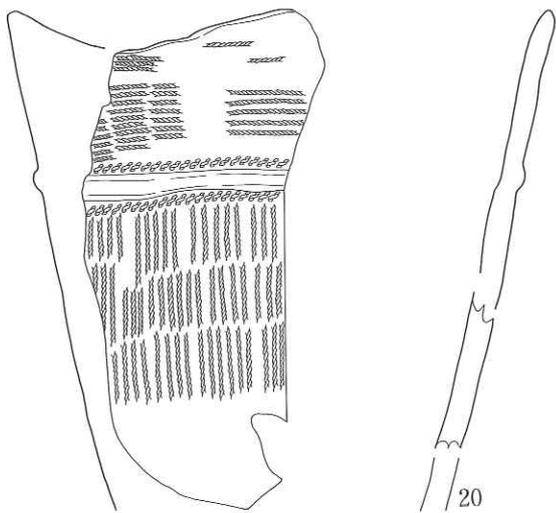


19

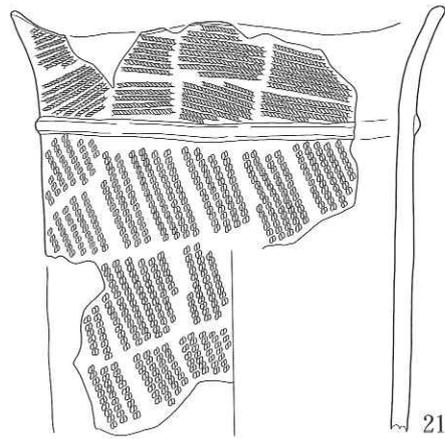
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
17	VIF-75	IV	R単絡1、RLR押	低隆帯、RLR押、R単絡1		◇		II-2・3-6	
18	VIIH-75	IV	◇、LR押	◇、RRL		◇	◇		
19	VII G-76	IV	R単絡1、LR、R押	LR単絡1	LR単絡1	◇	◇		

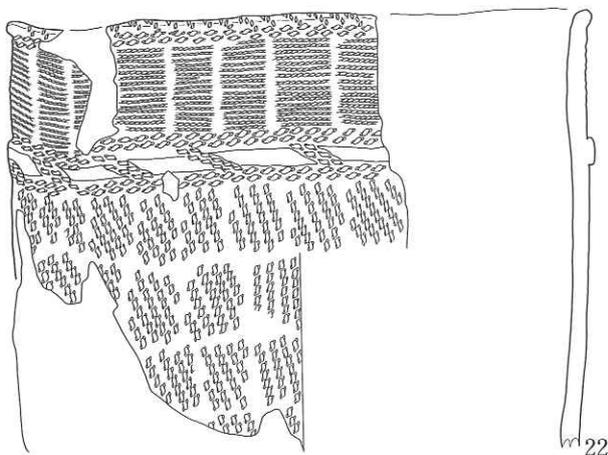
125図 第IV層 出土土器(6)



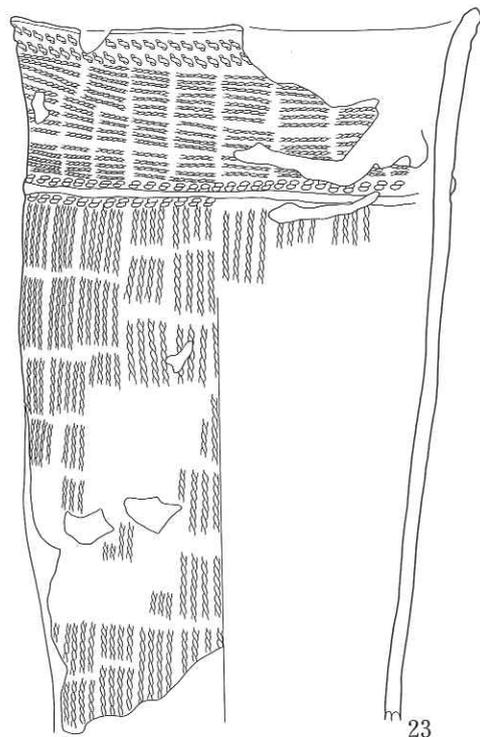
20



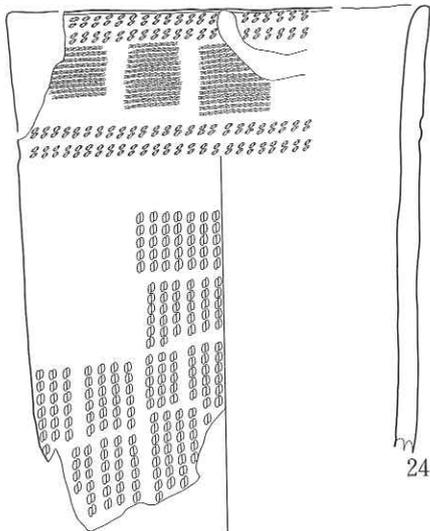
21



22



23

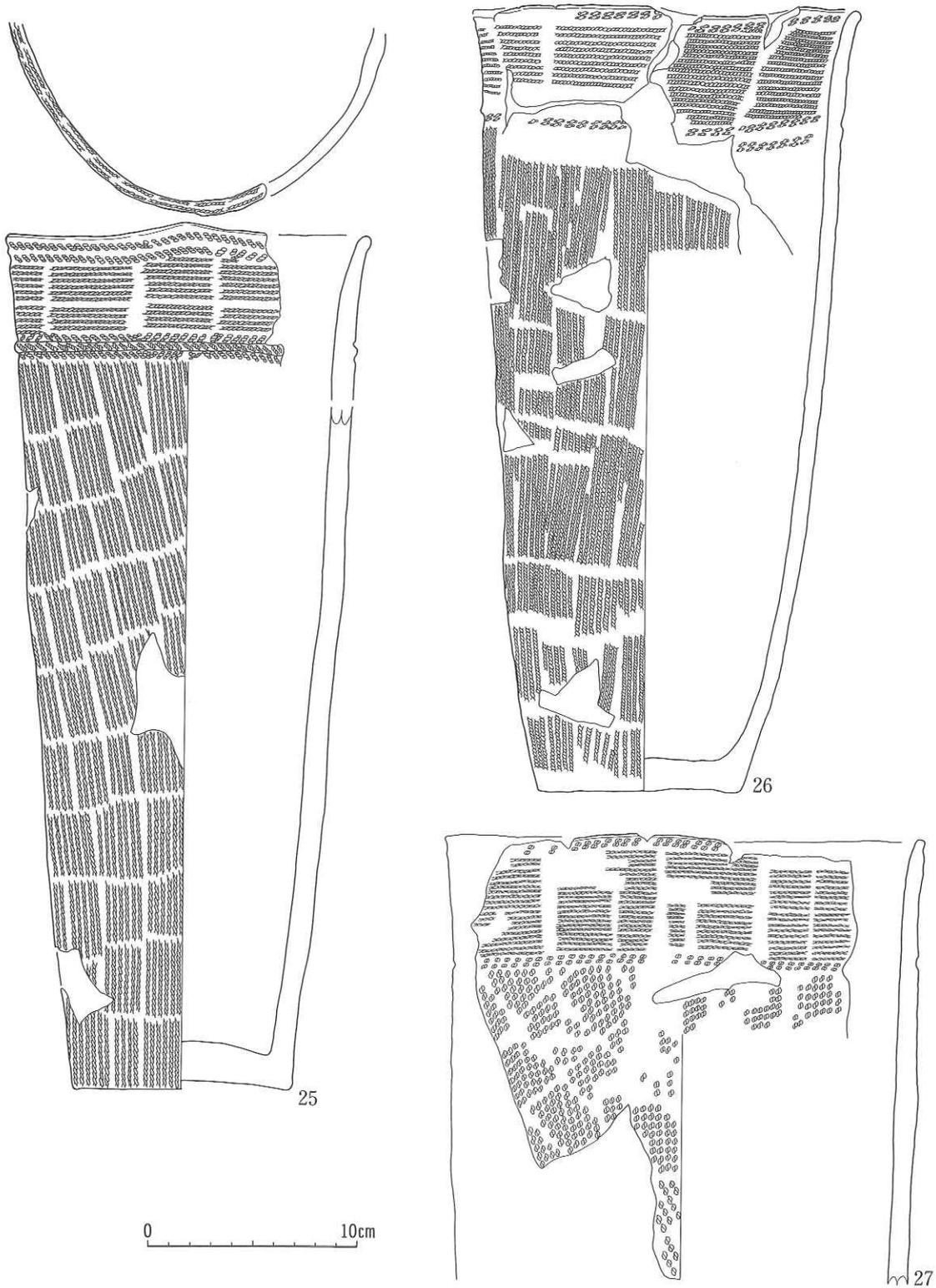


24

0 10cm

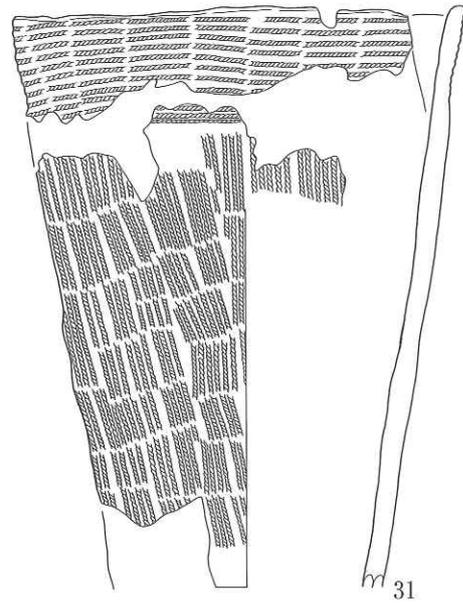
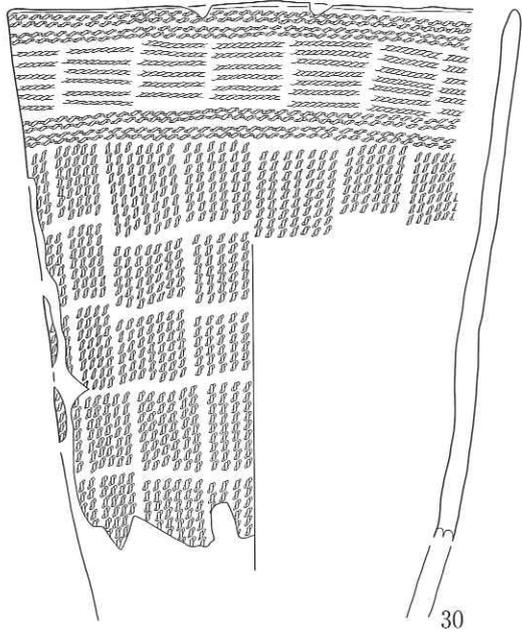
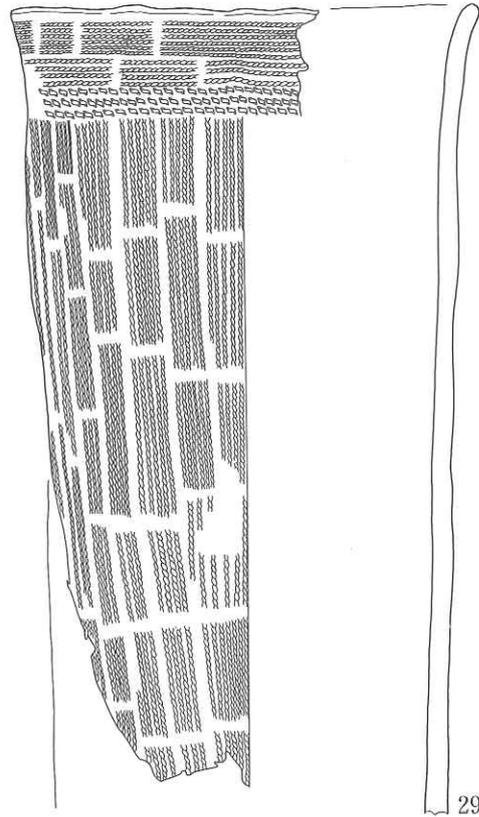
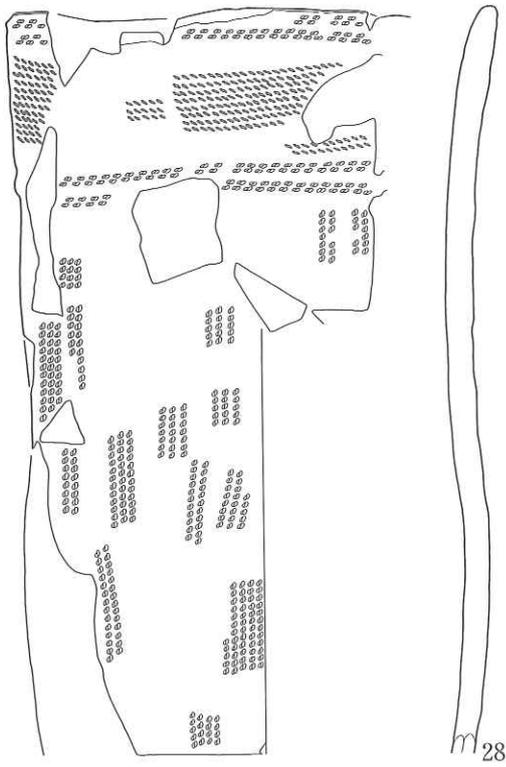
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
20	VIF-74	IV	L単絡1	低隆帯、RL押、L単絡1			II-2・3-6		
21	VIIH-74	IV最下	〃	低隆帯、LR単絡1		ミガキ	〃		
22	VIG-76	IV	R単絡1、RLR押	低隆帯(RLR押)、RLR			〃		
23	VIF-75	IV下	〃、LR、RL押	隆帯、R単絡1		ミガキ	〃		
24	VIIH-76	IV上	〃、RLR押	LR単絡1		〃	〃		

126図 第IV層 出土土器(7)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
25	VIIH-74	IV下	R単絡1、LR、RL押	低降帯、LR・RL押、R単絡1	〃	ミガキ	ミガキ	II-2・3-6	口唇にR単絡1
26	VIF-75	〃	〃、RLR押	RLR押、R単絡1	〃	〃	〃	〃	〃
27	VIIH-76	IV上	〃、〃	LR単絡1	〃	〃	〃	〃	〃

127図 第IV層 出土土器(8)



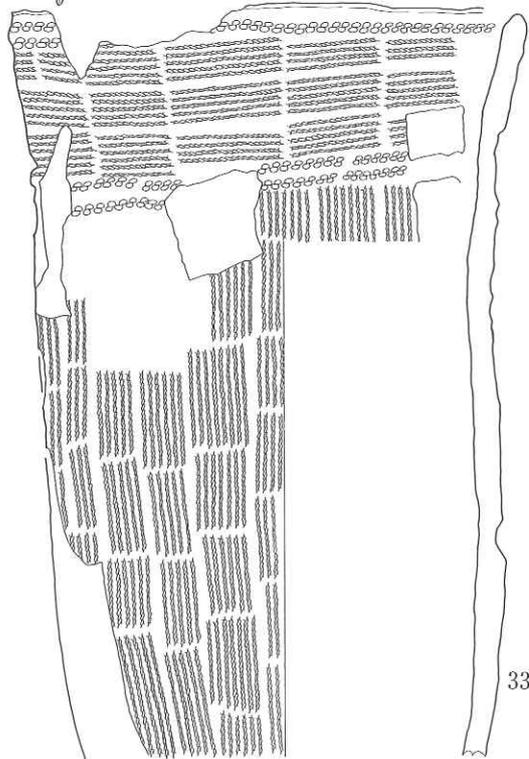
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
28	VIF-75	IV下	LR単絡1、RLR押	LR押		ミガキ	II-2・3-6		
29	VIIH-74	IV下	R単絡1、LR押	R単絡1	〃	〃	〃		
30	VIIH-75	IV	〃 〃	LR押		〃	〃		
31	VIF-74	IV下	〃 R押	R単絡1	〃	〃	〃		

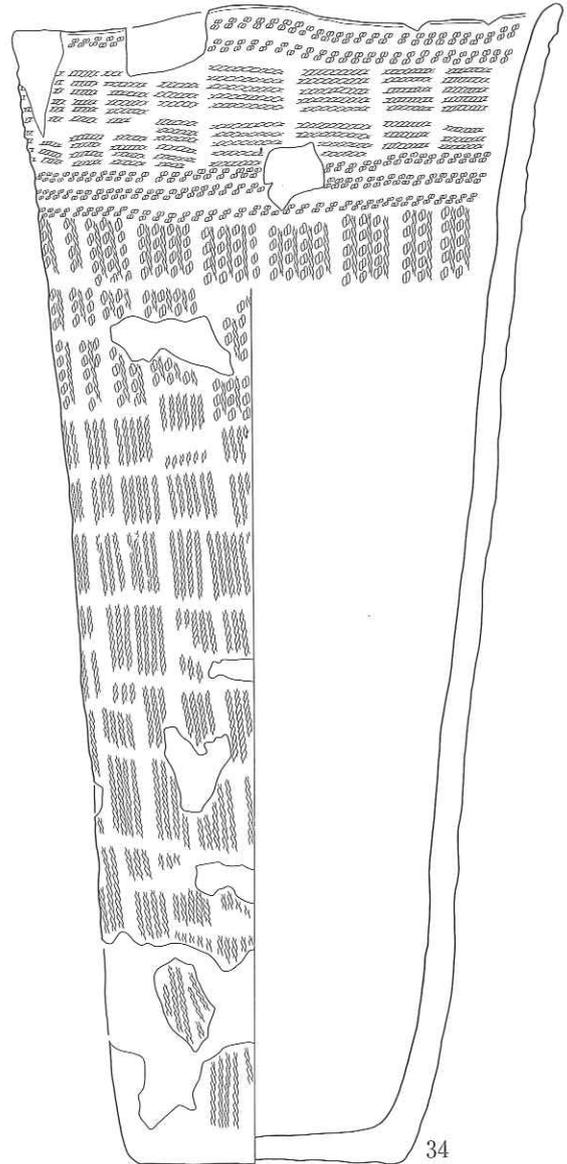
128図 第IV層 出土土器(9)



32



33

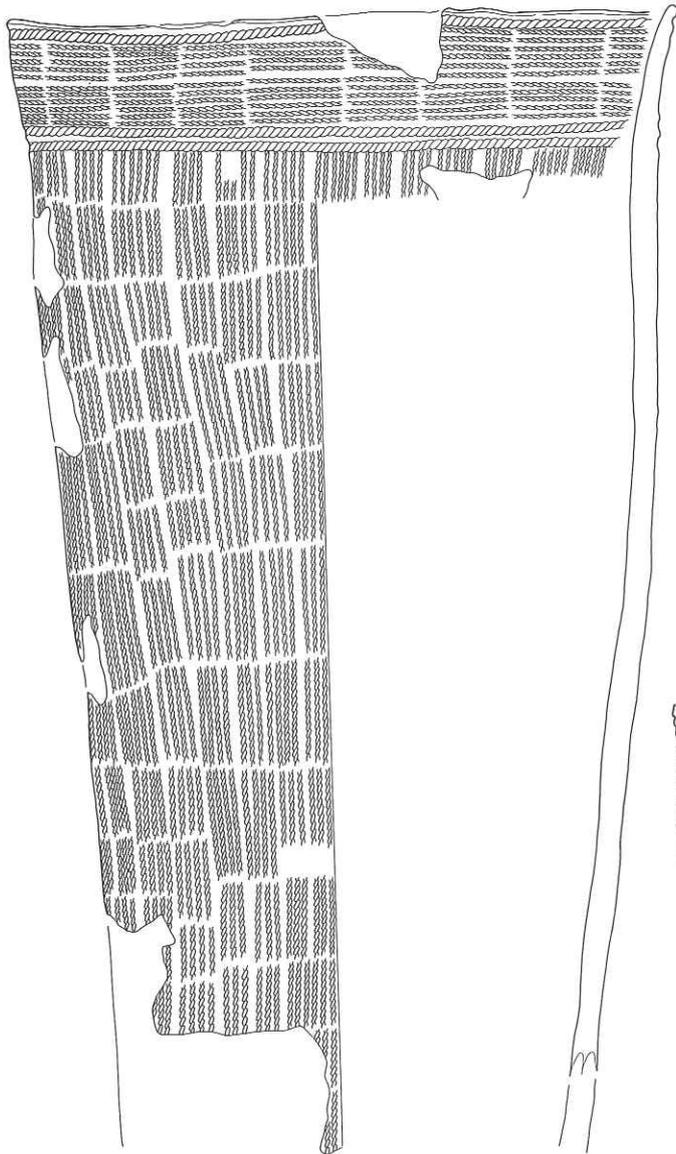


34

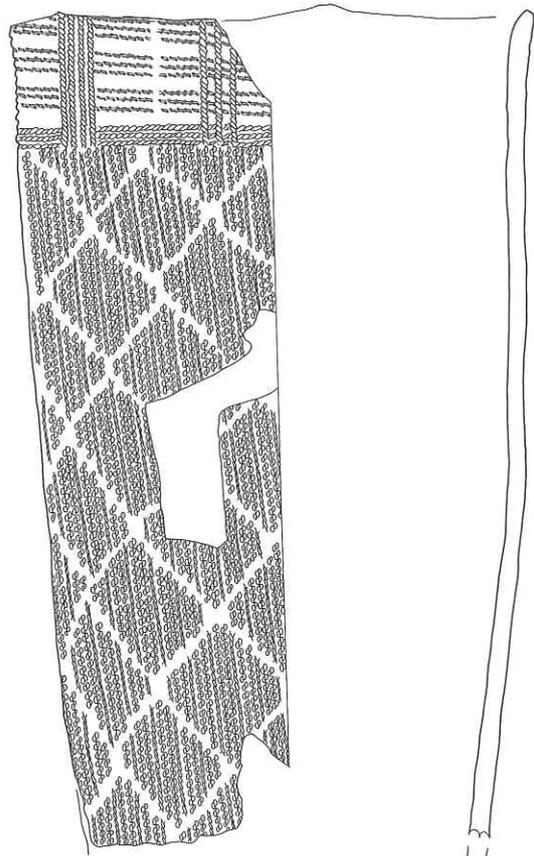
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
32	VIIH-74	IV	L単絡1、RL押	RL押		ミガキ	II-2・3-6		
33	VIIIF-75	〃	〃 〃	L単絡1		〃	〃		
34	VIIH-76	〃	R単絡1、RLR押	LR、R単絡1	L単絡1	〃	〃		

129図 第IV層 出土土器 (10)



35

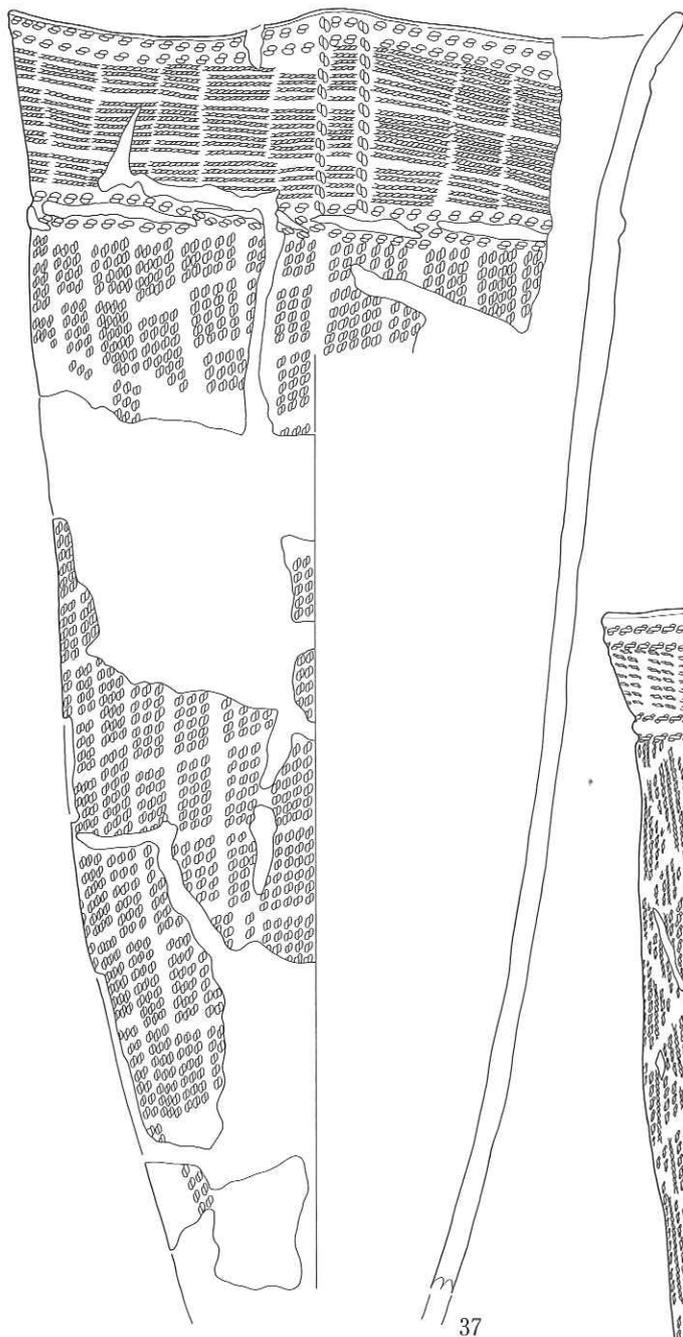


36

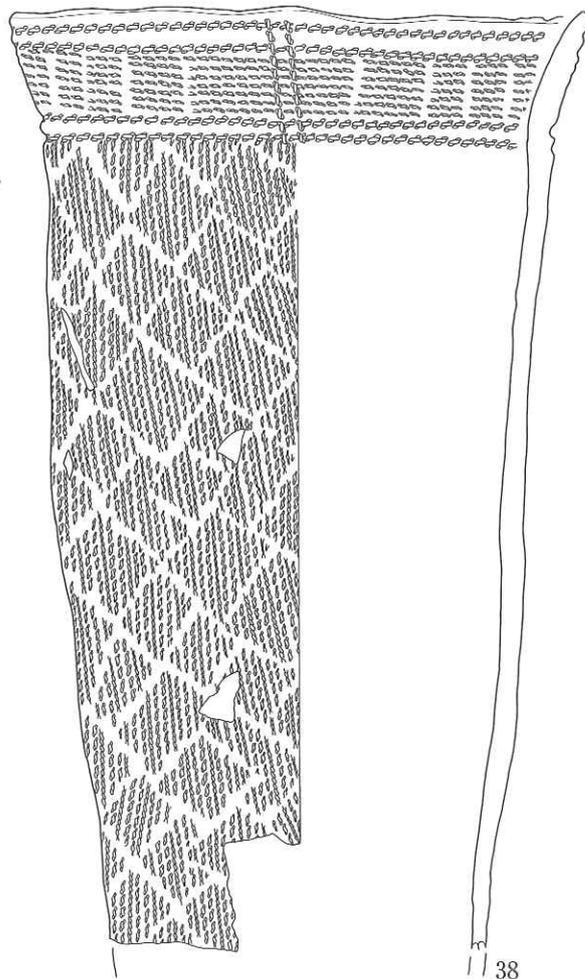
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
35	VIG-74	IV	R単絡1、R押	L単絡1	〃	ミガキ		II-2・3-6	
36	〃	〃	LR単絡1、R押(横、縦)	RLR+R		〃		〃	

130図 第IV層 出土土器(11)



37

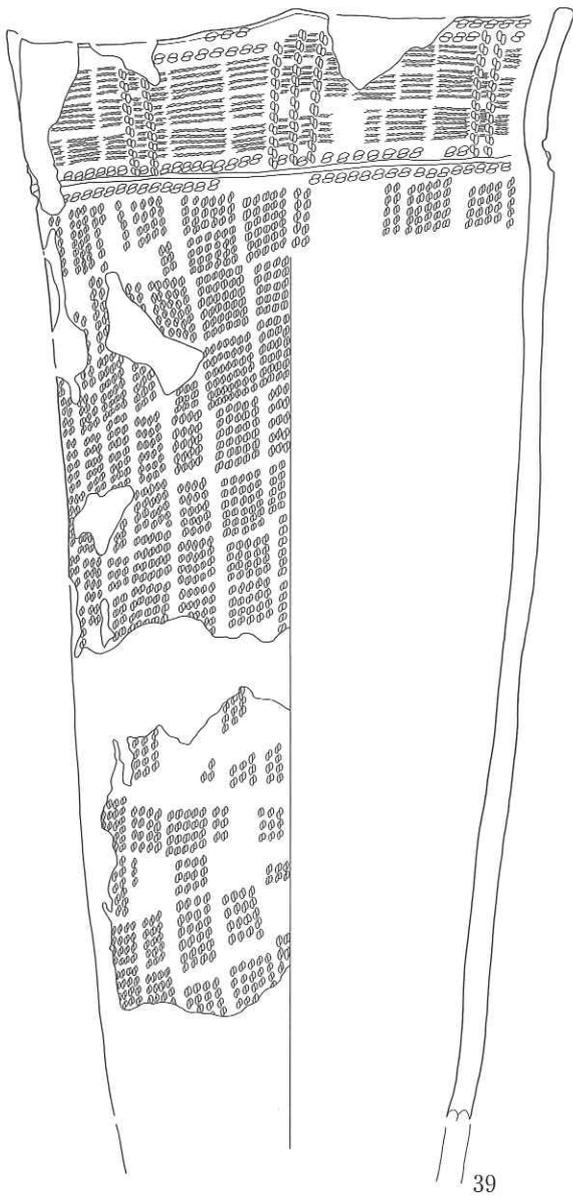


38

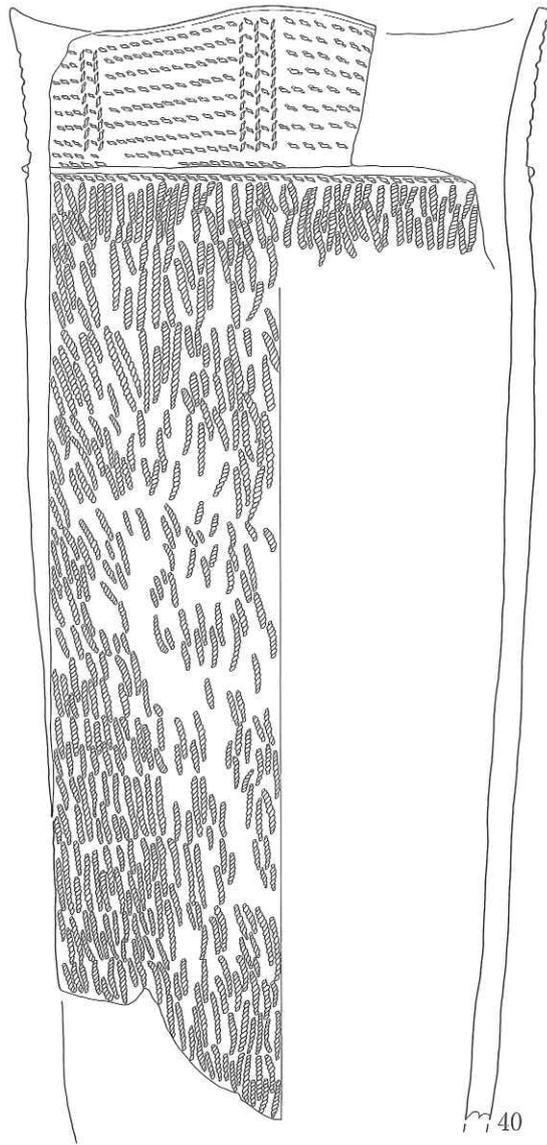
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
37	VIIH-76	IV	R単絡1、RL押	LR単絡1	LR単絡1	ミガキ		II-2・3-6	
38	VII F-74	〃	LR単絡1、〃	RLR+R		〃		〃	

131図 第IV層 出土土器 (12)



39

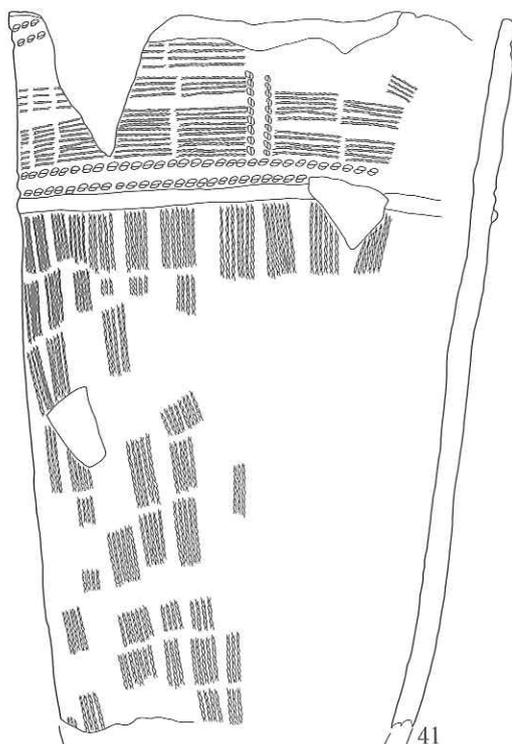


40

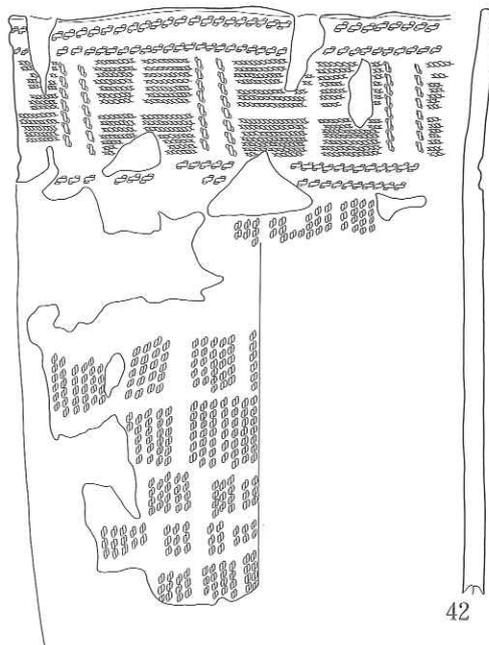
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
39	VIIH-74	IV	R単絡1、RL押	低隆帯、RL押、LR単絡1	LR単絡1	ミガキ		II-2・3-6	
40	VII G-76	〃	LR単絡1、LR押	低隆帯、LR押、RRL	RRL	ミガキ		〃	

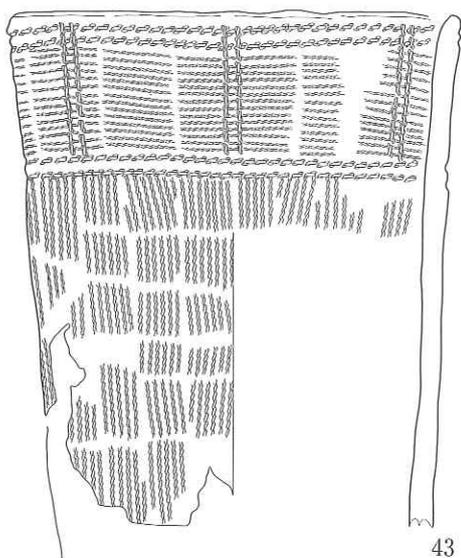
132図 第IV層 出土土器 (13)



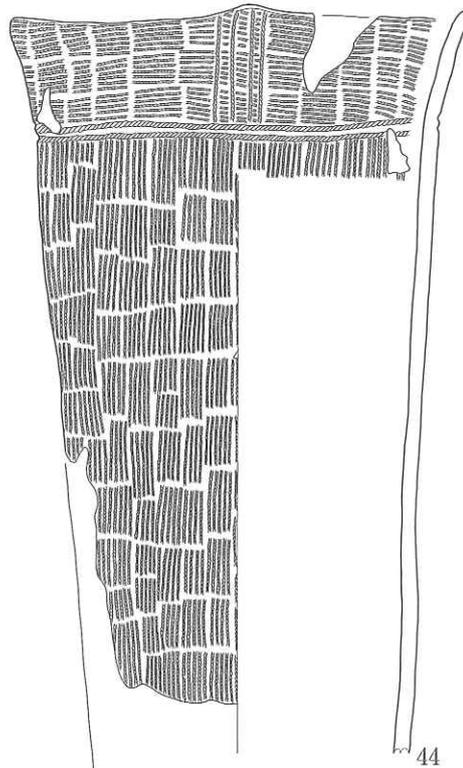
41



42



43

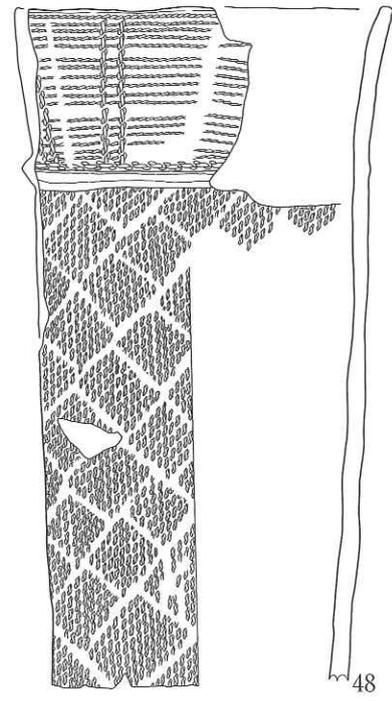
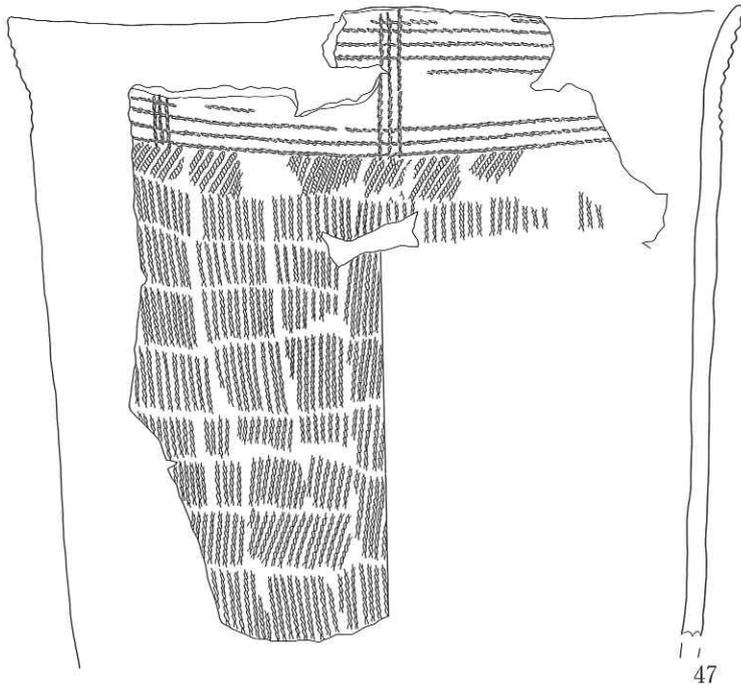
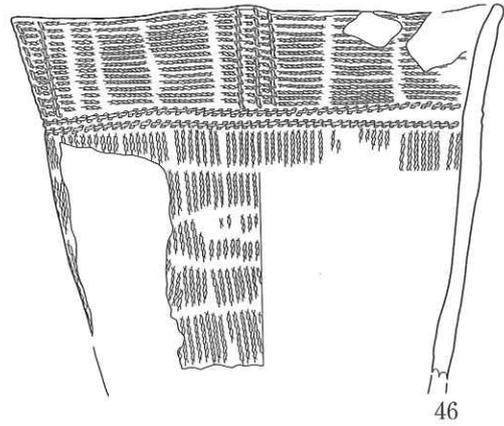
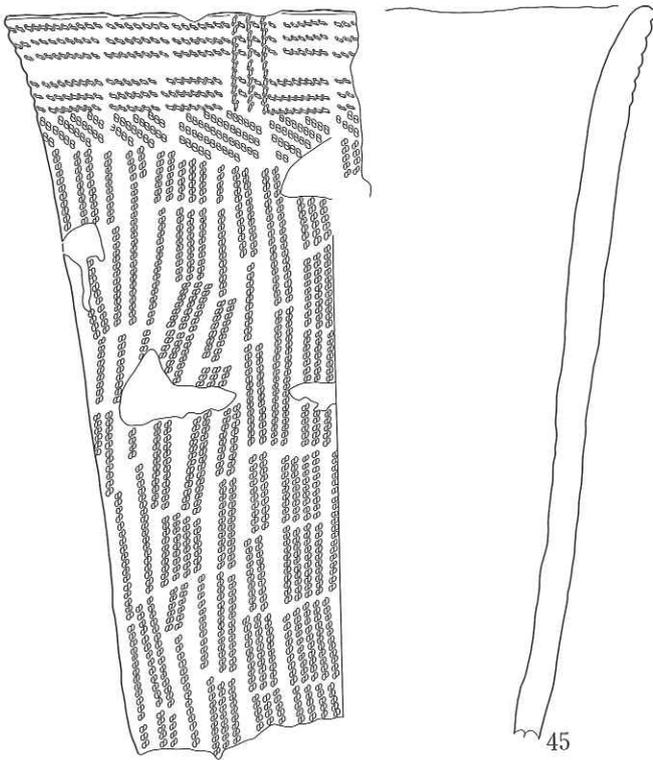


44

0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胸部上半	胸部下半				
41	VIIH-76	IV	R単絡1、RL押(横→縦)	R単絡1		ミガキ		II-2・3-6	
42	VIIH-76	IV上	LR単絡1、◇	LR単絡1		◇		◇	
43	VIIH-74	IV	L単絡1、◇	L単絡1		◇		◇	
44	VIIF-74	IV下	R単絡1、R押	R単絡1		◇		◇	

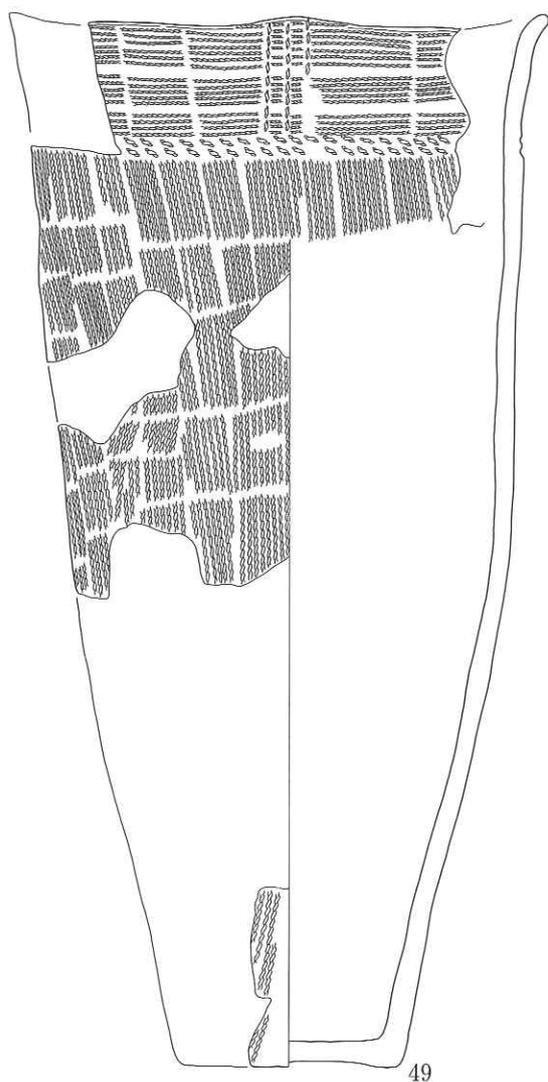
133図 第IV層 出土土器 (14)



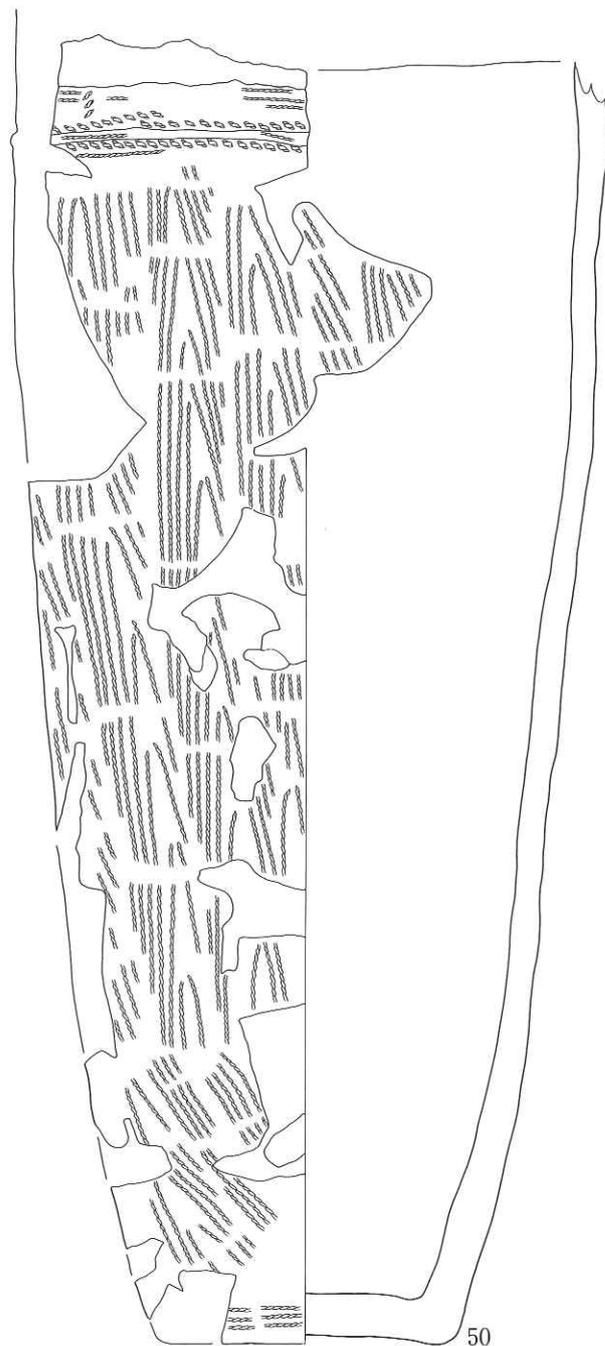
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胸部上半	胸部下半				
45	VI G-74	IV	LR単絡1、LR押(縦)	LR単絡1		ミガキ		II-2-3-6	
46	VI G-75	IV	L単絡1、RL押	L単絡1		ミガキ?		〃	
47	VI G-76	IV	LR単絡1、LR押	R単絡1		ミガキ		〃	
48	VII H-75	IV最下	R単絡1、LR押	LR単絡1		〃		〃	

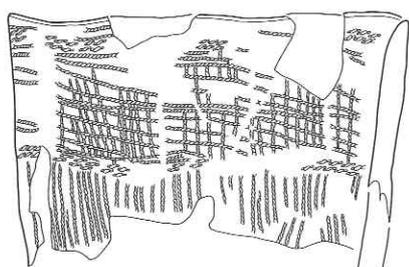
134図 第IV層 出土土器 (15)



49



50

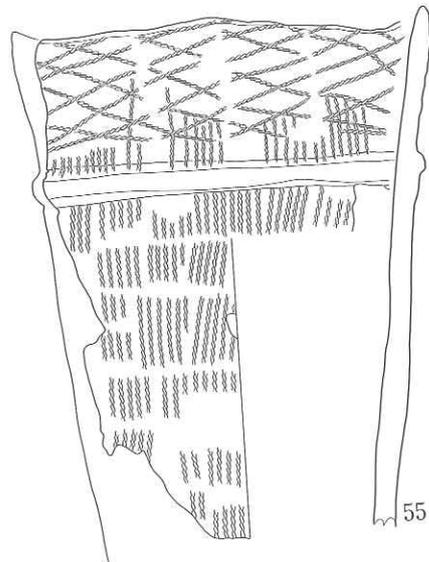
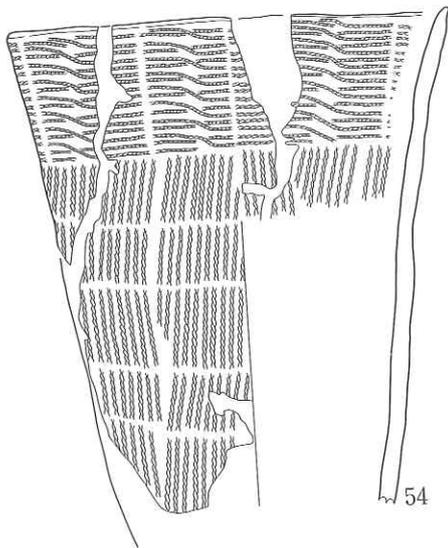
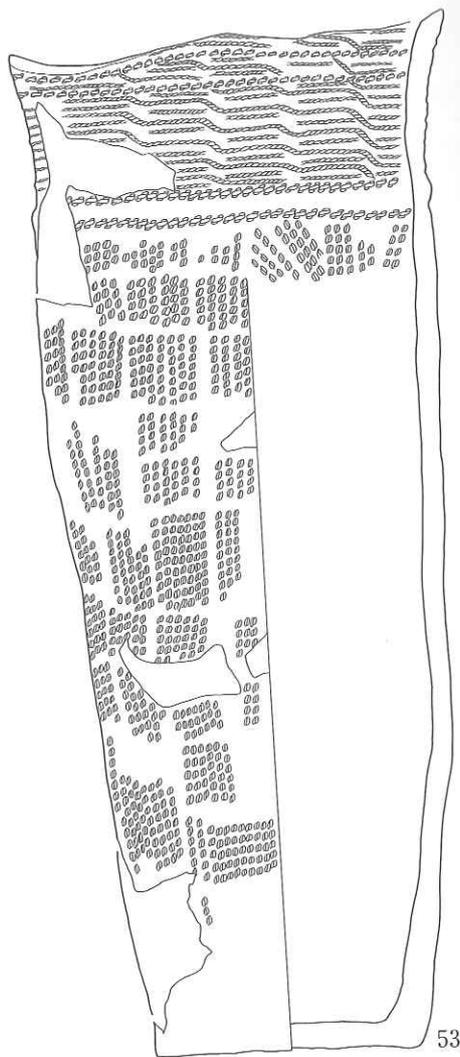
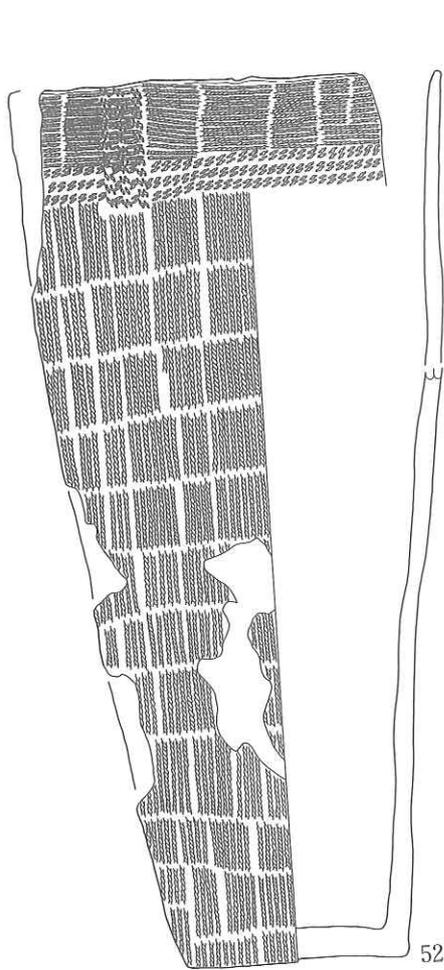


51

0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
49	VIIH-74	IV下	L単絡1、LR押	L単絡1	〃	ミガキ	ミガキ	II-2.3-6	
50	VIF-74	IV下	R単絡1、LR押	低隆帯風、R単絡1A	〃	〃	R単絡1	〃	
51	VIF-75	IV	R単絡1(縦、横)	R単絡1		〃		〃	

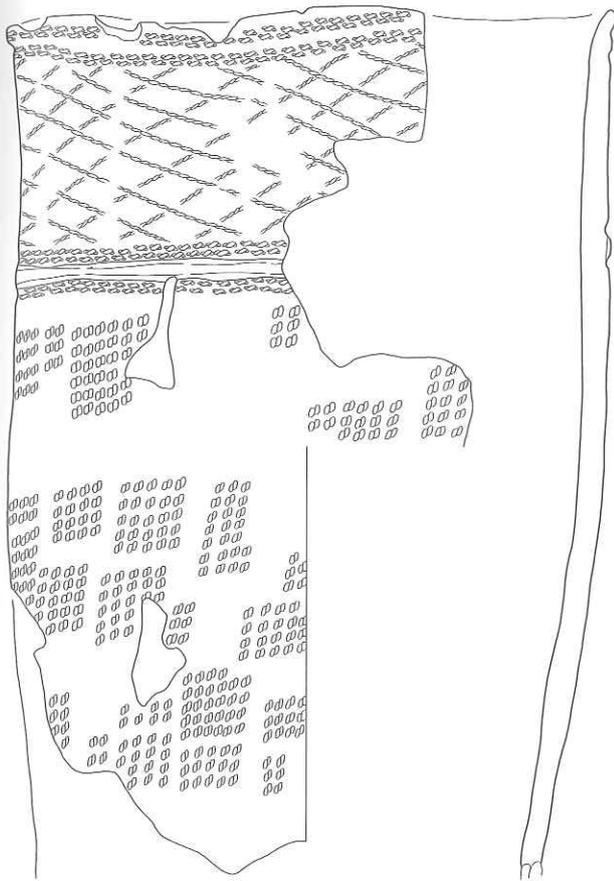
135図 第IV層 出土土器 (16)



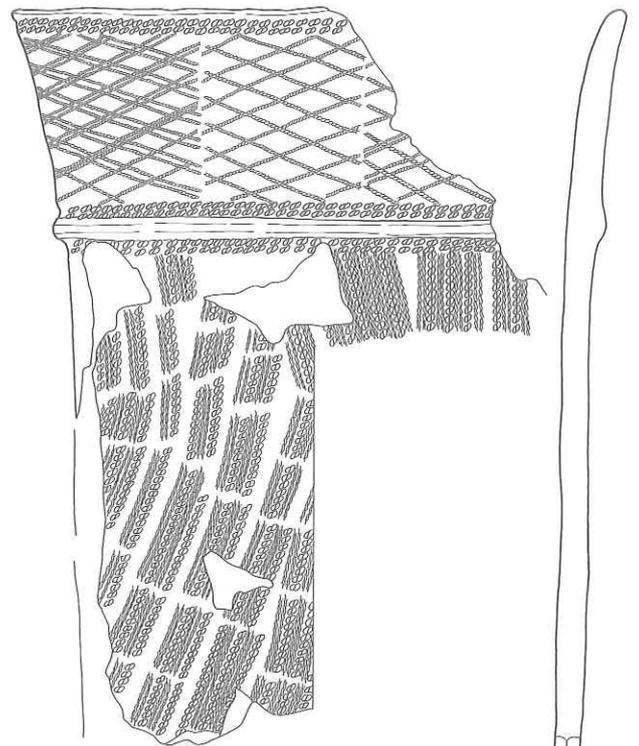
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
52	MIG-75	IV	R単絡1、RLR押	R単絡1	R単絡1	ミガキ	素文	II-2.3-6	
53	VI F-75	〃	R単絡2、RI押	LR単絡1	LR単絡1	〃	〃	II-2.3-8	
54	MIG-76	〃	〃	R単絡1		〃	〃	II-2.3-10	
55	VII H-75	IV最下	R単絡1、R単絡5	隆帯、R単絡1		〃	〃		

136図 第IV層 出土土器 (17)



56

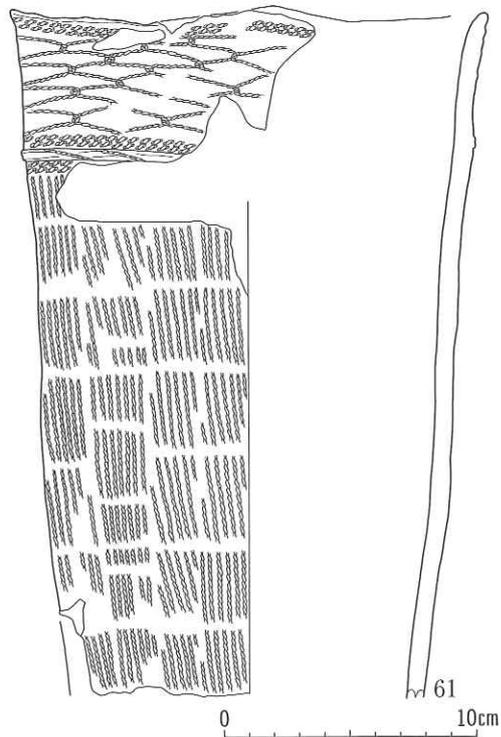
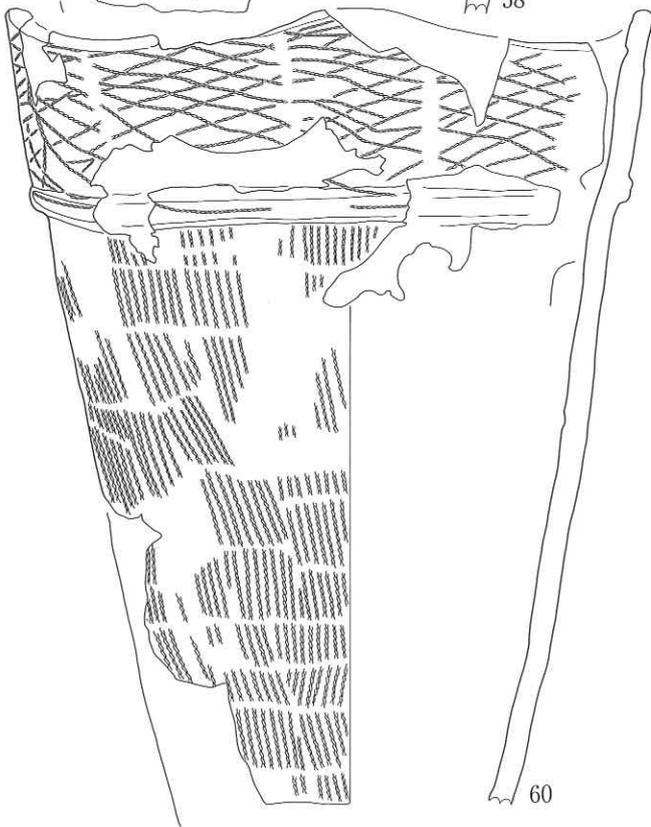
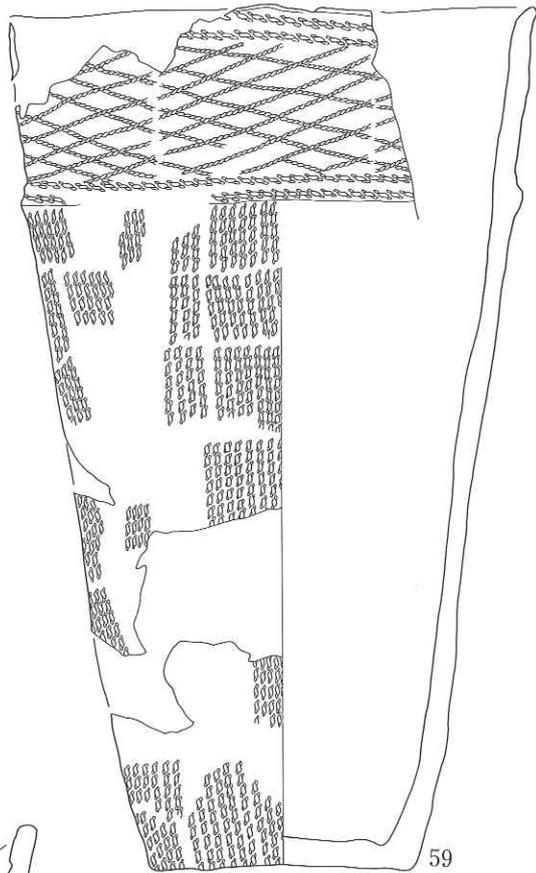
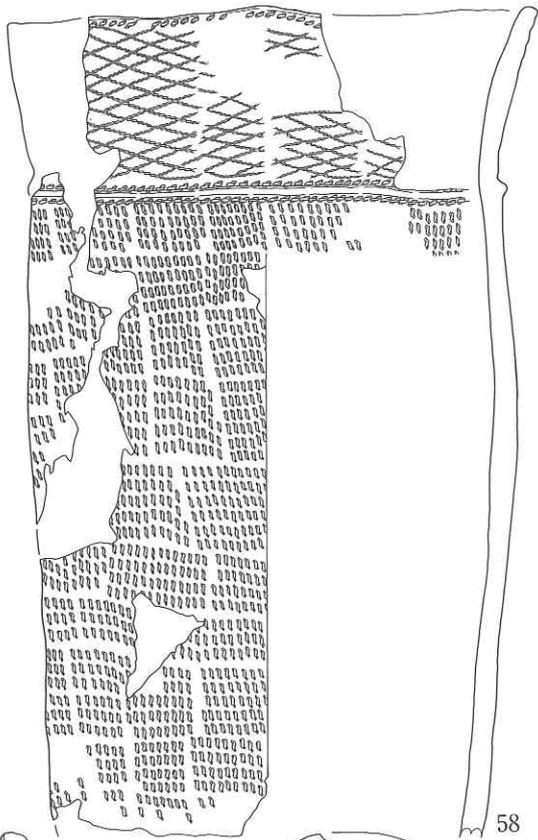


57

0 10cm

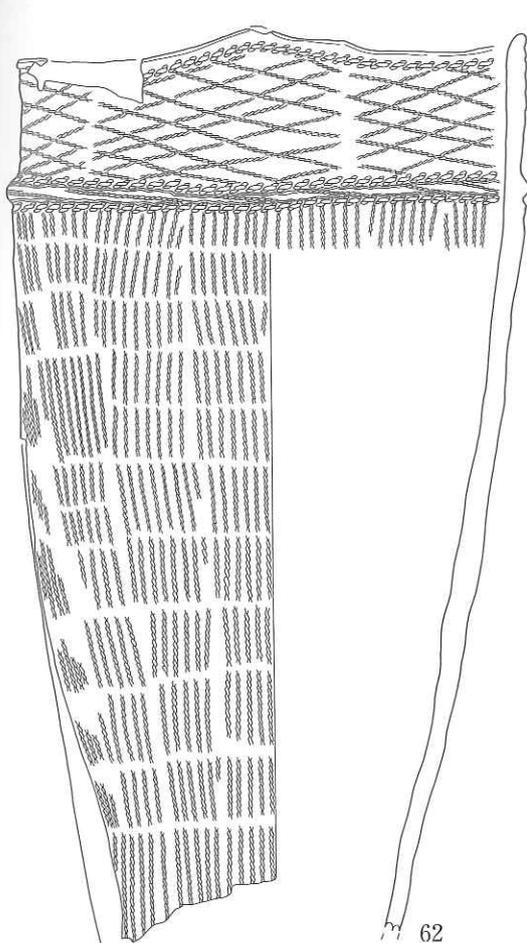
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
56	VIIH-74	IV	R単絡5、RLR押	低隆帯、RLR押、RLR		ミガキ		II-2・3-10	
57	VIIH-75	〃	R単絡5、RLR押	隆帯、RLR押、R+LR単絡1		〃		〃	

137図 第IV層 出土土器 (18)

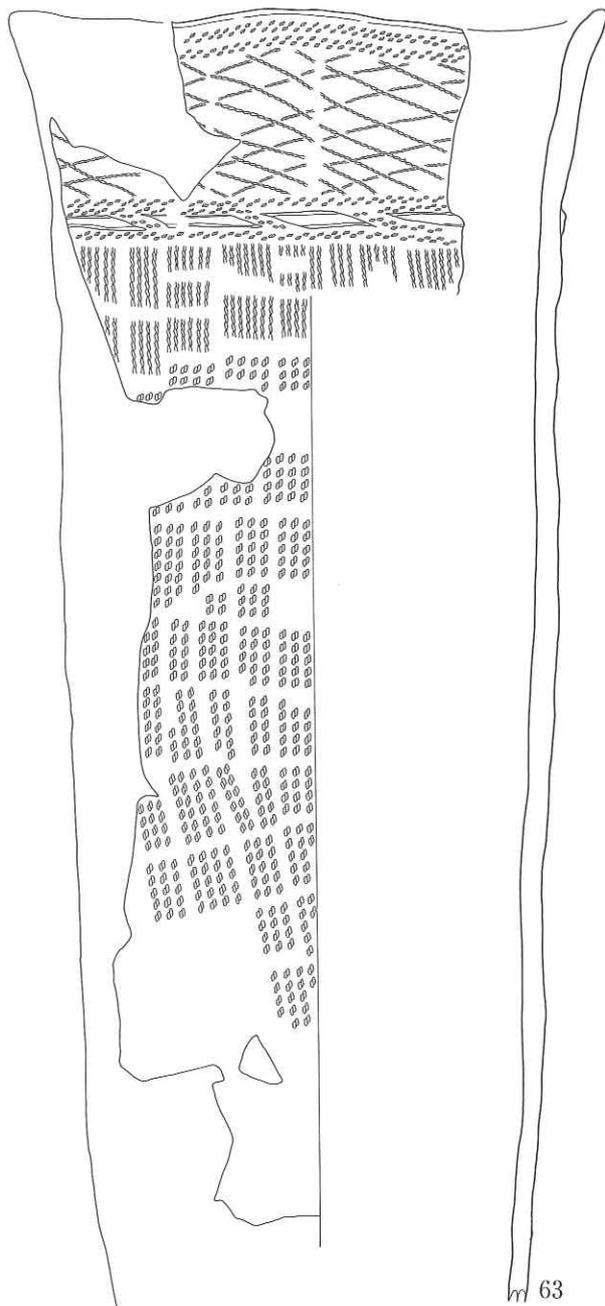


番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胸部上半	胸部下半				
58	VIIH-75	IV下	R単絡5	低隆帯、RL押、RL押		ミガキ	II-2.3-11		
59	VIIH-74	IV下	R単絡5、LR押	〃 LR押、LR押	LR単絡1	〃	素文	〃	
60	VIIH-75	〃	単絡5横位	〃 R押、R単絡1	R単絡1	〃	〃	〃	
61	VIIH-74	IV下	R単絡6、RLR押	〃 RLR押	〃	〃	〃	〃	

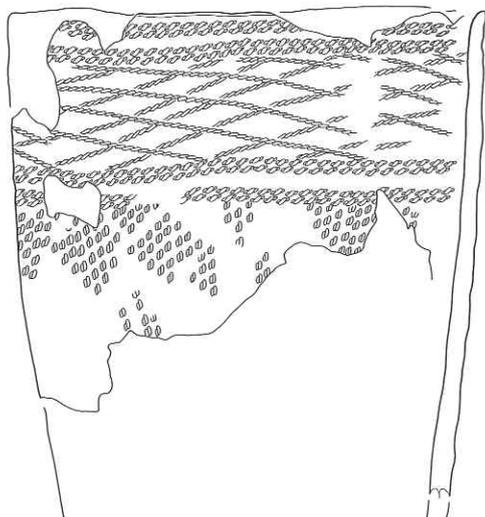
138図 第IV層 出土土器 (19)



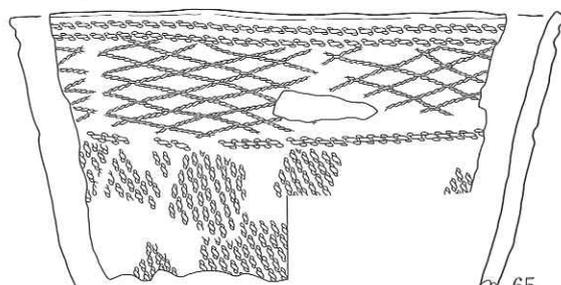
62



63



64

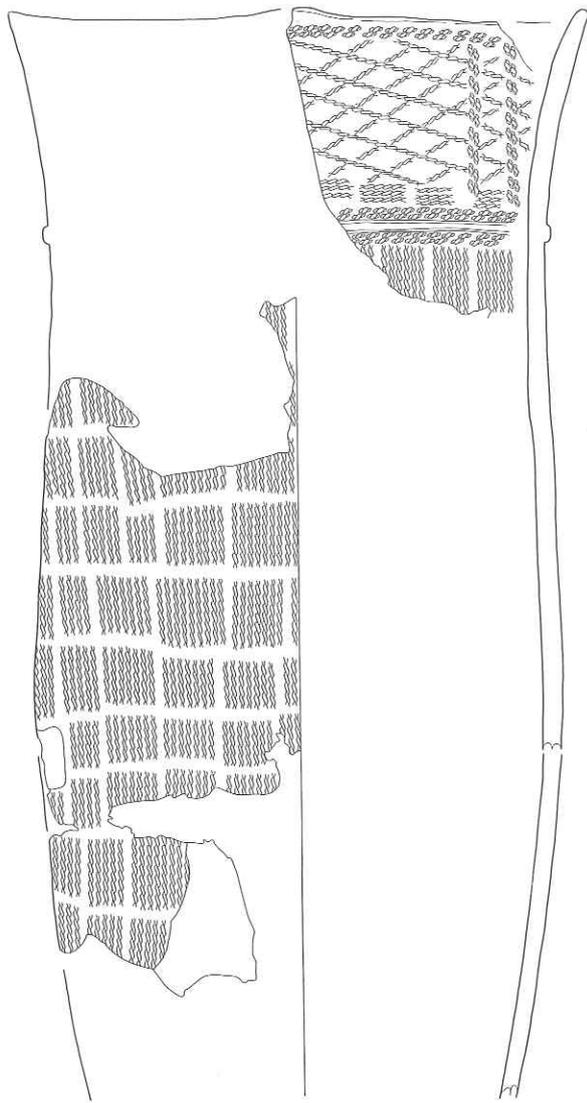


65

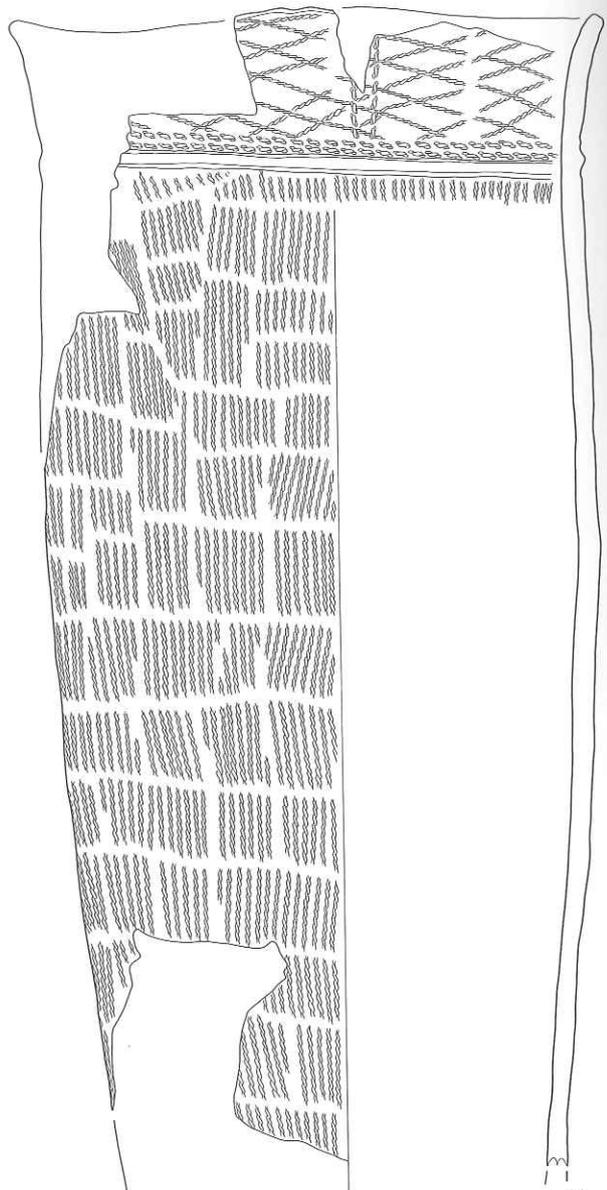
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胸部上半	胸部下半				
62	VIIH-76	IV	R単絡5、RLR押	低隆帯、R押、R単絡1	R単絡1	ミガキ	II-2.3-11		
63	VIIH-76	〃	〃	〃 RLR押、〃 LR単絡1	LR単絡1	〃	〃		
64	VIF-75	〃	R単絡5 〃	RLR		〃	〃		
65	VIG-76	〃	R単絡5、LR押	〃		〃	〃		

139図 第IV層 出土土器 (20)



66

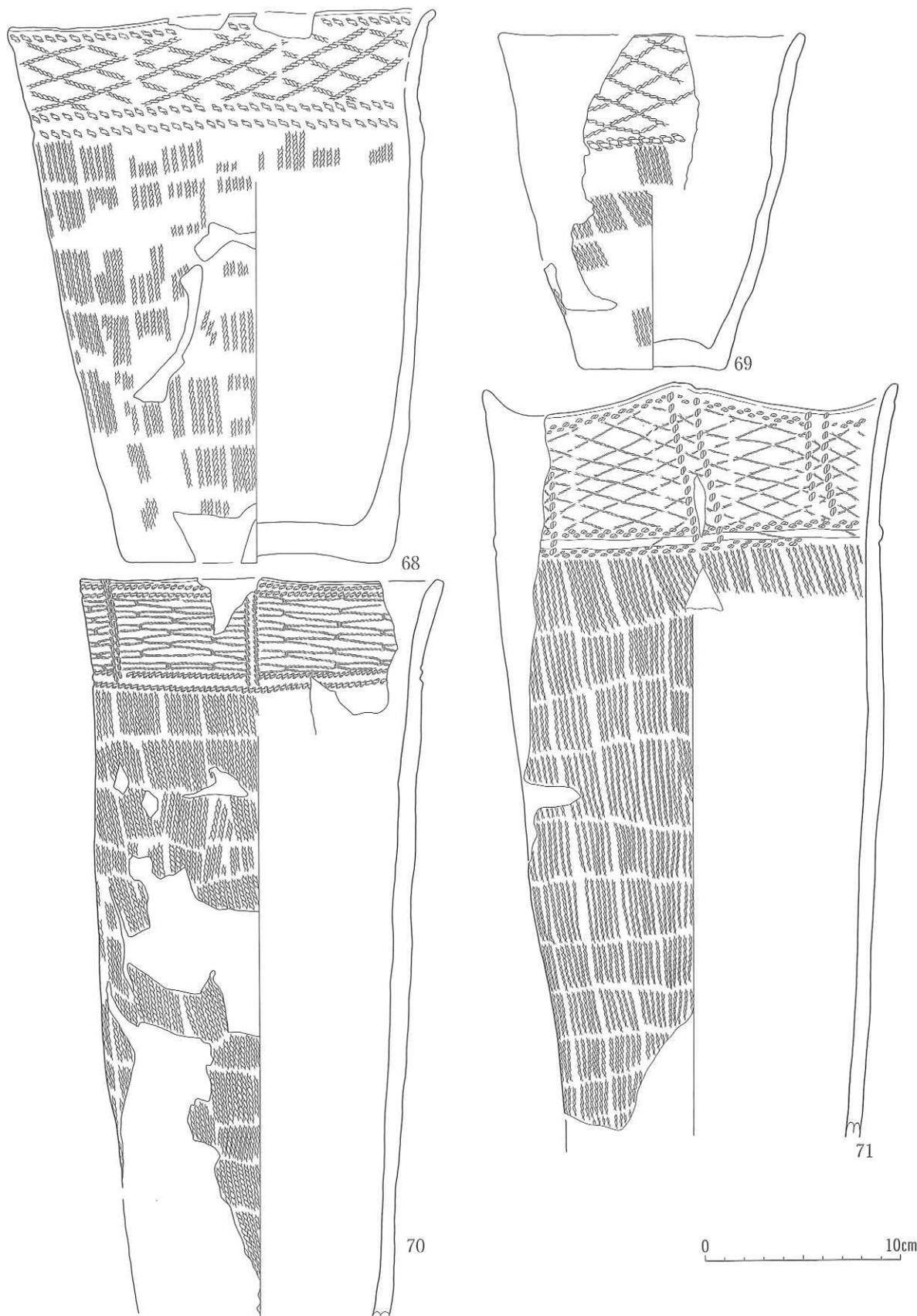


67

0 10cm

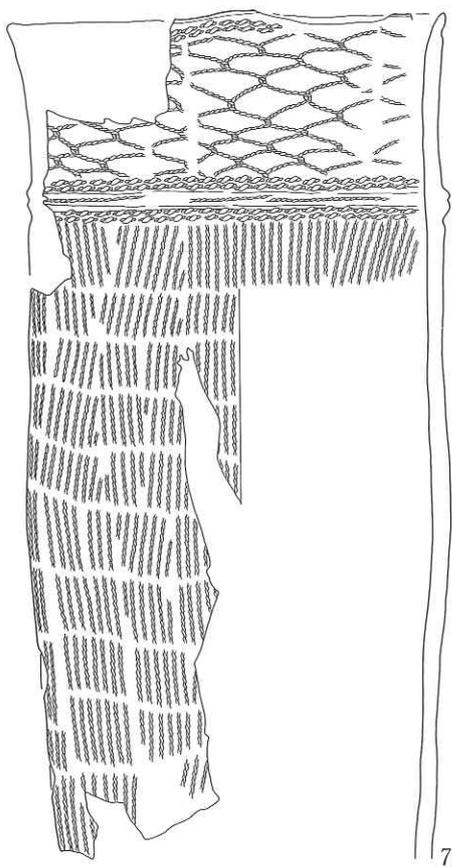
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
66	ⅢH-74	Ⅳ最下	R単絡5、RLR押	R単絡1	〃	ミガキ		Ⅱ-2-3-11	
67	ⅢF-75	〃	〃 LR押	低隆帯、R単絡1		〃		〃	

140図 第Ⅳ層 出土土器 (21)

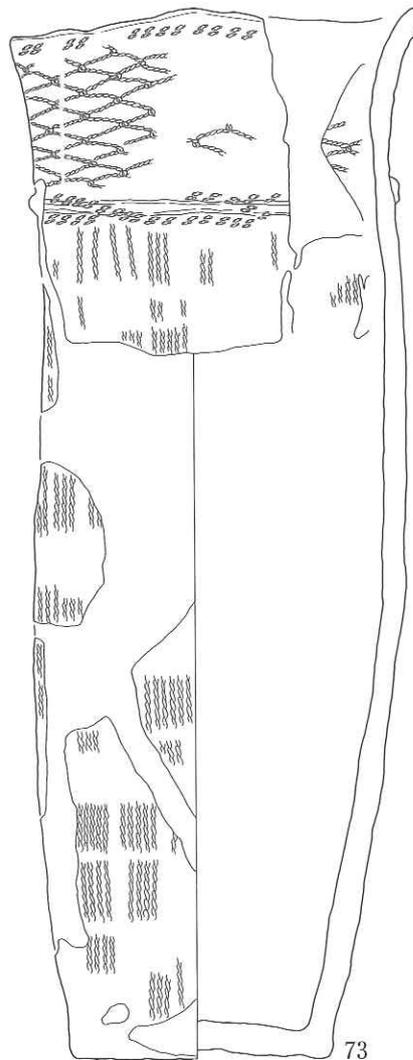


番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
68	ⅦG-76	Ⅳ	L単絡5、LR押	L単絡1	L単絡1	ミガキ	素文	Ⅱ-2-3-11	
69	ⅦH-74	Ⅳ下	R単絡5、LR押	R単絡1	R単絡1	〃	LR	〃	
70	〃	〃	R単絡6、RL押(横→縦)	〃	〃	〃	〃	Ⅱ-2-3-12	
71	ⅦH-75	〃	R単絡5、RLR押(横→縦)	低隆帯、RLR押、R単絡	〃	〃	〃	Ⅱ-2-3-11	

141図 第Ⅳ層 出土土器(22)

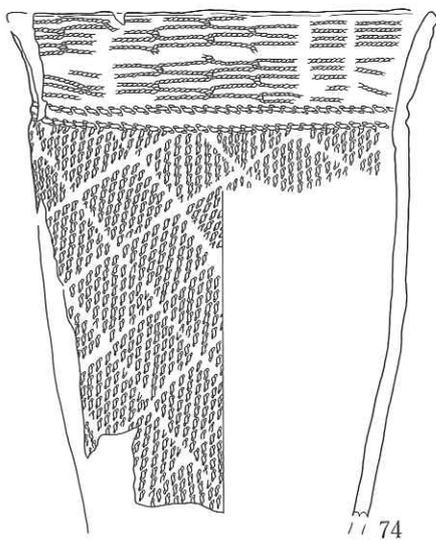


72



73

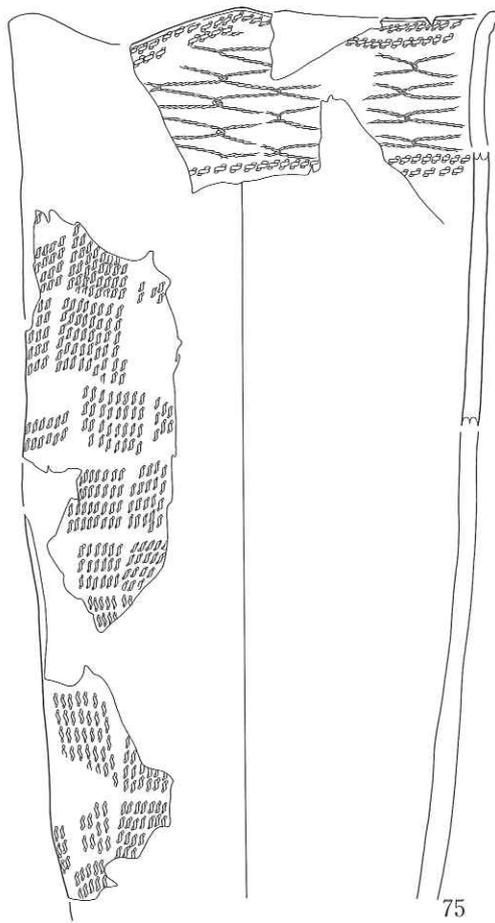
0 10cm



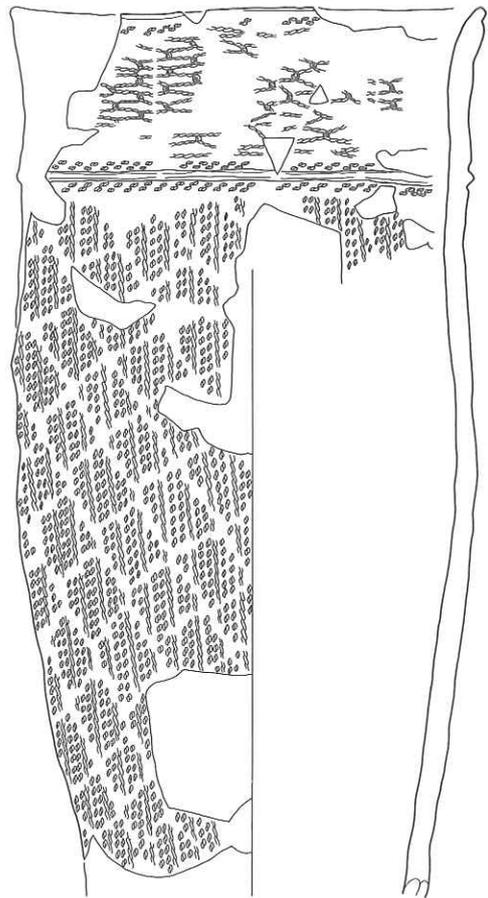
74

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胸部上半	胸部下半				
72	VIIH-75	IV	R単絡6、RLR押	低降帯 (R押)、R単絡1	R単絡1	ミガキ		II-2:3-11	
73	VIIH-75	〃	R単絡6	〃 (RLR押) 〃	〃	〃	素文	〃	
74	VIF-74	〃	R単絡6	RLR		〃	〃	〃	

142図 第IV層 出土土器 (23)



75

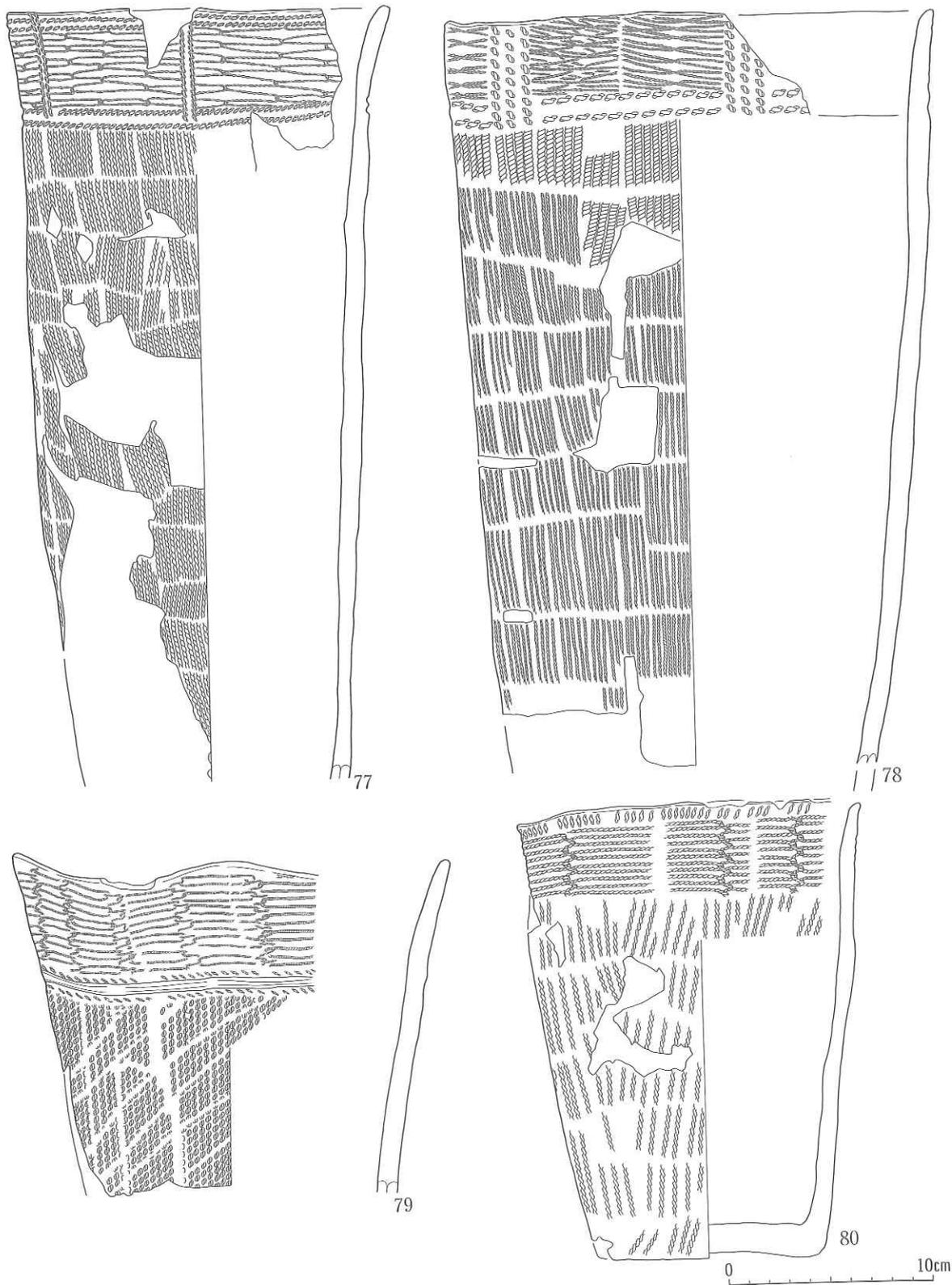


76

0 10cm

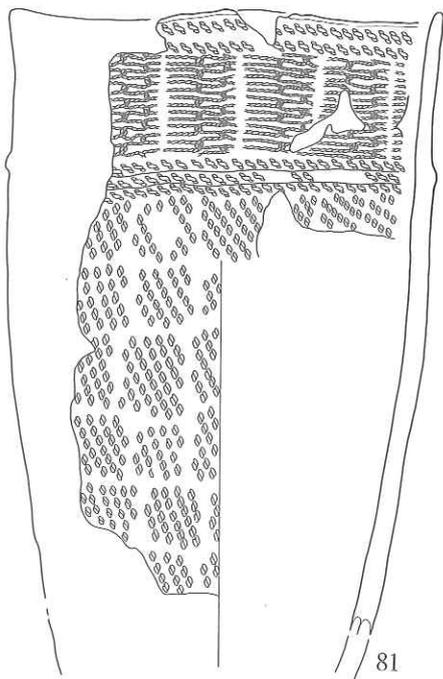
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胸部上半	胸部下半				
75	VII G-75	IV	R単絡6、RL押	LR単絡1		ミガキ		II-2-3-11	
76	VII F-74	〃	〃 RLR押	低隆帯、RLR押、RLR+RR		〃		〃	

143図 第IV層 出土土器 (24)

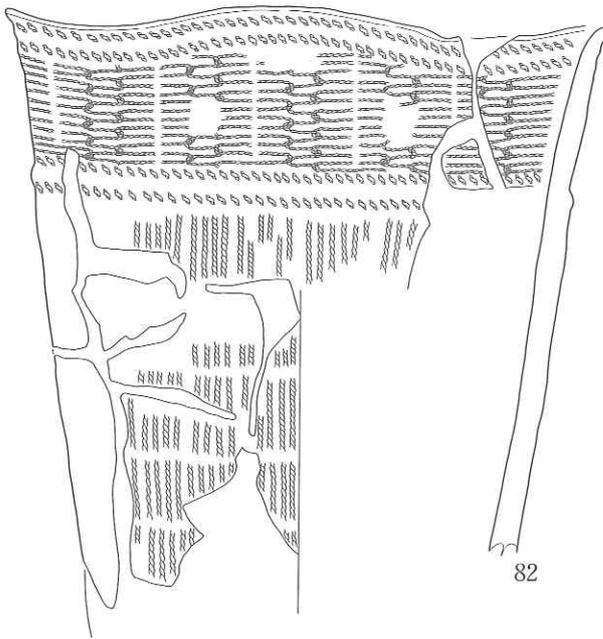
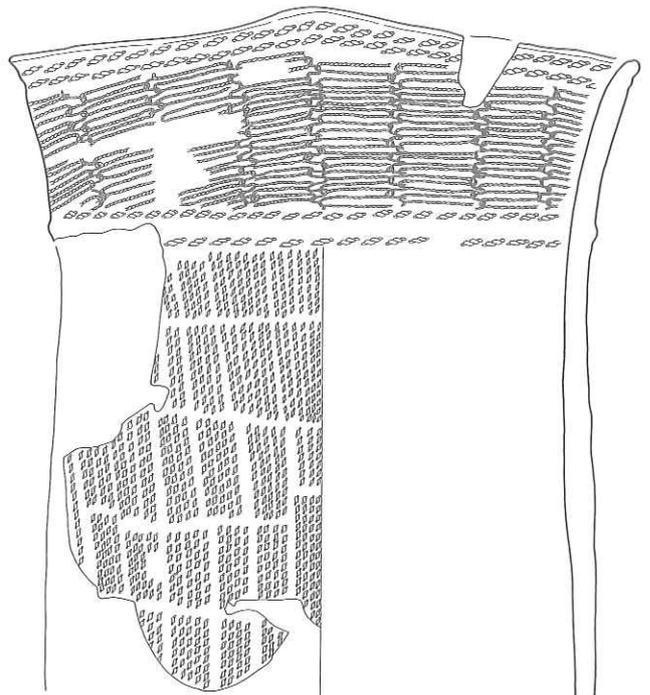


番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
77	ⅦF-75	Ⅳ下	R単絡6、LR押	LR単絡1	LR単絡1	ミガキ		Ⅱ-2-3-11	
78	ⅦF-74	Ⅳ	〃 RL押(横、縦)	RL、R単絡1	R単絡1	〃		〃	
79	ⅦH-74	〃	R単絡6A	低隆帯、LR押、LR単絡1	R単絡1		素文	〃	
80	ⅦH-75	Ⅳ下	〃	〃 RL押、R単絡1	R単絡1			〃	

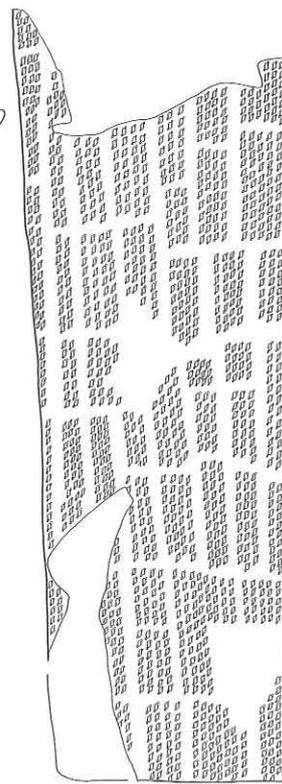
144図 第Ⅳ層 出土土器 (25)



81



82

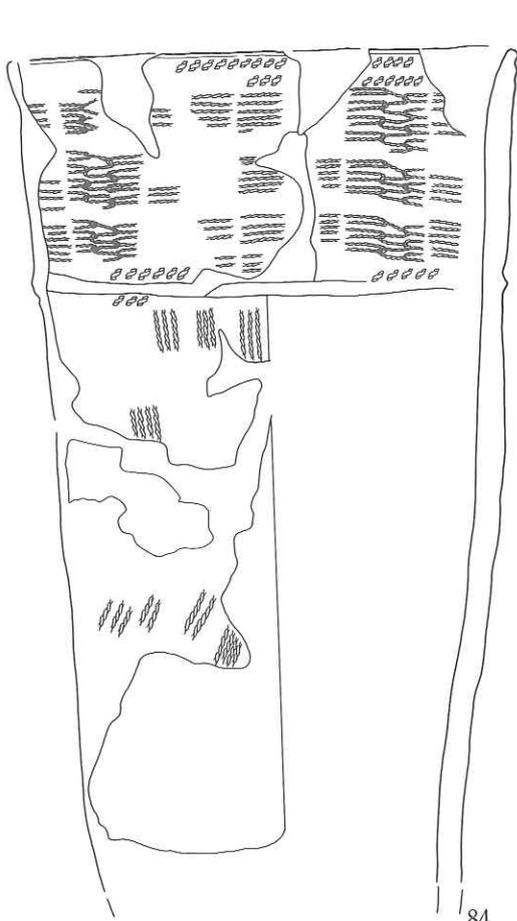


83

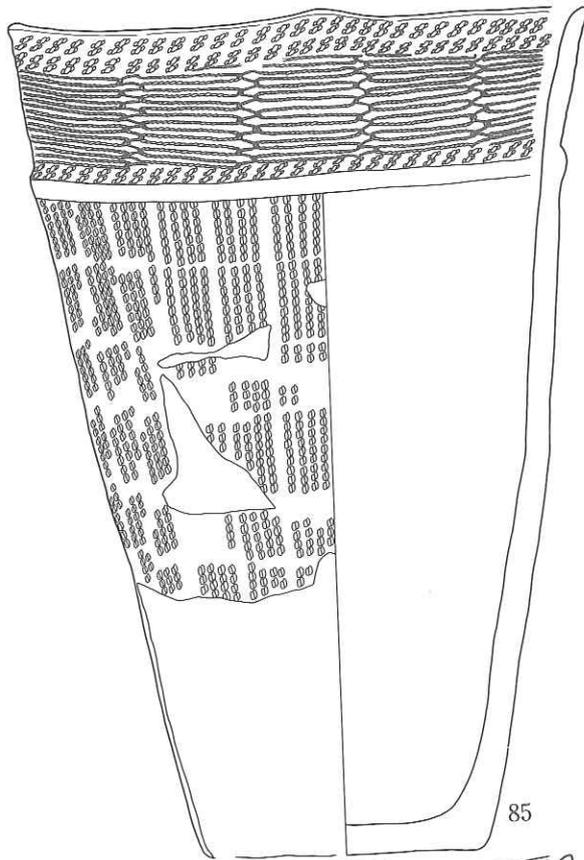
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
81	ⅦG-75	Ⅳ	R単絡6A、LR押	降帯、LR押、RLR		ミガキ		Ⅱ-2-3-12	
82	ⅦH-74	Ⅳ最下	〃	〃	低隆帯、LR押、R単絡1	〃		〃	
83	ⅦF-75	Ⅳ下	〃	RL押	〃、RL押、LR単絡1	〃		〃	

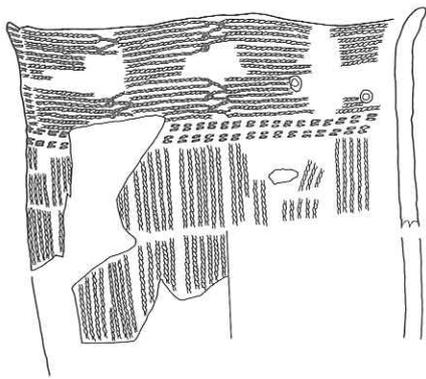
145図 第Ⅳ層 出土土器 (26)



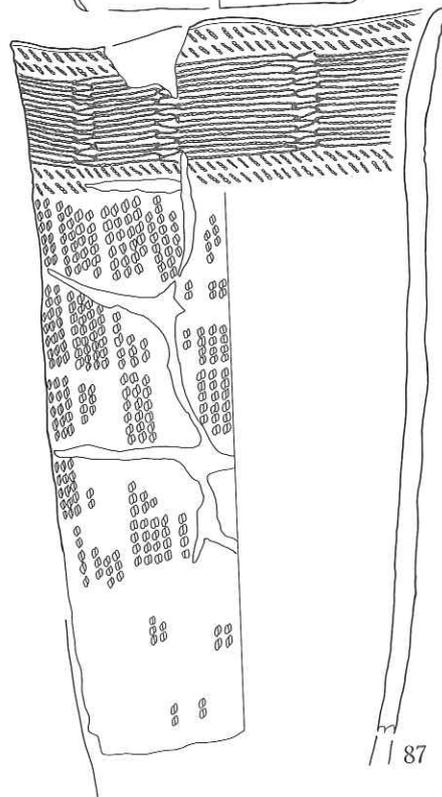
84



85



86

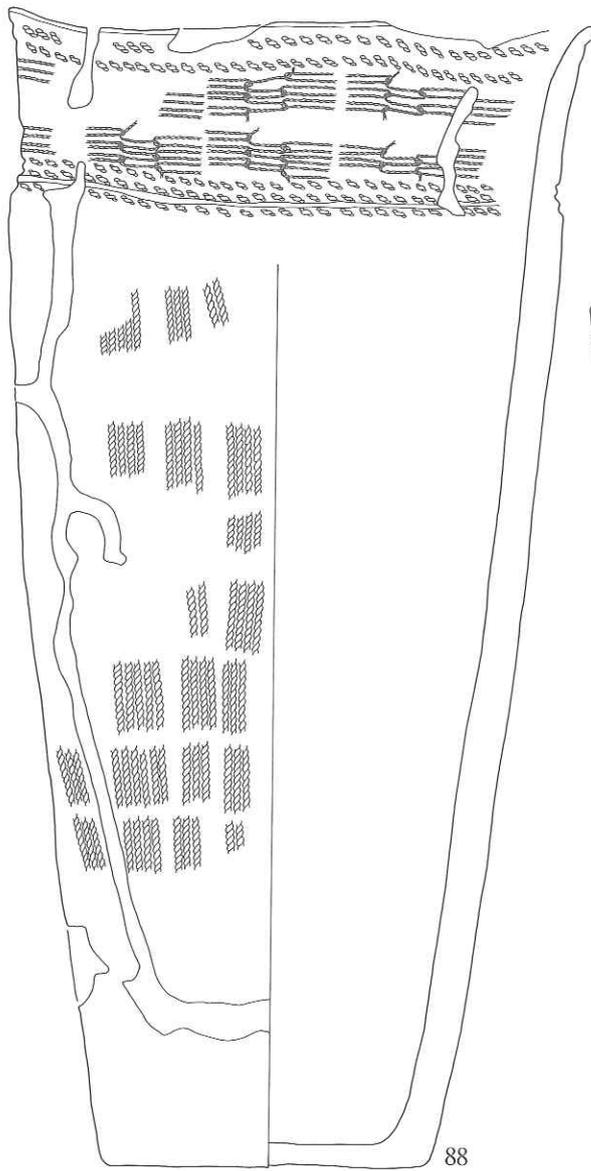


87

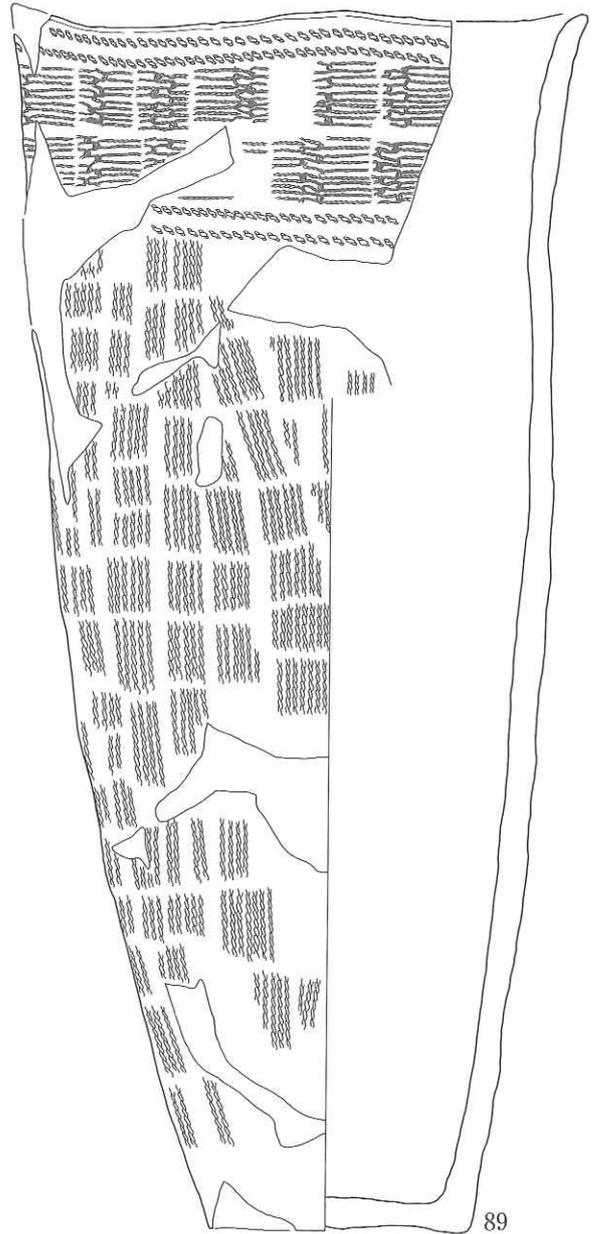
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
84	VII G-74	IV	R単絡6A、RL押	低隆帯、RL押、R単絡1		ミガキ	II-2.3-12		
85	VII G-76	〃	〃 RL押	〃 RL押、LR単絡1	LR単絡1	〃	素文	〃	
86	VII F-75	IV下	〃	R単絡1		〃	〃	〃	
87	VII F-74	IV	〃 LR押	RL単絡1	RL単絡1	ミガキ	〃	〃	

146図 第四層 出土土器 (27)



88

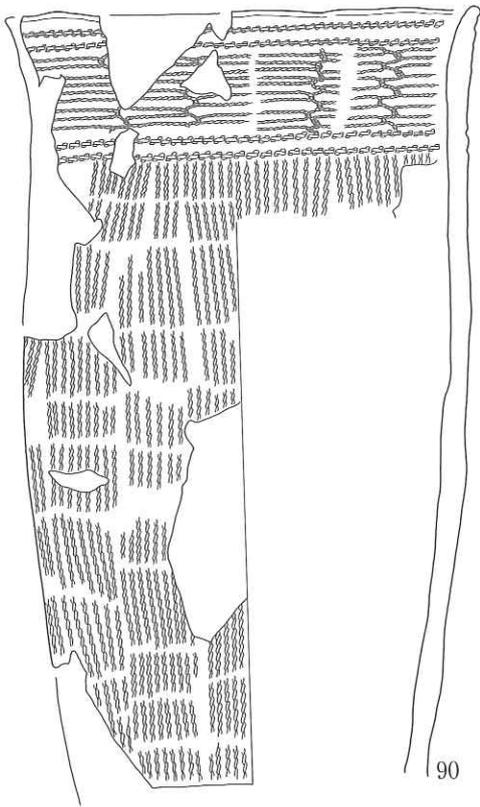


89

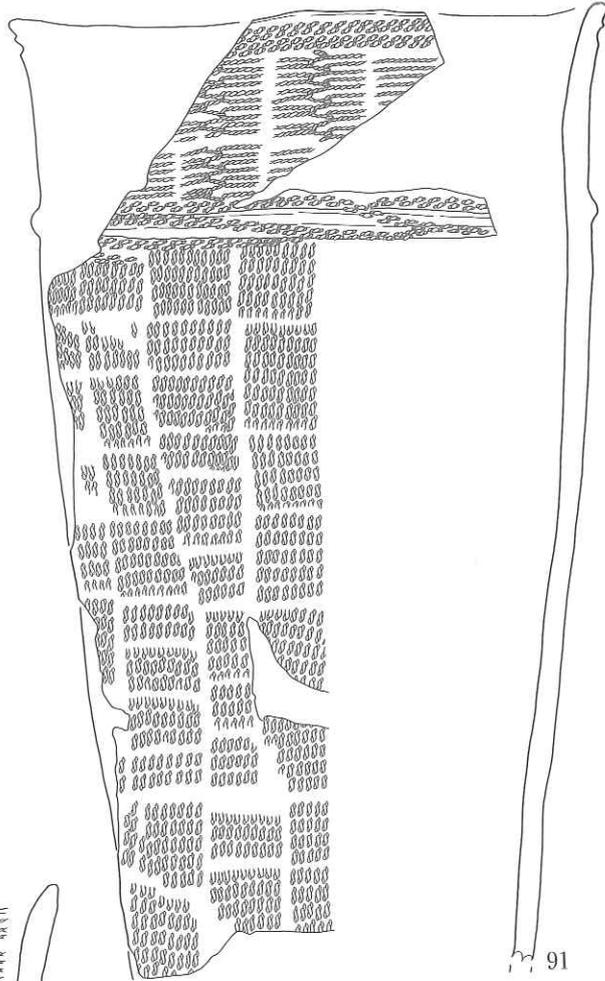
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
88	VIIH-76	IV	R単絡6A、LR押	L単絡1	L単絡1		素文	II-2・3-12	
89	VII G-76	〃	〃 〃	R単絡1	R単絡1	ミガキ	〃	〃	

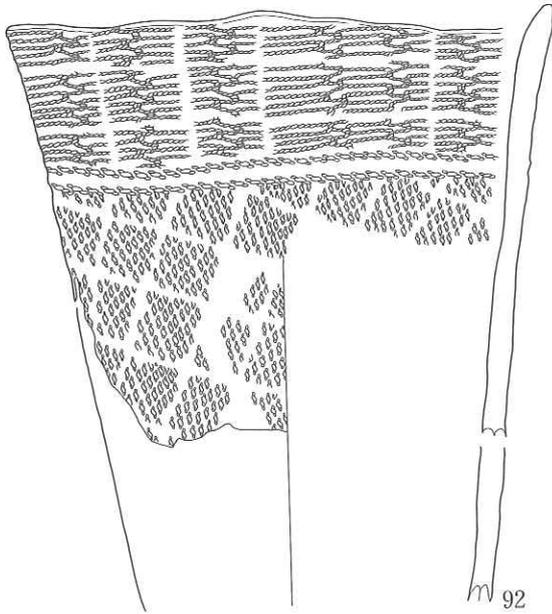
147図 第IV層 出土土器 (28)



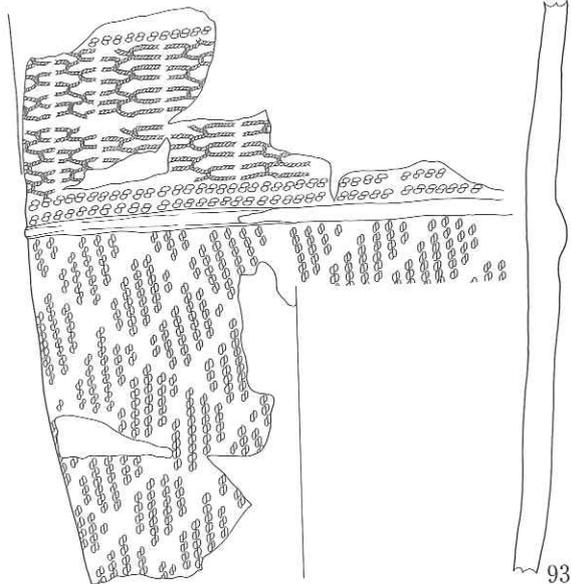
90



91



92

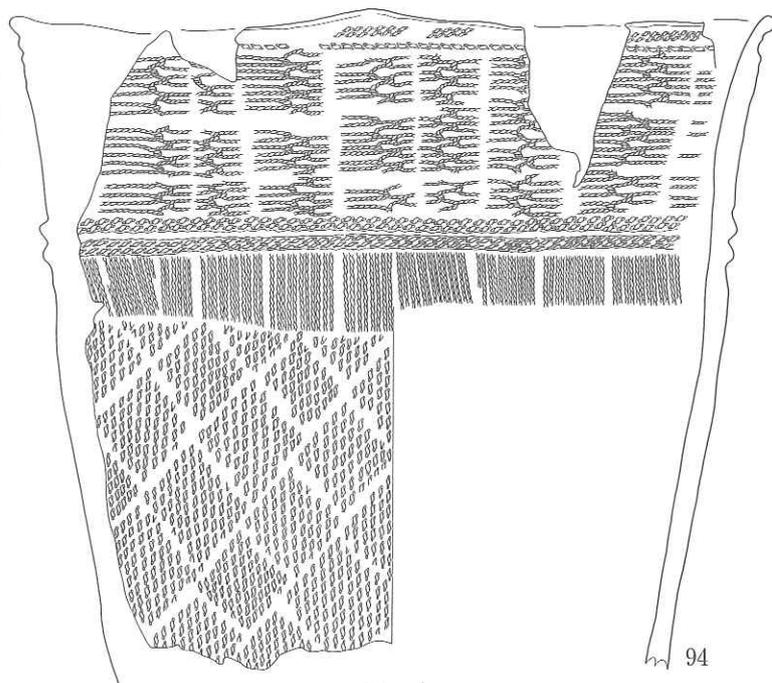


93

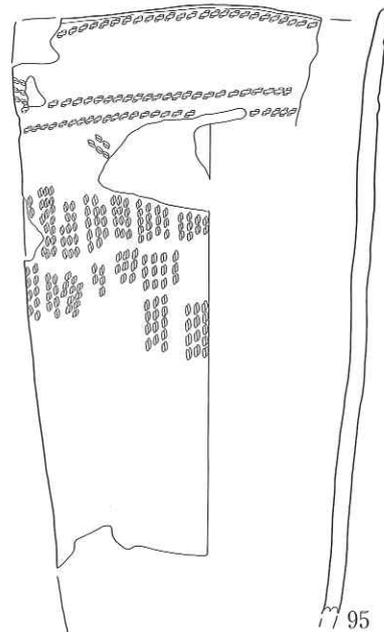
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
90	ⅧG-74	Ⅳ	R単絡6A、RL押	L単絡1		ミ方キ	Ⅱ-2.3-12		
91	〃	Ⅳ下	〃 RLR押	低隆帯、RLR押、LR単絡1		〃	〃		
92		Ⅳ	〃 LR押	RLR		〃	〃		
93	ⅧF-75	〃	〃 RL押	〃			〃		

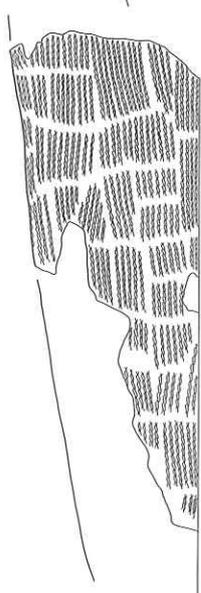
148図 第Ⅳ層 出土土器 (29)



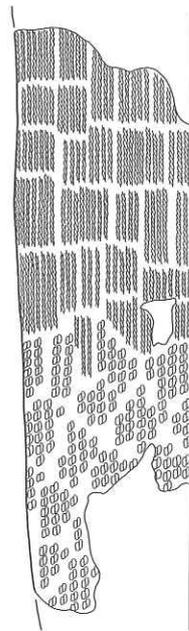
94



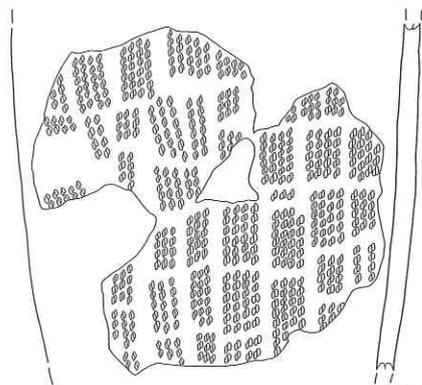
95



96



97

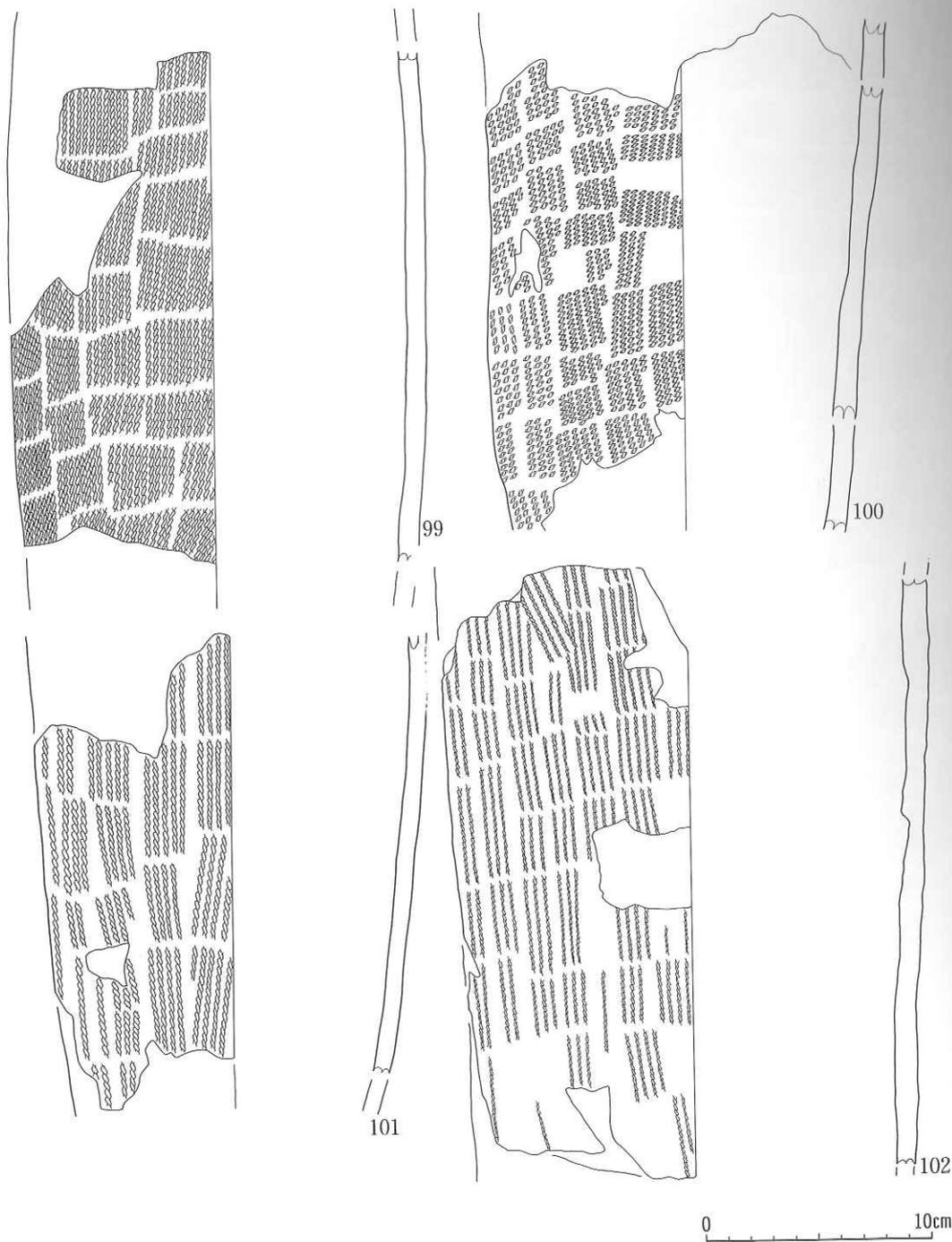


98

0 10cm

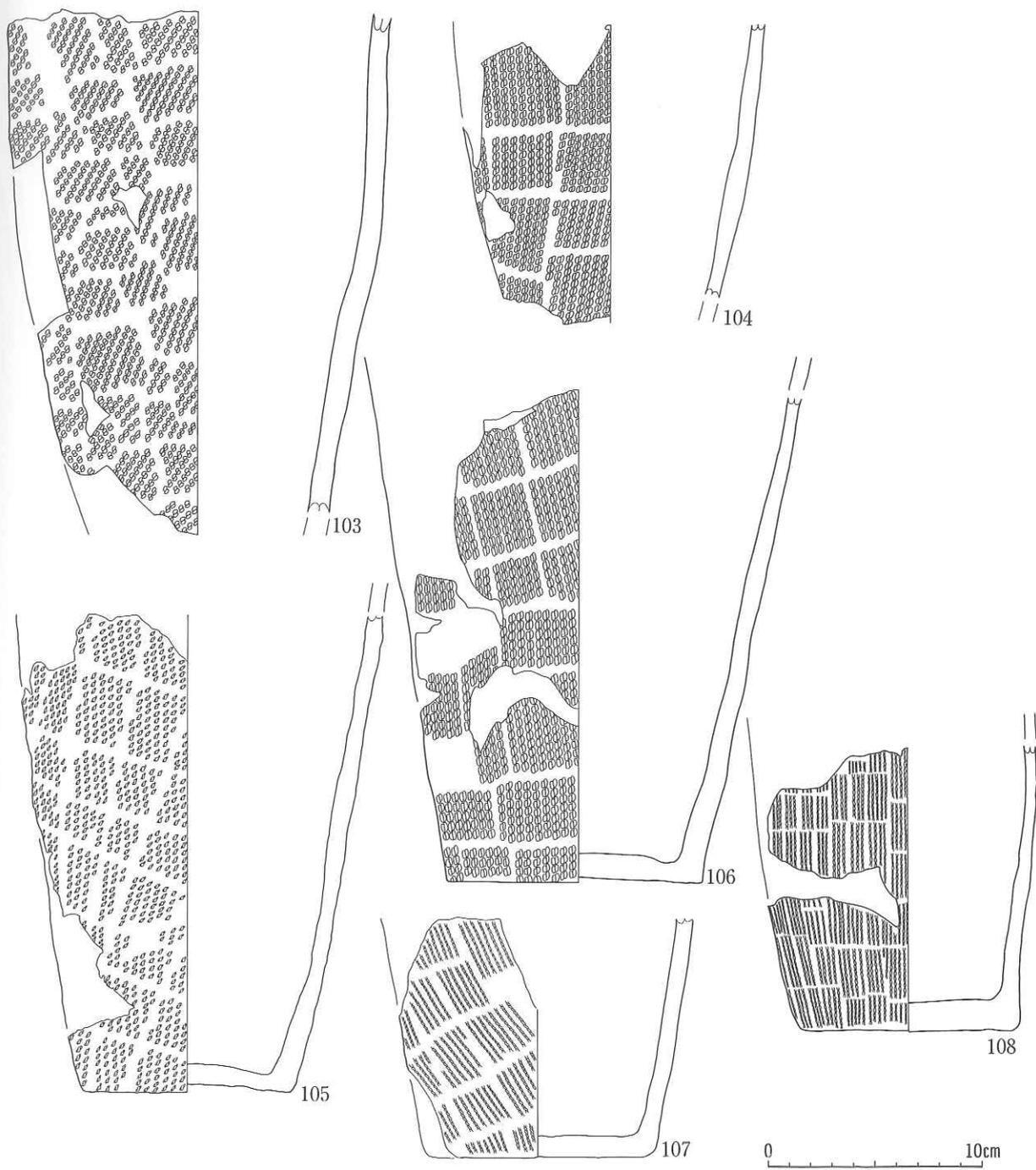
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
94	VIF-75	IV	R単絡6A、RLR押	風降帯(RLR押)、 R単絡1、RLR		ミガキ	—	II-2-3-12	
95	VIIH-75	〃	RL押	LR単絡1		〃		II-2-3-17	
96	VIIH-75	〃		LR単絡1		ミガキ		〃	
97	VIIH-75	IV下		R単絡1	LR単絡1	ミガキ		〃	
98	VIG-74	IV		LR単絡1					

149図 第IV層 出土土器 (30)



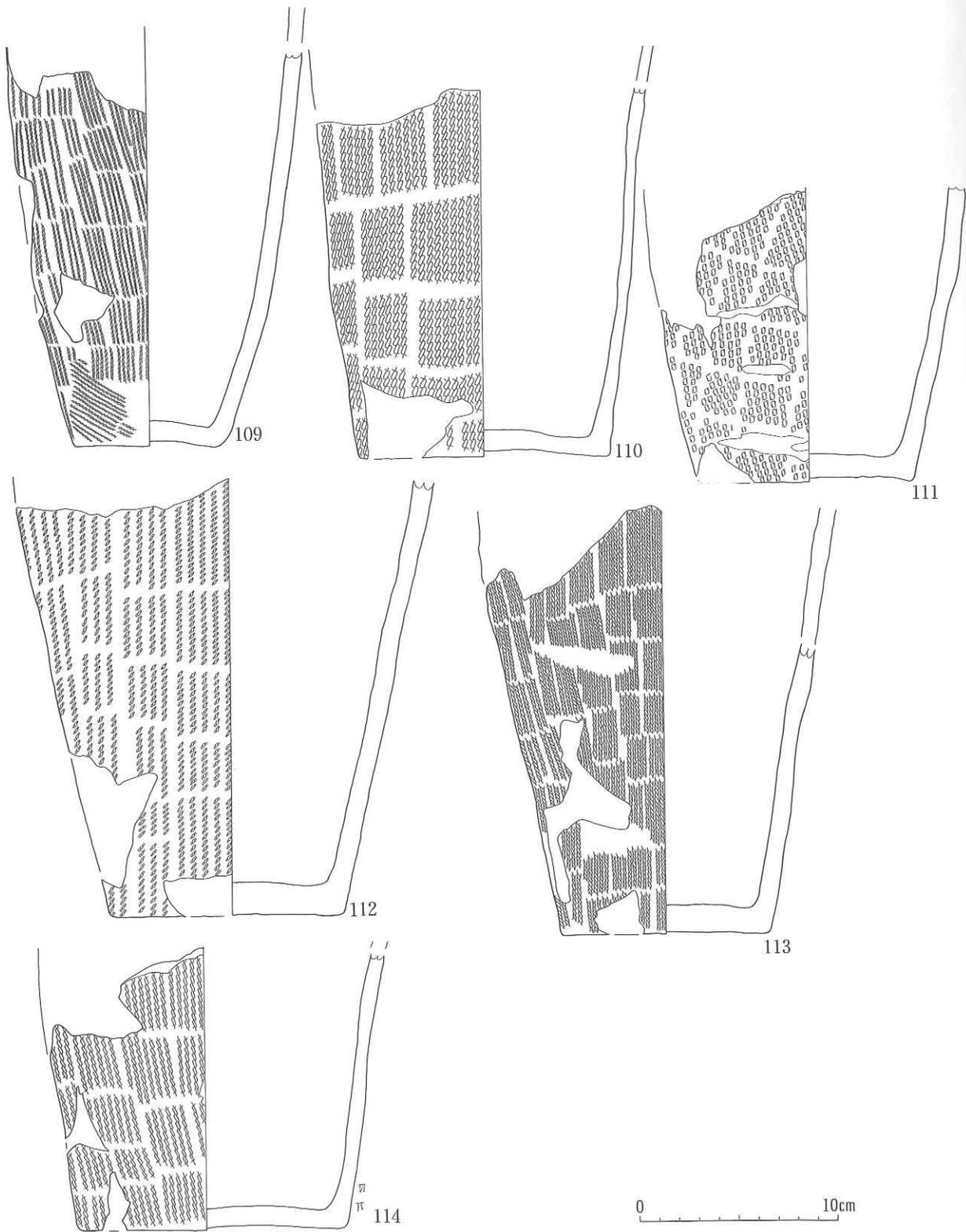
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胸部上半	胸部下半				
99	VIIH-75	IV		LR単絡1		ミガキ	II-2・3-17		
100	VIIH-74	〃			LR単絡1	〃	〃		
101	VIIH-74	IV最下			R単絡1	〃	〃		
102	VII G-74	IV下			〃		〃		

150図 第IV層 出土土器 (31)



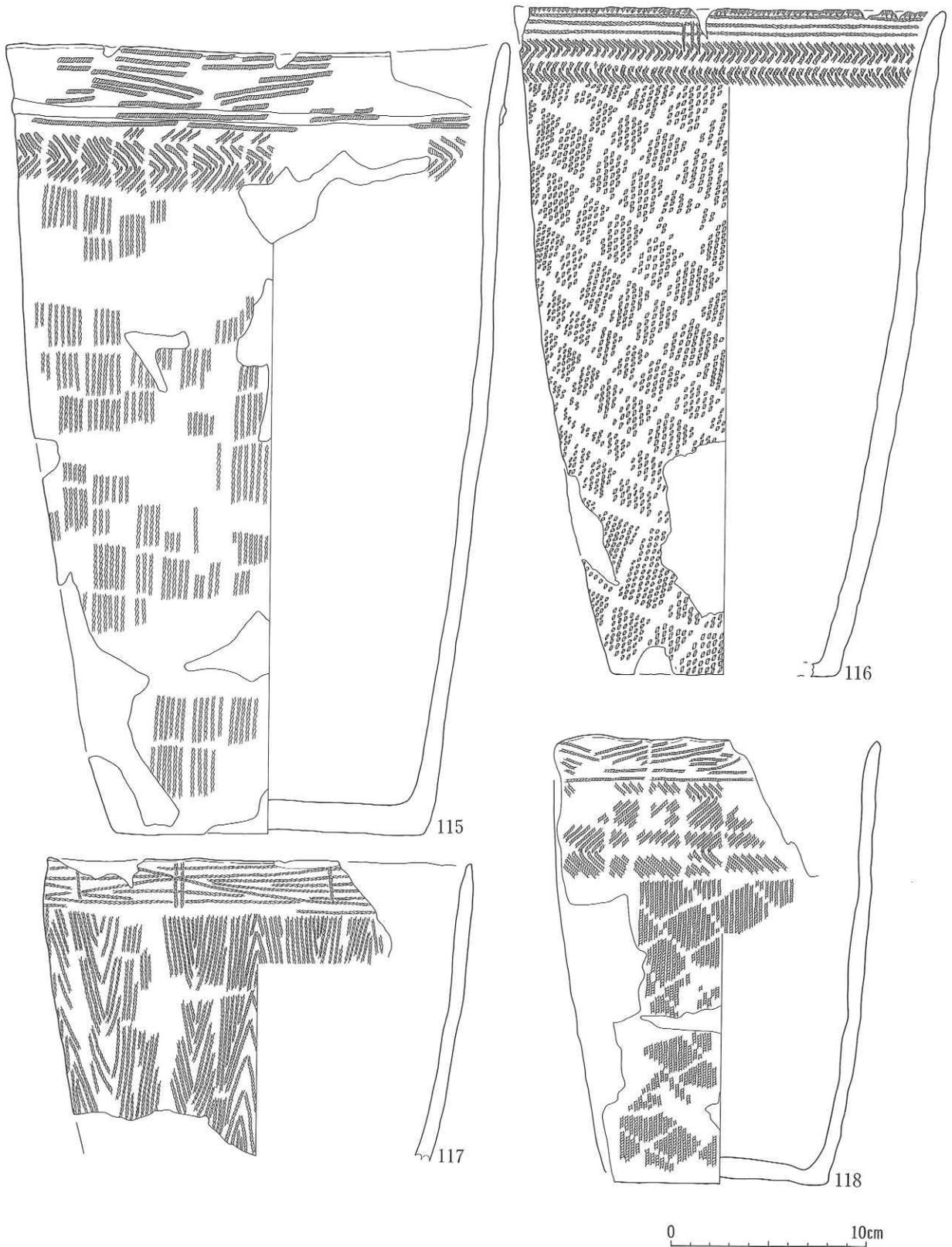
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
103	VIIH-74	IV		LRL		ミガキ	II-2-3-17		
104	VIIH-74	IV上			LR単絡1	〃			
105	VIIF-75	〃			RLR	〃	素文	〃	
106	VIIH-74	IV			LR単絡1	〃	〃	〃	
107	VIIH-75	〃			R単絡1	〃	〃	〃	
108	〃	〃			〃	〃	〃	〃	

151図 第IV層 出土土器 (32)



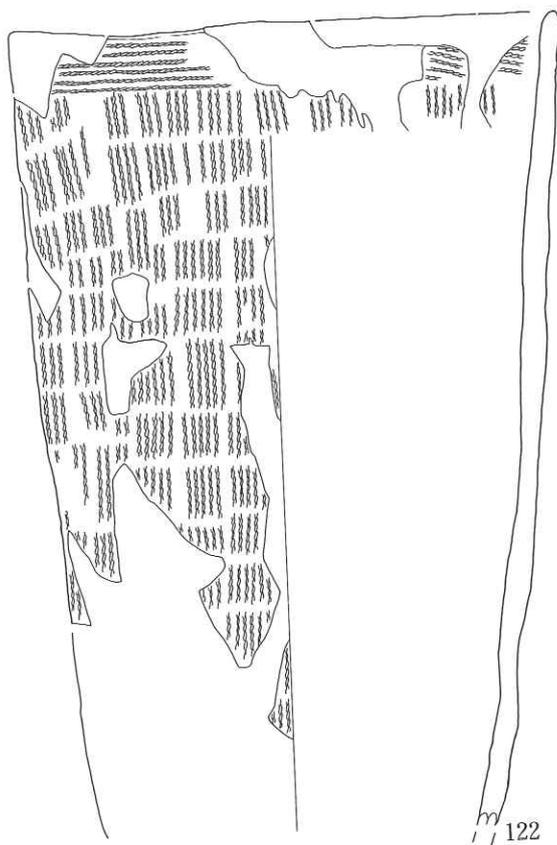
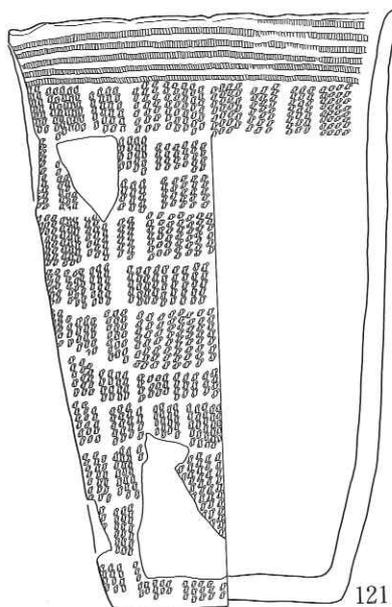
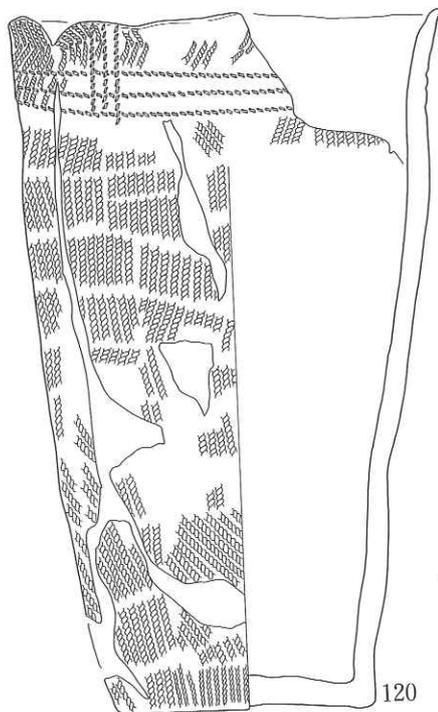
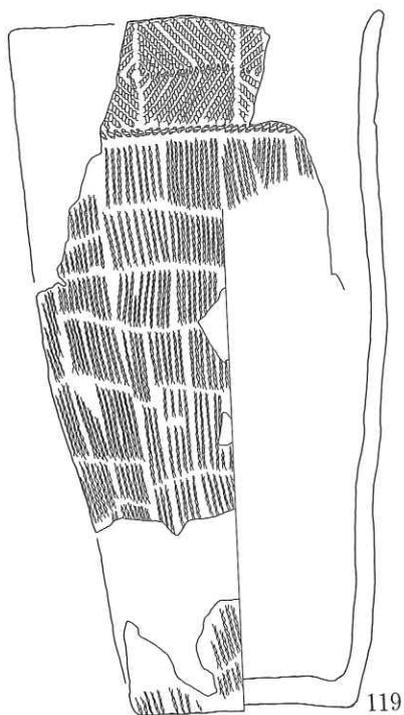
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
109	WG-74	IV			R単絡1	ミガキ	素文	II-2.3-17	
110	MH-75	〃			L単絡1	〃	〃	〃	
111	MH-74	IV最下			RLR	〃	〃	〃	
112	MH-75	IV			LR単絡1	〃	〃	〃	
113	WG-75	IV下			R単絡1	〃	〃	〃	
114	MH-74	〃			〃	〃	〃	〃	

152図 第IV層 出土土器 (33)



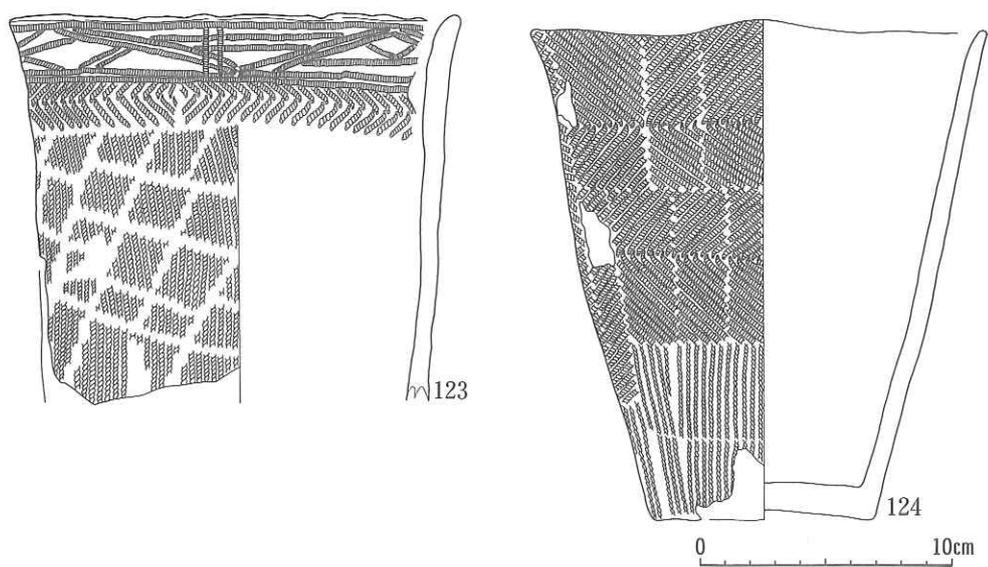
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
115	VI G-74	IV下	R押	(低隆帯, 結束第一種, L單絡)	L單絡1	ミガキ	素文	II-5-1	
116		IV	結束第一種、L押圧	RLR	RLR	〃		〃	
117	VI G-75	〃	L押圧	L單絡1A		〃		〃	
118	VI G-74	〃	R押	結束第一種 RL	RL	〃	素文	〃	

153図 第IV層 出土土器 (34)



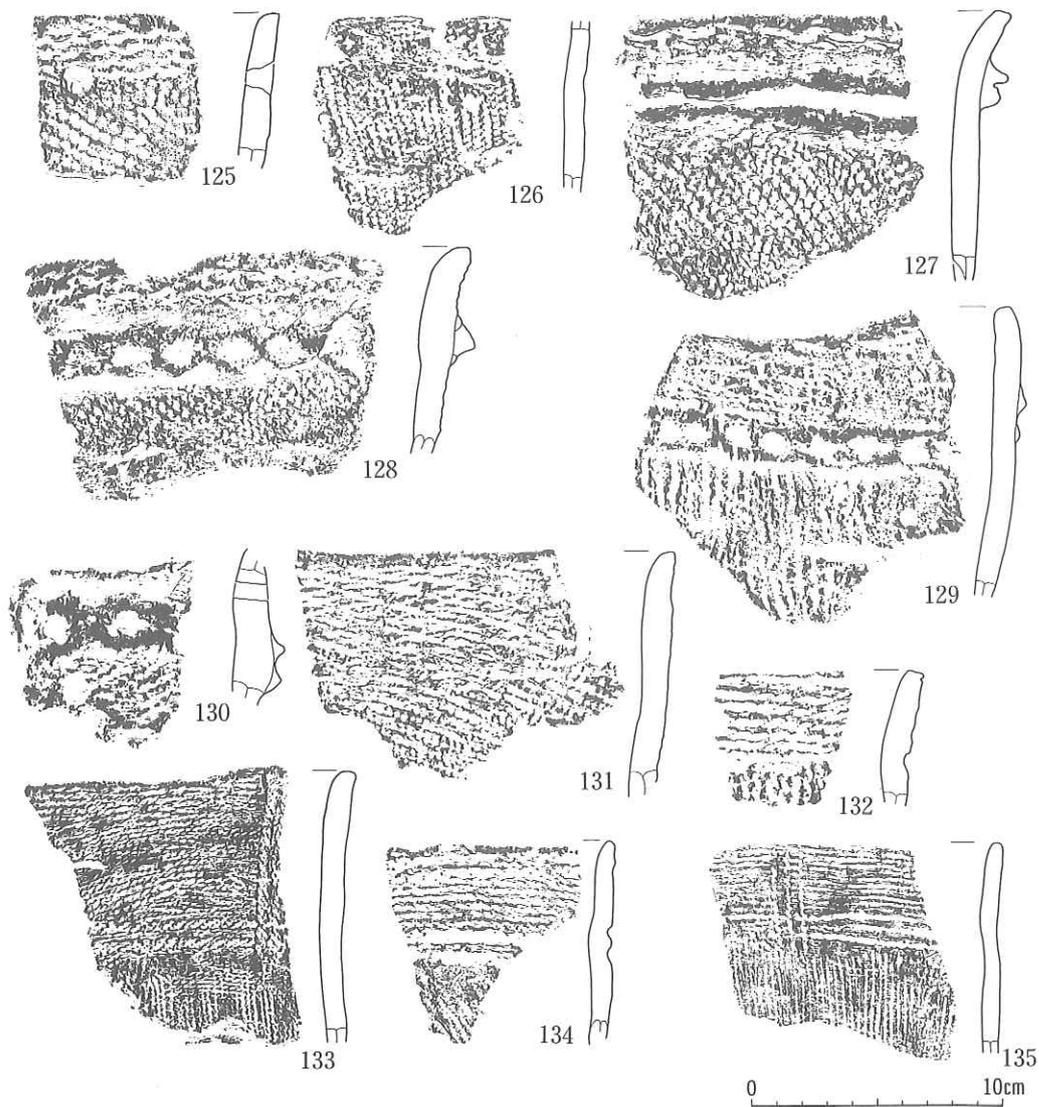
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
119	VIG-75	IV	結束第一種、RL押	R単絡1	R単絡1	ミガキ	素文	II-5-1	
120	VIG-74	〃	〃 LR押	〃	〃	〃	〃	〃	
121	VIG-75	〃	L押	RL単絡1	RL単絡1		〃	〃	
122	〃	〃	R押	L単絡1		ミガキ	〃	〃	

154図 第IV層 出土土器 (35)



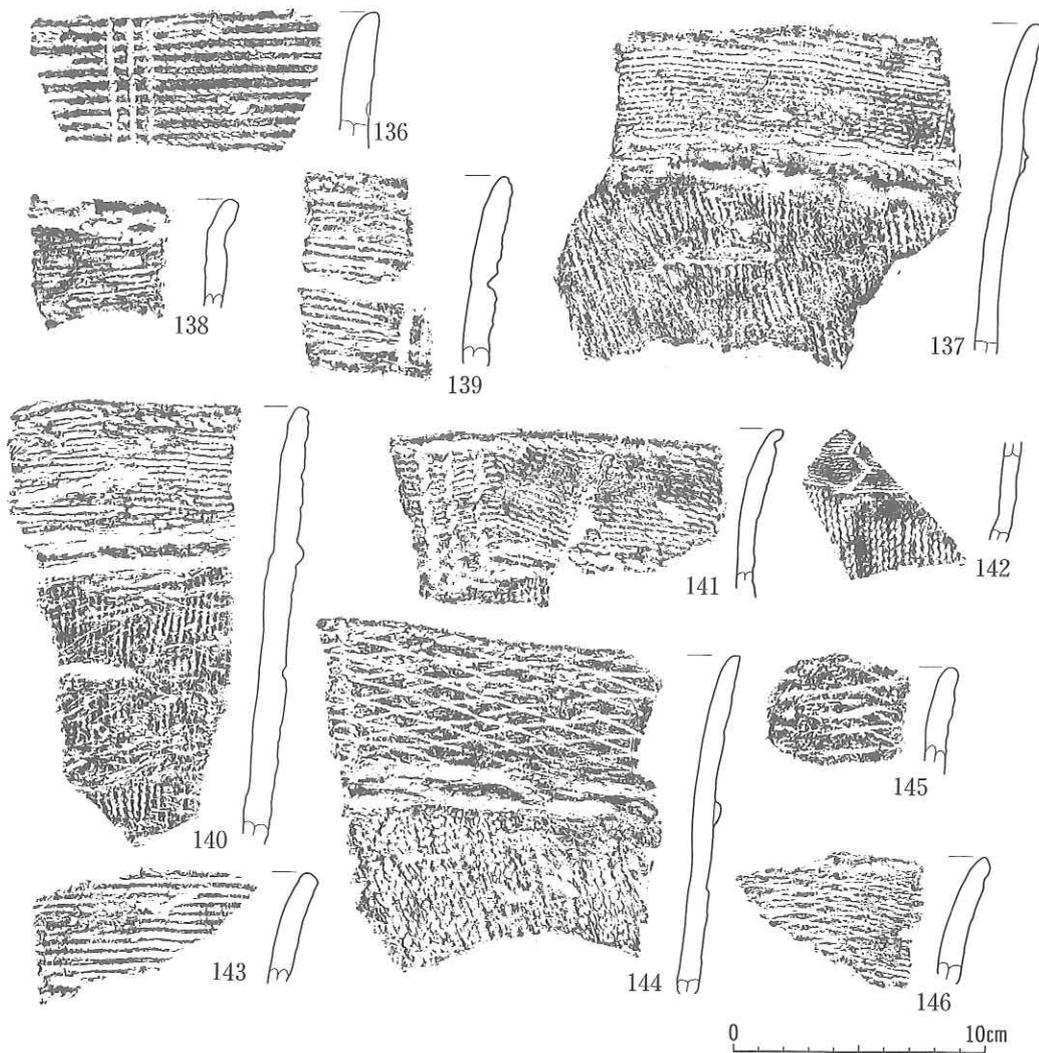
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
123	VII G-74	IV上	R押	結束第一種、RL		ミガキ		II-5-1	
124	〃	IV	結束第一種	〃	R単絡I	〃		〃	

155図 第IV層 出土土器 (36)



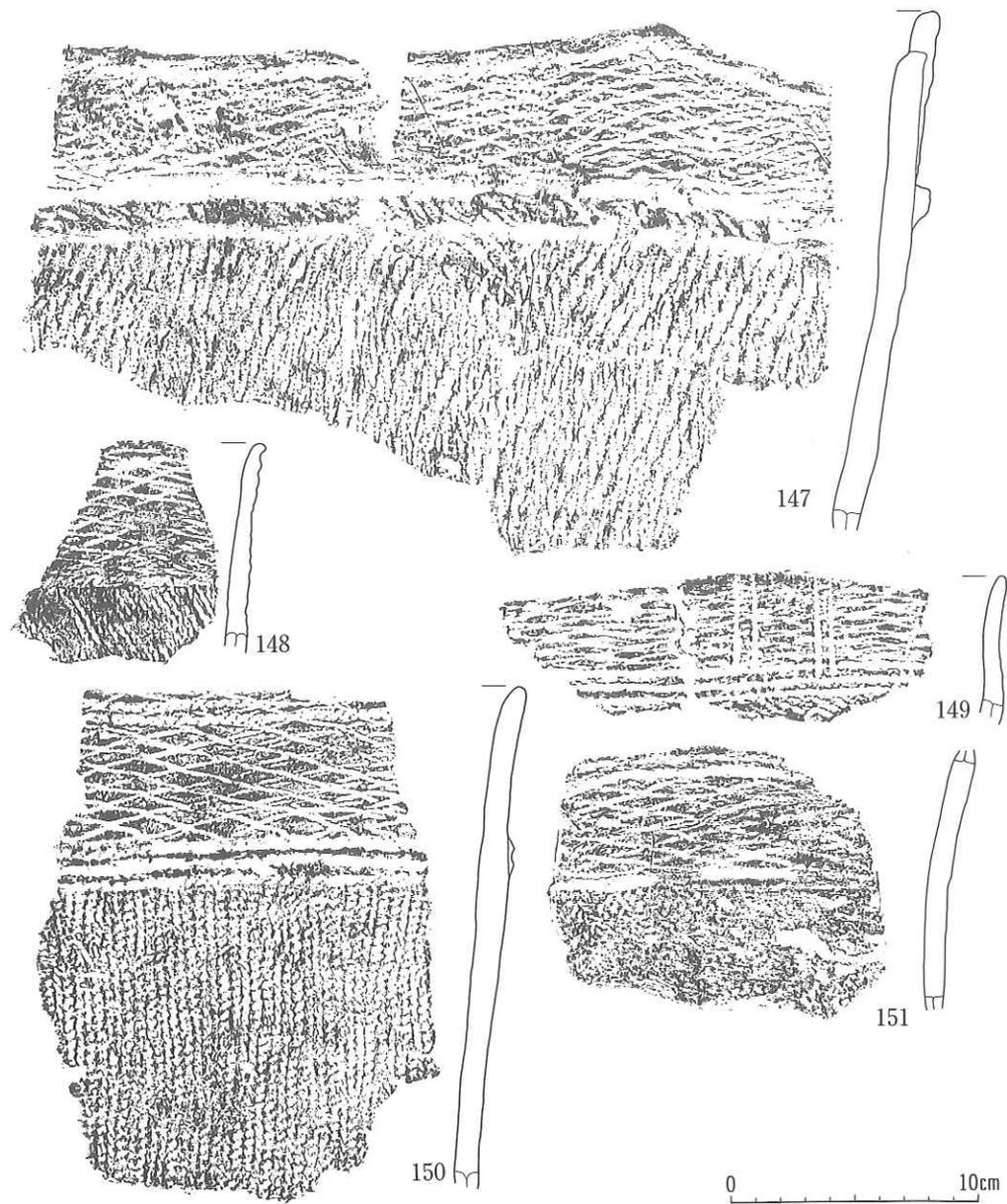
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
125	VII G-74	IV	L結節回転	RLR		ミガキ	II-2・3-4		
126	〃	〃		RLR		〃	II-2・3-1		
127	VII F-74	〃	L結節回転、隆帯(凹線)	〃		〃	II-2・3-4		
128	VII F-75	〃	〃 〃 (凹形刺突)	〃		〃	〃		
129	VII G-75	〃	R単絡1、R結節回転、隆帯				〃		
130	VII G-74	〃	RL結節回転、隆帯 (凹形刺突)			ミガキ	〃		
131	〃	〃	R単絡1	RLR		〃	II-2・3-6		
132	〃	〃	R単絡1、RL押	R単絡1			〃		
133	VII F-74	〃	〃 RLR押	〃		ミガキ	〃		
134	VII H-74	〃	LR単絡1 〃	RR			〃		
135	VII G-75	〃	R単絡1、RL押	R単絡1		ミガキ	〃		

156図 第四層 出土土器 (37)



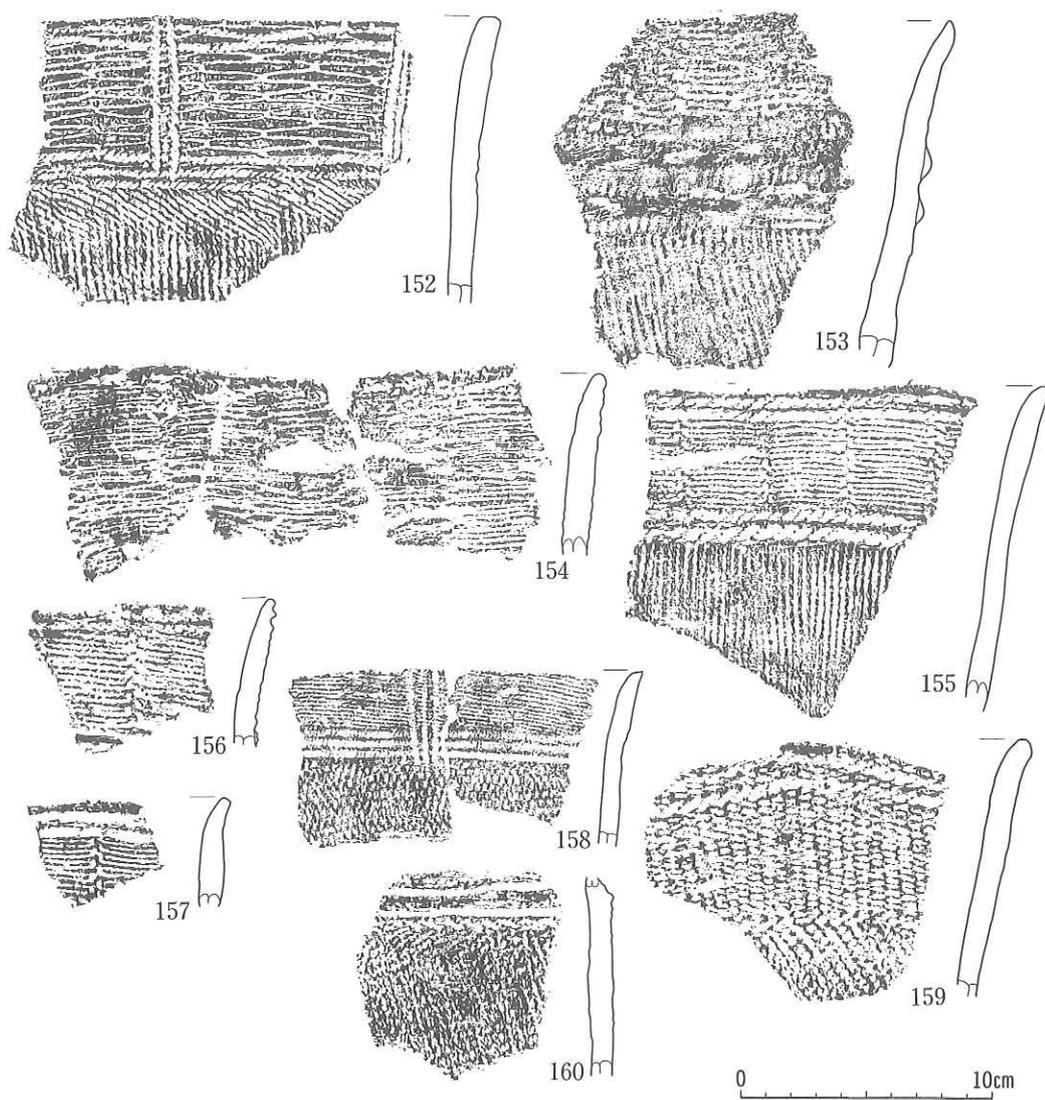
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
136	ⅦG-74	Ⅳ	LR単絡1、LR押			ミガキ		Ⅱ-2・3-6	
137	ⅦH-74	〃	R単絡1、LR押			〃		〃	
138	ⅦF-74	〃	〃 〃			〃		〃	
139	ⅦG-74	〃	〃 低隆帯	R単絡1		ナデ		〃	
140	ⅦH-75	〃	単絡1、低隆帯、LR押	〃		ミガキ		〃	
141	ⅦF-75	〃	L単絡1、LR押	L単絡1		〃		〃	
142	〃	〃	L単絡3	LR単絡1		〃		Ⅱ-2・3-9	
143	ⅦH-74	〃	L単絡1、RL押					Ⅱ-2・3-6	
144	〃	Ⅳ最下	R単絡5、低隆帯、RL押	L単絡1		ナデ?		Ⅱ-2・3-11	
145	ⅦF-74	Ⅳ	〃			ミガキ		〃	
146	ⅦH-74	Ⅳ最下	〃			〃		〃	

157図 第Ⅳ層 出土土器 (38)



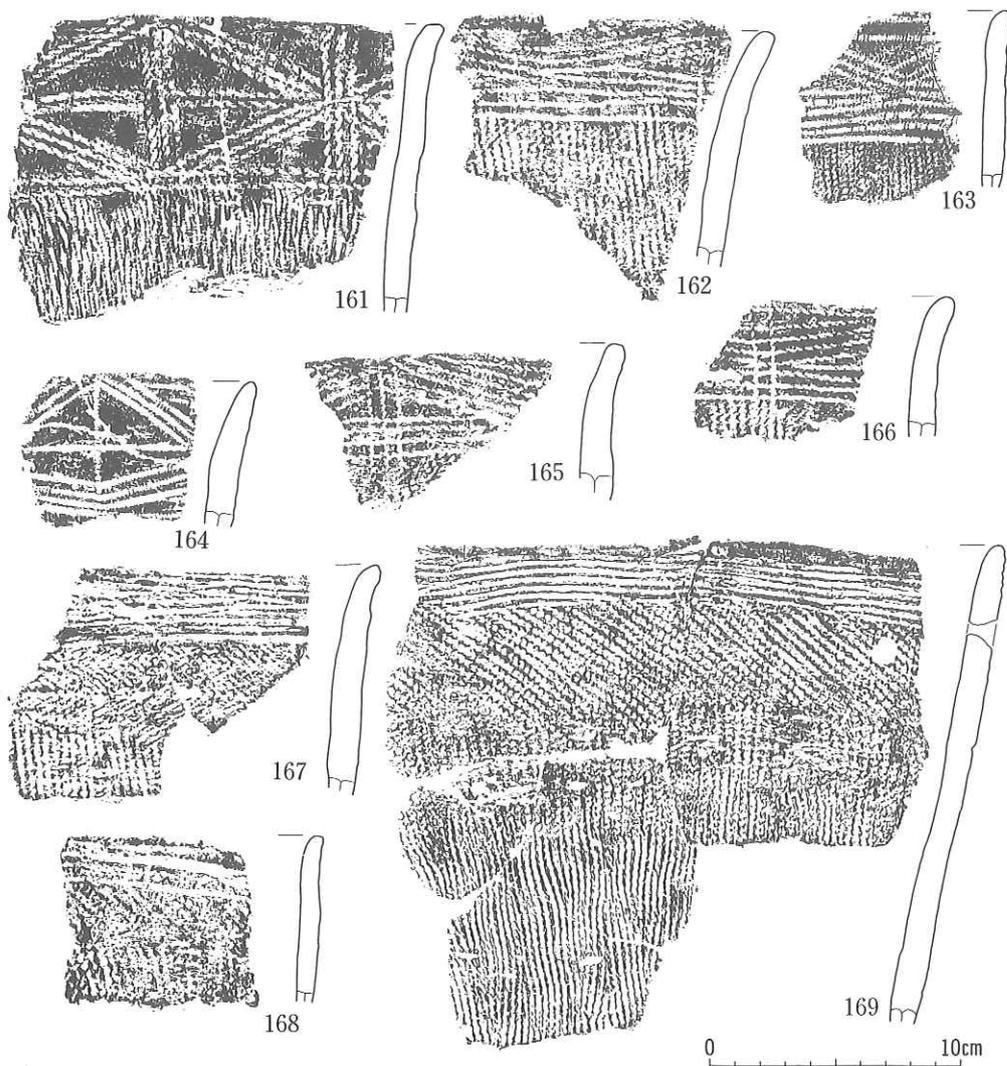
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
147	VIG-74	IV	R単絡5、隆帯、RLR押	LL		ミガキ		II-2.3-11	
148	VIIH-75	◇	◇ RLR押	I単絡1		◇		◇	
149	VIG-74	◇	R単絡6、LR押			◇		II-2.3-12	
150	VII F-75	◇	R単絡5、低隆帯、RLR押	RLR		ナデ?		II-2.3-11	
151	VIG-75	◇	◇ LR押	RLR				◇	

158図 第IV層 出土土器 (39)



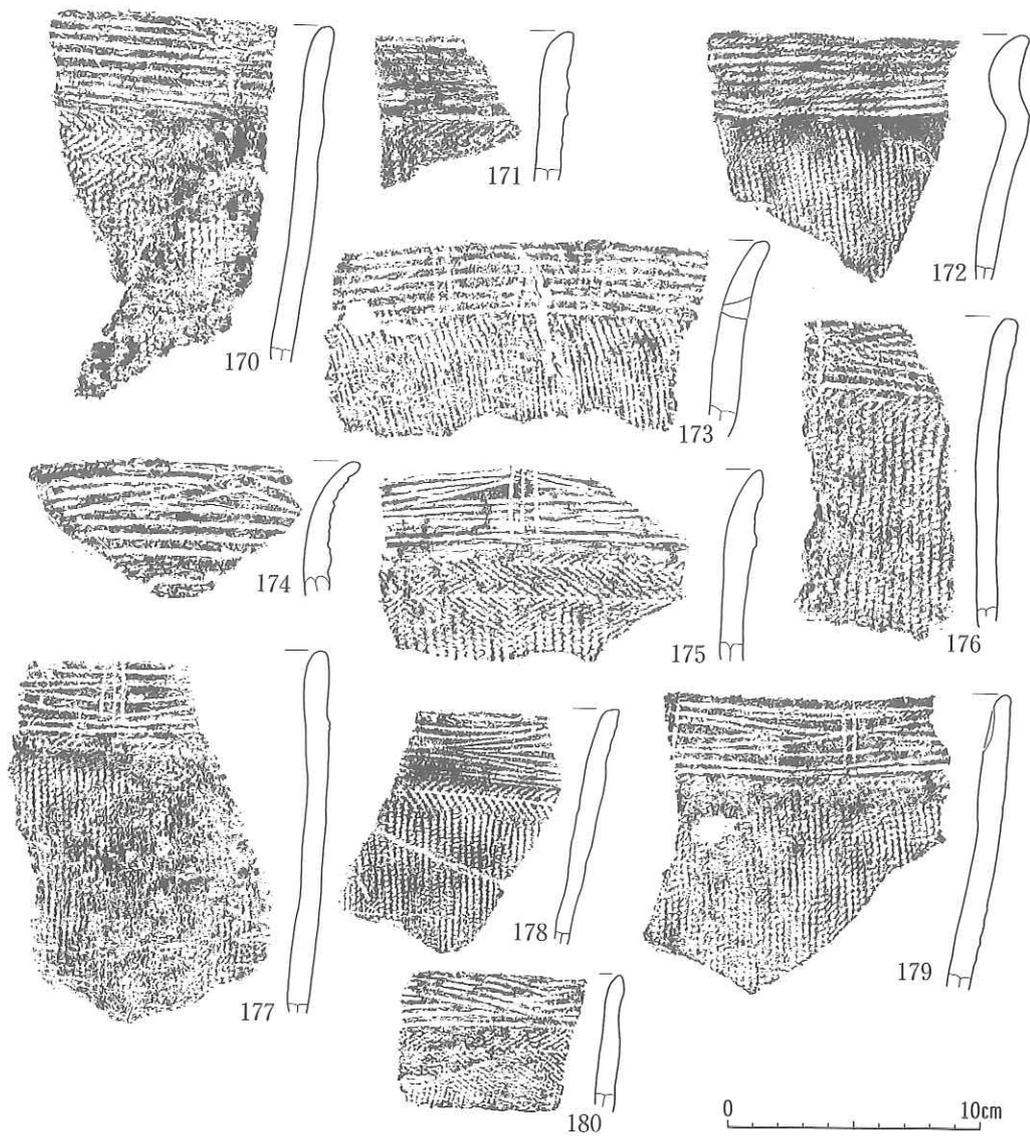
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
152	VIF-74	IV	R単絡6、R押	L単絡1、R単絡1		ミガキ		II-2-3-12	
153	VIIH-74	IV最下	単絡6、隆帯(2条)	単絡1		ナデ		隆帯間にも縦位単絡1	
154	VIF-75	IV	単絡6、L押			ミガキ			
155	VIIH-74	〃	単絡6A、RLR押	R押		〃		II-2-3-13	
156	VIF-74	〃	〃 〃			〃		〃	
157	VIIH-74	〃	〃 〃			〃		〃	
158	VII G-74	〃	R単絡1、RL単絡1押	R多軸絡				〃	
159	VIF-75	〃	多軸絡(横)、RLR押	RLR				II-2-3-14	
160	〃	〃	低隆帯、下に沈線	LR単絡1				〃	

159図 第IV層 出土土器 (40)



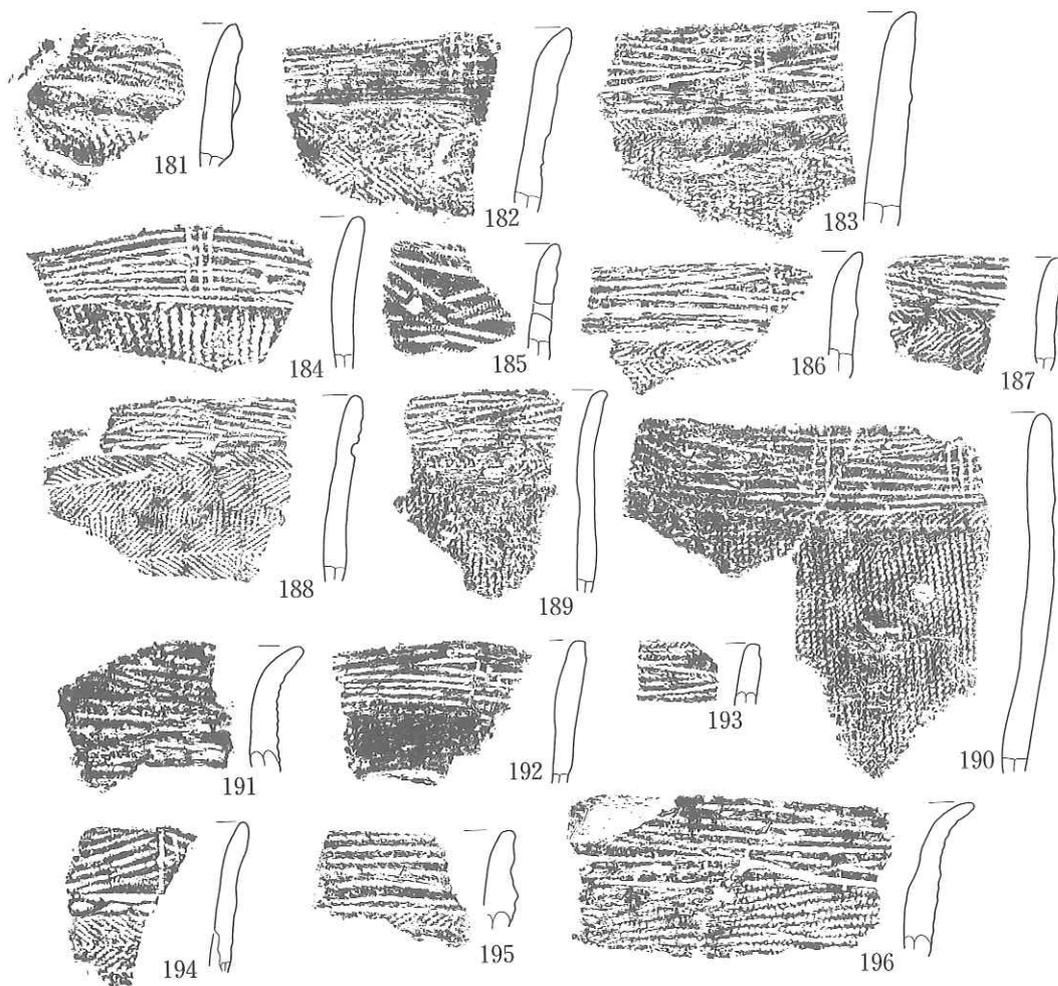
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
161	VIF-74	IV	LR押	RRL		ミガキ		II-5	
162	VIG-74	〃	〃	RLR		〃		〃	
163	VIG-75	〃	RL単絡1押	単絡1		〃		〃	
164	VIG-74	〃	〃			〃		〃	
165	〃	〃	LR押			〃		〃	
166	〃	〃	〃	LR単絡1		〃		〃	
167	〃	〃	R押、微隆帯	結束第一種 R単絡1		〃		II-6-1	
168	〃	〃	原体押	〃		〃		〃	
169	VIF-74	〃	R押	LR単絡1(斜)、R単絡1(縦)		ミガキ		〃	

160図 第IV層 出土土器 (41)



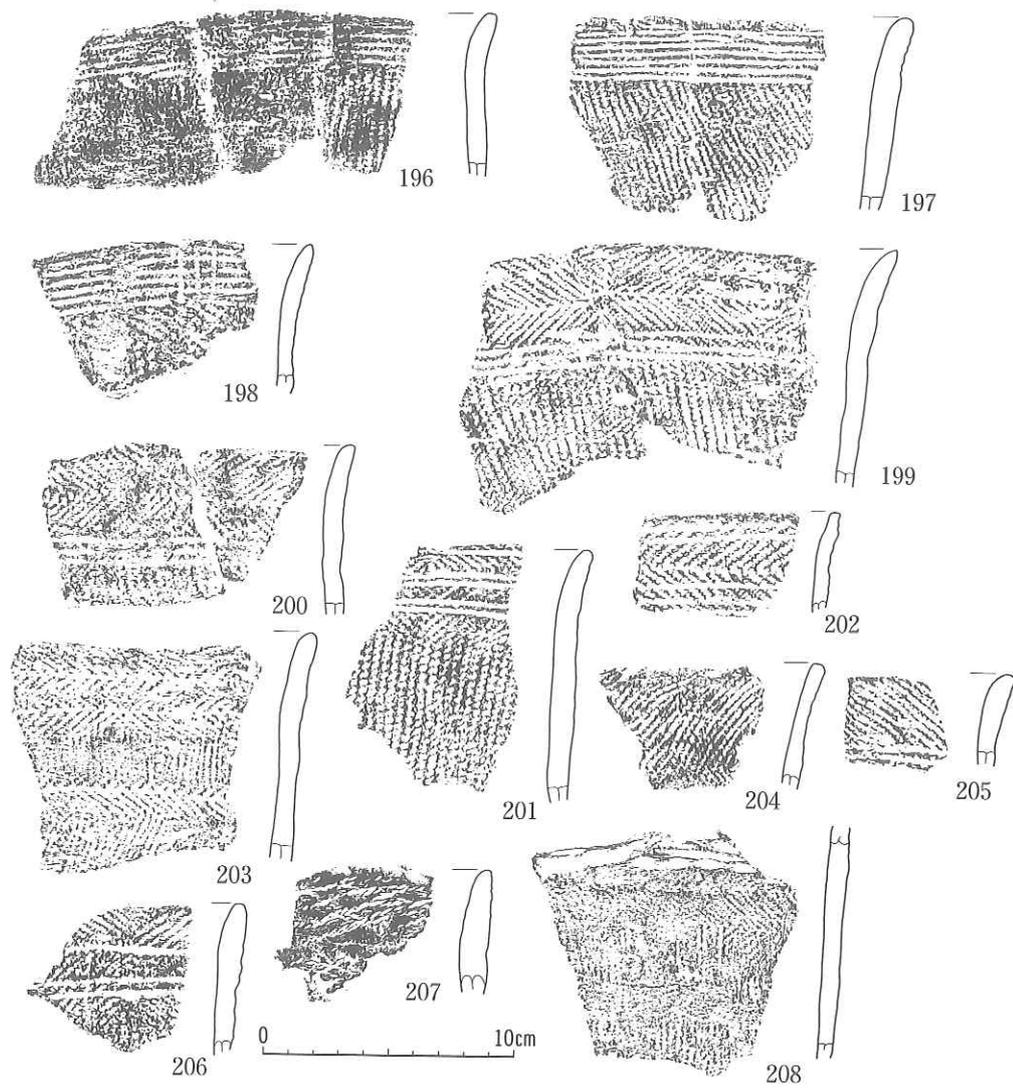
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
170	ⅥG-74	Ⅳ	RL単絡1押	結束第一種(LR、RL)	LR単絡1			Ⅱ-6-1	
171	ⅥG-75	〃	R押、低隆帯(剥落)	〃		ミガキ		〃	
172	〃	〃	RL押	RL		〃		〃	
173	ⅥG-74	〃	LR単絡1押	RL		〃		〃	
174	ⅥF-75	〃	R押			〃		〃	
175	ⅥG-74	〃	R押、低隆帯	結束第一種、RL				〃	
176	ⅥF-74	〃	LR押	RL		ミガキ		〃	
177	ⅥG-75	〃	R押、微隆帯	L単絡1		〃		〃	
178	〃	〃	R押	結束第一種、L単絡1		〃		〃	
179	ⅥG-74	〃	R押	L単絡1		〃		〃	
180	〃	〃	R単絡1押	結束第一種、L単絡1		〃		〃	

161図 第Ⅳ層 出土土器 (42)



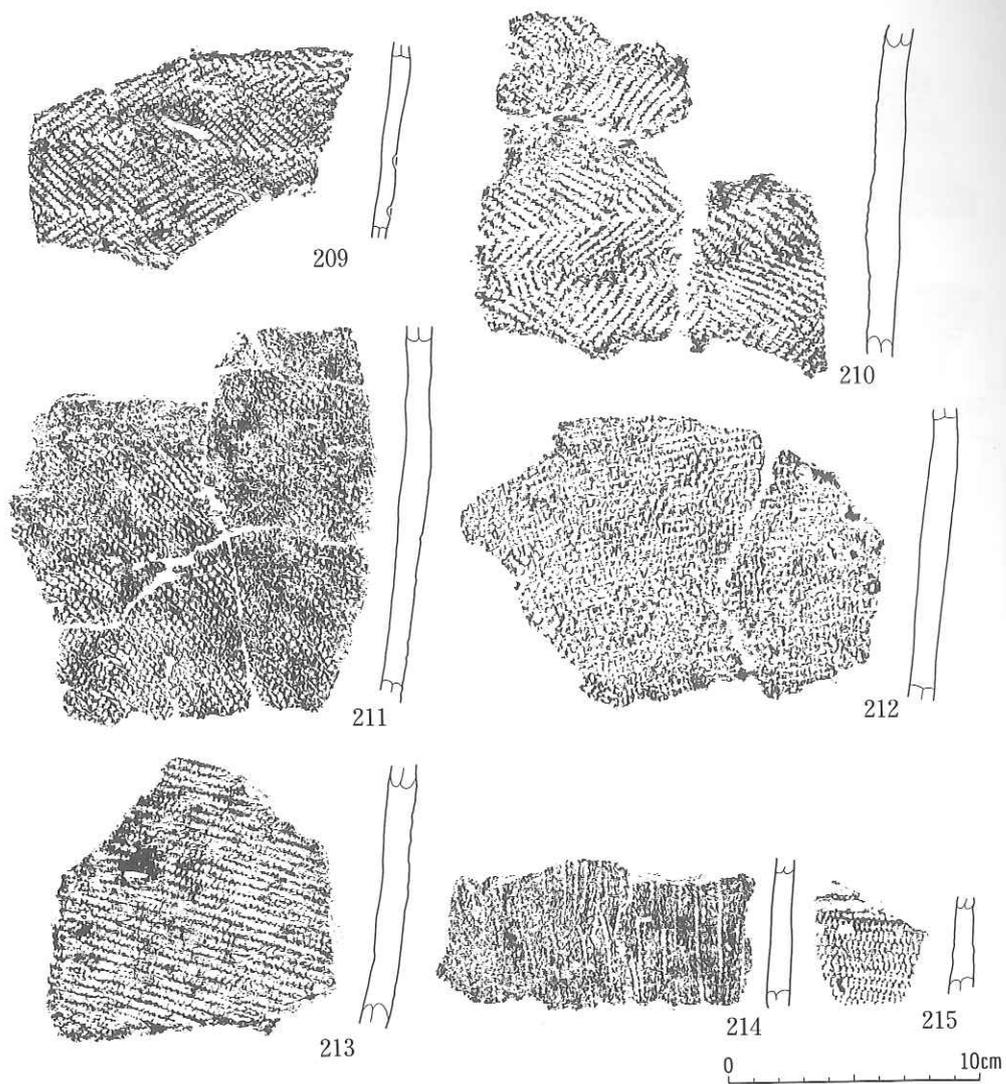
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
181	VIG-74	IV	RL単絡1押、低隆帯	RL		ミガキ		II-6-1	
182	〃	〃	原体押圧、低隆帯	結束第一種(LR、RL)		〃		〃	
183	〃	〃	R押、低隆帯	結束第一種、L単絡1		〃		〃	
183	〃	〃	〃	RL		〃		繊維多量 補修孔	
184	VIG-75	〃	RL単絡1押			〃		〃	
185	VIG-74	〃	R押、低隆帯	結束第一種		〃		〃	
186	VIG-75	〃	L押	〃		〃		〃	
187	VIG-74	〃	RL単絡1押	〃		〃		〃	
188	VIG-75	〃	L押	〃 RL		〃		〃	
189	〃	〃	R押	RL		ミガキ		〃	
190	VIF-75	〃	〃			〃		〃	
191	VIG-75	〃	〃	縄文(原体不明)		〃		〃	
192	VIF-74	〃	L押	〃		〃		〃	
193	〃	〃	〃	微隆帯(楕円形刺突)		不明		〃	
194	〃	〃	LR押			〃		〃	
195	VIF-75	〃	R押			ミガキ		〃	

162図 第IV層 出土土器(43)



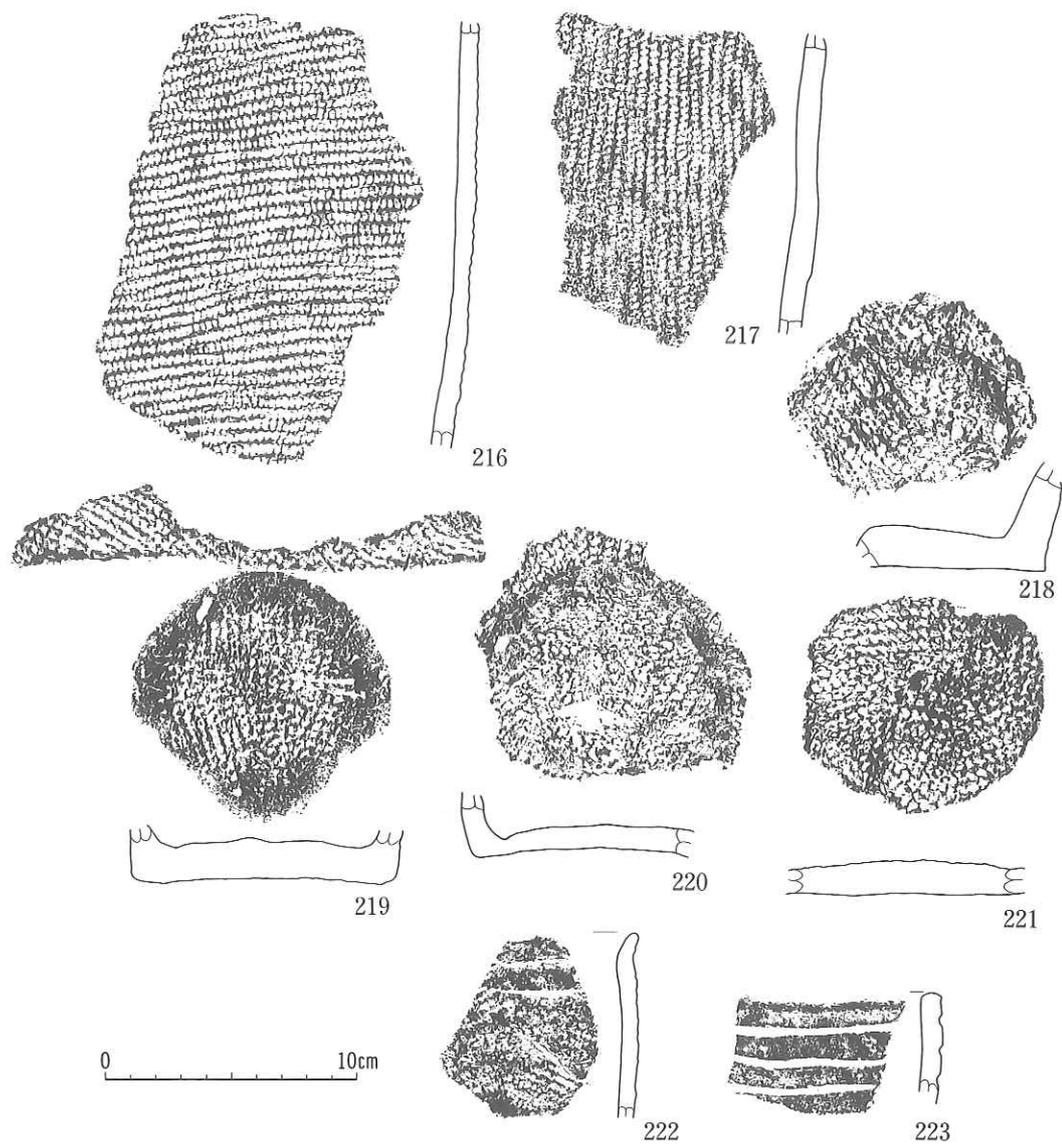
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
196	VI F-74	IV	R押	RL		ミガキ	II-6-1		
197	VI G-75	〃	〃	〃		〃	〃		
198	VI F-74	〃	〃	〃		〃	〃		
199	VI G-74	〃	結束第一種、文様帯下にR押	LR単絡1		〃	〃		
200	VI G-74	〃	〃	縄文(原体不明)		〃	〃		
201	VI G-74	〃	〃 結束部、文様帯下にRL押			〃	〃		
202	VI F-74	〃	〃 LR押			〃	〃		
203	VI G-74	〃	〃	結束第一種		〃	〃		
204	VI F-74	〃	LR			ミガキ	II		
205	VI G-74	〃	RL、LR押			〃	〃		
206	VI F-74	〃	羽状縄文?、R押			ミガキ	〃		
207	VI F-75	〃	R押			〃	〃		
208	VI F-74	〃		結束第一種、単絡1		不明	〃		

163図 第IV層 出土土器 (44)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
209	VIF-74	IV		結束第一種(LR, RL)			Ⅱ	繊維混入	
210	VIF-75	〃		〃		ミガキ	〃		
211	VIF-74	〃		RLR+RRL		〃	〃		
212	VIG-74	〃		R多軸絡		〃	〃		
213	VIF-75	〃			LR		〃		
214	VIF-74	〃			LR+R単絡1	ミガキ	〃	内面スス付着	
215	〃	〃	RLR押	R多軸絡		〃	〃		

164図 第IV層 出土土器 (45)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
216	VII F-74	IV			LR	ミガキ		II	繊維混入
217	VII F-74	◇			LR単絡1	◇		◇	
218	VII G-75	◇			RLR		RLR	◇	
219	VII F-74	◇			◇		◇	◇	
220	VII H-74	IV最下面			◇		◇	◇	
221	VII F-75	IV					◇	◇	
222	◇	◇	無文	LR		ナデ			
223	◇	◇	沈線			◇			

165図 第IV層 出土土器 (46)

### 3) 石 器

第Ⅳ層からは石鏃、石槍、石匙、石錐、石篋、ピエス・エスキーユ、不定形石器、石核類、磨製石斧、半円状扁平打製石器、抉入扁平磨製石器、擦切具、敲磨器類、軽石・軽石製品、石皿・台石類、石棒などが出土している。

定形石器では石匙が多く、石鏃、石槍などの狩猟具や石篋、石錐は少ない。

石材は剥片石器のうち、そのほとんどが珪質頁岩である。珪質頁岩以外では玉髓質珪質頁岩、玉髓、黒曜石、鉄石英が使用されている。礫石器は、石材と対応関係の強い器種とゆるやかな器種がある。磨製石斧の石材は緑色細粒凝灰岩が、半円状扁平打製石器や擦切具は安山岩が、角柱状の礫・礫石器では流紋岩が主に選択されるのに対し、敲磨器類では安山岩、凝灰岩、溶結凝灰岩、砂岩、流紋岩、頁岩が使用されている。

#### A類 石鏃 (1~4)

円基、尖基、平基の石鏃が出土しており、小型のものが多く。

#### C類 石匙 (5~69)

縦型の石匙が主体を占め、横型、斜型のものも出土している。大きさは5~8cm程度のものが多く。縦長剥片を素材とするものが多く、つまみは通常打点側に設けられる。

片面加工のものが多く、38や47のように両面加工のものもある。裏面側を中心に光沢が顕著に認められることが多い。

13は先端を持ち、先端部にも光沢が認められる。

33は抉りが向き合うので、本類に含めた。抉りの間隔は2.2cmと大きい。34も間隔が大きく、上辺は一枚の剥離で形成されている。33、34は上部を欠損した石匙のつまみ部分を再生した可能性がある。一方37もつまみ部の上辺は1枚の剥離で形成されているが、バルブの厚みを減らすためのものであると考えられる。

40は幅広で、素材剥片の形状をとどめている。49の細部加工は刃部の一部とつまみ部分に認められるのみである。54はつまみ部にのみ細部加工が認められる。

62~68は横型の石匙である。68は細部加工がつまみ部付近にのみ加えられる。69は刃部が下辺に形成されている点では横型の石匙に類似するが、抉りを四角形の素材の短辺側の中央付近に設けたものであり、つまみとはならない。他の石匙同様の顕著な光沢が認められる。

#### D類 石錐 (70)

70はつまみ部を持つ石錐であり、先端部の断面は四角形である。

#### E類 石篋 (71)

71は小型の短冊状の石篋である。

### G類 不定形石器 (72~99)

スクレイパー類は長さが4~6cmのものが多く、刃部の厚みがなく刃先角の小さなものが多い。

73・74・78は形状から石匙の欠損品の可能性がある。77は石匙に類似した形態であるが、つまみ部がつくり作り出されておらず、本類に含めた。

80は縦長剥片の末端に丸い刃部を持つ。刃部は縦長の剥離により形成され、搔器としてとらえられる。88、91は刃部が内湾する。97の細部加工は、平坦な剥離により行われており、形状や加工が石鏃と共通である。

### P類 石核類 (100~104)

100~104に石核を図示した。103からは長さが8cmを超える剥片が剥離されているが、他の石核から剥離された剥片は小型である。101は黒曜石製の両極石核である。100・102は作業面の周縁から求心的に剥片剥離を行っている。104は細長い礫の一端を打面と作業面を入れ替えながら剥離を行ったものである。

### H類 石斧 (105~110)

磨製石斧のみ出土しているが、欠損品が多い。105は整形時の剥離痕が残る。107は片刃の石斧である。108は刃部がつぶれている。

### J類 半円状扁平打製石器 (111~117、119)

安山岩の扁平な礫を素材にしており、一側縁が直線状、反対側縁が弧状になるように整形されている。直線状の側縁には114や115のようにざらざらした磨痕が認められるものもあり、弧状の部分には敲打痕がみられるものもある。欠損品が多く、表あるいは裏側からの衝撃により欠損したものが多い。111は両面が軽く研磨され、114は一部が研磨されている。119は抉りを持つ。

### K類 抉入扁平磨製石器 (120~123)

三角形の形状で、一端は123のように抉りをもち、一端は121、122のようにすぼまる形状を持つ。器体は丁寧に研磨される。欠損品のみ出土した。

### V類 擦切具 (124)

124は安山岩製の剥片の縁辺を研磨して直線的な機能部分を作り出している。

### I類 敲磨器類 (125~158)

楕円礫を素材としたものが多い。敲打痕を持つものも多く、端部や側面、あるいは平坦面の上より(下より)の位置に形成されることが多い。磨痕は側面に形成されているものは、ざらざらしているが、平坦面に形成されるものは滑らかである。125は凹痕を持つ。144、149は使用痕が複合しており磨痕と敲打痕、凹痕を持つ。150、151は磨痕の上に敲打痕が形成される。158は凹痕、敲打痕、非常に滑らかな磨痕のほか溝状のくぼまりを持つ。砥石としても使用されたと考えられる。

### S類 砥石 (159～166)

159～163は頁岩、輝緑岩を素材としている。多数の擦痕をもち、160や162では端部は擦り減って面取りされたような状態になっている。162は下部に敲打痕がある。164は板状の砥石である。165、166は小型の板状の砥石であり長さが4 cmに満たない。

### T類 軽石・軽石製品 (167～170)

軽石は加工の痕跡が不明確なものが多いが、加工され面取りされているものもある。軽石様の凝灰岩を含め図示した。

167は下部と裏面が面取りされている。168は挟りが向き合い、紐掛けとすると浮子である可能性がある。また、挟り部分から器体中央にかけて斜めに溝状の窪まりがある。169、170には明確な加工の痕跡が認められない。

### L類 石皿・台石類 (171～177)

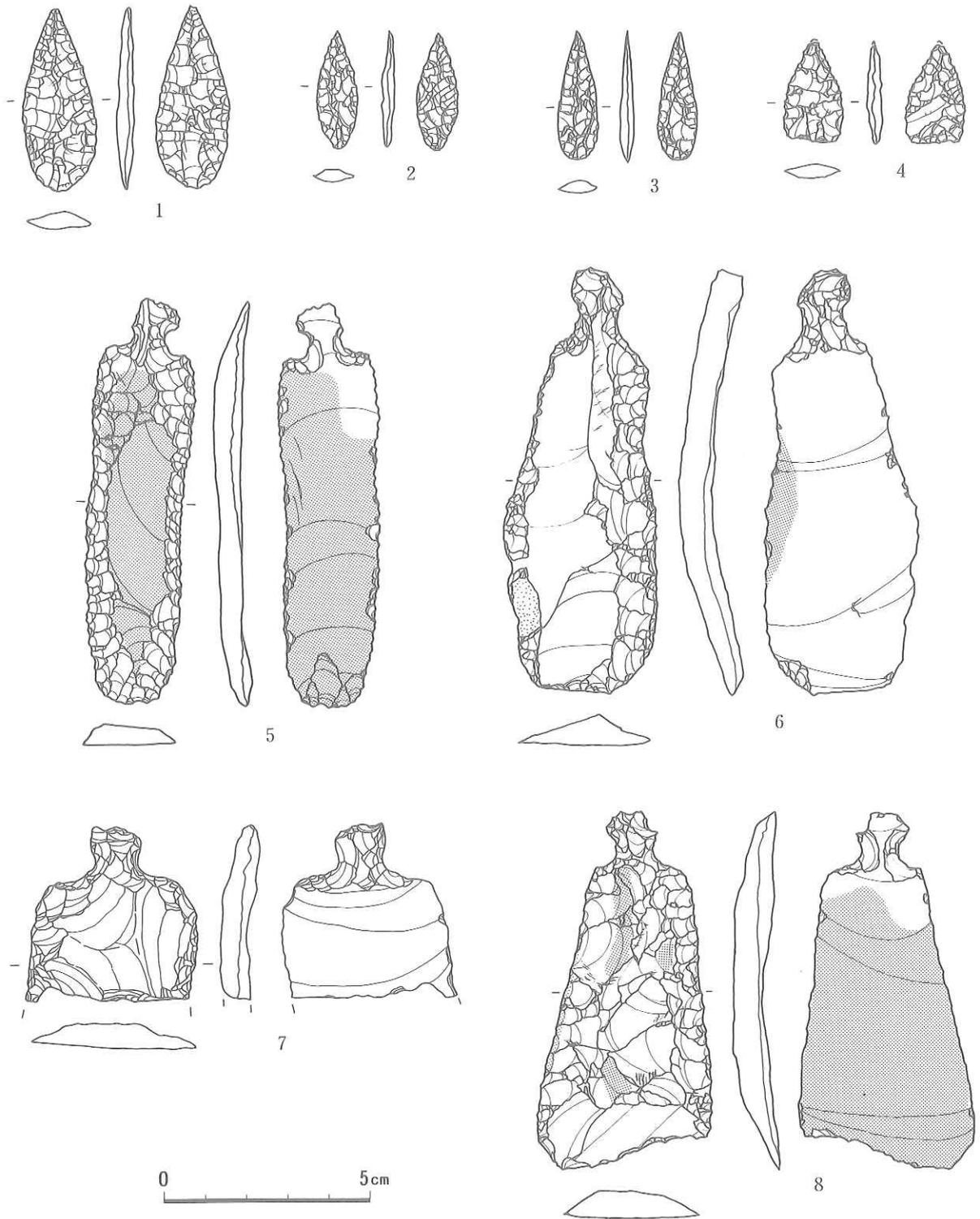
台状の礫を使用したものが多く、皿状に窪むものは少ない。また、欠損品がほとんどである。171の石材は安山岩であり、器体は薄く、浅い窪まりを持つ。通常の石皿のように磨石の荷重を受け止めるような使用方法では壊れる可能性があり、砥石の可能性もある。176は厚みのある楕円礫を素材とし、表裏に敲打痕が認められる。重量は4,904 gでありその大きさから敲磨器類とはせず、本類とした。同様に177は棒状の大型礫を素材とし、敲打痕がみられるが、3,998 gの大きさを持つことから本類に含めた。形態は石棒に類似している。

### U類 角柱状の礫・礫石器 (178～180)

角柱状の礫が出土している。すべて欠損品であり、179には敲打痕が認められる。

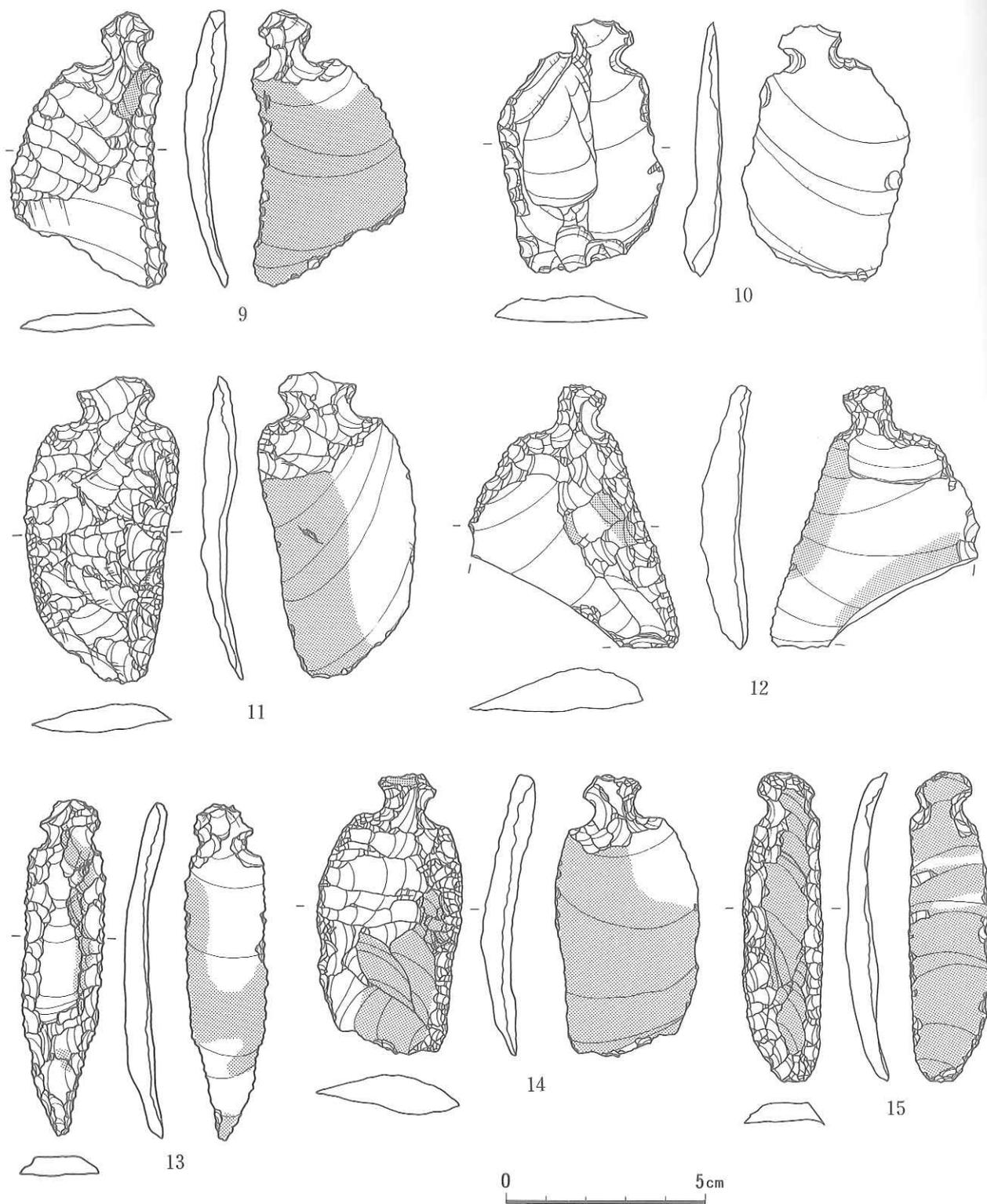
### Q類 その他 (118)

118は機能部分を中心に研磨されており、礫面を大きく残す。器体が薄く、研磨により機能部分が作られていること、研磨部分は機能部分にはほぼ限られることから擦切具の可能性はあるが、欠損品であり、器種認定を保留した。



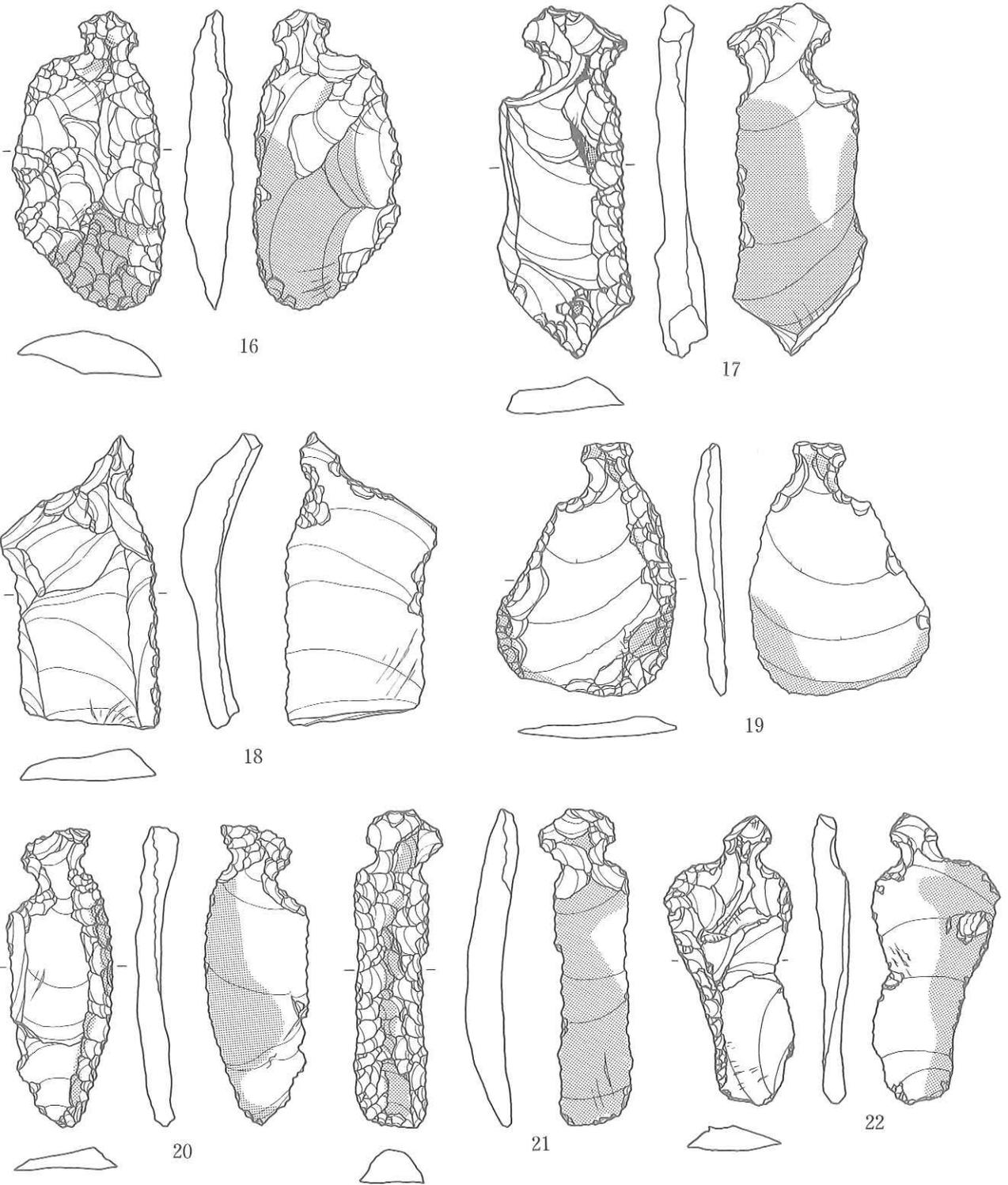
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備	考	整理番号
1	VII G-74	IV	46	18	5	2.8	珪頁	Ae			73035
2	VII G-75	〃	29	11	4	0.7	〃	Ae			3587
3	〃	〃	32	11	4	0.8	〃	Ae			3583
4	〃	〃	25	15	4	1.1	玉	Ad			3579
5	VII H-75	〃	99	26	11	18.2	珪頁	Ca			3266
6	VII G-75	〃	104	38	16	31.7	〃	〃			3093
7	VII F-76	〃	(43)	(43)	(10)	(11.5)	〃	〃			2956
8	VII G-75	〃	88	43	12	30.2	〃	〃			3088

166図 第IV層 出土石器 (1)



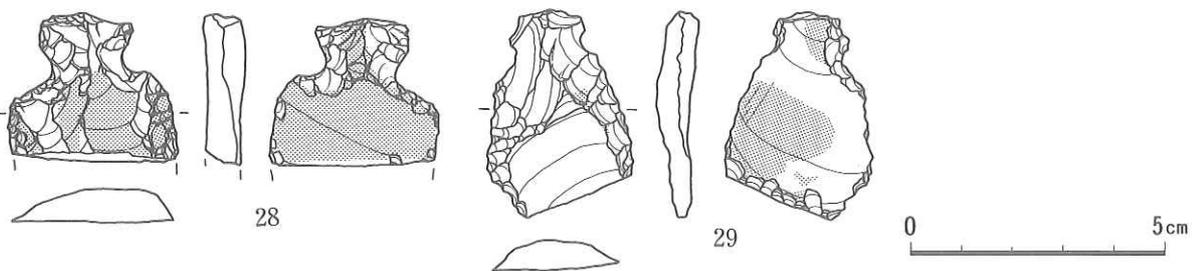
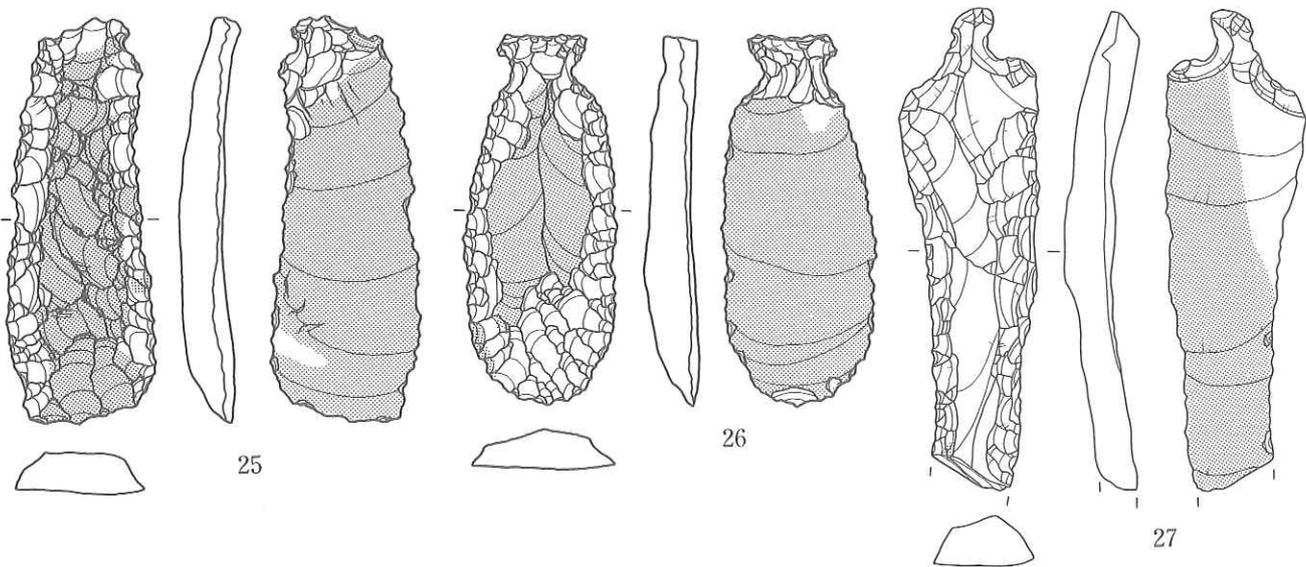
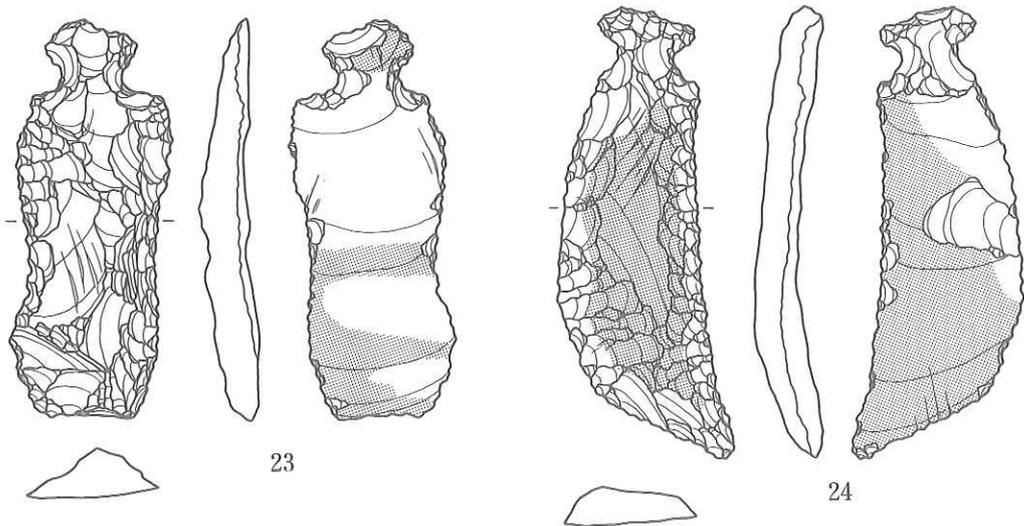
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
9	VIIH-75	IV	70	40	11	16.5	珪頁	Ca		3251
10	VIIH-76	〃	65	42	10	19.8	〃	〃		71983
11	VII G-77	〃	78	39	10	22.8	〃	〃		3163
12	VII F-75	〃	(67)	(54)	13	(26.6)	〃	〃		2937
13	VIIH-76	〃	85	21	11	13.2	〃	〃		3293
14	VII F-75	〃	71	37	13	20.0	〃	〃		2936
15	VII F-75	IVトレ	78	21	11	13.2	〃	〃		2940

167図 第IV層 出土石器 (2)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
16	VIIH-76	IV	75	38	13	31.1	珪質	Ca		3278
17	VIIH-75	〃	89	34	14	29.7	〃	〃		3255
18	〃	〃	74	40	21	25.2	〃	Cc		3250
19	VII G-75	〃	64	46	8	15.1	〃	Ca		3914
20	VIIH-75	〃	75	27	12	13.3	〃	〃		3252
21	VIIH-74	〃	80	23	14	15.5	〃	〃		3226
22	VII G-76	〃	73	33	10	12.7	〃	Cc		3110

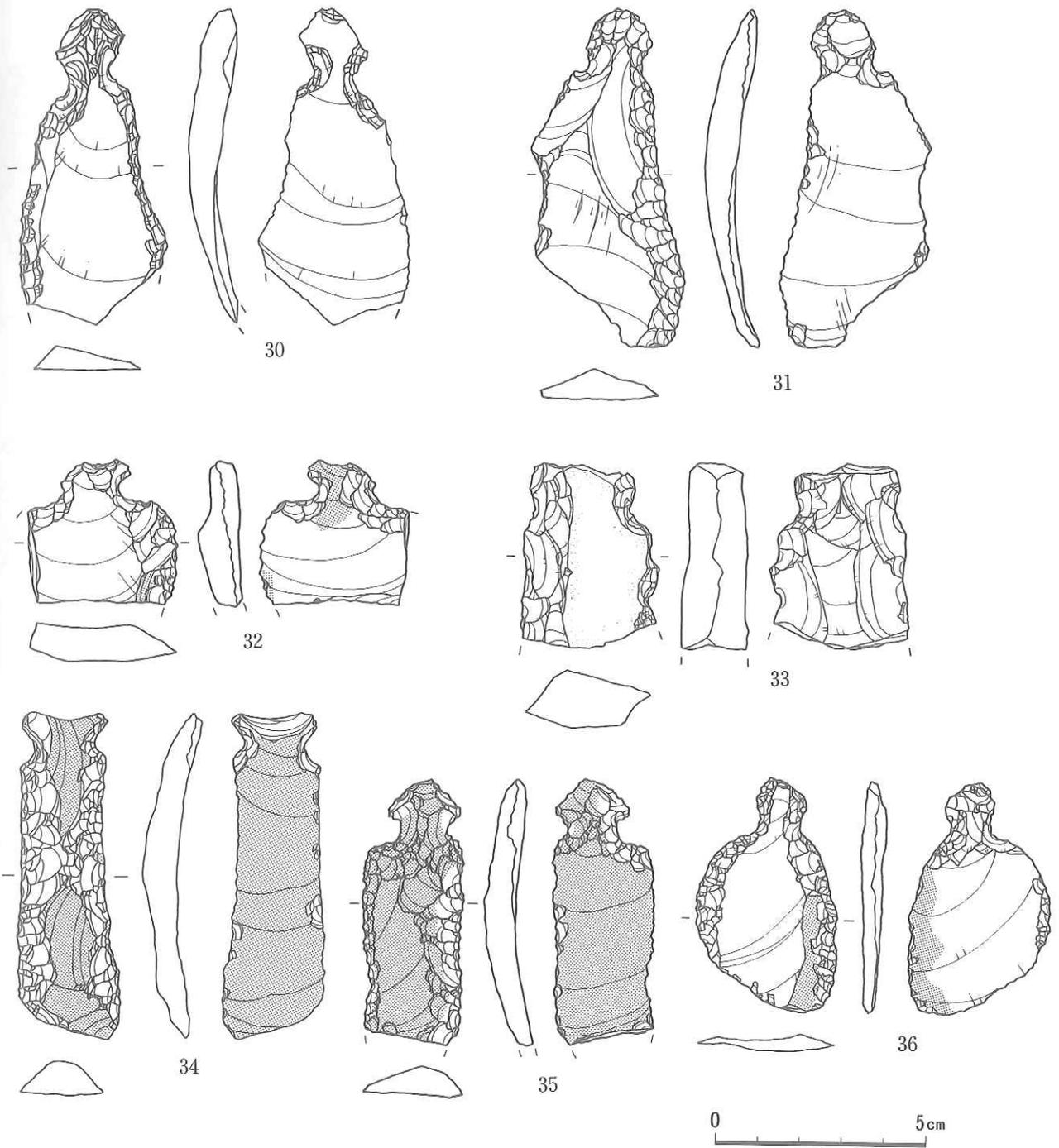
168図 第四層 出土石器 (3)



0 5cm

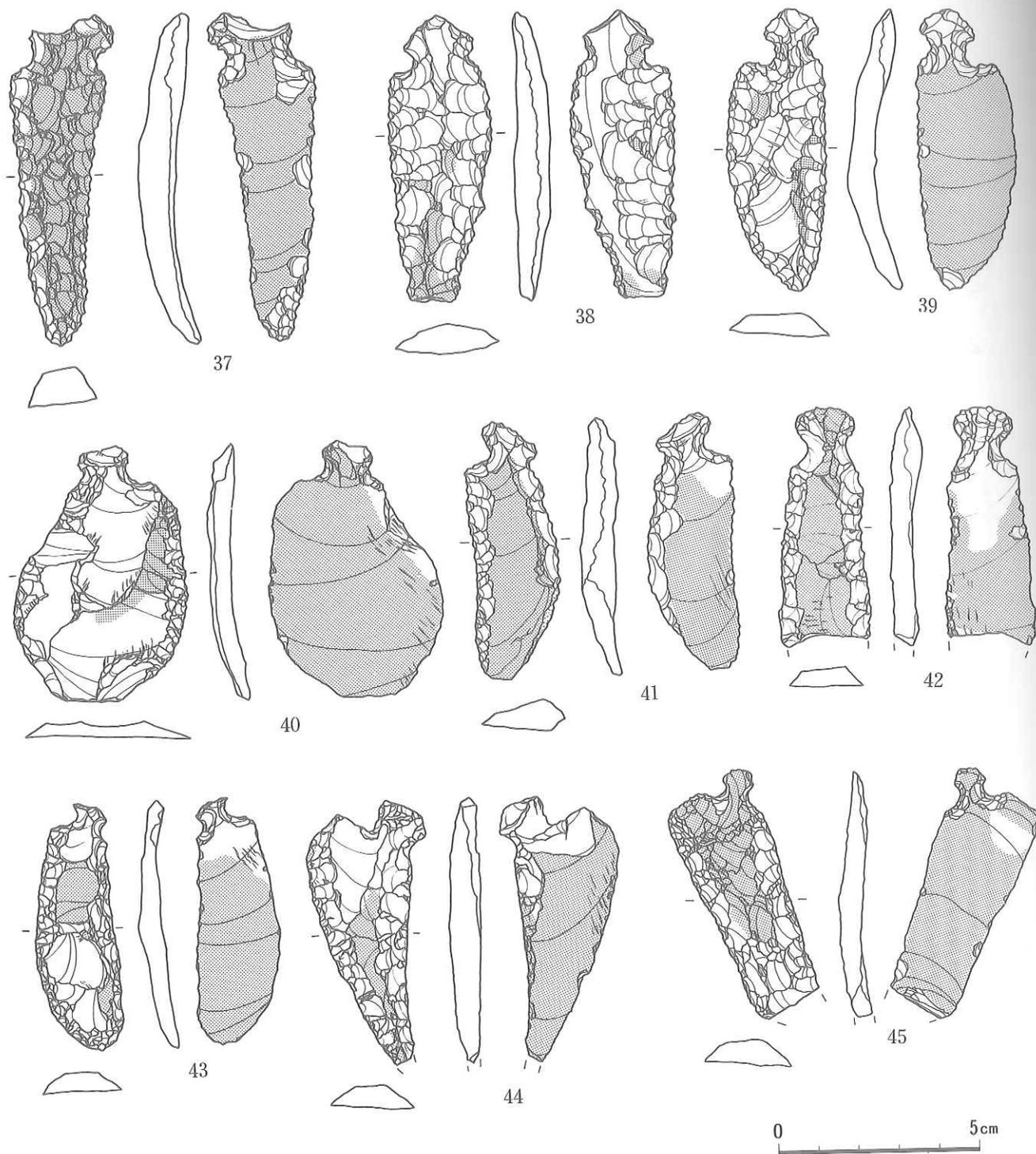
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
23	VO-98	IV	80	33	12	20.2	珪頁	Ca		2267
24	VIH-76	〃	90	36	14	26.0	〃	〃		3287
25	〃	〃	81	30	13	27.3	〃	〃		3290
26	〃	〃	74	31	12	24.0	〃	〃		3292
27	VIG-74	〃	(95)	31	15	(26.9)	〃	〃		73379
28	VIG-76	〃	(30)	(34)	(9)	(8.5)	〃	〃		3116
29	VIH-75	〃	42	29	9	6.6	〃	〃		3259

169図 第IV層 出土石器 (4)



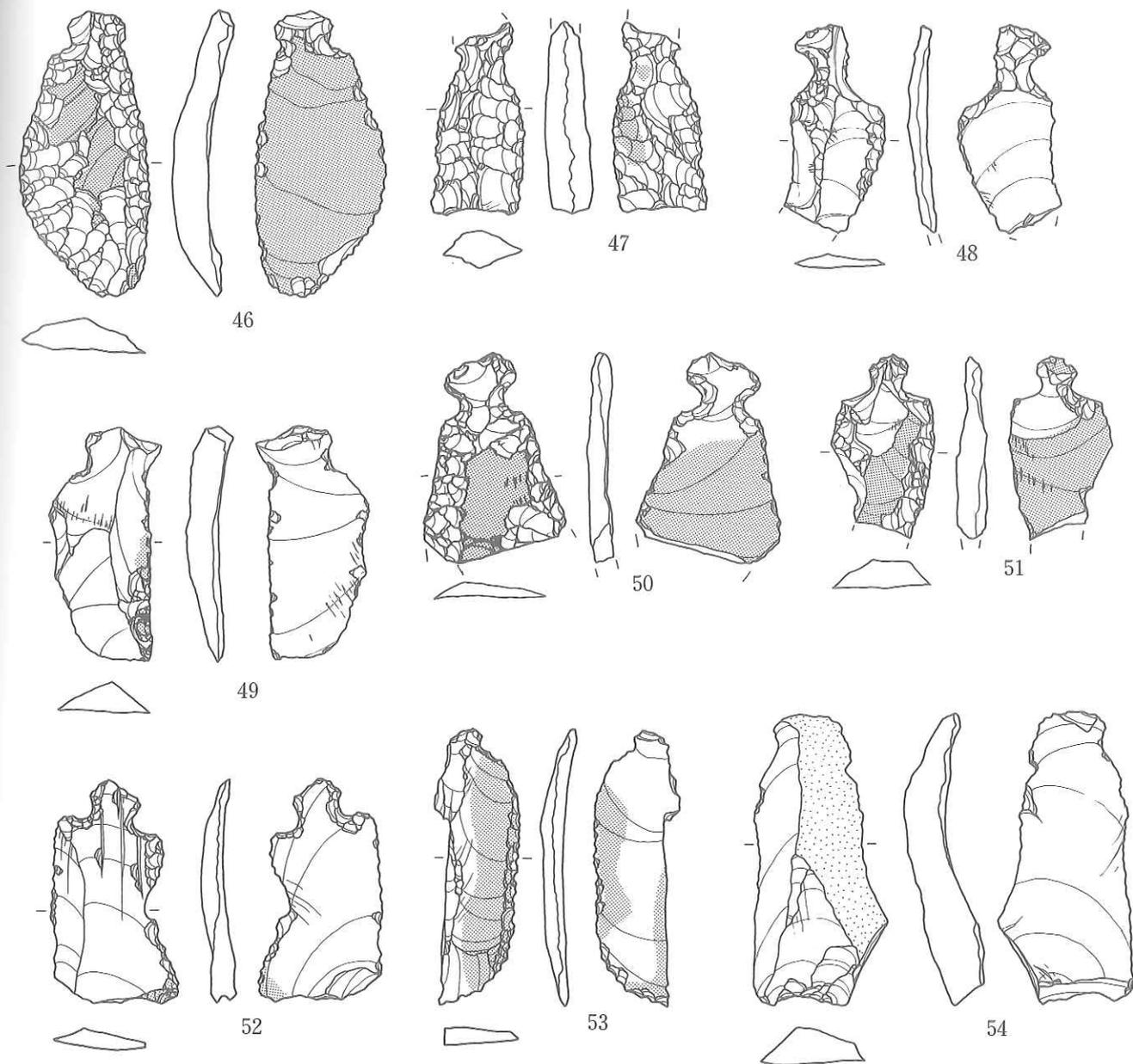
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
30	VII-74	IV	(71)	36	12	(15.7)	珧頁	Ca		73027
31	VIIH-76	〃	82	37	14	17.3	〃	〃		3279
32	〃	〃	(35)	(36)	(11)	(10.2)	〃	〃		3284
33	VII G-74	〃	(45)	34	16	(26.2)	〃	〃		73034
34	VII F-76	〃	79	26	14	16.2	〃	〃		2957
35	VII H-75	〃	(64)	24	12	(12.9)	〃	〃		3267
36	VII G-75	〃	56	33	7	10.0	〃	〃		3612

170図 第IV層 出土石器 (5)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
37	VIIH-75	IV	83	27	15	19.6	珧頁	Ca		3265
38	VIIH-76	〃	72	26	10	14.6	〃	〃		3294
39	VIIH-74	〃	71	26	14	12.5	〃	〃		3229
40	VII G-76	〃	64	44	10	13.6	〃	Cc		3114
41	VIIH-75	〃	65	23	10	11.9	〃	〃		3254
42	VII G-75	〃	(60)	23	9	(9.9)	〃	Ca		3094
43	VII G-76	〃	62	21	9	8.0	〃	〃		3118
44	〃	〃	(66)	30	9	(11.1)	〃	Cc		3109
45	VII F-74	IVトレ	(63)	(37)	9	(12.1)	〃	〃		2906

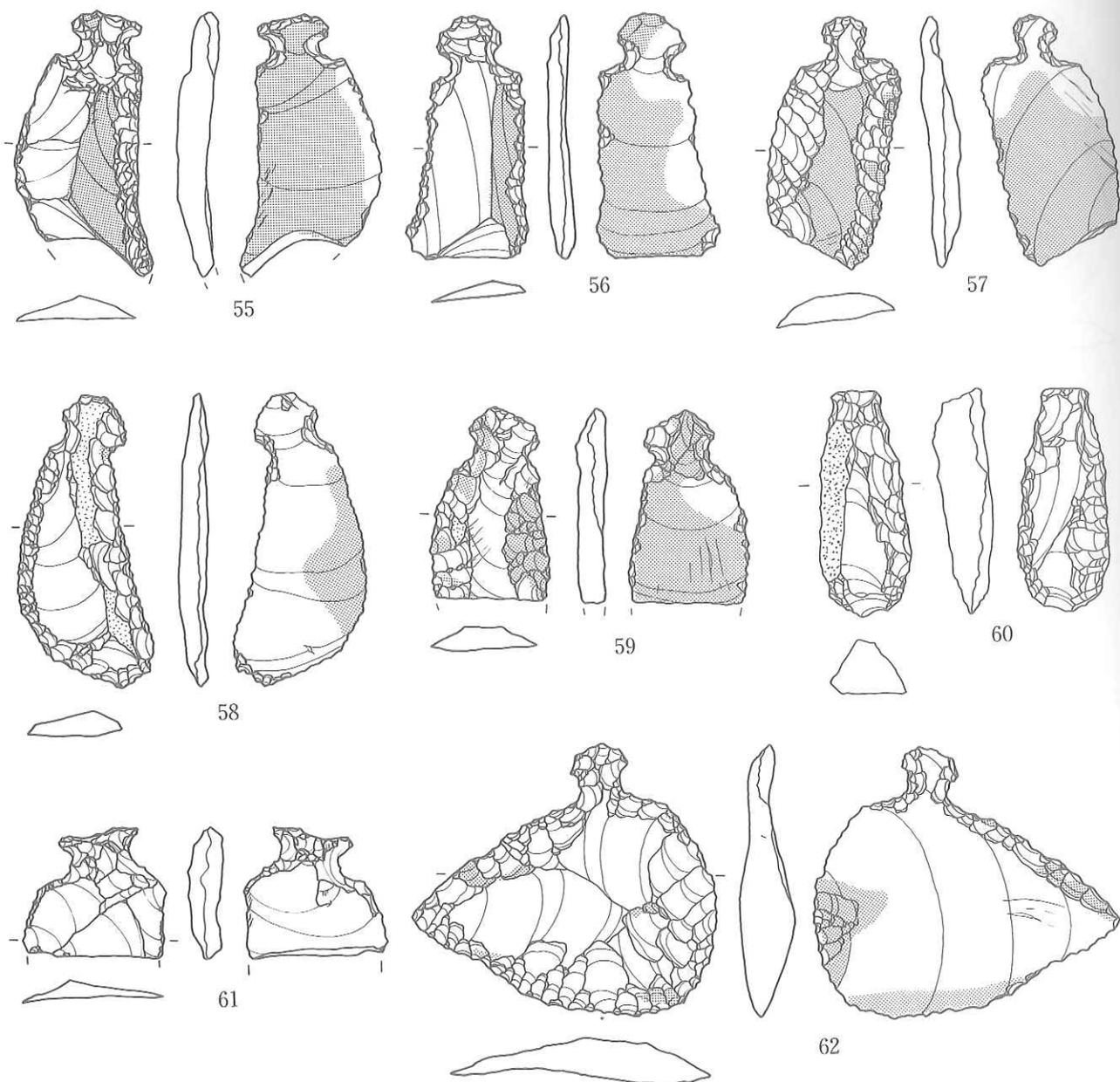
171図 第IV層 出土石器 (6)



0 5cm

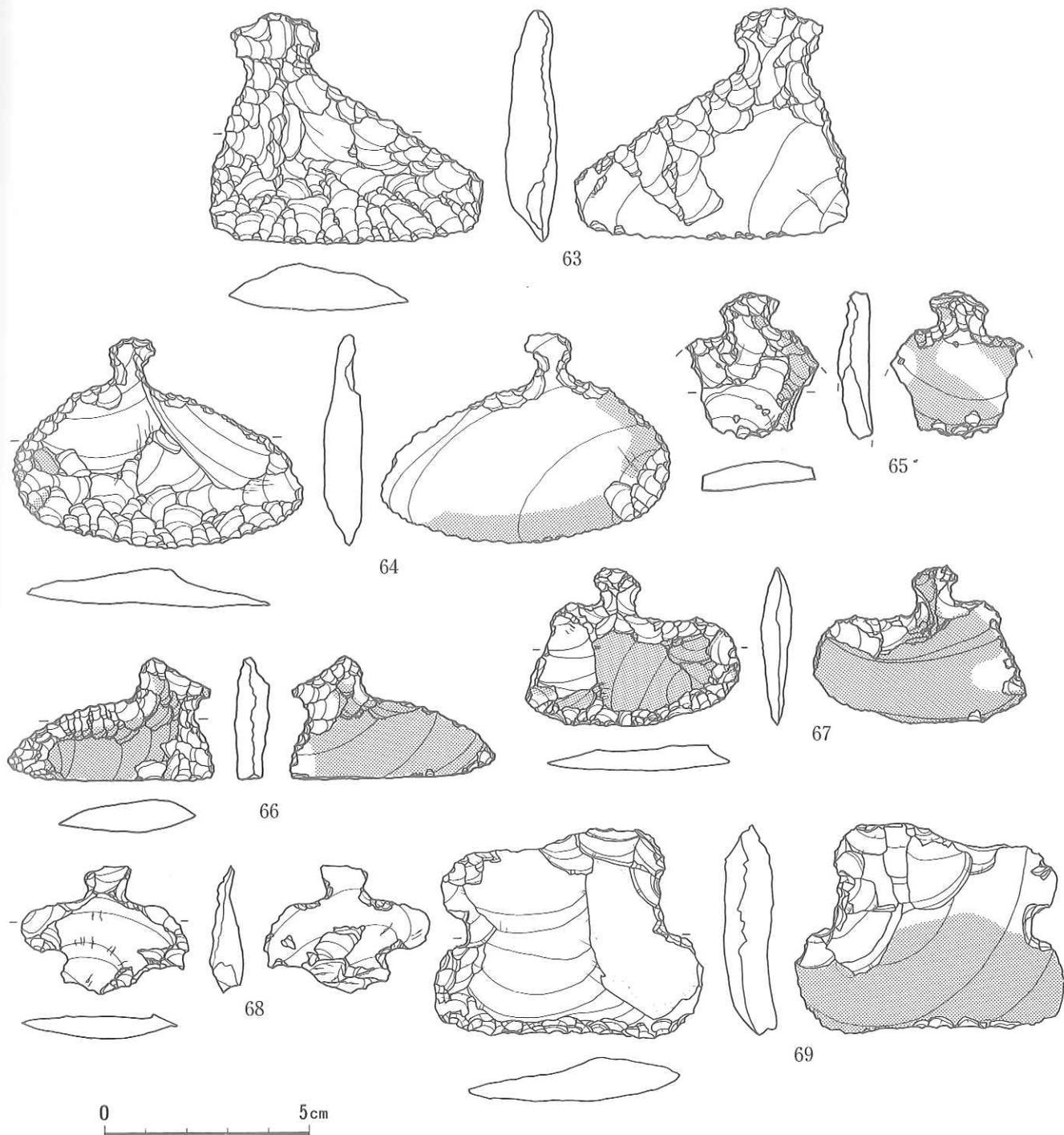
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
46	VIIH-74	IV	67	31	14	14.6	珪頁	Ca		3227
47	VIIH-75	〃	(45)	22	11	(9.1)	〃	〃		3268
48	VII G-75	〃	(48)	24	7	(3.7)	〃	Cc		3089
49	VII G-76	〃	54	26	13	8.9	〃	Ca		3108
50	〃	〃	(48)	33	7	(8.3)	〃	〃		3112
51	VII G-75	〃	(43)	24	7	(6.0)	〃	〃		3090
52	VIIH-75	IVトレ	52	29	8	6.5	〃	〃		3264
53	〃	〃	64	19	9	6.2	〃	〃		3263
54	VIIH-76	〃	68	31	13	20.5	〃	Cg		3285

172図 第IV層 出土石器 (7)



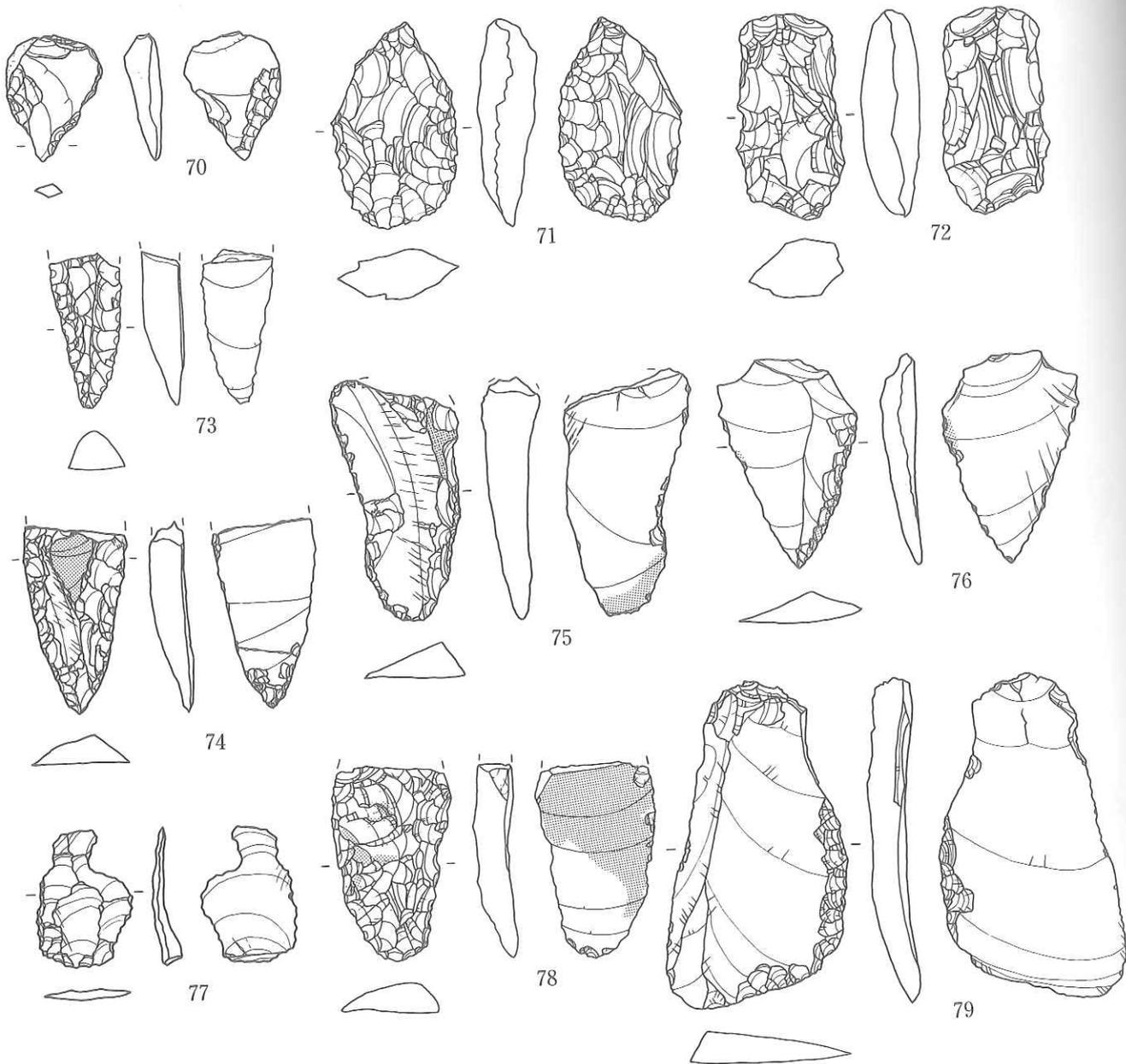
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
55	VIF-77	IV	(60)	32	10	(7.2)	珪頁	Ca		3111
56	VIIH-75	〃	55	28	7	7.7	〃	〃		3260
57	VIIH-74	〃	67	31	15	14.6	〃	Cc		3257
58	VIIH-76	〃	67	31	7	12.0	〃	〃		3296
59	〃	〃	(44)	38	8	(9.3)	〃	Ca		3277
60	VIF-75	〃	51	21	13	13.4	〃	〃		2938
61	VII G-75	〃	(30)	(33)	8	(6.5)	〃	C		3091
62	VIIH-76	〃	62	70	13	27.6	〃	Cb		3276

173図 第IV層 出土石器 (8)



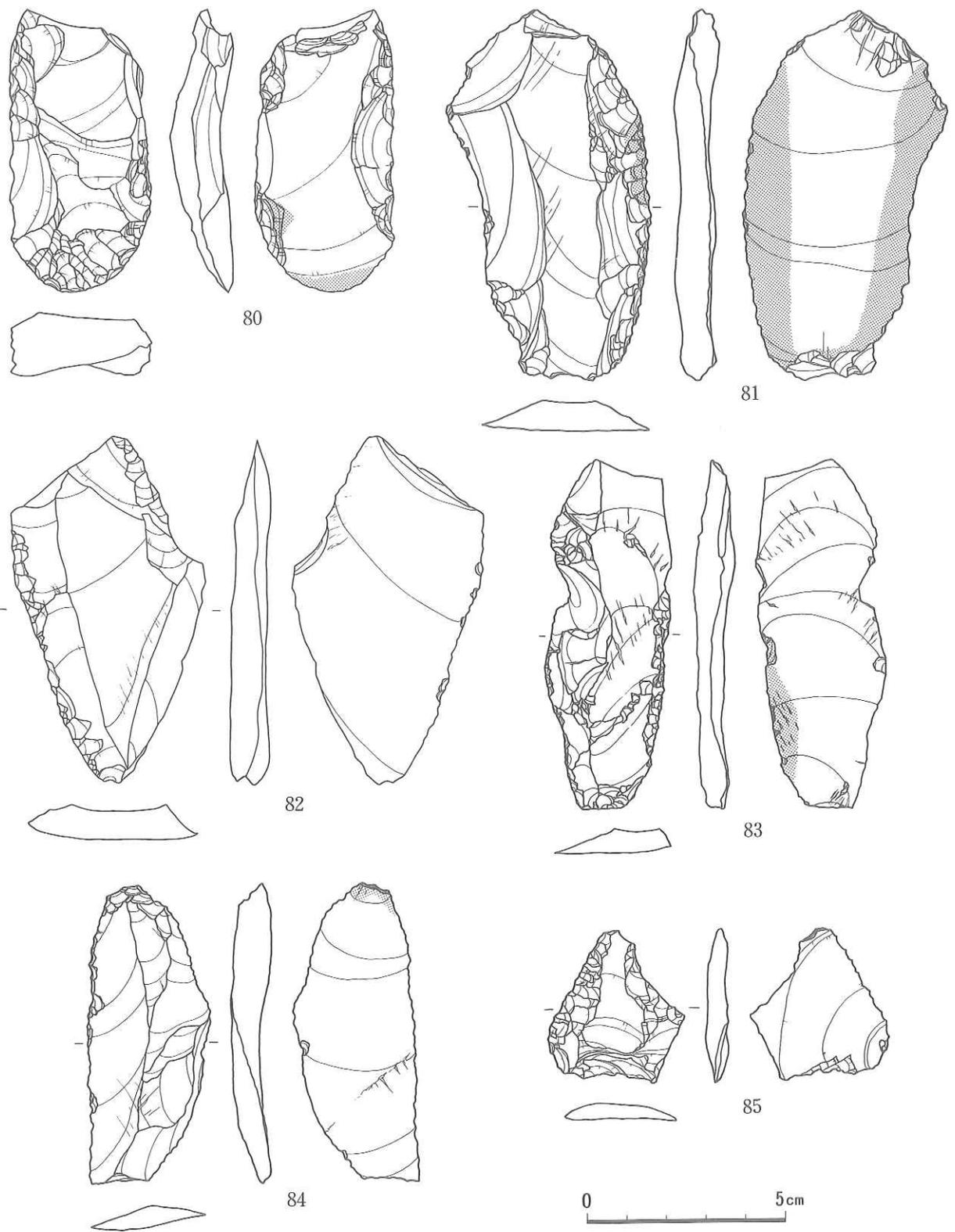
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
63	VIH-75	IV	58	68	13	36.6	玉珪	Cb		3256
64	VIH-74	〃	53	72	10	25.5	珪頁	〃		3228
65	VIH-75	〃	37	(33)	9	(7.8)	〃	〃		3261
66	〃	〃	30	51	9	10.4	〃	〃		3262
67	VIG-76	〃	39	53	8	11.2	〃	〃		3107
68	VIG-75	〃	32	41	9	6.7	鉄	〃		3092
69	VIG-74	〃	53	67	13	41.6	珪頁	Cf		3414

174図 第IV層 出土石器 (9)



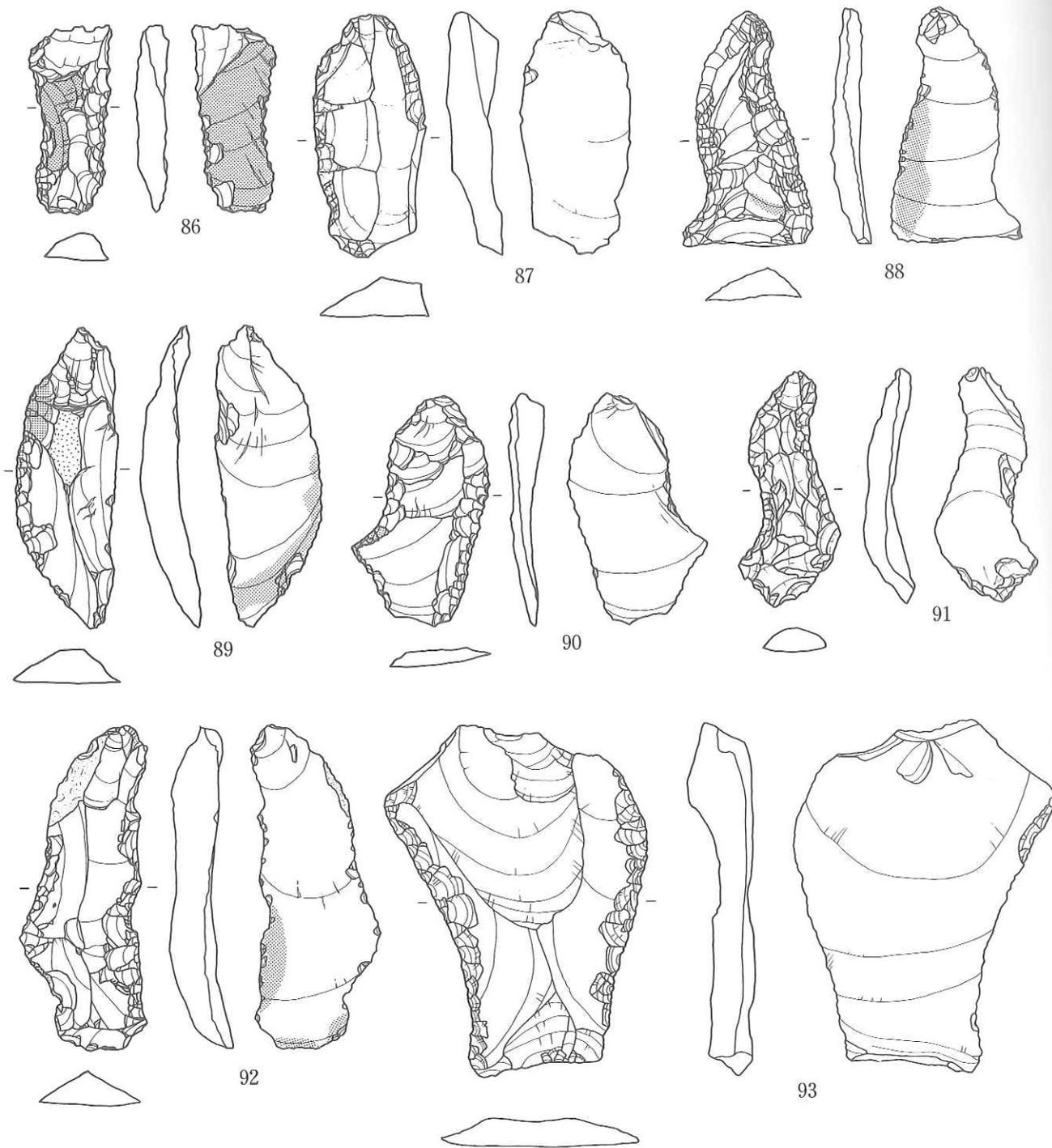
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
70	VIIH-76	IV	29	22	9	4.2	珪頁	Da		71985
71	VII F-99	〃	48	29	14	17.4	〃	Ea		1466
72	VII F-76	〃	49	25	14	18.0	〃	Ga	石鏃?	63638
73	VIIH-76	〃	(36)	(17)	(9)	(5.2)	〃	〃	石匙破片?	3496
74	VII G-76	〃	(44)	(24)	(10)	(8.0)	〃	〃	〃	3117
75	〃	〃	(57)	30	14	(15.8)	〃	〃		3113
76	VIIH-76	〃	49	32	18	8.2	〃	〃		3281
77	〃	〃	32	22	7	1.6	〃	〃		3291
78	VII G-77	〃	(45)	28	9	(12.2)	〃	〃	石匙破片?	72818
79	VIIH-76	〃	76	43	11	25.3	〃	〃		3501

175図 第IV層 出土石器 (10)



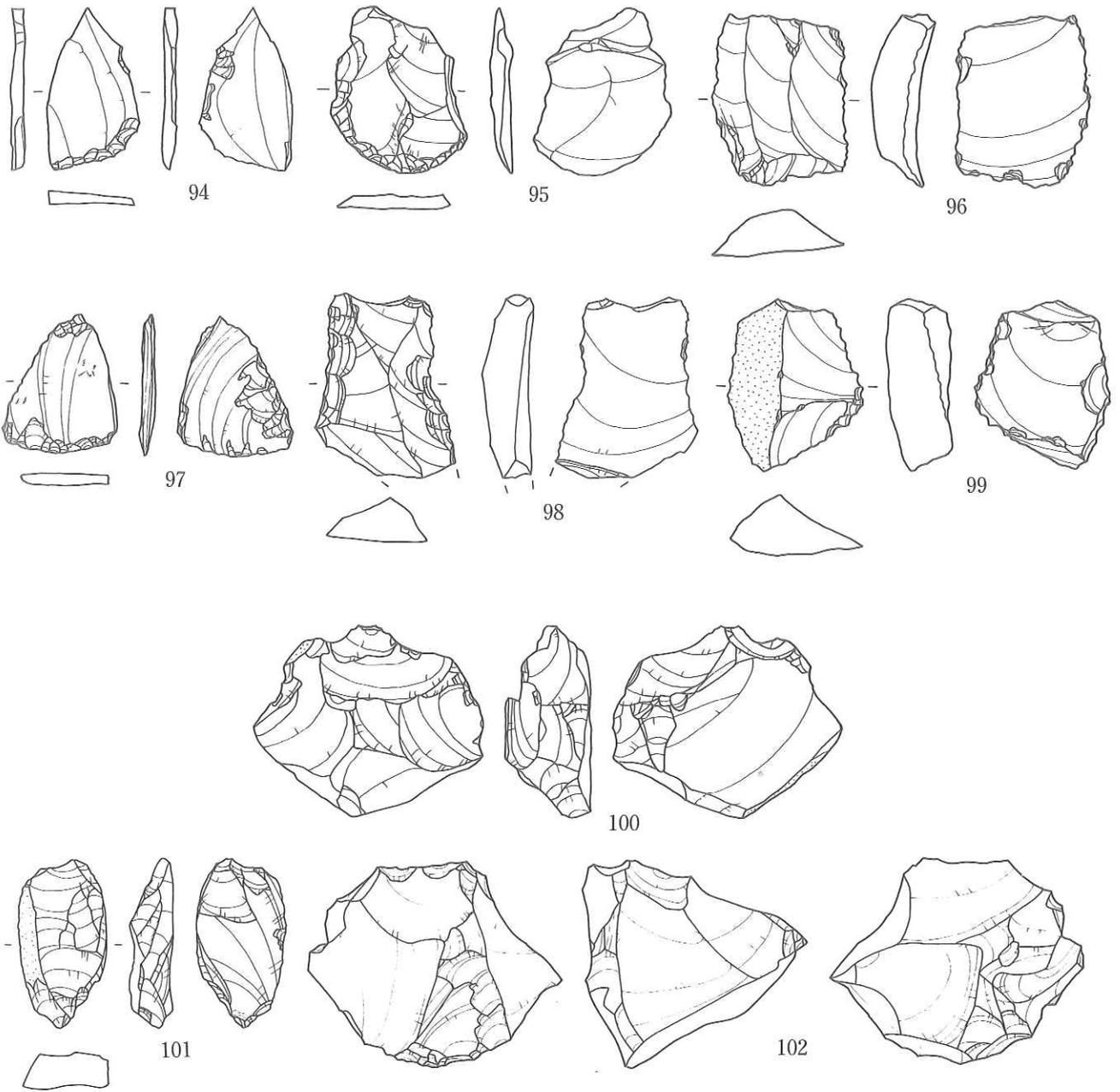
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
80	VI G-75	IV	72	36	16	37.6	珪頁	Ga	石鏡?	75416
81	VII H-75	〃	94	53	12	44.6	〃	〃		3258
82	VI G-74	〃	89	49	11	36.5	〃	〃		73025
83	VI G-76	〃	89	32	11	22.5	〃	〃	石匙?	3115
84	VII H-75	〃	76	31	11	13.9	〃	〃		3282
85	VII H-76	〃	38	35	6	5.7	〃	〃		3502

176図 第IV層 出土石器 (11)



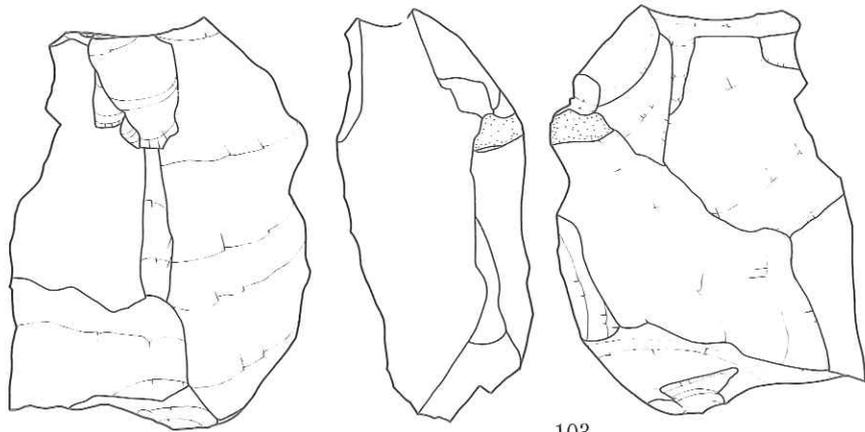
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
86	VIIH-75	IV	46	21	9	6.9	珪頁	Ga		3248
87	VII G-76	〃	59	28	13	18.2	〃	〃		3432
88	VII F-75	〃	58	32	10	10.1	〃	〃		2939
89	VII H-76	〃	74	26	14	14.7	〃	〃		3295
90	〃	〃	57	34	9	7.6	〃	〃		3283
91	〃	〃	53	25	13	10.0	玉	〃		3498
92	VII G-75	〃	80	32	11	23.3	珪頁	〃		4046
93	VII H-76	〃	86	64	16	51.9	〃	〃		3500

177図 第IV層 出土石器 (12)

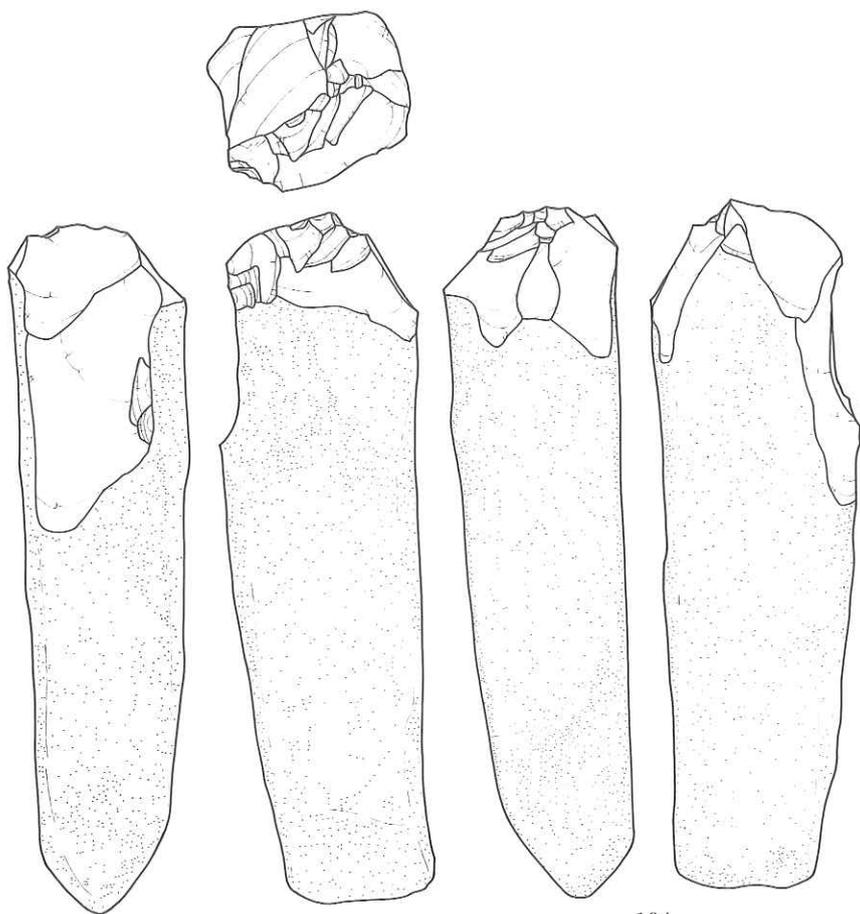


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
94	VIH-75	IV	37	21	3	2.7	珪頁	Ga		3478
95	VI G-76	〃	39	32	5	5.4	〃	〃		3431
96	VIH-75	〃	40	32	14	14.8	〃	〃		3253
97	VI G-76	〃	33	26	4	2.8	〃	〃		3430
98	VI G-74	〃	(42)	(33)	12	(12.5)	〃	〃		73028
99	VIH-75	〃	40	32	16	17.3	〃	〃		3249
100	VI F-75	IV	44	53	20	41.3	珪頁	Pa		73386
101	VIH-75	IVトレ	39	21	10	7.5	黒	〃	両極石核	3488
102	VI F-75	IV	48	58	52	94.3	珪頁	〃		72633

178図 第IV層 出土石器 (13)



103



104



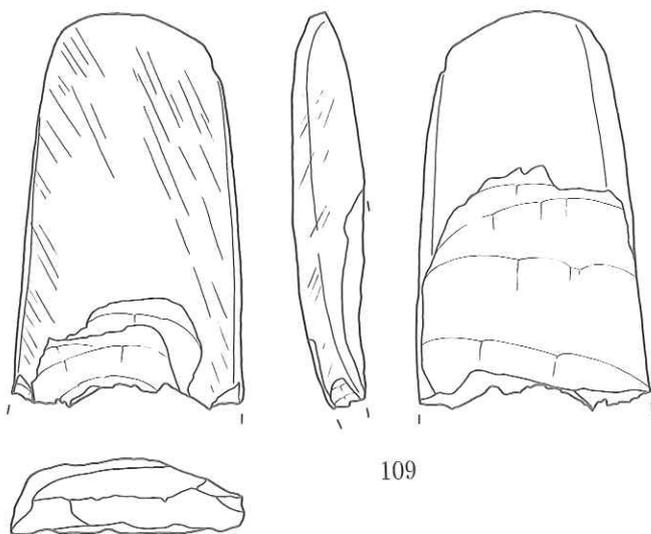
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
103	VII G-74	IV	81	60	37	146.0	珪頁	Pa		72630
104	VII G-76	々	(132)	40	35	(275.1)	々	々		72625

179図 第IV層 出土石器 (14)

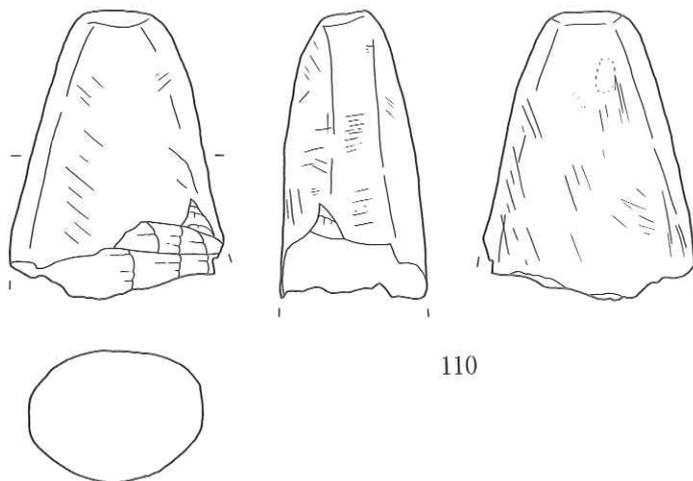


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
105	VIG-75	IV	(89)	37	12	(66.4)	緑細	Ha		73029
106	VIIH-75	〃	71	40	12	66.5	〃	〃		73024
107	VIG-76	〃	(64)	46	30	(157.7)	〃	〃		73031
108	VIG-76	〃	(63)	(56)	23	(142.8)	〃	〃		73026

180図 第IV層 出土石器 (15)



109

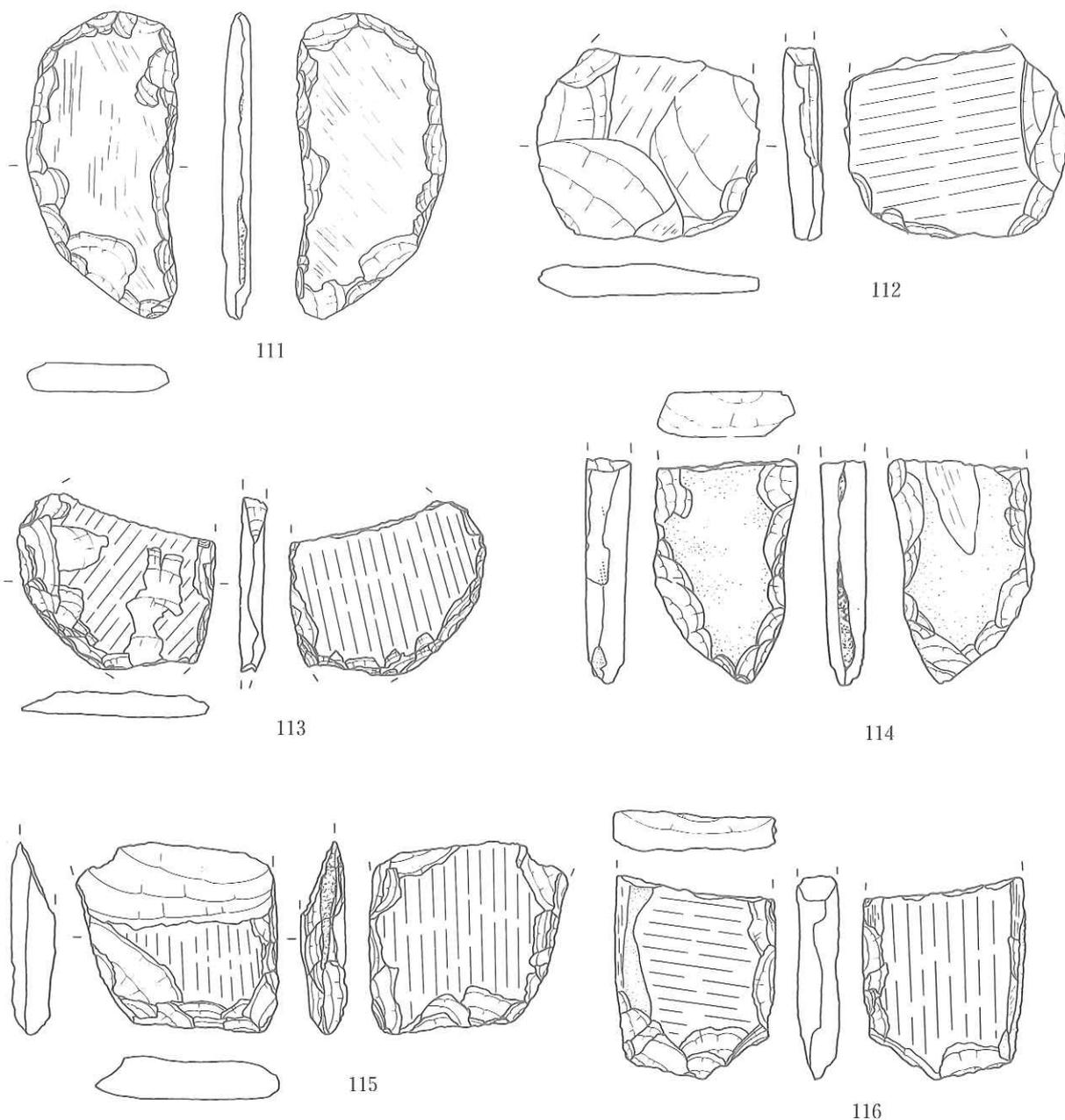


110

0 5cm

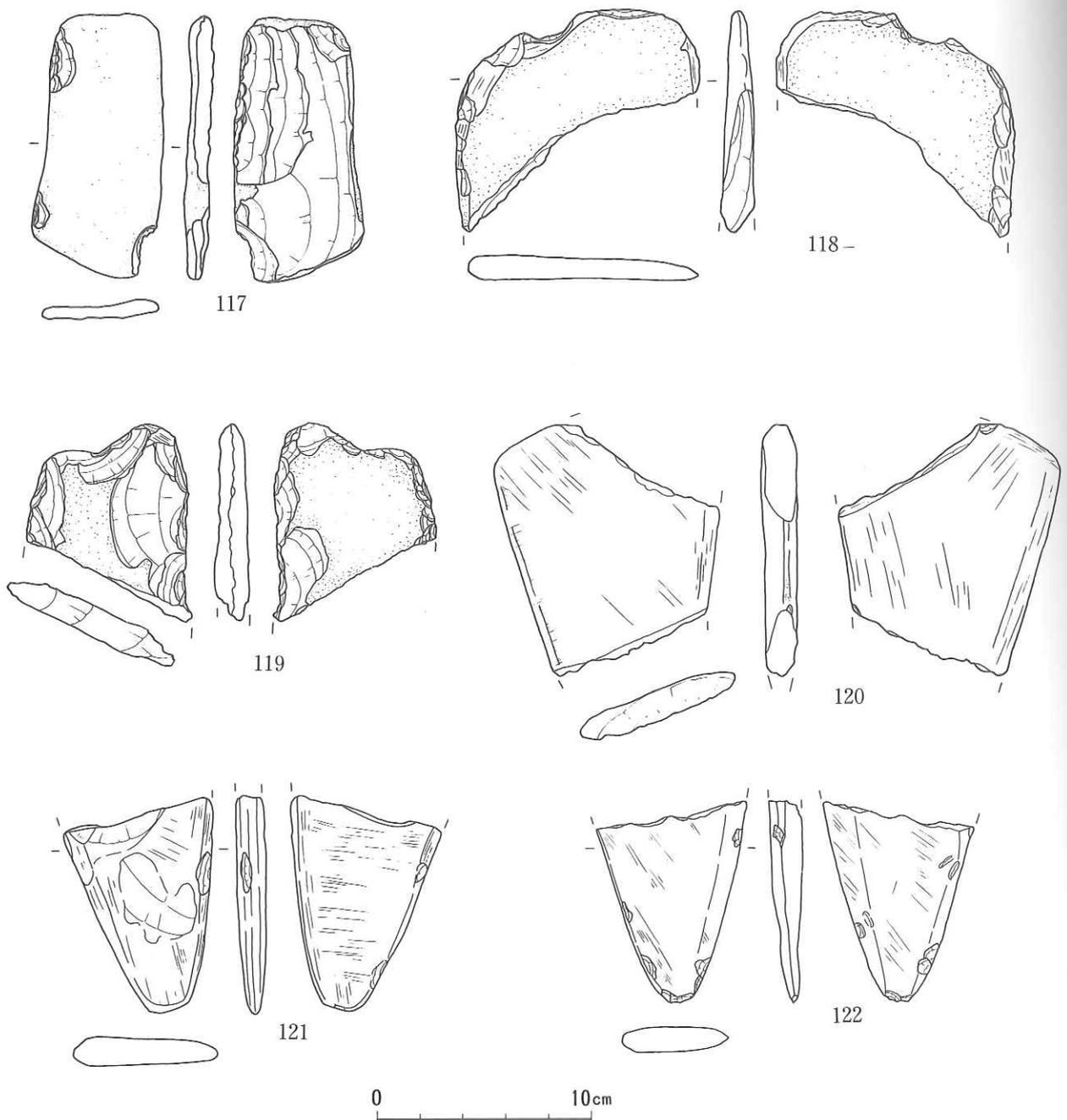
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
109	VIIH-75	IV	(78)	(45)	(14)	(76.6)	緑細	Ha		75402
110	VIIH-76	〃	(57)	(42)	(29)	(88.5)	〃	〃		72832

181図 第IV層 出土石器 (16)



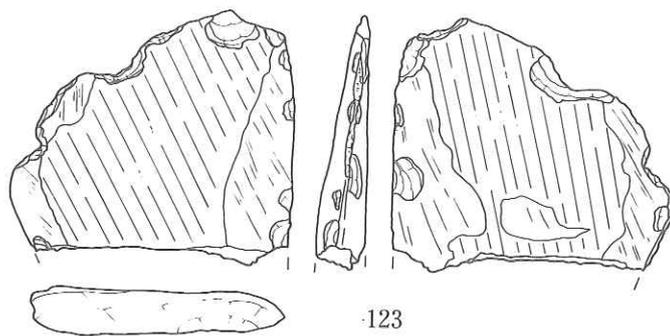
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
111	VI G-75	IV	137	34	37	185.7	安	J		75185
112	VII H-74	〃	(87)	100	18	(207.1)	〃	〃		75122
113	VI G-74	〃	(78)	87	13	(101.0)	〃	〃		73023
114	VII H-76	〃	(110)	(65)	(20)	(188.5)	〃	〃		75128
115	VI F-76	IV トレ	(86)	(89)	(20)	(5.0)	〃	〃		64248
116	VII F-75	IV	(99)	(73)	(19)	(182.8)	〃	〃		75121

182図 第IV層 出土石器 (17)

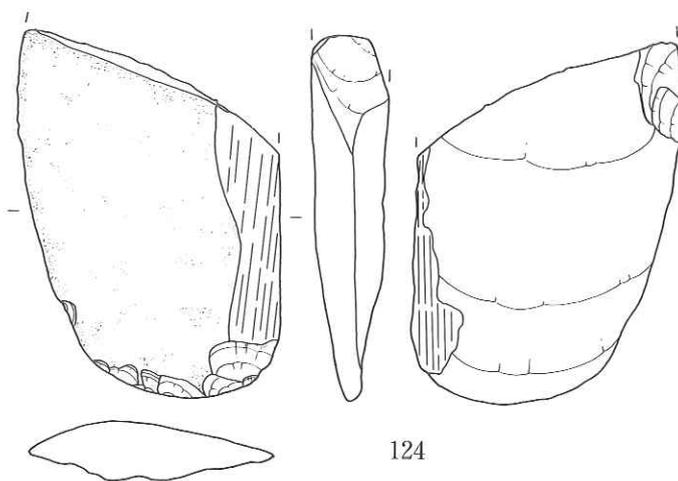


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
117	ⅧG-76	Ⅳ	123	61	12	90.4	安	J		75186
118	ⅧH-75	Ⅳ最下	(104)	(112)	(16)	(131.3)	凝	Q		75127
119	ⅧH-74	Ⅳ	(92)	(77)	(16)	(110.8)	安	J		75125
120	ⅧG-75	〃	(117)	104	(16)	252.4	流	K		75124
121	〃	〃	(95)	(71)	(14)	(121.2)	安	〃		75123
122	ⅧF-75	〃	(94)	(70)	(16)	(104.9)	〃	〃		75120

183図 第Ⅳ層 出土石器 (18)



123

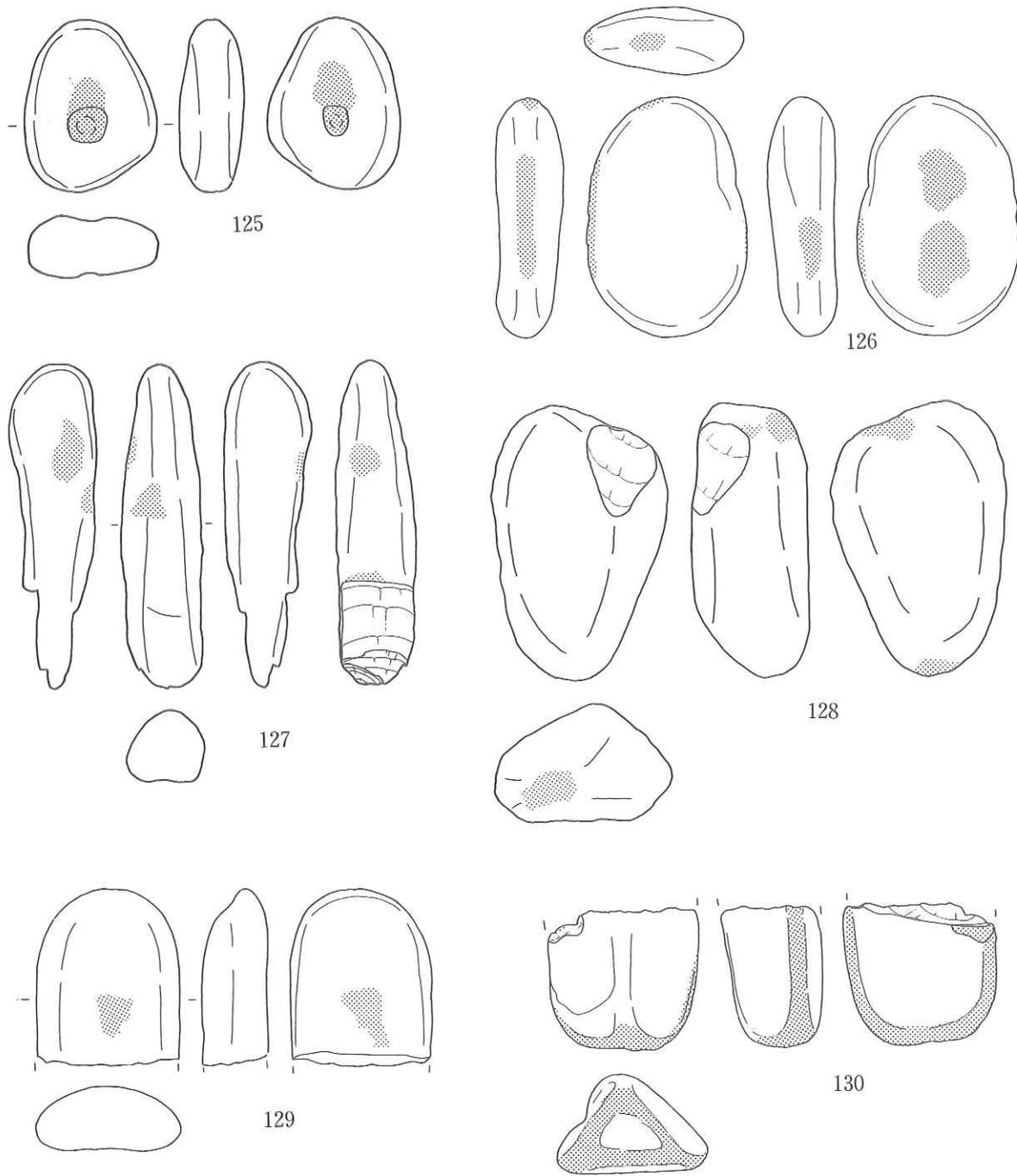


124

0 10cm

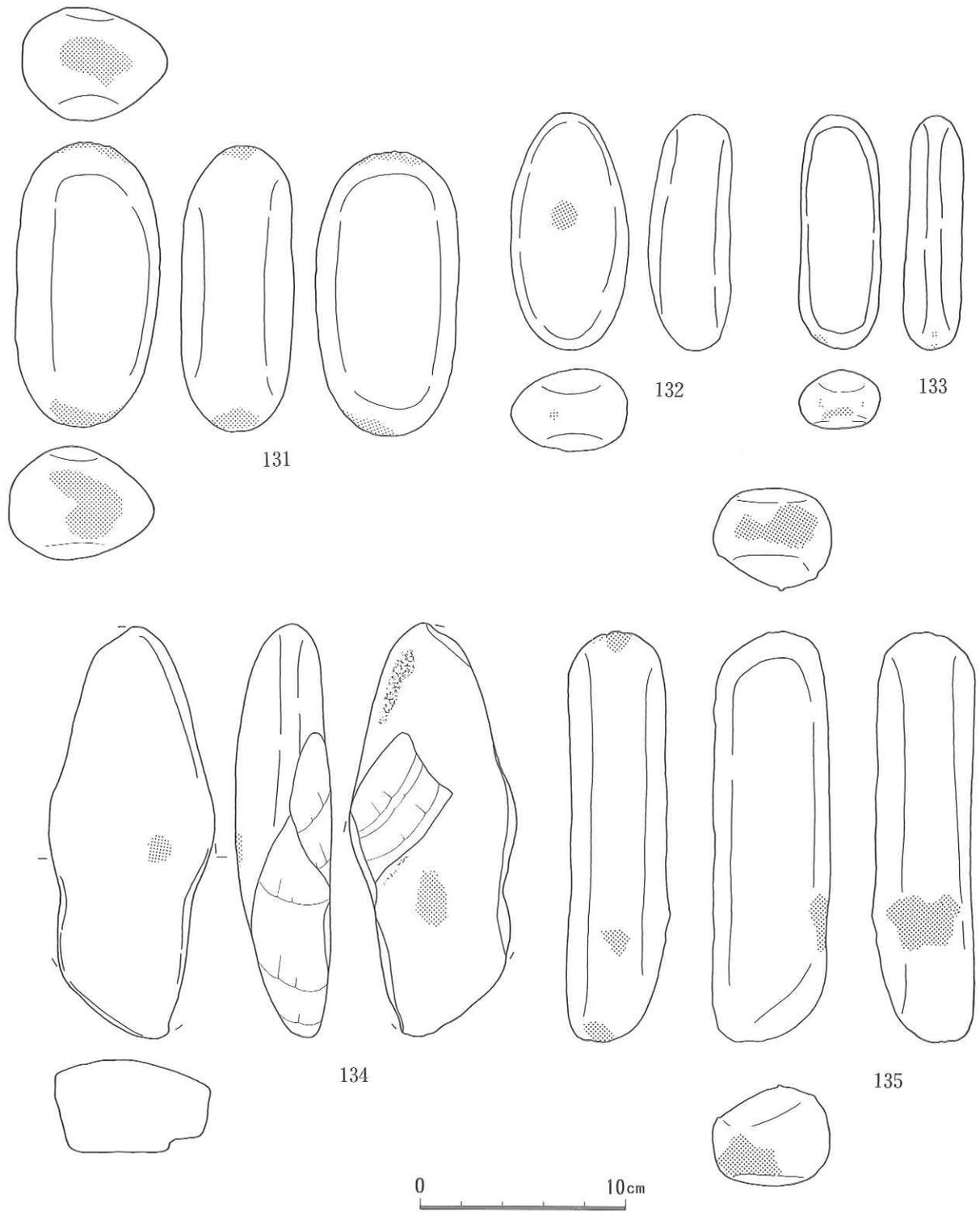
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
123	VIIH-75	IV	(100)	115	19	(252.0)	安	K		75126
124	VIIH-76	〃	(144)	104	31	(468.7)	閃	V		75187

184図 第IV層 出土石器 (19)



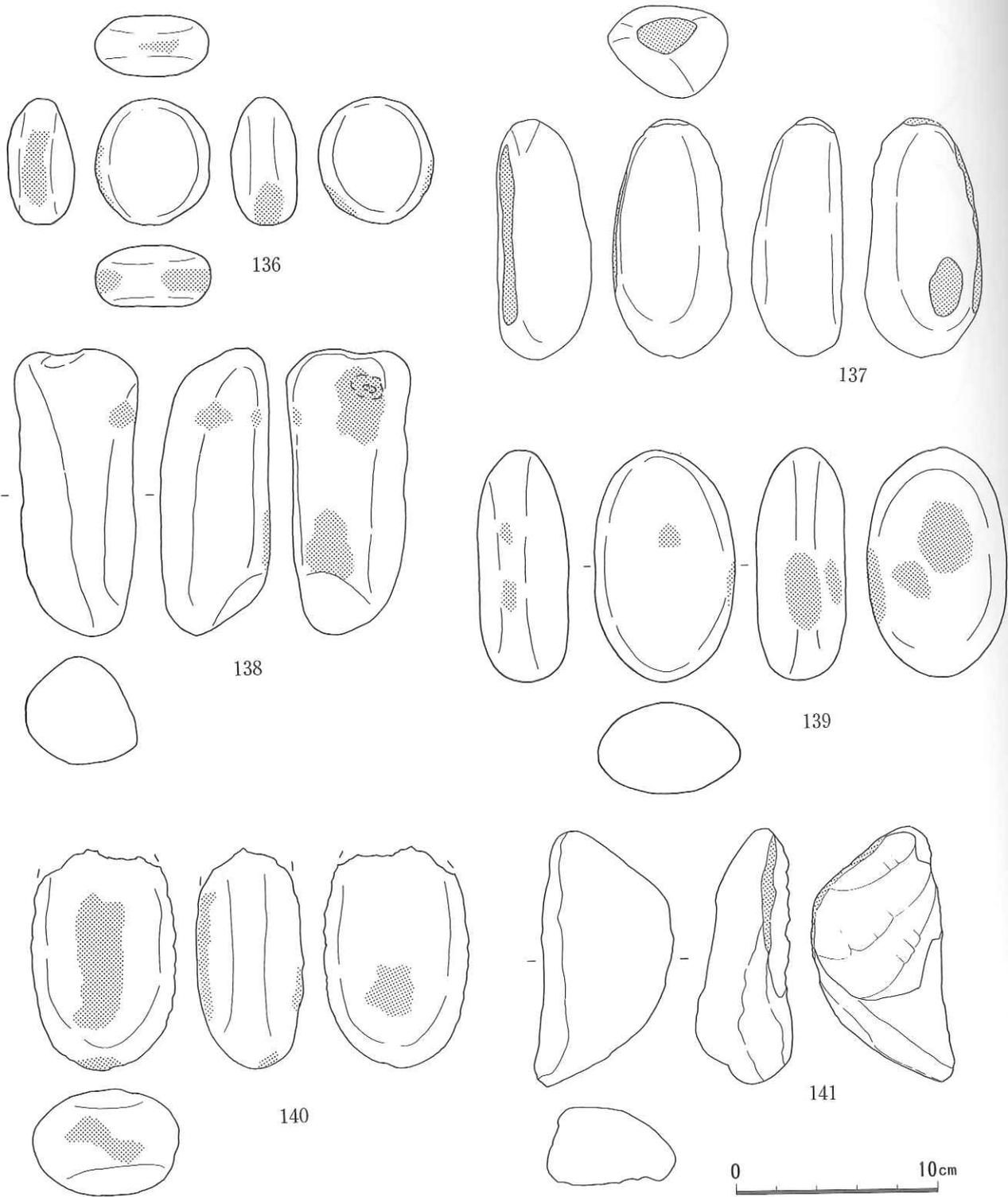
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
125	VIG-75	IV	89	61	30	179.2	安	Ia		74447
126	VIF-75	〃	110	73	31	350.7	〃	Ib		74434
127	VIIH-75	〃	149	37	40	230.0	流	〃		74454
128	VIIH-74	〃	127	81	54	760.5	安	〃		74880
129	VIG-75	〃	(81)	65	(3)	(234.2)	凝	〃		74441
130	VIF-74	IVトレ	(755)	(69)	(45)	(267.9)	安	〃		74461

185図 第IV層 出土石器 (20)



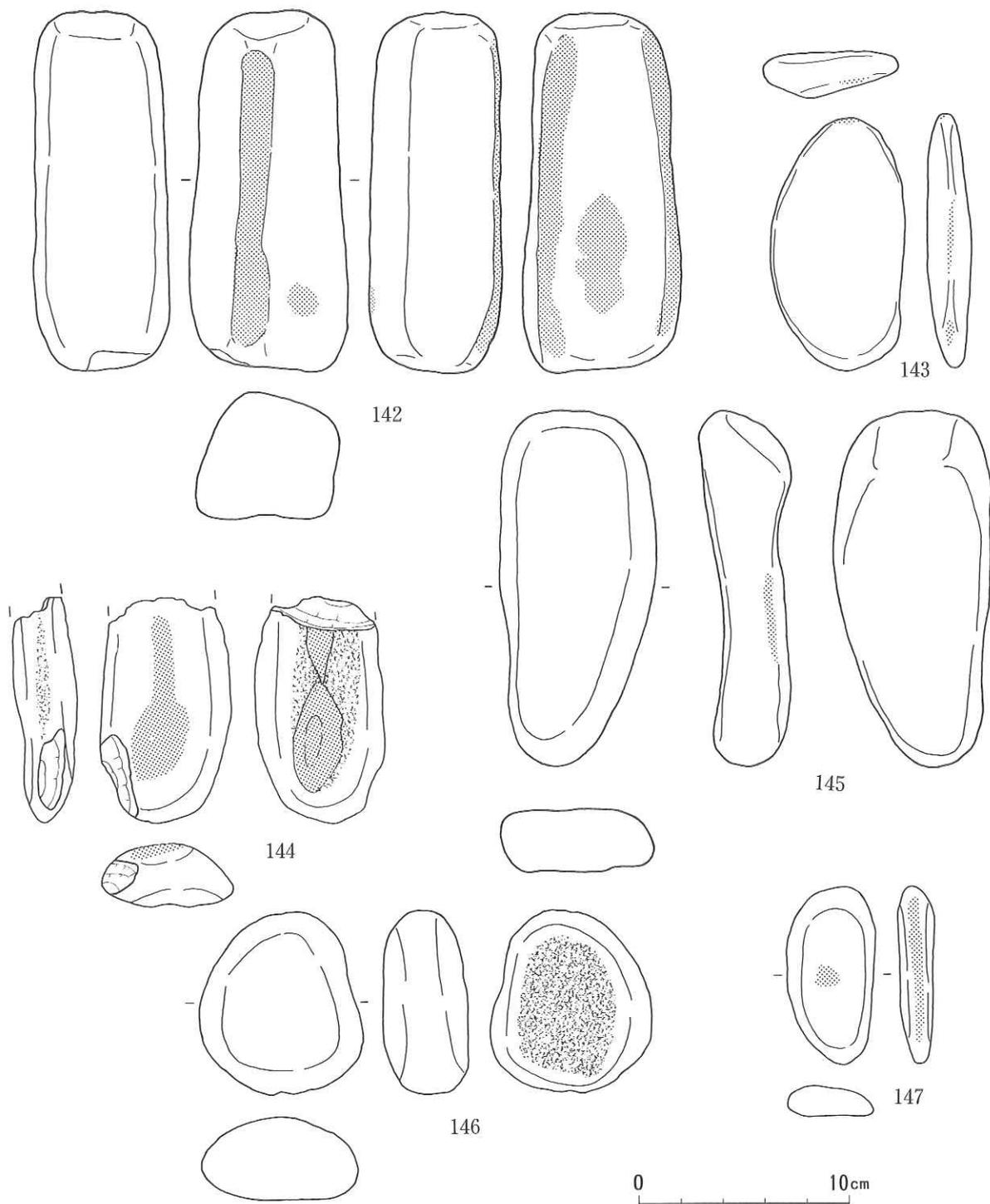
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
131	ⅦH-75	Ⅳ	139	70	55	719.2	流	Ⅱb		74455
132	〃	〃	115	56	40	380.1	安	〃		74453
133	ⅦG-75	〃	114	40	29	200.5	流	〃		74445
134	ⅦH-76	〃	201	(81)	46	(791.9)	安	〃		75354
135	ⅦH-74	〃	200	57	50	829.1	凝	〃		74451

186図 第Ⅳ層 出土石器 (21)



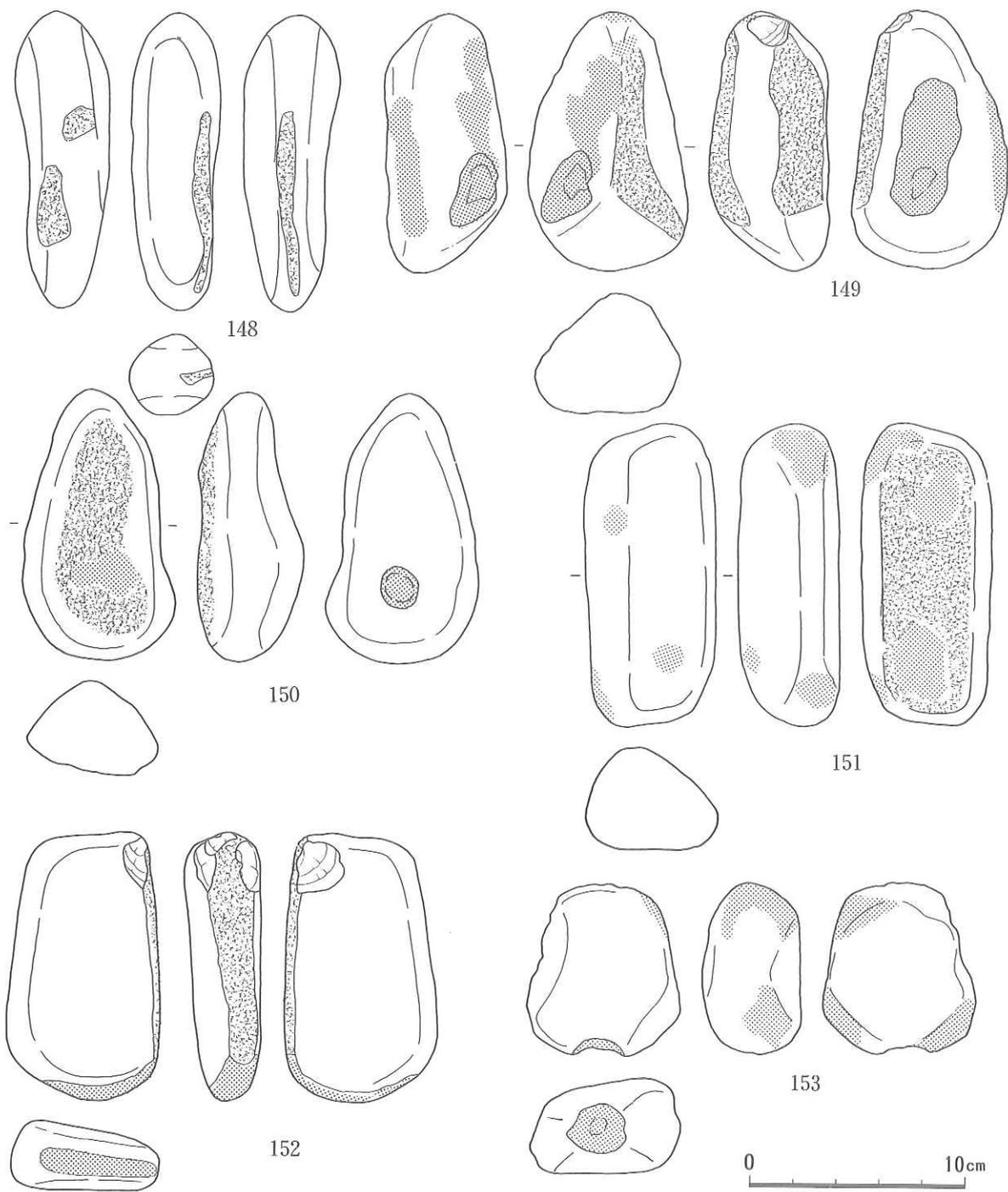
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
136	VII G-75	IV	63	57	33	169.3	安	lb		74446
137	VII F-75	〃	119	58	45	375.5	〃	〃		74436
138	VII H-75	〃	142	61	54	588.3	〃	〃		74881
139	VII F-75	IVトレ	115	69	34	434.4	凝	〃		74459
140	VII G-75	IV	(109)	72	52	(496.0)	流	〃		74443
141	VII F-75	IV下	127	70	47	356.2	凝	〃		74458

187図 第IV層 出土石器 (22)



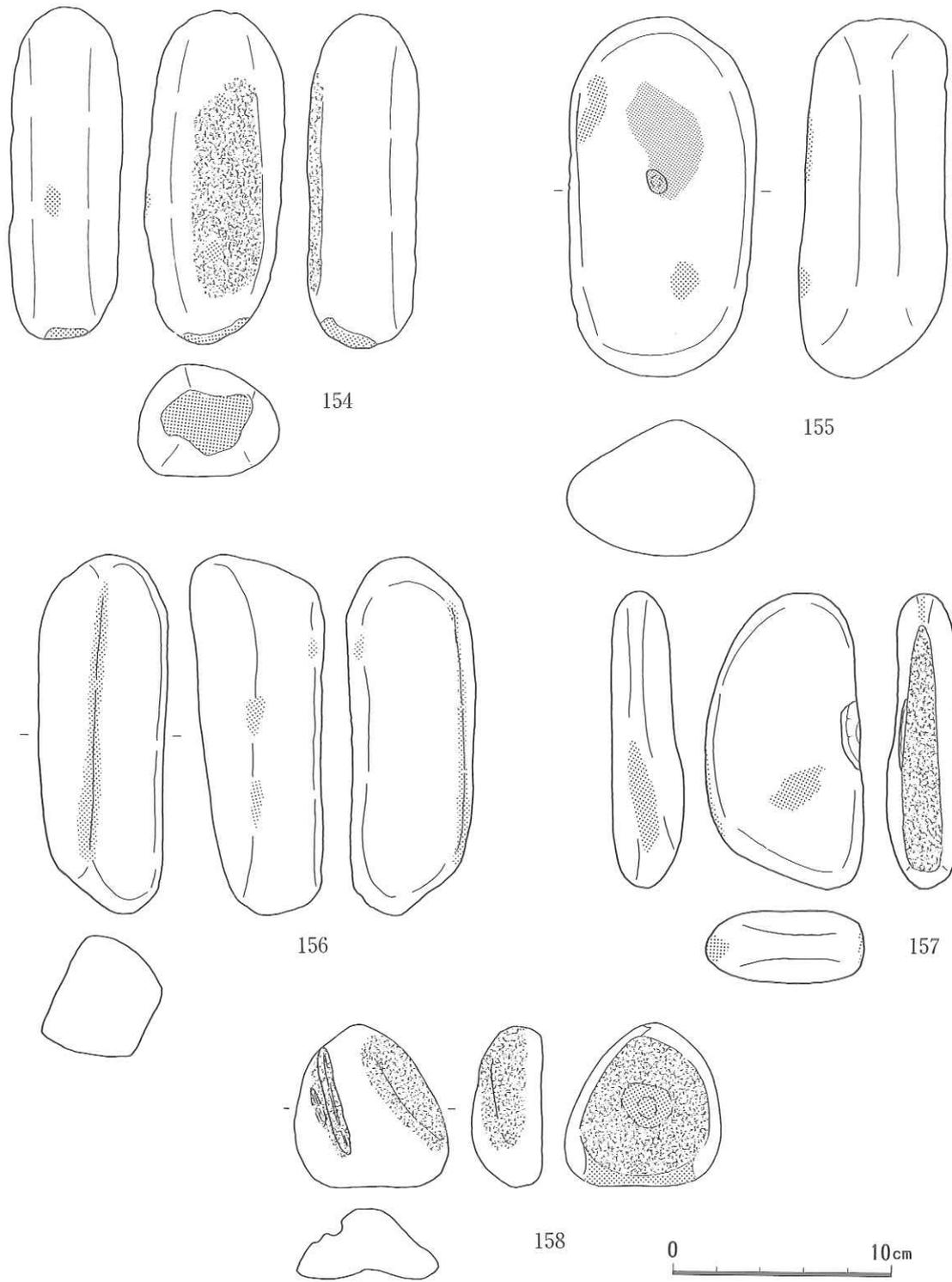
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
142	VII G-75	IV	175	74	63	1143.9	流	Ib		74444
143	VII H-76	〃	119	64	21	204.2	砂	〃		74457
144	VII H-75	〃	(107)	61	30	(254.5)	安	Ia		74452
145	VII F-75	〃	169	74	44	641.8	〃	Ib		74437
146	VII H-74	〃	87	77	40	286.8	凝	Ic		74450
147	VII H-76	〃	84	41	18	81.6	安	Ib		74456

188図 第四層 出土石器 (23)



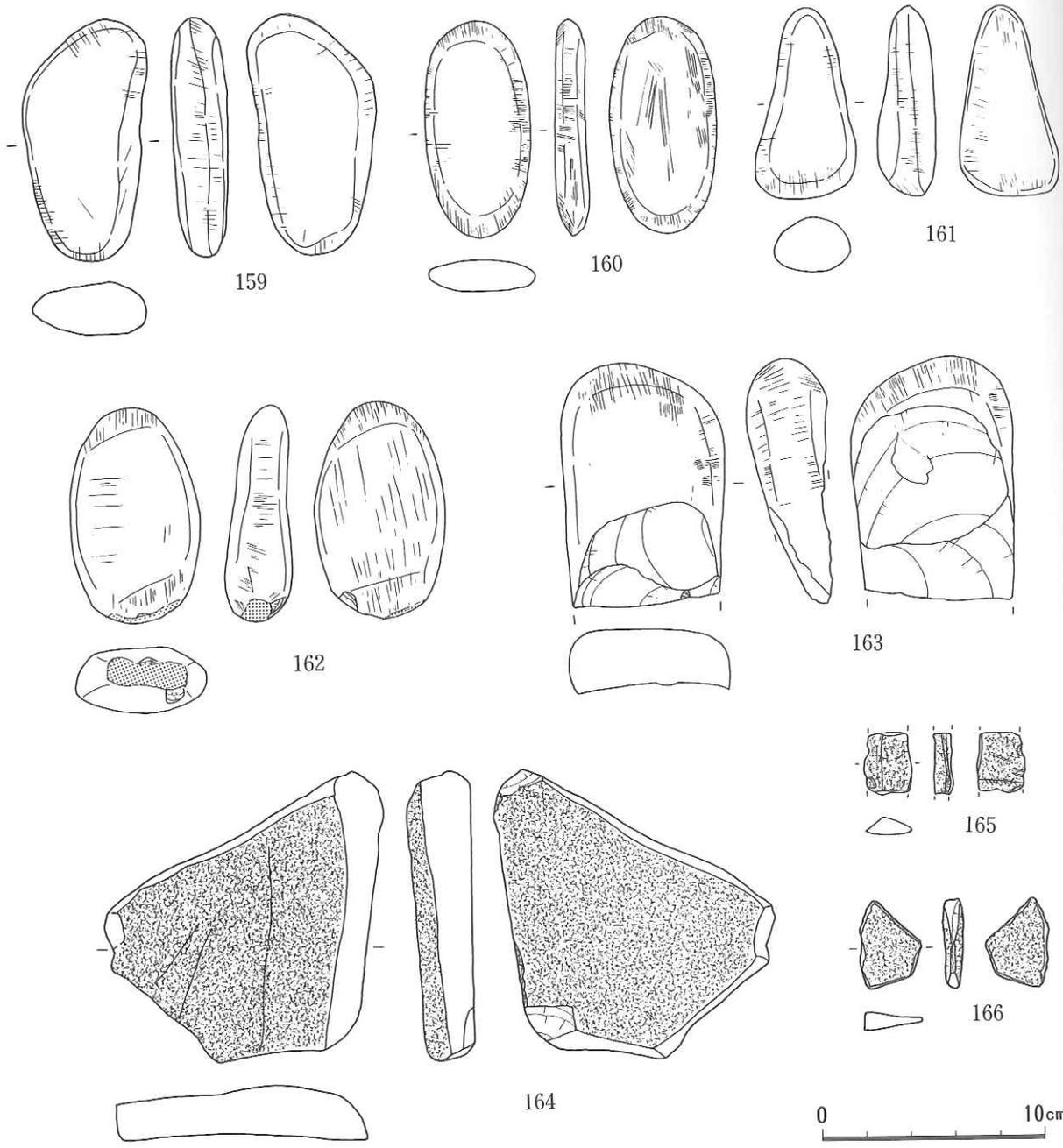
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
148	VII G-75	IV	138	46	43	314.9	流	Ic		74440
149	VII G-74	〃	120	73	55	464.9	安	〃		74438
150	VII F-75	〃	125	70	49	405.4	凝	〃		74435
151	〃	IV トレ	141	60	47	577.4	〃	Ib		74460
152	VII G-76	IV	124	71	36	505.1	安	Ic		74449
153	VII G-75	〃	80	70	45	365.1	〃	Ib		74442

189図 第IV層 出土石器 (24)



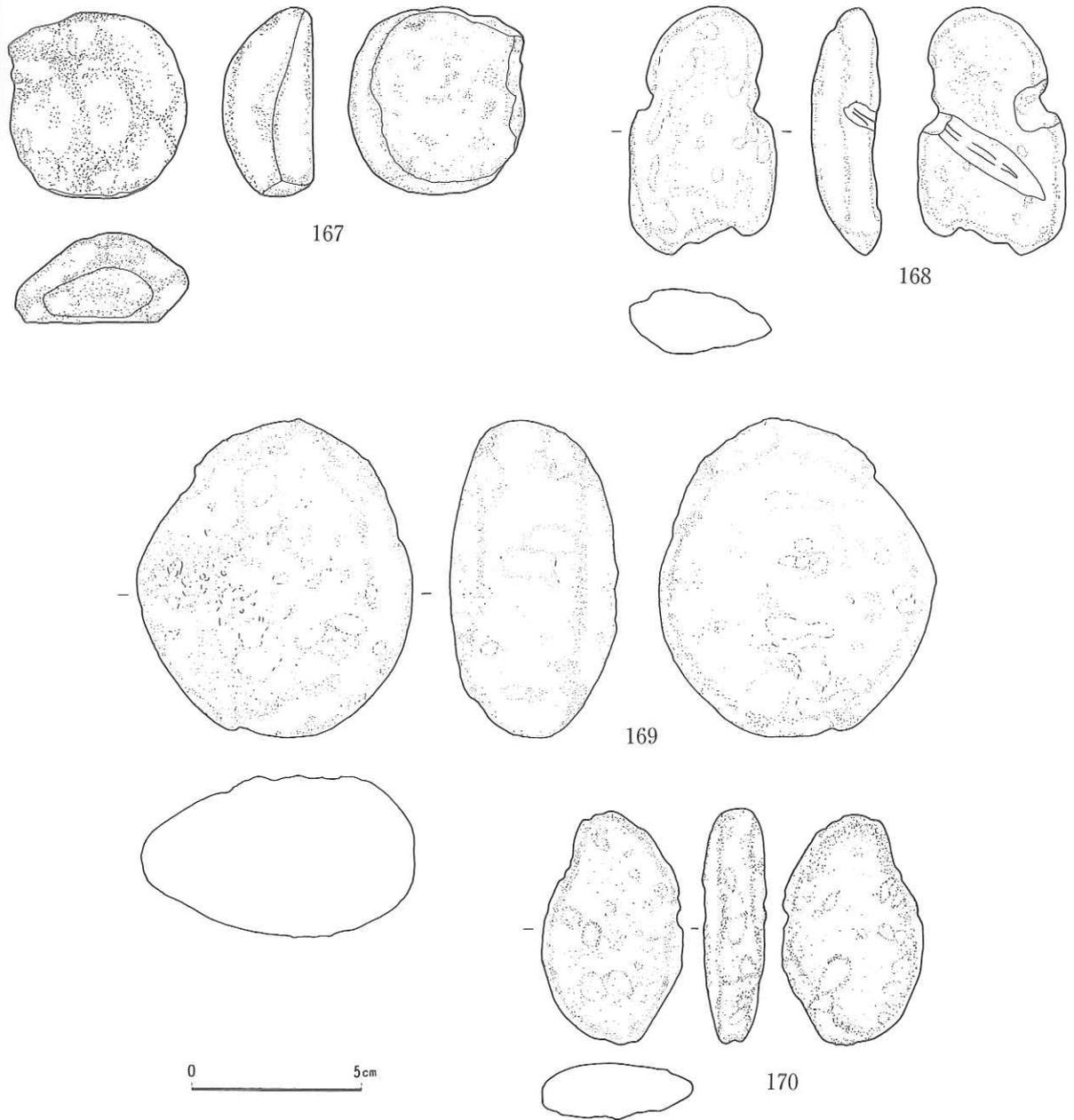
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
154	MH-74	IV	152	64	52	327.0	流	lc		74735
155	MG-76	〃	170	85	67	1194.4	安	lb		74448
156	MF-75	〃	165	60	62	795.2	〃	〃		74978
157	MG-75	〃	136	73	33	503.1	閃	lc		74983
158	MH-75	〃	74	70	32	189.9	流	〃		75372

190図 第IV層 出土石器 (25)



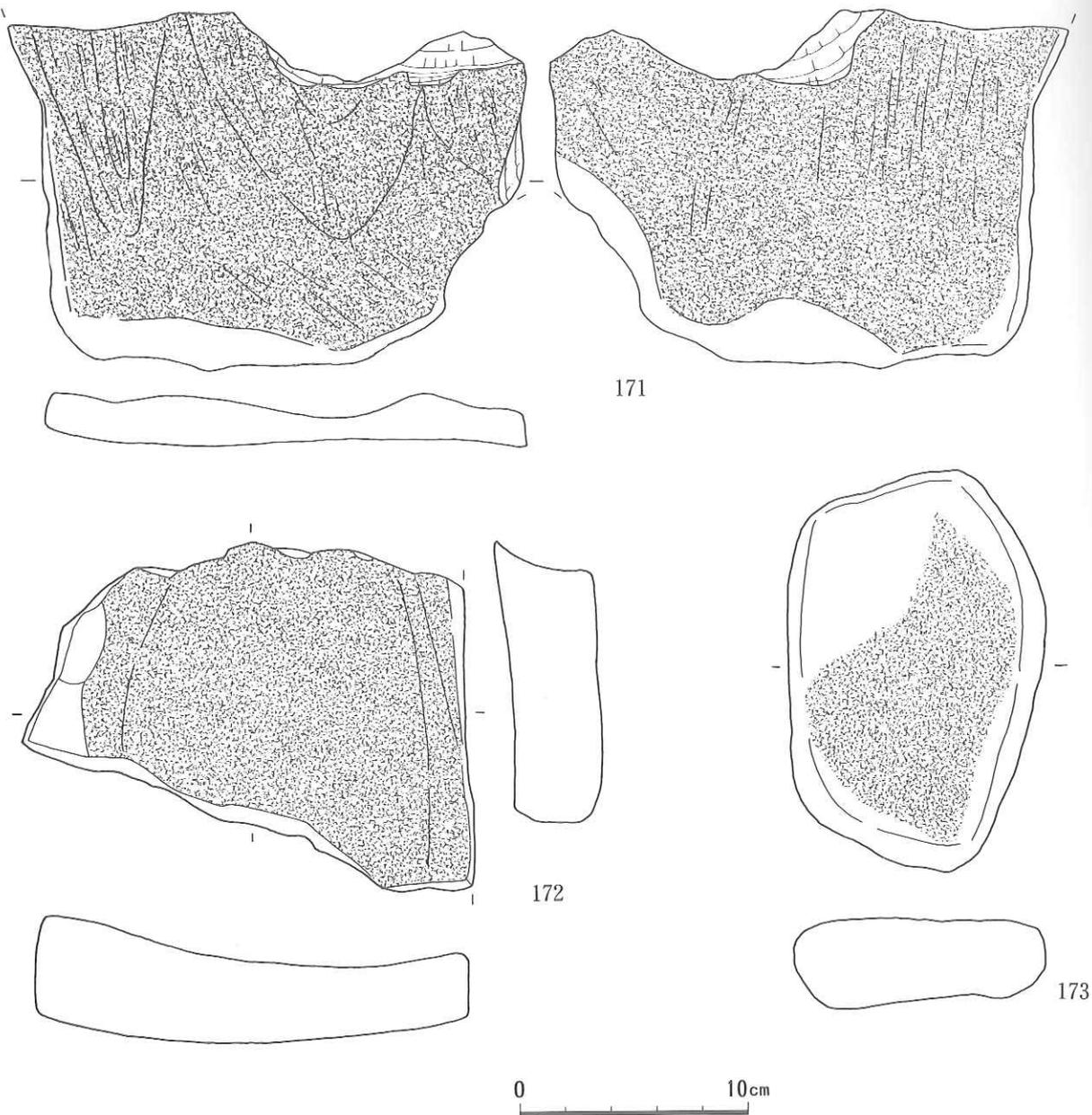
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
159	VIIH-74	IV	109	57	25	210.7	頁	Sa		75371
160	VIIH-75	〃	97	47	15	98.8	〃	〃		73033
161	VIIH-76	〃	86	45	26	114.7	〃	〃		75373
162	VII G-75	〃	98	58	30	241.1	輝緑	〃	敲打痕	75184
163	VIIH-75	IVトレ	(115)	72	36	(376.8)	頁	〃		73030
164	VII G-74	〃	131	125	29	459.2	安	Sb		75348
165	VII G-76	〃	(14)	11	4	(5.2)	凝	〃		75432
166	VIIH-76	〃	40	28	9	9.0	〃	〃		76360

191図 第IV層 出土石器 (26)



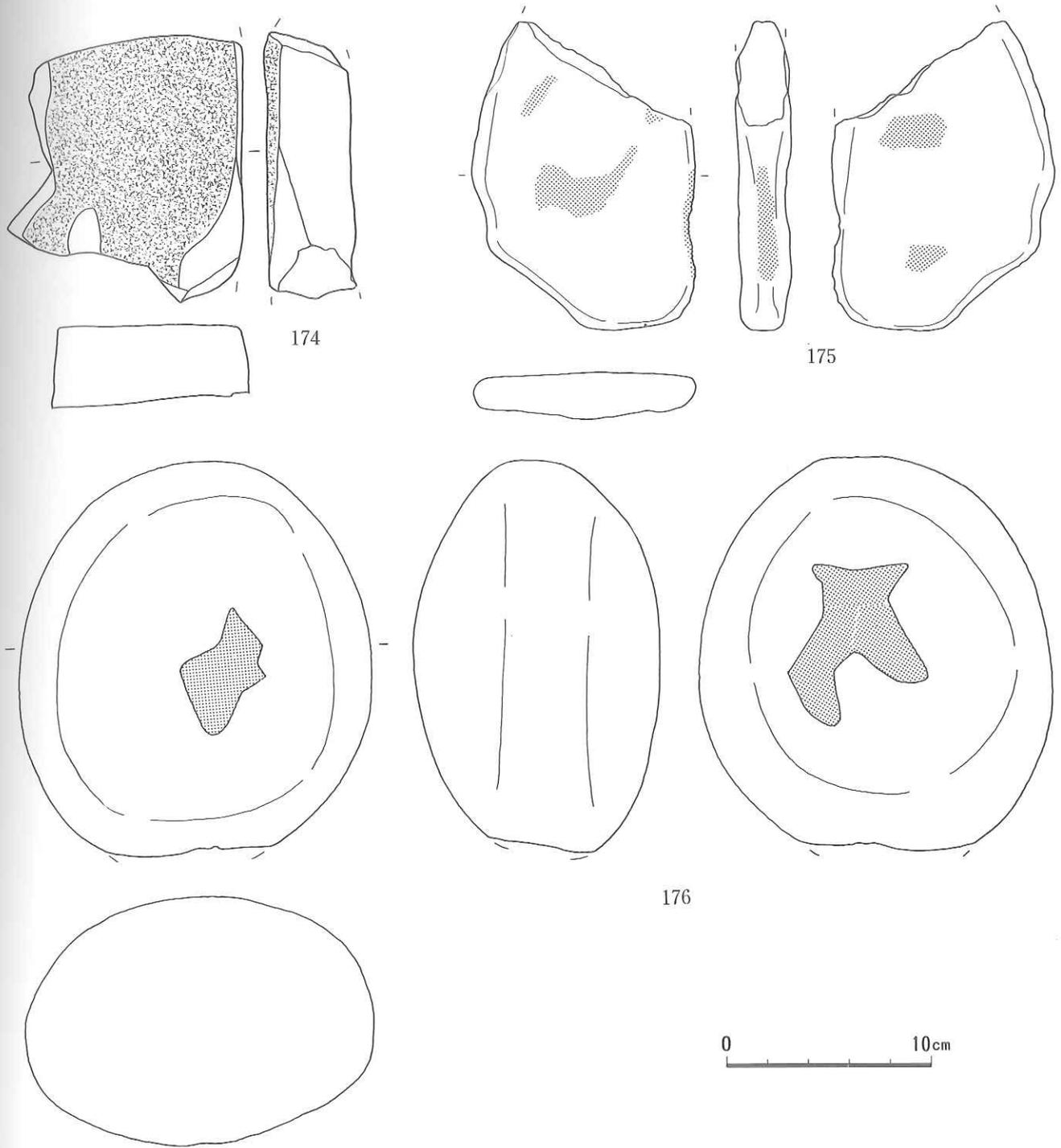
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
167	VII G-74	IV	56	52	27	27.6	凝	Tb		74613
168	VII H-75	〃	73	43	20	19.3	軽	〃		74619
169	VII G-74	〃	94	81	50	148.4	凝	Ta		74614
170	VII G-75	〃	70	42	19	16.5	軽	〃		74615

192図 第IV層 出土石器 (27)



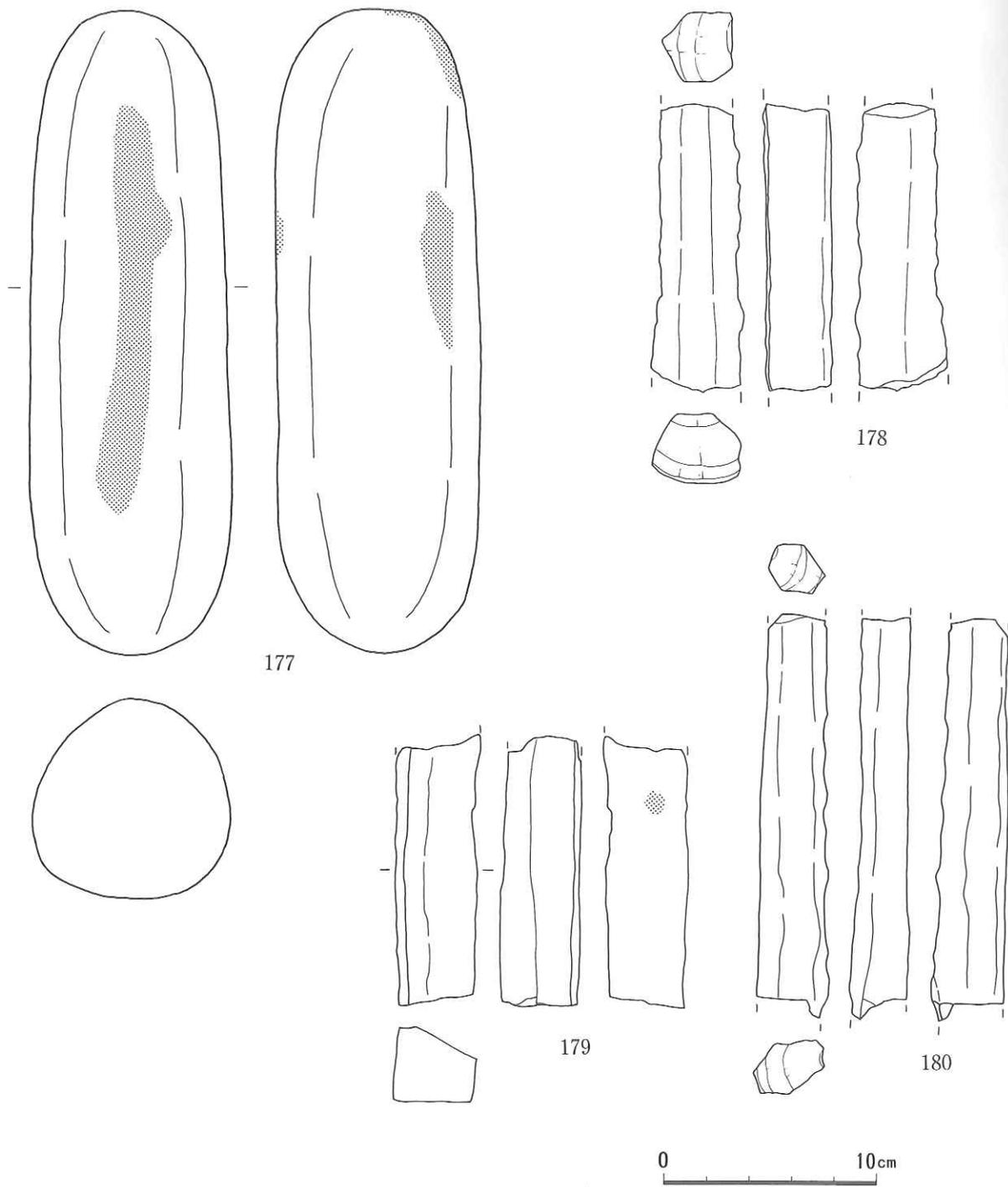
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
171	VIH-74	IV	(157)	(229)	(34)	(1339.8)	安	L		26141
172	VI G-76	〃	(164)	(196)	(58)	(1740.8)	〃	〃		75366
173	VI G-75	〃	175	113	40	1120.7	凝	〃		70191

193図 第IV層 出土石器 (28)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
174	VII G-76	IV	(131)	(118)	(42)	(857.8)	安	L		75355
175	VII G-74	〃	(151)	108	(27)	(576.7)	〃	〃		74439
176	VII F-75	IV下	(191)	172	121	(4904.3)	〃	〃		70190

194図 第IV層 出土石器 (29)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
177	VIIH-74	IV	301	94	97	3998.2	流	L		70192
178	VII F-75	〃	(134)	(43)	(32)	(272.9)	〃	Ua		74543
179	VIIH-75	〃	(128)	(40)	(37)	(276.9)	〃	Ub		74546
180	VII F-75	〃	(189)	(35)	(27)	(201.8)	〃	Ua		74544

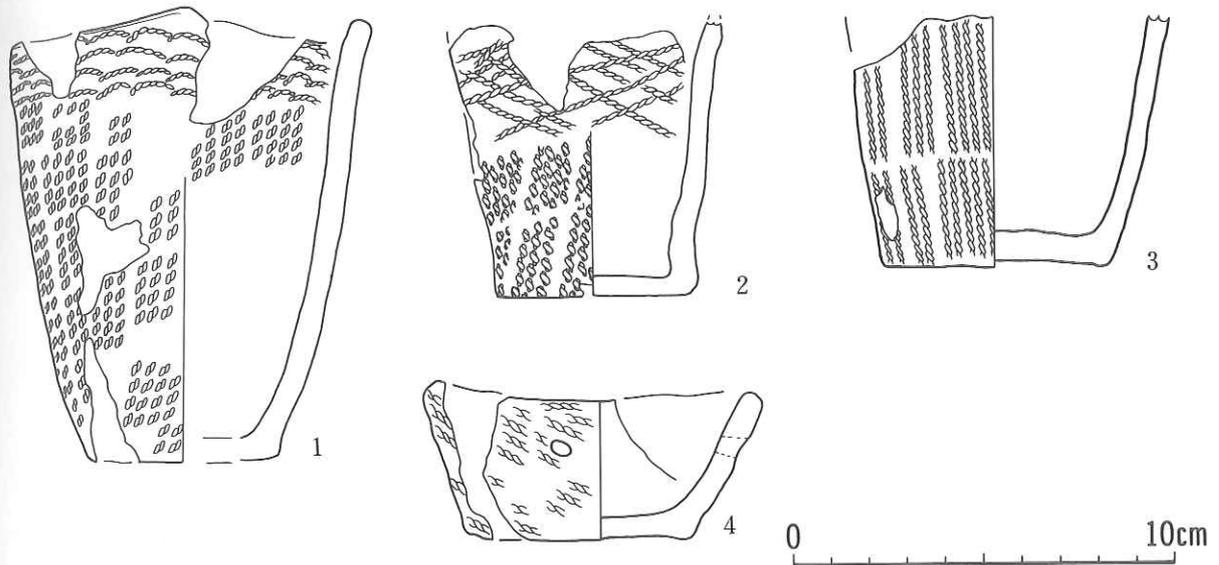
195図 第IV層 出土石器 (30)

#### 4) 土・石製品

##### ミニチュア土器 (196図)

器高が10cm以下のものをミニチュア土器とした。1～3は深鉢形である。1は口縁部にR結節回転文、胴部にはRLR縄文である。器高が12cmであるが、ミニチュア土器に含めた。2は口縁部に単軸絡条体5類、胴部にはRLR縄文が施される。3は胴下半部片で、R単軸絡条体が施される。4は皿形である。胴部、底部にRL縄文が施される。1ヶ所貫通孔がある。破損しているため、補修孔であるかどうか不明である。いずれもスス状の炭化物、被熱痕などの使用痕は見られない。

(小笠原 雅行)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
1	VII-77	IV	R結節回転	RLR		不明			
2	VII-76	〃	R単絡5	〃		ナデ	素文		
3	VII-75	〃			R単絡1	ミガキ	〃		
4	VII-76	〃		RL		〃	RL		

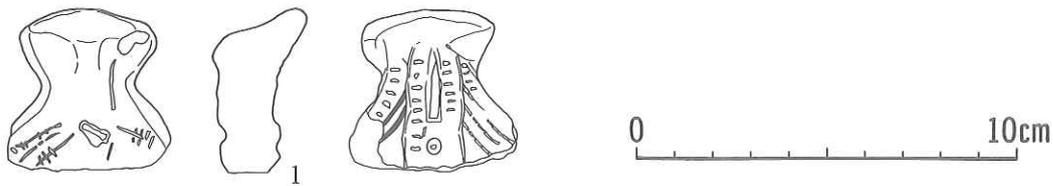
196図 第IV層出土 ミニチュア土器

### 土偶 (197図)

第Ⅳ層からは土偶の頭部が1点出土した。頭頂部は王冠状に作出され、中央部がわずかに窪む。顔部表現は明確ではないが、楕円形の窪みは口の表現であろうか。他には沈線、短刻線が施される。裏面は、粘土紐の貼付が見られる。両縁部に沿うものが1条ずつ、中央に2条観察される。この2条の下部には円形の貼付が連結する。上面には刻みがつけられる。

第Ⅳ層は縄文時代前期の円筒下層d<sub>1</sub>式以前の層である。これまでの調査例の中で前期の土偶として考えられるものは、青森県内では鱒ヶ沢町鳴沢遺跡の出土例がある。しかし、それとは形態・文様が異なっている。短刻線を有する土偶は、大木式系の前期末から中期初頭の文様手法と共通し、円筒土器に伴う土偶の中でも古く位置づけられるものと考えられている。この土偶についてみれば、王冠状の頭頂部、「おさげ」のような後頭部などから、文様構成・形態とも大木式系統の土偶とは言えない。本来、前期円筒土器文化圏は土偶を持たない文化といわれており、仮に前期段階の土偶であるとすれば、その初源に関わるものとなる。この土偶の取上げに当たっては、他の土器とともに一括で取り上げており、調査時点ではそれと気づかなかった。そのため、出土状況は明確にはできない。しかし、いずれにしても前期末から中期初頭の時期として考えられる。

(小笠原 雅行)



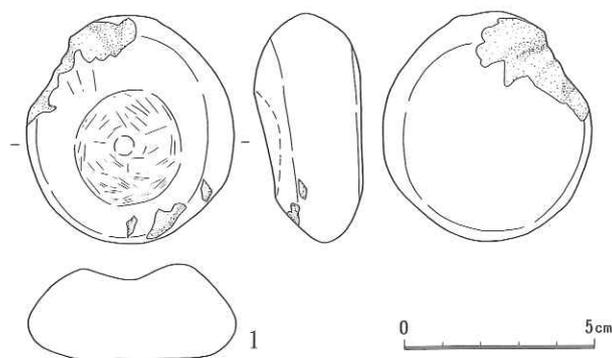
番号	出土地点	層位	計 測 値 (cm)			文 様		種 類	備 考
			長さ	幅	厚さ	表 面	裏 面		
1	VIIH-75	IV	(4.3)	(4.3)	(2.5)	細沈線	貼付、細沈線	土偶	

197図 第Ⅳ層出土 土偶

その他の土・石製品 (198図)

石製品が1点出土した。用途は不明だが、中心部をくぼませている。

(阿部 美杉)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考	整理番号
1	VII-76	IV	61	56	28	52	凝		3613

198図 第IV層出土 石製品

### (3) 第V a層の調査

#### 1) 第V a層の概要

第V a層は黒褐色土を主体とし、炭化物が全体に2パーセント程度混入する。黄褐色ローム粒が第IV層より多く含まれ、色調はやや明るい。斜面部に堆積し、平面的ではそれほど広がらず、VII F-75～VII G-77にかけて分布する。層厚は10～40cmぐらいで、斜面上部ほど厚い。

土層の形成時期は、出土土器から円筒下層a式～b式のものである。出土土器は量的には少ない。遺物の出土状況は、層中に混在した状態である。多くは破片で出土し、調査段階で復元可能と認識できる出土状況を示すものは無かった。そのため、復元し得た土器は比較的少ない。

#### 2) 土器(198～220図)

第V a層からは段ボール箱で136箱分の土器が出土した。そのうち、ある程度復元し得たものは26個体分である。型式で見ると、円筒下層a式から円筒下層b式までである。量的に主体を占めるのは、口縁部、胴部とも単軸絡条体回転によって施文された土器である。特に単軸絡条体1類が多い。これは従来円筒下層b式の新段階としてとらえられているものである。

以下、出土した円筒下層a・b式を細分類で表す(細分類で該当する土器がない場合、その項目は省略する)。

第II群2・3類、円筒下層a・b式に含まれるもの。

##### 1 口縁部文様帯がなく、全面に縄文を施すもの(1・27～36)

1は器面全面にRL縄文の施されたものである。器高が13cmの小形の土器である。

##### 3 原体の押圧が施されるもの(2・37～40)

2は器面全面にRRL施文後、口縁部に原体を押圧したものである。37・38はL単軸絡条体1類施文後、RL押圧、39・40は文面上にRLR押圧する。40は低隆帯を有する。

##### 4 結節回転文が施されるもの(3～14、41～61)

3～14、41～61は結節回転文が施されたものである。3～9、41～48は隆帯を持たない土器である。器形はバケツ形を呈する。地文は8は絡条体回転、それ以外は縄文で、RLRが多い。

10～14、49～61は隆帯を有する土器である。10～13、49～57は太い隆帯、14、59～61は低隆帯を有する。器形は筒形が多い。10は胴部が若干膨らむ器形である。隆帯は1条がほとんどであるが、2条

(10)のものもある。隆帯上面は円形刺突(10、13、49・50、57・58)、原体の斜位(11、51～56)、横位(12)押圧、斜位押圧と回転の組合せ(14)がある。地文は複節縄文の場合は、斜行するもの(10、12、49・53)、縦走するもの(11、13、57・58)がある。14、60・61は単軸絡条体回転である。

##### 6 単軸絡条体1類が施されるもの(15～19、62～85)

15・16、62～68は隆帯が無いものである。胴部は単軸絡条体1類である。15は口縁部まで縦位の単軸絡条体1類施文後、横位に施文される。69・70は太い隆帯を有し、上面は斜位の原体押圧が施される。17～19、71～85は細い低隆帯をもつものである。17・18、79は低隆帯の上側に原体押圧が、19、82・83、85は口唇部にも原体の押圧が施される。84・85は鋸歯状に原体押圧が施される。胴部は17が単軸絡条体1類、18がRRL、19は上半が単軸絡条体1類、下半がRLRである。

7 単軸絡条体 2 類が施されるもの (86~94)

86・87は隆帯がなく、89~94は低隆帯を有する。

11 単軸絡条体 5 類が施されるもの (20・23・24、95~132)

24、95~109は隆帯のないものである。24は文様帯の上下に原体の押圧が巡る。114~116は太い隆帯を有する。114は上面が円形から刺定、115・116は原体押圧が施される。20、23、117~133は細い低隆帯が巡り、隆帯の上へ、上面には斜位横位の原体押圧がある。胴部は単軸絡条体の縦位回転がなく、斜走する縄文が少数ある。

12 単軸絡条体 6 類が施されるもの (21・22、25、133~141)

21・22、133、135、134、140はいずれも低隆帯を有するが、21・22は痕跡程度のものである。口唇部、隆帯の上下には原体押圧が巡る。胴部は21、134・135、141がRLR、22、139、140は単軸絡条体回転である。

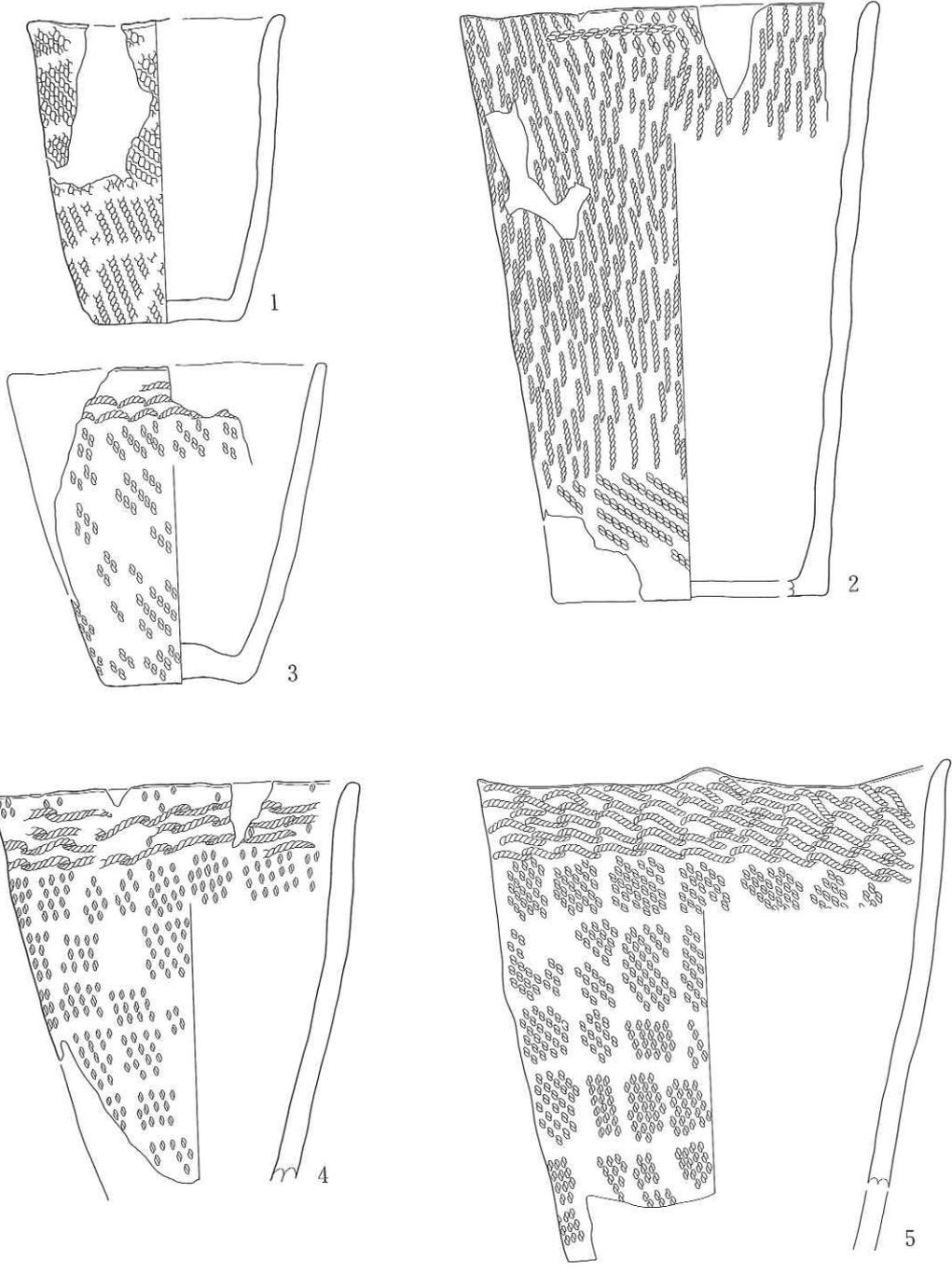
13 単軸絡条体 6 A類が施されるもの (26、142~166)

142~148は隆帯がない。胴部はRLR、RRLがある。116は細い低隆帯が巡るが、RLRが少数(154、159)ある。26は隆帯の上下に、25は口唇部にも原体の押圧がある。胴部は単軸絡条体回転がほとんどである。

17 その他 (167~171)

167は低隆帯の上面、上側に刺突が巡る。171は網目状撚糸文が縦位に施された胴部片である。

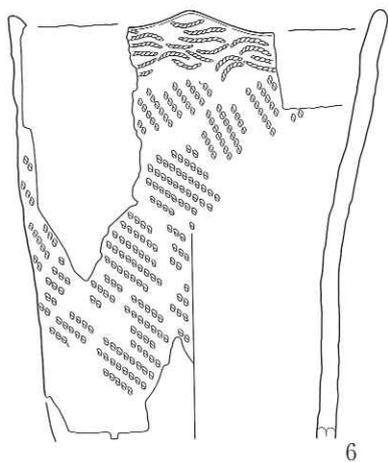
(小笠原 雅行)



0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	VI F-74	Va	RL		RL			II-2-3-1	
2	VIG-77	〃	RRL、RL押		RRL			II-2-3-3	
3	VIH-77	〃	RLR、R結節回転		RLR			〃	
4	VIG-77	〃	〃					〃	
5	VIH-77	〃	R結節回転	RLR				〃	

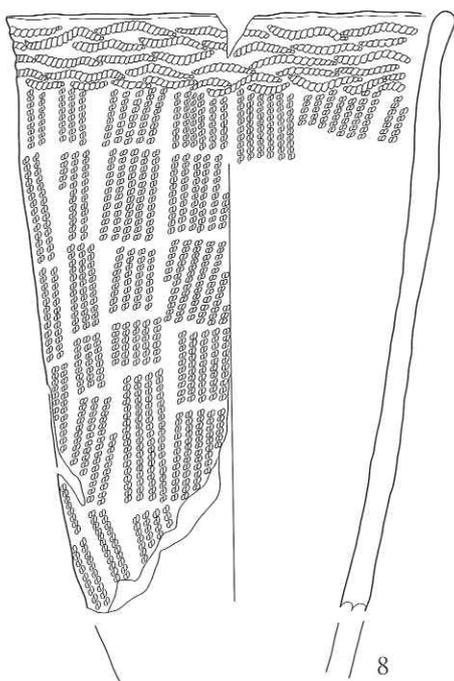
199図 第V a層 出土土器 (1)



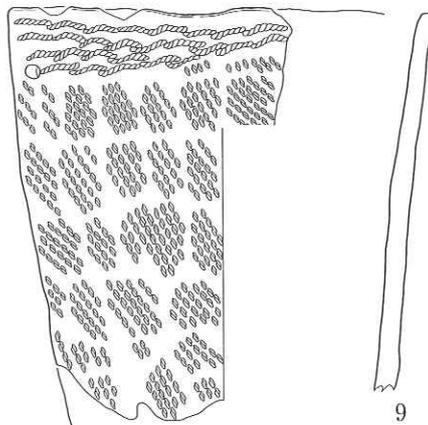
6



7



8

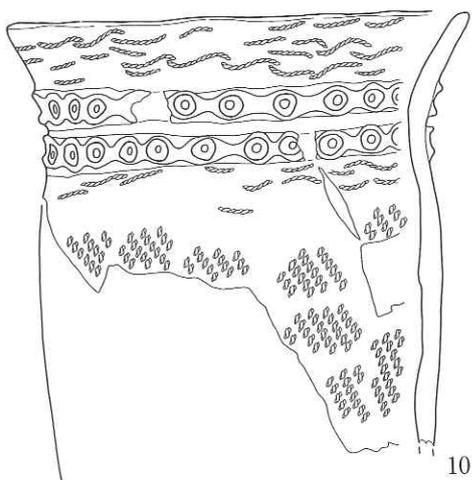


9

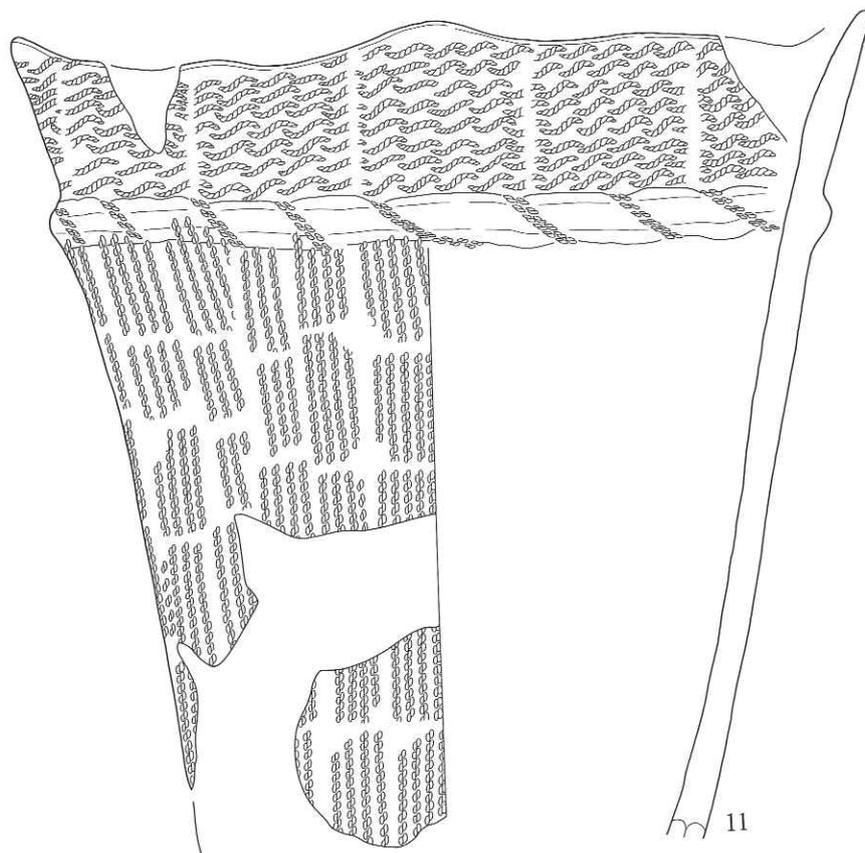
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
6	VIIH-74	Va	R結節回転	RLR		不明	II-2-3-4		
7	VII G-77	〃	〃	RRL		〃	素文	〃	
8	VII F-75	〃	〃	LR単絡1		〃	〃	〃	
9	VII F-77	〃	〃	RLR		〃	〃	〃	

200図 第V a層 出土土器 (2)



10

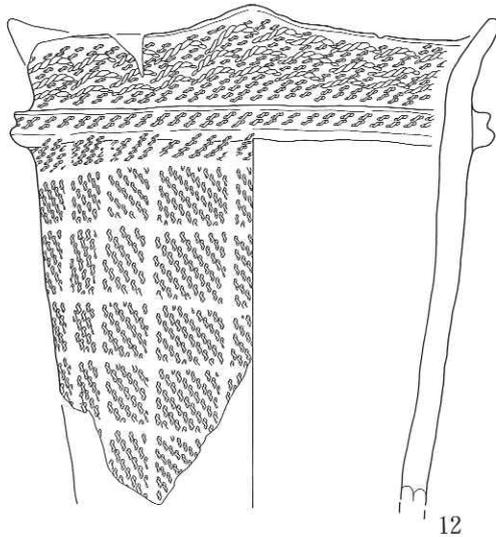


11

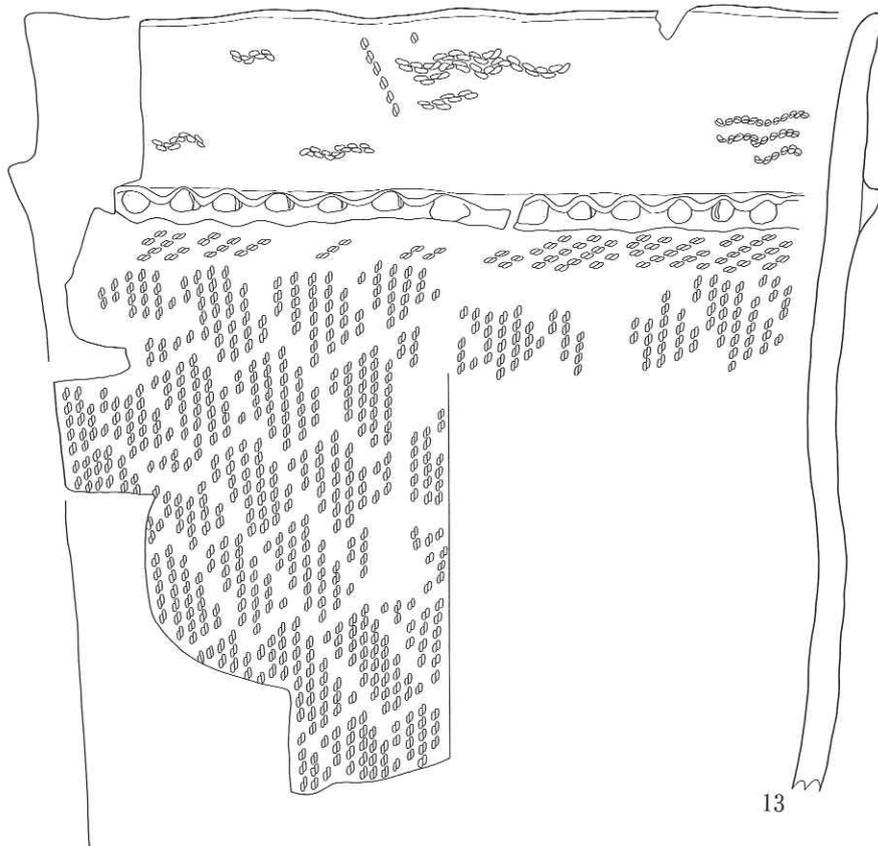
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
10	VII G-77	Va	R結節回転	隆帯(円形刺突)RLR		ミガキ		II-2-3-4	
11	VII F-77	〃	〃	〃(RLR押)LR単絡I		〃		〃	

201図 第V a層 出土土器(3)



12

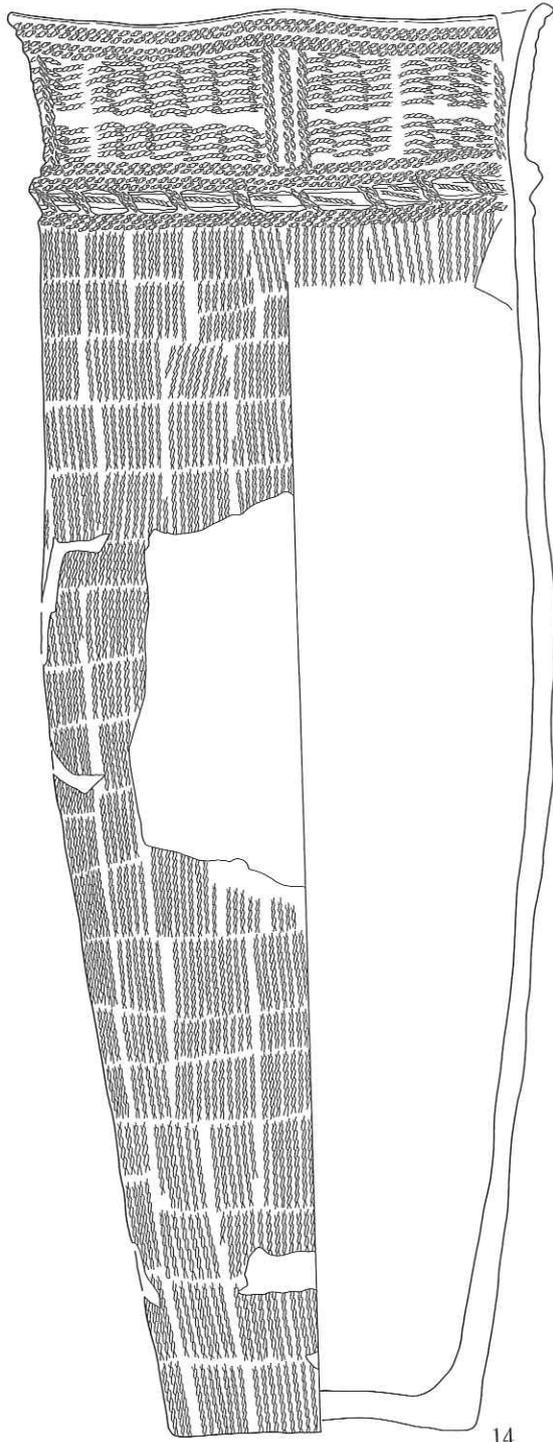


13

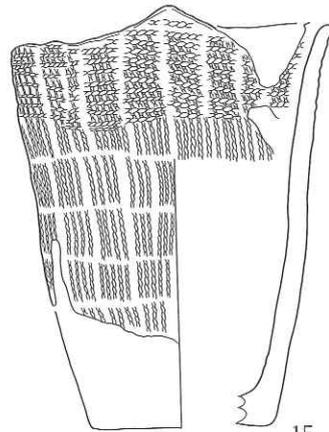
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
12	ⅦF-77	Va	RLR、R結節回転	隆帯(RLR押)、RLR		ミガキ	Ⅱ-2-3-4		
13	ⅦG-77	〃	LR結節回転	隆帯(凹形刺突)、〃			〃		

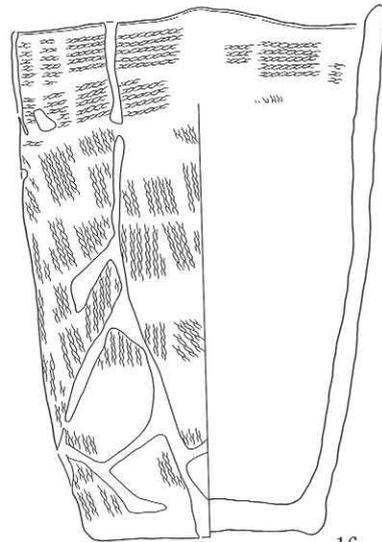
202図 第Ⅴa層 出土土器(4)



14



15

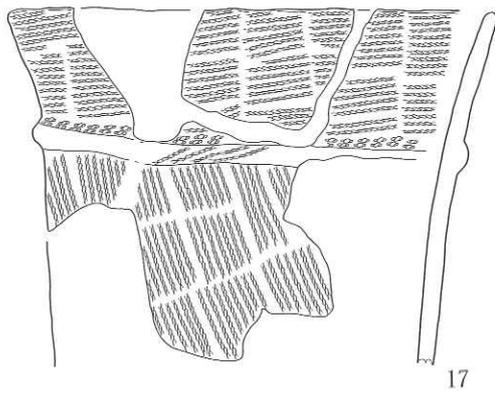


16

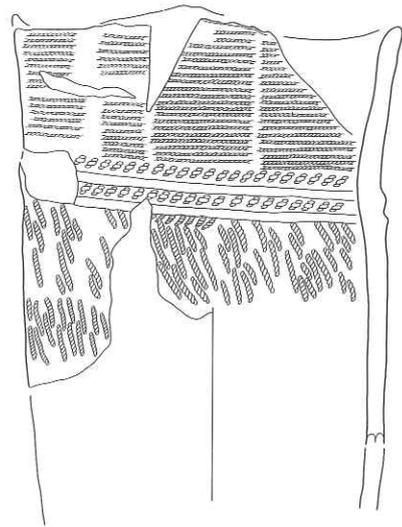
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
14	VI G-77	Va	R結節回転	底際帯 (R, L 押), L単絡1	L単絡1	ミガキ	素文	II-2-3-4	
15	VI F-76	〃	R単絡1 (横→縦)	R単絡1		〃	〃	II-2-3-6	
16	VI G-77	〃	〃	〃		〃	素文	〃	

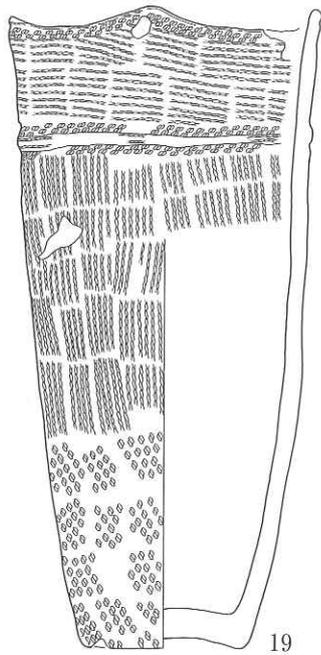
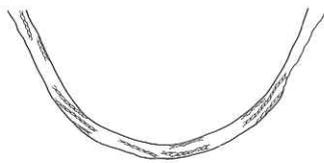
203図 第V a層 出土土器 (5)



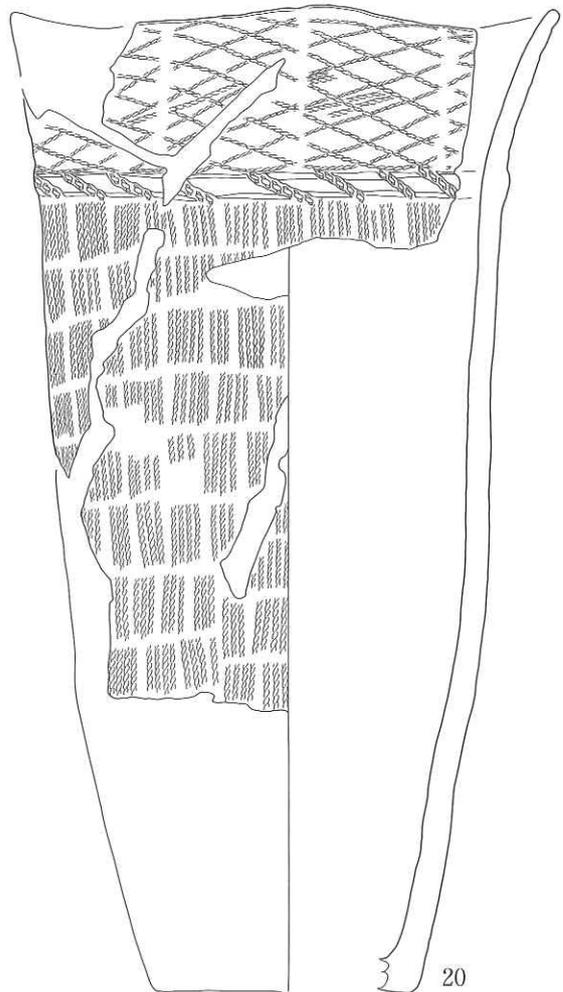
17



18



19

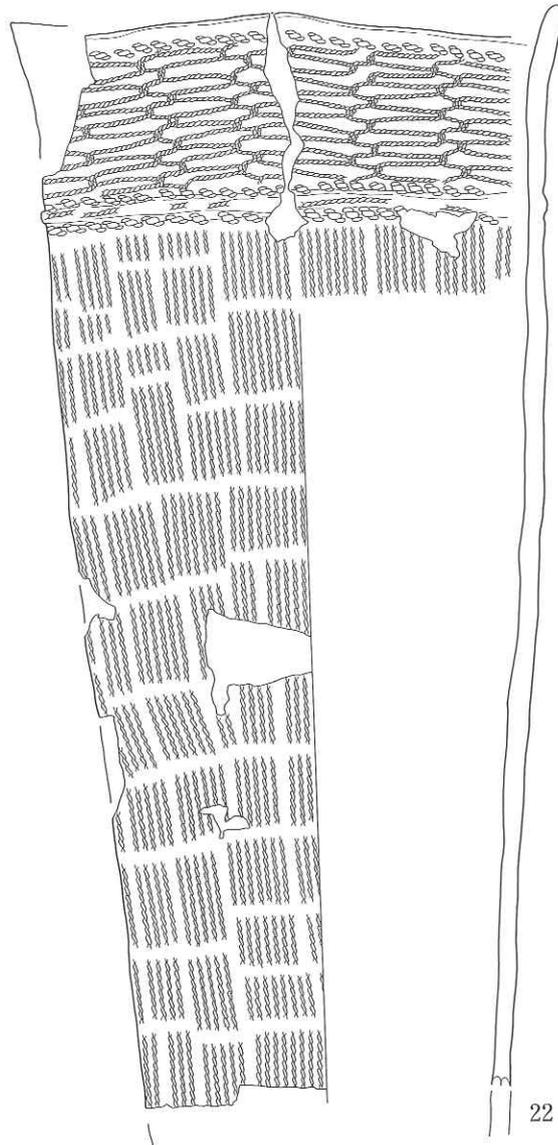
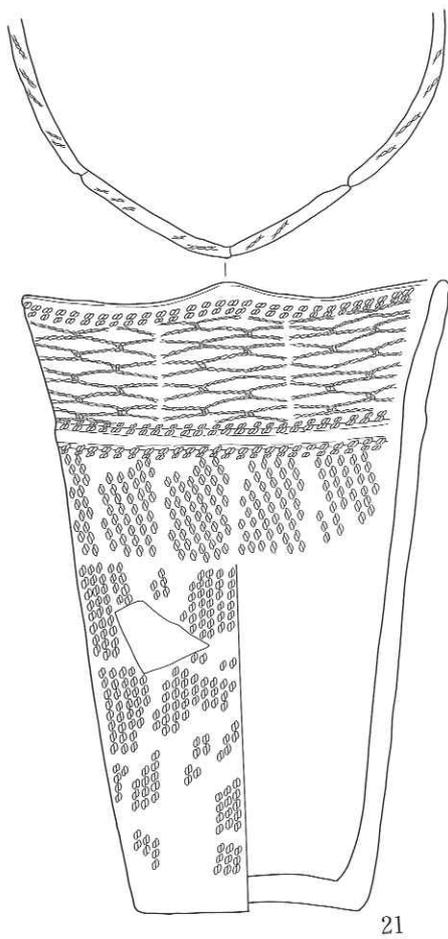


20

0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
17	MF-76	Va	L単絡1、RLR押	低隆帯(L押)、L単絡1		ミガキ		II-2-3-6	
18	MH-77	〃	R単絡1	〃 (RL押)、RRL		〃		〃	
19	MF-76	〃	〃、RLR押	* (R押)、 <sup>RLR押、R単絡1</sup>	RLR	〃		〃	
20	MG-76	〃	R単絡5	〃 (LR押)、L単絡1				II-2-3-11	

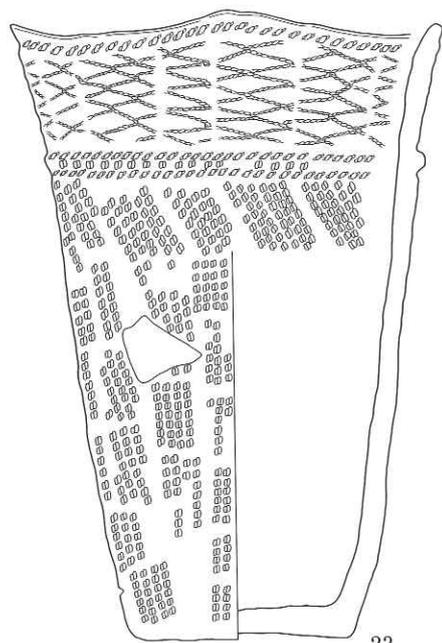
204図 第V a層 出土土器 (6)



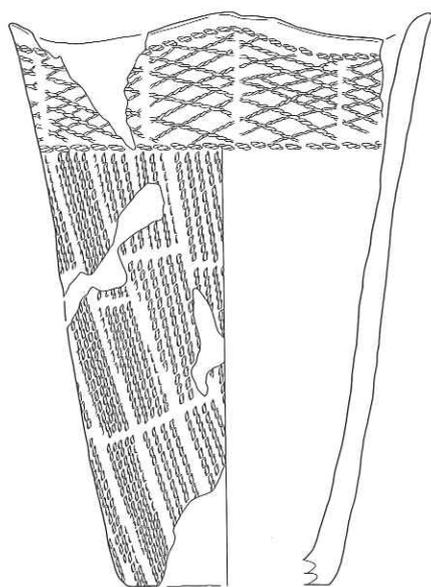
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
21	VIF-74	Va	R単絡6、RLR押	低隆帯、RLR押、RLR	RLR	ミガキ	素文	II-2-3-12	
22	VIF-76	〃	〃、LR押	〃、LR押、R単絡1	R単絡1	〃	〃	〃	

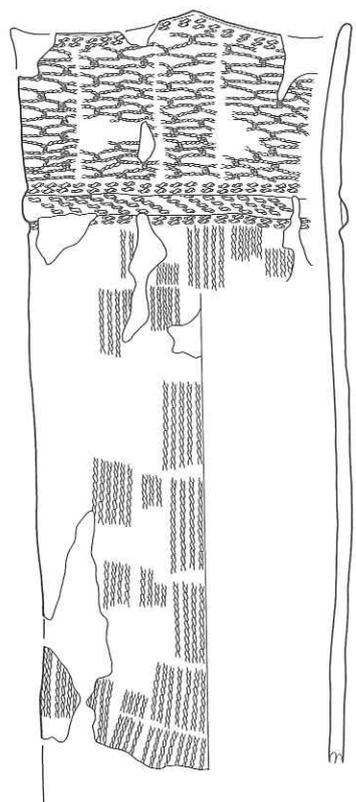
205図 第V a層 出土土器(7)



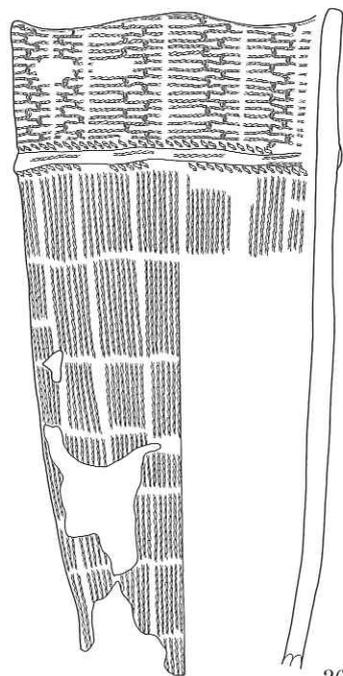
23



24



25

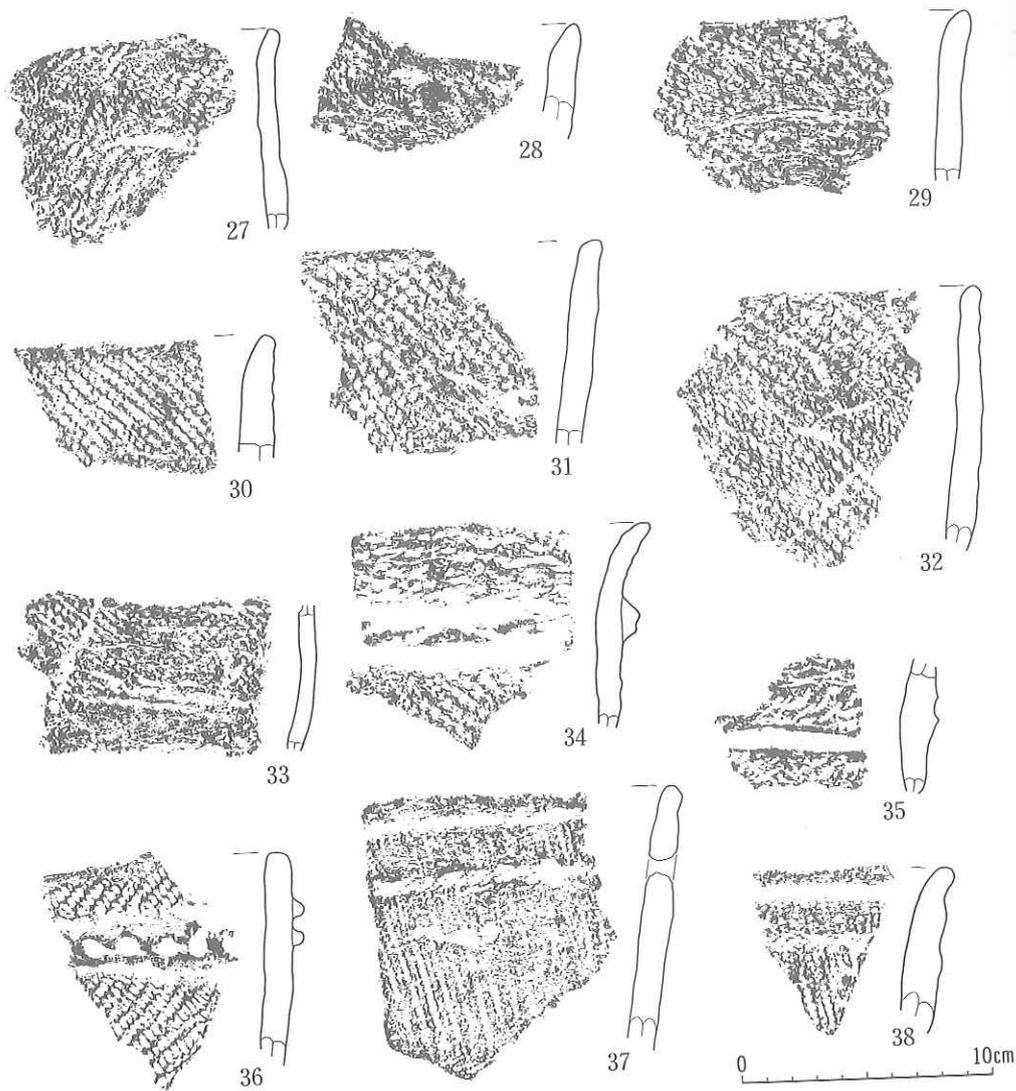


26

0 10cm

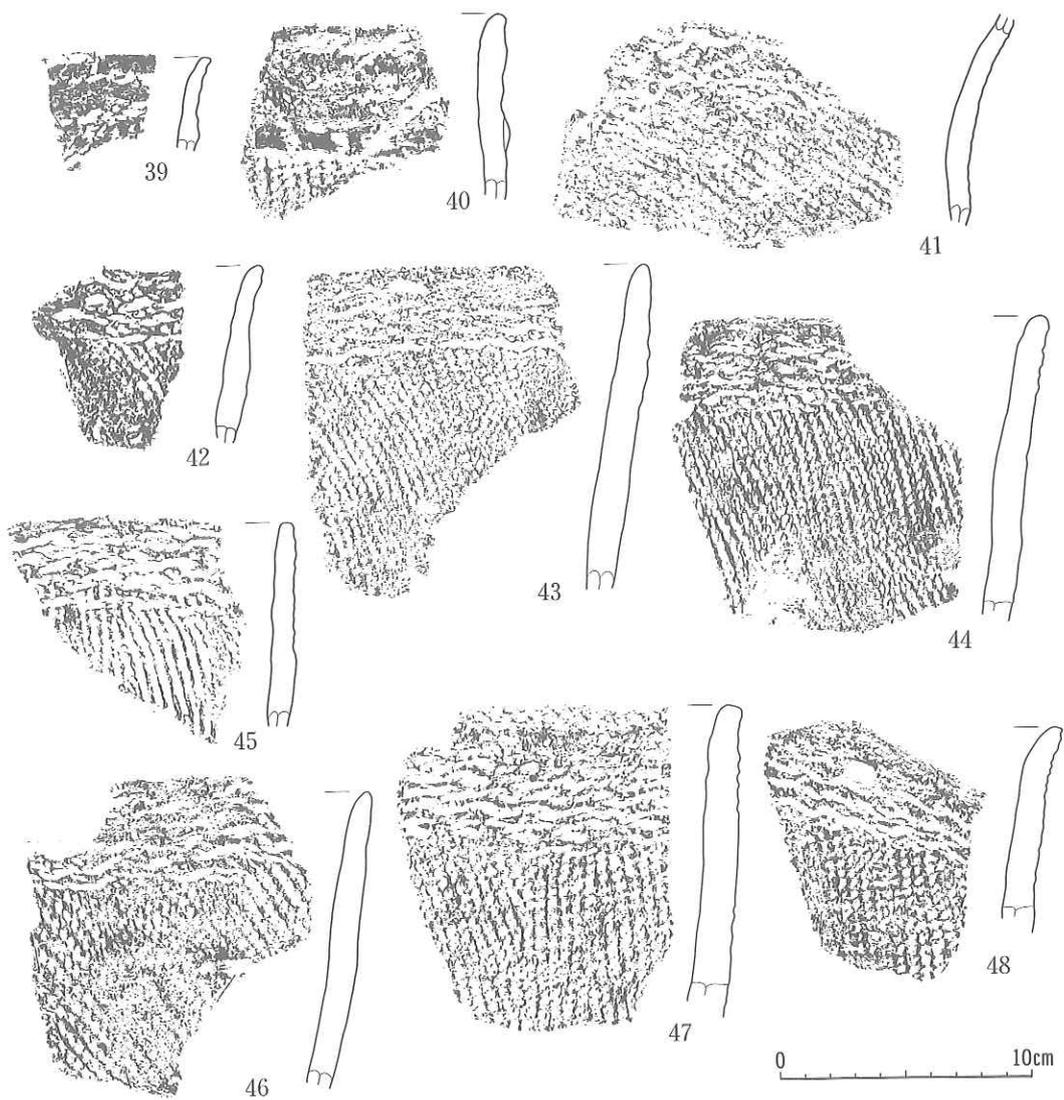
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
23	VIF-74	Va	R単絡5、RI押	低隆帯風、RI押、LR単絡1	LR単絡1	ミガキ	素文	II-2-3-11	
24	VIF-76	〃	〃、LR押	LR単絡1	〃			〃	
25	VIG-77	〃	R単絡6、RLR押	低隆帯(RL押)、RLR押、R単絡1	R単絡1	ミガキ		II-2-3-12	
26	VIG-76	〃	R単絡6A	〃(R押)、LR押、R単絡1	〃			II-2-3-13	

206図 第V a層 出土土器(8)



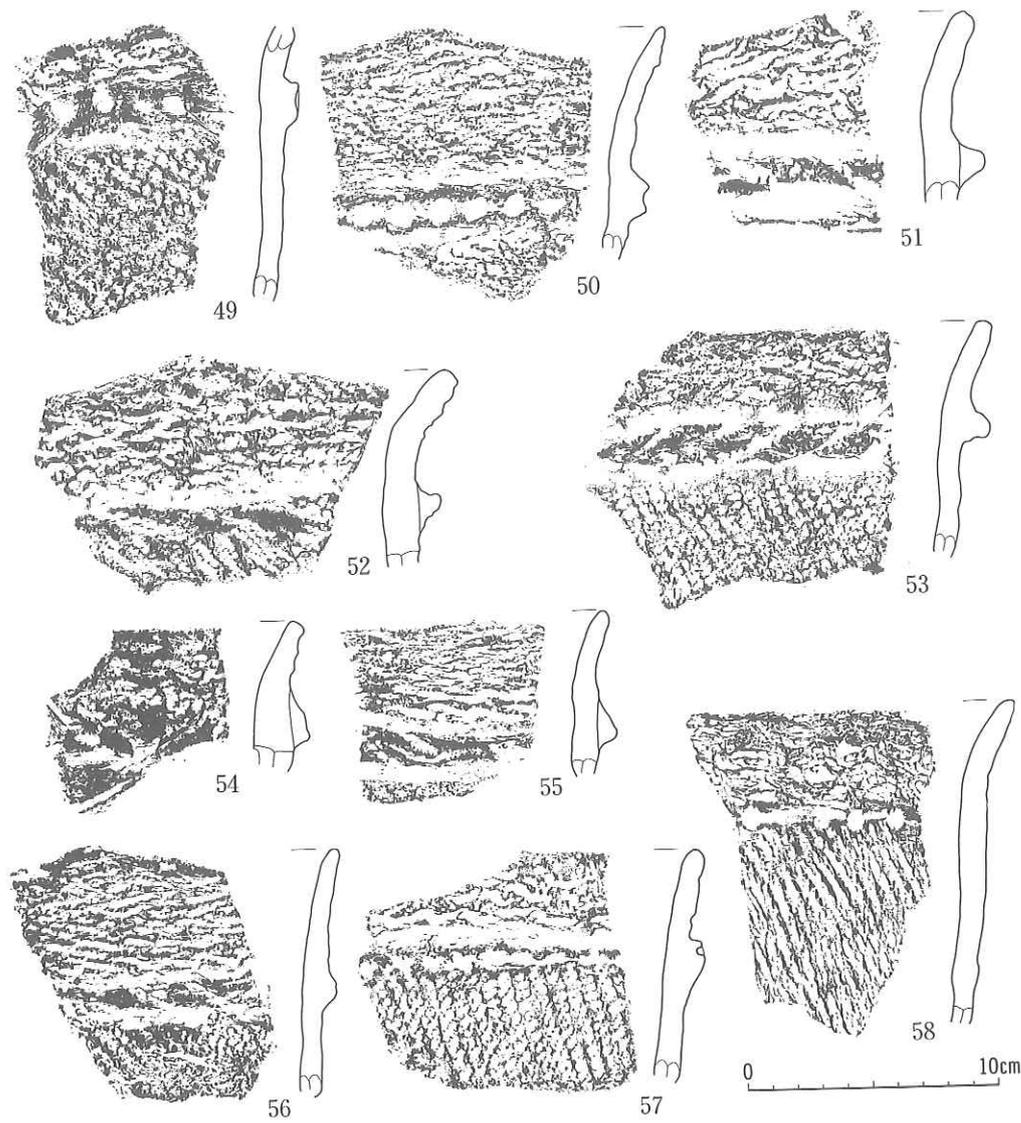
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
27	VIF-76	Va	LR			ミガキ	II-2-3-1	繊維多量	
28	VIIH-77	〃	RL			〃	〃		
29	VIF-77	〃	RLR			不明	〃		
30	〃	〃	〃			ミガキ	〃		
31	〃	〃	〃			不明	〃		
32	VIG-77	〃	RLR	RLR		ミガキ	〃		
33	VIF-77	〃	RLR、LR押			〃	〃		
34	VIF-76	〃	RLR(?)			〃	〃		
35	〃	〃	RR、凹線			〃	〃		
36	VIG-77	〃	LR	隆帯(円形刺突)、LR		不明	II-2-2-3		
37	VIF-77	〃	L単絡1、RL押			〃			
38	VIF-76	〃	〃			〃			

207図 第V a層 出土土器 (9)



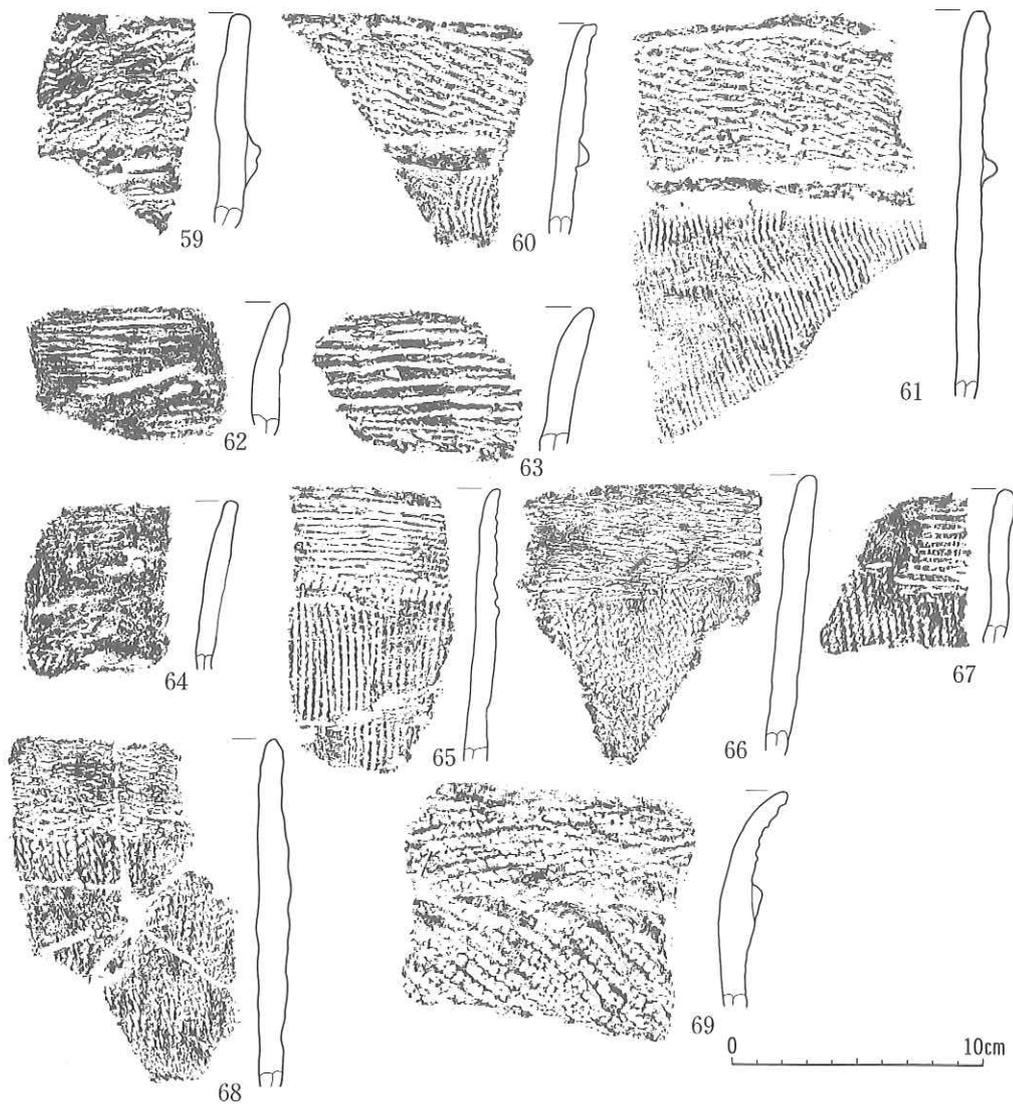
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
39	VI F-76	Va	RLR押	低隆帯(原体押圧?)		ミガキ	II-2-3-3		
40	VI F-77	〃	RLR押	低隆帯、LR単絡1		〃	〃		
41	VII H-76	〃	R結節回転、RLR			不明	II-2-3-4		
42	VI F-76	〃	LR結節回転、RLR			〃	〃		
43	〃	〃	R結節回転、R単絡1			〃	〃		
44	VI F-77	〃	R結節回転、LR単絡1			ミガキ	〃		
45	〃	〃	〃	〃		〃	〃		
46	VII G-77	〃	結節回転文	RLR		不明	〃		
47	VI F-77	〃	R結節回転、LR単絡1			ミガキ	〃		
48	VII H-77	〃	〃	〃		不明	〃		

208図 第V a層 出土土器(10)



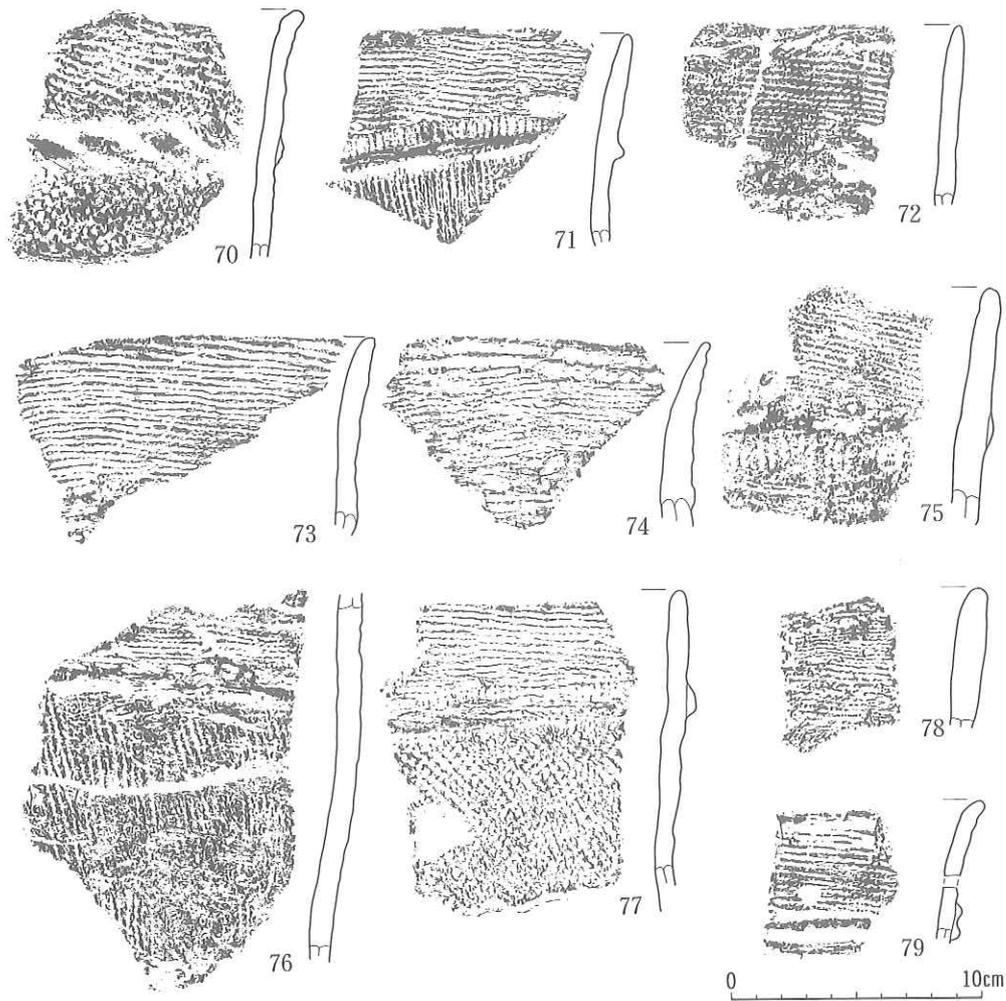
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
49	VIF-76	Va	LR結節回転	隆帯(円形刺突)RLR		ナデ	II-2-3-4		
50	〃	〃	RL結節回転	〃		ミガキ	〃		
51	VIG-77	〃	RL結節回転	隆帯(RLR押)		〃	〃		
52	VIH-77	〃	R結節回転	隆帯(RLR押)、LL		〃	〃		
53	VIF-76	〃	R結節回転	隆帯(R押)、LR単絡I		〃	〃		
54	VIH-77	〃	L結節回転	隆帯(RLR押)、LL		〃	〃		
55	VIF-76	〃	結節回転	隆帯(原体押圧)		不明	〃		
56	〃	〃	R結節回転	低隆帯(原体押圧) R単絡I		ミガキ	〃		
57	〃	〃	〃	低隆帯(円形刺突) LR単絡I		〃	〃		
58	VIH-75	〃	結節回転	低隆帯(爪形刺突) LR単絡I		ナデ	〃	低隆帯剥落	

209図 第V a層 出土土器 (11)



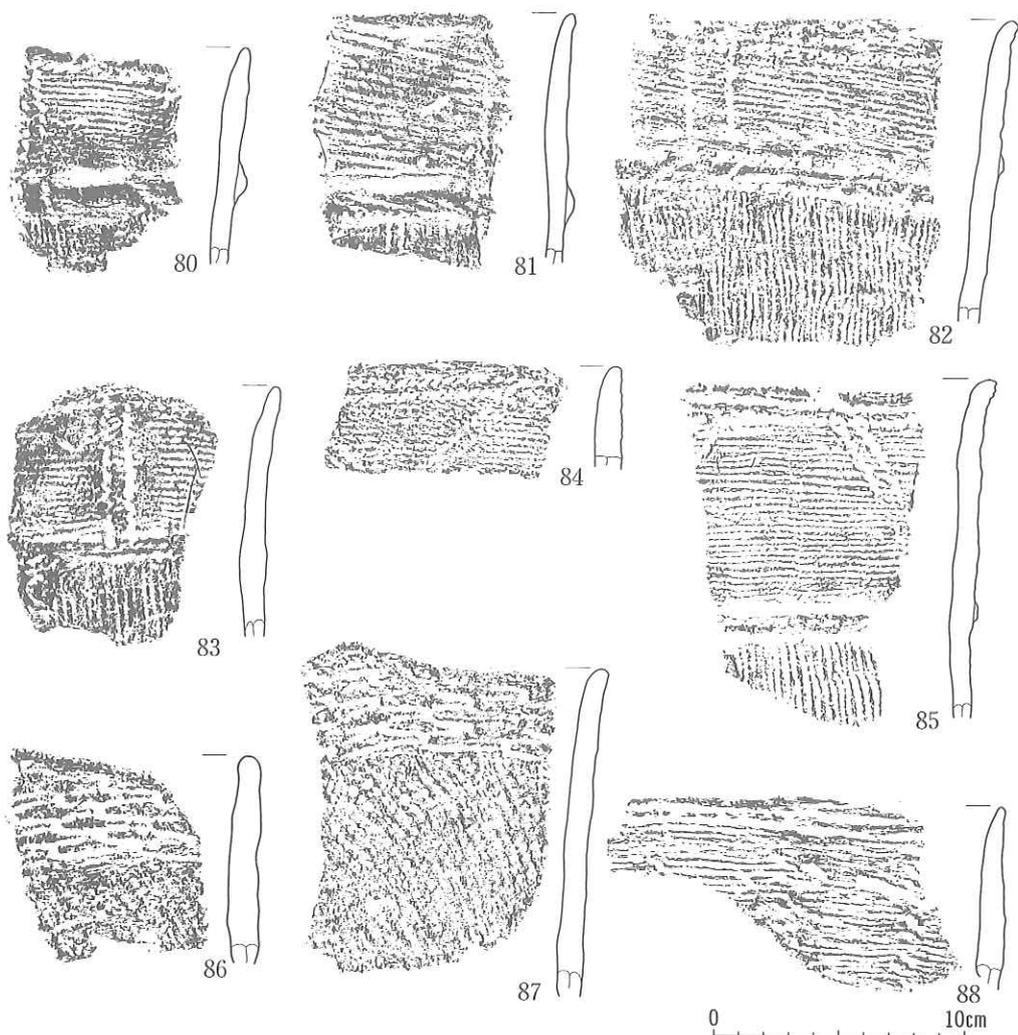
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
59	VIF-76	Va	LR結節回転	低隆帯		ミガキ		II-2・3-4	低隆帯剥落
60	VIF-77	〃	R結節回転、RI.押	低隆帯、R単絡1		〃		〃	
61	〃	〃	〃 〃	〃 〃		〃		〃	60と同一個体
62	〃	〃	L単絡1			不明		II-2・3-6	
63	VIIH-75	〃	R単絡1			〃		〃	
64	VIF-77	〃	単絡1	R単絡1		〃		〃	
65	〃	〃	〃	単絡1		〃		〃	
66	〃	〃	〃	R単絡1		〃		〃	
67	VIF-76	〃	R単絡1	〃		〃		〃	
68	VIF-77	〃	単絡1	LR、R単絡1		〃		〃	
69	VIC-77	〃	LR単絡1	隆帯(RLR押)LR単絡1		ミガキ		〃	

210図 第V a層 出土土器 (12)



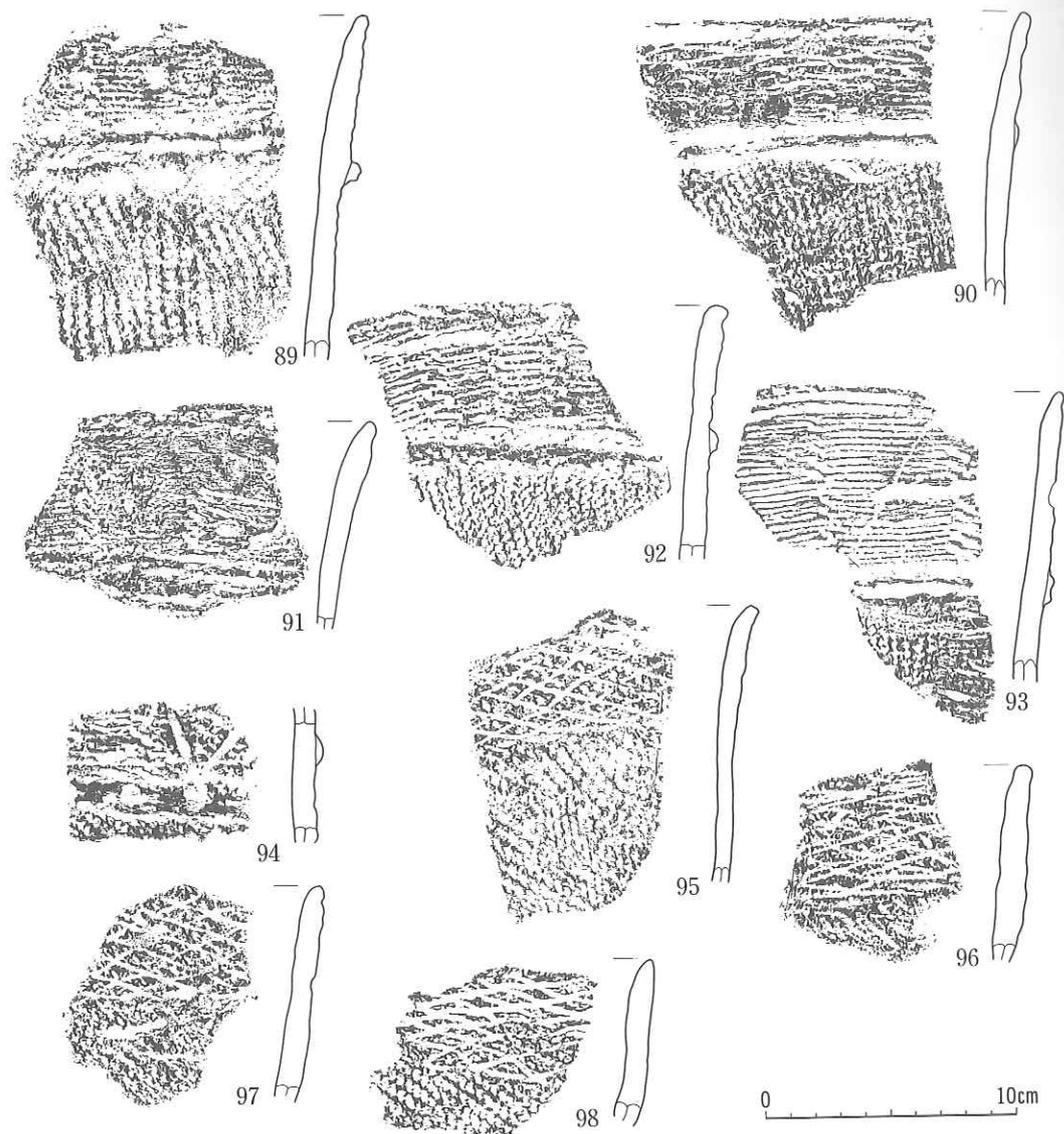
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
70	VIF-76	Va	R単絡1	隆帯(RLR押)LR単絡1		ミガキ	II-2-3-6		
71	〃	〃	〃	低隆帯、単絡1		〃	〃		
72	VIG-77	〃	R単絡1、RLR押	低隆帯		〃	〃		
73	VIIH-75	〃	R単絡1	低隆帯(R押?)		〃	〃		
74	〃	〃	単絡1			〃	〃		
75	VIF-76	〃	R単絡1	低隆帯、R単絡		〃	〃		
76	VIG-77	〃	R単絡1	低隆帯、R単絡1		〃	〃		
77	VIF-77	〃	L単絡1	〃 RLR		〃	〃		
78	〃	〃	R単絡1、LR押			〃	〃		
79	VIIH-75	〃	〃 RL押	低隆帯、RL押		〃	〃		

211図 第V a層 出土土器 (13)



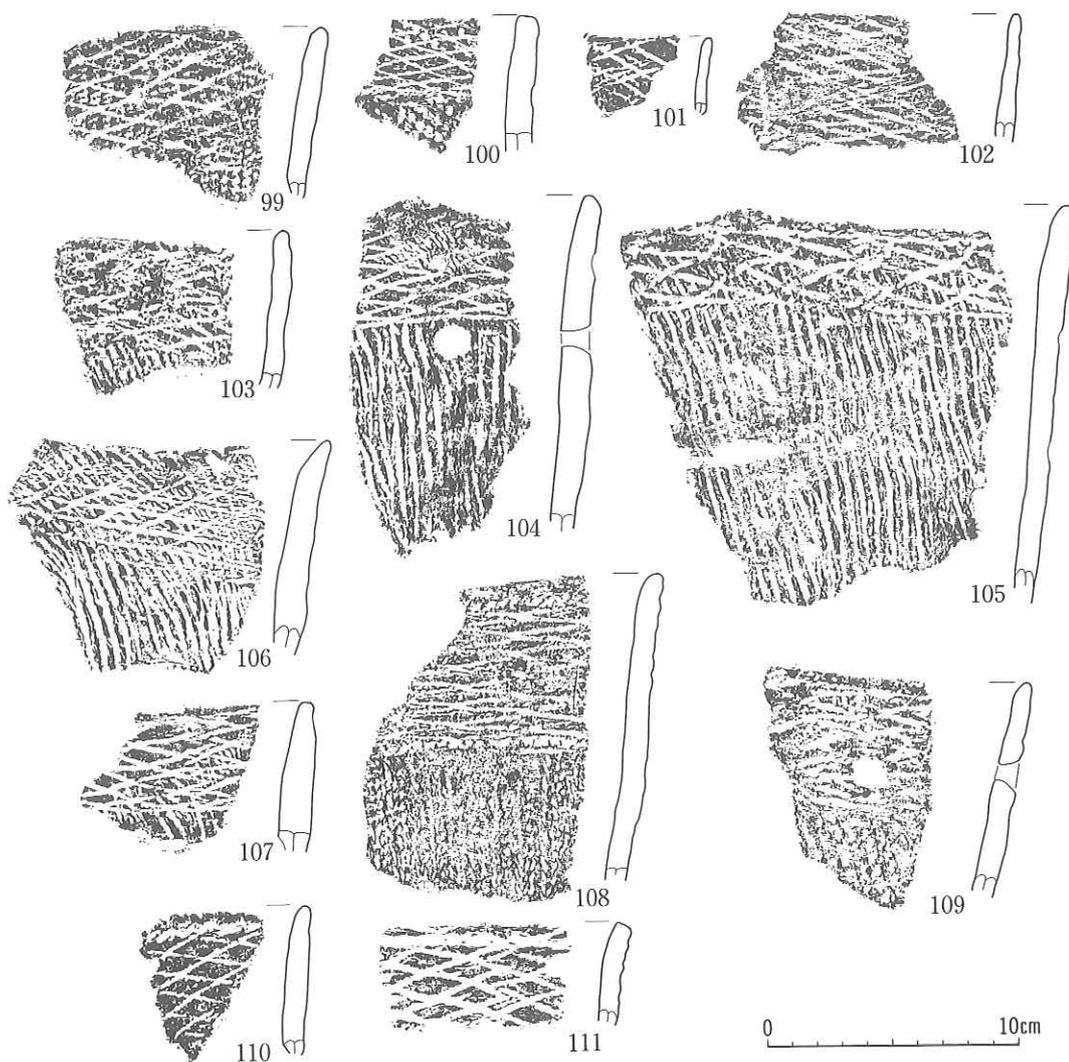
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
80	VIF-76	Va	R単絡1, RLR押(横、縦)	低降帯 (RLR押), R単絡1		ミガキ	II-2-3-6		
81	VIIH-75	〃	L単絡1, RL押(横、縦)	〃 (原 体 押), L,R単絡1		〃	〃		
82	VIF-77	〃	〃, RLR押(横、縦)	〃 (上下端RLR押), 単絡1		〃	〃		
83	VII G-77	〃	R単絡1, RLR押(横、縦)	低降帯、R単絡1		不明	〃		
84	〃	〃	R単絡、RL押(斜)			〃	〃		
85	VIF-76	〃	R単絡1, RLR押(横・斜)	〃 (上下端RLR押), R単絡1		〃	〃		
86	VIF-77	〃	R単絡2	RLR		ナデ	II-2-3-7		
87	VIF-77	〃	〃	〃		ミガキ	〃		
88	VIF-76	〃	単絡2			〃	〃		

212図 第Va層 出土土器 (14)



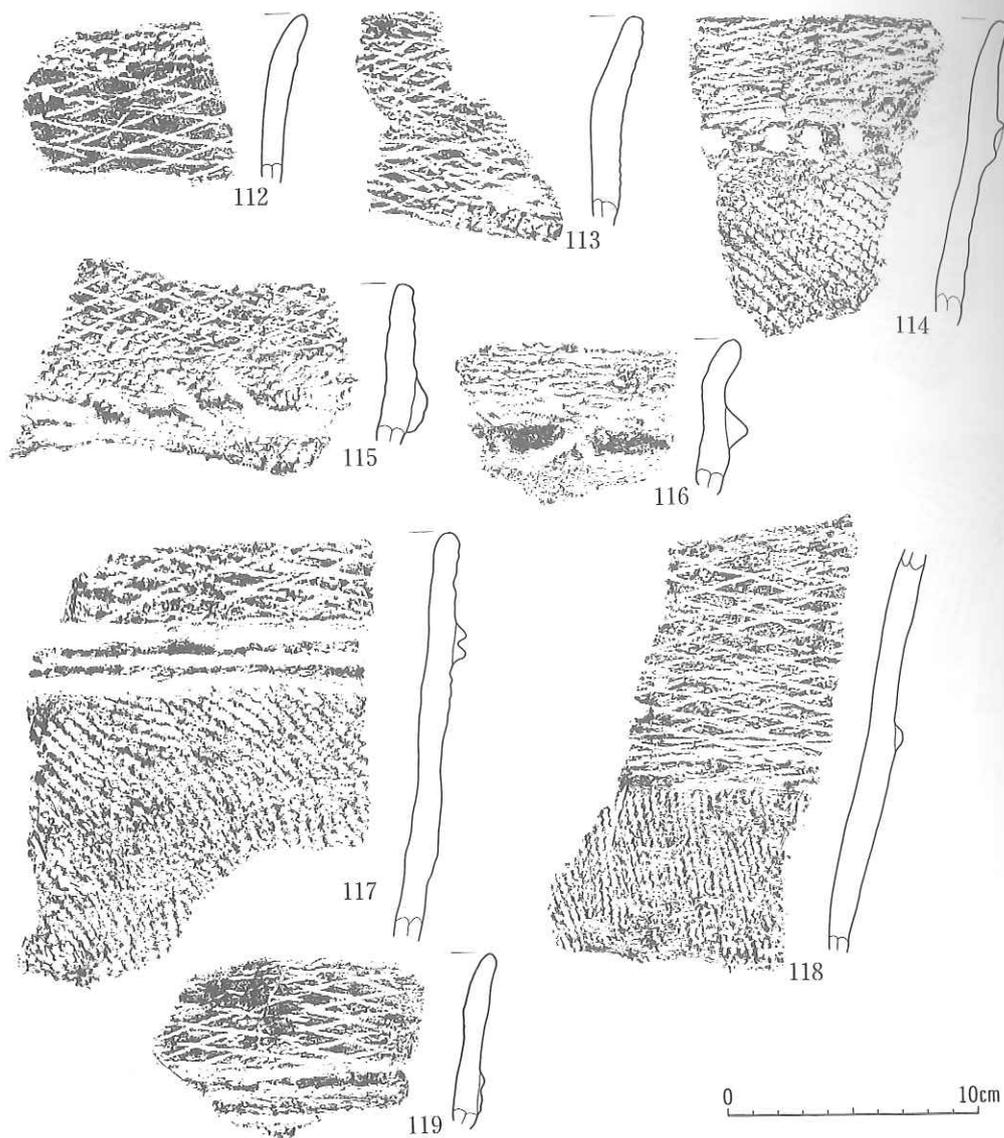
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
89	VI F-76	Va	L単絡2	隆帯(RL押)、RLR		一部ミガキ		II-2・3-7	
90	VII G-77	〃	R単絡2、RLR押	低隆、R単絡1		ミガキ		〃	
91	VI F-77	〃	R単絡2	低隆帯(上、FRLR押)LR単絡1		〃		低隆帯剥落	
92	〃	〃	L単絡2	〃		不明		〃	
93	VI F-76	〃	R単絡2	低隆帯(RL押)、LR単絡1		ミガキ		〃	
94	〃	〃	単絡2	〃(円形刺突)、RLR?		〃		〃	
95	〃	〃	RLR、R単絡5	RLR		〃		II-2・3-11	
96	VI F-77	〃	R単絡5	LL		ナデ		〃	
97	〃	〃	〃	RLR		〃		〃	
98	〃	〃	RLR、R単絡5	RLR		ミガキ		〃	

213図 第V a層 出土土器 (15)



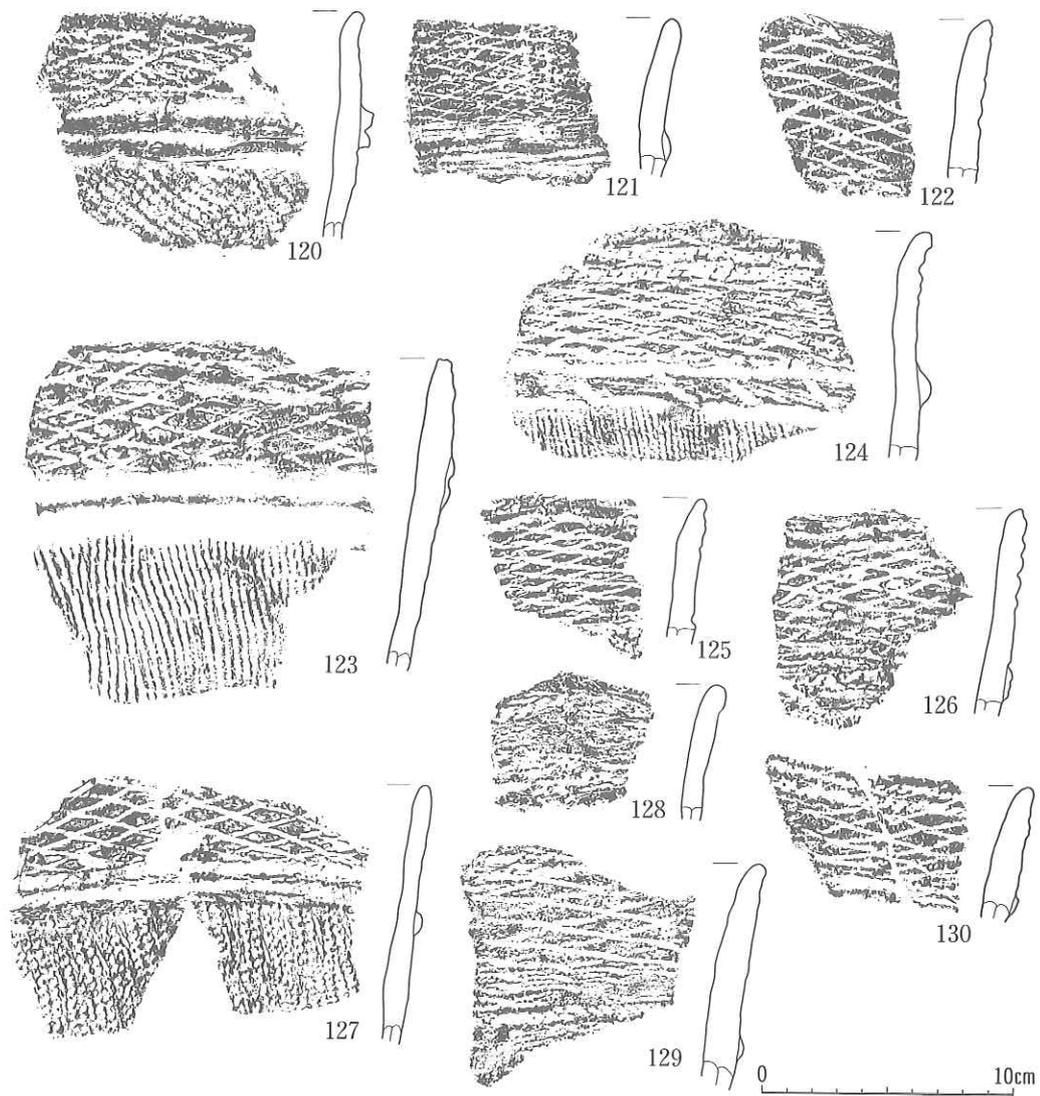
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
99	VIF-77	Va	RLR、R単絡5	RLR		不明		II-2・3-11	
100	〃	〃	〃	〃		ナデ		〃	
101	VIF-76	〃	L単絡5					〃	
102	VIIH-75	〃	R単絡5			不明		〃	
103	VIF-77	〃	R単絡1、R単絡5	R単絡1		〃		〃	
104	〃	〃	R単絡5	〃		ミガキ		〃	
105	VIF-76	〃	R単絡1、R単絡5	R単絡1		一部ミガキ		〃	
106	VII G-77	〃	R単絡1、R単絡5	R単絡1		ミガキ		〃	
107	VIF-77	〃	R単絡1、R単絡5	R単絡1		ナデ		〃	
108	VIIH-77	〃	R単絡5	LR、R単絡1		〃		〃	
109	〃	〃	〃	RLR		ミガキ		補修孔	
110	VIF-76	〃	単絡5、RL押			ナデ		〃	
111	〃	〃	R単絡5、RLR押			ミガキ		〃	

214図 第V a層 出土土器 (16)



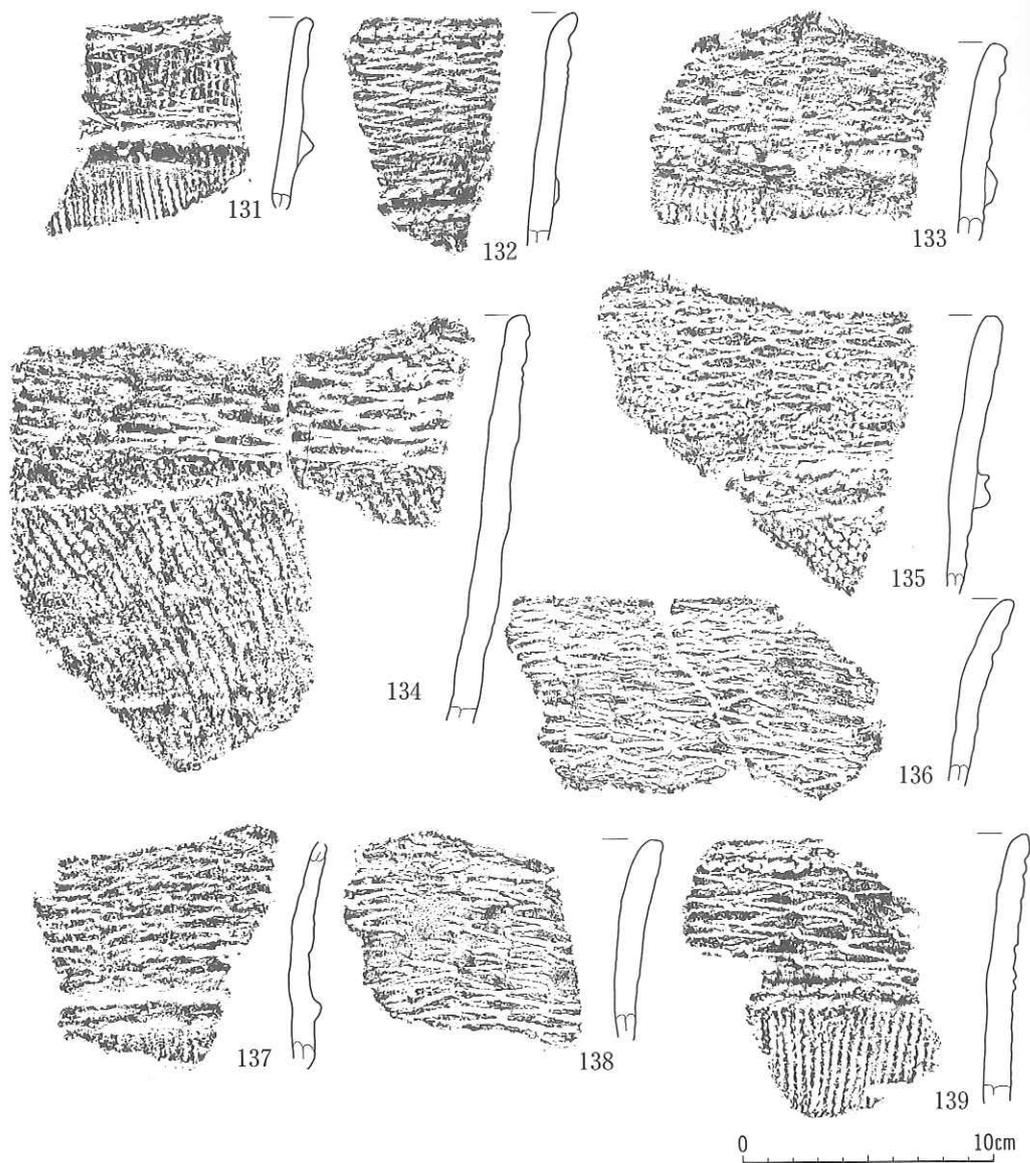
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
112	VIF-76	Va	R単絡5、RLR押			ミガキ		II-2.3-11	
113	VIG-77	〃	〃			〃		〃	
114	VIF-76	〃	〃	隆帯(爪形刺突)RLR		不明		〃	
115	〃	〃	RLR→単絡5	隆帯(RLR押)RLR		ミガキ		〃	
116	〃	〃	R単絡5	隆帯(LR押)		ナデ?		〃	
117	〃	〃	〃	〃(RLR押)RLR		ミガキ		〃	
118	VIG-77	〃	〃	低隆帯、L単絡1		〃		〃	
119	VIF-77	〃	〃	隆帯(RLR押)		〃		〃	

215図 第V a層 出土土器 (17)



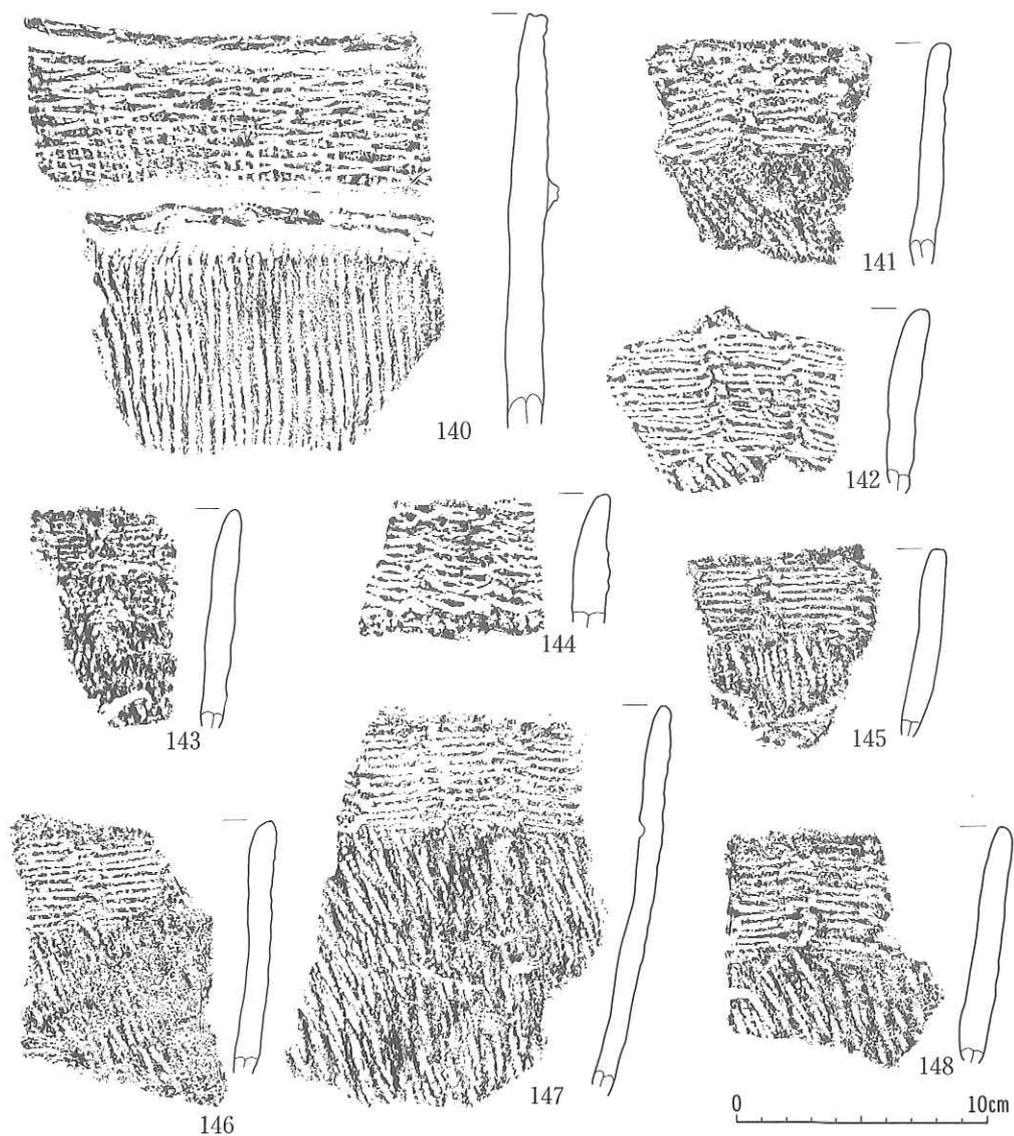
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
120	VIF-77	Va	R単絡5	隆帯(RLR押)RLR		ミガキ		II-2・3・11	
121	VIIH-77	〃	〃	低隆帯(R押)		〃		〃	
122	〃	〃	〃	低隆帯(剥落)		〃		〃	
123	VIF-76	〃	〃、RLR押	〃 (上:FRLLR押) R単絡1		〃		〃	
124	VII G-77	〃	〃、〃	〃 (R押) 〃		〃		〃	
125	VIIH-77	〃	〃、LR押			〃		〃	
126	VIF-77	〃	R単絡5、RLR押	低隆帯(上:FRLLR押) R単絡1		ミガキ		〃	
127	〃	〃	単絡5、〃	〃 (剥落)		〃		〃	
128	VIF-76	〃	R単絡5、〃	〃		ナデ		〃	
129	VII G-77	〃	R単絡5、LR押	低隆帯、RLR+RR		ミガキ		〃	
130	VIIH-75	〃	R単絡5、RLR押	〃 (上にLR押)		〃		〃	

216図 第V a層 出土土器 (18)



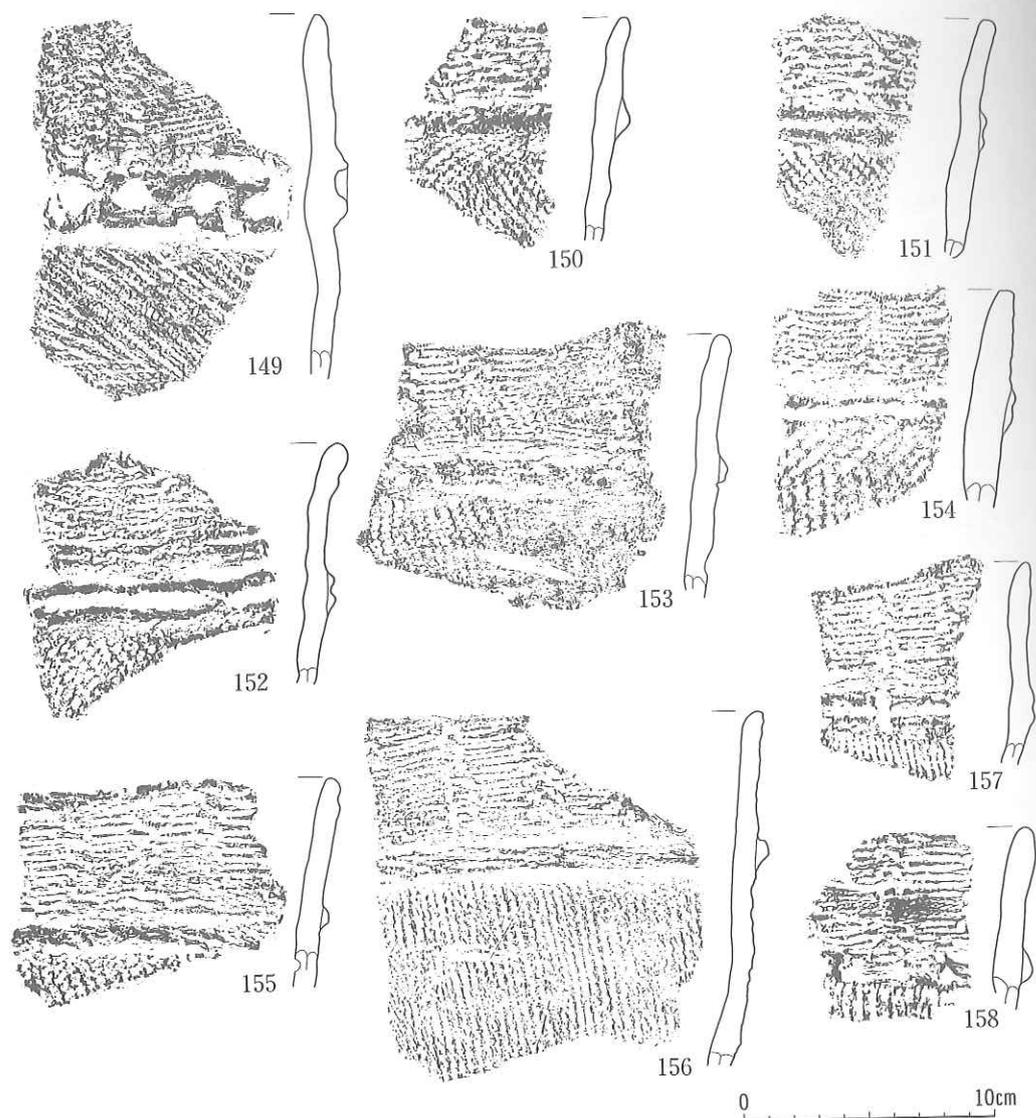
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
131	VIF-76	Va	R単絡1、R単絡5、RLR押	低隆帯(上下RLR押) R単絡1		ミガキ		II-2-3-11	
132	VIF-77	〃	R単絡5、RLR押	低隆帯(上下にRLR押)		〃		〃	
133	〃	〃	R単絡6	隆帯、RL単絡1		ナデ		II-2-3-12	
134	〃	〃	〃	RLR		ミガキ		〃	
135	〃	〃	〃	隆帯(RLR押)RLR		〃		口唇上面にRLR	
136	〃	〃	〃、RLR押			〃		〃	
137	〃	〃	〃			不明		〃	
138	VIF-77	〃	〃、RLR押			ミガキ		〃	
139	VIG-77	〃	〃、RL押	低隆帯(RLR押)、LR単絡1		ナデ		〃	

217図 第V a層 出土土器 (19)



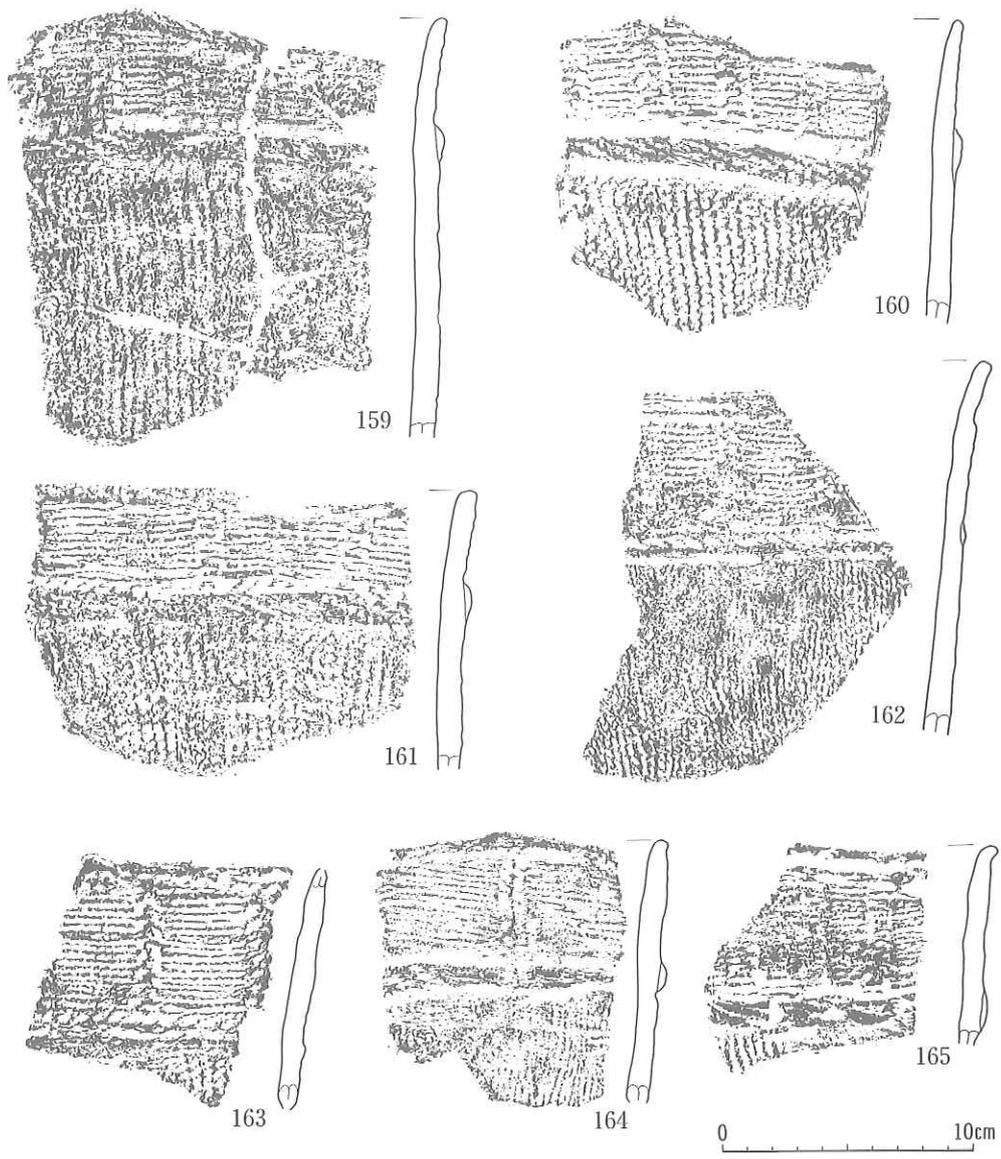
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
140	ⅡG-77	Va	R単絡6A			不明		Ⅱ-2・3-12	
141	ⅡF-77	〃	〃	RLR				〃	
142	ⅡF-76	〃	L単絡6A	RL				Ⅱ-2・3-13	
143	ⅡF-77	〃	R単絡6A	RLR				〃	
144	ⅡH-75	〃	〃	〃				〃	
145	ⅡF-77	〃	〃	〃				〃	
146	〃	〃	〃	RRL				〃	
147	〃	〃	〃	〃				〃	
148	〃	〃	〃	〃				〃	

218図 第V a層 出土土器 (20)



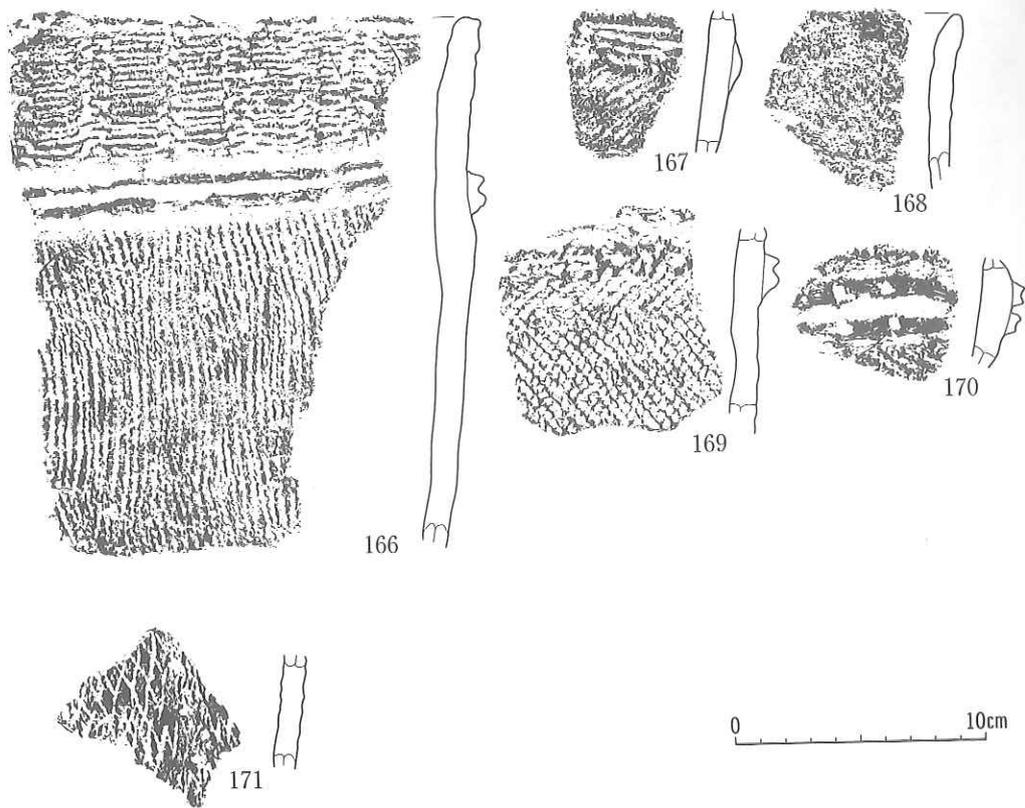
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
149	VIF-76	Va	単絡6A	隆帯(凹形刺突)LR単絡1		ミガキ		II-2-3-13	
150	VIF-77	〃	R単絡6A	隆帯RLR		ナデ	〃		
151	VIF-76	〃	〃	隆帯(RLR押)LR単絡1		〃	〃		
152	VIF-77	〃	〃						
153	〃	〃	〃、RLR	隆帯RLR		不明	〃		
154	VIF-76	〃	L単絡6A	隆帯(LR押)RLR		ナデ	〃		
155	VIF-77	〃	〃	隆帯(上下にRLR押)RLR		不明	〃		
156	VIG-77	〃	R単絡6A	低隆帯、R単絡1		ミガキ	〃		
157	VIG-77	〃	〃	隆帯(RLR押)R単絡1		〃	〃		
158	VIF-76	〃	〃	隆帯(刺突?)R単絡1		〃	〃		

219図 第V a層 出土土器 (21)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
159	ⅧF-77	Va	R単絡6A	隆帯RLR		不明		Ⅱ-2-3-13	
160	ⅧF-76	〃	〃	隆帯 (L.F.RLR押) LR単絡1		〃		〃	
161	ⅧF-77	〃	〃、RLR押	低隆帯 (L.F.RLR押) LR単絡1		ナデ		〃	
162	ⅧF-76	〃	〃、LR押	低隆帯 (L.F.RLR押) R単絡1		ミガキ		〃	
163	〃	〃	〃、RLR押	微隆帯 (L.F.RLR押) LR単絡1		〃		〃	
164	ⅧF-77	〃	〃、原体押圧	低隆帯 単絡1		ナデ		〃	
165	ⅧF-76	〃	〃、RLR押	低隆帯 (RLR押)R単絡1		〃		〃	

220図 第V a層 出土土器 (22)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
166	VIF-76	Va	R単絡6A、LR押	低隆帯(F、RLN押) R単絡1		ミガキ		II-2-3-13	
167	VIF-77	〃	刺突	低隆帯(刺突)、LR	〃			II-2-3-17	
168	VIIH-75	〃	縄文?			ナデ		〃	
169	VIIH-77	〃		低隆帯(RLR、円形刺突)RLR		ミガキ		〃	
170	VIF-77	〃		隆帯(2条、円形刺突)		ナデ		〃	
171	VIF-76	〃		R単絡5		ミガキ		〃	

221図 第V a層 出土土器 (23)

### 3) 石 器

第Ⅴa層からは石鏃、石槍、石匙、石錐、石篋、ピエス・エスキーユ、不定形石器、石核類、磨製石斧、半円状扁平打製石器、抉入扁平磨製石器、敲磨器類、砥石、石皿・台石類、軽石・軽石製品、角柱状の礫・礫石器などが出土している。定形石器では、石匙の出土点数が多く、石鏃や石槍などの狩猟具は少ない。また、第Ⅳ層までとは異なり石錐の出土点数が多い。

石材は剥片石器のうち、ほとんどが珪質頁岩である。他に玉髓質珪質頁岩、玉髓、黒曜石、鉄石英などが使用されている。

磨製石斧では、緑色細粒凝灰岩が使用され、敲磨器類では安山岩、凝灰岩、溶結凝灰岩、砂岩、流紋岩、頁岩が、半円状扁平打製石器は安山岩が使用されている。また、砥石は砂岩や安山岩が使用されている。

角柱状の礫は流紋岩が主で、安山岩も使用されている。

#### A類 石鏃（1～3）

1は黒曜石製の尖基鏃であるが、先端側から小剥離があり、先端とならない。小剥離は欠損ではなく、再加工の可能性がある。2は珪質頁岩製で、先端部分を尖らせるように加工しており、第Ⅴb層出土のものと類似している。

#### B類 石槍（4）

4は一端を欠失した石槍である。

#### C類 石匙（5～141）

縦型の石匙が多数を占め、横型、斜型のものも出土している。大きさは長さが10cmを越える大型のものから3cmに満たない小型のものまでである。また、欠損品も多い。

つまみは縦長剥片素材では通常打点側に設けられるが、打点の反対側に設定されるものもある。また、つまみ部分の抉りの間隔は幅15mmを超えるものもあるが幅7mm～12mm程度となっているものが多く、石器の大きさとつまみの大きさは弱い相関がある。

石匙はつまみと反対側の部分の形状などからいくつかのグループに分類できる。幅の広い狭いにかかわらずその部分においては共通性をもっている。

つまみと反対側の部分が8や30のように台形状となるもの、15のように尖るもの、16・67・68のように左右の側縁の長さが異なり角張るもの、40のように円弧となるもの、45のように一方の側縁が弧状を示すものなどがある。

使用痕は光沢が顕著に認められるものが多い。光沢は裏面側の一方の刃部に特に強く、薄れながら反対側の刃部まで達しているものが多い。両側縁から光沢の入るものもある。また、光沢は正面側の中央付近にも多く認められ、刃部の作り直しにより、側縁付近の光沢が失われた可能性がある。また、刃部付近に光沢を持つものもある。光沢は幅の狭い大～中型の石匙に特に顕著に認められる。

5は長さが12.5cmの両面加工の大型石匙であり、正面側の加工は裏面側より新しい。正面側の中央付近の剥離面は他の剥離面に比して白っぽく、風化度が異っている。また、裏面右側縁の剥離面の下側に光沢が認められ、裏面側右上方から下方へむけて対象物が接触するような形で使用されたことがうかがえる。

6～12は大型の幅の広い石匙であり、14～19は幅の狭い石匙である。

105は右側縁に2個の突起を持ち、左側縁に1個の突起を持つ。127・128の石材は黒曜石であり、長さが3cm以下と極めて小型である。また、128の細部加工はつまみ部分を中心としたものである。

130～138は横型、斜型の石匙である。横型の石匙は刃部幅の短いものが多い。光沢は裏面側の刃部付近を中心としている。

#### D類 石錐 (142～165)

つまみを持つものや、錐先部分のみ作り出したものが多い。155、164は石匙にみられるような顕著な光沢があり、欠損した石匙の再利用品である可能性がある。VII F-77からの出土が多い。

#### E類 石篋 (168)

168は長さ7.5cm、幅4.9cmの幅広の石篋である。

#### F類 ピエス・エスキーユ (166～167)

166は二対の、167は一对の両極剥離痕を持つ。三内丸山遺跡では、両極打法による剥片剥離は黒曜石や玉髓の小原石に対して行われることが多いのに対し、166・167はともに珪質頁岩である。167は剥片を素材としており、166は両極剥離痕が二対である。いずれも両極石核(剥片)よりもむしろピエス・エスキーユに多くみられる特徴であるので本類とした。

#### G類 不定形石器 (169～226)

4cmから7cm程度の長さのものが多いが、182のように10cmを超える大型のものもある。素材剥片の側縁に細部加工を行ったものが多く、片面加工のものがほとんどである。173のように厚みがなく刃先角の小さいものが多いが、183のように肉厚で刃先角の大きなもの、細部加工をわずかに施すものなど、さまざまな形態のものが出土している。192や200は石匙の欠損品の可能性がある。216は形状が整っておらず、石鏃としては認定できないが、石鏃同様の細部加工が両面に施され、未製品の可能性がある。223は小型のU・フレイクである。225は石錐の可能性はあるが、先端部を含めて扁平であり本類に含めた。226は素材剥片の上下を切断したものである可能性が高い。同様の石器は他の層を含め散見され、石鏃や小型の利器の素材として使用された可能性がある。

#### P類 石核類 (227~229)

石核を3点図示した。227は打面を転位しながら作業面の縁辺側から求心的に剥片剥離を行っている。礫面は、剥離の進行に伴って除去される。228は長さ2.9cmの黒曜石製の両極石核である。229は基本的には求心的な剥離といえるが、同一方向から集中的な剥離がみられる。

#### H類 石斧 (230)

擦切りの痕跡を残す磨製石斧を1点図示した。

#### J類 半円状扁平打製石器 (231~238、240~247)

安山岩の板状礫等を素材として半円状あるいは台形状に剥離加工しており、抉りを持つものと持たないものがある。側縁のうち直線状となる方が機能部分であり、細長くざらざらした磨面が形成されているものが多い。器体が研磨加工されているものもある。

欠損品が多いが、欠損は短軸側からではなく、正面(裏面)側の衝撃によるものも多い。

233・236は、上辺(下辺)に剥離や弱い抉りを持つ。241~247は研磨加工がなされている。特に247は表裏ともほぼ全面に研磨がなされているが機能部を剥離により作り出しており、本類とした。

#### K類 抉入扁平磨製石器 (248~252)

出土したものは全て欠損品であるが、欠損は側縁側からではなく、正面あるいは裏面側からの衝撃によるものが多い。本石器は一端に抉りを持つ三角形の磨製石器であり、250、252は抉りを持つ側で、249、251はその反対側である。252は抉り付近に光沢が認められ、装着痕の可能性がある。248、249、251は器体の研磨加工を行ったあとで機能部分に剥離加工を行っている。半円状扁平打製石器と共通した刃部加工であるが、欠損品であり全体の形が不明であること及び機能部分に剥離加工を行う前は磨製石器として機能していることから本類に含めた。

#### I類 敲磨器類 (254~278)

円礫・楕円礫を素材としたものが多い。凹痕を持つもの、敲打痕を持つもの、磨痕を持つもの、使用痕の複合するものなど各種出土した。敲打痕をもつものは円礫ではその中央部分や側面に、楕円礫では端部や側面及び表裏面の中央から上より(下より)の位置に形成されることが多い。凹痕は円礫ではその平坦部分の中央付近に楕円礫では中央部分から上下によった位置に複数個形成されることが多い。

260は敲打によると考えられる線状の傷をたくさん持っている。

277は正面側に敲打痕を、裏面側に肌理の細かな磨痕を持つ。裏面側は凹凸があり凹部における磨痕が不鮮明である。

#### S類 砥石 (279~281)

3点図示した。板状の砂岩を素材としているものが多い。

#### T類 軽石・軽石製品 (282)

長さ10.9cmの軽石を1点図示した。加工の痕跡は認められない。

#### L類 石皿・台石類 (283~287)

287には整形が行われているが、他は行われていない。284は小破片であり、全体の形状は不明である。磨痕の上に敲打痕と凹痕が形成されている。285は第Ⅳ層から出土したものであるが、286と同一個体であり、同一図版に示した。

#### U類 角柱状の礫・礫石器 (288~293)

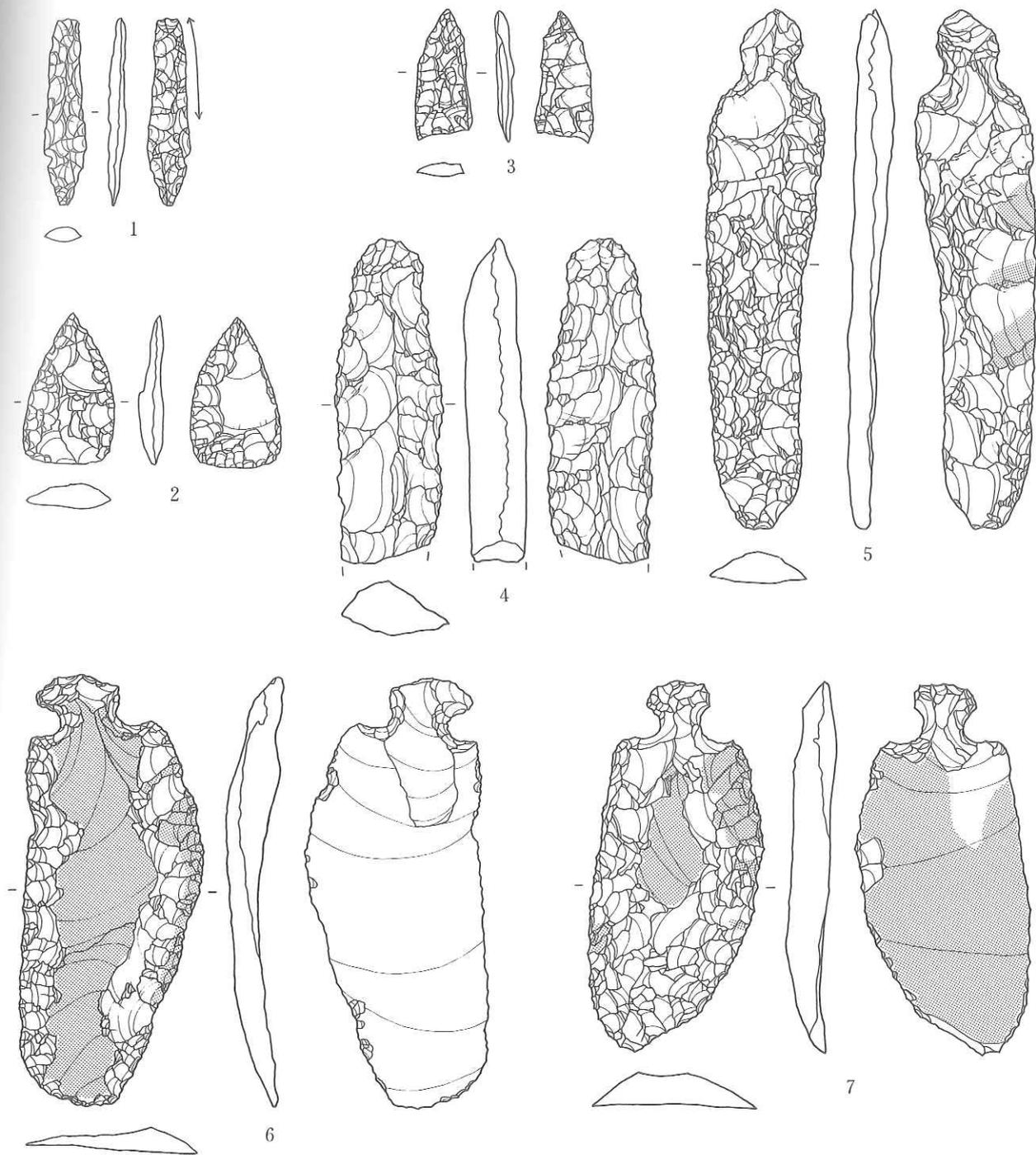
角柱状に割れた流紋岩が出土しており、すべて欠損品である。使用痕を持つものもあり、288は敲打痕を、290は磨痕と敲打痕を、292は、磨痕、敲打痕、凹痕跡を持つ。

289は本層出土の小破片と第Ⅲ層出土の小破片が接合したものである。

#### Q類 その他 (239、253)

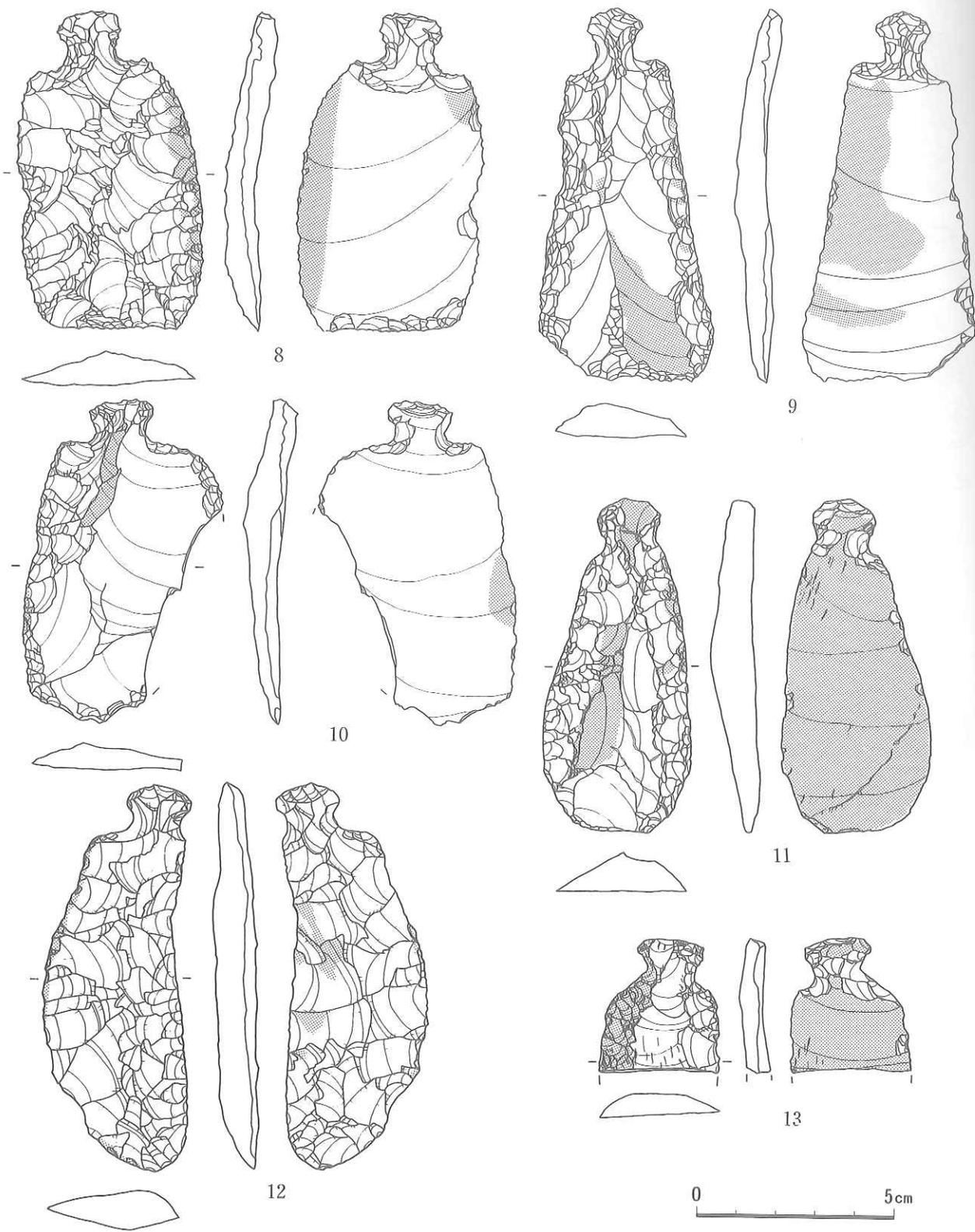
器種を特定できないものを2点図示した。

239は擦切具あるいは半円状扁平打製石器の可能性はあるが、破片のため器種を特定できない。253は左右両縁とも直線的であり、小型で薄手の石器である。一部研磨加工されている。擦切具の可能性もあるが、研磨が側縁部に及んでおらず器種を特定できない。



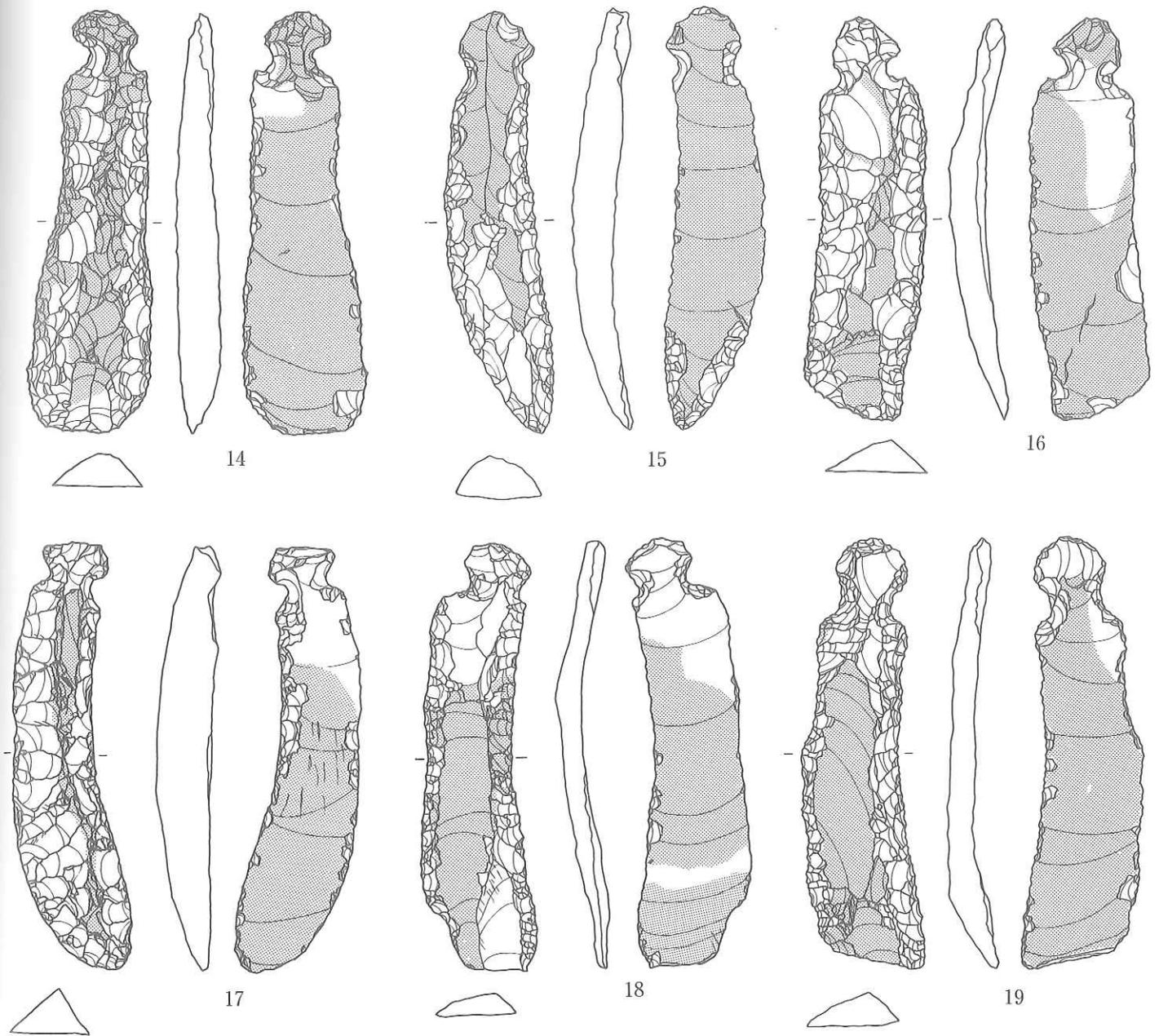
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
1	MF-77	Va	45	10	4	1.6	黒	Ac		2606
2	MH-75	〃	36	22	7	4.0	珪頁	Ad		3577
3	MF-77	〃	31	14	5	1.7	〃	〃		63896
4	〃	〃	(78)	27	15	(35.8)	〃	Ba		2851
5	MG-77	〃	125	29	12	31.5	〃	Ca		3169
6	MF-77	〃	104	44	15	35.5	〃	〃		3010
7	〃	〃	89	42	12	38.7	〃	〃		3040

222図 第Va層 出土石器 (1)



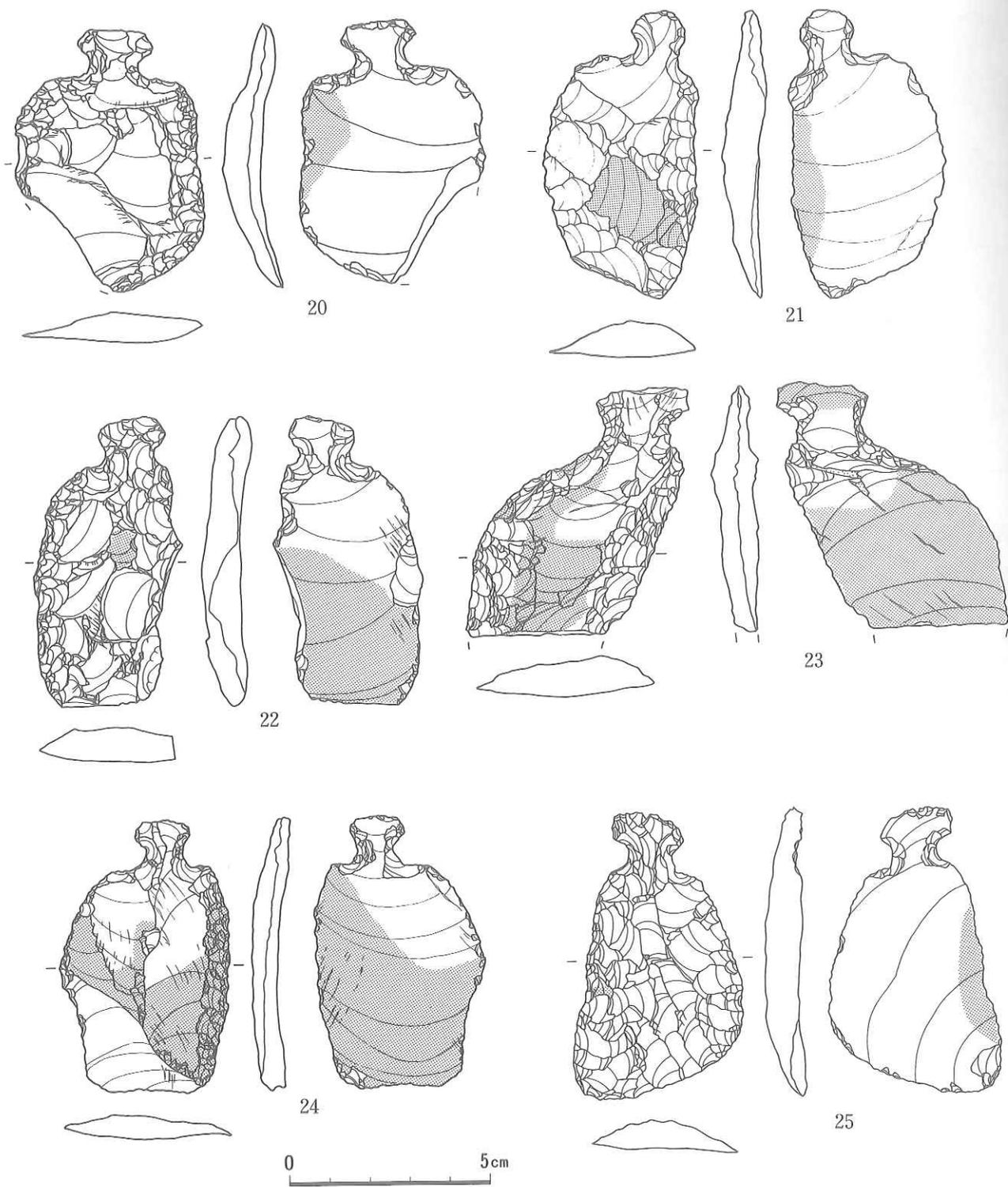
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
8	VIF-76	Va	80	48	14	34.5	珪質	Ca		2972
9	〃	〃	96	44	13	32.2	〃	〃		2975
10	〃	〃	84	(56)	14	(23.8)	〃	〃		2960
11	VII G-77	〃	85	38	14	32.7	〃	〃		3178
12	〃	〃	98	38	11	32.7	〃	〃		69899
13	〃	〃	(35)	(31)	(8)	(7.4)	〃	〃		3189

223図 第Va層 出土石器 (2)



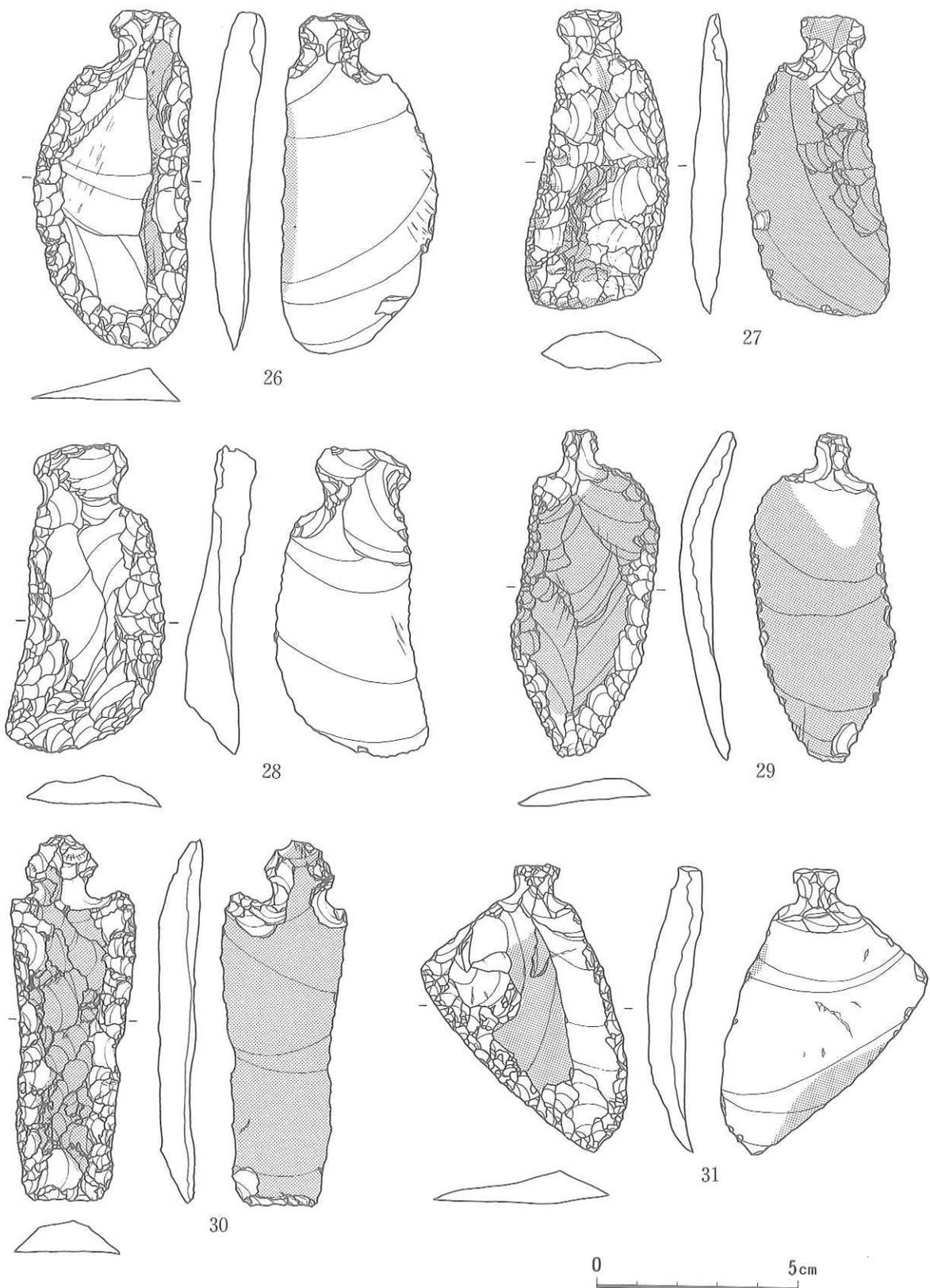
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
14	VIF-77	Va	104	31	12	31.4	珪頁	Ca		3013
15	VIF-76	〃	105	26	16	26.4	〃	〃		2965
16	VIF-77	〃	98	30	15	25.3	〃	〃		3034
17	VIG-76	〃	103	30	15	30.8	〃	〃		3123
18	VIG-77	〃	105	29	13	17.8	〃	〃		3167
19	VIF-76	〃	107	30	12	22.7	〃	〃		2967

224図 第Va層 出土石器 (3)



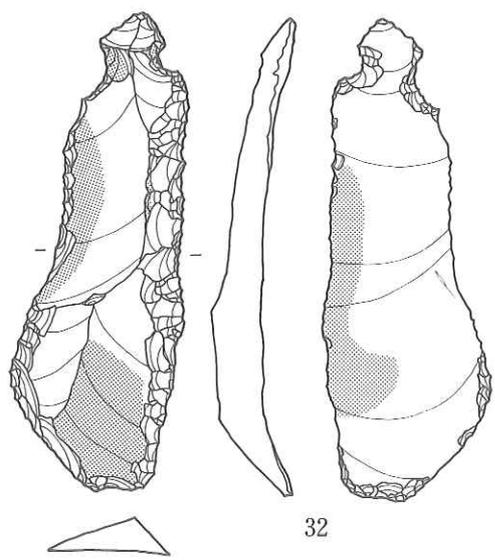
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
20	VI G-76	Va	66	47	14	(24.0)	珩頁	Ca		3121
21	VI F-77	〃	72	40	12	24.7	〃	〃		3021
22	VI G-77	〃	73	37	13	20.5	〃	〃		3188
23	〃	〃	(62)	(57)	12	(26.8)	〃	Cc		3201
24	〃	〃	68	43	11	21.4	〃	Ca		3166
25	VI F-76	〃	72	43	12	21.8	〃	〃		2977

225図 第V a層 出土石器 (4)

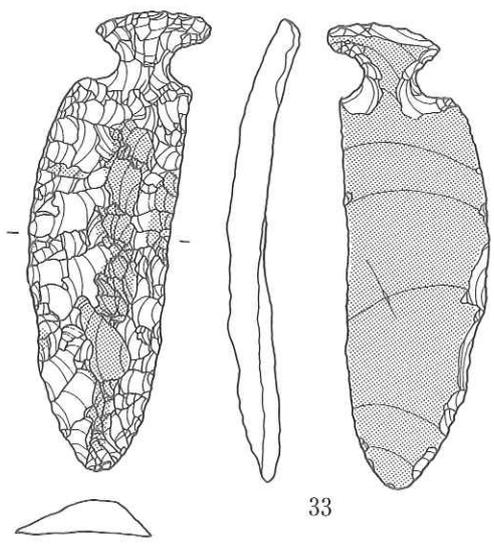


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
26	ⅧG-77	Va	85	39	13	34.9	珪頁	Ca		3172
27	ⅧF-77	〃	76	36	10	23.7	〃	〃		3023
28	ⅧG-77	〃	78	40	17	26.3	〃	〃		3192
29	ⅧH-75	〃	82	37	14	20.7	〃	〃		3269
30	ⅧF-77	〃	92	32	11	29.1	〃	〃		3052
31	〃	〃	72	52	14	26.7	〃	Cc		3044

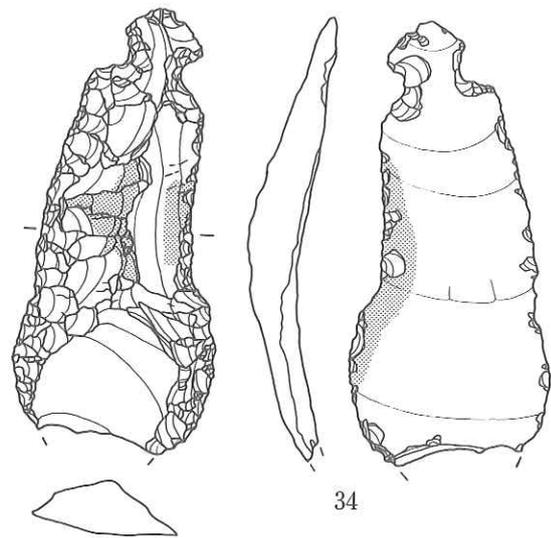
226図 第Va層 出土石器 (5)



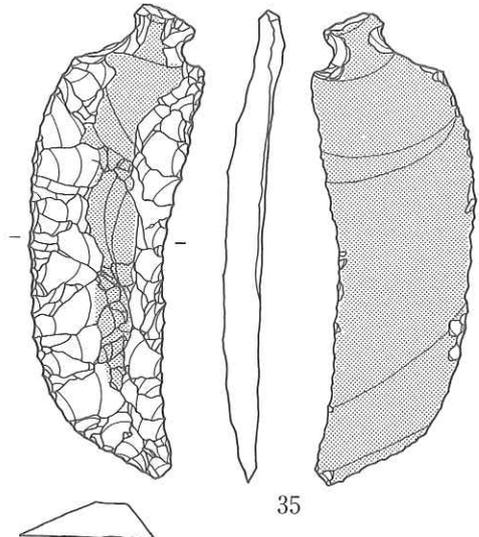
32



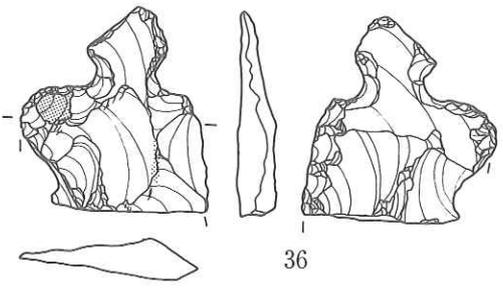
33



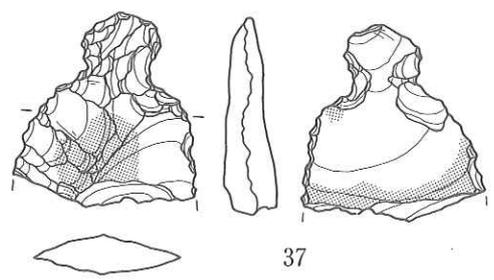
34



35



36

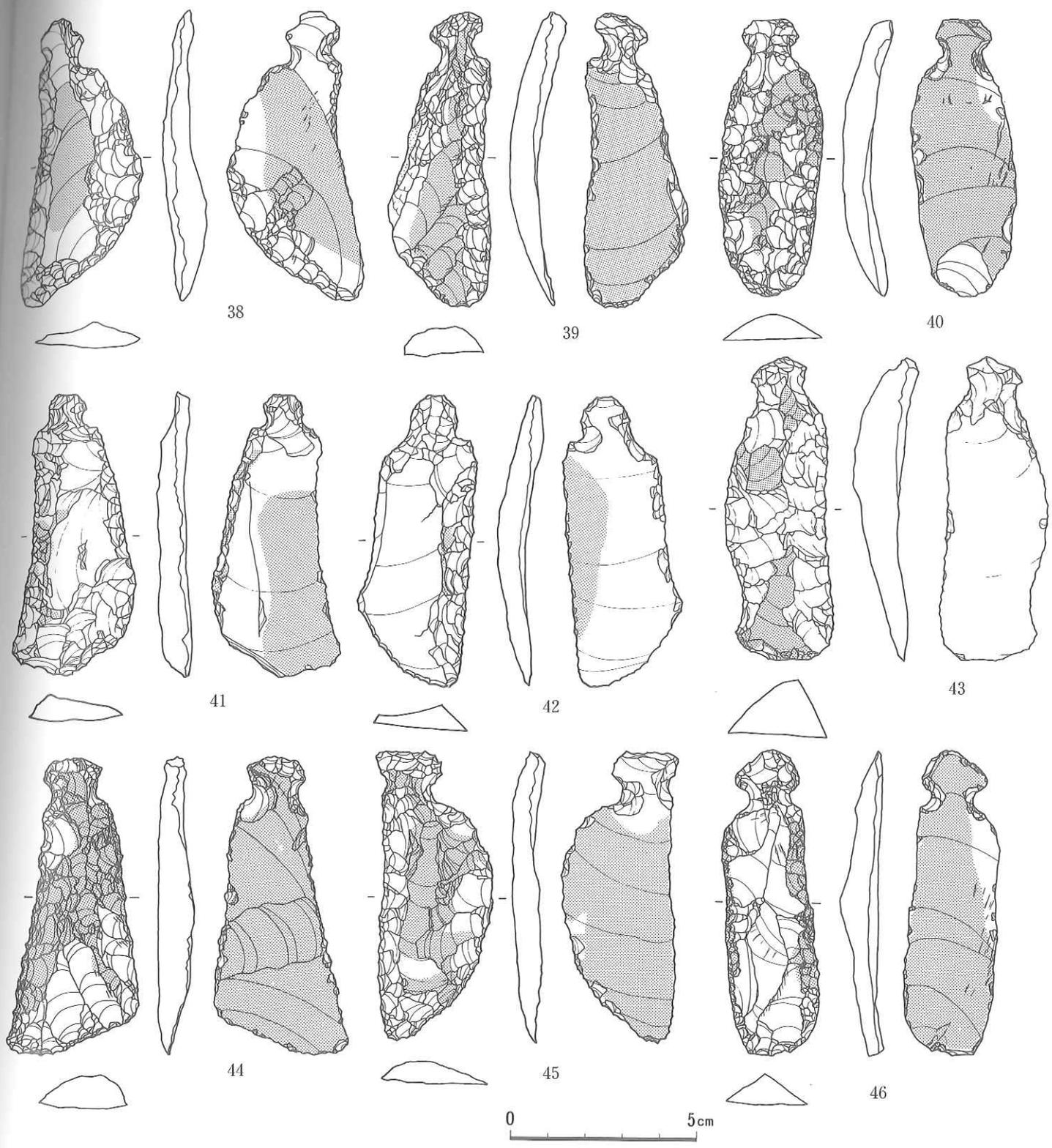


37



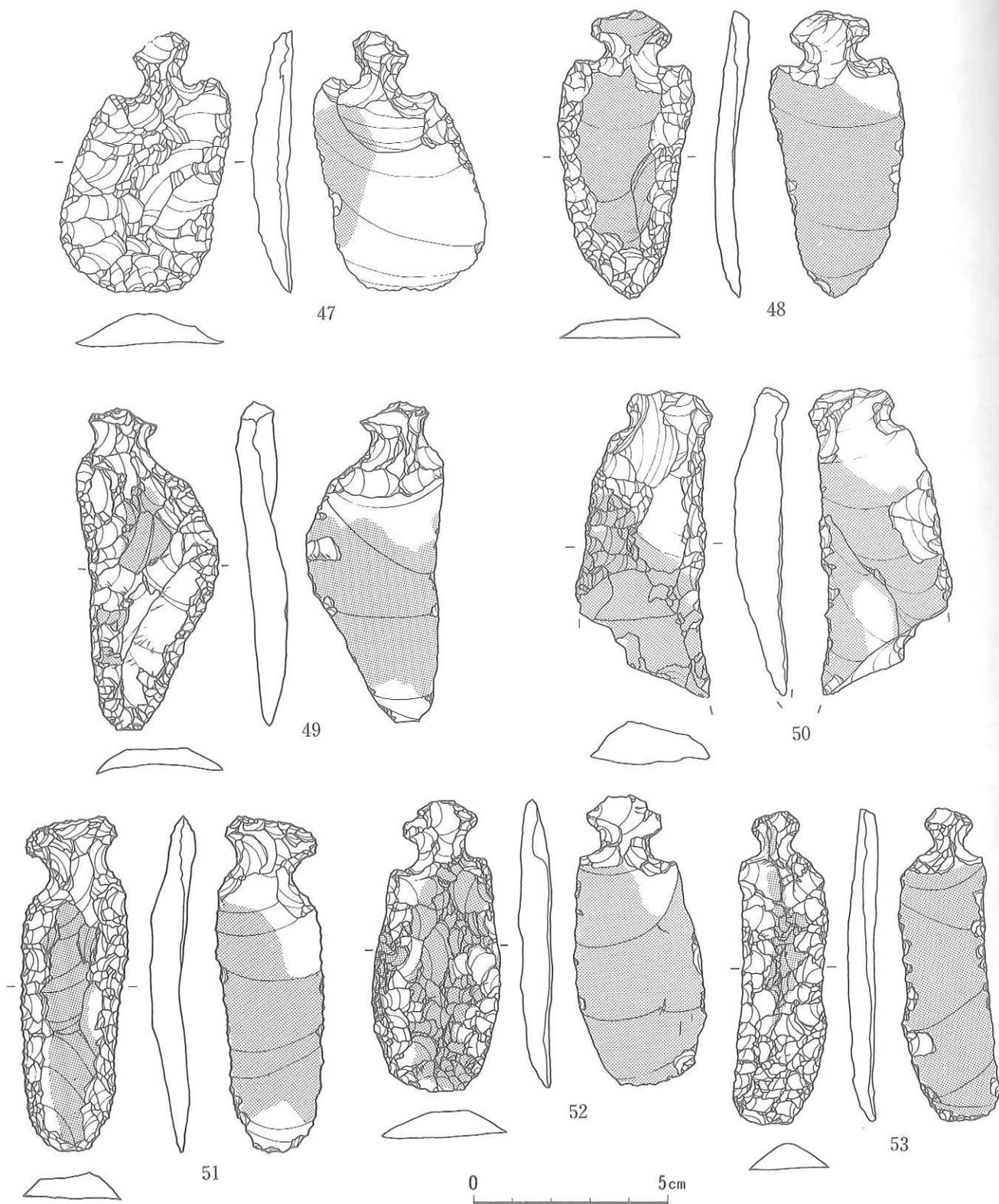
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
32	VIF-77	Va	95	34	17	22.9	珪頁	Ca		3043
33	〃	〃	92	34	14	22.7	〃	〃		3029
34	VIG-77	〃	(88)	41	16	(28.9)	〃	〃		3168
35	VIF-77	〃	94	33	11	24.5	〃	〃		3033
36	VIG-77	〃	(41)	(38)	(9)	(10.6)	〃	〃		3194
37	VIIH-76	〃	(39)	(37)	(11)	(11.3)	〃	〃		3299

227図 第Va層 出土石器 (6)



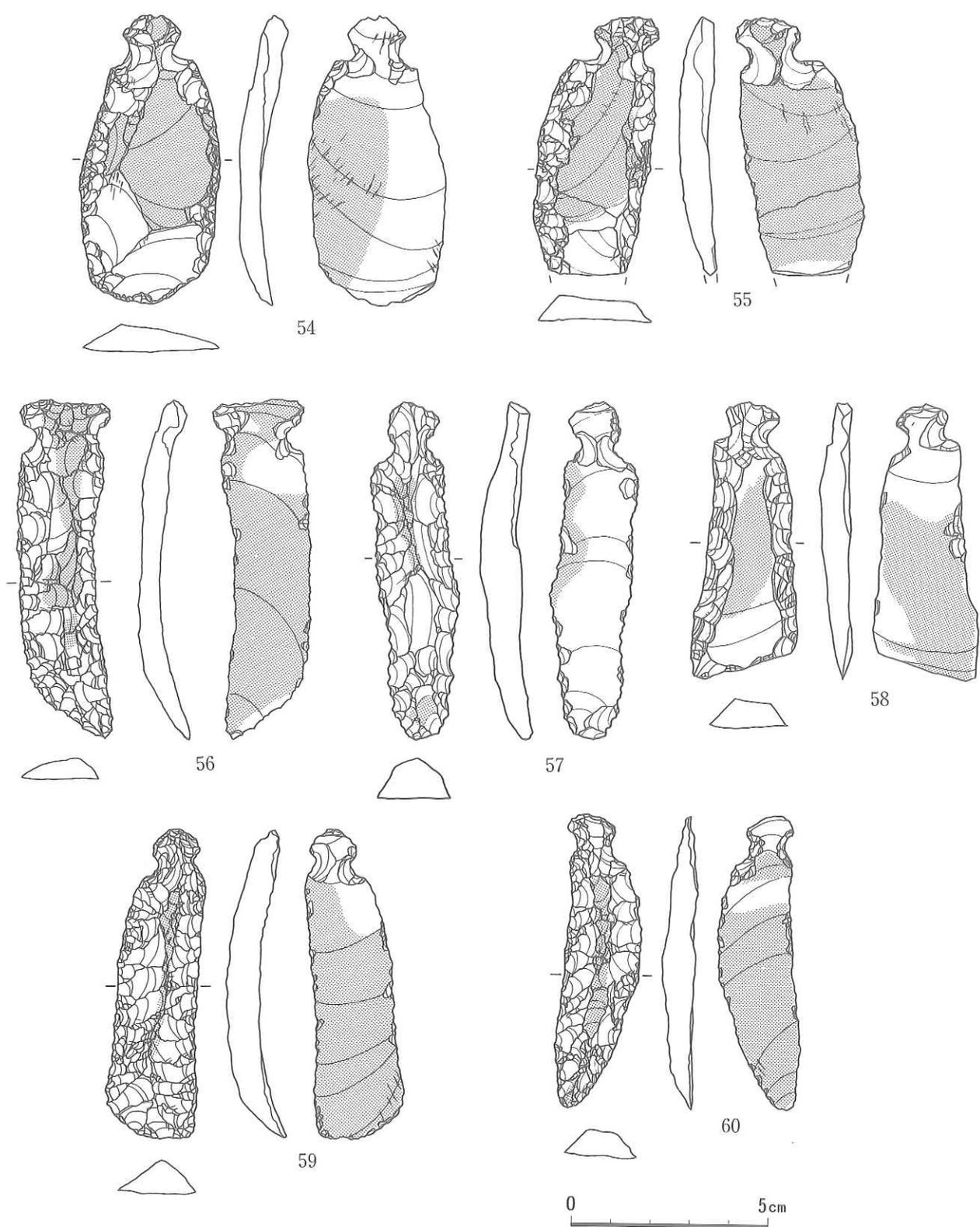
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
38	VII G-77	Va	79	37	13	20.9	珪頁	Ca		3170
39	〃	〃	80	28	15	20.2	〃	〃		3200
40	〃	〃	75	28	14	18.6	〃	〃		3181
41	VII F-77	〃	77	35	10	20.3	〃	〃		3047
42	〃	〃	79	30	13	19.3	〃	〃		3032
43	〃	〃	83	30	18	28.2	〃	〃		3042
44	VII G-77	〃	81	37	10	24.7	〃	〃		3207
45	VII F-77	〃	79	32	9	16.3	〃	〃		3049
46	VII G-77	〃	83	27	13	15.8	〃	〃		3182

228図 第V a層 出土石器 (7)



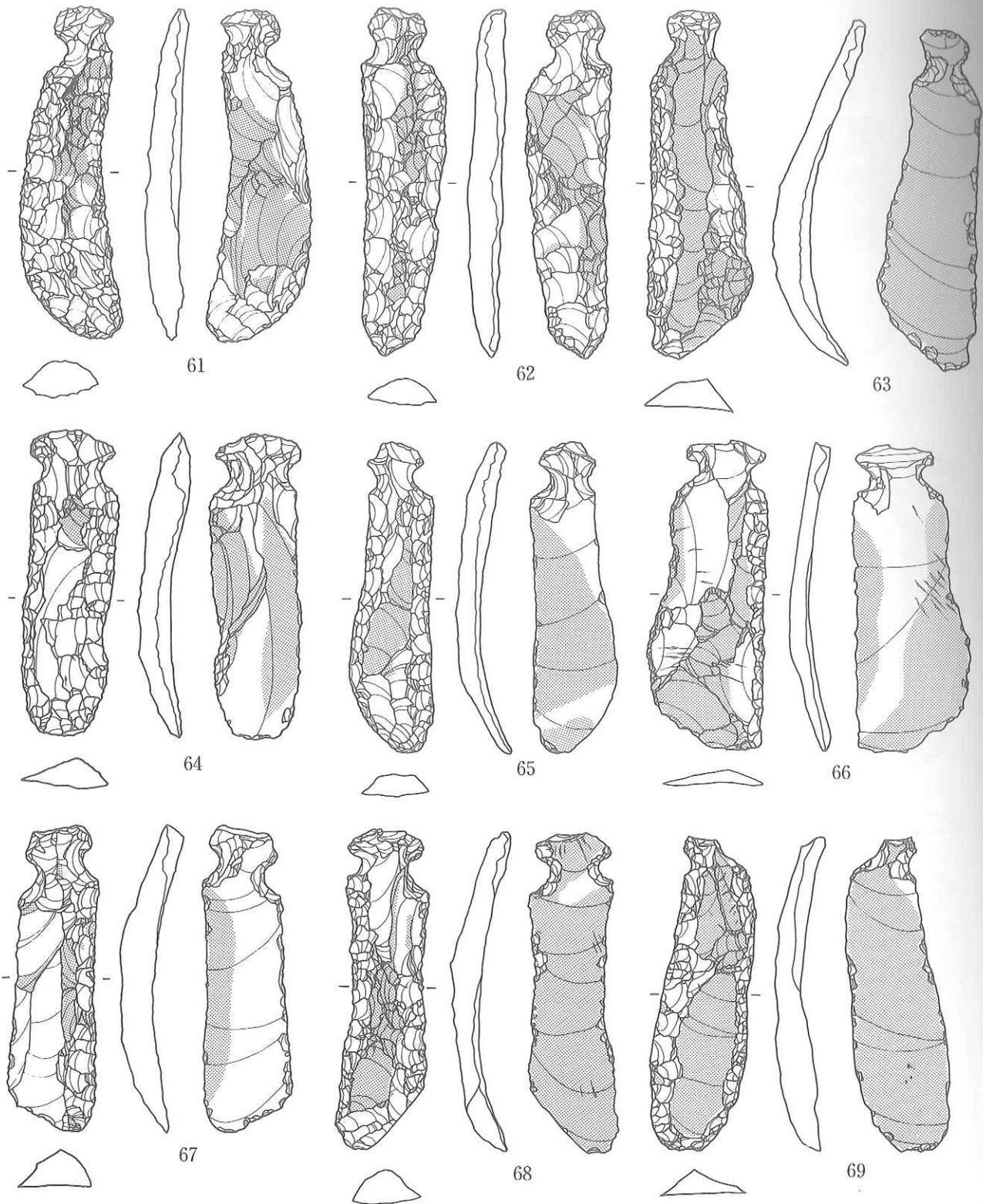
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
47	ⅧF-76	Va	68	45	11	23.6	珪頁	Cc		2961
48	ⅧF-77	〃	75	35	10	16.5	〃	Ca		3015
49	ⅧG-76	〃	84	36	12	25.1	〃	〃		3127
50	ⅧF-76	〃	(80)	(37)	(15)	(32.4)	〃	〃		2979
51	ⅧF-77	〃	87	28	13	25.0	〃	〃		3048
52	ⅧG-77	〃	76	34	9	22.6	〃	〃		3180
53	〃	〃	81	26	8	15.1	〃	〃		3187

229図 第V a層 出土石器 (8)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
54	ⅦG-77	Va	74	36	12	18.0	珪頁	Ca		3186
55	ⅦF-77	〃	(66)	32	10	(15.9)	〃	〃		3063
56	ⅦH-75	〃	88	24	13	15.2	〃	〃		3731
57	ⅦH-76	〃	87	23	14	16.1	〃	〃		3298
58	ⅦF-76	〃	72	28	9	13.3	〃	〃		63106
59	ⅦG-77	〃	79	26	15	17.2	〃	〃		3195
60	〃	〃	75	22	9	11.3	〃	〃		3197

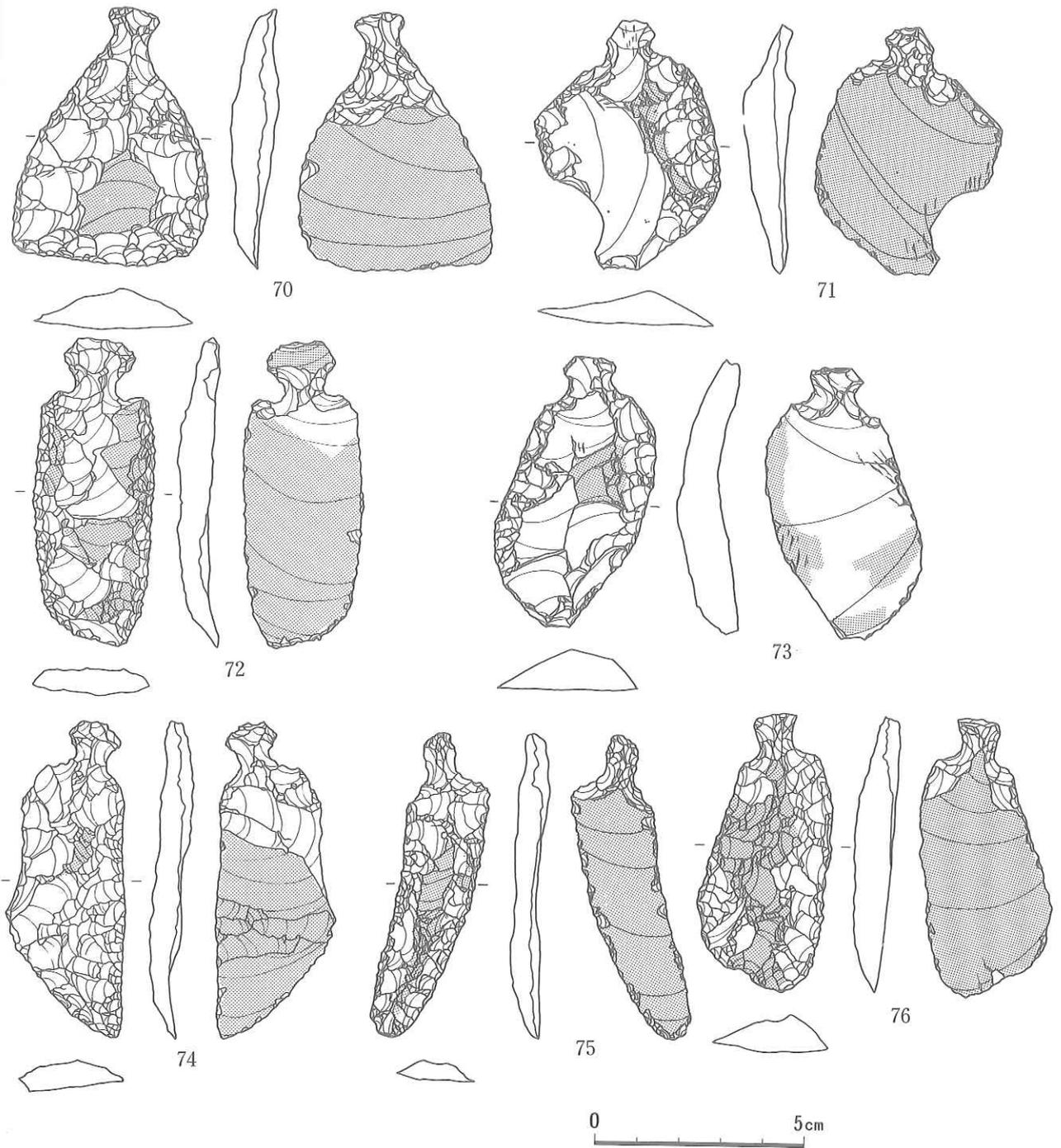
230図 第Va層 出土石器 (9)



0 5cm

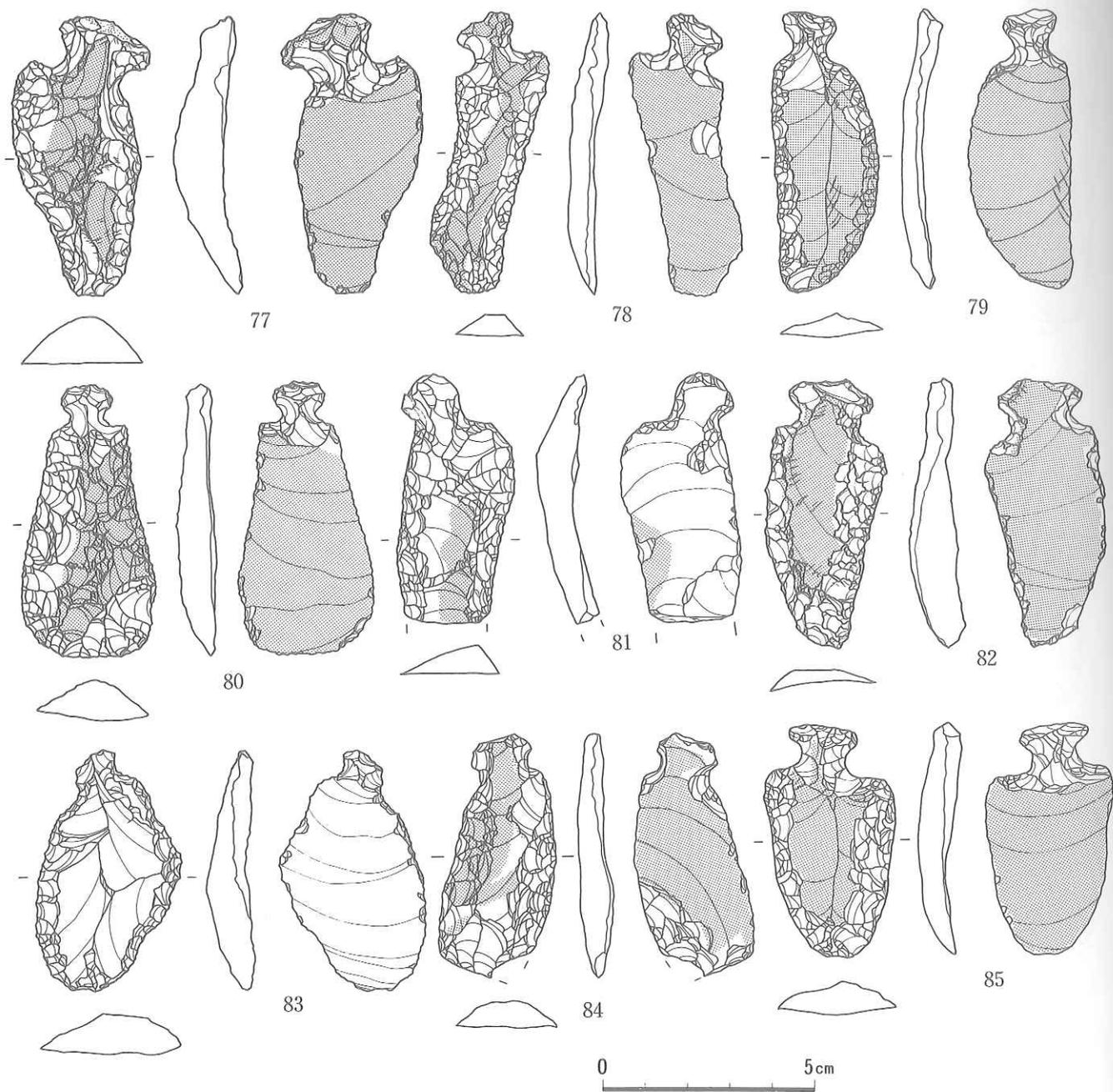
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
61	WF-76	Va	86	27	11	19.5	珪頁	Ca		2976
62	〃	〃	90	23	10	19.9	〃	〃		2973
63	WF-77	〃	90	28	23	22.8	〃	〃		3016
64	WF-74	〃	79	25	13	19.4	〃	〃		2908
65	WF-77	〃	80	23	15	12.7	〃	〃		3026
66	〃	〃	80	32	12	14.1	〃	〃		3038
67	〃	〃	79	24	17	17.4	〃	〃		3019
68	WG-77	〃	83	23	16	15.9	〃	〃		3202
69	〃	〃	80	27	14	16.3	〃	〃		3176

231図 第Va層 出土石器 (10)



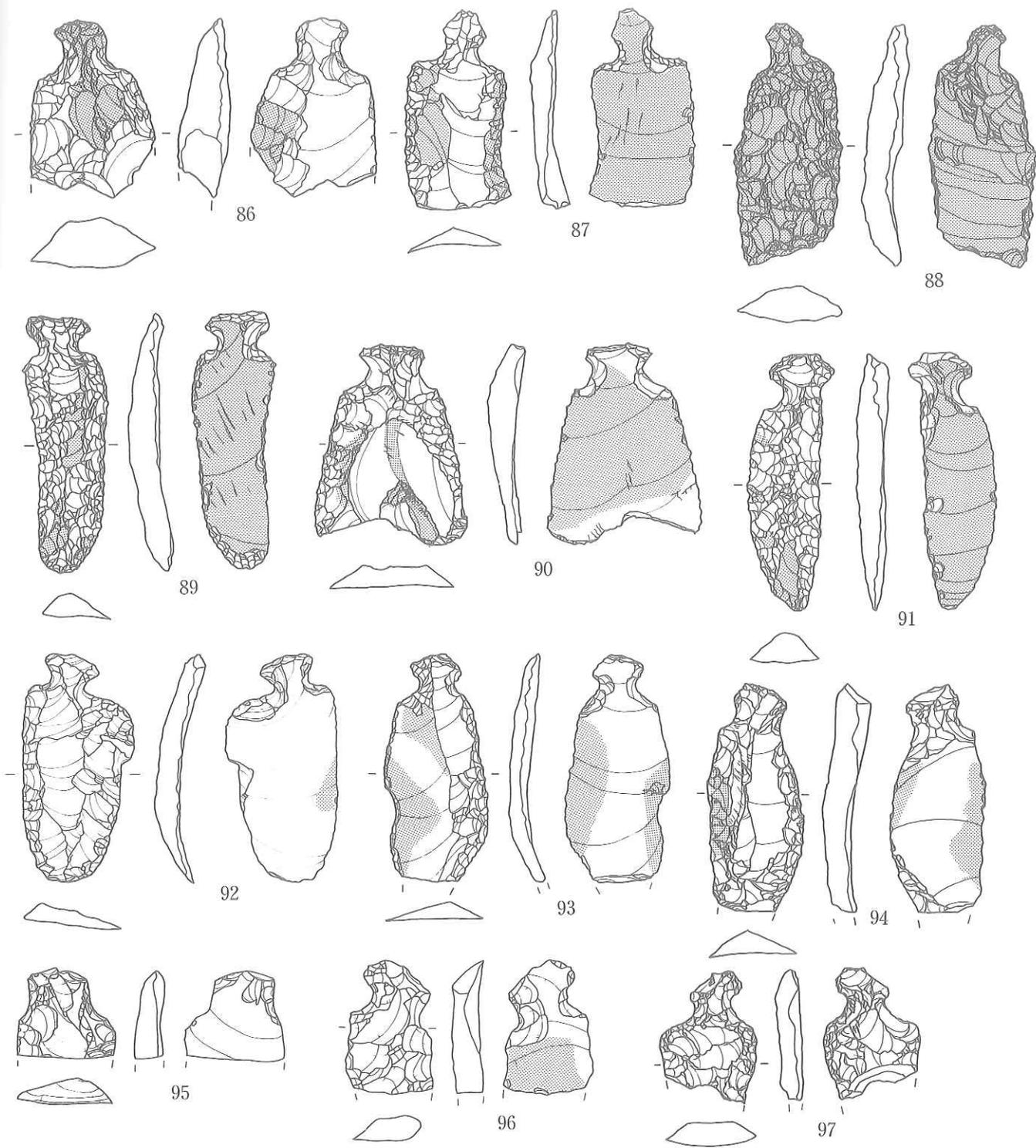
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
70	VIG-77	Va	63	48	12	25.0	珪頁	Ca		3198
71	〃	〃	60	45	13	18.1	〃	〃		3191
72	VIF-77	〃	75	30	13	19.1	〃	〃		3024
73	VIG-76	〃	65	38	17	23.4	〃	Ce		3120
74	VIF-77	〃	77	30	11	16.1	〃	Ca		3025
75	VIG-77	〃	74	29	10	10.2	〃	Ce		3171
76	VIF-76	〃	67	33	10	18.3	〃	〃		2962

232図 第Va層 出土石器 (11)



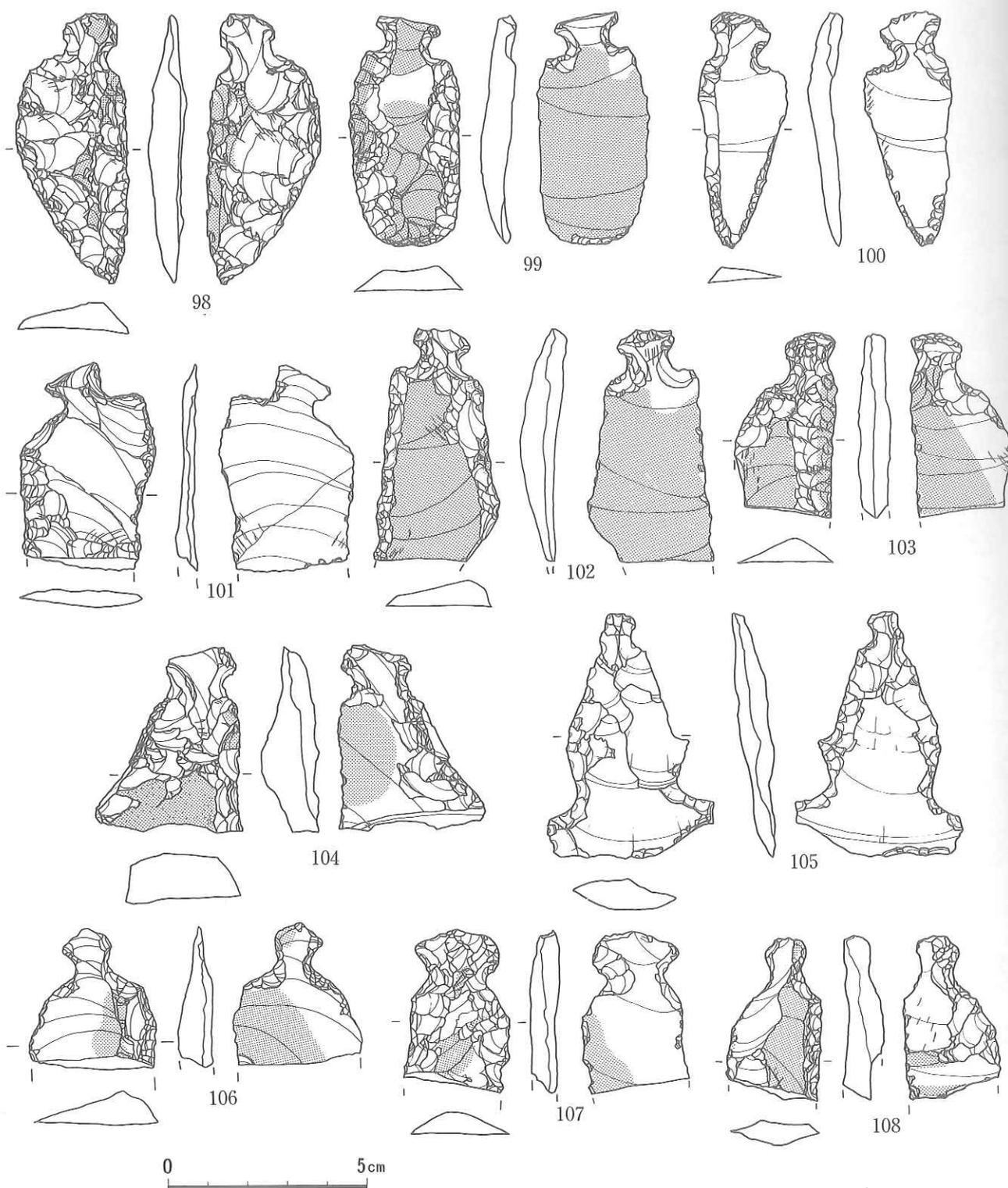
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
77	MF-77	Va	67	33	17	20.4	珪頁	Cc		3054
78	〃	〃	68	28	9	10.9	〃	〃		3037
79	MG-77	〃	67	25	11	9.7	〃	Ca		3193
80	MF-76	〃	65	32	10	17.2	〃	〃		2966
81	MF-77	〃	(60)	29	(10)	(15.3)	〃	Cc		3012
82	〃	〃	65	29	14	11.9	〃	Ca		3059
83	MF-76	〃	58	35	13	15.4	〃	Cc		2963
84	〃	〃	(58)	29	8	(10.9)	〃	〃		2971
85	MF-77	〃	56	30	11	13.3	〃	Ca		3039

233図 第Va層 出土石器 (12)



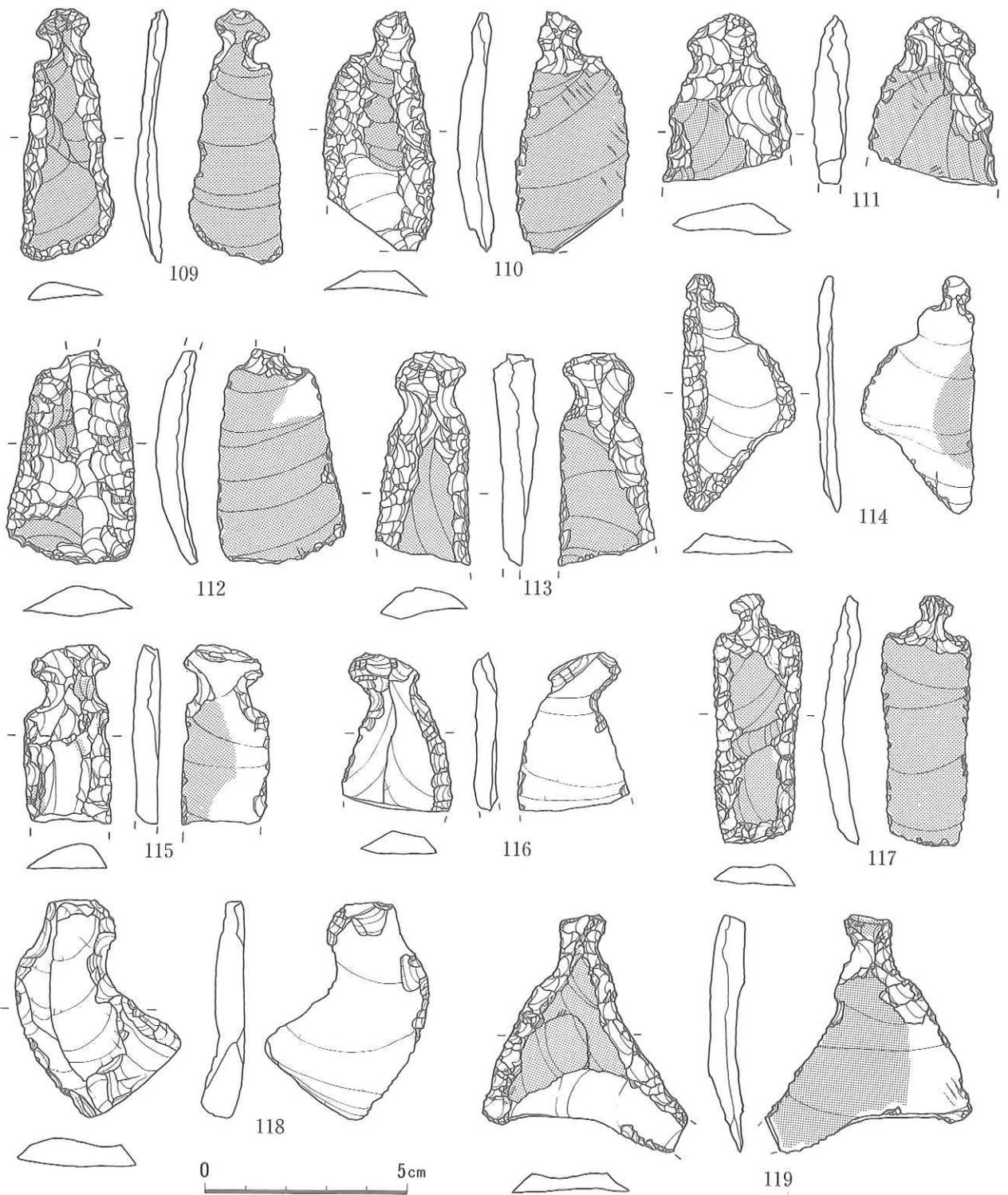
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
86	ⅥF-77	Va	(46)	33	14	(16.0)	珪頁	Ca		3022
87	〃	〃	51	28	10	8.0	〃	〃		3035
88	ⅥG-77	〃	62	28	12	15.5	〃	〃		3204
89	〃	〃	67	22	11	9.9	〃	〃		3196
90	ⅥF-77	〃	52	40	10	11.6	〃	〃		3055
91	ⅥG-77	〃	66	23	9	10.6	〃	〃		3165
92	ⅥF-76	〃	59	29	13	10.3	〃	〃		2978
93	ⅥF-77	〃	(59)	27	10	(8.1)	〃	〃		3017
94	ⅥG-76	〃	(59)	25	12	(12.9)	〃	〃		3126
95	〃	〃	(23)	26	8	(4.7)	〃	〃		75381
96	ⅥF-76	〃	(35)	23	8	(6.2)	〃	〃		63184
97	ⅥG-76	〃	(34)	25	7	(4.9)	〃	〃		3124

234図 第Va層 出土石器 (13)



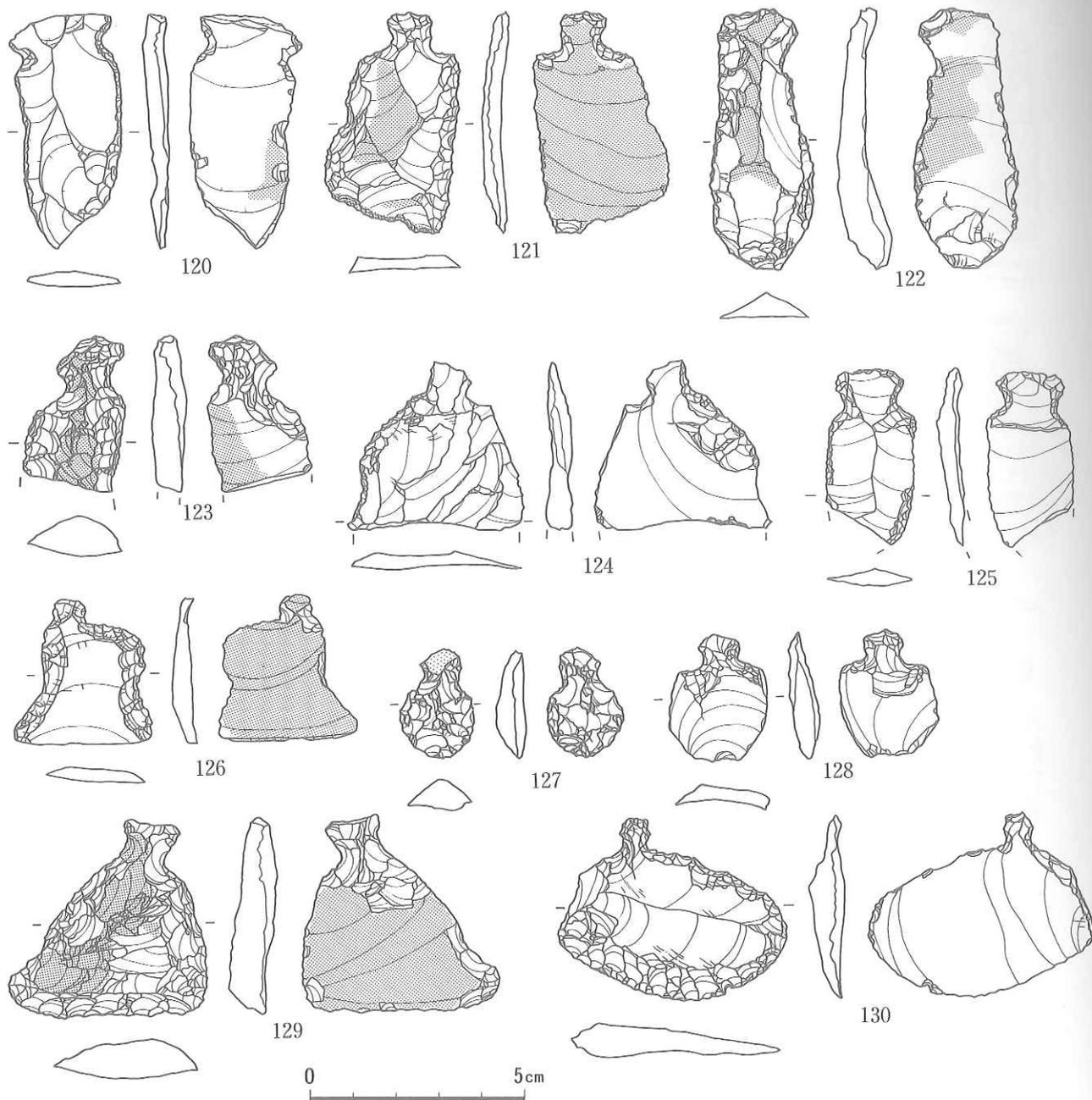
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
98	VIG-76	Va	69	29	10	16.0	玉	Cd		3122
99	VIG-77	〃	59	29	10	12.2	珪頁	Ca		3184
100	〃	〃	60	23	10	3.9	〃	〃		3174
101	〃	〃	(53)	34	7	(7.7)	〃	Cc		3203
102	〃	〃	(59)	32	12	(15.1)	〃	Ca		3173
103	〃	〃	(47)	27	9	(8.3)	〃	〃		3185
104	VIG-76	〃	47	37	16	20.3	黒	〃		3125
105	VIF-77	〃	63	42	11	14.8	珪頁	〃	異形石器?	63816
106	VIF-76	〃	(36)	33	10	(6.9)	〃	〃		2970
107	VIF-77	〃	(41)	(27)	(8)	(8.4)	〃	〃		3046
108	〃	〃	(42)	(25)	(11)	(7.7)	〃	〃		3061

235図 第Va層 出土石器 (14)



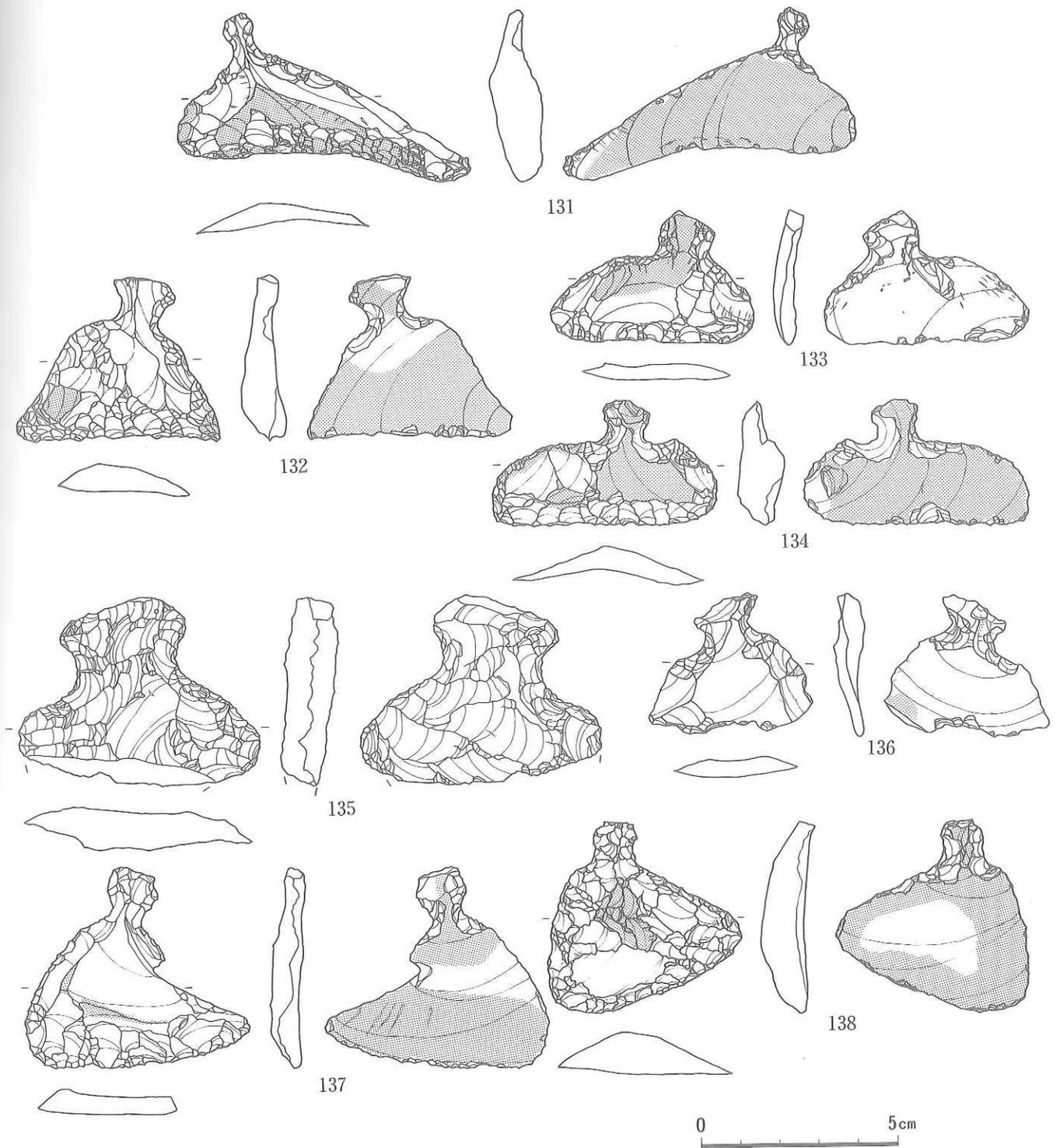
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
109	VIF-77	Va	64	24	8	7.1	珪頁	Ca		3014
110	〃	〃	(60)	28	(10)	(11.8)	〃	〃		3041
111	VII G-77	〃	(42)	(32)	10	(11.5)	〃	〃		3206
112	〃	〃	(54)	32	11	(13.2)	〃	〃		3199
113	VII F-76	〃	(54)	(25)	(12)	(11.3)	〃	〃		2964
114	VII F-77	〃	60	29	6	5.0	〃	〃		3027
115	〃	〃	(45)	22	7	(9.1)	〃	〃		3050
116	VII F-74	〃	(40)	(27)	6	(6.0)	〃	〃		60269
117	VII F-76	〃	63	23	10	10.0	〃	〃		2968
118	〃	〃	50	37	12	14.2	〃	Cc		3367
119	VII F-77	〃	(59)	(51)	9	(14.4)	〃	〃		3056

236図 第Va層 出土石器 (15)



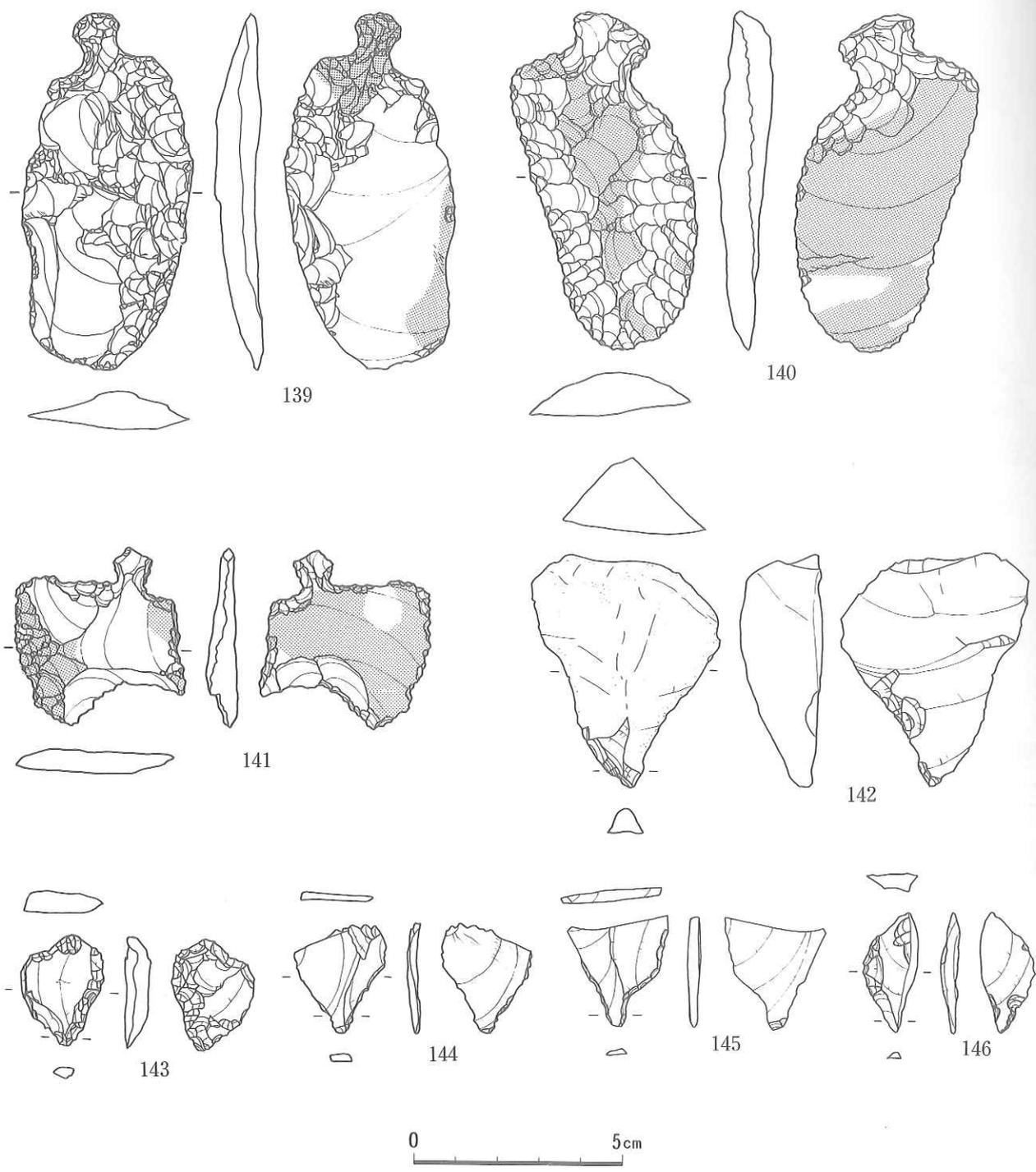
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
120	VIF-77	Va	50	26	6	7.2	珪頁	Ca		73013
121	〃	〃	52	33	7	7.2	〃	〃		3011
122	〃	〃	62	25	13	13.2	〃	〃		3057
123	VIG-77	〃	(37)	(25)	8	(7.0)	〃	〃		3164
124	VIF-77	〃	(40)	(42)	(6)	(6.9)	〃	〃		3053
125	VIF-76	〃	(42)	22	7	(3.3)	玉	〃		2974
126	VIF-77	〃	36	32	5	5.9	珪頁	〃		63914
127	VIG-76	〃	27	18	7	2.7	黒	〃		3119
128	VIF-77	〃	30	24	7	3.2	〃	〃		3028
129	〃	〃	47	47	12	18.7	珪頁	〃		3030
130	VIG-77	〃	43	54	9	12.3	〃	Cb		3205

237図 第Va層 出土石器 (16)



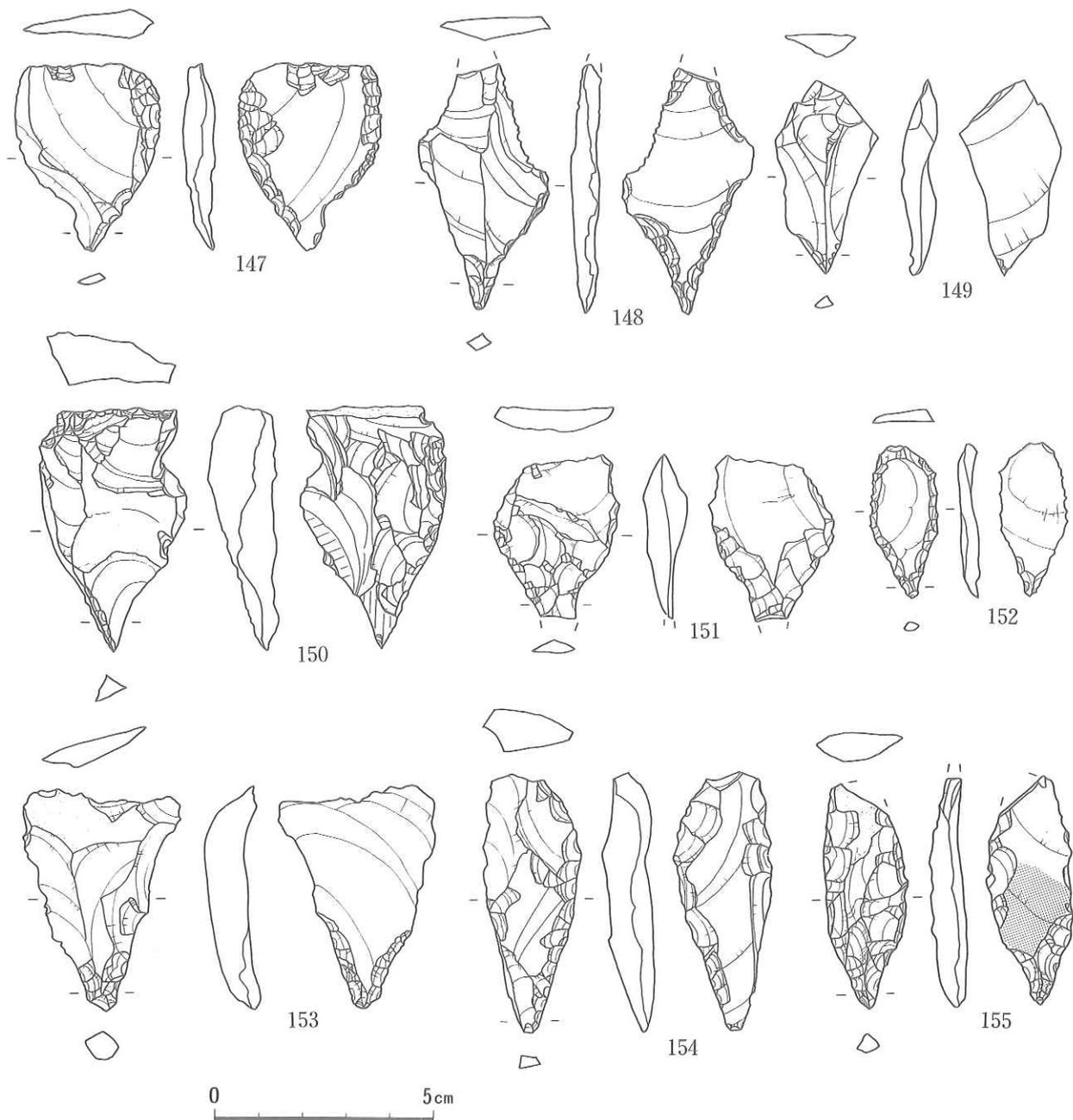
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
131	VIG-77	Va	44	75	14	13.8	珪頁	Cc		3179
132	VIF-77	〃	43	52	12	14.1	〃	Cb		3051
133	VIG-77	〃	34	52	8	8.1	〃	〃		3183
134	VIF-77	〃	32	58	12	12.7	〃	〃		3031
135	VIF-76	〃	(49)	62	15	(31.8)	黒	〃		2969
136	VIIH-76	〃	36	42	8	6.2	珪頁	〃		75380
137	VIF-77	〃	52	57	9	15.5	〃	〃		3036
138	〃	〃	49	50	14	21.3	〃	Cc		3058

238図 第Va層 出土石器 (17)



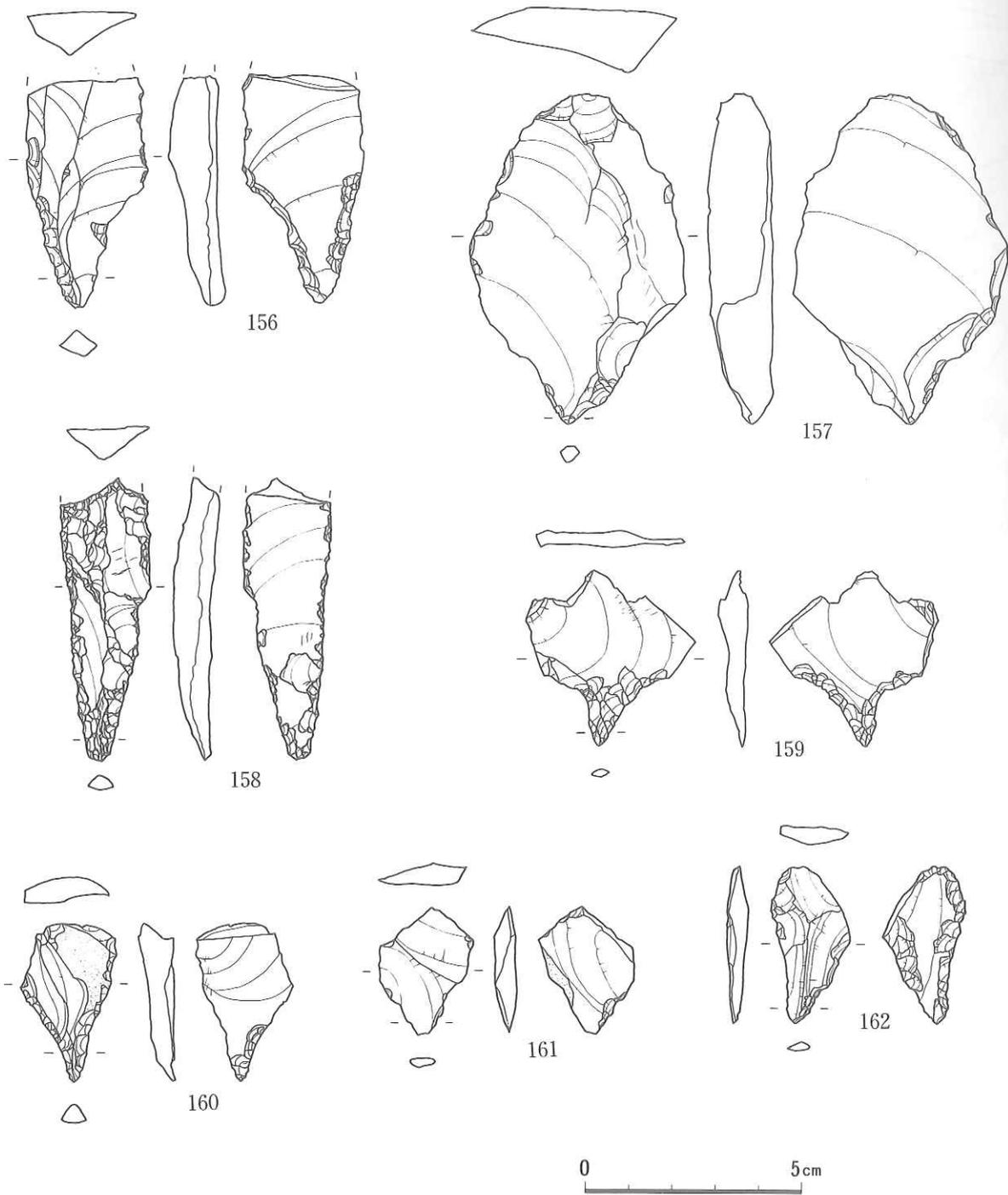
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
139	VII G-77	Va	86	41	12	32.6	珪頁	Ca		3177
140	VII H-76	〃	82	46	13	35.9	〃	Cc		3300
141	VII H-77	〃	43	42	8	8.8	〃	Ca		3314
142	VII F-76	〃	56	45	20	39.5	〃	De		63189
143	VII F-77	〃	27	20	7	3.6	〃	Db		63964
144	〃	〃	23	22	3	1.3	〃	De		63796
145	VII F-76	〃	26	24	4	1.7	〃	Db		63072
146	〃	〃	29	13	5	1.2	〃	De		63050

239図 第V a層 出土石器 (18)



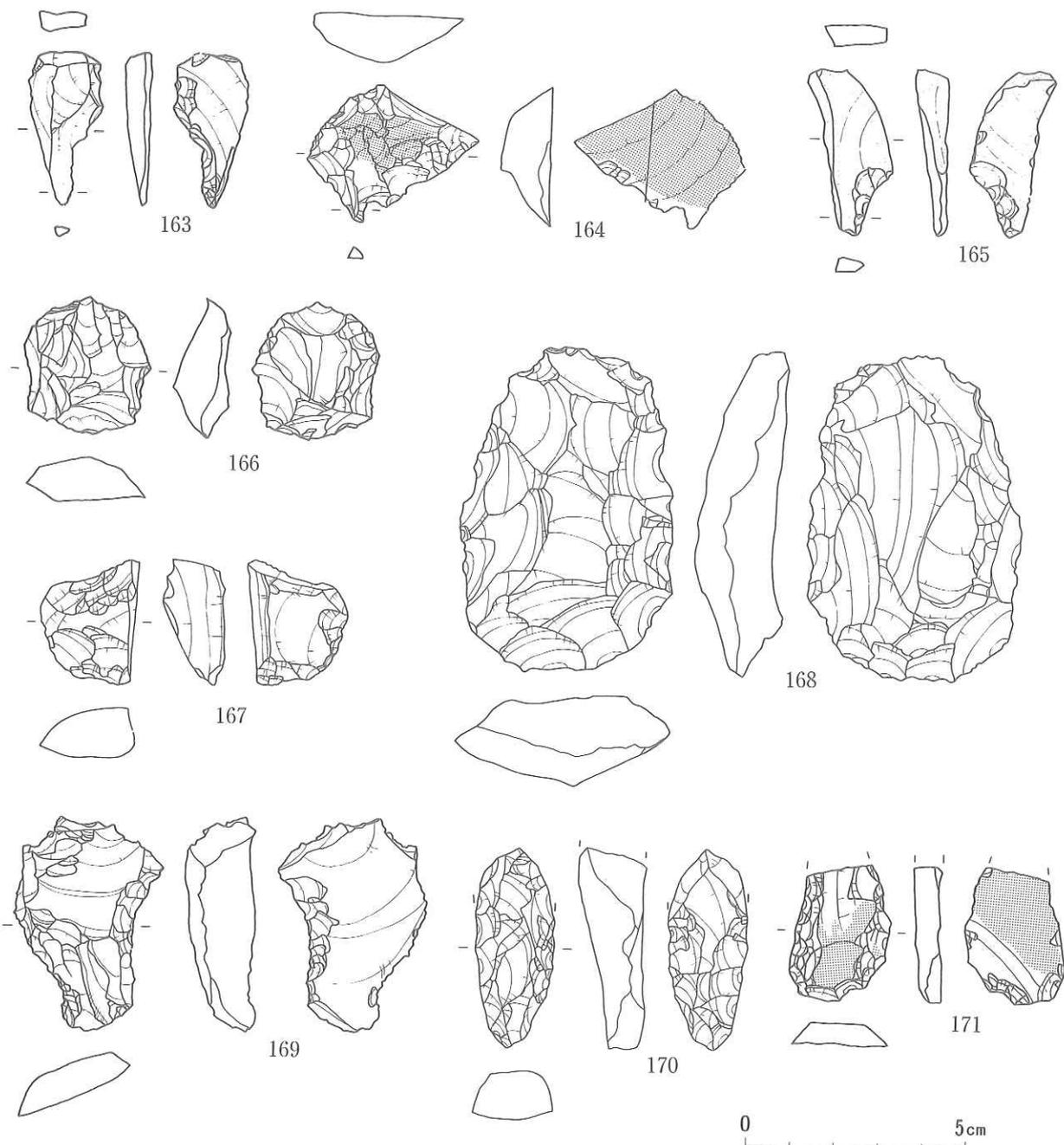
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
147	ⅧF-77	Va	43	33	8	6.0	珧頁	Db		63978
148	ⅧG-77	〃	(57)	30	7	(7.0)	〃	〃		69385
149	ⅧF-77	〃	45	24	7	4.6	〃	Dc		63941
150	〃	〃	57	34	16	23.1	〃	Db		63725
151	ⅧF-76	〃	(38)	29	10	(7.6)	〃	〃		63076
152	〃	〃	36	16	5	2.3	〃	〃	尖端摩耗	63162
153	〃	〃	52	36	13	11.4	〃	Dc		63070
154	ⅧF-77	〃	59	23	12	12.3	〃	Db	尖端摩耗	63971
155	〃	〃	(53)	20	8	(7.3)	〃	〃		63788

240図 第V a層 出土石器 (19)



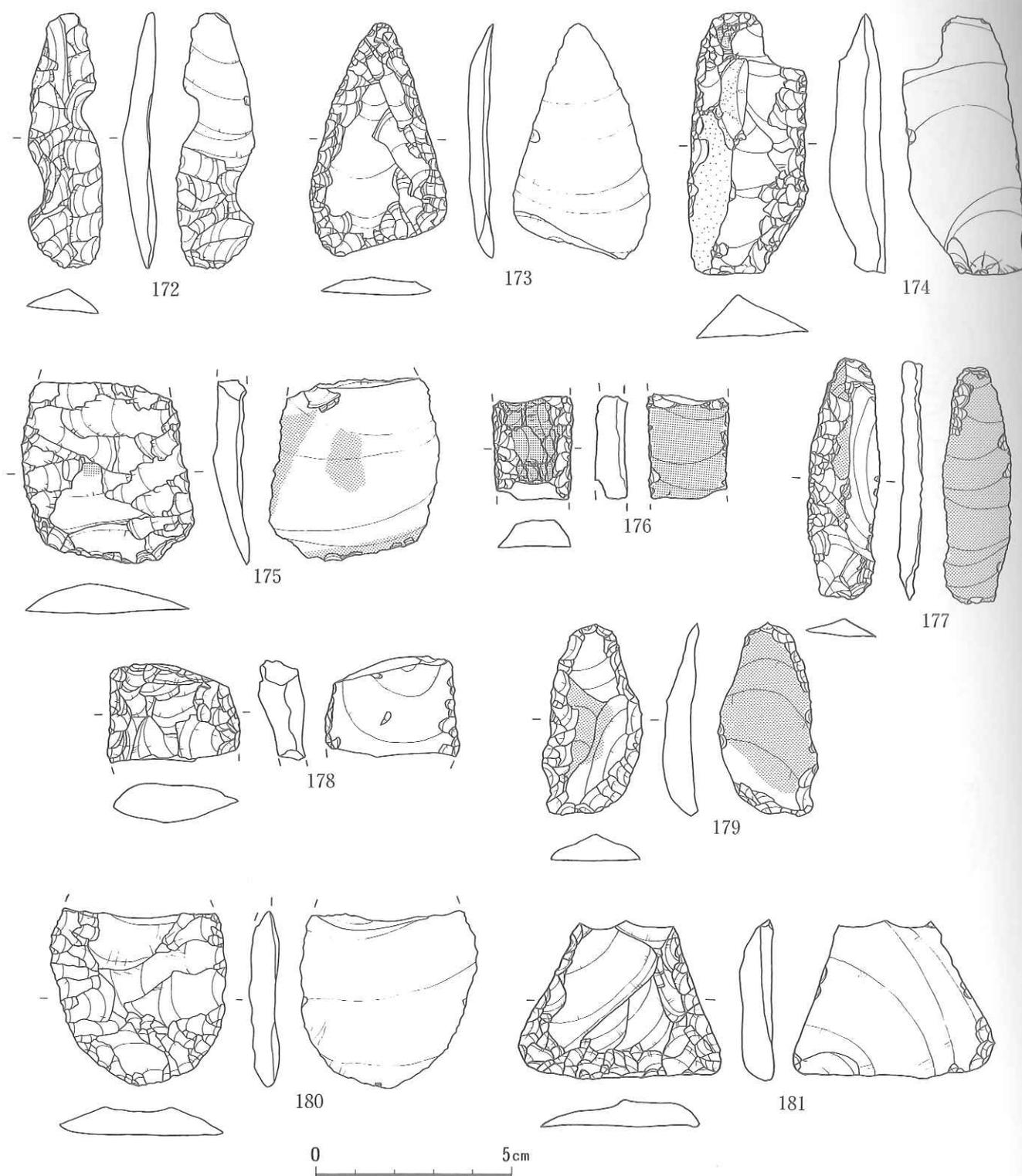
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
156	VII F-77	Va	(54)	28	12	(12.9)	珪頁	Db		63836
157	〃	〃	18	50	15	52.0	〃	Dc	先端摩耗	63936
158	〃	〃	(66)	(21)	(11)	(9.8)	〃	D		3060
159	〃	〃	41	39	7	4.6	〃	Db		63729
160	〃	〃	37	22	9	4.6	〃	〃		63866
161	〃	〃	30	22	5	2.9	〃	Dc		63985
162	〃	〃	36	19	5	3.1	〃	Db		75415

241図 第V a層 出土石器 (20)



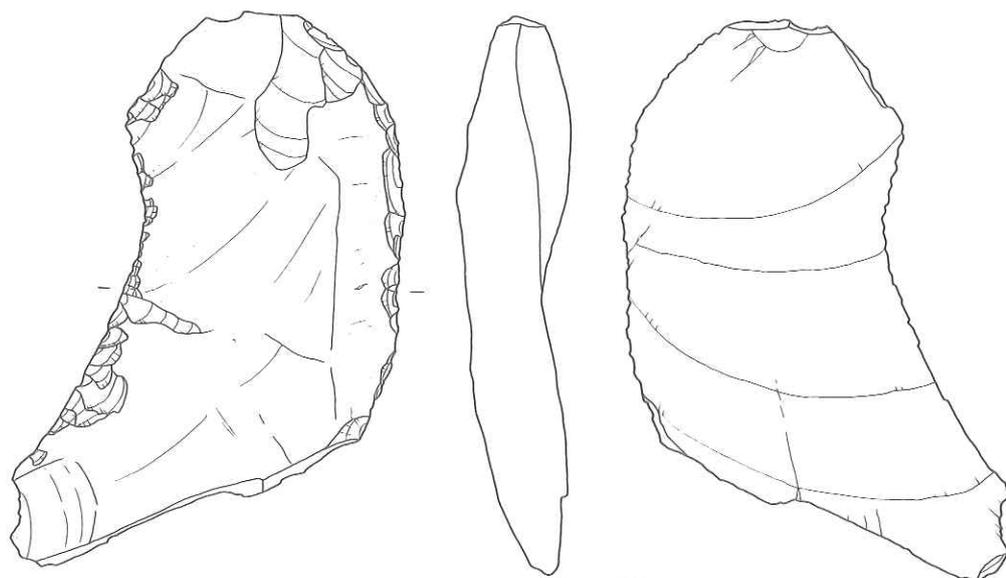
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
163	VIF-77	Va	35	17	6	3.2	珪頁	Db		63902
164	VIF-76	〃	32	39	12	10.1	〃	〃		63158
165	VIF-77	〃	38	19	8	4.3	〃	Dc	尖端摩耗	63831
166	VIF-76	〃	32	30	13	10.2	〃	F		63286
167	VIF-77	〃	28	23	14	8.7	〃	〃		63980
168	〃	〃	75	49	21	68.7	〃	Ea		63739
169	〃	〃	49	34	16	17.1	〃	Ga		63842
170	〃	〃	(47)	(18)	(16)	(13.2)	〃	〃		63884
171	〃	〃	(32)	23	(7)	(5.4)	〃	〃		63897

242図 第V a層 出土石器 (21)

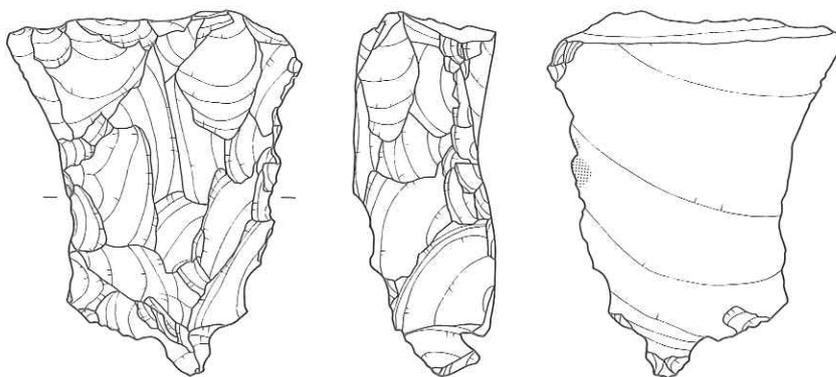
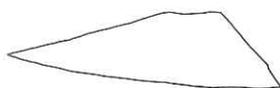


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
172	VIF-76	Va	67	20	8	7.3	珪頁	Ga		3371
173	VIIH-77	〃	61	35	7	12.3	〃	〃		3507
174	VII G-77	〃	67	31	15	26.7	〃	〃		3175
175	VIF-77	〃	(47)	44	9	(17.2)	〃	〃		63983
176	〃	〃	(27)	(21)	(9)	(6.1)	〃	〃		3062
177	〃	〃	62	18	6	6.4	〃	〃		3018
178	VIF-76	〃	(26)	(34)	(12)	(11.1)	〃	〃		3378
179	〃	〃	45	25	8	9.9	〃	〃		63123
180	VIF-77	〃	(46)	46	8	(14.5)	〃	〃		63814
181	VIF-76	〃	41	51	9	13.5	〃	〃		3385

243図 第Va層 出土石器 (22)



182

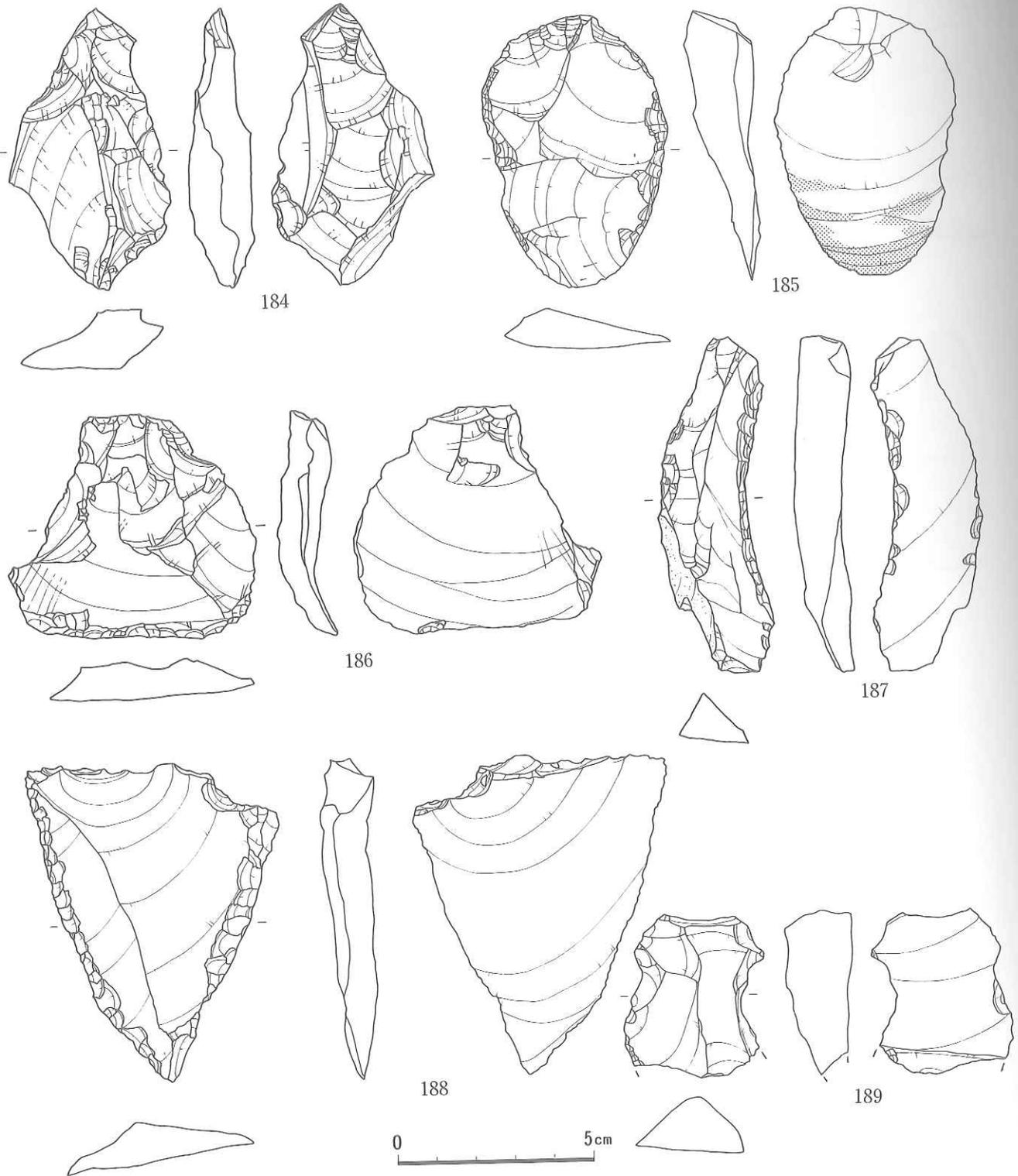


183



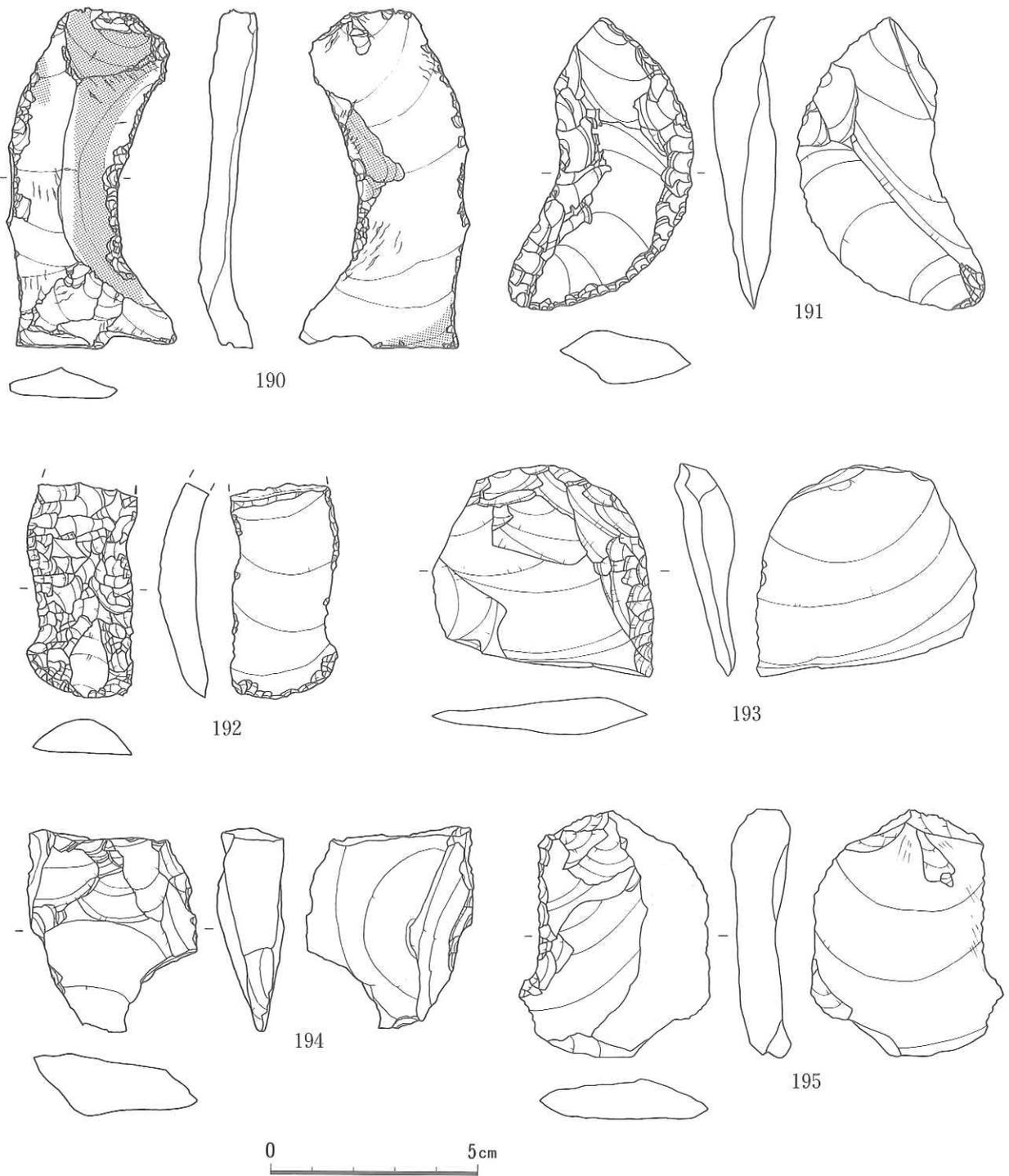
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
182	MF-77	Va	111	75	23	132.5	珪頁	Ga		75408
183	MG-77	々	73	585	29	83.7	々	々		3454

244図 第V a層 出土石器 (23)



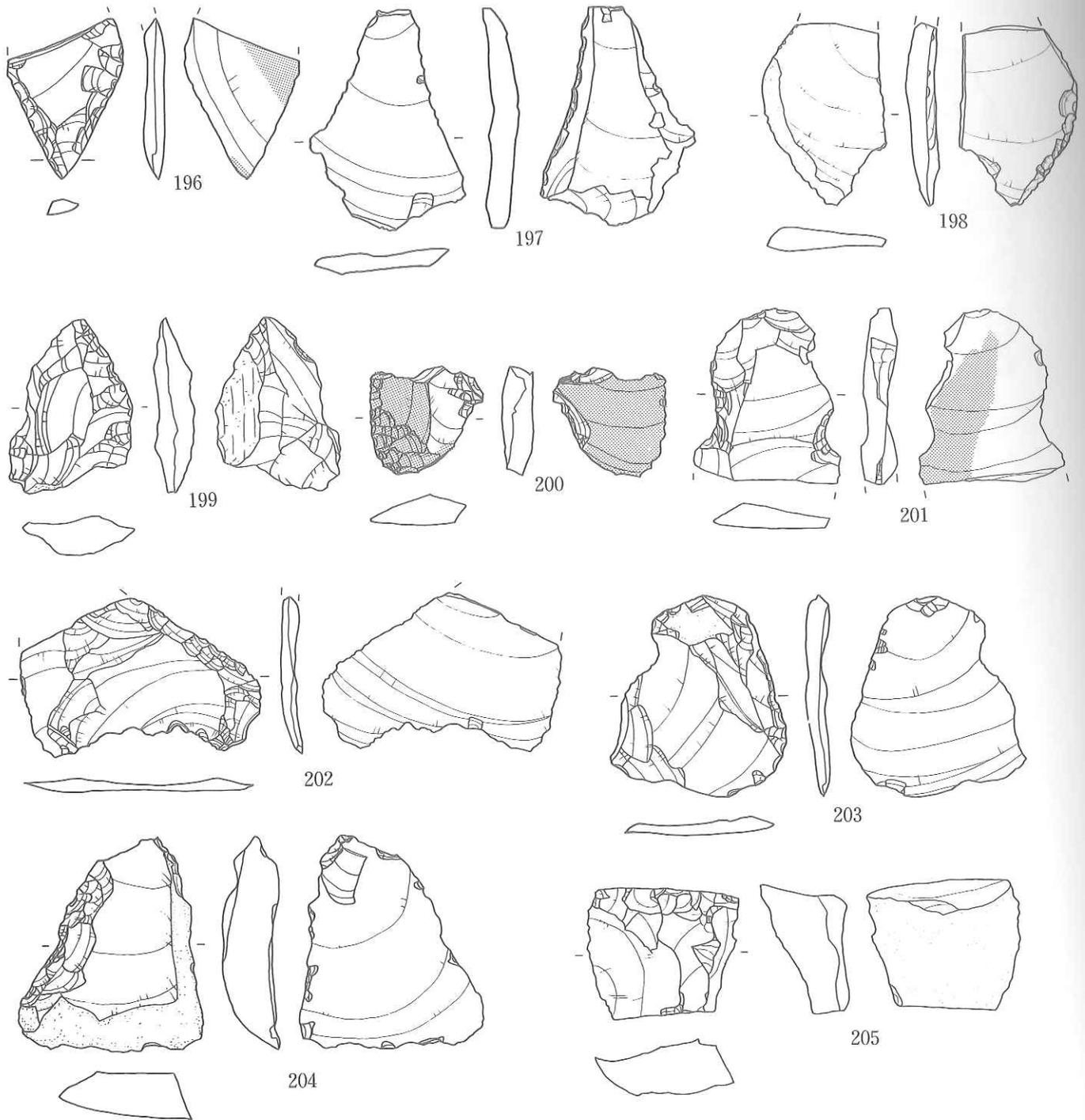
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
184	VI F-76	Va	72	41	17	37.0	珪頁	Ga		63187
185	〃	〃	70	47	18	38.2	〃	〃		63198
186	VI G-77	〃	58	63	15	42.9	〃	〃		3451
187	VI F-77	〃	87	30	15	27.3	〃	〃		63807
188	〃	〃	82	65	14	41.9	〃	〃		63888
189	〃	〃	43	36	17	23.5	〃	〃		63938

245図 第V a層 出土石器 (24)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
190	VIF-77	Va	82	41	14	22.8	珪頁	Ga		3064
191	VIF-76	〃	71	45	15	32.2	〃	〃		3370
192	VIF-77	〃	(52)	(27)	(12)	(14.1)	〃	〃		63811
193	〃	〃	52	53	15	27.5	〃	〃		63803
194	VIG-77	〃	49	41	16	32.5	玉	〃		69894
195	VIF-77	〃	60	46	15	32.5	珪頁	〃		63948

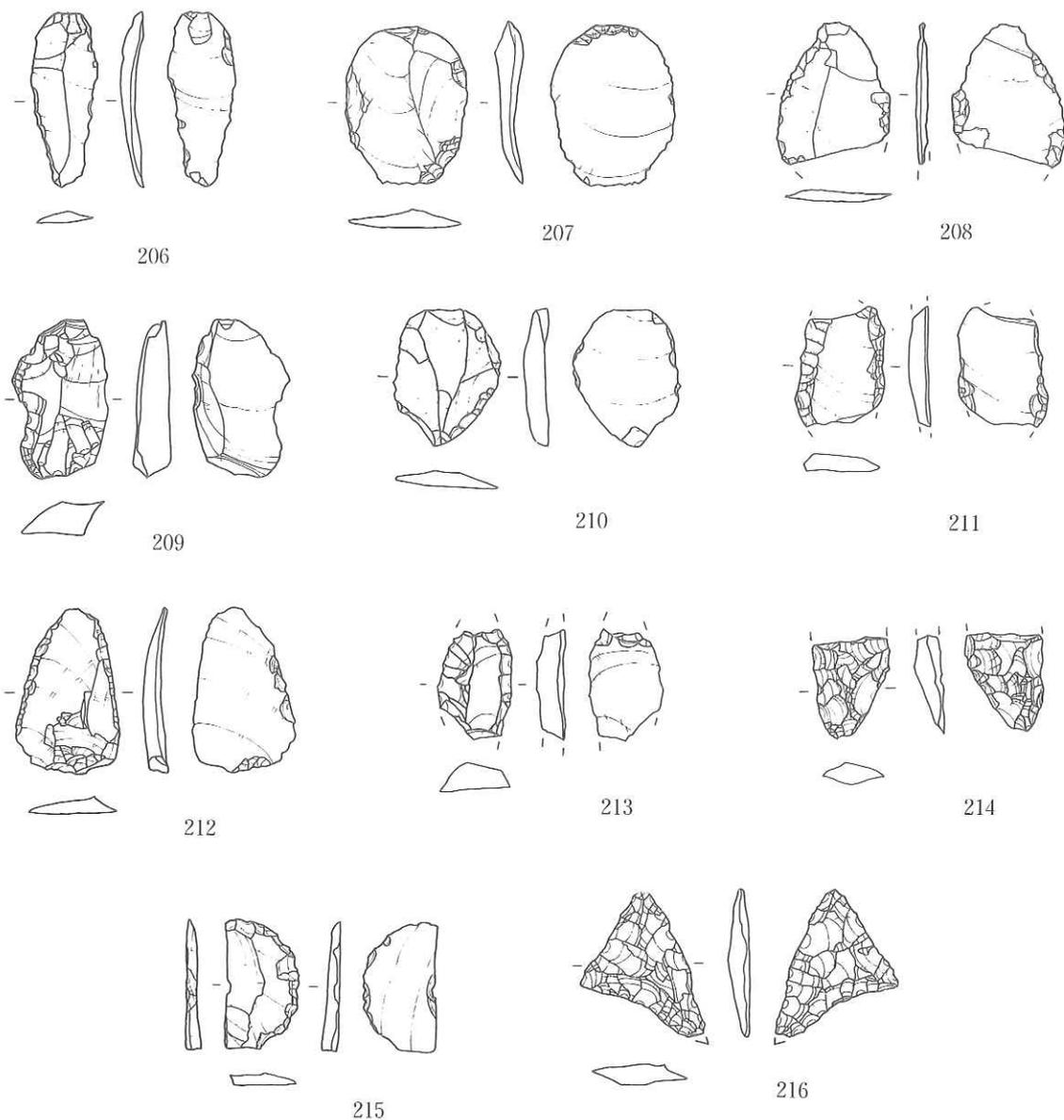
246図 第Va層 出土石器 (25)



0 5cm

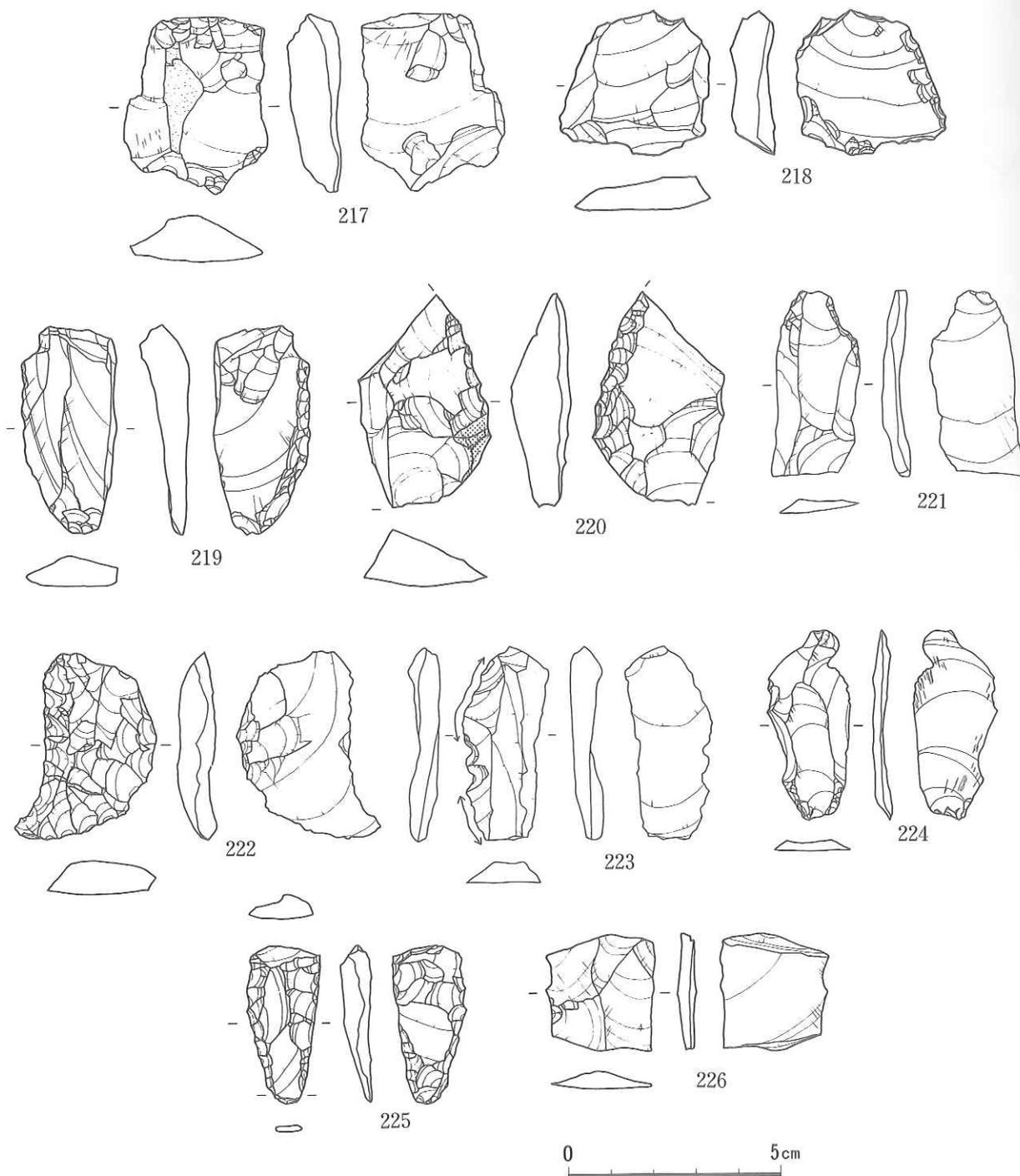
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
196	VIF-76	Va	(33)	30	5	(5.0)	珪頁	Ga		63109
197	VIF-77	〃	54	40	8	9.8	〃	〃		64015
198	〃	〃	(46)	30	8	(9.0)	鉄	〃		63937
199	〃	〃	44	30	10	10.7	玉	〃		63815
200	VIF-76	〃	27	29	7	6.2	珪頁	〃		63077
201	VIF-77	〃	(44)	(36)	9	(11.8)	〃	〃		63746
202	VIF-76	〃	(40)	(60)	(5)	(9.3)	〃	〃		3377
203	〃	〃	50	44	7	8.7	〃	〃		63149
204	VIF-74	〃	60	45	9	26.7	〃	〃		60507
205	〃	〃	33	38	22	22.9	〃	〃		60268

247図 第Va層 出土石器 (26)



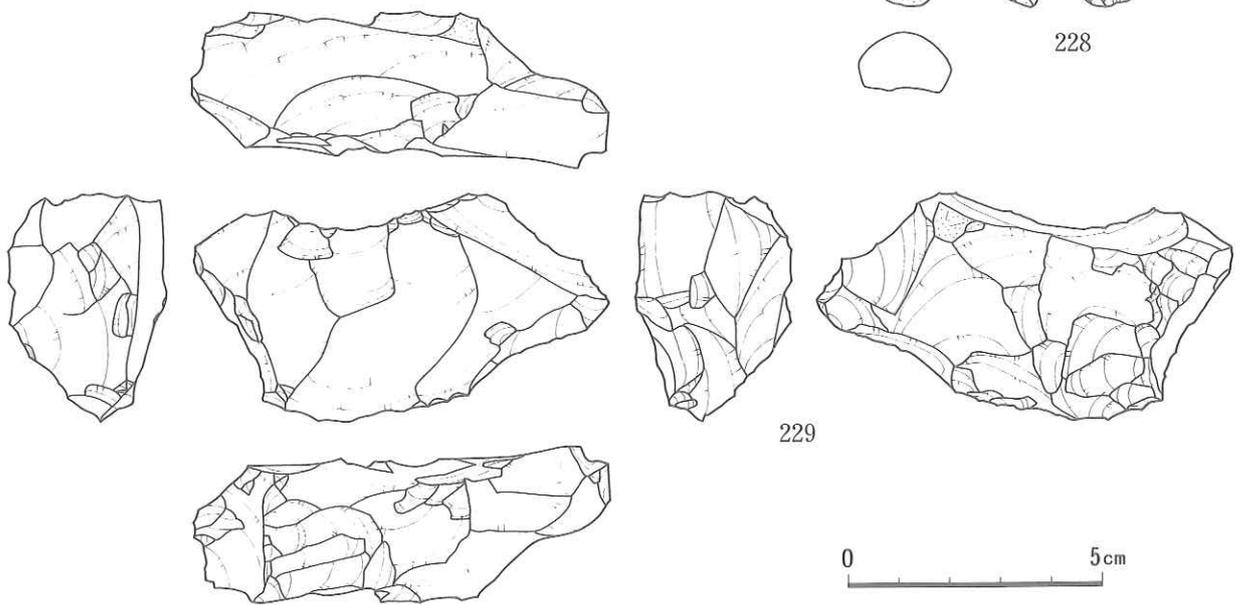
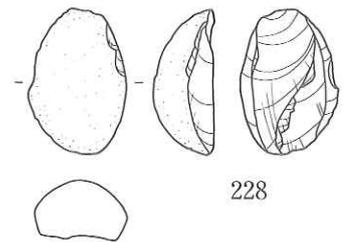
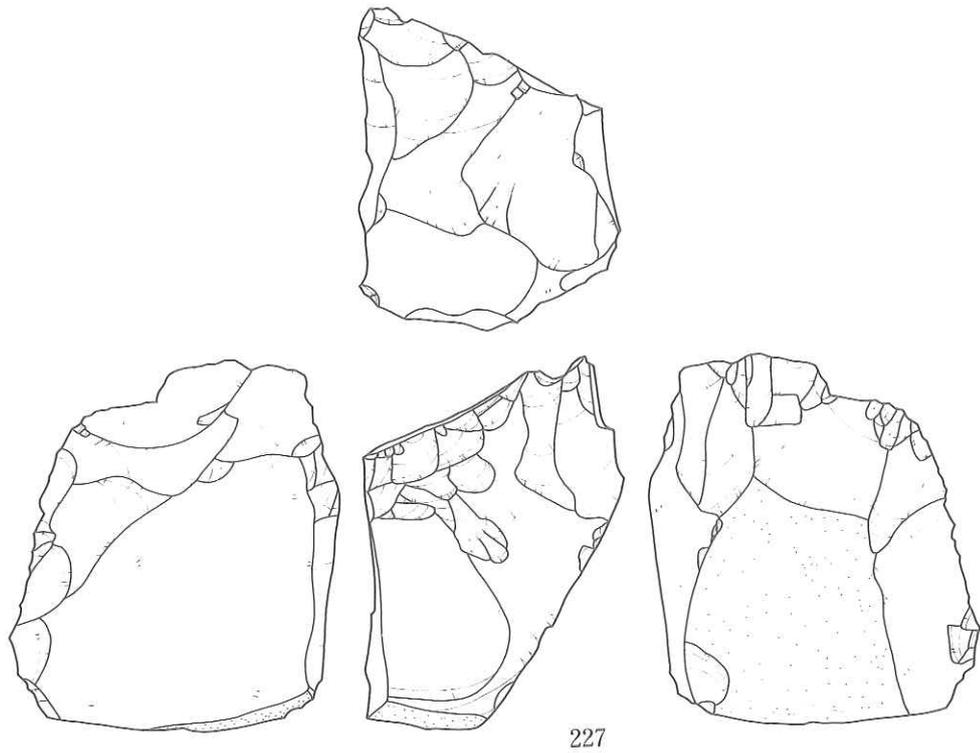
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
206	VIF-76	Va	36	15	5	1.5	珪頁	Ga		63035
207	〃	〃	39	24	6	3.2	〃	〃		63036
208	〃	〃	(30)	24	(2)	(2.1)	〃	〃		63737
209	VIF-77	〃	33	20	8	5.7	〃	〃		63859
210	〃	〃	29	23	5	2.5	〃	〃		63765
211	VIF-76	〃	(25)	19	4	(2.2)	〃	〃		63080
212	〃	〃	34	21	5	2.8	〃	〃		63129
213	VIF-77	〃	(29)	15	6	(2.7)	〃	〃		63801
214	〃	〃	(21)	(16)	(6)	(1.6)	黒	〃	石鏃破片?	3020
215	VIF-76	〃	27	15	3	1.5	珪頁	〃		63054
216	〃	〃	(32)	(28)	6	(2.4)	〃	〃	石鏃未製品?	64005

248図 第V a層 出土石器 (27)



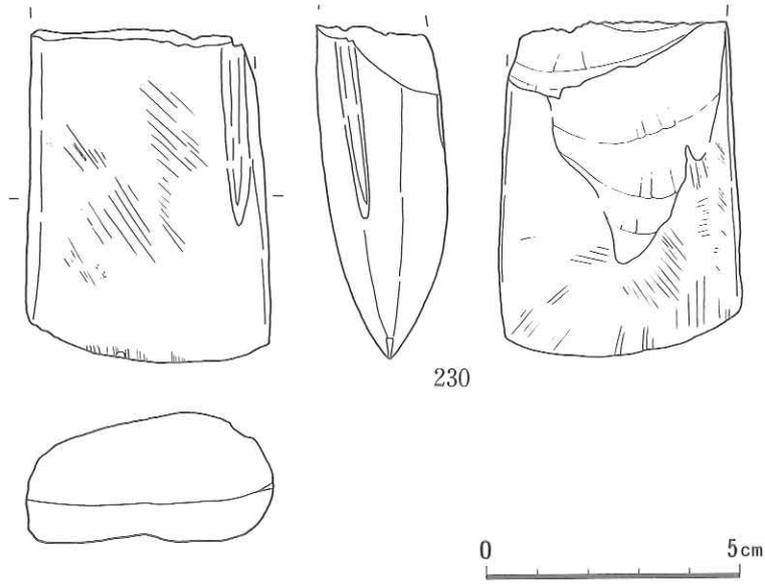
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
217	VII F-77	Va	42	34	12	17.7	珪頁	Gb		63916
218	〃	〃	35	36	10	11.3	玉	Ga		63750
219	〃	〃	50	23	12	12.7	珪頁	〃		63727
220	VII F-76	〃	(50)	(32)	(14)	(17.8)	〃	〃		63176
221	VII F-77	〃	45	22	7	4.4	〃	Gb		63871
222	VII F-76	〃	45	33	9	9.6	〃	Ga		3369
223	〃	〃	46	20	7	5.2	〃	Ge		63114
224	VII G-77	〃	45	20	5	2.6	〃	Gb		3190
225	VII F-76	〃	38	18	8	4.4	〃	Ga		63108
226	VII F-77	〃	28	26	5	3.8	〃	Gb		64012

249図 第V a層 出土石器 (28)



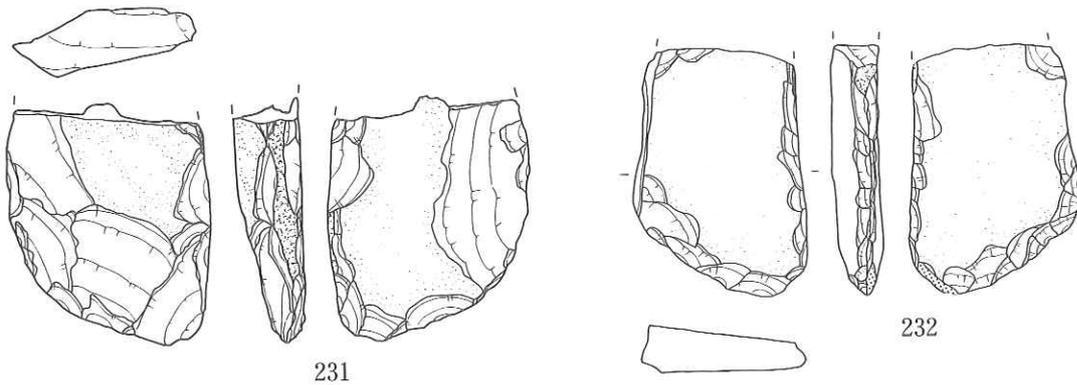
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
227	VII F-76	Va	73	65	50	243.6	珪頁	Pa		63206
228	〃	〃	29	19	12	6.9	黒	〃		3380
229	〃	〃	45	82	31	105.8	珪頁	〃		72634

250図 第V a層 出土石器 (29)



230

0 5cm



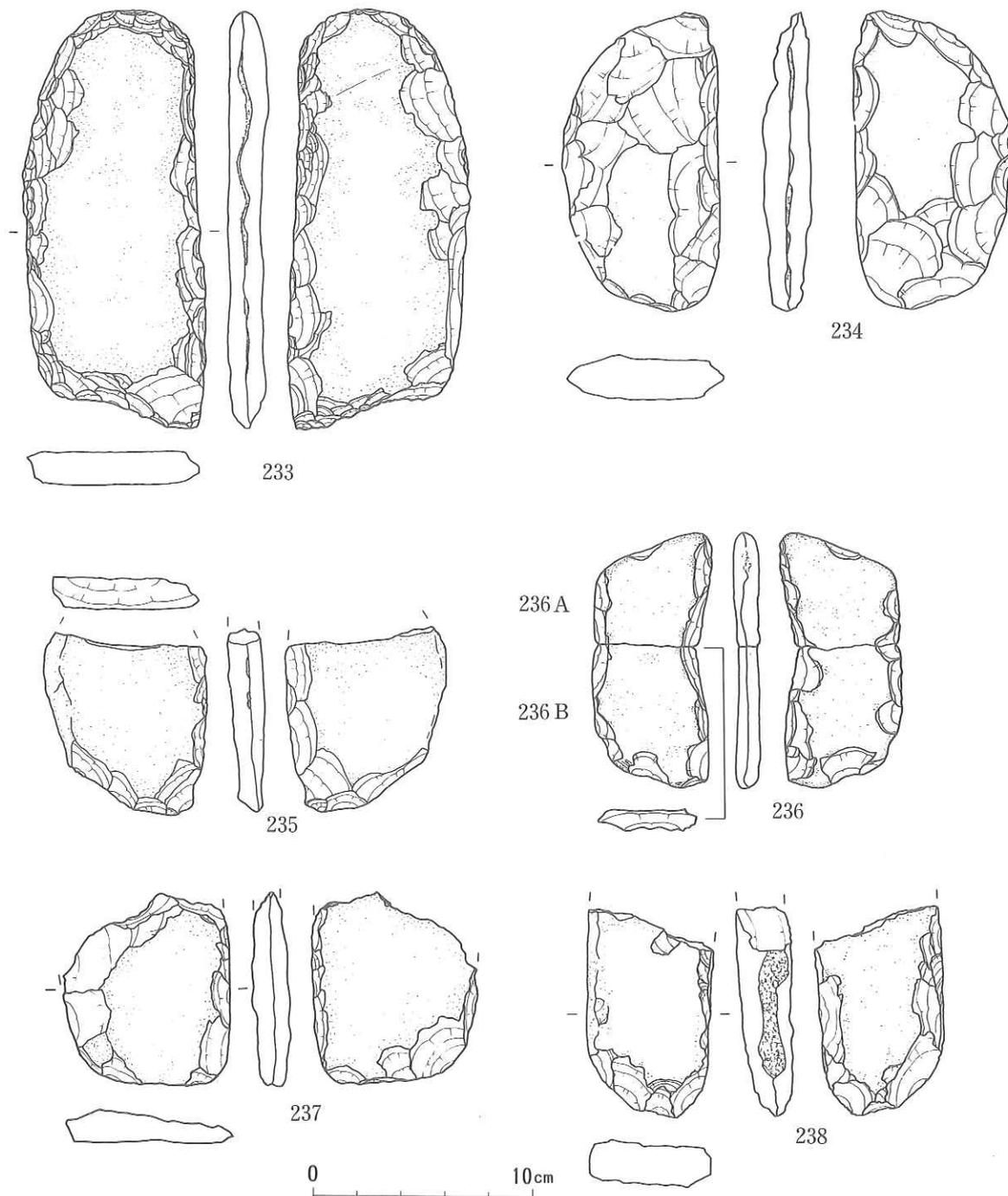
231

232

0 10cm

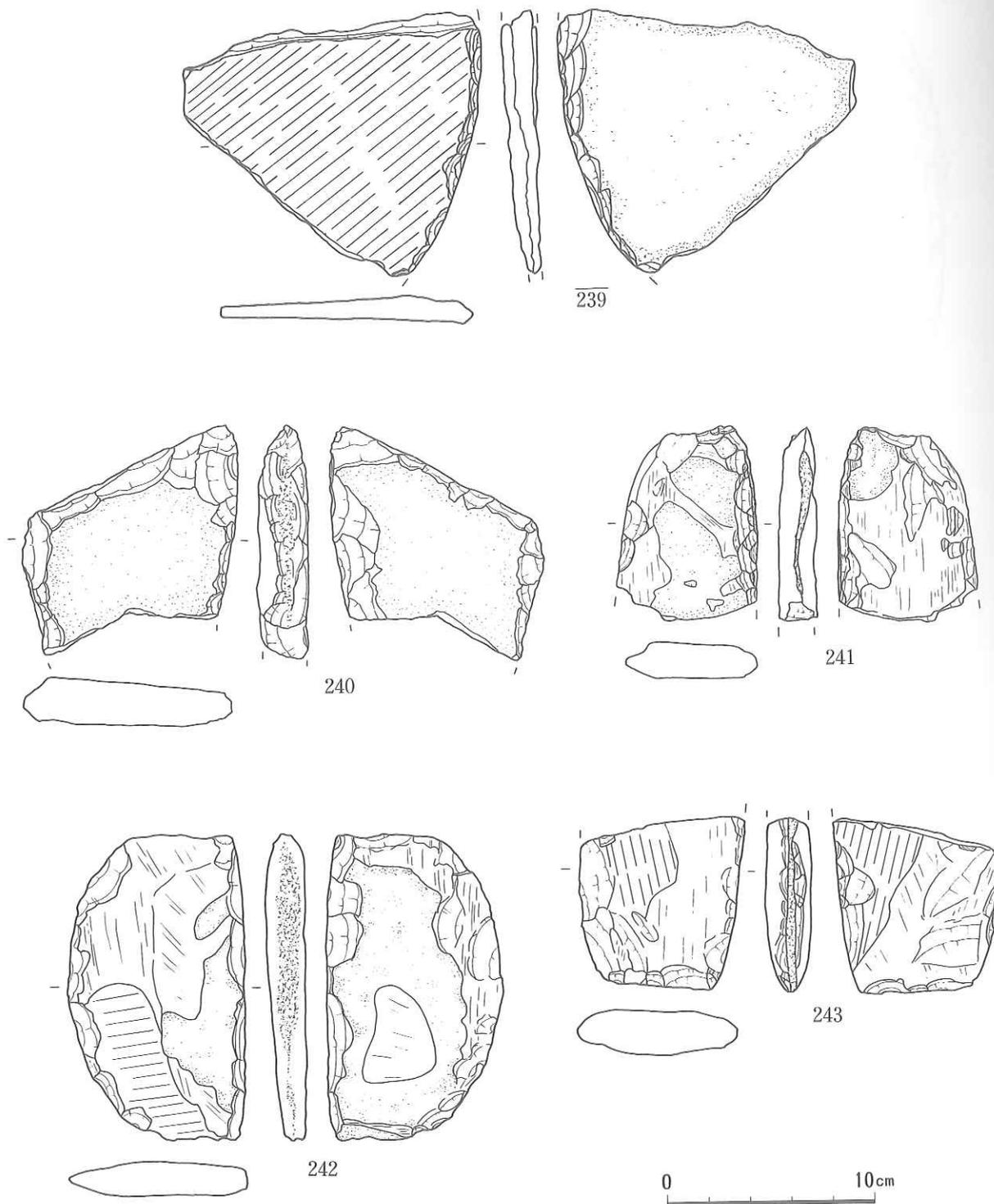
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
230	VIF-76	Va	(66)	48	25	(132.5)	緑細	Ha		73016
231	VII G-77	〃	(102)	80	(26)	(228)	安	J		75209
232	〃	〃	(99)	68	(20)	(181.5)	〃	〃		75306

251図 第V a層 出土石器 (30)



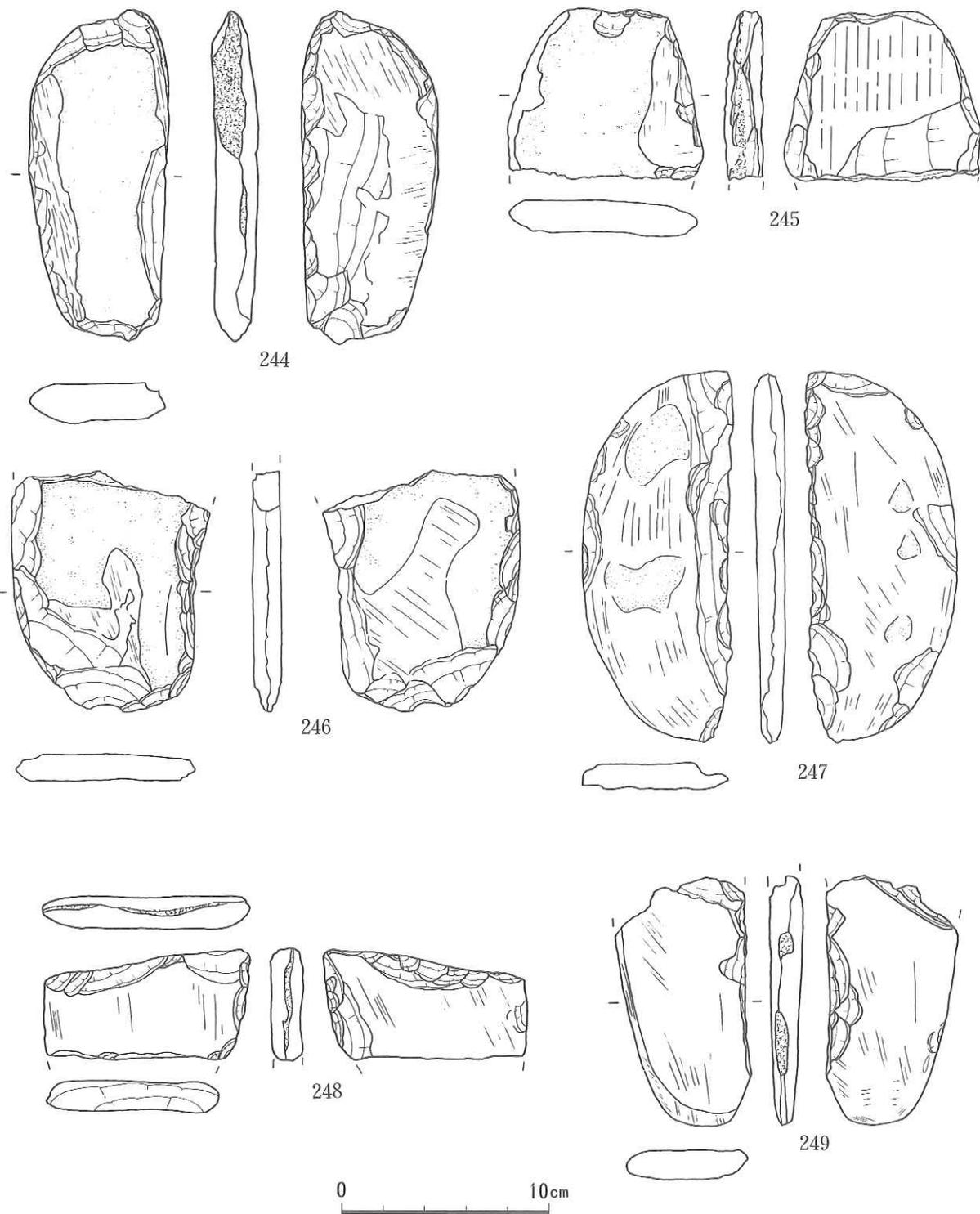
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
233	ⅧG-77	Va	191	83	17	431.7	安	J		73017
234	ⅧF-77	〃	136	71	21	244.7	〃	〃		75170
235	〃	〃	(84)	74	(16)	(129.1)	〃	〃		75397
236A	ⅧF-76	〃	116	55	11	101.8	〃	〃		63201
236B	〃	〃							63202	
237	ⅧF-77	〃	(88)	(76)	165	(141.9)	〃	〃		75131
238	〃	〃	(96)	(58)	(25)	(160.3)	〃	〃		75172

252図 第V a層 出土石器 (31)



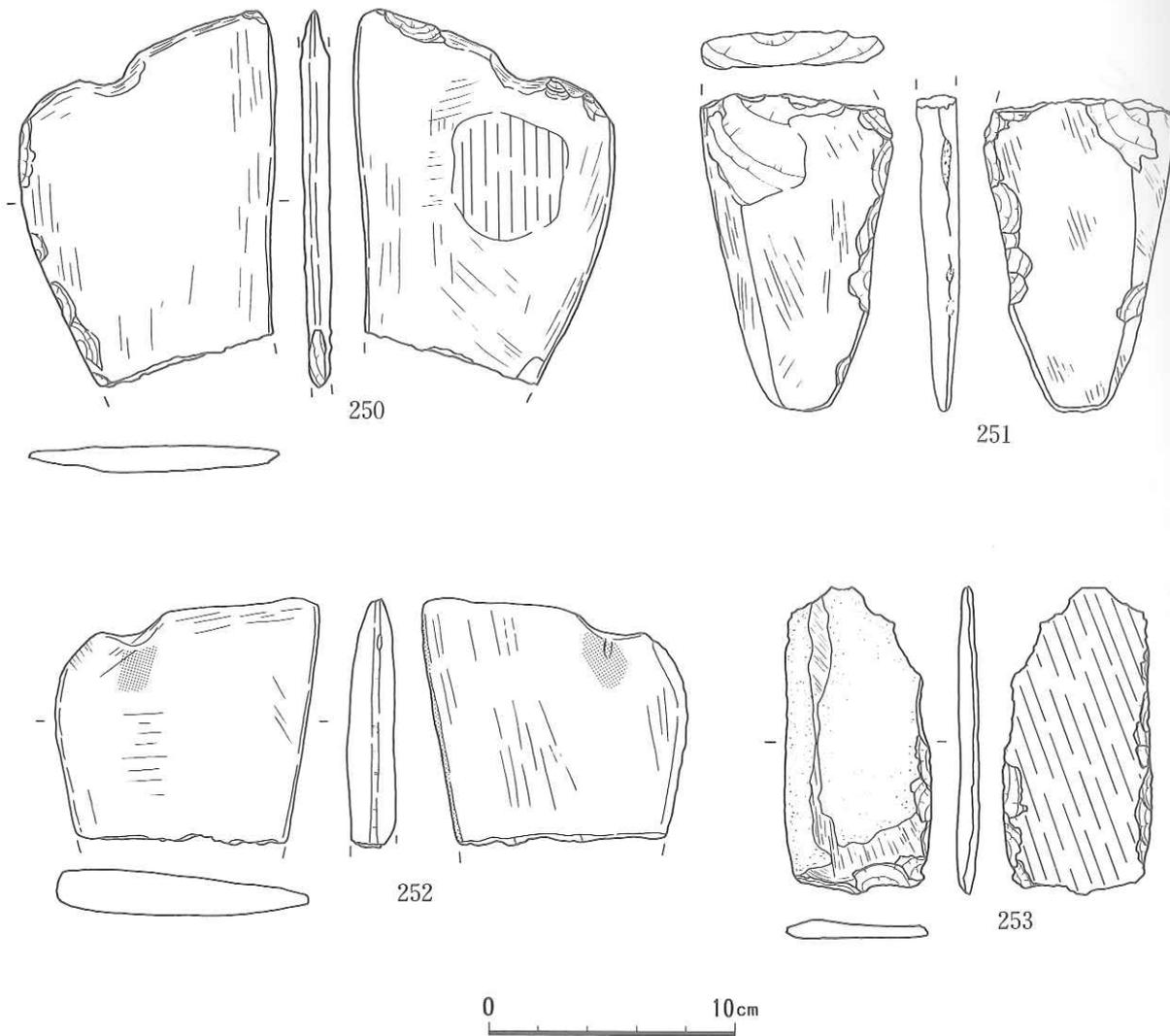
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
239	ⅥF-77	Va	(126)	(141)	(17)	(228.6)	珪頁	Q		70221
240	ⅥG-77	〃	(112)	102	(23)	(284.6)	安	J		75393
241	ⅥF-77	〃	(94)	68	(19)	(184.4)	珪頁	〃		73015
242	ⅥG-77	〃	147	86	19	352.8	安	〃		75134
243	〃	〃	(94)	(80)	(22)	(207.0)	〃	〃		75135

253図 第V a層 出土石器 (32)



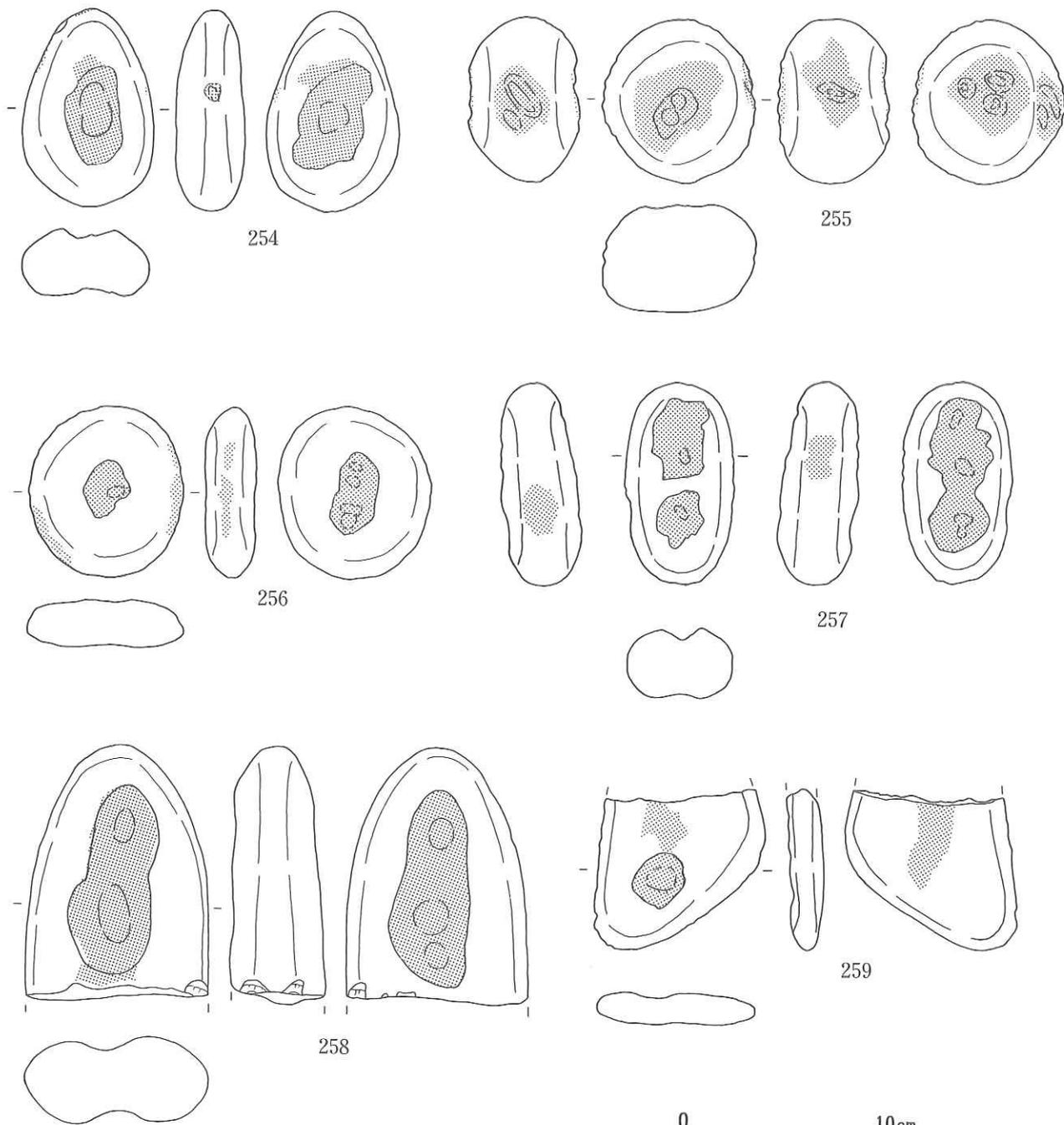
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
244	ⅧF-76	Va	160	66	23	344.3	安	J		75169
245	ⅧF-77	〃	(82)	94	19	(203.0)	〃	〃		75130
246	〃	〃	(116)	(94)	(14)	(219.5)	〃	〃		75171
247	ⅧF-76	〃	170	78	15	284.2	〃	〃		75321
248	ⅧH-75	〃	(53)	99	(15)	(132.7)	〃	K		75137
249	ⅧG-76	〃	(121)	(65)	(16)	(167.5)	〃	〃		75132

254図 第V a層 出土石器 (33)



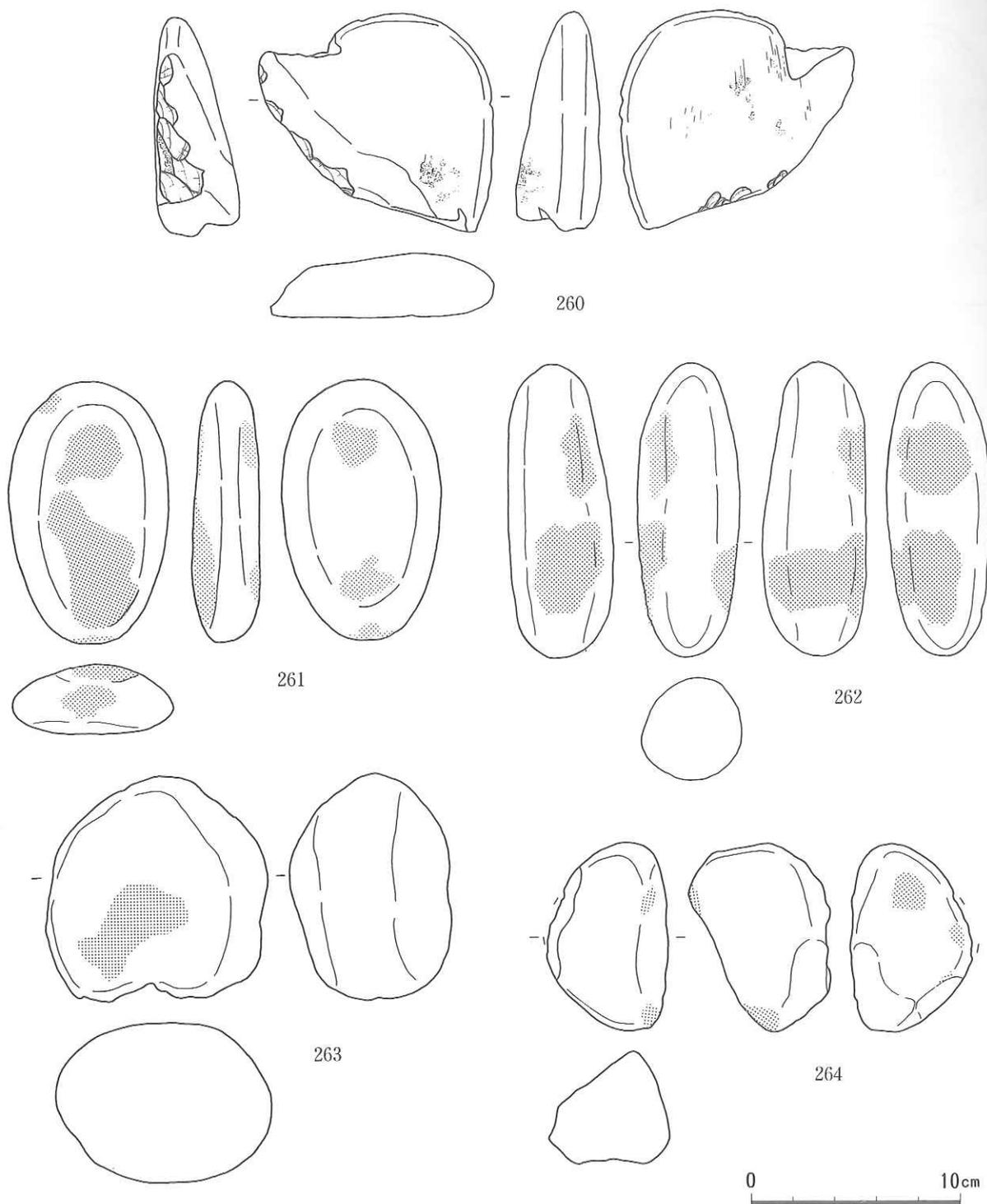
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
250	VII F-74	Va.L.	(152)	(100)	11	(239.8)	安	K		60270
251	VII G-76	Va	(129)	(77)	(17)	(194.6)	〃	〃		75133
252	VII F-77	〃	(100)	106	(20)	(298.7)	〃	〃	光沢	75415
253	VII G-77	〃	125	59	9	84.8	〃	Q		75173

255図 第V a層 出土石器 (34)



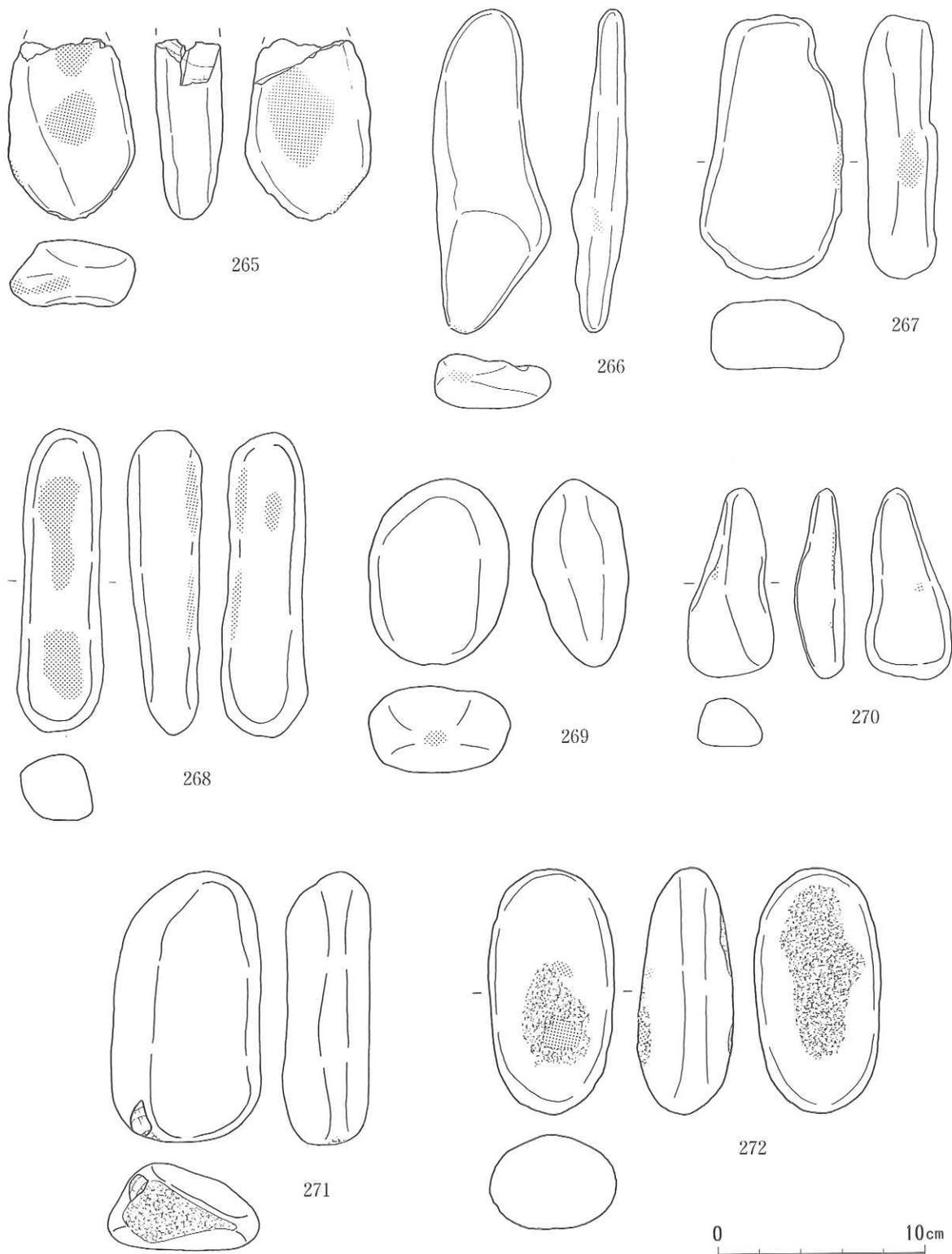
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
254	VII G-76	Va	94	62	32	167.5	細凝	1a		74463
255	VII F-77	〃	78	72	53	320.7	安	〃		74871
256	〃	〃	81	73	24	180.4	凝	〃		74867
257	VII H-77	〃	96	52	37	190.8	〃	〃		74883
258	VII F-77	〃	(121)	(85)	(44)	(363.5)	安	〃		70220
259	VII G-77	〃	(76)	80	(17)	(103.6)	砂	〃		74467

256図 第V a層 出土石器 (35)



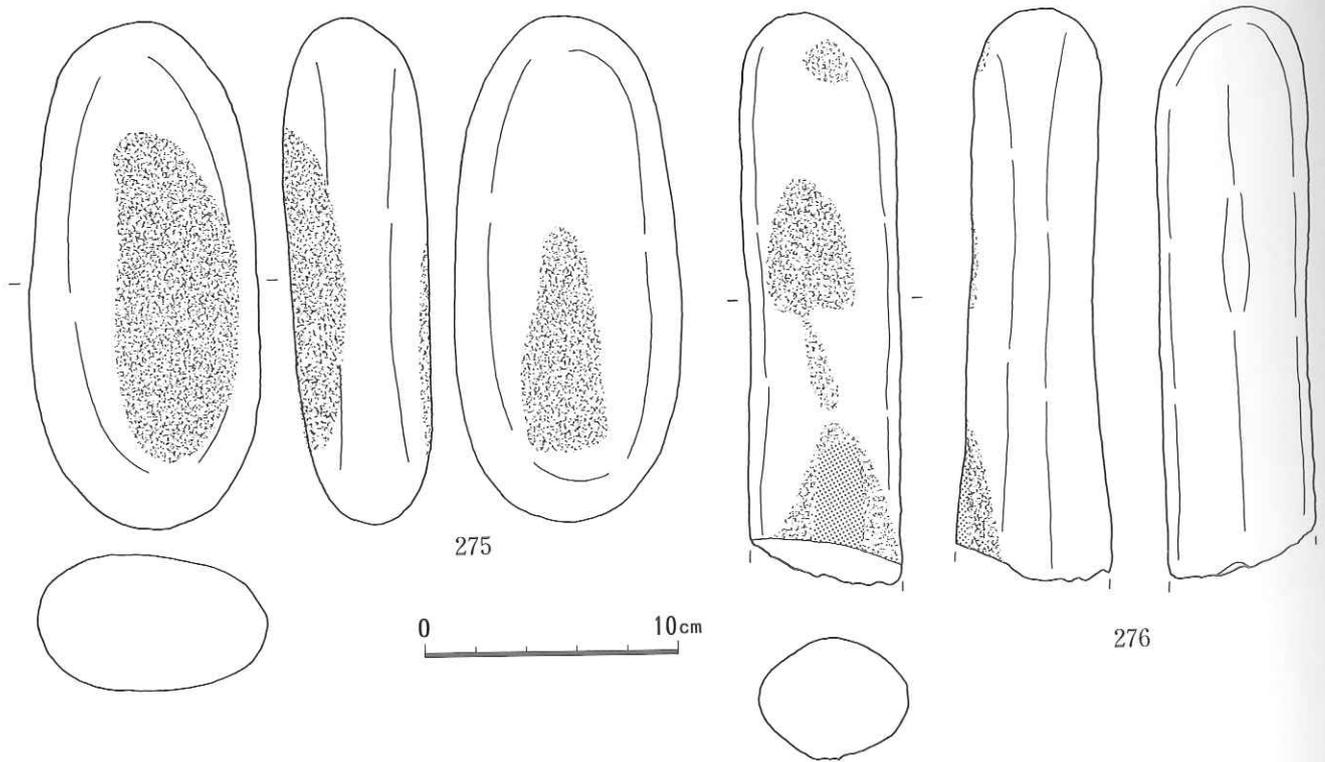
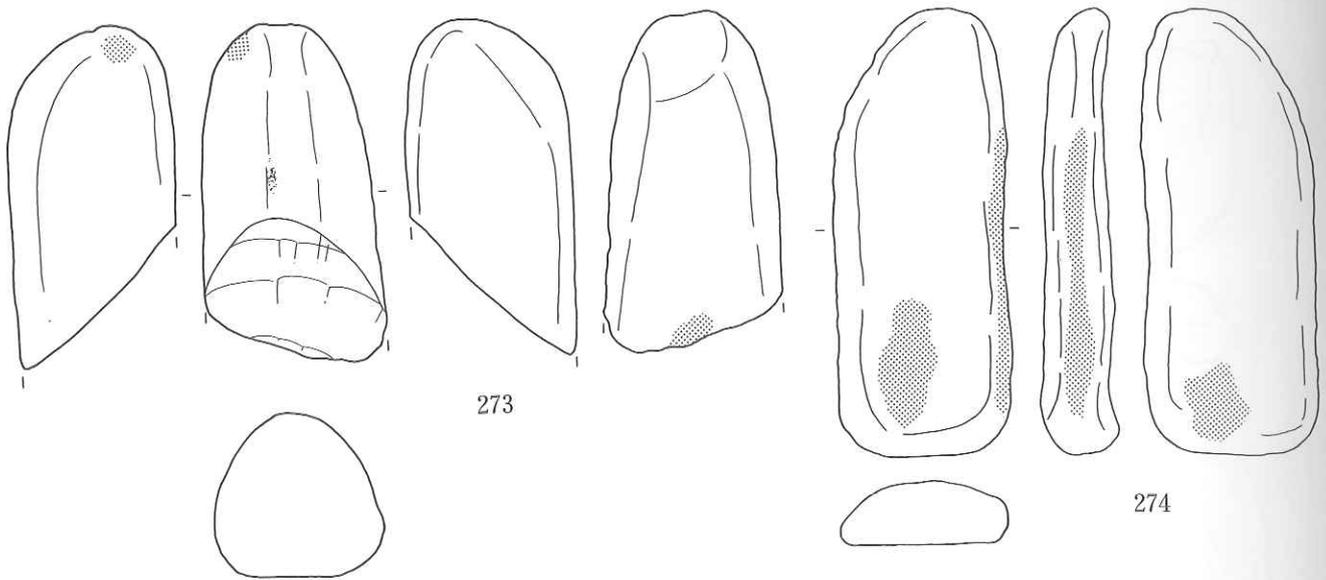
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
260	VII G-77	Va	104	111	40	413.4	安	Ib		75136
261	VII F-77	〃	125	77	33	433.4	砂	〃		74872
262	〃	〃	141	49	50	451.1	溶凝	〃		74873
263	VII G-77	〃	108	105	77	1190.6	安	〃		74464
264	〃	〃	90	(58)	67	(365.8)	〃	〃		74469

257図 第V a層 出土石器 (36)



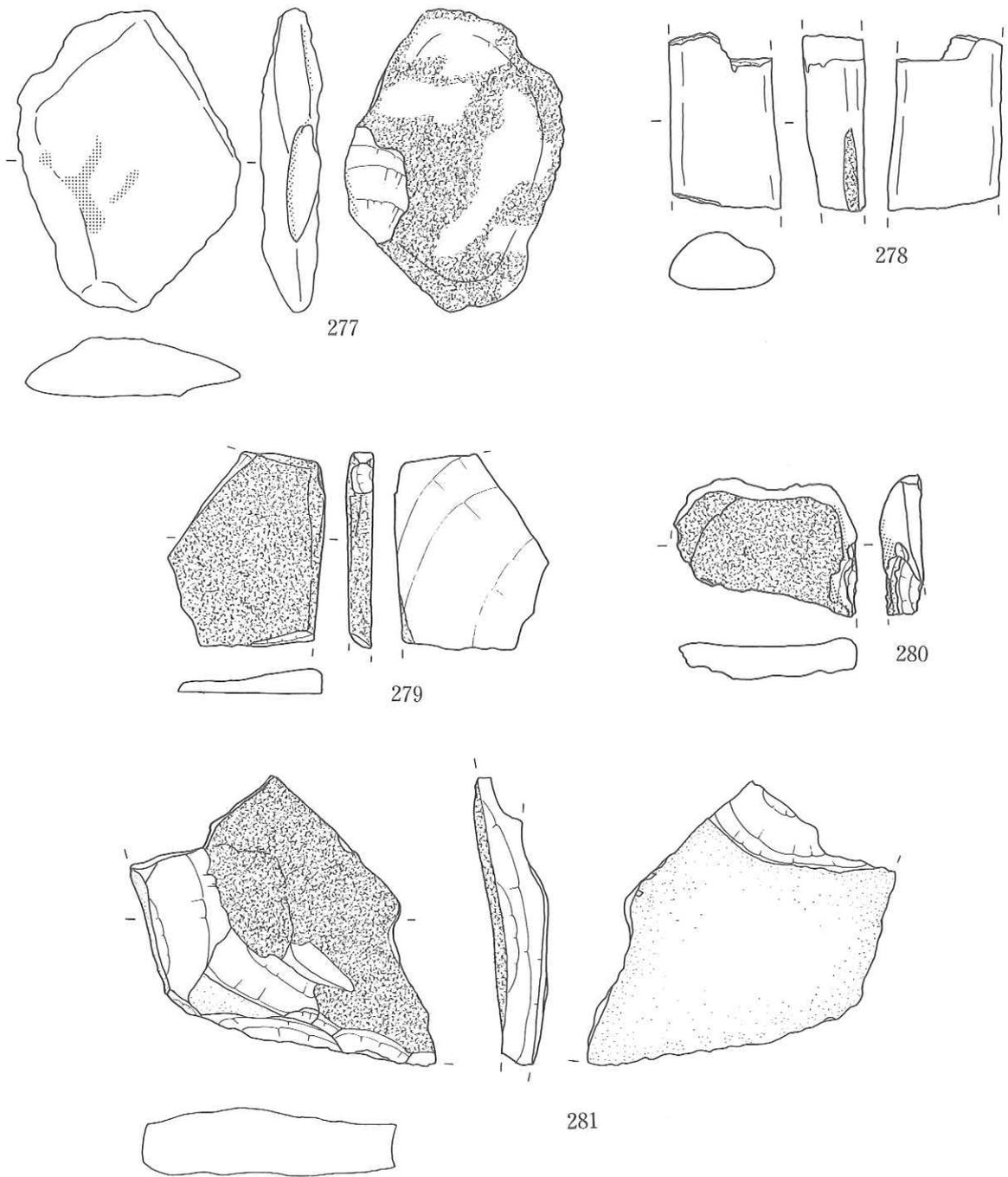
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
265	VII G-77	Va	(87)	61	(32)	(245.0)	安	Ib		74470
266	VII F-77	〃	157	55	26	240.1	頁	〃		74869
267	VII H-77	〃	128	68	35	456.7	凝	〃		74882
268	VII G-77	〃	147	42	36	310.8	〃	〃		74471
269	VII H-76	〃	90	48	47	355.7	安	〃		74472
270	VII G-77	〃	92	415	23	99.0	砂	〃		74465
271	VII F-77	〃	192	72	42	627.1	安	Ic		74868
272	VII G-77	〃	119	61	47	430.8	流	〃		74466

258図 第V a層 出土石器 (37)



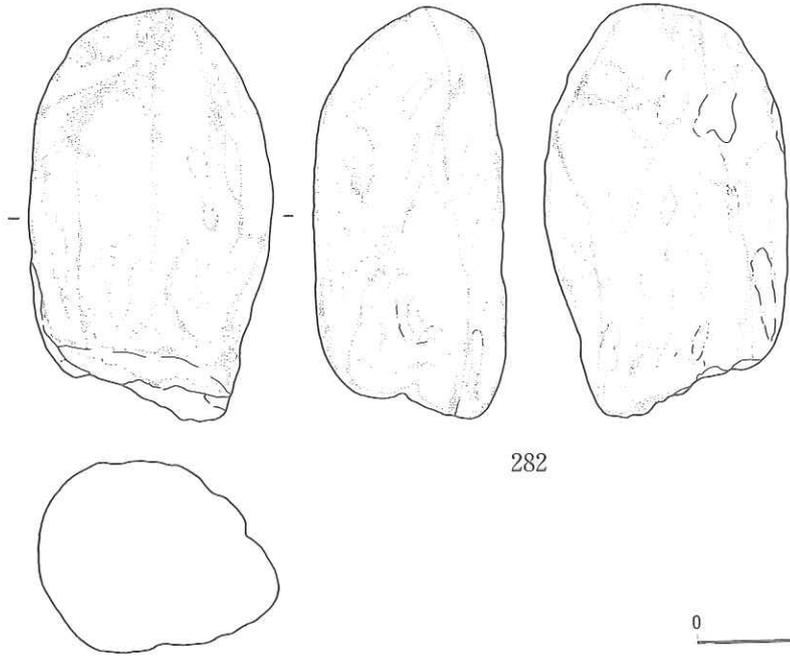
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
273	VIIH-77	Va	(133)	(70)	(64)	(670.3)	凝	Ib		74474
274	VII F-77	〃	177	〃	31	515.2	〃	〃		74870
275	〃	〃	195	89	66	1383.4	安	Ic		73018
276	VIIH-75	〃	(226)	(61)	(61)	(1082.2)	流	〃	台石?	75011

259図 第V a層 出土石器 (38)



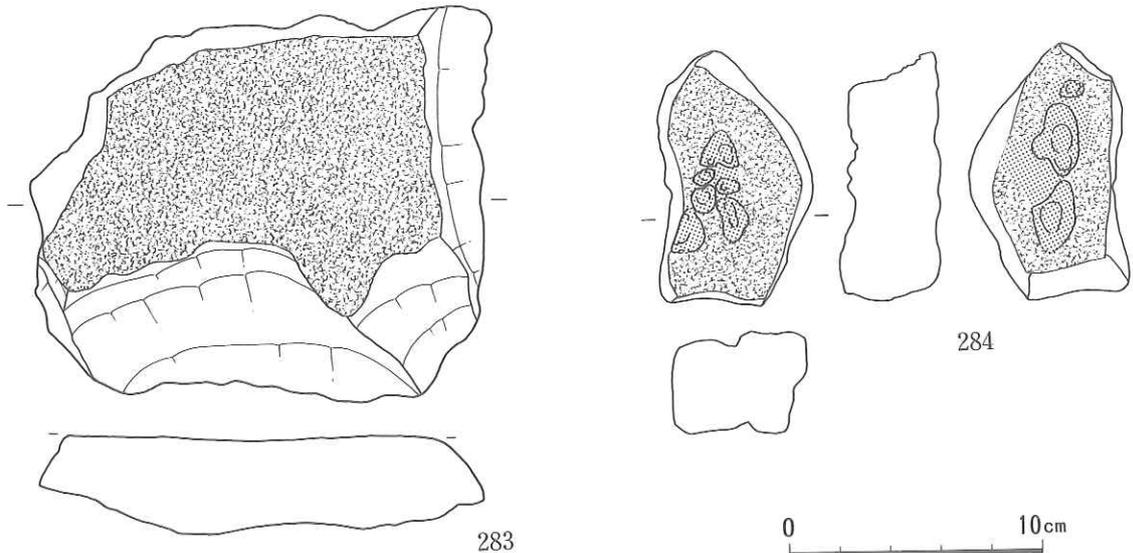
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
277	VII G-76	Va	137	100	28	440.6	安	Ic		74462
278	VII G-77	〃	(81)	51	28	(162.1)	砂	〃		74468
279	VII G-76	〃	(89)	(71)	(12)	(69.6)	〃	Sb		75347
280	VII G-77	〃	(62)	(82)	(16)	(105.2)	〃	〃		69911
281	VII H-77	〃	(131)	(138)	(36)	(566.9)	安	〃		74473

260図 第V a層 出土石器 (39)



282

0 5cm



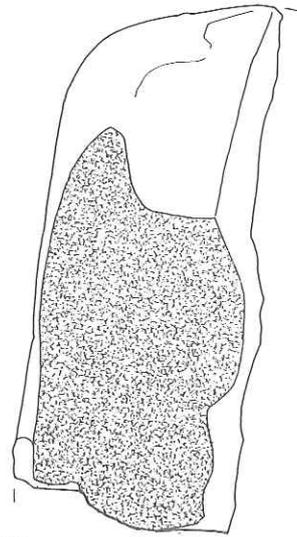
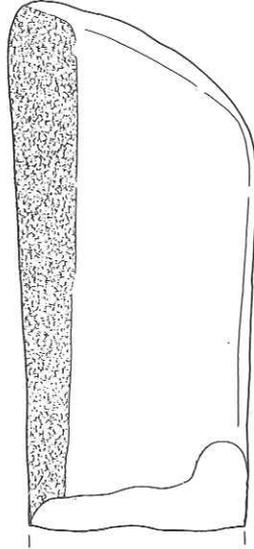
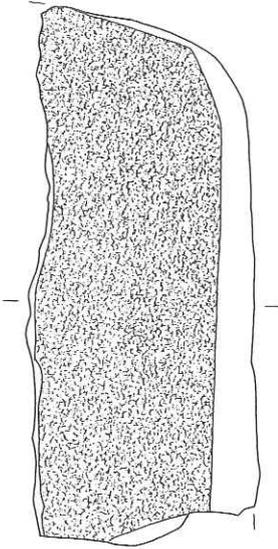
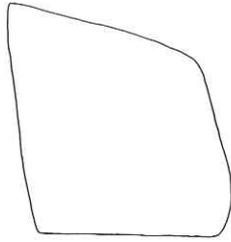
283

284

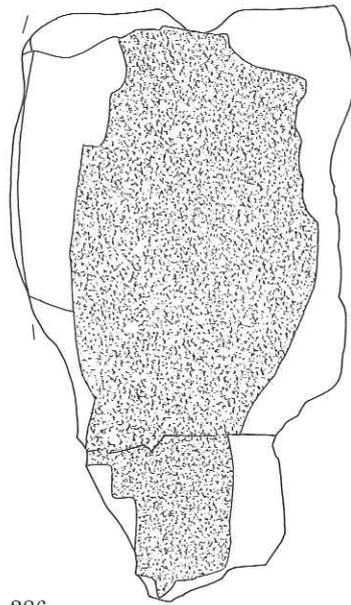
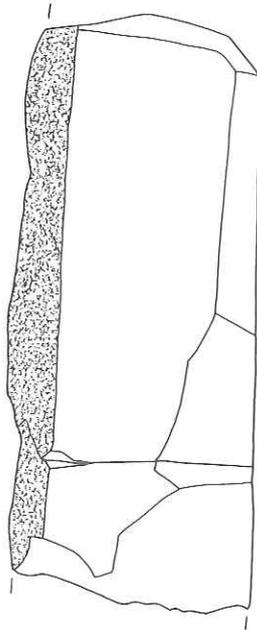
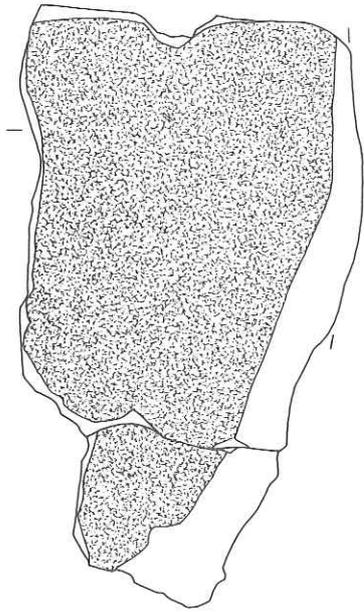
0 10cm

番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
282	VII G-77	Va	109	63	50	104.7	軽	Ta		74624
283	〃	〃	156	181	48	1246.3	安	L		70193
284	〃	〃	101	61	42	312.3	〃	〃	小破片	70194

261図 第Va層 出土石器 (40)



285

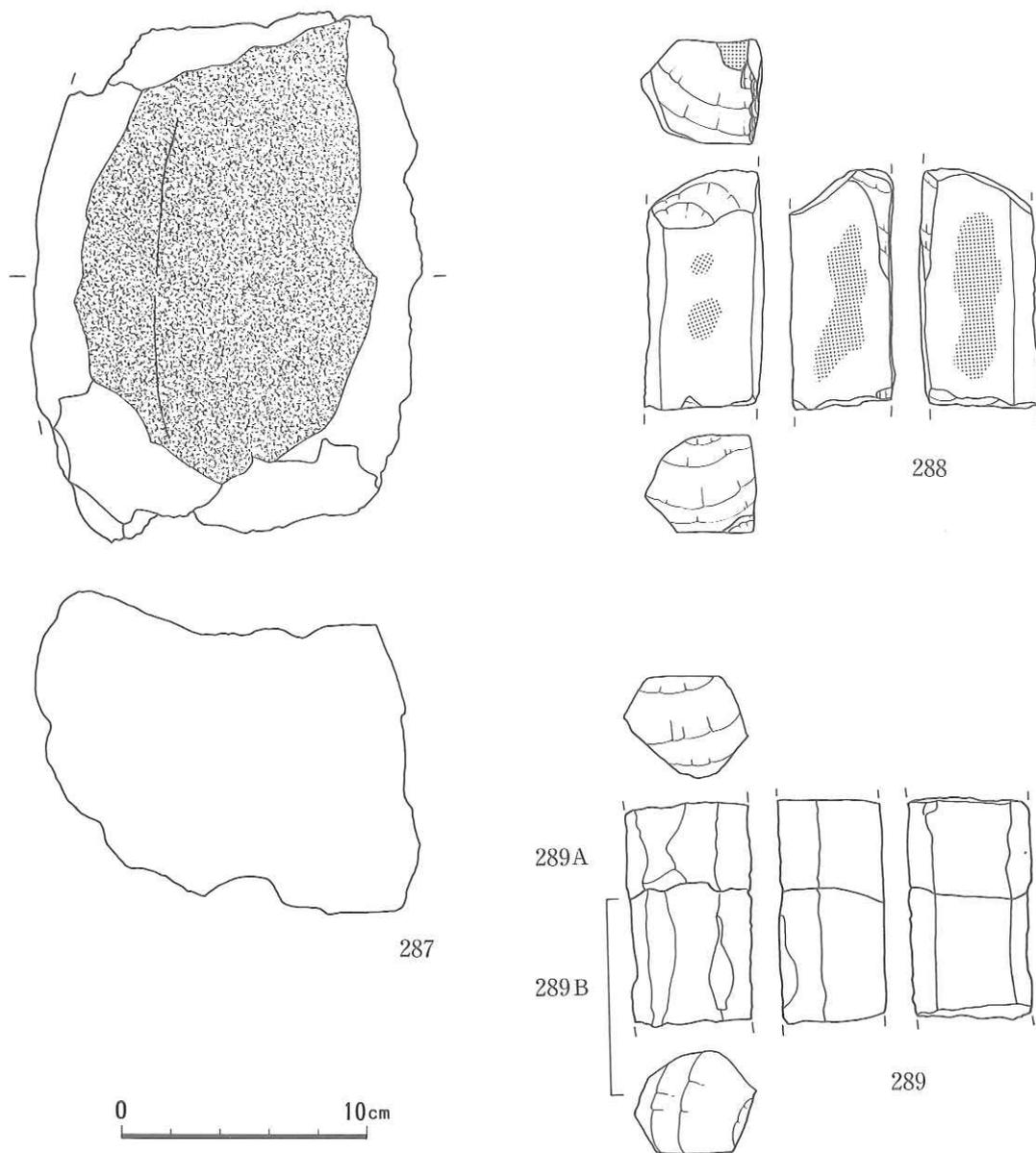


286

0 10cm

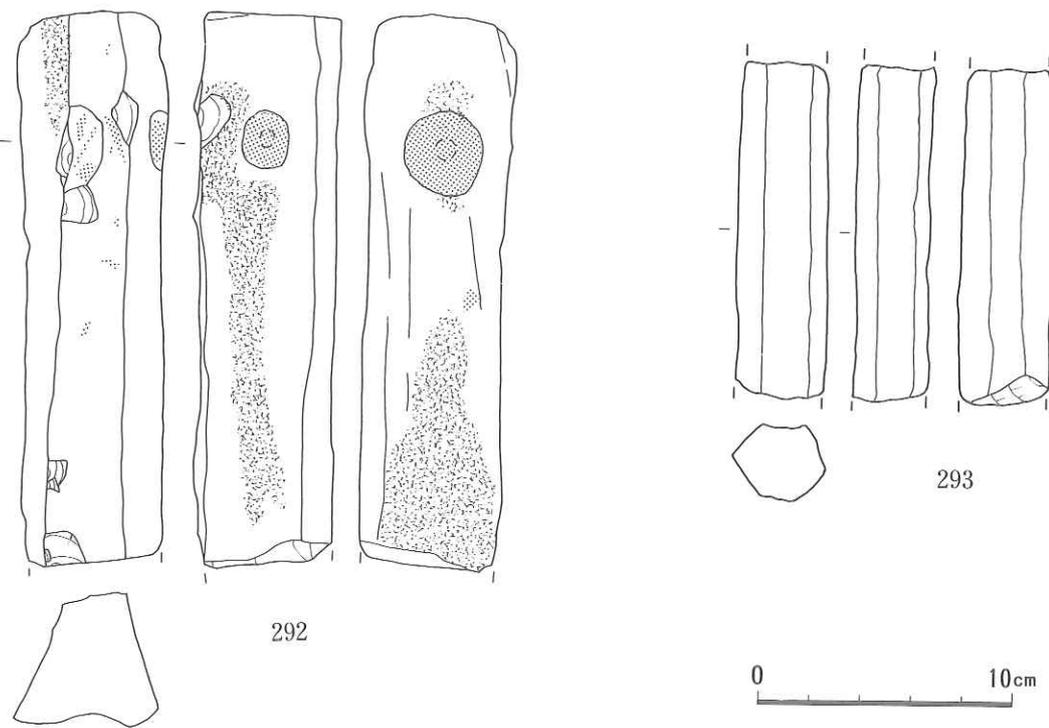
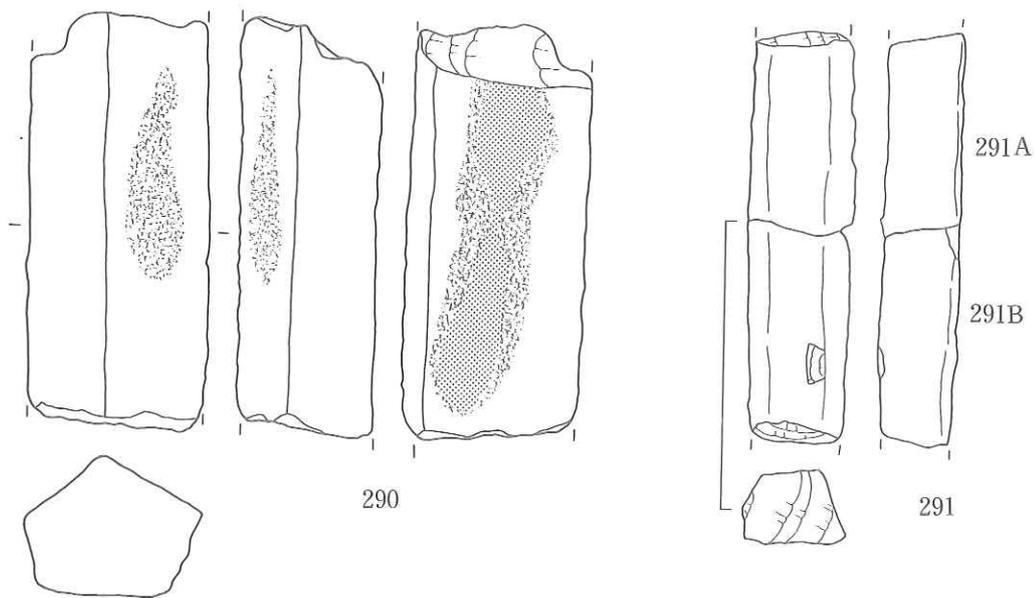
番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
285	VIG-76	IV	(211)	(93)	100	(2410.2)	安	L	286と同一個体	70195
286	VIG-76	Va	(236)	(135)	97	(3204.0)	々	々	285と同一個体。接合品	70196

262図 第V a層 出土石器 (41)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
287	ⅦG-77	Va	(215)	(168)	(133)	(5512.2)	安	L		70198
288	ⅦH-77	〃	(99)	(49)	(43)	(308.5)	流	Ub		74738
289A	ⅦH-75	Ⅲ	(92)	(51)	(43)	(308.4)	〃	Ua		74525
289B	〃	Va								74508

263図 第V a層 出土石器 (42)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
290	VII F-77	Va	(165)	72	56	(883.1)	流	Ub		74719
291A	VII G-74	〃	(163)	(42)	(31)	(314.0)	〃	Ua		74509
291B	VII G-77	〃	(163)	(42)	(31)	(314.0)	〃	Ua		74510
292	〃	〃	(230)	(59)	(58)	(1020.3)	安	Ub		74511
293	VII F-76	〃	(133)	(36)	(30)	(209.7)	流	Ua		74535

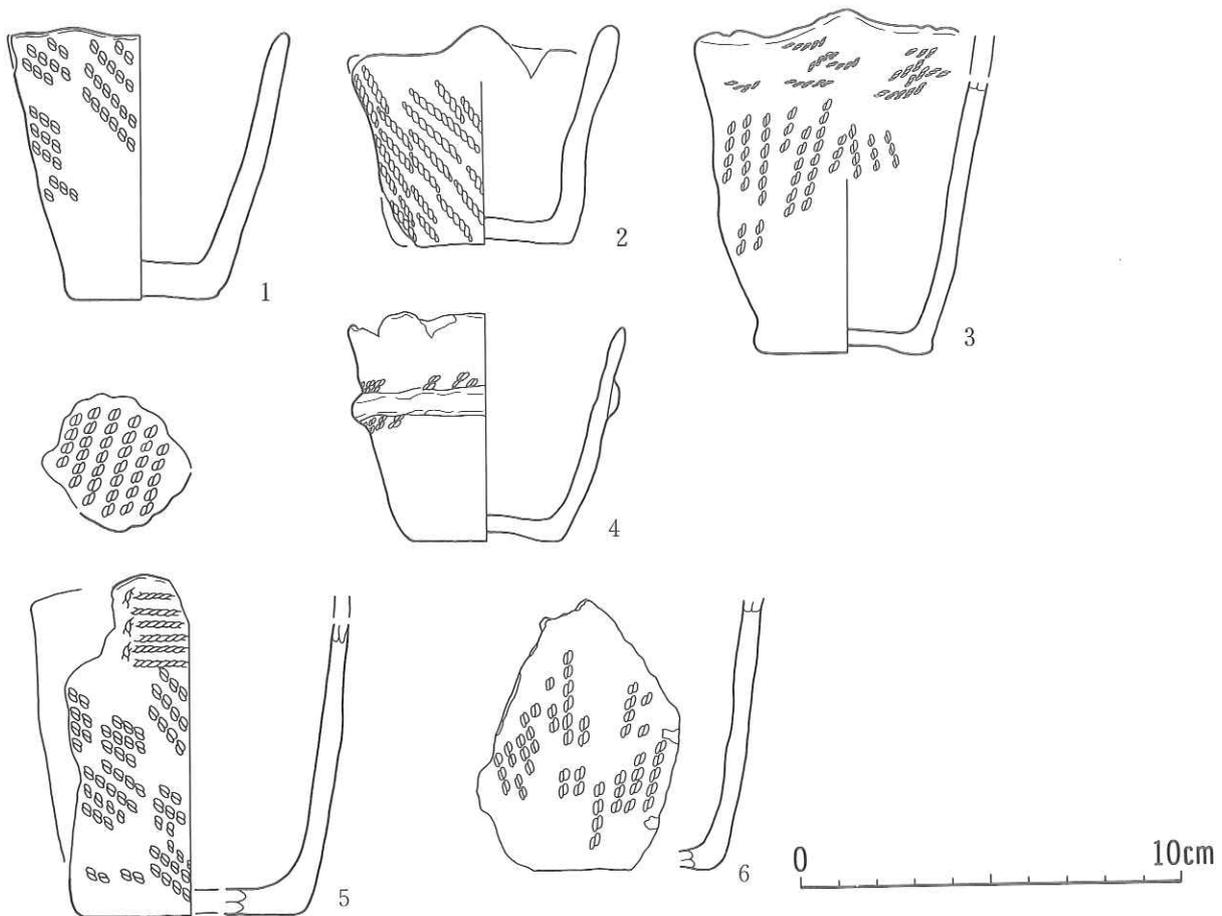
264図 第V a層 出土石器 (43)

4) 土・石製品

ミニチュア土器 (265図)

いずれも深鉢形を呈する。1はRLRが底部にも及び、2はRRLが全面に施される。3は口縁部にRL結節回転文が、胴部にLR単軸絡条体1類が施される。4は隆帯を有し、その上下にRLRが押圧される。口縁部、胴部の文様は胎土に繊維が多量に含まれ、観察できない。5は口縁部に単軸絡条帯6A類が、胴部にRLRが施される。6は胴下半部片で、RLRが施される。いずれもスス状の炭化物、被熱痕などの使用痕は見られない。

(小笠原 雅行)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口 縁 部	胴部上半	胴部下半				
1	ⅧF-76	Va	RLR	RLR		ナデ	RLR		
2	ⅧG-77	〃	LL	RRL		〃	素文		
3	ⅧG-76	〃	RL結節回転	LR単絡1		不明	〃		
4	ⅧH-75	〃		低隆帯RLR押		〃	上底		
5	ⅧF-76	〃	R単絡6A	RLR		〃	素文		
6	ⅧG-77	〃			RLR	〃			

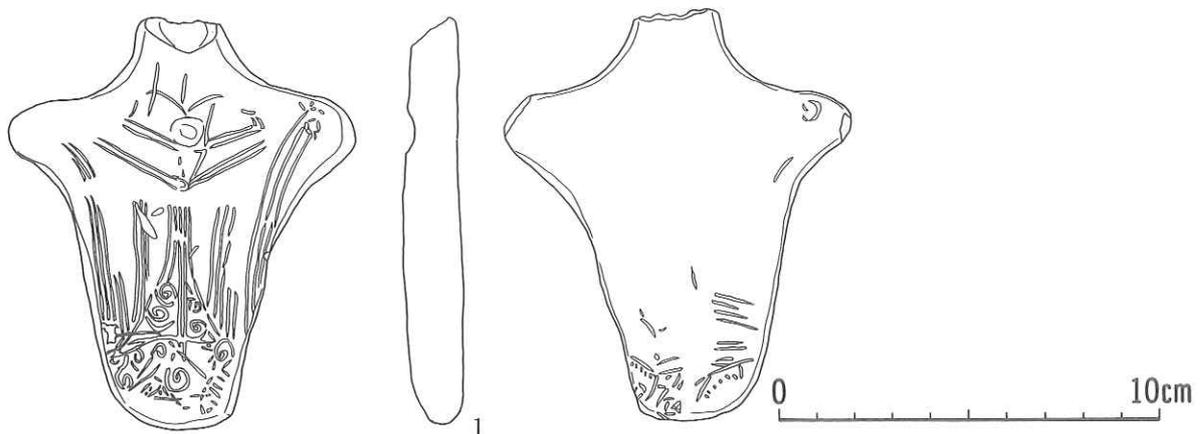
265図 第Ⅴa層出土 ミニチュア土器

土偶 (266図)

第V a層からは、完形の土偶が1点出土した。頭頂部は王冠状に丸みをもち、中央部が窪む。文様はすべて沈線で施される。顔部表現は、2条の縦位沈線の間に眉と見られる沈線と口を表現した窪みがある。体部上半は3条単位の縦位沈線が、下半には横位沈線で区切った上下に渦巻状の沈線、「ハ」字状の沈線の組合せで文様が表現される。裏面は、体部上半から下半にかけての中央部に浅い凹線が、体部最下部にV字状の沈線およびそれに直行する短沈線が施される。胎土は細砂粒が混入するものの緻密である。また、植物繊維も若干混入する。

本層は円筒下層b式期であり、第IV層出土土偶とともに、層の認定に若干の問題があるかもしれない。出土地点は斜面上部にいくにしたがって層厚は薄くなり、取り上げ時に混同する可能性がある。土偶の特徴を見れば、顔部表現は、円筒上層a式の古い段階にともなつたと言われる八戸市長根貝塚の土偶に、体部表現は円筒上層a式期に伴うと言われる土偶に類似している。また、頭頂部の形状も中期初頭の土器・土偶と同様である。型式学的に、本土偶は前期末から中期初頭ぐらいの時期を考えておきたい。

(小笠原 雅行)



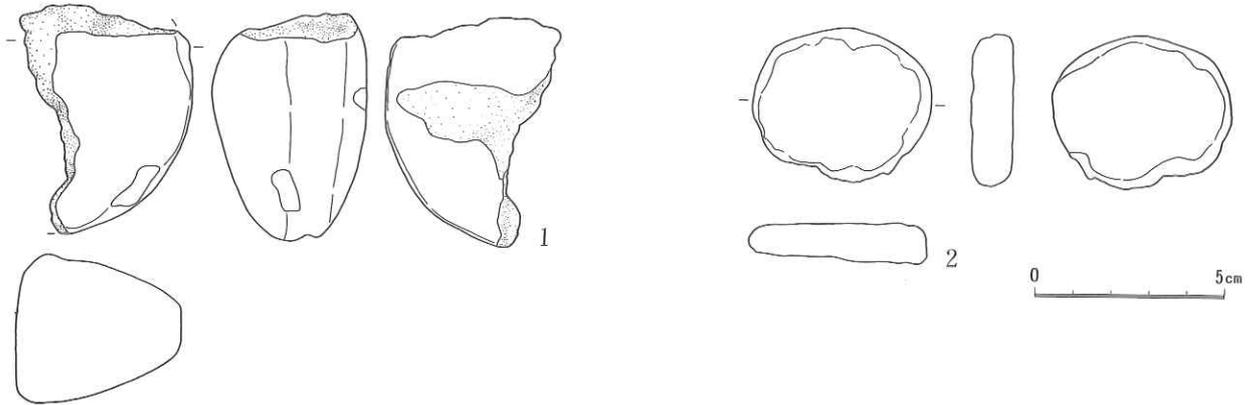
番号	出土地点	層位	計測値(cm)			文様		種類	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
1	VII F-74	Va	(10.9)	9.1	1.4	沈線、刻み	沈線、刻み	土偶	頭頂部一部欠損

266図 第V a層出土 土偶

その他の土・石製品 (267図)

石製品が2点出土した。1は円盤状又は楕円形の有孔石製品の一部と考えられる。2は楕円形の軽石製品である。

(阿部 美杉)



番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考	整理番号
1	ⅧG-77	Va	(61)	(46)	(41)	65	凝		2963
2	ⅧF-76	〃	41	49	11	7	軽		2953

267図 第V a層出土 石製品

---

青森県埋蔵文化財調査報告書第230集

## 三内丸山遺跡Ⅷ

—第6 鉄塔地区調査報告書1—  
(第1分冊)

発行日 平成9年3月31日

発行 青森県教育委員会

編集 青森県教育庁文化課

〒030 青森市新町2丁目3-1

印刷所 東北印刷工業株式会社

〒030 青森市合浦1丁目2-12

---